愛知県埋蔵文化財センター調査報告書　第28集

朝日西遺跡

1992

財団法人　愛知県埋蔵文化財センター

序

朝日西遺跡の調査は、1981年から1985年の５年間にわたって名古屋環状２号線建設に伴う発掘調査として実施されました。朝日西遺跡は全国的にも有名な弥生時代の大環濠集落、朝日遺跡の西にあり、当初は弥生時代から古墳時代の遺跡と思われていましたが、調査目的の遺構面より上から幻の城下町清須が発見されたのであります。当時、戦国期の城下町清須はすでに失われてしまったと思われていましたので、まさにおもいがけぬ発見となり、これを契機に「清洲城下町遺跡」の調査が開始されたのでありました。

幻の城下町、清須城下町は現在の西春日井郡清洲町のほぼ全域、及び新川町、春日町の一部をその範囲として東西約1.5km、南北約2.7kmの規模をもち、織田信長の居城地であったのみならず、豊臣、徳川政権下においても、織田信雄、豊臣秀次、福島正則、松平忠吉らの有力大名が配置された要地でありました。しかし、人口数万を擁した全国屈指の城下町も、「清須越」(慶長15年）によって城はもちろん家臣の屋敷から町屋、寺社などありとあらゆるものが名古屋に引越し、城下町としての栄華は終わってしまったのであります。調査開始から11年、ようやくにして一連の調査による成果を提示できたことに深い感慨を覚えます。

最後になりましたが、調査に対して御指導、御協力賜った関係諸機関、発掘調査に参加協力していただきました多くの方々に厚く御礼を申し上げるとともに、本書が埋蔵文化財の保護と研究の一助となれば幸いです。

平成４年３月

財団法人愛知県埋蔵文化財センター

理事長　高　木　鐘　三

例　言

1．本書は愛知県西春日井郡清洲町に所在する朝日西遺跡の発掘調査報告書である。

2．調査は名古屋環状２号線（一般国道302号）建設に伴う事前調査として、建設省、日本道路公団から愛知県教育委員会を通じて委託をうけ、財団法人愛知県教育サービスセンター・財団法人愛知県埋蔵文化財センターが昭和56年度から昭和60年度にかけて行った。

3．調査担当者は下記のとおりである。

昭和56年度　榊原芳久（現、半田高校）・片山正巳（現、高浜小学校）
　　服部良夫（現、尾西第二中学校）

昭和57年度　遠藤才文（本センター調査研究員）・片山正巳・服部良夫
　　長島　広（現、春日井南高校）

昭和58年度　遠藤才文・服部良夫・金原　宏（現、刈谷南中学校）
　　上部　肇（現、神島田小学校）・長島　広

昭和59年度　遠藤才文・金原　宏・佐藤公保（現、鳴海高校）
　　小澤一弘（本センター調査研究員）・丹羽　博（現、豊前市教育委員会）
　　服部哲也（現、名古屋市見晴台考古資料館）

昭和60年度　遠藤才文・佐藤公保・安藤義弘（現、大府高校）

4．調査にあたっては次の各関係機関の御指導・御協力を得た。
　愛知県教育委員会文化財課、建設省中部地方建設局愛知国道工事事務所、
　日本道路公団名古屋建設局、清洲町教育委員会

5．調査記録及び出土品の整理等については次の方々の協力を得た。
　安藤豊子・河合明美・木全左奈恵・小島洋子・小檜山洋子・猿山清子・服部英子・本所千恵子・水野里美・八木佳素実・吉田恒美　（敬称略）

6．本書の執筆者は小澤一弘・遠藤才文・城ヶ谷和広（本センター主査）・鈴木正貴（調査研究員）・加藤安信（調査課長）が担当し、その文責については文末に記した。第Ⅳ章第１章については、㈶愛知県埋蔵文化財センター刊行の『年報』昭和60年度からの改作転載で、「出土した人骨および犬骨」は江原昭善・松本　真・木下　実各氏の執筆による。
　本書の編集については、加藤調査課長の指導の下、小澤一弘が担当した。

7．遺構の旧番号と新番号の対照、遺物の登録番号については付表に掲載した。

8．本書の作成にあたっては、以下の各氏の御指導、御協力を得た。
　赤羽一郎・足立順司・伊藤嘉章・井上喜久男・梅本博志・江崎　武・大橋康二・古泉弘・斎藤孝正・佐藤公保・柴垣勇夫・下津間康夫・下村信博・住田誠行・千田嘉博・土山公仁・寺島孝一・仲野泰裕・楠崎彰一・橋口定志・服部郁・福田健司・藤澤良祐・光谷拓実・四柳嘉章　（五十音順、敬称略）

9．調査記録の座標は、国土座標第Ⅶ座標系に準拠する。

10．調査記録及び出土品は愛知県埋蔵文化財調査センターにて保管する。

目　次

第Ⅰ章　遺跡調査の概要 ―― 1
　第1節　遺跡の立地と清須城の沿革 ―― 1
　第2節　調査に至る経緯と調査経過 ―― 2
　第3節　調査概要 ―― 2

第Ⅱ章　遺構 ―― 5
　第1節　基本層序と遺構の概要 ―― 5
　第2節　中世の遺構 ―― 8
　第3節　城下町期の遺構 ―― 20
　第4節　朝日村期の遺構 ―― 31

第Ⅲ章　遺物 ―― 46
　第1節　古代の土器・陶器 ―― 46
　第2節　中世Ⅰ期の土器・陶磁器 ―― 47
　第3節　中世Ⅱ期の土器・陶磁器 ―― 89
　第4節　城下町期の土器・陶磁器 ―― 102
　第5節　朝日村期の土器・陶磁器 ―― 154
　第6節　木製品 ―― 178
　第7節　石製品 ―― 204
　第8節　金属製品 ―― 211

第Ⅳ章　分析・考察 ―― 214
　第1節　人・獣骨類の出土した大溝 ―― 214
　第2節　朝日西遺跡関連出土木製品材質同定 ―― 223
　第3節　清須城下町から出土した漆器 ―― 233

第Ⅴ章　まとめ ―― 244

付表 ―― 249
　遺構一覧表 ―― 250
　遺物観察表 ―― 276

図 版 目 次

図版1　59A・B区全景
図版2　59C区全景
図版3　59D区全景
図版4　59E区全景
図版5　60C区全景
図版6　60B区全景
図版7　59E区全景
図版8　59F・G区全景
図版9　59G区全景
図版10　60E・D区　外堀（SD222）
図版11　59C区全景
図版12　SD133土層
図版13　SD200・SD215土層
図版14　SD177全景(1)
図版15　SD177全景(2)
図版16　SD177獣骨出土状況(1)
図版17　SD177獣骨出土状況(2)
図版18　SD177獣骨出土状況(3)
図版19　SD177人骨出土状況
図版20　SD177土師質皿出土状況
図版21　SD177遺物出土状況(1)
図版22　SD177遺物出土状況(2)
図版23　遺物出土状況(1)
図版24　遺物出土状況(2)
図版25　遺物出土状況(3)
図版26　井戸(1)
図版27　井戸(2)
図版28　井戸(3)
図版29　井戸(4)
図版30　井戸(5)
図版31　井戸(6)
図版32　井戸(7)
図版33　井戸(8)
図版34　出土遺物・陶磁器(1)
図版35　出土遺物・陶磁器(2)
図版36　出土遺物・陶磁器(3)
図版37　出土遺物・陶磁器(4)
図版38　出土遺物・陶磁器(5)
図版39　出土遺物・陶磁器(6)
図版40　出土遺物・陶磁器(7)
図版41　出土遺物・陶磁器(8)
図版42　出土遺物・陶磁器(9)
図版43　出土遺物・陶磁器(10)
図版44　出土遺物・陶磁器(11)
図版45　出土遺物・陶磁器(12)
図版46　出土遺物・陶磁器(13)
図版47　出土遺物・陶磁器(14)
図版48　出土遺物・陶磁器(15)
図版49　出土遺物・陶磁器(16)
図版50　出土遺物・陶磁器(17)
図版51　出土遺物・陶磁器(18)
図版52　出土遺物・陶磁器(19)
図版53　出土遺物・陶磁器(20)
図版54　出土遺物・木製品(1)
図版55　出土遺物・木製品(2)
図版56　出土遺物・木製品(3)
図版57　出土遺物・木製品(4)
図版58　出土遺物・木製品(5)
図版59　出土遺物・木製品(6)
図版60　出土遺物・木製品(7)
図版61　出土遺物・木製品(8)
図版62　出土遺物・木製品(9)
図版63　出土遺物・木製品(10)
図版64　出土遺物・石製品

挿 図 目 次

第１図　遺跡の位置
第２図　調査地点の位置および地形模式図
第３図　遺構配置図
第４図　調査地点の自然立地
第５図　中世遺構配置図
第６図　建物跡模式図(1)
第７図　溝セクション図(1)
第８図　溝セクション図(2)
第９図　溝セクション図(3)
第10図　井戸実測図(1)
第11図　井戸実測図(2)
第12図　井戸実測図(3)
第13図　井戸実測図(4)
第14図　井戸実測図(5)
第15図　井戸実測図(6)
第16図　井戸実測図(7)
第17図　城下町期遺構配置図
第18図　朝日村期遺構配置図
第19図　建物跡模式図(2)
第20図　建物跡模式図(3)
第21図　溝セクション図(4)
第22図　溝セクション図(5)
第23図　井戸実測図(8)
第24図　井戸実測図(9)
第25図　井戸実測図(10)
第26図　井戸実測図(11)
第27図　井戸実測図(12)
第28図　井戸実測図(13)
第29図　井戸実測図(14)
第30図　井戸実測図(15)
第31図　発掘調査区年度別区割り
第32図　遺構図(1)
第33図　遺構図(2)
第34図　遺構図(3)
第35図　遺構図(4)

第36図　遺構図(5)
第37図　遺構図(6)
第38図　遺構図(7)
第39図　遺構図(8)
第40図　遺構図(9)
第41図　遺構図(10)
第42図　遺構図(11)
第43図　遺構図(12)
第44図　古代の遺物
第45図　中世山茶椀・土師器器種分類図
第46図　中世Ⅰ期の遺物(1)　ＳＥ52
第47図　中世Ⅰ期の遺物(2)　ＳＥ52、ＳＤ55
第48図　中世Ⅰ期の遺物(3)　ＳＫ271、その他
第48図　中世Ⅰ期の遺物(4)　包含層
第50図　中世Ⅰ期の遺物(5)　ＳＫ492、ＳＫ491、ＳＫ460
第51図　中世Ⅰ期の遺物(6)　包含層
第52図　中世Ⅰ期の遺物(7)　ＳＤ09(1)
第53図　中世Ⅰ期の遺物(8)　ＳＤ09(2)
第54図　中世Ⅰ期の遺物(9)　ＳＤ09(3)
第55図　中世Ⅰ期の遺物(10)　ＳＤ09(4)
第56図　中世Ⅰ期の遺物(11)　ＳＤ09(5)
第57図　中世Ⅰ期の遺物(12)　ＳＤ09(6)
第58図　中世Ⅰ期の遺物(13)　ＳＤ09(7)
第58図　中世Ⅰ期の遺物(14)　ＳＤ09(8)、ＳＫ168、ＳＥ55
第60図　中世Ⅰ期の遺物(15)　ＳＤ76(1)
第61図　中世Ⅰ期の遺物(16)　ＳＤ76(2)
第62図　中世Ⅰ期の遺物(17)　ＳＤ76(3)、ＳＫ232
第63図　中世Ⅰ期の遺物(18)　ＳＤ133(1)
第64図　中世Ⅰ期の遺物(19)　ＳＤ133(2)
第65図　中世Ⅰ期の遺物(20)　ＳＤ133(3)
第66図　中世Ⅰ期の遺物(21)　ＳＤ133(4)
第67図　中世Ⅰ期の遺物(22)　ＳＤ133(5)
第68図　中世Ⅰ期の遺物(23)　ＳＤ133(6)
第69図　中世Ⅰ期の遺物(24)　ＳＤ133(7)
第70図　中世Ⅰ期の遺物(25)　ＳＤ133(8)
第71図　中世Ⅰ期の遺物(26)　ＳＤ133(9)

第72図　中世Ⅰ期の遺物(27)　ＳＫ316、包含層
第73図　中世Ⅰ期の遺物(28)　ＳＤ55(1)
第74図　中世Ⅰ期の遺物(29)　ＳＤ55(2)
第75図　中世Ⅰ期の遺物(30)　ＳＫ400、ＳＫ388、ＳＫ455
第76図　中世Ⅰ期の遺物(31)　ＳＫ360、ＳＫ335
第77図　中世Ⅱ期の遺物(1)　ＳＤ164(1)
第78図　中世Ⅱ期の遺物(2)　ＳＤ164(2)
第80図　中世Ⅱ期の遺物(3)　ＳＤ164(3)
第80図　中世Ⅱ期の遺物(4)　ＳＤ164(4)
第81図　中世Ⅱ期の遺物(5)　ＳＤ108(1)
第82図　中世Ⅱ期の遺物(6)　ＳＤ108(2)
第83図　中世Ⅱ期の遺物(7)　ＳＤ108(3)
第84図　中世Ⅱ期の遺物(8)　ＳＤ108(4)
第85図　中世Ⅱ期の遺物(9)　ＳＤ108(5)
第86図　中世Ⅱ期の遺物(10)　ＳＤ133、その他
第87図　中世Ⅱ期の遺物(11)　その他
第88図　城下町期の遺物(1)　ＳＫ137、ＳＫ541
第89図　城下町期の遺物(2)　ＳＤ42
第90図　城下町期の遺物(3)　ＳＥ62、ＳＥ83、ＳＫ242
第91図　城下町期の遺物(4)　ＳＫ96
第92図　城下町期の遺物(5)　ＳＤ63
第93図　城下町期の遺物(6)　ＳＫ282、ＳＫ293
第94図　城下町期の遺物(7)　ＳＤ27(1)
第95図　城下町期の遺物(8)　ＳＤ27(2)
第96図　城下町期の遺物(9)　ＳＤ27(3)
第97図　城下町期の遺物(10)　ＳＤ27(4)
第98図　城下町期の遺物(11)　ＳＤ27(5)
第99図　城下町期の遺物(12)　ＳＤ27(6)
第100図　城下町期の遺物(13)　ＳＤ27(7)
第101図　城下町期の遺物(14)　ＳＫ46(1)
第102図　城下町期の遺物(15)　ＳＫ46(2)
第103図　城下町期の遺物(16)　ＳＤ200(1)
第104図　城下町期の遺物(17)　ＳＤ200(2)
第105図　城下町期の遺物(18)　ＳＤ200(3)
第106図　城下町期の遺物(19)　ＳＤ200(4)
第107図　城下町期の遺物(20)　ＳＤ177(1)

第108図　城下町期の遺物21　ＳＤ177(2)
第109図　城下町期の遺物22　ＳＤ177(3)
第110図　城下町期の遺物23　ＳＤ177(4)
第111図　城下町期の遺物24　ＳＤ177(5)
第112図　城下町期の遺物25　ＳＤ177(6)
第113図　城下町期の遺物26　ＳＤ177(7)
第114図　城下町期の遺物27　ＳＤ177(8)
第115図　城下町期の遺物28　ＳＤ177(9)
第116図　城下町期の遺物29　ＳＤ177(10)
第117図　城下町期の遺物30　ＳＤ177(11)
第118図　城下町期の遺物31　ＳＤ177(12)
第119図　城下町期の遺物32　ＳＤ177(13)
第120図　城下町期の遺物33　ＳＤ177(14)
第121図　城下町期の遺物34　その他(1)
第122図　城下町期の遺物35　その他(2)
第123図　城下町期の遺物36　その他(3)
第124図　城下町期の遺物37　その他(4)
第125図　城下町期の遺物38　その他(5)
第126図　城下町期の遺物39　輸入陶磁器　白磁(1)
第127図　城下町期の遺物40　輸入陶磁器　白磁(2)・青白磁・青磁(1)
第128図　城下町期の遺物41　輸入陶磁器　青磁(2)
第129図　城下町期の遺物42　輸入陶磁器　青磁(3)
第130図　城下町期の遺物43　輸入陶磁器　青磁(4)
第131図　城下町期の遺物44　輸入陶磁器　青磁(5)・朝鮮陶器
第132図　城下町期の遺物45　輸入陶磁器　青花(1)
第133図　城下町期の遺物46　輸入陶磁器　青花(2)
第134図　城下町期の遺物47　輸入陶磁器　青花(3)
第135図　朝日村期の遺物(1)　ＳＫ375
第136図　朝日村期の遺物(2)　ＳＤ49(1)
第137図　朝日村期の遺物(3)　ＳＤ49(2)
第138図　朝日村期の遺物(4)　ＳＤ49(3)
第139図　朝日村期の遺物(5)　ＳＤ49(4)
第140図　朝日村期の遺物(6)　ＳＤ49(5)
第141図　朝日村期の遺物(7)　ＳＤ11
第142図　朝日村期の遺物(8)　ＳＫ305(1)
第143図　朝日村期の遺物(9)　ＳＫ305(2)

第144図　朝日村期の遺物(10)　ＳＫ305(3)
第145図　朝日村期の遺物(11)　ＳＫ305(4)
第146図　朝日村期の遺物(12)　ＳＫ305(5)
第147図　朝日村期の遺物(13)　ＳＫ305(6)
第148図　朝日村期の遺物(14)　ＳＫ139(1)
第149図　朝日村期の遺物(15)　ＳＫ139(2)
第150図　朝日村期の遺物(16)　ＳＫ139(3)
第151図　朝日村期の遺物(17)　ＳＫ139(4)
第152図　朝日村期の遺物(18)　ＳＫ139(5)
第153図　朝日村期の遺物(19)　ＳＫ139(6)
第154図　朝日村期の遺物(20)　ＳＫ139(7)
第155図　瓦質製品(1)
第156図　瓦質製品(2)
第157図　木製品(1)　ＳＤ177(1)
第158図　木製品(2)　ＳＤ177(2)
第159図　木製品(3)　ＳＤ177(3)
第160図　木製品(4)　ＳＤ177(4)
第161図　木製品(5)　ＳＤ177(5)
第162図　木製品(6)　ＳＤ177(6)
第163図　木製品(7)　ＳＤ177(7)
第164図　木製品(8)　ＳＤ177(8)
第165図　木製品(9)　ＳＤ177(9)
第166図　木製品(10)　ＳＤ200(1)
第167図　木製品(11)　ＳＤ200(2)
第168図　木製品(12)　ＳＤ200(3)
第169図　木製品(13)　ＳＤ200(4)
第170図　木製品(14)　ＳＥ83
第171図　木製品(15)　その他(1)
第172図　木製品(16)　その他(2)
第173図　石製品(1)　石鍋・温石
第174図　石製品(2)　硯・砥石(1)
第175図　石製品(3)　砥石(2)
第176図　石製品(4)　砥石(3)・叩き石・パンドコ・碁石・他
第177図　石製品(5)　石臼
第178図　石製品(6)　宝篋印塔・五輪塔・他
第179図　金属製品(1)

第180図　金属製品(2)
第181図　人・獣骨類種別構成
第182図　人・獣骨類出土分布図
第183図　人・獣骨類出土状態図(1)
第184図　人・獣骨類出土状態図(2)
第185図　頭骨各形質の分類規準
第186図　遺物出土状態
第187図　人骨
第188図　樹種同定遺物実測図(1)
第189図　樹種同定遺物実測図(2)
第190図　漆器変遷図
第191図　漆器紋様構成変遷図
第192図　漆器紋様分類図

第Ⅰ章　遺跡調査の概要

第１節　遺跡の立地と清須城の沿革

朝日西遺跡は、濃尾平野を南下する五条川の中流域に形成された、標高５ｍ前後の自然堤防帯に立地し、行政的には、愛知県西春日井郡清洲町大字朝日に所在する。

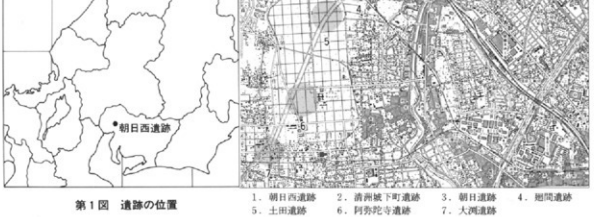
こんにち、清須城の天主台と本丸推定地とされる部分は清洲公園（清須城故地）となっているが、それは調査区から南西の方向約500ｍの地点に位置している。この本丸推定地は東海道新幹線及びＪＲ東海道本線により、分断されている。なお清須城の北約５kmには下津城（稲沢市）、北東７kmには岩倉城（岩倉市）、北東約10kmには小牧山城（小牧市）、南西約６kmには那古野城（名古屋市中区）がある。

清須城は、織田信長の居城地としてしられているが、城自体は、応永年間（1394～1428）に尾張守護職であった斯波氏により築かれたとされており、文明10年（1478）頃には尾張守護所が下津（稲沢市下津町）から清須に移され、この地方の中心的都市として機能していたようである。

また、信長以後の豊臣、徳川政権下でも、織田信雄、豊臣秀次、福島正則、松平忠吉らの有力大名が次々と配置され、慶長年間に行われた「清須越」直前には、人口数万を擁した全国屈指の城下町となっていた。

三重の堀に囲まれ、東西約1.5km、南北2.7kmにわたって街づくりがおこなわれた清須城下町も、慶長15年（1610）から３ヶ年の歳月をかけた「清須越」によって名古屋の地に移り、城下町は解体された。その後は美濃路沿いの「清洲宿」と周囲に点在する農村へと変貌していった。

発掘調査以前に知られていた清須城下町に関する資料としては、『春日井郡清須村古城絵図』（名古屋市蓬左文庫所蔵）と伝清須城出土鯱瓦、金箔軒丸瓦・軒平瓦、鳥衾飾瓦などの採集された各種の瓦があるのみであった。しかし、現在では発掘調査面積は70000㎡に達し、研究も進められ、城の遺構および家臣団をはじめとした城下に集まった人々の生活や文化をある程度伺うことができるようになっ



第１図　遺跡の位置

1．朝日西遺跡　2．清洲城下町遺跡　3．朝日遺跡　4．旭間遺跡
5．土田遺跡　6．阿弥陀寺遺跡　7．大渕遺跡

ている。　　（小澤一弘）

第２節　調査に至る経緯と調査経過

本調査は名古屋市域の周辺部を環状に囲む道路、名古屋環状２号線（一般国道302号）の建設に伴う調査として、昭和56年度から財団法人愛知県教育サービスセンター埋蔵文化財調査部が実施し、昭和60年度以降は同調査部を発展的解消して設立された財団法人愛知県埋蔵文化財センターが担当した。

朝日西遺跡は弥生時代の環濠集落、朝日遺跡の西に位置し、当初は弥生時代から古墳時代にかけての遺跡として調査を開始した。このため、昭和56年度の調査では、朝日遺跡の包含層相当の土層まで掘削し、良好な形での遺構・遺物は検出できなかった。しかし、この時、調査目的の遺構面より上から清須城の時期および中世の拠点的集落などの遺構面・遺物が発見され、昭和57年度以降はこの面を調査する形で調査を行った。遺跡の内容は「清須城下町」という都市遺跡を含むが、当初、遺跡の範囲と内容が不明瞭であったため、五条川以東を「朝日西遺跡」、以西を「清洲城下町遺跡」として調査を実施した。

なお本報告書作成にかかる整理作業については、平成２年及び３年度の２ケ年を充てた。

（小澤一弘）

第３節　調査概要

次章以下において、調査成果を詳述するが、本節でその概要をあらかじめ簡潔に示す。

発掘調査面積は、昭和56年度1,010㎡、57年度800㎡、58年度2,000㎡、59年度6,407㎡、60年度3,702㎡で総計13,919㎡に及ぶ。調査区は、各年度毎に排土置き場、土地条件等を勘案して分割し、国土座標を基準にしたグリッドを設定して調査を進めた。調査当時に使用した調査区名、遺構登録番号は本書において使用せず、新遺構番号つけたが、その対照は遺構一覧表に示した。

調査の結果、11世紀から15世紀にかけての集落跡と、16世紀後半から17世紀初の清須城下町の遺構群、そして江戸時代の村落跡が確認された。

昭和59年度の調査では中堀と外堀の間に位置し、寺社地が推定される地区の溝ＳＤ200から「文禄弐年（1593）」、「慶長三年（1598）」、「慶長四年（1599）」の紀年銘資料が多数の遺物とともに出土した。またＳＤ177からは人・獣骨類が出土し、その中の左大腿骨には深い切込みがつけられていた。

昭和60年度の調査では外堀が検出され、この外堀をもって清須城下町の東限が確認されたのである。外堀からは「白さたう　壱斤」とかかれた曲物や「かちや町　六　十六間三尺三寸　是より北（カ）」と書かれた木札が出土している。

この他の遺構としては、屋敷地等を区画したと思われる幅２ｍから５ｍ程度の溝や桶組みの井戸、廃棄土坑等がある。

出土品は陶磁器を中心に、木製品、石製品、金属製品と多種多様なものが大量に出土した。その数量は27ℓ入りコンテナーにして1,300箱を数える。　　（小澤一弘）

第1表　清須城及びその城下町遺跡に関する略年表

西　暦	年　号	城　主	尾張・清須城下町	全　　国
(14C)			「神鳳抄」に「清須御厨」の記載（『清須』の初見）	
1400	応永7		斯波義重尾張守護となり、織田常松を守護代とする この頃、斯波義重により清須築城か	
1416	〃 23		連歌師正徹、清須の景観を歌に詠む	
1452	享徳1		斯波義敏尾張守護となる	
1467	応仁1		東軍斯波義敏の軍尾張へ下向	応仁の乱はじまる
1475	文明7		守護斯波義廉、尾張にくだる	
1478	〃 10		尾張守護所下津より清須に移る（文明8年とする説もあり） 清須城の尾張守護代織田敏定を岩倉の織田敏広、美濃の斎藤妙椿が包囲攻撃	
1479	〃 11		清須、岩倉の両織田氏和睦、尾張の分割支配はじまる	
1482	〃 14		清須城内で日蓮宗法論おこなわれる	
1485	〃 17		万里集九　織田敏定邸で犬追物を見る	
1522	大永2		駿河の今川氏親那古野城を築き、氏豊を置く	
1532	天文1		織田信秀、清須・小田井の織田氏とあらそう	
1534	〃 3		織田信長生まれる	
1537	〃 6		豊臣秀吉生まれる	
1542	〃 11		徳川家康生まれる	
1543	〃 12			種子島に鉄砲が伝わる
1549	〃 18			キリスト教伝来
1551	〃 20		織田信秀没	
1555	弘治1	織田信長	織田守護代家滅亡、信長清須城に入る	
1557	〃 3		織田信長、弟信行を清須城内で殺す	
1558	永禄1		信長、岩倉織田氏への攻略はじめる 信長、東美濃攻略のため小牧山に築城	
1559	〃 2		信長、岩倉の織田信賢を下し、尾張の実質支配を完成	
1560	〃 3		桶狭間の戦、今川義元敗死	
1561	〃 4		信長、尾張守護斯波義銀を追放	
1562	〃 5		信長、家康と同盟	
1563	〃 6		信長、小牧山へ居城を移す（小牧越）	
1567	〃 10		信長、岐阜へ居城を移す	美濃加納に楽市楽座令
1568	〃 11		信長、将軍足利義昭を奉じ入京	
1573	天正1			室町幕府滅亡
1574	〃 2		織田信忠、尾張の支配権を与えられる	
1575	〃 3	（信忠）	信忠、岐阜城主となる	長篠の戦
1576	〃 4		信忠、尾張国中の道路幅を定め整備	信長安土築城
1582	〃 10	（信雄）	清須会議の結果、織田信雄が尾張、伊勢、伊賀領主となる	本能寺の変で信長、信忠没
1584	〃 12		小牧、長久手の戦	
1585	〃 13		天正大地震、岡崎城等崩壊（天正13年11月29日）	秀吉、関白となる

西暦	年号	城主	尾張・清須城下町	全国
1586	〃 14	織田信雄	木曽川大洪水 この頃、信雄居城を清須に移す 「天正十四」銘丸瓦	
1590	天正18	豊臣秀次	信雄が追放され、豊臣秀次が尾張領主となる	秀吉天下統一
1591	〃 19		秀次、尾張の検地を実施	
1593	文禄 2		秀吉、尾張の再検地を実施 清須町人の家数調査実施（家数2,729軒） 清須町周辺及び津島、熱田までの道路ぞいの荒地を新田開発 「文禄貳年」銘碗	
1594	〃 3		清須来住の農民を帰郷させる	
1595	〃 4	福島正則	秀吉、秀次を追放し、福島正則を清須へ転封 「慶長四年」銘窄塔瓷	
1600	慶長 5	松平忠吉	家康、関ヶ原の合戦後、四男松平忠吉を清須へ転封	関ヶ原の戦
1601	〃 6			東海道に伝馬制を制定
1603	〃 8			徳川幕府成立
1607	〃 12	徳川義直	松平忠吉死去に伴い徳川義直（家康九男）が甲府より転封 朝鮮通信使が清須を通過、その繁栄を記録する	
1608	〃 13		伊奈忠次尾張の検地を実施、尾張国洪水	
1609	〃 14		徳川義直尾張に入る。家康名古屋築城を決定	
1610	〃 15		名古屋築城（清須越はじまる） 堀川の開削工事はじまる。庄内川洪水 清須から藩士、町人、寺社などの移住はじまる	
1613	〃 18		清須越ほぼ終了する	
1614	〃 19		五条川洪水	
1615	元和 1			大坂夏の陣(豊臣氏滅亡)
1616	2		徳川義直駿府より入国 清須に伝馬所置かれる	
1624	寛永 1		久証寺甚目寺村よりうつされる	
1637	〃 14			島原の乱
1646	正保 3		清須新田村の最終的な検地おこなわれる	
1662	寛文 2		尾張に大地震	
1668	〃 8		桑名町の清須宿、火災のため神明町に移転	
1669	〃 9		五条川落合付近瀬替え	
1707	宝永 4		天野信景「総社参詣記」に清須城をしのぶ	
1752	宝暦 2		清須宿の町幅を広げ裏道をつくる	
1757	〃 7		五条川大洪水、清須地内堤防三ヶ所決潰	
1794	寛政 6		五条川瀬替普請	
1867	慶応 3			大政奉還
1886	明治19		武豊線、東海道線（熱田－一宮）開通、清洲駅設置	
1891	〃 24		濃尾大震災により建物の大半が倒壊	
1922	大正11		清洲公園開設	

（『清須―織豊期の城と都市―資料編』より転載）

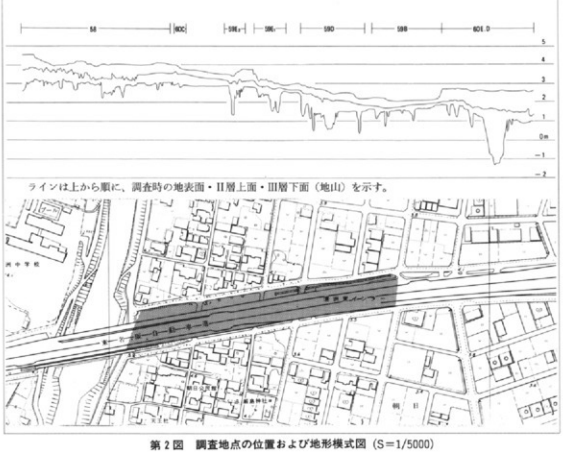
第Ⅱ章　遺構

第１節　基本層序と遺構の概要

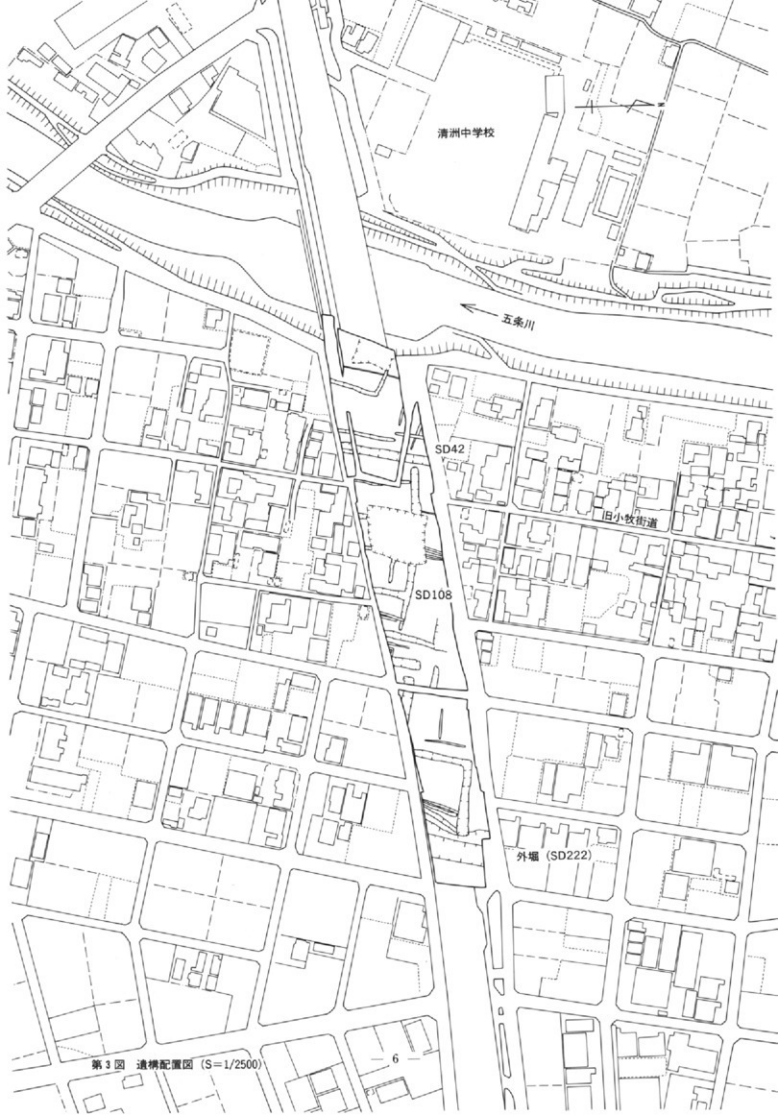
１．遺跡の立地　朝日西遺跡は、濃尾平野の南東部に位置し、現地形では五条川左岸に展開する自然堤防上に所在する遺跡である。この地点は、最盛時の清須城下町の範囲内であると共に、朝日遺跡に西隣している。調査区は南北に伸びる自然堤防を東西に横断する形で設定され、西は微高地・東は後背湿地といった微地形的な変化に富んでいる。従って、調査地点により土層が異なる場合がある。

２．層序　本遺跡の基本層序は、西半部の自然堤防上においては、Ⅰ層：表土、Ⅱ層：褐色土、Ⅲ層：暗褐色土、Ⅳ層：茶褐色土、Ⅴ層：黄茶褐色土、Ⅵ層：灰色砂質土、Ⅶ層：黒灰色粘土、Ⅷ層：青灰色シルトの順である。また、東半部の層序は、後背湿地に向かうに随いⅣ層以下の土層を欠く形で変化し、最東部はⅠ層、Ⅱ層、Ⅲ層、Ⅶ層、Ⅷ層と堆積する。Ⅷ層は朝日遺跡の基盤層と同一で、朝日遺跡よりも約1.2m低い。Ⅴ層では遺構は確認できなかったものの、この層からは古墳時代の遺物が若干出土している。Ⅳ層は古墳時代以降に２ｍほど堆積した層位で、Ⅳ層上面で古代末以降の遺構が掘削されている。Ⅱ層は16～17世紀の遺物が出土する包含層である。

３．遺構の概要　遺構は１中世、２城下町期（16～17世紀初）、３朝日村期（近世）に大別され、各時期ごとに記述を進める。各時期とも遺構には溝、建物、井戸、土坑などがある。深度の深い溝・井戸の下場の標高は地点により異なる。下図（第２図）を参照されたい。　（鈴木正貴・遠藤才文）



第２図　調査地点の位置および地形模式図（S＝1/5000）



第3図　遺構配置図（S＝1/2500）

第4図　調査地点の自然立地（S＝1/50000）　アミは自然堤防を示す

（明治26年作成地形図と現況地質図をもとに作成）

第２節　中世の遺構

中世の遺構には、掘立柱建物跡や溝、畝、井戸、土坑などがある。遺構の分布を見ると、西側の自然堤防上は区画溝や土坑・ピットなどが密集するのに対し、東側の自然堤が下がった地点では溝・土坑・ピットなどはあまり存在せず、井戸が多く点在している。このことから、西側の自然堤防上に主要な屋敷が展開し、東では零細な屋敷もしくは水汲み場などがあったことが想定できる。地形が遺構の分布状況を左右していることがうかがえよう。主要な遺構の方位はＮ－18°－Ｅ前後を示しており、五条川の西に所在する清洲城下町遺跡の東側自然堤防に存在する中世遺構と連続するであろう。

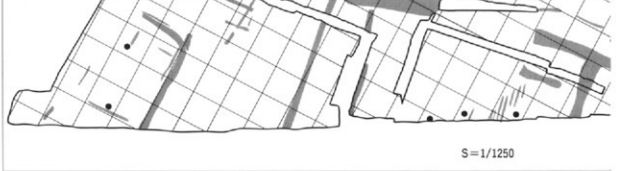
中世は古瀬戸（施釉陶器）を含まない時期（中世Ⅰ期）と古瀬戸を含む時期（中世Ⅱ期）に区分できるが、中世Ⅰ期はさらに４期にそれぞれ細分できる。ここで、各小期ごとに遺構の展開状況を述べて、中世の「朝日西」集落の変遷を概観したい。

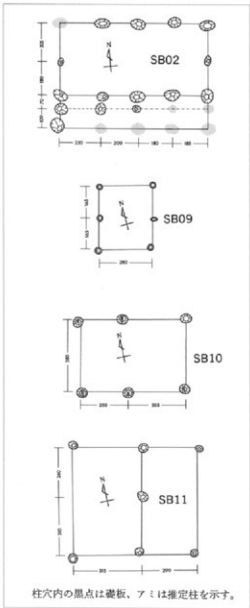
中世Ⅰ－１期（11世紀中葉～11世紀後葉）・中世Ⅰ－２期（12世紀前葉～12世紀中葉）は他の時期に比べて遺構は稀薄である。区画溝は存在せず、自然堤防のやや下がった地点でＳＥ52といった井戸・土坑などが点在する。

中世Ⅰ－３期（12世紀後葉～13世紀前葉）・中世Ⅰ－４期（13世紀中葉～13世紀後葉）になると、屋敷を囲繞する区画溝が登場する。調査区の最西端に所在するＬ字に屈曲する溝（ＳＤ09）で囲まれた屋敷、Ｔ字に交わる溝（ＳＤ108・ＳＤ133）で囲まれた屋敷などが確認できる。溝の規模は幅２～３ｍ、深さ0.5ｍである。Ⅰ－４期になると、地盤が低い東部で井戸が点在するようになる。

中世Ⅱ期（14世紀～15世紀）では、中世Ⅰ－４期と同じく屋敷を溝で囲む遺構配置をなすが、溝の規模が大きくなり、幅４～５ｍのものが出現する。溝で囲まれた屋敷の中には１個づつ井戸が配置される。自然堤防の縁に南北に走る溝（ＳＤ164）もこの時期に掘削されたものと思われ、溝で囲まれた屋敷が展開する領域とそうでない領域とを分離する施設が具現化している。

なお、詳細な時期が確定できない遺構として、掘立柱建物や畝がある。掘立柱建物は４棟確認できたが、この他にもピットが無数に所在することから、今回提示したもの以外にも掘立柱建物は存在していたことが考えられる。特に、溝で囲まれた屋敷が展開する領域には、ピットが多数存在しており、遺構配置などを考える上でこの点を考慮しなければならないだろう。





第6図　建物跡模式図(1)（単位はcm）

1．掘立柱建物

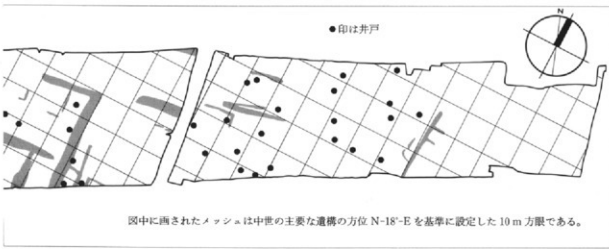
掘立柱建物は、西側の自然堤防上（58区）で1棟、西側の自然堤の縁辺付近（59C区）で1棟、東側の自然堤が下がった地点（59AB区）で2棟検出されている。なお、西側の自然堤防上には無数のピットが展開しており、今回報告したもの以外の建物の存在も予想される。

SB02（第6図）　SD09に囲まれた2間×4間の東西棟掘立柱建物である。柱間寸法は1.8mまたは2.0mを測る。南面に2列の柱穴が並び、1.7mの庇を持つか、幅1.0mの縁があった可能性がある。柱穴の規模は2種類あり、深さ0.2mと0.5mを測る。建物方位はE－5°－Sで、主要遺構の方位N－18°－Eとは異なる。

SB09（第6図）　自然堤縁辺部に所在する1間（2.8m）×2間（3.3m）の小規模な南北棟掘立柱建物で、梁行の柱間寸法は1.65mを測る。建物方位はSD164・SD166に対応する。

SB10（第6図）　59A区で検出された1間（3.8m）×2間（5.55m　西から2.5m、3.05m）の小規模な東西棟掘立柱建物である。北東隅を除く柱掘形には木製の礎板が残存していた。

SB11（第6図）　59B区で検出された2間（5.7m　北から3.1m、2.6m）×2間（6.05m　西から3.15m、2.9m）の東西棟掘立柱建物で、東西1間分づつに仕切られる。SB10の南東に所在し、方位が共通している。

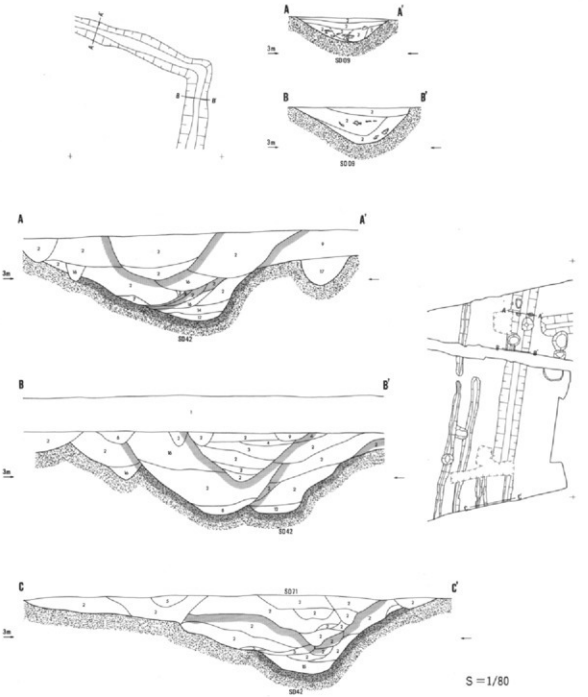


第5図　中世遺構配置図

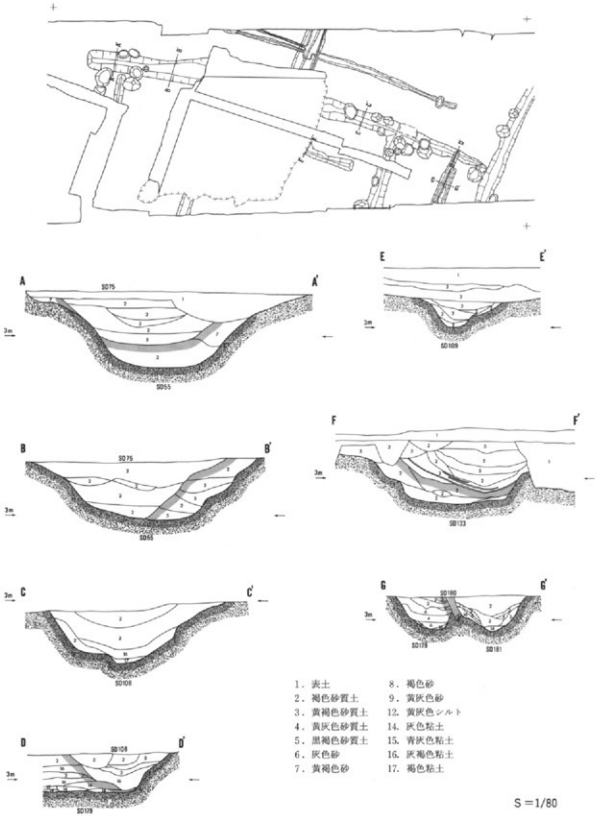
2．溝

溝は遺構の主体を成すもので、その規模は多種多様である。すべて素掘りで護岸施設を伴うものは存在せず、方位はN－18°－Eに強く規制されている。西側の自然堤防上に多く分布し、東側の低地部分では規模が小さいものが数条存在する。溝の機能は用水・排水・区画などが想定されるが、水流については詳らかにできないものが多い。ここでは主要なものについて記述する。

ＳＤ09（第７図）　西側の自然堤防上（58区）に所在する。直角より大きめの角度を持って折れ曲が



第７図　溝セクション図(1)



第8図　溝セクション図(2)

る溝で、規模は幅1.3m～3.8m、深さ0.4m～0.8mを測る。南北の方位はN－23°－Eで、南北溝と東西溝では埋土が異なっている。中層は炭化物を含む土層で遺物が多量に出土している。屋敷を区画する溝と思われる。Ⅰ－3期。

SD42（第7図）　西側自然堤の中央部、現小牧街道の東に走る南北溝で、59F区・59G区で検出さ

れた。57区・58区ではプランが確認できなかったが、断面観察から第７図のように復元した。掘り返しが少なくとも３回は行われ、最上層は城下町期に掘削されている。

ＳＤ55（第８図）　自然堤の中央部を東西に走る溝で、あるいはＳＤ108と同一の可能性がある。規模は幅4.0m～6.0m、深さ1.4m～1.8mを測り、ＳＤ75に掘り返されている。下層からⅠ－１期（11世紀中葉～11世紀後葉）の遺物が出土したものの、他の遺構との関連から見て時期的な問題が残る。現小牧街道を横断していることから、ＳＤ55の地割りを否定して小牧街道が設定されたことになる。

ＳＤ109（第８図）　59Ｅ区で検出された東西溝で、ＳＤ108と併走するが13m程で止まる。

ＳＤ108（第８図）　59Ｅ区に所在する東西溝で、ＳＤ55と同一の可能性があり、掘り返しが認められる。ＳＤ179・ＳＥ55を切っており、ＳＤ164の手前で止まっている。Ⅱ期に属する。

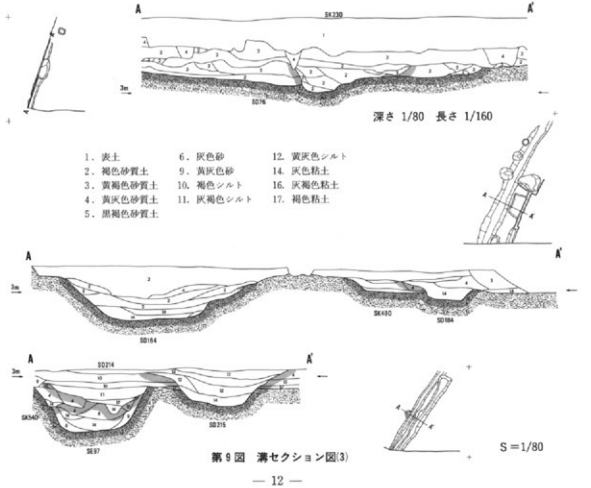
ＳＤ133（第８図）　59Ｅ区で検出された南北溝で、ＳＤ108と連結している。幅3.5m～4.5mを測り、ＳＥ48・ＳＥ49・ＳＥ50に切られる。ＳＤ108と共に屋敷を区画する溝であろう。Ⅰ－３期。

ＳＤ179（第８図）　ＳＤ108と直交するが、ＳＤ108・ＳＤ181に切られる。

ＳＤ76（第９図）　60Ｃ区で検出された現小牧街道と併走する南北溝で、ＳＫ230に切られる。北端部の形状が不明であるが、幅1.0m～1.6mを測り、Ⅰ－３期の遺物が出土した。

ＳＤ164（第９図）　59ＣＤ区で検出された南北溝で、北部西肩は検出できなかった。幅3.2m～4.4mを測り、断面形は逆台形を呈す。西側自然堤に展開する屋敷群の外側を区画する溝であろう。Ⅱ期。

ＳＤ184（第９図）　ＳＤ164と併走する溝で、屋敷群の外側を区画するものであろう。



第９図　溝セクション図(3)

3．畝

溝のうち、規模が幅0.2m～0.6m、深さ0.1m～0.5mの溝が数条平行して走るものがある。これらは畑であるか否かは問題があるが、畝状遺構として報告する。

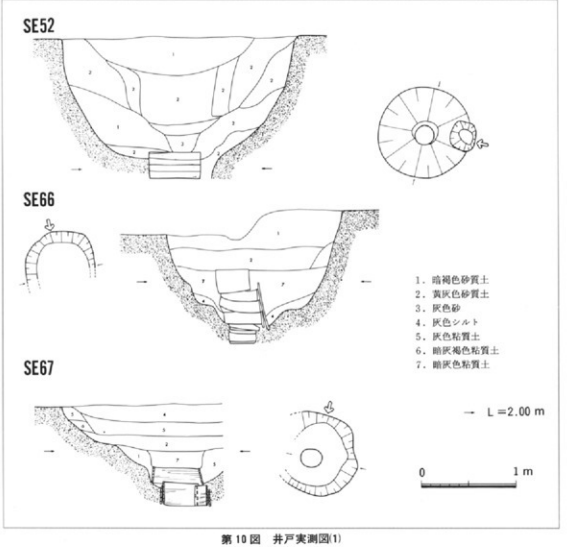
畝は、調査区西端部の畝群A（SD01～SD04）、SD09に囲まれた屋敷内の畝群B（SD13～SD16）、59E区の北の畝群C（SD101～SD105）、59E区の南の畝群D（SD123～SD127）、がある。畝群B・畝群Cは東西方向に走る畝、畝群A・畝群Dは南北方向に走る畝であり、畝群Cを除く畝は他の遺構とは重ならない。

4．井戸

井戸は内部施設によって①方形の木組と曲物の組み合わせのもの、②曲物のみのもの、③竹材を用いたものに分類できる。井戸は廃棄の際に内部施設を抜き取った可能性があり、必ずしも残存した遺構による分類が正確とは限らないが、便宜的に整理すると以下のようになる。

①方形木組と曲物　SE66、SE55、SE90、SE91、SE95

②曲物のみ　SE52、SE67、SE72、SE74、SE75、SE80、SE93、SE92、SE96

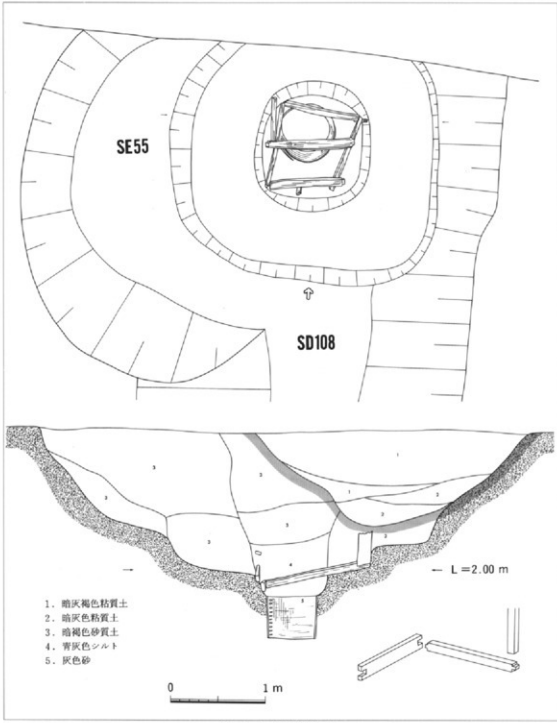


第10図　井戸実測図(1)

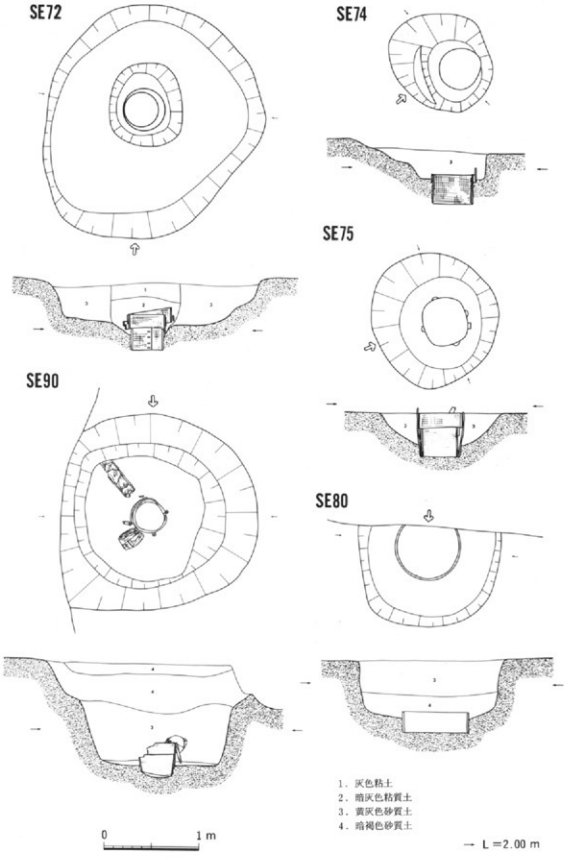
③竹材を用いたもの　ＳＥ73、ＳＥ86

東側の低地部分で検出された井戸は曲物の内部施設をもつのみで、西側の自然堤防上に分布する井戸に比べると簡略化された構造をしている。

ＳＥ52（第10図）　59Ｅ区の中央部、ＳＤ97とＳＤ108との間の位置に当たる。掘形は径2.3mの円形で、深さは1.5mを測る。掘形上半は内部施設の抜き取りの際に掘り返され、拡張された可能性がある。



第 11 図　井戸実測図(2)


SE72
SE74
SE75
SE90
SE80
1．灰色粘土
2．暗灰色粘質土
3．黄灰色砂質土
4．暗褐色砂質土
0
1 m
L＝2.00 m

第 12 図　井戸実測図(3)

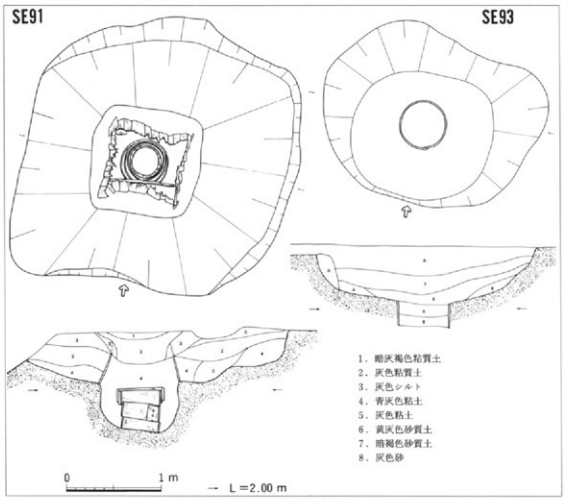
最下部には径0.55mの曲物が１段のみプランのほぼ中央に残存している。Ⅰ－１期。

ＳＥ66（第10図）　59Ｄ区の最南部に所在し、ＳＤ185を切る井戸である。掘形は半分のみ確認できたが、短径1.8mの楕円形で深さは1.4mを測る。中位から下層に曲物が５段内部構造物として設置されている。曲物の脇に縦板が残存しているが、方形の木組があったか否かは不明である。

ＳＥ67（第10図）　60Ａ区の中央部に存在し、掘形の西端部が検出できなかった。掘形は径2.3mの円形でほぼ中央に径0.5mの曲物が２段のみ存在する。

ＳＥ55（第11図）　59Ｅ区の中央部に位置し、ＳＤ108の下層から検出された。一辺5.3m程の隅丸方形の掘形で、断面形を見ると２段掘りの形状になっている。深さは2.5m。掘形中央の最下部には径0.5mの曲物が１段のみ存在し、その上位には方形の木組がある。木組は角材を「組手接」で方形に組んだ横桟で、この他には隅柱が一本残存するのみで、縦板は遺存しない。埋土は井戸構築時の裏込め土と井戸廃絶時の客土と分離できる。Ⅰ－３期に属する。

ＳＥ72（第12図）　59Ａ区の西部に所在し、ＳＥ73が隣接する。掘形は径2.3mの不定形で、深さ0.7mを測り、自然堤防上にある井戸に比べ浅い。掘形中央部には径0.4mの曲物が２段存在している。井戸の深さ及び出土状況から見て、曲物の上位に他の構造物が存在した可能性は低く、当初より曲物の

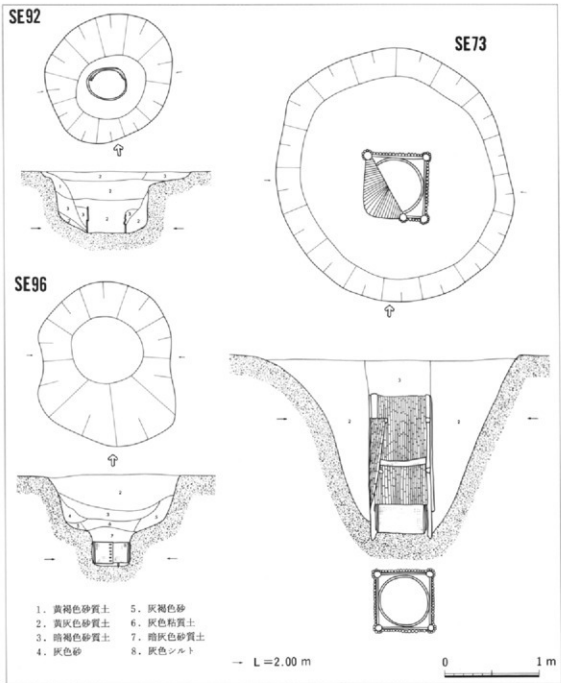


第13図　井戸実測図(4)

みを内部施設としていたものであろう。

ＳＥ74（第12図）　59Ａ区の中央部・ＳＢ10の東に位置し、ＳＤ200の下層から検出された。掘形は径1.0mの円形で、中央部よりやや東には径0.4mの曲物が１段存在する。深さは0.6mを測り、ＳＥ72と同様に浅い。

ＳＥ75（第12図）　59Ａ区の中央部・ＳＥ74の北部に所在し、ＳＤ200の下層から検出された。掘形は径1.4mの円形で、中央部には検出面から径0.5mの曲物が確認された。曲物は２段存在し、半裁竹材で固定されている。



第14図　井戸実測図(5)

ＳＥ90（第12図）　59Ｂ区の北部に所在し、ＳＤ198・211に切られる。掘形は径2.1mの円形で、中央部には径0.4mの曲物が２段存在し、丸竹材で固定している。他に横たわった状況で曲物が１個出土した。

ＳＥ80（第12図）　59Ｂ区の中央部に所在する井戸で、掘形は径2.1mの円形である。径0.7mの曲物が内部から出土した。ＳＥ90と同様、埋土は均質で井戸廃絶時に掘り返しが行われた可能性がある。

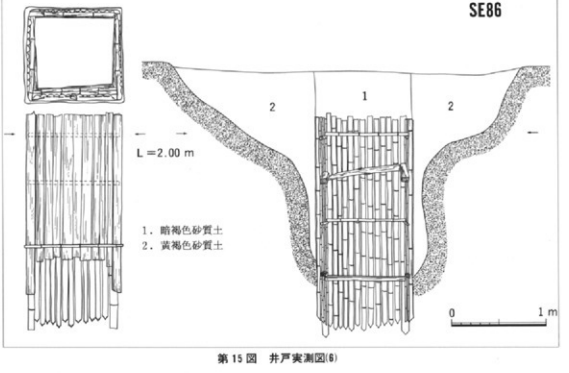
ＳＥ91（第13図）　59Ｂ区の北部に所在し、ＳＤ200に切られる。一辺約3.0mの不定方形の掘形で、最下部には径0.4mの曲物が３段のみ存在する。最上段の曲物は更に外側に曲物を重ね、その上位にある方形の木組は縦板を配列している。横桟らしき材が１本残存するが、横桟としての木組は存在しない。内部構造物は抜き取られてはいないようである。Ⅰ－４期である。

ＳＥ93（第13図）　59Ｂ区の中央部に所在する井戸で、掘形は径2.4mの不定円形である。径0.5mの曲物が内部から出土し、埋土は均質な平行堆積で井戸廃絶時に掘り返しが行われた可能性がある。

ＳＥ92（第14図）　59Ｂ区の中央部・ＳＢ11の西部に存在する。掘形は径1.4mの円形で、深さ0.6mを測り、最下部には径0.4mの曲物が２段残存する。断面観察によると上部の構造物が抜き取られた可能性がある。

ＳＥ96（第14図）　60Ｅ区の北部に所在し、掘形は径1.4m×1.8mの楕円形で、深さ1.0mを測る井戸である。最下部には径0.4mの曲物が１段残存する。

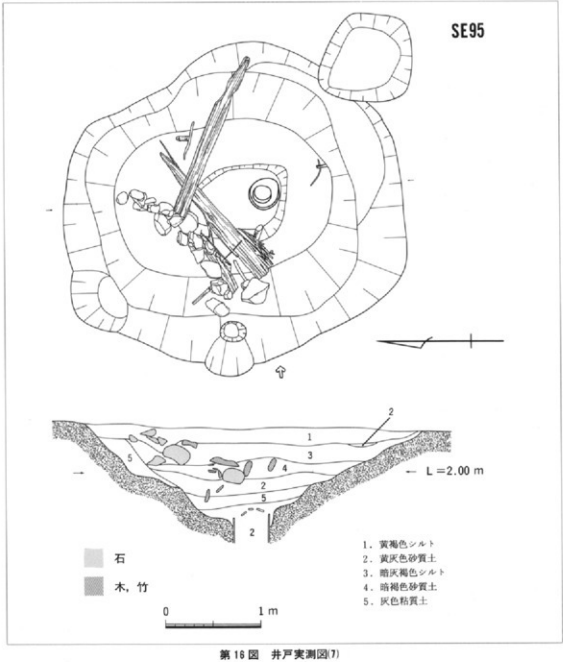
ＳＥ73（第14図）　59Ａ区の中央部・ＳＥ72の東部に所在する井戸である。掘形は径2.1mの円形で、内部施設は最下部に曲物を据え、その上位に方形の枠が存在した。方形枠の横桟は、四隅に太めの丸竹を柱として立て、この四隅竹柱のほぞ穴に細竹を差し込んで作られた。この外側には細丸竹を縦板がわりに立て並べ、土砂の崩落を防いでいる。なお、方形枠は一部土圧によって変形していた。



第 15 図　井戸実測図(6)

ＳＥ86（第15図）　59Ａ区の南部・ＳＥ83の北部に所在する。掘形は径3.5mの円形で、内部施設は一辺が1.0mの方形の枠のみが存在した。曲物は無い。四隅に太めの丸竹を柱として立て、横桟は細丸竹と角材を方形に組んでいる。横桟の外側には先端を鋭利に尖らせた半裁竹材の凹面を内側に向けて立て並べられ、その外側に縦板を配列させている。更に外側に縦板を固定するために細丸竹の横桟を設置している。

ＳＥ95（第16図）　59Ｂ区の南部に存在する。掘形は径3.8mの不定円形で、最下部には径0.4mの曲物が１段残存する。埋土の上層には、多量の石材・木材が投棄されている。竹あるいは木による方形木組の存在が想定できる。　（鈴木正貴・遠藤才文）



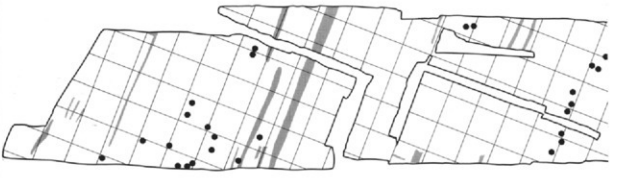
第16図　井戸実測図(7)

第３節　城下町期の遺構

城下町期の遺構には、掘立柱建物や溝、畝、井戸、土坑などがある。溝は、西側の自然堤防上では南北に走るものが主体となり、東地区ではＬ字に屈曲するものが多い。溝の規模は東側の方が幅４～５ｍと大きいものがある。井戸は、西側の自然堤防上では３～10ｍ間隔で一列に配置される傾向がある。掘立柱建物は溝に面して建てられ、大規模なものは無い。

これらの様相から当時の景観を復元すると、次のようになる。西側の自然堤防上に南北道路の小牧街道が設定され、この両側に町屋が展開している。町屋の東には中規模の溝で区画された寺社地が広がっており、更に東には清須城下町の最外郭を囲む「外堀」が南北に走っている。清須城下町の範囲は西側の自然堤防を中心に展開し、東の後背湿地を限りとしている。主要な遺構の方位はＮ－10°～12°－Ｅ前後を示しており、この地区の基本軸となっている。

城下町期は前期と後期にこれまで区分されている。今回の調査区では城下町期後期に属する遺構群が検出され、前期のものは基本的に存在しない。しかし、遺物の様相を見るとこれまで前期に属していた大窯Ⅱ・Ⅲ期の遺物も含まれていることが判明している（第Ⅲ章）。あるいは前期の終りの段階にも、今回の調査区付近に遺構があった可能性が指摘できよう。

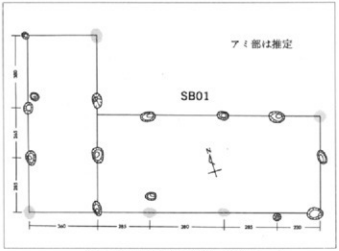


S＝1/1250

S＝1/1250

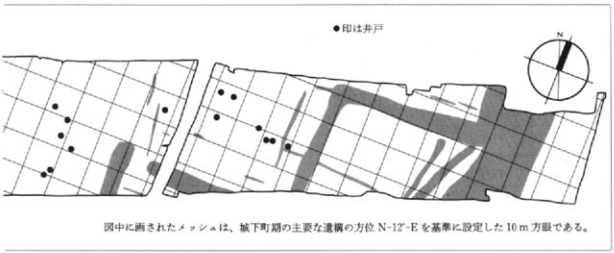
1．掘立柱建物

掘立柱建物は、西側から中央にかけての自然堤防上で７棟検出されている。なお、自然堤防上には無数のピットが展開しており、今回報告したもの以外の建物の存在も予想される。



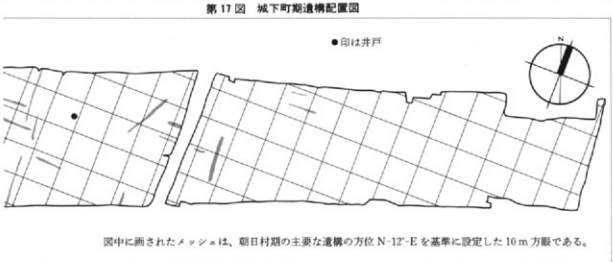
第 19 図　建物跡模式図(2)（単位は cm）

ＳＢ01（第19図）　調査区西端部（58区）で検出された柱穴内に根石を持つ掘立柱建物である。東西４間（11.8m）、南北２間（5.2m）を測る東西棟建物に、柱穴を共有する状態で東西１間(3.6m)、南北３間（9.3m）を測る南北棟建物が連続するものである。東西棟に対する横屋として南北棟が存在したものと推定される。柱穴は全部で14本検出され、礎石が残存するものは１個、根石が残



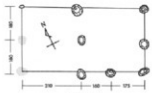
図中に画されたメッシュは、城下町期の主要な遺構の方位 N-12°-E を基準に設定した 10 m 方眼である。

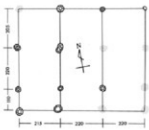
第 17 図　城下町期遺構配置図

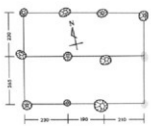


図中に画されたメッシュは、朝日村期の主要な遺構の方位 N-12°-E を基準に設定した 10 m 方眼である。

第 18 図　朝日村期遺構配置図







アミ部は推定

第20図　建物跡模式図(3)（単位はcm）

存するものは10本存在する。東西棟と南北棟の境界にＳＤ06が走り、溝内から根石が検出されている。ＳＤ06埋没後ＳＢ01は築造されたと思われる。また、東端部はＳＤ09に接する。

ＳＢ03（第20図）　調査区西部（58区）で検出された柱穴内に根石を持つ掘立柱建物である。東西３間（6.5m）、南北２間（3.2m）を測る東西棟建物で、柱間は等間隔ではない。南西隅の柱穴は検出できなかった。柱穴の規模は径約0.5m、深さ0.1m～0.3mを計測し、根石が残存していたものは４本である。ＳＢ03の南側に近接してＳＥ08とＳＥ09が所在し、同時に存在した可能性がある。

ＳＢ04（第20図）　調査区北端部（59Ｅ区）に所在する東西４間（5.6m）、南北２間（2.7m）を測る、柱穴内に根石を持つ東西棟建物である。南西隅の柱穴は検出できなかったが、南西隅を除く四隅の柱穴には根石が残存せず、柱穴の規模も他に比べ小さい。四隅の柱間は中央部の等間隔な柱間とは異なり、庇のようなものがあった可能性も指摘できる。東端部はＳＤ88に接する。

ＳＢ05（第20図）　調査区南端部（59Ｅ区）で検出された東西棟掘立柱建物である。東西３間（6.55m）、南北２間（4.25m）を測り、南面に１間分（1.1m）の庇が取り付く。北東隅など６本の柱穴が検出されていないが、柱穴内には根石は持たない。柱間間隔は等間隔（2.2m）で規格性を持つ。南には井戸ＳＥ37が接する。西端部がＳＤ118・ＳＤ116に面する。

ＳＢ06（第20図）　調査区南部（59Ｅ区）に存在する東西３間（2.7m）、南北１間（2.6m）の小規模な掘立柱建物である。柱穴内には北東隅を除き根石が残存するが、柱穴規模はまちまちである。ＳＢ05の北東の位置に所在し、東にはＳＥ45が存在する。

ＳＢ07（第20図）　調査区中央部（59Ｅ区）に所在する東西２間（3.65m）、南北１間（3.65m）を測る東西棟建物である。柱穴内には根石は持たない。東西方向の柱間間隔は1.75mと1.9mで、ＳＥ43埋没後築造されている。

ＳＢ08（第20図）　調査区北端部（59Ｅ区）で検出された東西３間（6.3m）、南北２間（4.95m）を測る東西棟掘立柱建物である。南東隅などの柱穴は検出できなかったが、柱穴には根石が残存しない。ＳＢ08周辺には夥しい数のピットが検出されており、建て替えが何度か行われたものと推定できる。東面はＳＤ153・南面はＳＤ87に面して所在する。

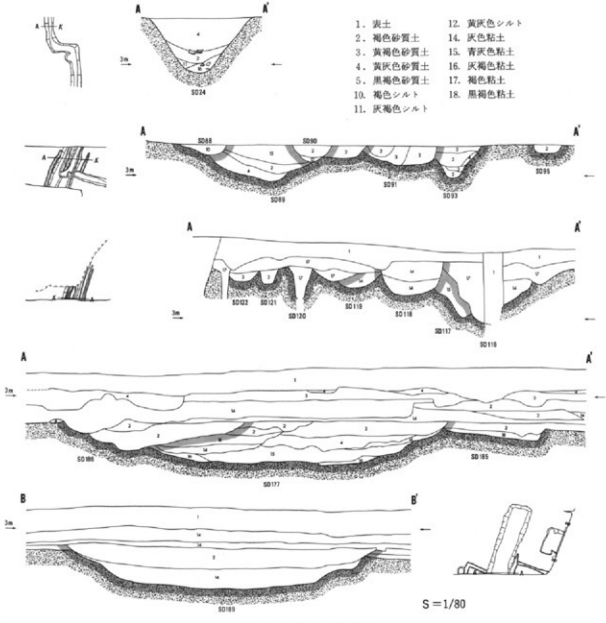
2．溝

溝はすべて素掘りで護岸施設を伴うものは存在せず、その規模は多種多様である。方位はN－10～12°－Eとこれに直交する方位に限られる。西側では南北に走るものが多く、溝に面して建物や井戸が配列する。東側では幅4～5mでL字に屈曲するものがある。溝は、主に屋敷を区画する機能があったと思われるが、用排水などにも利用されたであろう。ここでは主要なものについて記述する。

ＳＤ24（第21図）　調査区中央部を南北に走る。溝幅1.6m～2.0m、深さ0.5m～0.9mを測る。ＳＤ26は、ＳＤ24南端部から継続して走り、ＳＤ27は平行して走る。南端部は屈曲してＳＤ27に接続し、この付近に多数の土坑が集中して掘削されている。遺物は屈曲点の上層から多数出土した。

ＳＤ88（第21図）　調査区北端部（59Ｅ区）を南北に走る幅0.8m、深さ0.2mの溝。ＳＤ89を切る。

ＳＤ89（第21図）　調査区北端部（59Ｅ区）を南北に走る幅3.0m、深さ0.8mを測る溝。ＳＤ88・Ｓ



第21図　溝セクション図(4)

D90に切られる。ＳＤ93と対応して道路の側溝となるか？方位はＮ－12°－Ｅである。

ＳＤ90（第21図）　59Ｅ区を走る幅0.8m、深さ0.2mの溝。ＳＤ88と対応して道路の側溝となるか。

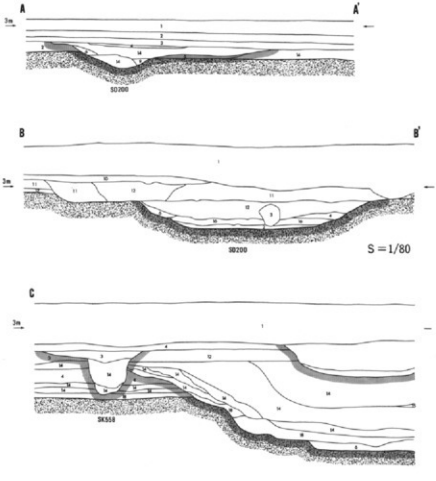
ＳＤ91（第21図）　59Ｅ区を南北に走る溝で、ＳＤ93や多数の土坑と重複し、全形は不明である。

ＳＤ93（第21図）　調査区北端部（59Ｅ区）を南北に走る幅0.5m～1.1m、深さ0.6mを測る溝。ＳＤ91に切られる。ＳＤ89と対応して道路の側溝となると思われる。

ＳＤ116・ＳＤ118（第21図）　59Ｅ区を走る溝。幅1.8m・1.3m、深さ1.1m・0.7mで、ＳＤ117を切る。

ＳＤ121・ＳＤ122（第21図）　調査区南端部（59Ｅ区）を南北に走る溝で、共に幅0.4m、深さ0.3mを測る。ＳＤ116～ＳＤ122は、北端部に所在するＳＤ88～ＳＤ93と対応し道路の側溝となる。

ＳＤ177（第21図）　調査区東部（59ＣＤ区）を南北に走る溝で、幅7.0m、深さ0.8m、長さ17mを測るが、なお、調査区外へと南走する。溝の北端は収束し、東北斜面に遺物が群塊状況で出土した。陶



1．表土
2．褐色砂質土
3．黄褐色砂質土
4．黄灰色砂質土
6．灰色砂
9．黄灰色砂
10．褐色シルト
11．灰褐色シルト
12．黄灰色シルト
14．灰色粘土
15．青灰色粘土
16．灰褐色粘土
17．褐色粘土
18．黒褐色粘土

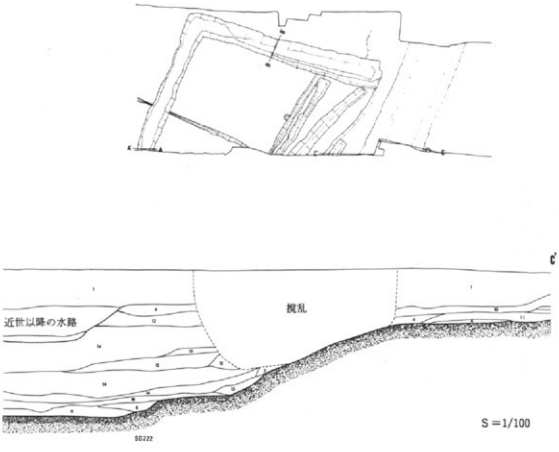
磁器類の他に、人骨・犬骨がまったく解剖学的配列を示さない混然とした状況で出土した。

ＳＤ189（第21図）　59ＣＤ区を東西に走る溝で、幅6.5m、深さ0.8m、長さ32mを測るが、なお、調査区外へと東走する。ＳＤ177と対応して屋敷を区画するが、溝の西端は収束して土橋を造る。

ＳＤ200（第22図）　調査区東部（59ＡＢ区）に所在するＬ字に屈曲する溝。南北の方位はＮ－15°－Ｅ、東西の方位はＥ－６°－Ｓで、規模は現状で幅4.5m～5.5m、深さ0.3m～0.5mであるが、近現代の耕作・攪乱によって削平されており、本来は想定復元幅６ｍ～７ｍ、深さ1.0m～1.2mであっただろう。

ＳＤ222（第22図）　調査区東端部（60ＤＥ区）を南北に走る大溝で、幅15m、深さ2.5mを測る。西肩には幅３ｍ～11mのテラスが存在し、ＳＤ200とは接続しない。東肩斜面には土坑が点在し、ＳＤ222の東には平行して配列する土坑群がある。この溝より東には城下町期の遺構はなく、溝の規模が大きいことからＳＤ222は清須城外堀と考えらえる。

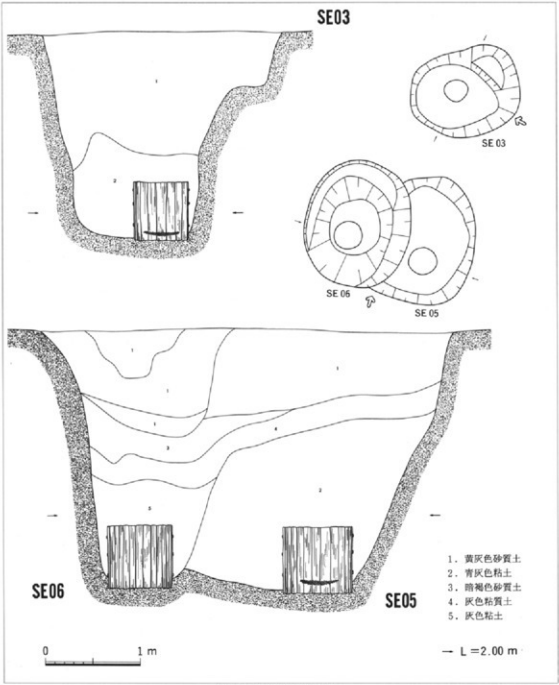
ＳＤ221・ＳＤ219　ＳＤ222の西に位置し、自然堤防と後背湿地の境に沿って設置されている。



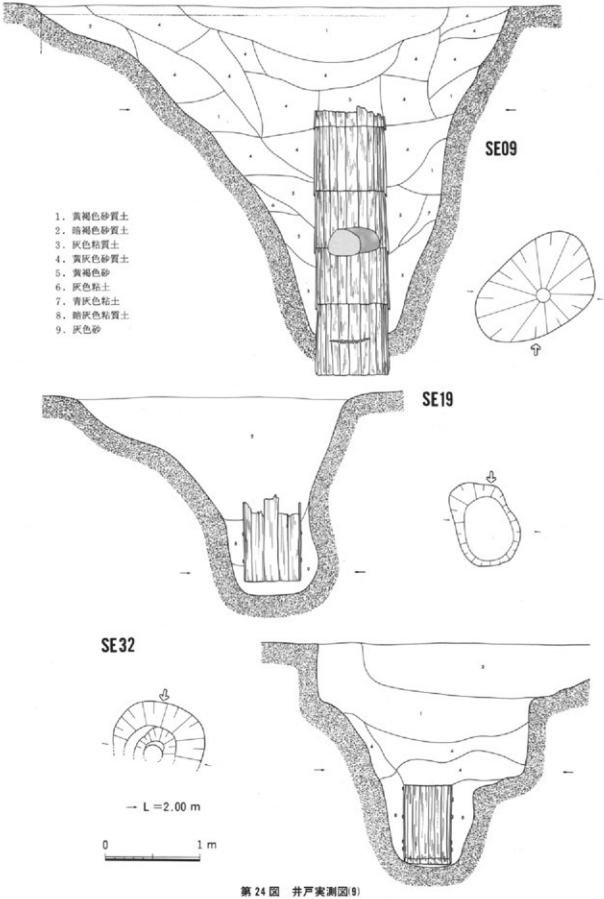
第22図　溝セクション図(5)

3．井戸

井戸は内部施設によって分類が可能であるが、廃棄の際に内部構造物を抜き取った場合があり、本来設置された内部施設の分類はできない。従って、内部施設と遺存状況から分類を試みると、Ⅰ類：結桶のみを１段あるいは数段設置して井戸側にするもの、Ⅱ類：結桶を数段設置してその上位に方形の木組みを設けるもの、Ⅲ類：結桶の側板が抜き取られ、竹製のタガが遺存しているもの（あるいは何も遺存しないもの）、Ⅳ類：方形の木組みのみを施設として持つものの４類に分けられる。



第 23 図　井戸実測図(8)


SE09
1．黄褐色砂質土
2．暗褐色砂質土
3．灰色粘質土
4．黄灰色砂質土
5．黄褐色砂
6．灰色粘土
7．青灰色粘土
8．暗灰色粘質土
9．灰色砂
SE19
SE32
L =2.00 m
0
1 m

第24図　井戸実測図(9)

ＳＥ03（第23図）　58区に所在するＩ類の井戸。径2.5mの円形の掘形の一部に階段状のテラスが存在する。結桶は１段設置され、最下部に砂の吹き出しを防ぐための笊を配置している。深さは2.2m。

ＳＥ05（第23図）　58区に存在しＳＥ06に切られるＩ類の井戸。結桶は１段で最下部に笊を置く。

ＳＥ06（第23図）　58区に位置するＩ類の井戸。結桶は１段でＳＥ05を掘り返している。

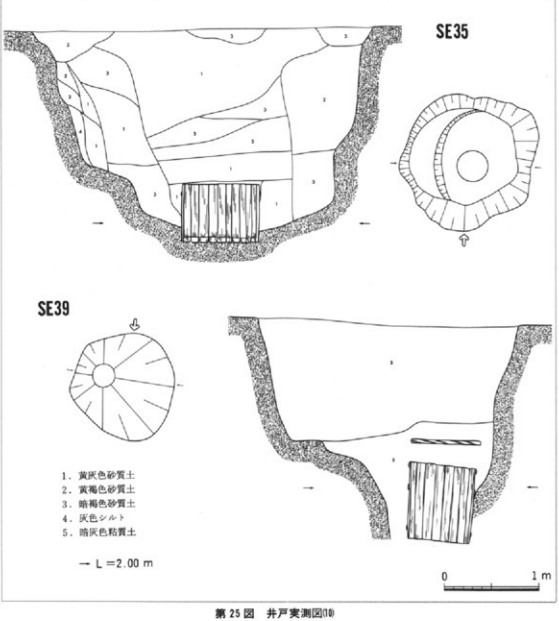
ＳＥ09（第24図）　57区に所在するＩ類の井戸で深さは3.9m。径4.5m～7.0mの楕円形の掘形に結桶を５段設置している。最下部に砂の吹き出しを防ぐための笊を配置し、中位に石材が投棄されている。

ＳＥ19（第24図）　ＳＢ01の南に存在する井戸で掘形は不定形である。結桶が１段残るＩ類の井戸。

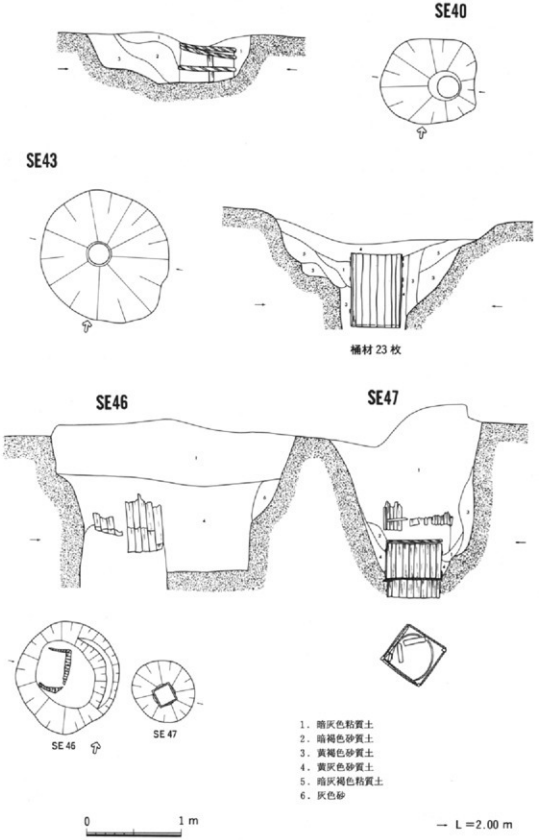
ＳＥ32（第24図）　59Ｇ区で検出された結桶が１段残るＩ類の井戸。掘形に階段状のテラスがある。

ＳＥ35（第25図）　59Ｅ区に所在するＩ類の井戸で、上層は掘り返されている。結桶が１段残る。

ＳＥ39（第25図）　ＳＢ05の東、ＳＢ06の南に位置する結桶が１段残るＩ類の井戸。掘形に階段状テ



第 25 図　井戸実測図(10)


SE40
SE43
桶材 23 枚
SE46
SE47
SE 46
SE 47
1．暗灰色粘質土
2．暗褐色砂質土
3．黄褐色砂質土
4．黄灰色砂質土
5．暗灰褐色粘質土
6．灰色砂
0
1 m
→ L =2.00 m

第 26 図　井戸実測図(1)

ラスがあり、これは井戸廃絶時の掘り返しによるものと思われる。結桶の上位にタガが残存する。

ＳＥ40（第26図）　調査区中央にあるⅢ類の井戸。深さは0.4mと浅くタガと１枚の桶材が残存する。

ＳＥ43（第26図）　調査区中央・ＳＥ40の南で検出されたⅠ類の井戸。

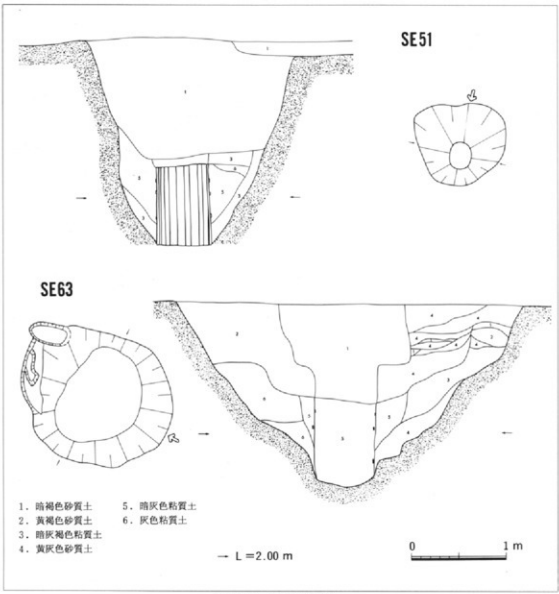
ＳＥ46（第26図）　ＳＥ40の北にあるⅣ類の井戸で縦板が数枚遺存する。最下部に構造物はない。

ＳＥ47（第26図）　ＳＥ46に隣接して存在するⅡ類の井戸で、最下部に結桶が２段重ねられ、その上位に方形に立て並べられた薄板が遺存する。重なった２段の結桶の間の笊をはめ込んでいる。

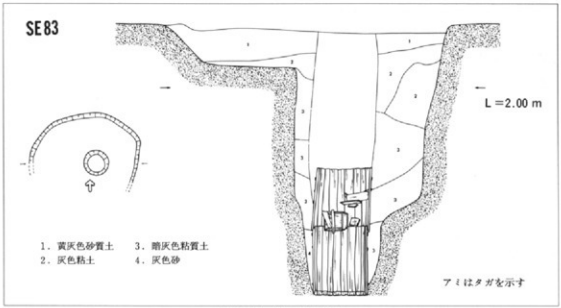
ＳＥ51（第27図）　ＳＥ46の北にあるⅠ類の井戸。掘形は不定形である。結桶は１段残る。

ＳＥ63（第27図）　59Ｅ区に所在するⅢ類の井戸。タガが遺存し、埋土が井筒状に分離している。

ＳＥ83（第28図）　ＳＤ200の西に存在するⅠ類の井戸。結桶は２段残存し、さらにその上部にタガが７本遺存する。内部から釣瓶が出土した。　（鈴木正貴・遠藤才文）



第27図　井戸実測図(12)

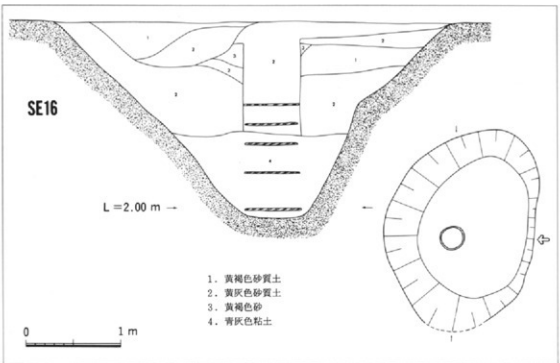


第28図　井戸実測図(13)

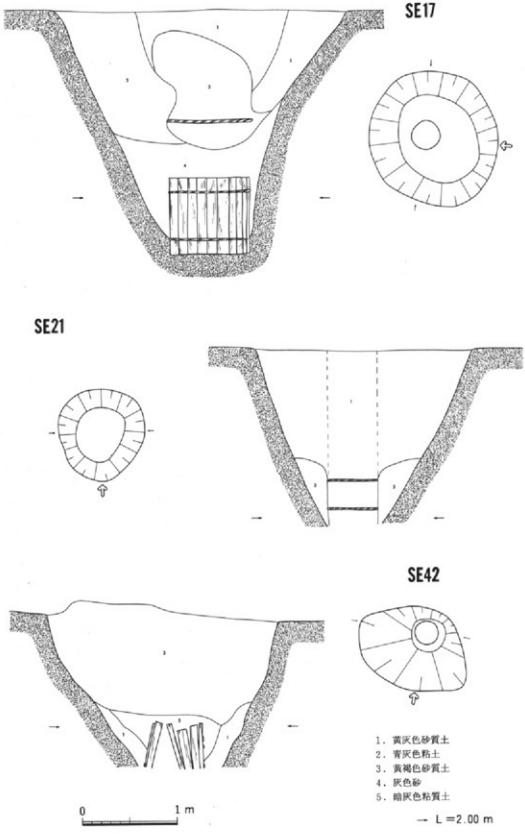
第4節　朝日村周の遺構（第29・30図）

朝日村周の遺構は、自然堤防に展開する小規模な溝、井戸、土坑がある。溝の方位はN－15～19°－Eで、２条の溝が平行して走り道路側溝となるもの（ＳＤ10・ＳＤ11等）もある。遺構構成をみると、溝で画された一辺40m程度の方形屋敷が小牧街道に沿って展開し、明治17年作成の地籍図と合致する部分もある。屋敷内の建物は不明であるが、結桶のみを１段以上設置した井戸（ＳＥ17・ＳＥ42等）が配置される。中には、結桶が抜き取られてタガが残るもの（ＳＥ16・ＳＥ21等）もある。　（鈴木正貴・遠藤才文）

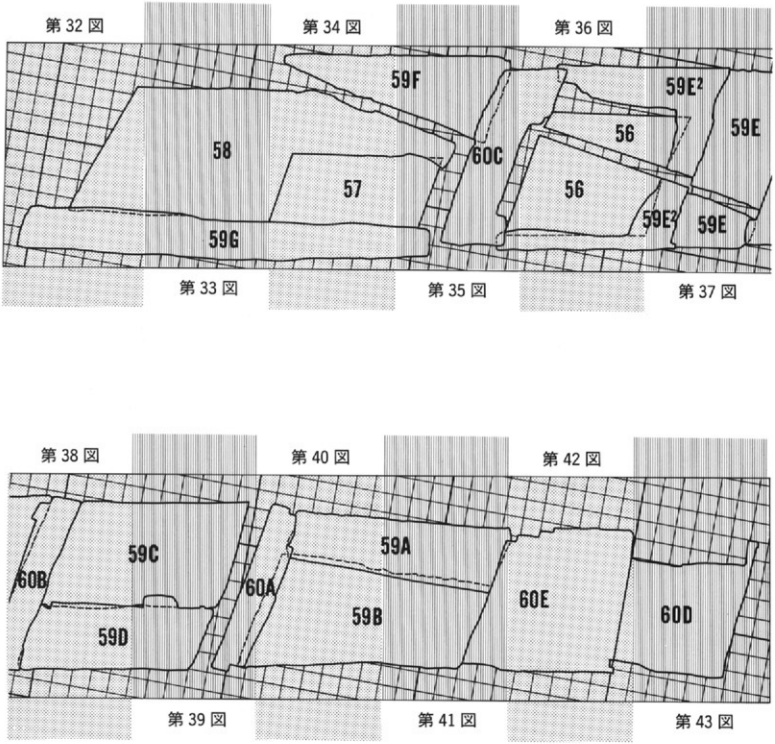
※本章にかかる遺構の整理・図版の作成は遠藤才文が行い、これもとに原稿執筆を鈴木正貴が分担した。



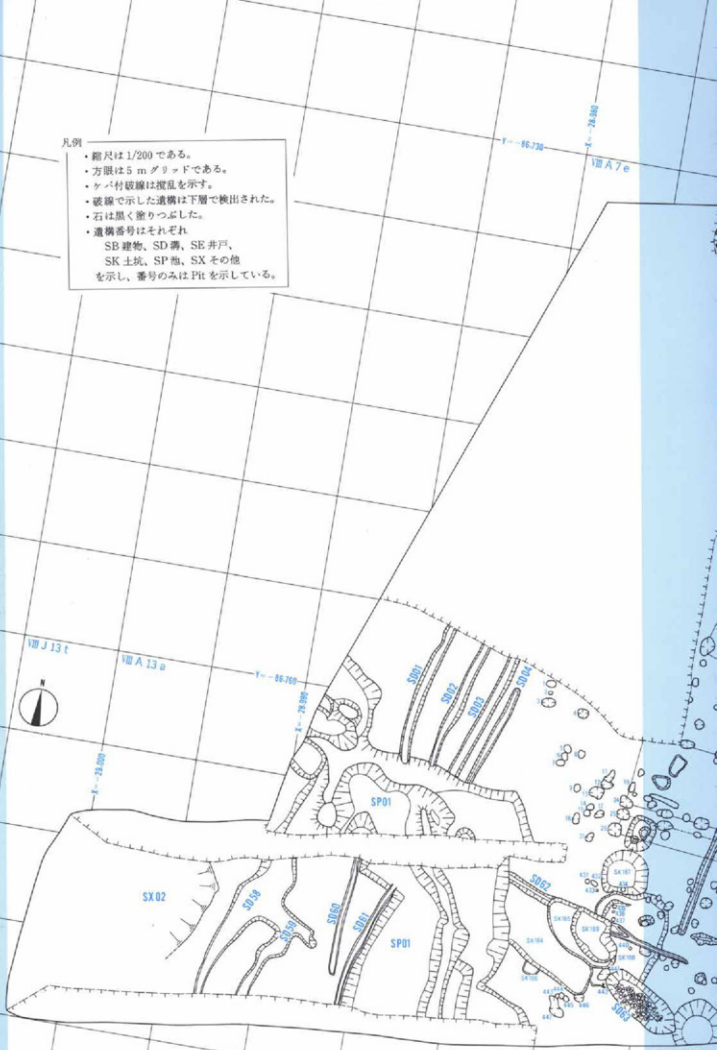
第29図　井戸実測図(14)



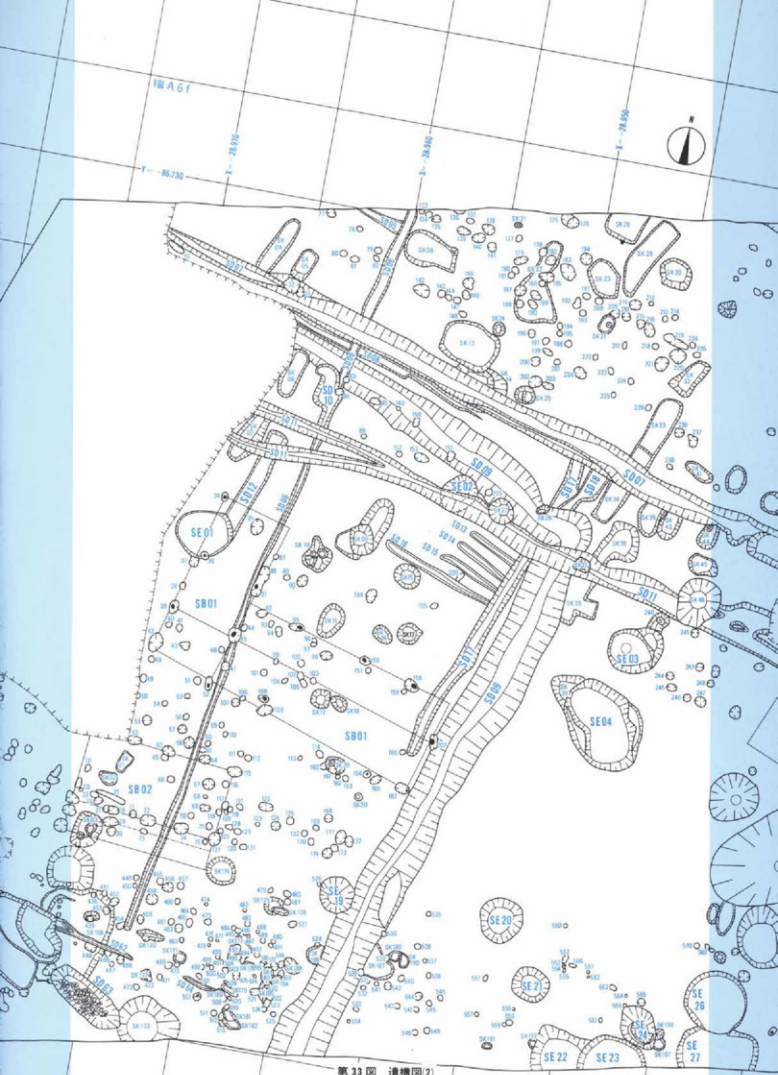
第30図　井戸実測図(15)



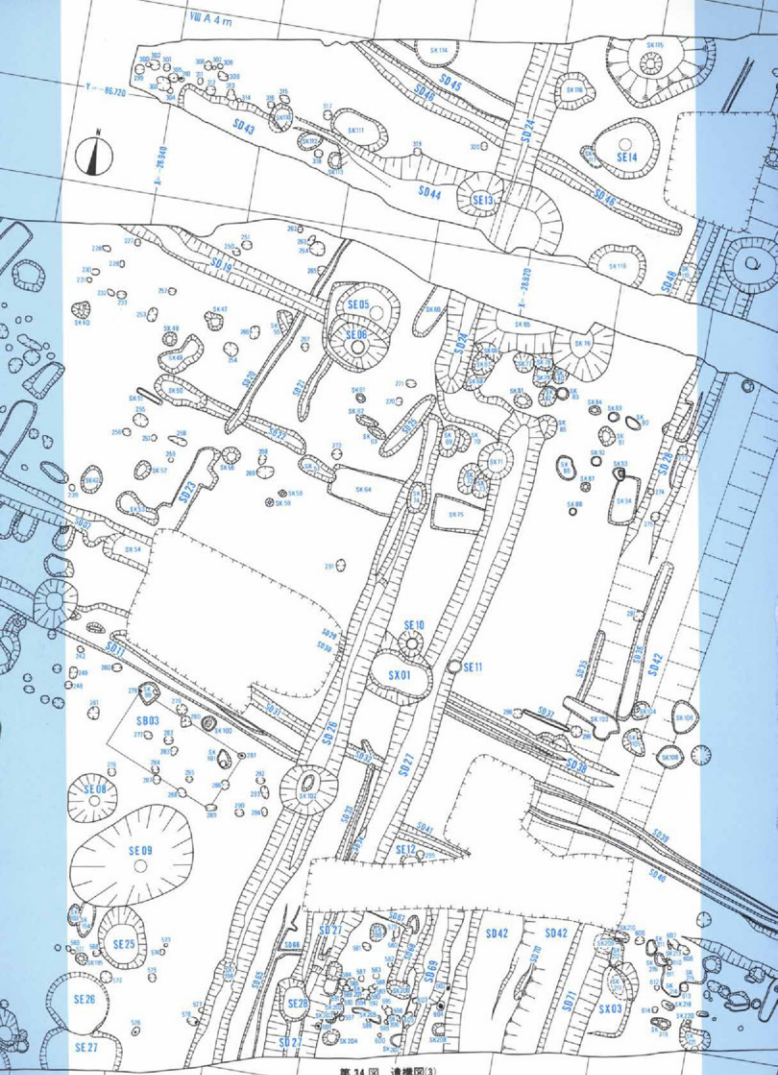
第 31 図　発掘調査区年度別区割り（S＝1/1000）


凡例
・縮尺は1/200である。
・方眼は5ｍグリッドである。
・ケバ付破線は撹乱を示す。
・破線で示した遺構は下層で検出された。
・石は黒く塗りつぶした。
・遺構番号はそれぞれ
SB建物、SD溝、SE井戸、
SK土坑、SP柱、SX その他
を示し、番号のみはPitを示している。
Ⅷ A 7 e
Ⅷ J 13 t
Ⅷ A 13 a
SD01
SD02
SD03
SD04
SP01
SX 02
SD58
SD60
SD62
SK187
SK185
SK189
SK164
SK168
SK186

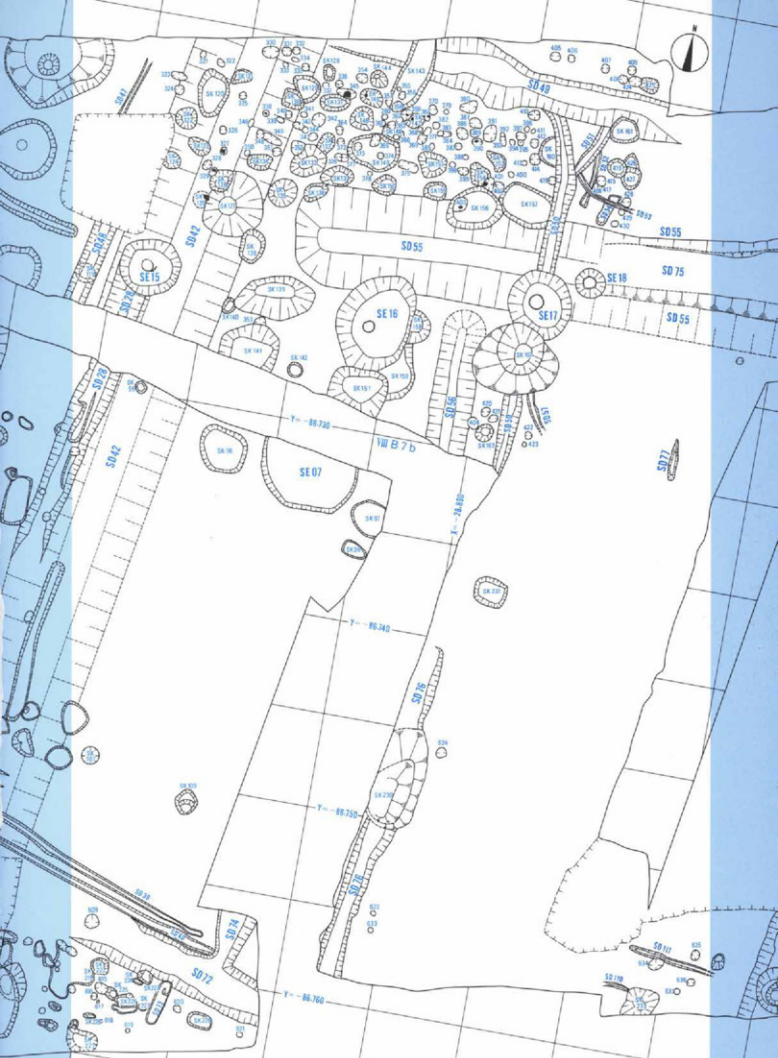
第32図　遺構図(1)

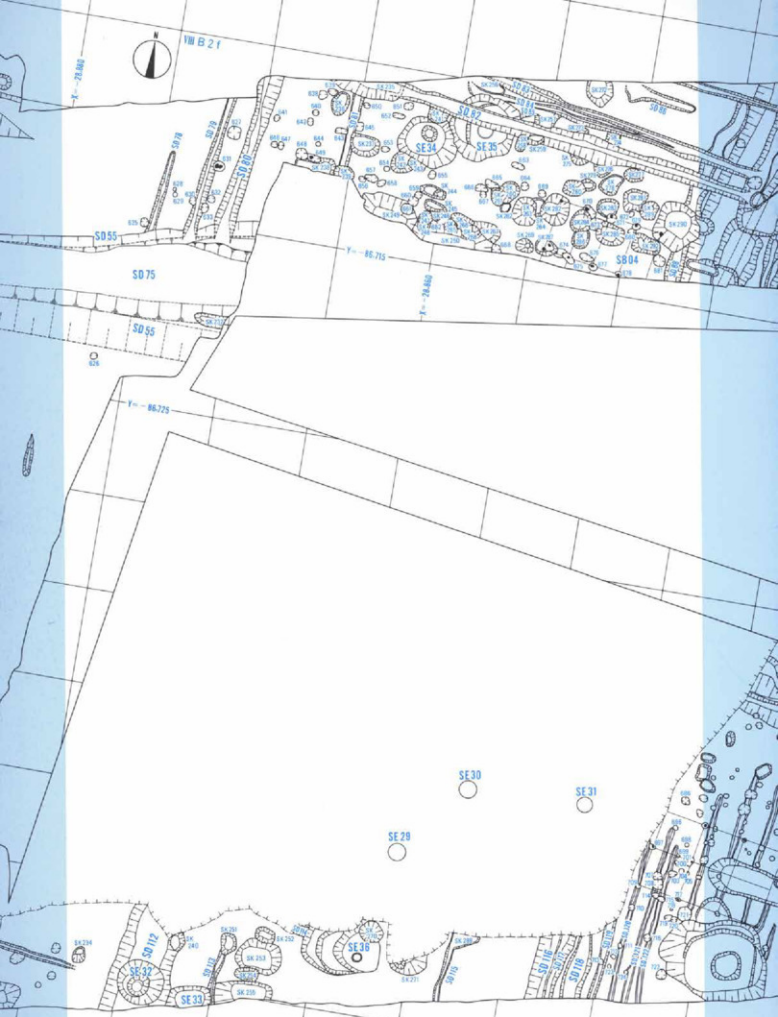

SB01
SB02
SE01
SE02
SE03
SE04
SE19
SE20
SE21
SE22
SE23
SE26
SE27

第33図　遺構図(2)

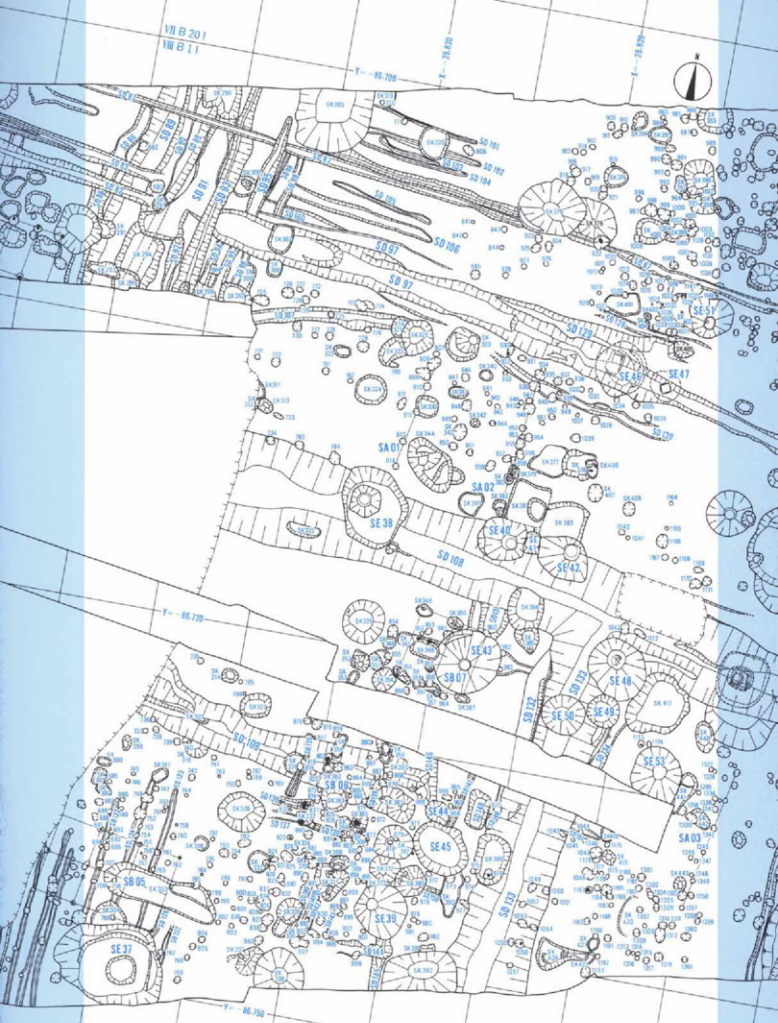

VII A 4 m
SD43
SD44
SD45
SD46
SD74
SE13
SE14
SD16
SD49
SE05
SE06
SD32
SD73
SD72
SD33
SD34
SD35
SD36
SD37
SD38
SD39
SD40
SD41
SD42
SD17
SE10
SX01
SE11
SB03
SD26
SD27
SE08
SE09
SE12
SD21
SD42
SD42
SD77
SX03
SE25
SE26
SE27
SE28
SD22

第34図　遺構図(3)


SD49
SD55
SD75
SD42
SD41
SD70
SD76
SD74
SD72
SD77
SD117
SD118
SE15
SE16
SE17
SE18
SE07
SK140
SK141
SK151
SK156
SK157
SK158
SK159
SK160
SK161
SK162
SK163
SK164
SK165
SK166
SK167
SK168
SK169
SK170
SK171
SK172
SK173
SK174
SK175
SK176
SK177
SK178
SK179
SK180
SK181
SK182
SK183
SK184
SK185
SK186
SK187
SK188
SK189
SK190
SK191
SK192
SK193
SK194
SK195

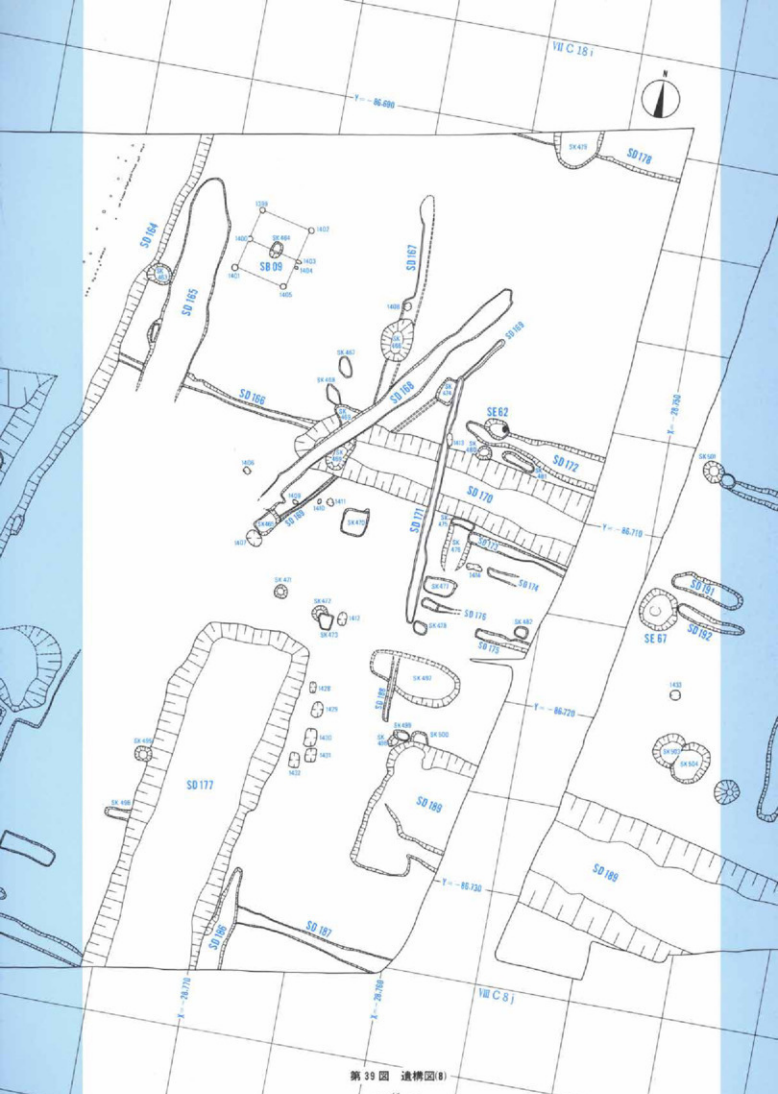

VIII B 21
SE34
SE35
SD55
SD75
SD04
SD55
SE30
SE31
SE29
SE36
SE32
SE33
SD112

第36図　遺構図(5)

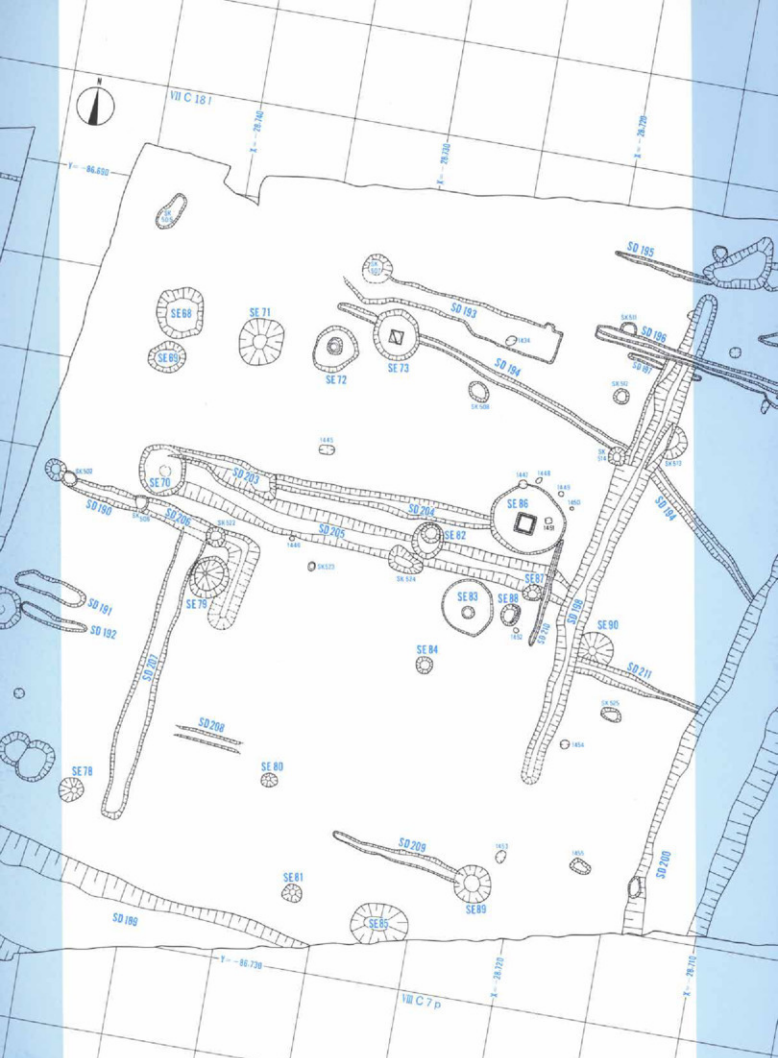

VII B 20 I
VII B 1 I
SD 91
SD 92
SD 93
SD 94
SD 95
SD 96
SD 97
SD 98
SD 99
SD 100
SD 101
SD 102
SD 103
SD 104
SD 105
SD 106
SD 107
SD 108
SD 109
SD 110
SD 111
SD 112
SD 113
SD 114
SD 115
SD 116
SD 117
SD 118
SD 119
SD 120
SD 121
SD 122
SD 123
SD 124
SD 125
SD 126
SD 127
SD 128
SD 129
SA 01
SA 02
SA 03
SB 01
SB 02
SB 03
SB 05
SB 07
SE 37
SE 38
SE 39
SE 40
SE 41
SE 42
SE 43
SE 44
SE 45
SE 46
SE 47
SE 48
SE 49
SE 50
SE 51
SE 53
SK 305
SK 313
SK 331
SK 371
SK 406
SK 408
SK 410
SK 413
SK 392
SK 393
SK 394
SK 395
SK 396
SK 397
SK 398
SK 399
SK 400
SK 401
SK 402
SK 403
SK 404
SK 405
SK 407
SK 409
SK 411
SK 412
SK 414
SK 415
SK 416
SK 417
SK 418
SK 419
SK 420
SK 421
SK 422
SK 423
SK 424
SK 425
SK 426
SK 427
SK 428
SK 429
SK 430
SK 431
SK 432
SK 433
SK

VII B 20 t
VII C 20 a
SX 04
SD 160
SD 153
SD 107
SD 161
SD 159
SD 155
SD 162
SD 164
SD 108
SD 157
SD 158
SD 163
SD 165
SE 52
SE 54
SE 55
SE 56
SE 57
SE 58
SE 60
SE 61
SE 63
SE 64
SE 65
SE 66
SA 03
VIII C 9 e

第 38 図　遺構図(7)


VII C 18 i
Y=-86,690
SD 178
SK 479
SD 164
SD 165
SB 09
SD 167
SD 168
SD 166
SD 169
SE 62
SD 172
SD 170
SD 171
SD 174
SD 176
SD 175
SK 478
SK 477
SK 487
SD 187
SD 192
SE 67
SK 504
SK 501
SK 491
SK 499
SK 500
SD 177
SD 189
SD 186
SD 188
Y=-86,720
Y=-86,730
Y=-28,710
Y=-28,700
VII C 8 j

第39図　遺構図(8)


VII C 18 i
VIII C 7 p
SD 185
SD 186
SD 187
SD 188
SD 189
SD 190
SD 191
SD 192
SD 193
SD 194
SD 195
SD 196
SD 197
SD 198
SD 199
SD 200
SD 201
SD 202
SD 203
SD 204
SD 205
SD 206
SD 208
SD 209
SD 211
SE 68
SE 69
SE 70
SE 71
SE 72
SE 73
SE 78
SE 79
SE 80
SE 81
SE 82
SE 83
SE 84
SE 85
SE 86
SE 87
SE 88
SE 89
SE 90

第 40 図　遺構図(9)

VII C 17 t
VII D 17 a
VII D 5 d
SD 199
SD 198
SD 202
SD 200
SD 201
SD 209
SD 211
SE 75
SE 76
SE 74
SE 77
SE 91
SE 92
SE 93
SE 94
SE 95
SB 10
SB 11

第41図　遺構図(10)

N
X = -28,480
X = -28,670
X = -28,860
Y = -86,680
VII D 16 h
SD 216
SD 220
SD 222
SD 200
SE 96
SE 97
SD 214
SD 218
SD 222
SD 222
VIII D 4 k
Y = -86,720

第42図　遺構図(1)

Y=-86,670
X=-28,650
X=-28,640
X=-28,630
X=-28,620
Ⅷ D 16 i
Y=-86,680
SD 222
SK 560
SK 561
SK 562
SK 563
SK 564
SK 565
SK 566
SK 567
SK 568
SK 569
SK 570
SK 571
SK 572
SK 573
SK 574
SK 575
SK 576
SK 577
SK 578
Y=-86,700
Ⅷ D 2 q
Y=-86,710

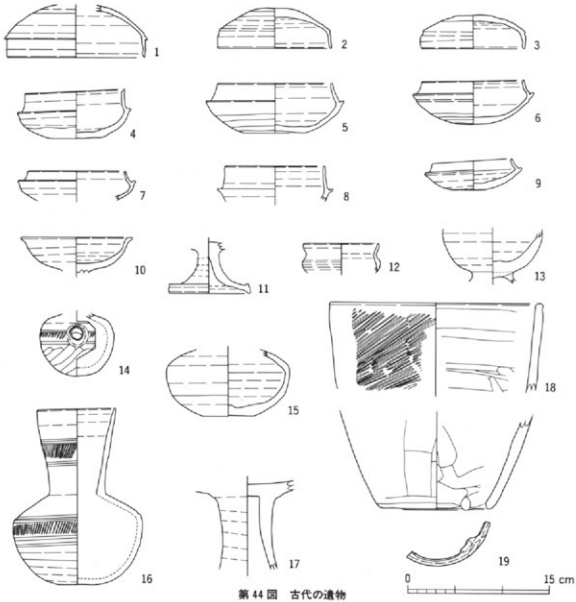
第 43 図　遺構図(12)

第Ⅲ章　遺物

第１節　古代の土器・陶器

古代の時期の遺構は確認されていないが、遺物は中世の遺構及び包含層中で散見される。主となる時期は古墳時代の後期で、６世紀初めから７世紀初めにかけての遺物である。ほとんどは須恵器で、土師器はごくわずかな量である。須恵器で多いのは蓋杯である。４のように口縁端部に面をもち、深めの立ち上がりを持つものは５世紀末に遡るものと思われる。９は口径、器高も減少し、７世紀に降る器形である。15は壺の体部であるが口頸部が欠損した後、その部分を研磨して面を作り出している。底部はヘラ削りで調整している。16はほぼ完形で出土したものである。口頸部、体部の肩の部分に列点文を施す。18と19は須恵器甑であるが、胎土や調整技法が類似するので同一個体である可能性がある。

（城ヶ谷和広）



第44図　古代の遺物

第２節　中世Ⅰ期の土器・陶磁器

１．概要

中世Ⅰ期は第Ⅱ章で述べた大きな時期区分により、おおよそ中世の前半期、11世紀から13世紀を中心とする時代である[1]。朝日西遺跡における中世Ⅰ期の遺構は、溝を中心にしてかなり数が多い。また、そこから出土する土器・陶磁器の量も莫大なものである。なかには遺物用コンテナ約120箱、１万点以上もの遺物が出土した遺構もある。それ以外にも、遺構からまとまって出土する土器群が幾つもあり、中世集落を考えるのに良好な資料を提供したといえる。この節では出土する土器・陶磁器類の概要を述べ、次に時期ごとに遺構出土の遺物について見ていくことにする。

１）種類

出土した該期の土器・陶磁器の種類には、山茶椀（類）、土師器、施釉陶器、焼き締め陶器、輸入陶磁器、瓦器、灰釉陶器、緑釉陶器、須恵器、土製品、陶製品、瓦、加工円盤等がある。

以下、種類ごとにその概要を記し、器種の多い山茶椀（類）、土師器については器種分類を行い、分類図をつけた。

ａ）山茶椀（類）

山茶椀（類）は瓷器系陶器第Ⅱ類に分類される無釉の陶器である。出土した器種には椀、皿、小椀、鉢などがある。量的には椀・皿が大多数を占め、遺物全体の割合でみても圧倒的に多く、90％以上となる。

山茶椀は大きく分けると、東海地方北部系と呼ばれるものと東海地方南部系と呼ばれるものの２つに大別される。前者は胎土に砂粒をほとんど含まない均質な胎土を持つもので、器壁が比較的薄いのが特徴である。主な生産地として美濃、瀬戸北部などが挙げられる。後者は胎土に砂粒を多く含んだ粗い胎土を持つもので、長石分の吹き出しなどもよく見られる。主な生産地としては東海地方南部の瀬戸南部、猿投、常滑、渥美などが挙げられる。法量は基本的に１器種１法量が原則で、時期的に若干の変化がある。椀・皿は遺構によって、完形のものが幾つもまとまって出土することもある。生産地や時期により、形態、法量にバラエティーがある。

分類については基本的に『土田遺跡Ⅱ』[2]に於て、形態や胎土を中心にして行った分類（土田Ⅱ分類とする。）を踏襲するが、細部で若干修正したところがある（第45図）。

椀

椀Ａ　砂粒を多く含む胎土を持つもので、浅いもの（径高指数40未満のもの）。

　Ａ１　体部が内湾しながら立ち上がるもの（≒土田Ⅱ分類　椀Ａ１、Ａ２）。

　Ａ２　体部が直線的に立ち上がるもの（≒土田Ⅱ分類　椀Ａ３）。

　Ａ３　輪花を持つもの。

椀Ｂ　砂粒を多く含む胎土を持つもので、深いもの（径高指数40以上のもの）。

　Ｂ１　体部が内湾しながら立ち上がるもの（≒土田Ⅱ分類　椀Ｂ１）。

　Ｂ２　体部が直線的に立ち上がるもの（≒土田Ⅱ分類　椀Ｂ２）。

　Ｂ３　高台のないもの（≒土田Ⅱ分類　椀Ｂ３）。

椀Ｃ　均質な胎土を持つもので、浅いもの（径高指数40未満のもの）。

C１　体部が内湾しながら立ち上がるもの（≒土田Ⅱ分類　椀C）。

C２　体部が直線的に立ち上がるもの（≒土田Ⅱ分類　椀C）。

椀D　均質な胎土を持つもので、深いもの（径高指数40以上のもの）。

D１　体部が内湾しながら立ち上がるもの（≒土田Ⅱ分類　椀D）。

D２　体部が直線的に立ち上がるもの（≒土田Ⅱ分類　椀D）。

皿

皿A　砂粒を多く含む胎土を持つもので、高台を持つもの、いわゆる小椀（≒土田Ⅱ分類　皿A）。

皿B　砂粒を多く含む胎土を持つもので、高台を持たないもの。

B１　底部が肥厚し、突出するもの（≒土田Ⅱ分類　皿B１）。

B２　底部が平坦で、体部の深いもの（≒土田Ⅱ分類　皿B２）。

B３　底部が平坦で、体部の浅いもの（≒土田Ⅱ分類　皿B３）。

皿C　均質な胎土を持つもので、高台を持つもの、いわゆる小椀。

皿D　均質な胎土を持つもので、高台を持たないもの。

D１　底部が肥厚し、突出するもの（≒土田Ⅱ分類　皿C）。

D２　底部が平坦で、体部の深いもの（≒土田Ⅱ分類　皿C）。

D３　底部が平坦で、体部の浅いもの（≒土田Ⅱ分類　皿C）。

鉢は高台を持つもので、量としては余り多くない。内面はかなり摩滅しているものが多い。いろいろな産地のものがみられる。

b）土師器

土師器には椀、皿、鍋、釜がある。

椀は尾張でははとんど出土しないが、今回の調査区で極わずかにみられた。胎土は比較的緻密でロクロ成形であった。

皿は出土状況がやや特殊である。全体的に出土する量は特に多くないが、溝などから完形のものが集中して出土する例が幾つも見られる。胎土を見てみると、大きく分けて白色で精良なものと赤褐色で砂粒やシャモットなどを含むものの２つがある。量としては赤褐色のものが圧倒的に多い。成形技法には手づくね成形のものとロクロ成形のものの２種類がある。皿には形態や法量にバラエティーが多い。

皿を技法、形態を基本に分類すると以下のようになる（第45図）。

皿A　ロクロ成形の皿。

A１　体部が直線的なもの。

A２　体部に段を持つもの。

A３　底部が突出するもの（いわゆる柱状高台のもの）。

A４　脚を持つもの。

皿B　ロクロ成形の深皿で口径が12cm以上と大きく、体部が内湾する。

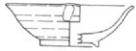
皿C　ロクロを使用しないてづくね成形のもの。

C１　体部が外反するもの。

山茶椀

椀 A_1

椀 A_2


椀 A_3

椀 B_1

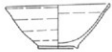
椀 B_2

椀 B_3

椀 C_1

椀 C_2

椀 D_1


椀 D_2

皿 A

皿 B_1

皿 B_2

皿 B_3

皿 D_2

皿 D_3

土師器

皿 A_1

皿 A_2

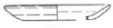
皿 A_3

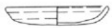
皿 A_4

皿 B

皿 C_2

皿 C_3


皿 C_2


皿 C_3

皿 D

皿 E_1

皿 E_2

皿 F

第 45 図　中世山茶椀・土師器器種分類図（1 : 5）

C２　体部が直線的なもの。

C３　体部が内湾するもの。

皿D　ロクロを使用しないでづくね成形のもの、体部が偏平なもの。

皿E　ロクロを使用しないでづくね成形のもの、体部が深いもの。

E１　底部が平らなもの。

E２　底部が盛り上がるもの（いわゆる、へそ皿）。

皿F　ロクロを使用しないでづくね成形のもので、口縁端部を大きく内側に折り返すもの。

なお、それぞれについて白色の胎土を持つもの（ａ類）、褐色～淡黄橙色の胎土を持つもの（ｂ類）に分けられるが、特に区別を要する場合、表示することとし、通常は省略する。

鍋は鍋A、鍋Bと鍋Cに分けられる。

鍋Aは「伊勢型鍋」と呼ばれる器形で、口縁端部を内側に折り返すものである。器壁が薄く、外面にハケメ調整を施す。

鍋Bは「清郷型甕（鍋）」と呼ばれる器形である。口縁部が肥厚し、体部が厚く、やや深い器形である。甕と鍋の中間的なものであるが、今回の分類では鍋としておきたい。

鍋Cは口縁部が受け口状に大きく開く器形で、三足がつくものと思われる。出土するのは極少量である。

釜は口縁端部より少し下に鍔をもつ「羽釜」と呼ばれる器形である。薄い体部に、比較的精良な胎土をもつ。量は少ない。

ｃ）施釉陶器

瓷器系陶器第１類に分類される陶器である。該期のものは瀬戸で生産されたいわゆる「古瀬戸」と呼ばれる灰釉や鉄釉を施した陶器である。なかには釉の痕跡がみられない無釉陶器もあるが、胎土などは一緒なので、基本的にはここに含めて考えることにする。器種としては椀、皿、鉢、壺などがある。量としては少ない。器種分類は数も少ないこともあるので通有の分類名を付す[2]

椀・皿には灰釉天目茶碗、鉄釉天目茶碗、灰釉平椀、灰釉皿、灰釉卸皿などがある。

そのほか、鉢には平鉢、片口鉢などがある。壺には灰釉四耳壺、無釉壺、無釉壺蓋などがある。

ｄ）焼き締め陶器

焼き締め陶器は瓷器系陶器第３類に属する中世陶器で、いわゆる「常滑」・「渥美」と呼ばれるものである。中心となる器種には壺、甕、釜がある。なお、鉢については胎土が同じなので山茶椀のところに含めた。出土する量は壺・甕類が比較的多い。

釜は口縁部下につばを持つ羽釜で、体部が厚い。色調は赤褐色を呈するものが多い。釜が見られるのははほ12世紀代に限られる。

壺、甕は量としてはかなりのものになる。法量には若干のバラエティーがある。各時期とも出土比率は一定となる傾向にある。

ｅ）輸入陶磁器

輸入陶磁器は全てが中国陶磁と考えられ、種類としては白磁と青磁それに若干の青白磁がある。器種は青磁、白磁ともに椀が圧倒的に多いが、そのほかに皿、四耳壺、鉢、合子、水注なども見られる。

白磁は口縁部が玉縁状になる椀が多い。そのほか白磁四耳壺も少し見られる。色調にはバラエティーがある。

青磁は龍泉窯系の青磁椀がほとんどである。そのほか青磁皿、鉢が極少量見られるのみである。

青白磁は限られた遺構から出土するが、合子の他に壺等もみられる。

f）その他の遺物

そのほかの遺物として下記のものがある。

灰釉陶器は初期の遺構の段階で見られるものであるが、量としてはかなり多いものである。器種は椀が多く、皿や壺もある。産地は猿投のものと美濃のものがある。

緑釉陶器は極少量であるが、椀や皿などが出土している。産地としては猿投のものや篠岡のものなどがある。

須恵器は灰釉陶器に伴う時期の須恵器甕がある。須恵器はほぼ11世紀代で姿を消すようである。

瓦器はほとんど見られないが、搬入品と思われる羽釜がある。

土製品には土錘がある。陶製品には陶丸、陶錘等がある。瓦は布目を持つものである。加工円盤は山茶椀等の底部を２次的に加工したものである。

２）時期区分

時期区分は遺構のあり方に、遺物の組合せを加えて小期を設定した。遺物の組合せは最も出土量の多い灰釉陶器・山茶椀を中心にして、土師器皿、鍋の変化を加味して設定したものである。

中世Ｉ期は基本的には４小期に分けられる。

Ｉ－１期は、供膳具の陶器が灰釉陶器のみで構成される時期である。土師器供膳具はロクロ成形の皿Ａ類のみである。煮炊き具は土師器甕Ａ・Ｂで構成される。

Ｉ－２期は供膳具が灰釉陶器から山茶椀に移行し、灰釉陶器は見られなくなってしまう時期である。山茶椀では椀Ａが中心である。椀Ｂ・Ｃも見られるが、数は少ない。皿は高台が付くいわゆる小椀とよばれる皿Ａのみで構成される。土師器はＩ－１期とほぼ同じで、皿Ａ、甕Ａ・Ｂのみである。

Ｉ－３期は山茶椀類椀には大きな変化は見られないが、皿では高台が無い皿Ｂが中心となる時期である、なかでも底部の突出した皿Ｂ１、深目のタイプの皿Ｂ２が多くみられる。土師器では、ロクロ成形の皿では皿Ａに混じって、皿Ｂもわずかにみられる。また、この時期の特徴として、てづくね成形の皿Ｃ・Ｅ類が出現することである。煮炊き具では甕Ｂが減少し、甕Ａが中心となる。これに加えて焼き締め陶器釜が出現し、量的にも多くみられるようになる。

Ｉ－４期は山茶椀類椀では口径が減少し、径高指数の大きな椀Ｂ類が中心となる時期である。全体的に小振りで深いものとなる。皿は皿Ｂ類が中心であるが、器高が減少し、浅めの皿Ｂ３が増加する。また、均質な胎土を持つものの数も増える。土師器ではロクロ成形のものがほとんど見られなくなり、皿Ｃが中心で、新しく皿Ｅ２（いわゆるへそ皿）も見られるようになる。

なお、実年代については直接比定できる資料がないので、ほぼ隣接して存在する西春日井郡清洲町所在の土田遺跡での成果[4]と山茶椀の生産地での編年観等を用いておおよその年代を推定した。

Ｉ－１期は、灰釉陶器の年代観等からみて11世紀代の時期が考えられる。Ｉ－２期は、山茶椀類皿に高台が付くことなどから土田Ｉ期に相当し、12世紀前葉から12世紀中葉が考えられる。Ｉ－３期は

山茶椀類椀・皿の形態などからみて土田Ⅱ期に相当し、12世紀後葉から13世紀前葉が考えられる。Ⅰ－4期は土田Ⅲ期に相当し13世紀中葉から13世紀後葉にかけての時期が考えられる。

2．出土状況

以下、各小期ごとに代表的な遺構を抽出し、その遺物の出土状況等について述べるが、それ以外のものは巻末の遺物観察表に示した。

1）Ⅰ－1期（11世紀代）

Ⅰ－1期の遺構・遺物は余り多くなく、地区的にも59Eの調査区を中心としている。また、包含層では、58の調査区の灰色粘質土層から一括性の高い灰釉陶器を多数含む土器群が検出された。代表的な遺構としてＳＥ52、ＳＤ55、ＳＫ271などがある。

ＳＥ52（第46～47図－１～56）　ＳＥ52はＩ－１期のなかで最もまとまって遺物が出土した遺構である。遺物は破片数で177点が出土している。出土した器種には灰釉陶器椀、深椀、皿、段皿、壺、須恵器甕、土師器甕・鍋、土鍾、瓦などがある。最も多かったのは灰釉陶器椀で80点が出土している。

灰釉陶器椀（１～28、31、40、44、47）は漬けがけを基本とする施釉方法で、形態的には猿投窯編年のＯ－53号窯期～Ｈ－72号窯期を中心とする時期のものである。32は体部内外面に光沢のある深緑色の灰釉を刷毛で塗っている。皿は34～39のように口縁部まで直線的に伸びるタイプのものが多くみられる。33は高台の高い大きめの段皿である。これら灰釉陶器の椀・皿の生産地としては猿投窯と美濃窯のものがあるが、両生産地の量的な比率はほぼ同じくらいである。48は肩に取っ手が付くもので、淡緑色の灰釉が肩の部分に厚く掛かる。

須恵器は甕（49～50）のみである。

土師器は甕・鍋などの煮炊き形態は見られるが、供膳形態は全くない。53は「伊勢型」鍋とよばれるものであるが口縁部が直立気味で体部も球形に近いことから、最も古いタイプであると思われる。外面にはススが付着する。

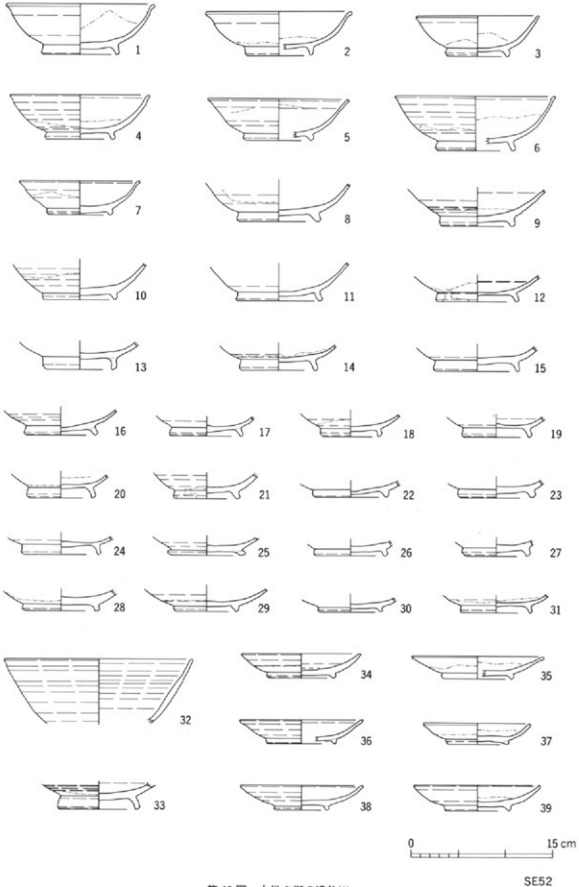
そのほか、55、56は瓦である。瓦はわずかにＳＥ52にのみ見られるもので、その性格は不明である。内外面とも布目が残るが、55は外面を叩いて整形し、その後ナデもしくはヘラ削りで調整している。

ＳＤ55（第47図－57～63）　ＳＤ55からは灰釉陶器椀、皿、壺、土師器甕、土鍾が出土している。灰釉陶器は漬けがけで施釉されている。63はかなり大きな土鍾である。焼成は土師質で、赤褐色を呈する。

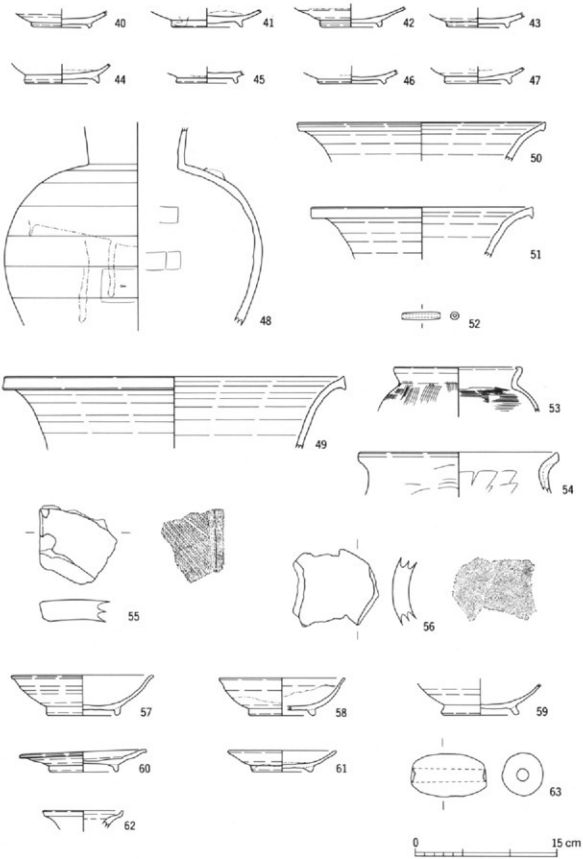
ＳＫ271（第48図－64～76）からは灰釉陶器椀・皿に混じって、土師器皿・鍋Ｂが出土している。灰釉陶器は基本的に漬けがけである。土師器は柱状高台を持つ皿Ａ３や脚を持つ皿Ａ４がみられる。69と71は褐色の胎土であるが、70は白色の緻密な胎土を持つものである。鍋は鍋Ａも少し見られるが、鍋Ｂが大量に出土した。口縁部の形態は75のように斜めに直線的に立ち上がるものと、73や74のように屈曲するものがある。鍋Ｂは口縁部内側や口縁部下の体外面にススが付着するものが多い。

包含層出土（第48～49図－77～135）　包含層出土の遺物は、主として58及び59Ｅ区からまとまって出土している。器種としては緑釉陶器椀、灰釉陶器、皿、段皿、耳皿、長頸瓶、短頸壺、土師器鍋Ａ・Ｂなどがみられる。

77～80は緑釉陶器である。いずれも細片であるが、80は暗灰色の胎土を持つ篠岡産のものであると思われる。

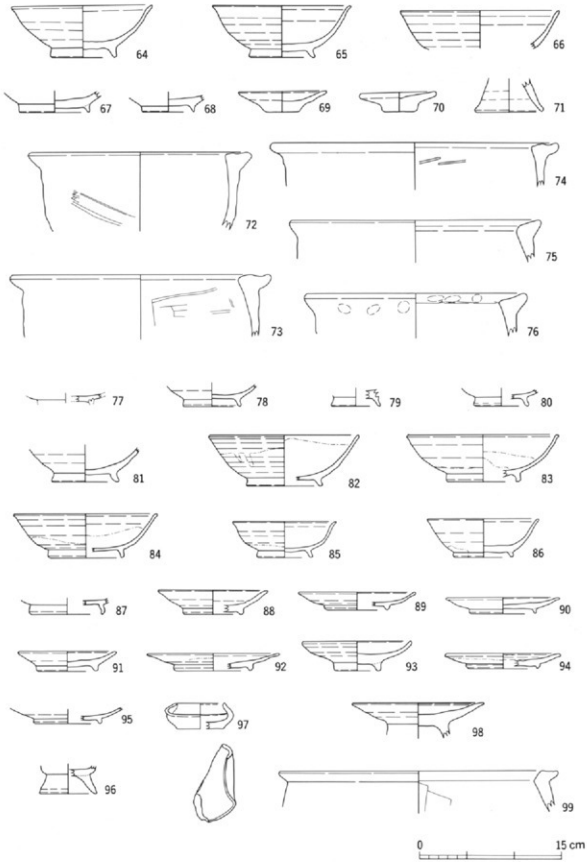


第46図　中世Ⅰ期の遺物(1)



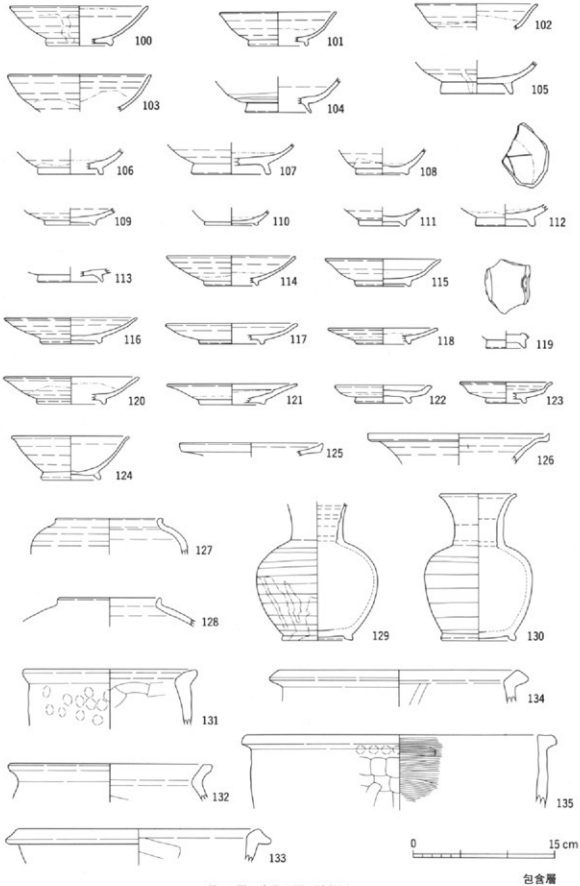
第47図　中世Ⅰ期の遺物(2)

SE52、SD55



SK271、その他

第48図　中世Ⅰ期の遺物(3)



第49図　中世Ⅰ期の遺物(4)

灰釉陶器は多数出土したが、83のような刷毛塗りの灰釉陶器類も見られる。生産地としては美濃産のものが多いと思われる。長頸瓶（130）は口縁部が余り大きく開かないタイプのものである。

124は土師器椀である。この地域ではほとんど見られないものである。ロクロを用いて成形し、底部に回転糸切り痕跡を残す。高台はシャープである。胎土は乳白色で比較的で緻密である。在地のものなのか搬入品と考えた方がよいのか、類例が少なく判断ができない。土師器鍋は鍋Ｂが中心である。法量、形態にもバラエティーがある。

２）Ｉ－２期（12世紀前葉～中葉）

この時期の遺構・遺物も余り多くない。遺物が多数出土したのは59Ｄ区と59Ｃ区の一部である。代表的な遺構としてはＳＫ460、ＳＫ491、ＳＫ492がある。

ＳＫ492（第50図－136～150）からは完形の遺物を含む比較的まとまった土器群が出土している。器種としては山茶椀類椀Ａ１・Ａ４・Ｂ１・皿Ａ、土師器皿Ａ１・Ａ４・鍋Ａなどがある。

山茶椀類椀は体部に丸みを持つものが多く、産地としては猿投、常滑等が中心である。138は体部外面に「＋」の墨書が書かれている。皿Ａは体部の比較的深いもので、産地としては猿投、瀬戸が考えられる。

土師器は皿がすべてロクロ成形のものである。147は大きな脚を持つものである。口縁部は不明であるが、体部に丸みを持つ。鍋はすべて鍋Ａで、口縁部が比較的直立し、少し内側へ折り返すものである。体部外面は荒いハケメで調整され、ススが付いているものが多い。

ＳＫ491（第50図－151～154）からは、完形の山茶椀類皿Ａが２点、無釉陶器壺１点、蓋１点が出土した。出土状況が特殊であることから、何等かの形で祭祀等に用いられた可能性がある。151、152は胎土から猿投産である可能性が高い。154は灰白色の精良な胎土を持つものである。153は154に伴う蓋であると思われる。胎土は154によく似ている。

ＳＫ460（第50図－155～168）からは山茶椀類椀・小椀が多く出土した。器種は椀Ａ１、皿Ａのみで、産地も常滑が中心である。そのほか土師器鍋、白磁椀、把手、灰釉陶器瓶などがある。163は白磁椀である。口縁部等は不明であるが、内面には陰刻花文を施すものある。167は水注の把手であると思われる。

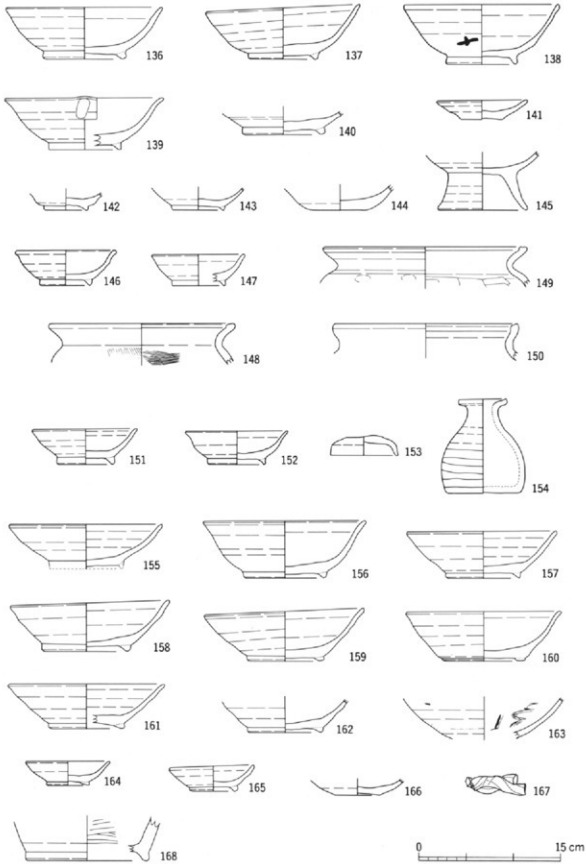
包含層出土（第51図－169～184）包含層からは山茶椀類椀、皿、土師器皿、鍋、甕、土錘などが出土している。

169～177はＳＤ127から比較的まとまって出土している。ＳＤ127は基本的には中世Ⅱ期の遺構であるが、掘削時は中世Ｉ期に遡る可能性も考えられる。出土遺物のうち、山茶椀類皿は高台のつくものである。土師器はすべてロクロ成形の皿Ａ類である。

３）Ｉ－３期（12世紀後葉～13世紀前葉）

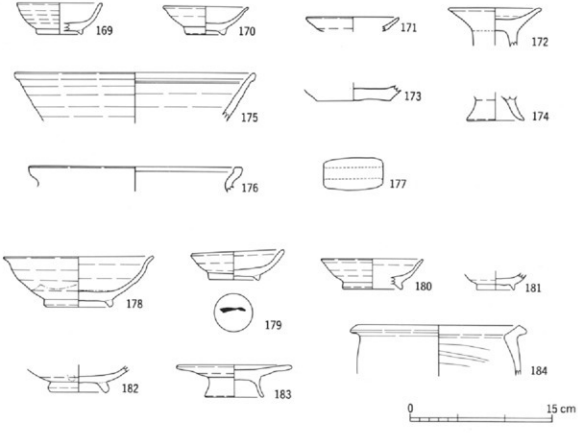
Ｉ－３期の遺構・遺物は最も多く、一つの遺構でも出土する遺物の量が莫大なものがある。特にこの時期の遺構は溝が多いが、これらは比較的短期間で終わっている。代表的な遺構として、ＳＤ09、ＳＤ76、ＳＤ133、ＳＥ55、ＳＫ168、ＳＫ230、ＳＫ316などがある。

ＳＤ09（第52～59図－185～489）　ＳＤ09は隣接する58区と59Ｇ区の調査区でそれぞれ別々に検出されて扱われてきたが、遺構の検討により同じであることが判明した。土器様相もよく似ており、



SK492、SK491、SK460

第50図　中世Ⅰ期の遺物(5)



包含層

第 51 図　中世Ⅰ期の遺物(6)

一つの遺構として取り扱うが、図としては58区（185～441）のものと59G区（442～489）のものを別々に掲載した。出土した遺物の点数は総破片数で6679点に上るが、その内約5000点が山茶椀である。出土遺物の器種としては、山茶椀類椀A１・A２・C１・D１、皿A・B１・B２・B３・D１・D２・D３、鉢、土師器椀、皿A１・A２・A３・A４・B・C２・C３、鍋A・B、施釉陶器灰釉四耳壺、焼き締め陶器壺、三筋壺、甕、羽釜、白磁椀、水注、青磁椀、皿、陶錘、加工円盤等がある。

山茶椀類椀は椀A１・A２・C１・D１が見られるが、主体となるのは椀A１である。椀A１は口径が約15cmで比較的口径の大きいものが多い。生産地としては各地のものがみられるが、常滑、猿投が中心である。これに瀬戸、渥美などの生産地が加わる。美濃、瀬戸産の均質なものは数は少ないが、一定量見られる。皿は各種見られるが、高台をもつ皿A１はわずかである。底部が突出する皿B１も数は少なく、やや深めの皿B２が主体となる。生産地は椀と同様、常滑、猿投産のものが大半をしめる。美濃産のものも一定量見られる。368も美濃産のものであるが、片口が付いている。鉢は口縁端部を丸く仕上げるものが中心で、産地は常滑産と思われるものがほとんどである。

土師器は白色の胎土をもつ椀（396）が数点見られる。皿には各種の皿があるが、基本的にはロクロ成形の皿Aと手づくね成形で白色の胎土を持つ皿C３ａが主体である。皿Aは赤褐色の胎土のものが多い。皿Bは他の遺構ではほとんど見られないが、ＳＤ09では比較的多く見られる。胎土には褐色のものと白色のものが見られる。皿C３ｂは382～385のように体部に段が付く。皿C３ａは体部が薄いもので、法量には大小がある。398～400、483、484は高い脚の付く大きな器形で、余り類例がなく、もっと古い時期のものである可能性もある。鍋は鍋A、Bがあるが、鍋Aは口縁部が少し外側に開くものである。鍋Bは法量が大・中・小の３種類に分かれる。口縁部の形態もバラエティーがある。

409、410、412は灰釉が施されており、四耳壺と思われる。

焼き締め陶器には壺・甕・羽釜が見られる。406は肩の部分に沈線が見られ、三筋壺になる可能性がある。甕は口径の大きなものと小さなものがある。羽釜は口縁部の先端が細くなるものである。

輸入陶磁器には白磁椀、青磁椀、皿等がみられるが、遺構全体の出土量からすれば少ない量である。白磁水注片も見られたが、細片で図示できなかった。

そのほか、陶錘、加工円盤があるが、加工円盤は山茶椀の底部片が多い。

ＳＤ76（第60～62図～521～604）　ＳＤ76から出土した遺物には、土師器皿があまり見られないのが特徴的である。出土した遺物の総点数は1126点であるが、土師器皿は74点のみで、10%にも満たない数であった。出土した器種には山茶椀類椀A１・A２・C１・D１、皿B２・B３・D２・D３、鉢、土師器皿A２、鍋A、施釉陶器片口鉢、壺、焼き締め陶器壺、甕、釜、白磁椀、青磁椀などがある。

山茶椀の出土量は多く、完形のものもかなり見られた。椀は体部に丸みを持つ椀A１が中心である。産地としては常滑産と思われるものが多い。美濃に加えて瀬戸の均質な胎土を持つものもいくつか見られた。皿は皿B２が最も多く、それに加えて、皿B３・D２などがある。産地としては常滑、猿投のものが多い。

土師器は非常に少ない。図示できた皿はわずかに３点のみである。いずれもロクロ成形の皿A２である。胎土は赤褐色を呈する。鍋には鍋Aが見られる。

施釉陶器には鉢、壺などがみられる。599は片口鉢である。白色で緻密な胎土を用いている。体部全

面に淡緑色の光沢のある灰釉がかけられている。注口の部分にはヘラ等による装飾がみられる。この様な器形の鉢は、窯跡では瀬戸市孫右エ門窯などでみられる。600の壺は白色で緻密な胎土を持ち、肩には光沢のある灰釉がかけられている。

焼き締め陶器では、甕の他にやや大型の羽釜が見られる。

輸入陶磁器には玉縁状口縁の椀がみられる。青磁では椀のみがみられる。597は少し小振りのもので、釉は透明に近い光沢のある色調である。

ＳＤ133（第63～71図－642～1031）　ＳＤ133は最も多量に遺物が出土した遺構である。遺物用コンテナにして約120箱、総点数で約11、811点が出土した。他の遺構では山茶椀が最も多いのが普通であるが、ＳＤ133では土師器の皿が最も多く、半数以上の約6,000点に及ぶ。出土した器種としては山茶椀類椀Ａ１・Ａ２・Ｂ１・Ｃ１・Ｃ２・Ｄ１、皿Ａ、Ｂ２・Ｂ３・Ｄ２・Ｄ３、鉢、土師器皿Ａ・Ｂ・Ｃ２・Ｃ３・Ｄ・Ｆ、鍋Ａ・Ｂ、釜、施釉陶器鉢、四耳壺、壺、焼き締め陶器壺、三筋壺、小壺、水注、甕、釜、白磁椀、皿、四耳壺、青磁椀、皿、青白磁椀、瓶、合子、瓦器羽釜、灰釉陶器、緑釉陶器、陶錘、陶丸などがある。

山茶椀類は約4,000点が出土している。そのうち椀は約3000点をしめる。椀では椀Ａ１・Ａ２が主体となる。産地は常滑のものが多く、猿投、瀬戸がこれに続く。698も常滑の製品であると思われるが、体部外面に４ヶ所「田」の墨書がある。皿は皿Ａが少し出土しているが、ほとんどは皿Ｂ３である。皿は完形のものがかなり多い。産地は椀と同じ常滑の製品が中心である。椀・皿とも均質な胎土を持つものは少ない。その比率は椀では１：８、皿では１：12となる。鉢は、片口の付くものと付かないものがある。産地は常滑、瀬戸のものがある。

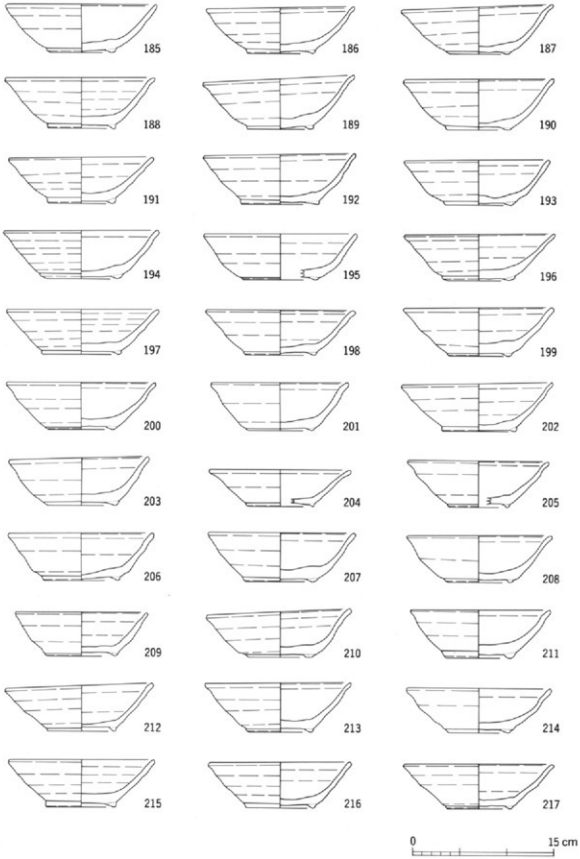
土師器はＳＤ133出土遺物の半数以上を占めるが、基本的には皿Ｃ２である。皿Ｃ２は口径が約8.2cmの小型のものと12.0cmの大型ものがある。数では少し小型のものの方が多い。胎土はほとんどが浅黄橙色～赤褐色のもので、白色のものは土師器皿のなかで２％以下である。965は白色の胎土を持つものであるが、口径は15cmと最も大きなものである。ロクロ成形の皿Ａ、Ｂは数が少なく、土師器皿のなかで占める割合は両方合わせても0.5％ほどである。鍋は鍋Ａが多い。1024のように口頸部がかなり屈曲し、口縁端部が少し偏平になっている。

施釉陶器には灰釉四耳壺などがあるが、量的にはごくわずかである。

焼き締め陶器には三筋壺などの壺類と甕、羽釜などがある。1008は常滑の壺であるが、口頸部基部に段を持つものである。1020の三筋壺は黒灰色の胎土を持つものである。1014と1015の甕は、胎土などから同一個体になる可能性がある。羽釜は赤褐色の色調を呈している。

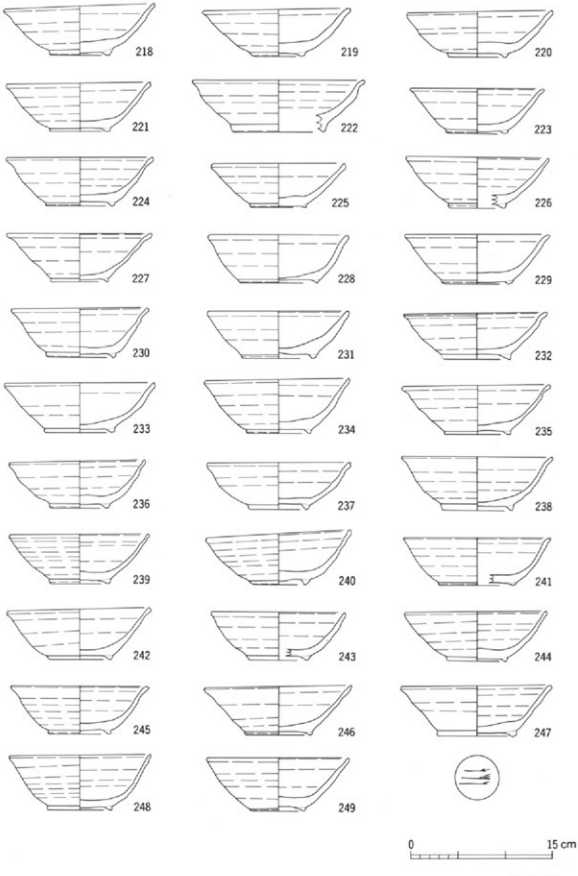
輸入陶磁器には白磁、青磁、青白磁がある。合計で約160点が出土している。多いのは青磁椀で、内面に片切り彫りの文様を持つものなどがみられる。釉調や色調にはバラエティーがあるが、産地は龍泉窯のものが多いと思われる。皿は995のような平底で櫛描き文を持つものが多い。白磁では玉縁口縁椀などがみられる。973は白磁四耳壺である。釉調はやや灰色を帯びた厚めの釉である。青白磁は調査区全体でもほとんど見られないものであるが、ＳＤ133のみ、20点以上出土している。多いのは合子である。974のようなやや大きな楕円形のものと975から978のような円形のものがある。

そのほか、灰釉陶器が椀・皿を合わせて600点以上出土している。これらは前代の流れ込みとも考え



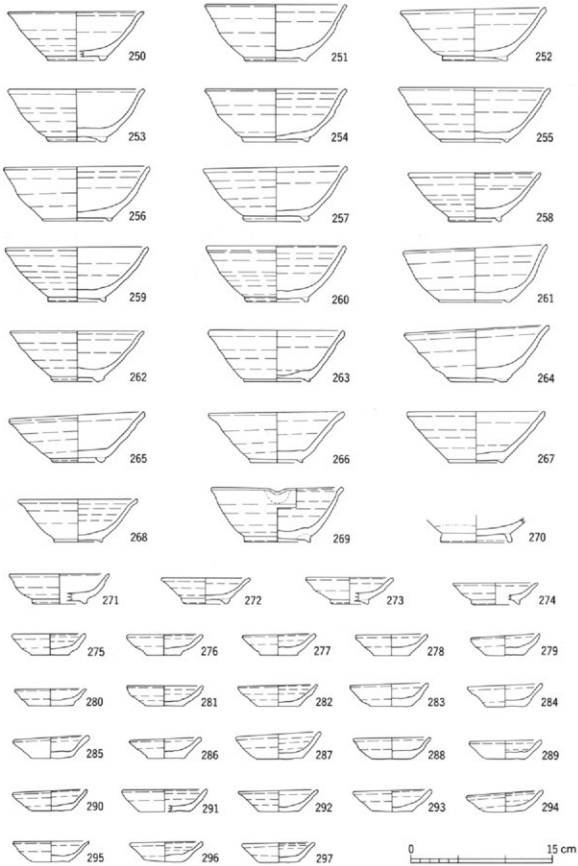
SD09 (1)

第 52 図　中世 I 期の遺物(7)



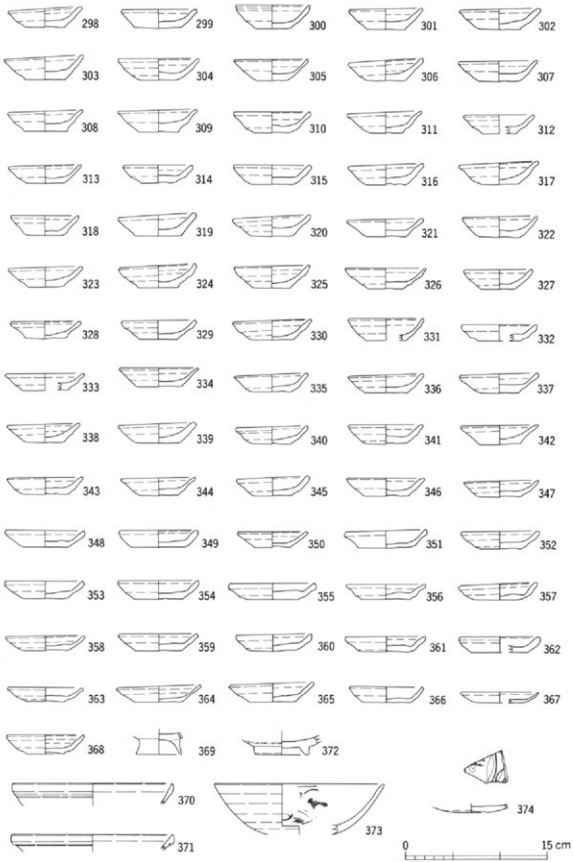
SD09 (2)

第 53 図　中世 I 期の遺物(8)



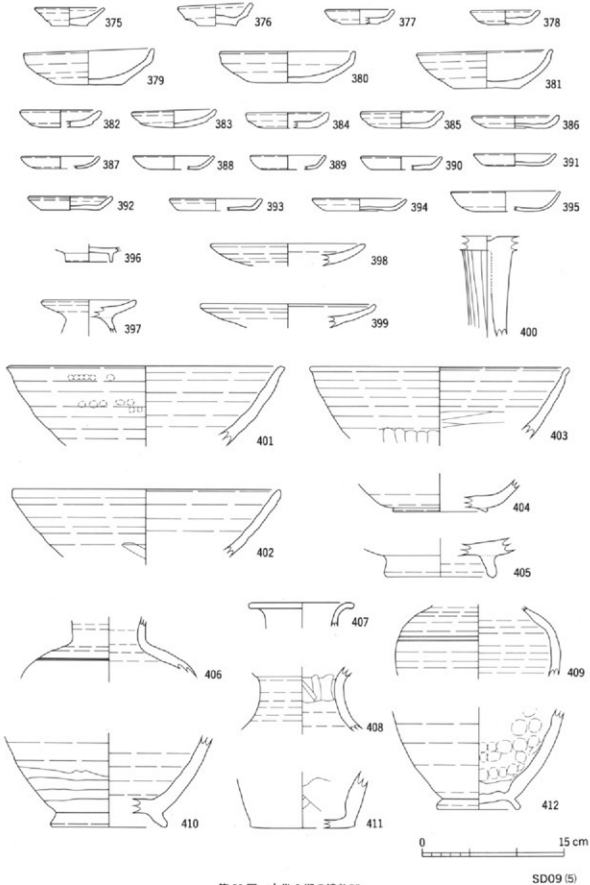
SD09 (3)

第 54 図　中世Ⅰ期の遺物(9)

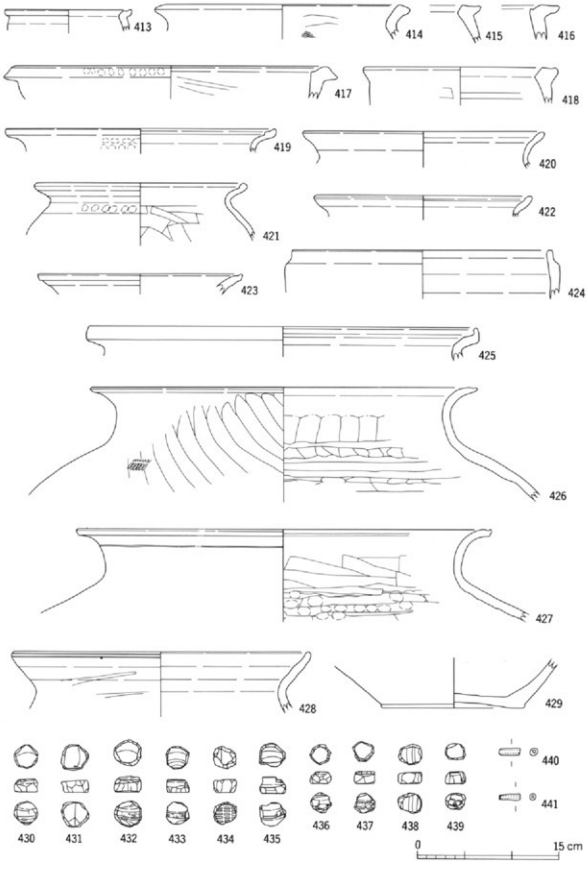


SD09 (4)

第 55 図　中世 I 期の遺物(10)

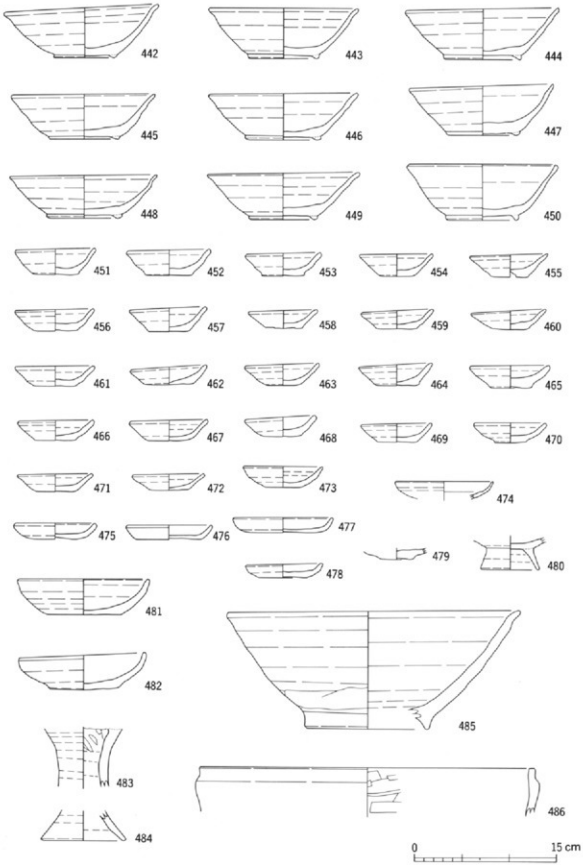


第 56 図　中世Ⅰ期の遺物(1)



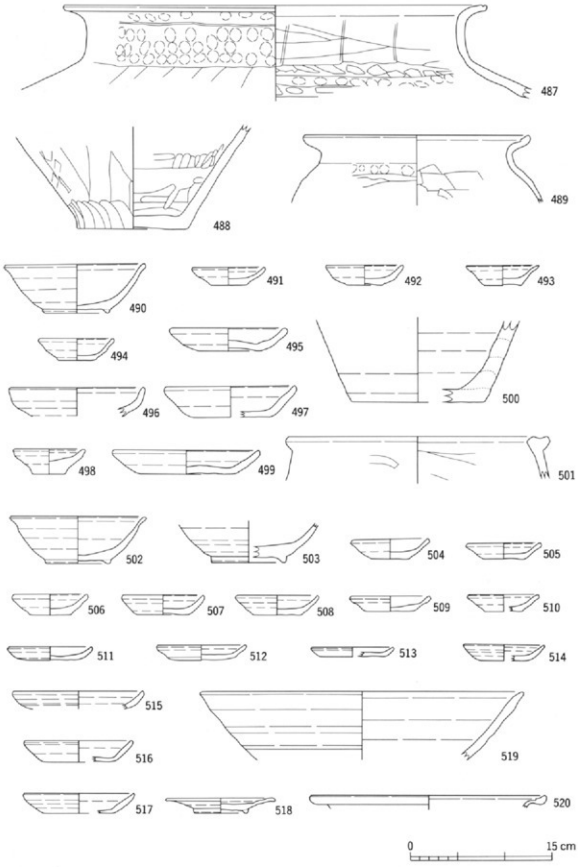
第 57 図　中世Ⅰ期の遺物(7)

SD09 (6)

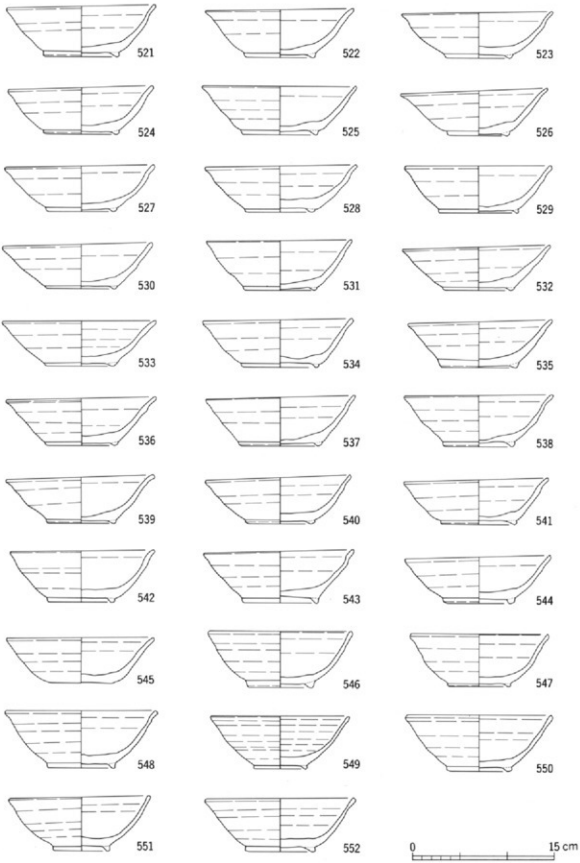


SD09 (7)

第 58 図　中世 I 期の遺物(13)

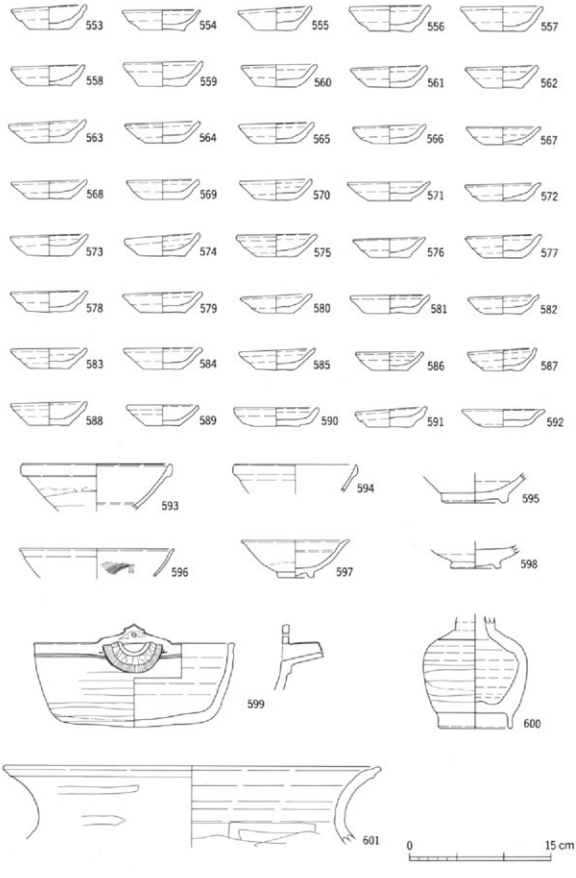


第 59 図　中世Ⅰ期の遺物(4)　　SD09 (8)、SK168、SE55



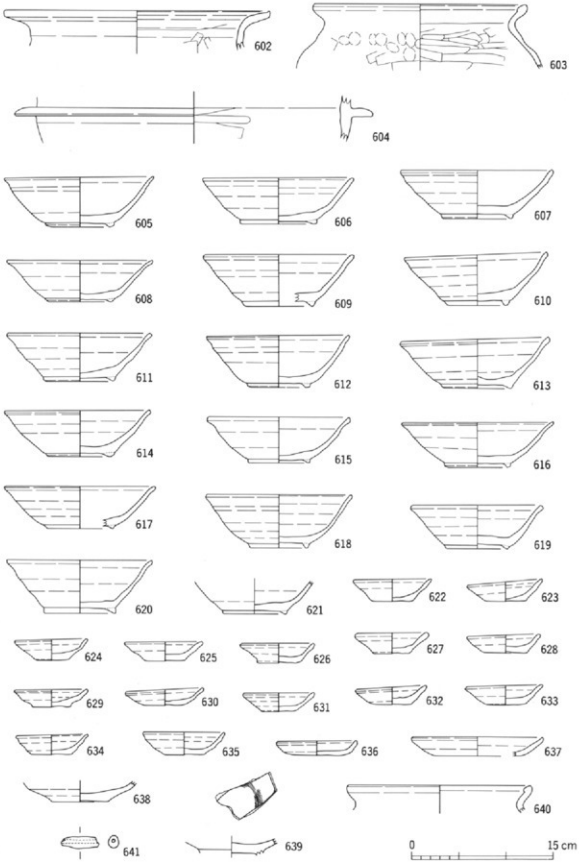
SD76 (1)

第 60 図　中世 I 期の遺物(15)



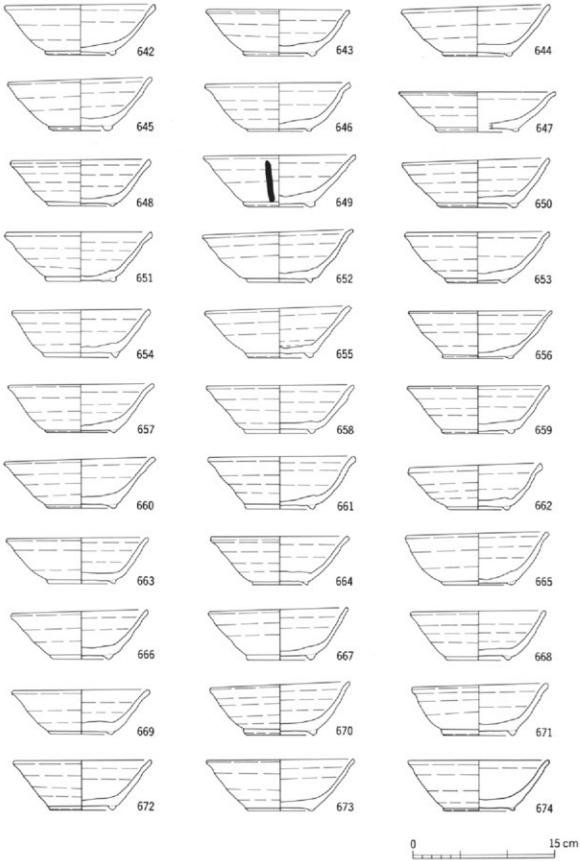
SD76 (2)

第 61 図　中世Ⅰ期の遺物⑯



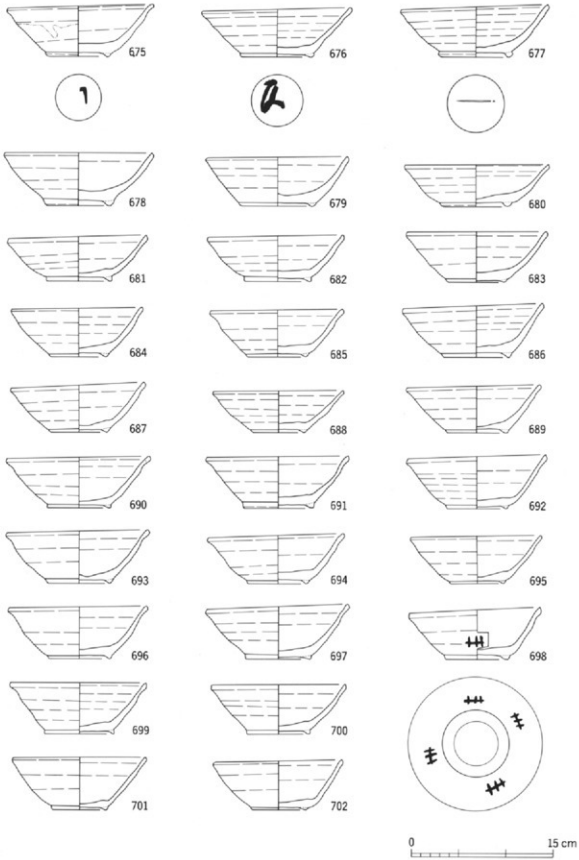
SD76 (3)、SK232

第 62 図　中世 I 期の遺物(17)



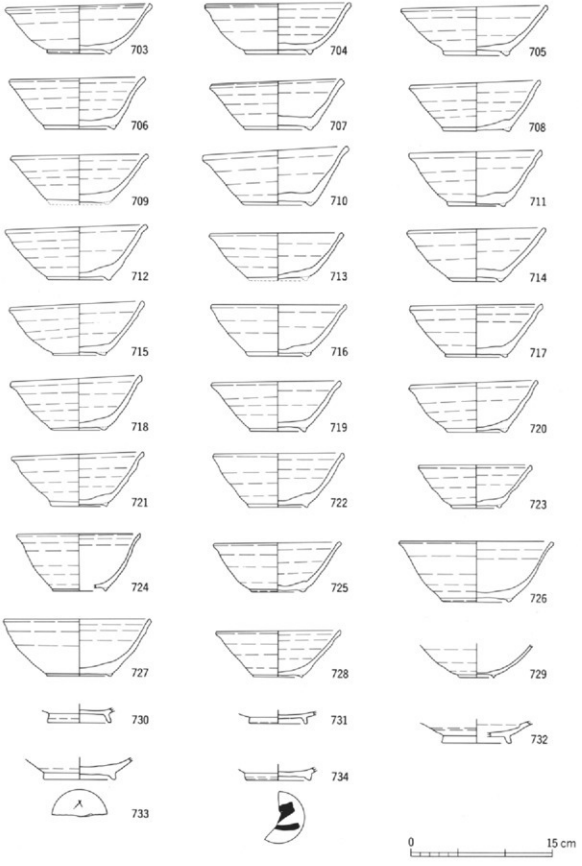
SD133 (1)

第 63 図　中世 I 期の遺物(18)



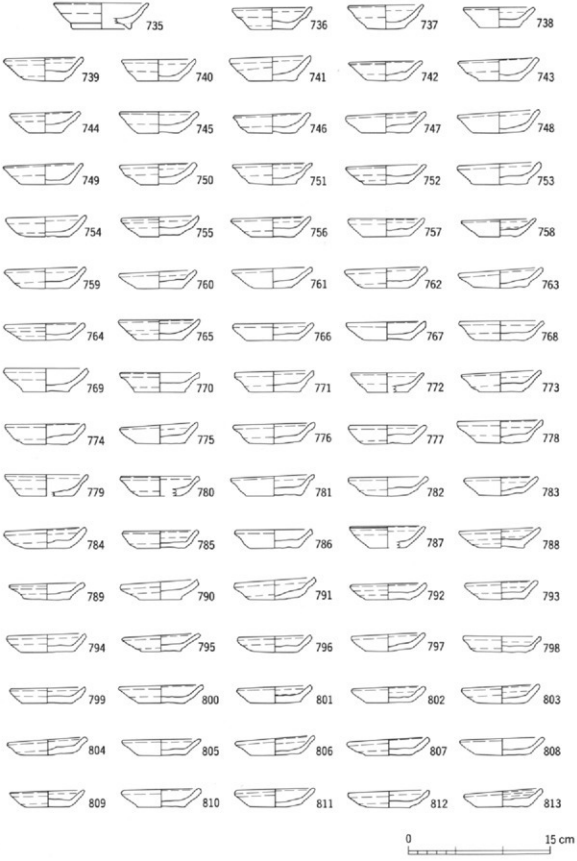
SD133 (2)

第 64 図　中世Ⅰ期の遺物(19)



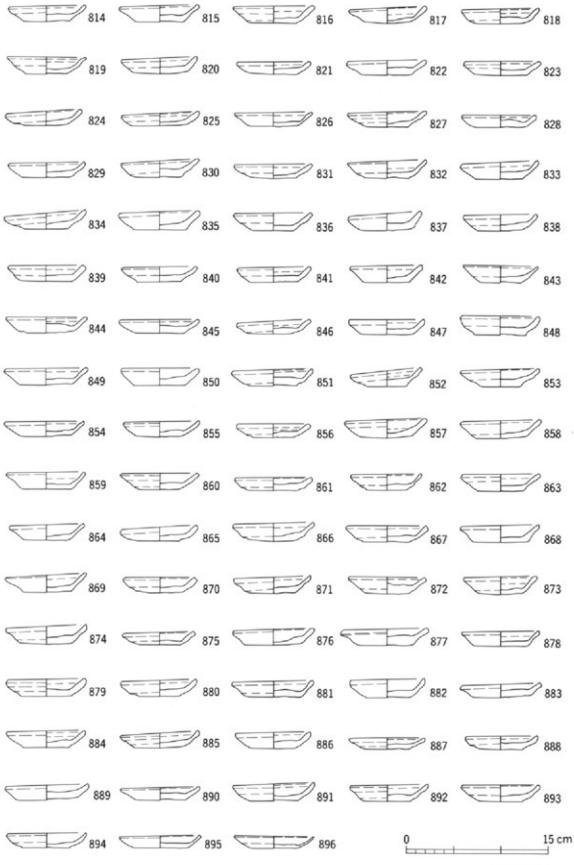
第65図　中世Ⅰ期の遺物(7)

SD133 (3)



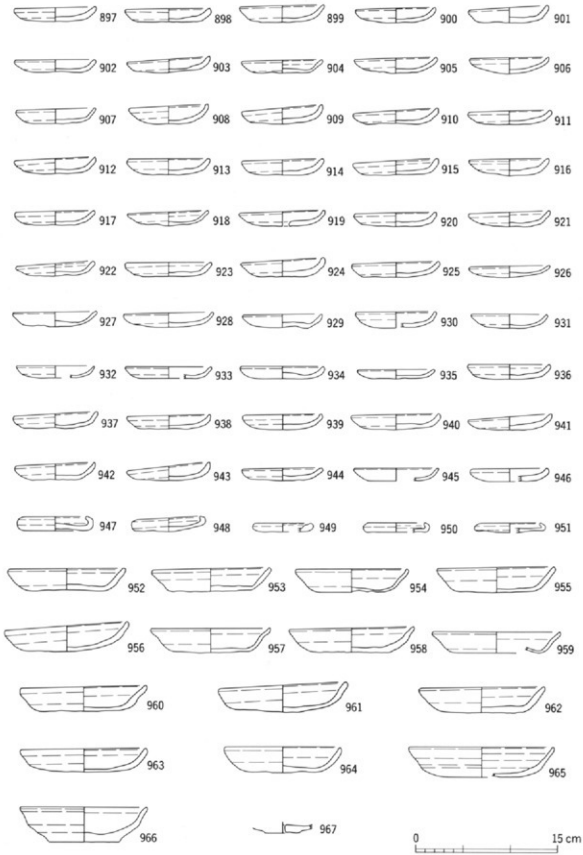
SD133 (4)

第 66 図　中世Ⅰ期の遺物(21)



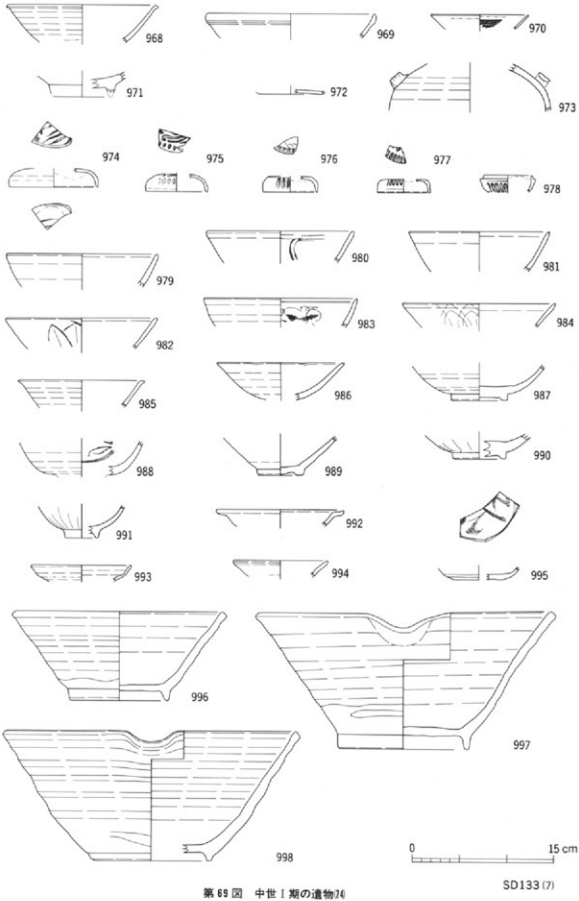
SD133 (5)

第 67 図　中世 I 期の遺物(2)

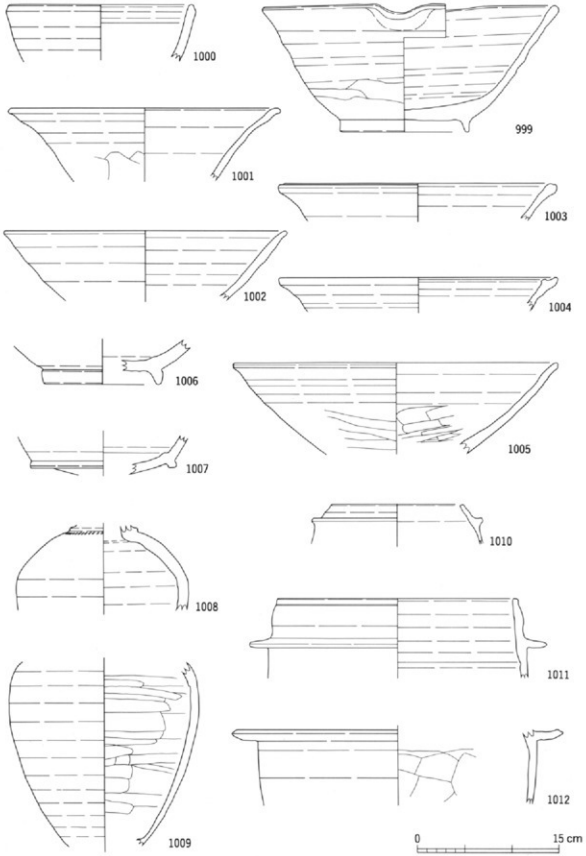


SD133 (6)

第 68 図　中世Ⅰ期の遺物(3)

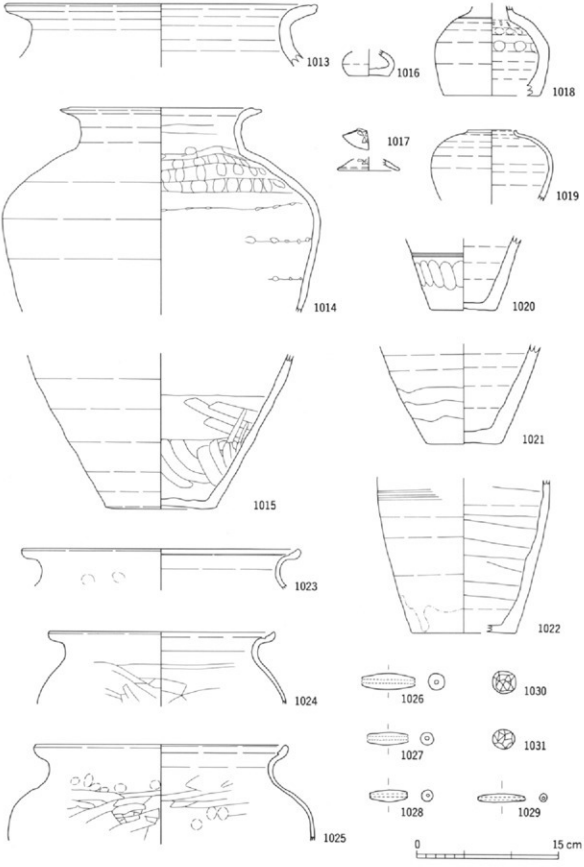


第 69 図　中世Ⅰ期の遺物(4)



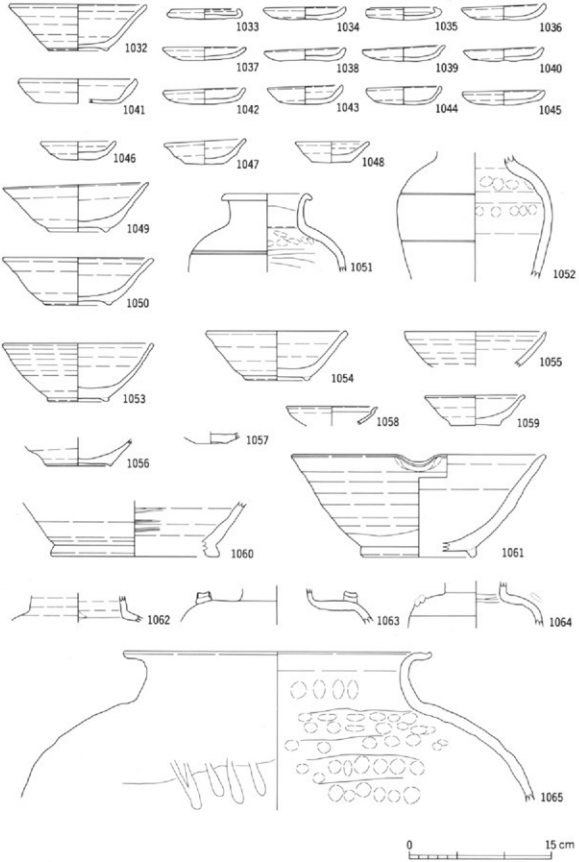
SD 133 (8)

第 70 図　中世 I 期の遺物(3)



SD133 (9)

第 71 図　中世 I 期の遺物(6)



第72図　中世Ⅰ期の遺物(27)

SK316、包含層

られる。1010は瓦器と思われる。器面の摩滅が激しいので調整技法等は不明である。

包含層出土（第72図－1046～1065）　59Ｅ区の包含層中で褐色粘土層が見られたが、ここから山茶椀に混じって、常滑三筋壺などが出土している（1051、1052）。

４）Ｉ－４期（13世紀中葉～後葉）

Ｉ－４期の遺構・遺物はあまり多くない。検出された遺構は溝、土坑、井戸などである。代表的な遺構としては、ＳＤ55、ＳＫ335、ＳＫ360、ＳＫ388、ＳＫ400（下層）、ＳＫ455、ＳＥ91などがある。

ＳＤ55（第73・74図－1066～1158）　ＳＤ55からは土師器が大量に出土している。全てで9,000点弱の遺物が出土しているが、そのうち土師器の占める割合は70％以上である。出土した器種としては、山茶椀類椀Ａ１・Ｂ２・Ｂ３・Ｃ１・Ｃ２・Ｄ１・Ｄ２、皿Ｂ２・Ｂ３・Ｄ２・Ｄ３、入子、土師器皿Ａ・Ｃ２・Ｃ３・Ｄ・Ｅ１・Ｅ２・Ｆ、鍋Ａ・Ｂ、釜、施釉陶器灰釉椀、皿、鉢、壺、焼き締め陶器壺、甕、白磁椀、皿、青磁椀、皿、陶丸、陶錘などがある。

山茶椀類椀では、砂粒を多く含む胎土のもので高台を欠く椀Ｂ３がかなり見られる。産地ははとんど瀬戸であると思われる。この時期になると均質な胎土を持つものが増加し、その比率は椀では６：５、皿では３：２と逆転する。胎土が均質なものでは、椀Ｃ１・Ｃ２などが中心である。皿では、皿Ｄ３が中心となる。1108はミニアチュアの皿である。大きさからみると実用とは思えない。1109は口縁部がひだ状になる入子で、底部に丸い粘土粒が３ヶ所付けられており脚を表しているのかもしれない。

土師器皿は合計約6500点とかなりの数に上る。ロクロ成形のものもあるが非常に数が少なく、流れ込みの可能性が高い。最も多いのが皿Ｃ２である。皿Ｃ２は底部がやや丸底気味で、体部に稜を持つものも多い。口径は約８cm前後のものが多い。白色の胎土を持つものもあまり見られなくなる。この時期に新しくみられる器種として皿Ｅ類がある。皿Ｅ１では、1142のように口縁部の横ナデが明瞭である。1111はいわゆる「へそ皿」であるが、量としてはごくわずかである。皿Ｆは器高が小さくなり偏平化する。体部に丸みを持つもの（1114～1118）も増えてくる。鍋は鍋Ａ・Ｂが見られる。釜は胎土が比較的均質なものである。

施釉陶器は椀・皿・鉢・壺と器種にバラエティーが増えてくる。1146は光沢のあるガラス質の灰釉を施した天目型の椀である。底部は回転糸切りのままである。1147は卸皿である。体部には淡緑色の灰釉をかけるが、底部は露胎である。

焼き締め陶器には壺・甕がある。1151は体部がそろばん玉形になるものである。釜はほとんど見られなくなる。

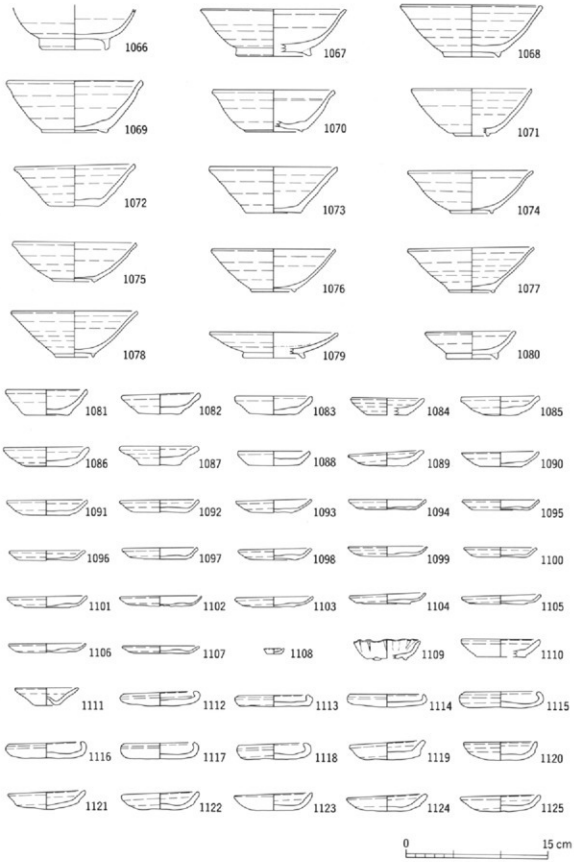
輸入陶磁器では白磁椀や青磁椀が幾つかみられるのみである。

そのほか陶丸、陶錘などがある。

ＳＫ388（第75図－1172～1187）　ＳＫ388からは山茶椀類椀Ａ２が多く見られた。土師器では皿Ｃ２・Ｃ３が中心である。1187は土師器釜のミニアチュアと思われるが３つの足が付く。

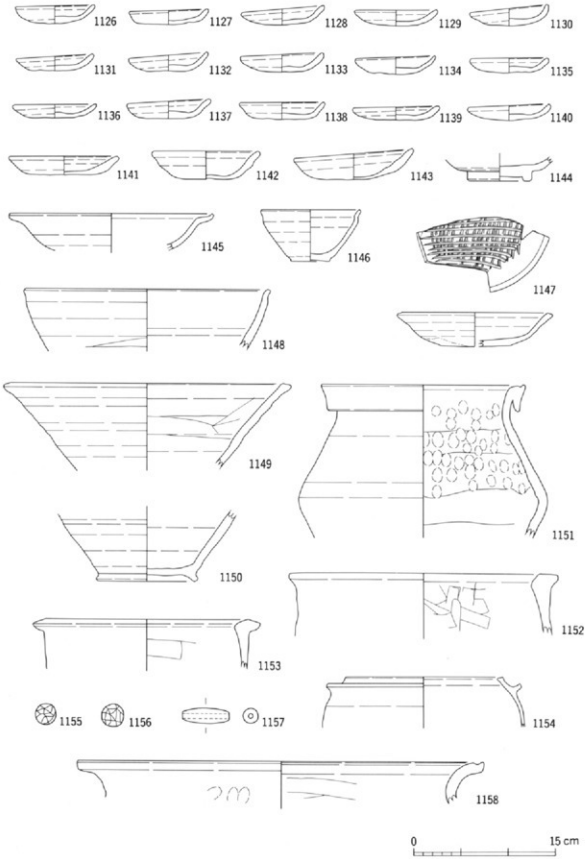
ＳＫ455（第75図－1202～1208）　ＳＫ455からは山茶椀類椀・皿類が幾つも出土しているが、1204には「上」の墨書がある。

ＳＫ360（第76図－1209～1241）　ＳＫ360では山茶椀類椀Ａ１・Ａ２・Ｂ２・Ｂ３・Ｃ１、皿Ｂ２・Ｂ３・Ｄ３、鍋Ａ、施釉陶器鉢、焼き締め陶器甕、青磁椀、白磁皿、陶丸等がみられる。

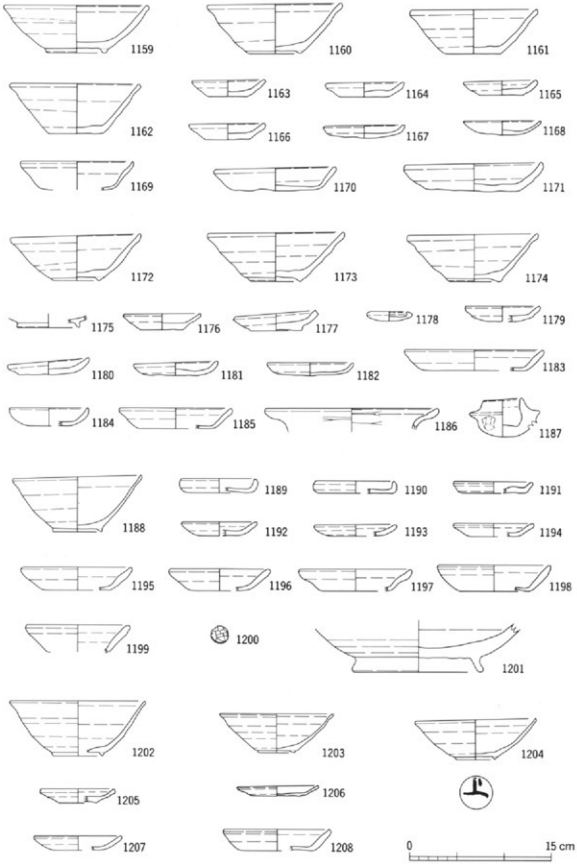


SD55 (1)

第 73 図　中世Ⅰ期の遺物(7)

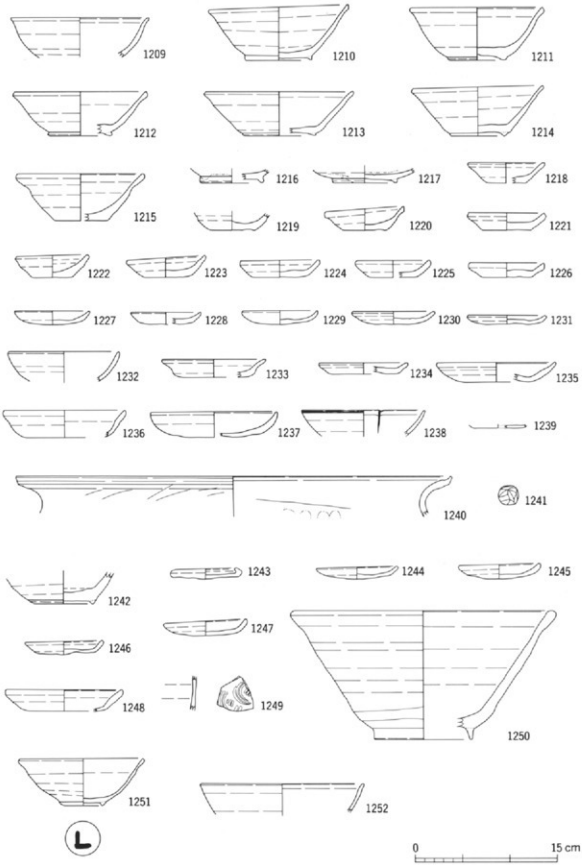


第 74 図　中世 I 期の遺物(29)



SK400、SK388、SK455、SE91

第75図　中世Ⅰ期の遺物30



SK360、SK335

第76図　中世Ⅰ期の遺物(31)

山茶椀類は、椀では常滑産のものが比較的多くみられる。時期幅が少しある。

土師器は皿が各種見られるが、1230,1231,1234のような偏平な皿Ｄ３が目だつ。1237は体部が丸みを持って立ち上がるものである。このような形態のものはほとんどが白色の胎土を持つ。

1238は青磁椀である。濃緑色の色調で口縁端部に輪花がある。

ＳＫ335（第76図－1242～1250）　ＳＫ335からは山茶椀類椀Ｂ２、土師器皿Ｄ２、Ｄ３、Ｆ等が出土しているが、1249のように青白磁の印花文を持つ壺も出土している。　（城ヶ谷和広）

註

1）古代と中世の境界をいつからとするかについては諸説がある。本報告では遺構の連続性を重視する立場から、古代末も含めて中世と呼ぶこととした。

2）城ヶ谷和広1991「土田遺跡における中世土器の様相」『土田遺跡Ⅱ』愛知県埋蔵文化財センター

3）藤澤良祐1984「古瀬戸概説」『美濃陶磁歴史館報Ⅲ』

4）註２に同じ

第３節　中世Ⅱ期の土器・陶磁器

１．概要

中世Ⅱ期は、遺構の状況からおおよそ中世の後半期に相当し、実年代では14、15世紀を中心とする時代が考えられる。該期の遺構には屋敷地を囲む大溝・井戸・土坑等がある。

これらの遺構から出土した土器・陶磁器の種類は中世Ⅰ期とほぼ同じで、山茶椀（類）、土師器、施釉陶器、焼き締め陶器、輸入陶磁器、土製品、陶製品、瓦、加工円盤等がある。

山茶椀（類）は中世Ⅰ期と比較するといわゆる北部系のものが相対的に増加する。器種としては椀・皿・鉢があるが、量的には椀・皿が大多数を占める。

土師器には皿、鍋、釜がある。皿は一般的に出土する状況が特異で、溝などから集中して出土する例があり、法量や形態にもバラエティーがある。基本的には手づくねの成形で、法量はおおよそ大・中・小に分かれる。胎土は白色で比較的精良なものと赤色で砂粒を多く含むものがある。鍋は伊勢型鍋（中世Ⅰ期分類の鍋Ａ）で、細片が多い。この時期からみられる形態として内耳鍋と呼ばれる内面に耳を持ったものがある。釜は鍔を持った羽釜と呼ばれる器形のものが中心であるが、口縁部が受け口状に大きく開き、三足がつくものも若干みられる。

施釉陶器は一般的には“古瀬戸”と呼ばれる瀬戸で生産された灰釉や鉄釉を施した陶器である。中世Ⅰ期にはあまり見られないが、この時期になると量的にもかなり増加する。器種としては、鉄釉を施釉したもので天目茶椀、丸椀、輪花皿、鉢、瓶子、桶、燭台などがあり、灰釉を施したものとしては平椀、丸皿、卸し皿、ひだ皿等の皿類、鉢類、四耳壺、瓶子、水注、香炉、水滴などがあり、かなり豊富である。

焼き締め陶器はほとんどが常滑産であると思われる。量的にはⅠ期とあまり変わらない。器種は甕、三筋壺、壺、釜などがある。

輸入陶磁器は全てが中国陶磁で青磁と白磁がほとんどである。なかには若干、青白磁、染付が混じるほか、中国産と考えられる鉄釉天目茶椀も見られる。

そのほか、陶製品として陶丸、陶錘、加工円盤等がある。

２．出土状況

次に代表的な遺構を抽出し、その遺物の出土状況等について述べるが、それ以外のものは巻末の遺物観察表に記した。

ＳＤ164（第77～80図－１～59）

ＳＤ164は調査区を東西に走る幅４～５ｍの大溝である。遺物の量はかなり多く、点数で12,000点以上を数える。

出土する土器・陶磁器には山茶椀類椀・皿・鉢、土師器皿・鍋、施釉陶器灰釉平椀・灰釉皿・灰釉卸し皿・灰釉四耳壺・灰釉浅鉢・灰釉平鉢、焼き締め陶器壺・甕、青磁椀・白磁椀・陶丸などがある。

山茶椀類はこの溝から出土した遺物の総量の50％以上を占める。器種構成を見てみると、皿は椀に比べて数がきわめて少ない。鉢は全体の約１％の120点ほど出土している。なかには片口を持つものもある。

土師器皿は破片数は4,000点弱を数えた。そのほとんどがてずくね成形のもので、ロクロ成形と思われるものはごくわずかである。煮炊き具では伊勢型鍋と羽釜が主体である。

施釉陶器は器種が豊富である。主体となるのは鉄釉天目茶椀、灰釉平椀、灰釉卸し皿、灰釉鉢などの供膳具であるが、なかには灰釉梅瓶、根来型瓶子、仏花瓶、鉄釉燭台といった特殊な器形も見られる。

焼き締め陶器は甕が最も多い。それ以外には三筋壺や鉢、小壺、羽釜などがあるが、量としてはごくわずかなものである。

輸入陶磁器は青磁では蓮弁文椀が多い。白磁では玉縁口縁椀、口禿椀などがある。量としては1％未満できわめて少ないが、なかには中国製と思われる天目茶椀もある。

その他のものとしては陶丸が5点、加工円盤が80点ほど出土している。

S D108（第81～85図－60～111）

S D108からは破片数の総点数で約25,000点強を数える大量の遺物が出土している。しかし、その60％は土師器皿がしめる。出土する器種としては山茶椀類椀・皿・鉢、土師器皿・鍋・釜、施釉陶器鉄釉天目茶椀・鉄釉丸皿・擂座茶入れ・壺・灰釉平椀・卸皿・鉢・香炉・水注・瓶子など、焼き締め陶器壺・甕・鉢・釜、青磁・白磁、瓦器などがある。そのほか弥生土器・須恵器・灰釉陶器なども若干混じっている。

山茶椀は全体で約6,000点が出土しているが、均質な胎土のものと荒い胎土を持つものはおおよそ2：5の割合である。67の底部には「○」の墨書がみられる。

土師器はほとんどが皿で、手ずくね成形のものである。鍋は伊勢型鍋（鍋A）が最もよくみられる形態である。そのほかに内耳鍋も出土しているが、点数は1点のみである。釜は器壁の比較的薄いものである。三足のつく釜もみられる。

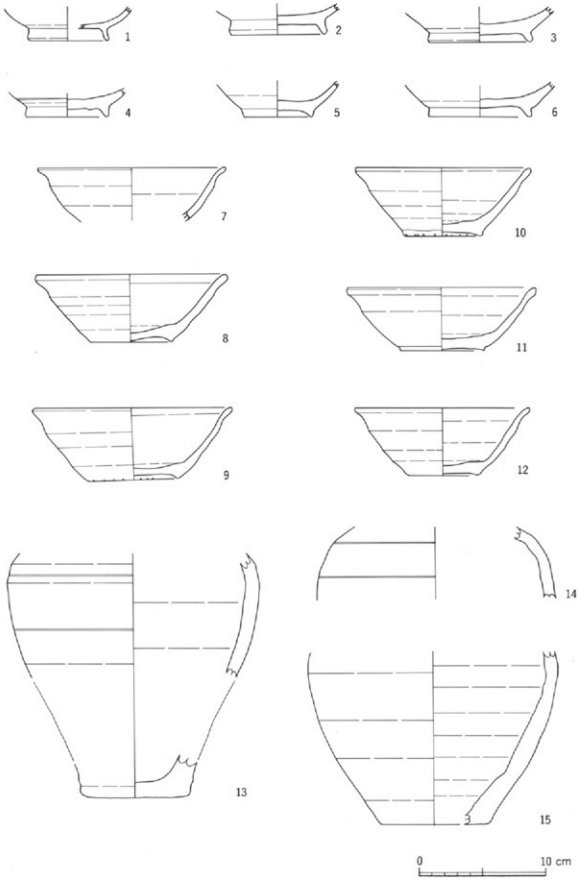
施釉陶器は器種がきわめて豊富にみられる。鉄釉を施したものとしては天目茶椀・丸皿・縁釉皿・摺鉢・擂座茶入れ・壺などがある。灰釉を施したものとしては平椀・丸皿・おろし皿・縁釉皿・輪花皿・折縁深皿・柄片口・香炉・水注・梅瓶・瓶子・壺などがある。84・85は水注の注口部であると思われる。89は鉄釉擂座茶入れである。色調は褐色である。102の柄付片口は光沢のある灰釉がかけられている。

焼き締め陶器はすべて常滑産である。器種の中では甕が圧倒的に多い。口縁部の形態は「N」字状に折り返すもので、83はかなり縁帯に近い形となっている。

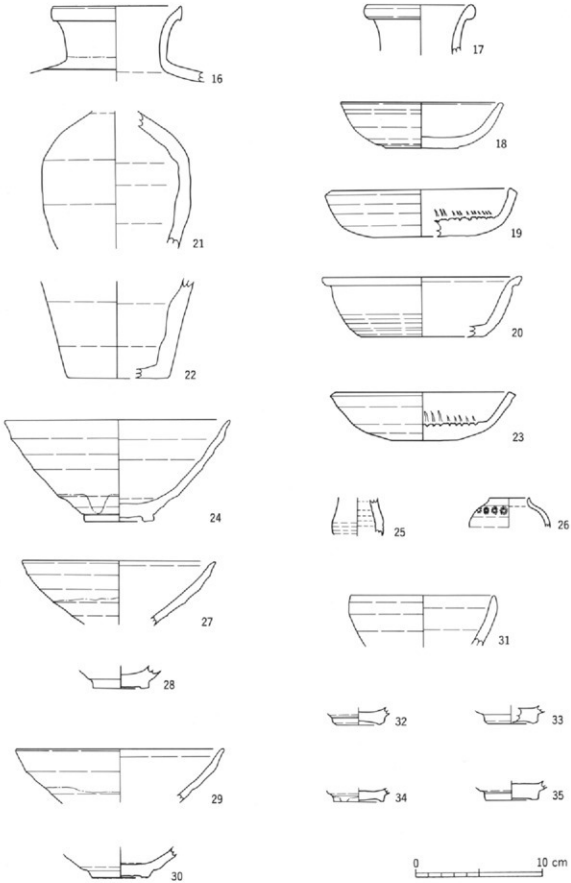
輸入陶磁器で、最も量的に多いのは青磁蓮弁文椀である。白磁では玉縁口縁を持つ椀や口禿の椀などがある。

その他の遺構・包含層出土遺物（第86・87図－112～138）

上記の遺構出土遺物以外にもたくさんの遺物が出土している。注目すべきものを挙げておくと、135は灰釉平椀の底部に墨書を施す。この墨書は花押であると思われる。陶磁器の底部に花押を書く例はほとんどなく珍しい類例であると思われる。138は鉄釉を施した四耳壺で肩の部分には「×」のヘラ記号がある。（小澤一弘、城ヶ谷和広）

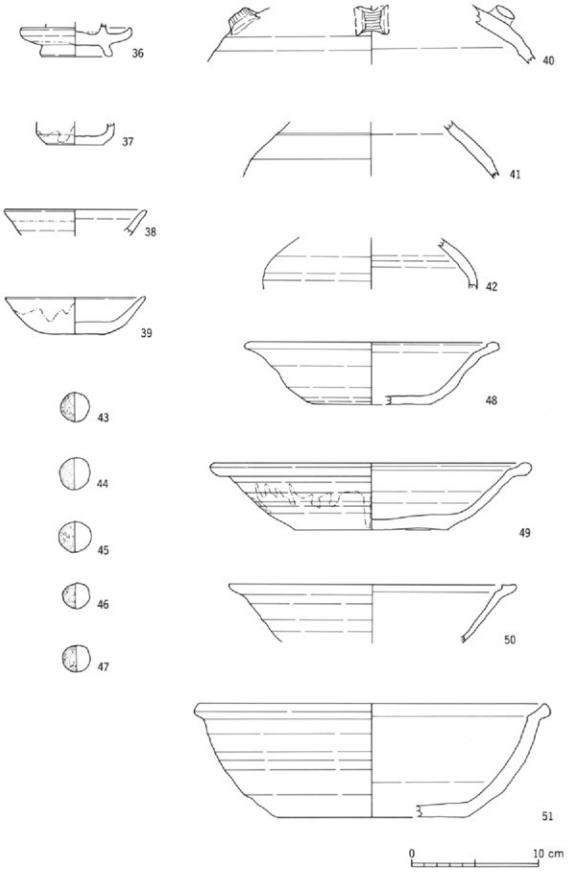


第77図　中世Ⅱ期の遺物(1)　　SD 164 (1)



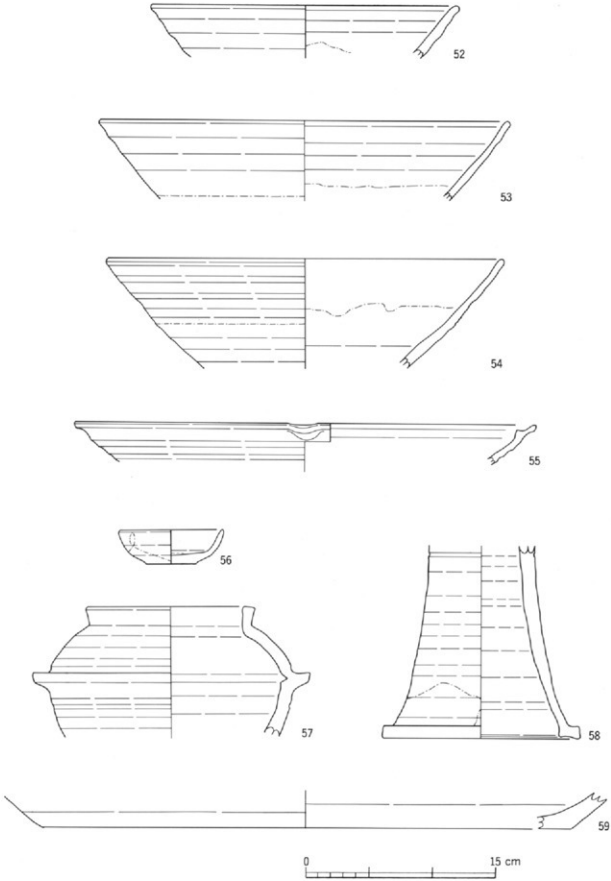
第78図　中世Ⅱ期の遺物(2)

SD 164 (2)

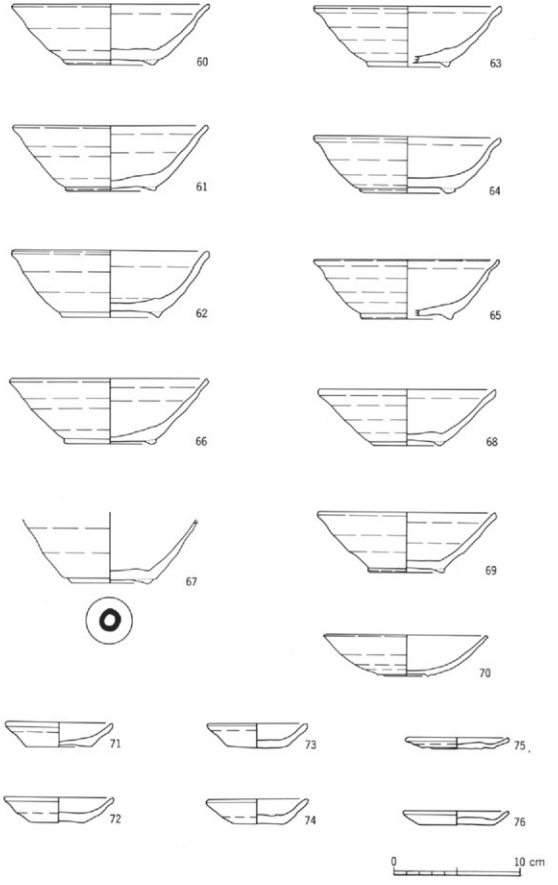


第 78 図　中世Ⅱ期の遺物(3)

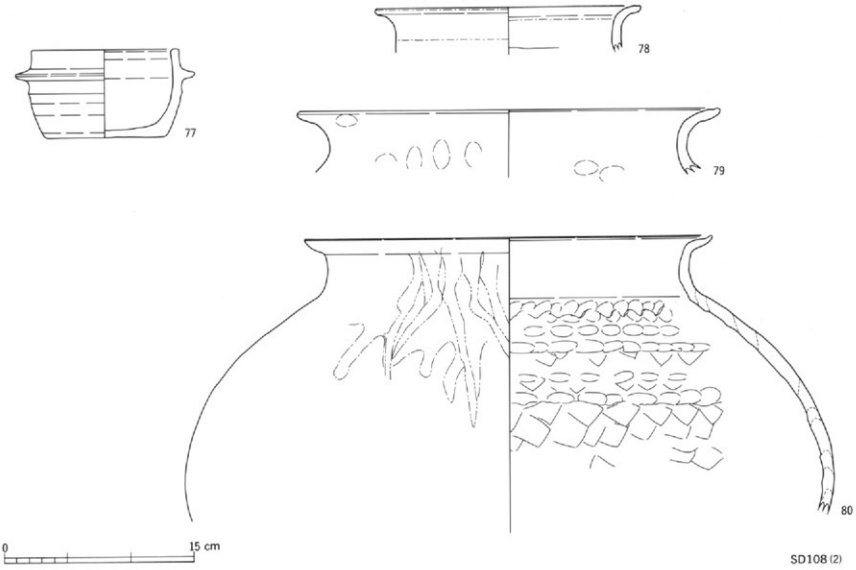
SD 164 (3)



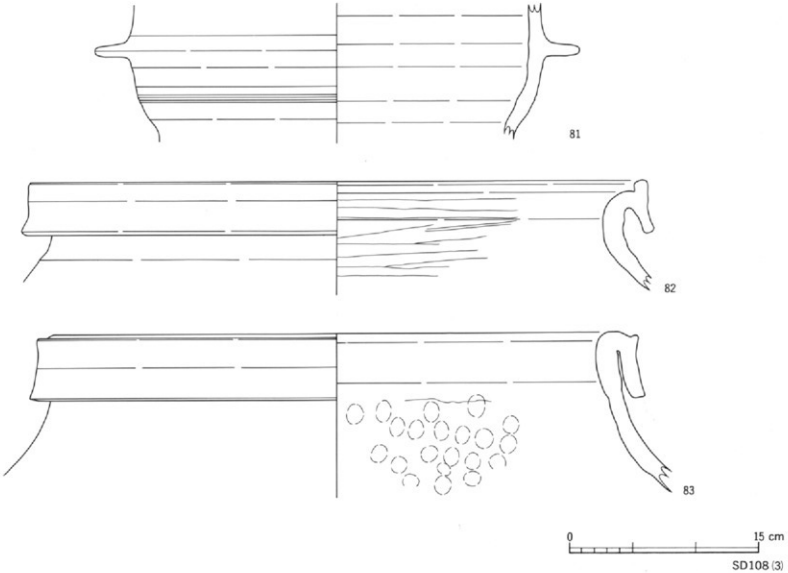
第80図　中世II期の遺物(4)　SD 164 (4)



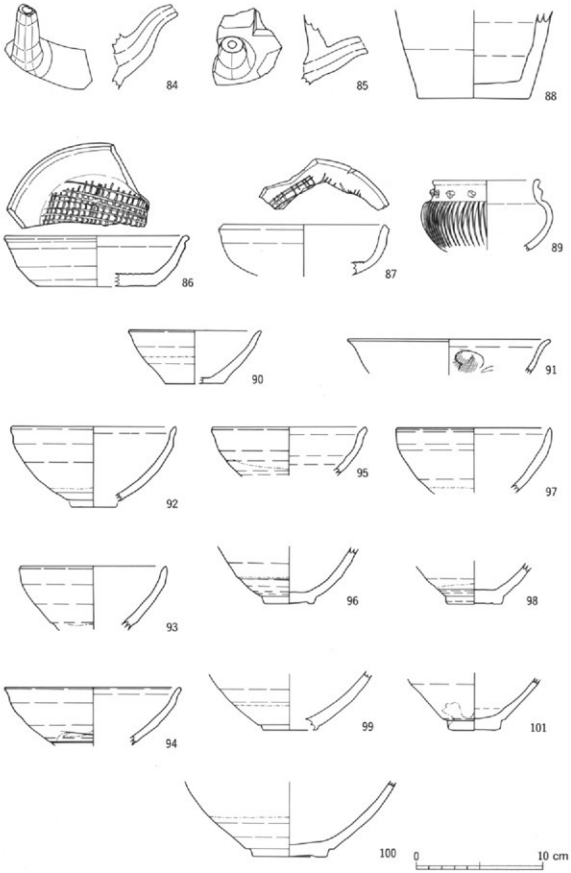
第81図　中世II期の遺物(5)　SD 108 (1)



第 82 図　中世Ⅱ期の遺物(6)

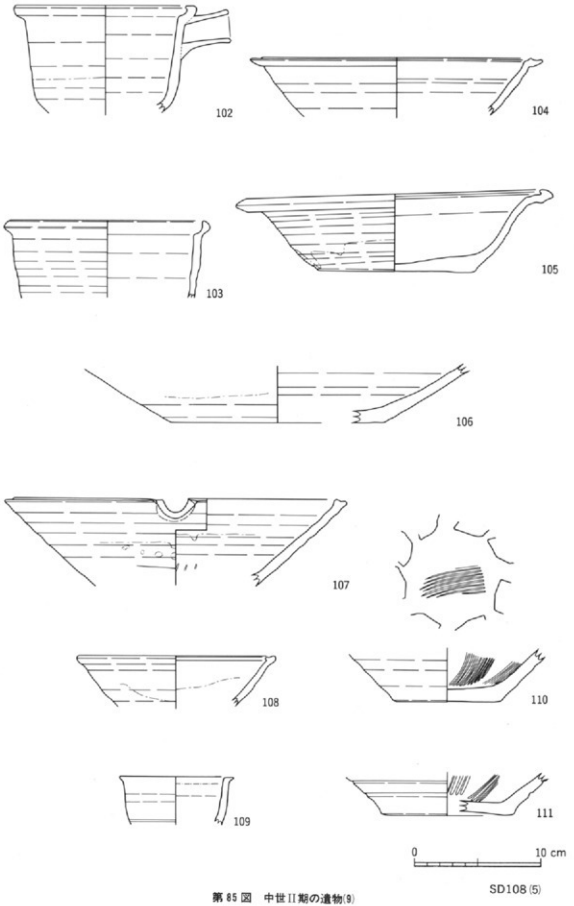


第 83 図　中世Ⅱ期の遺物(7)

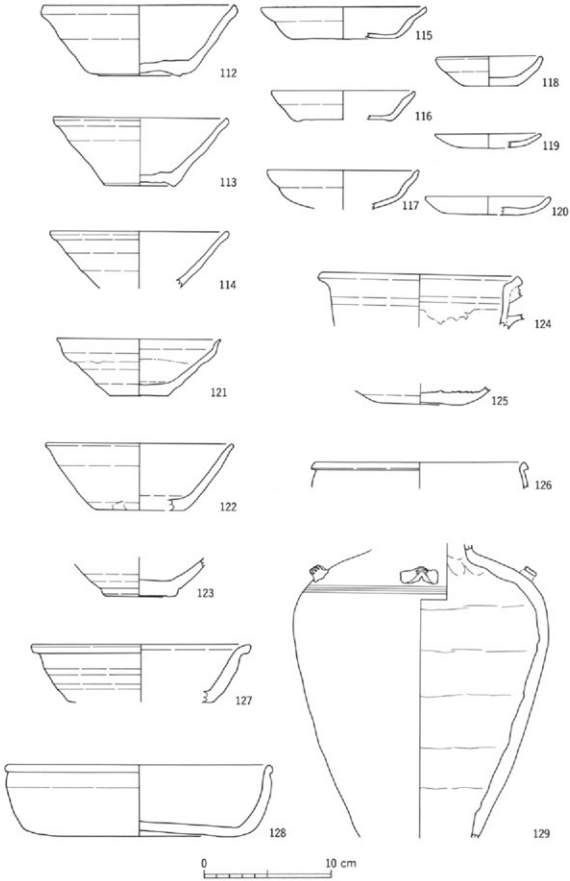


SD108 (4)

第84図　中世II期の遺物(8)

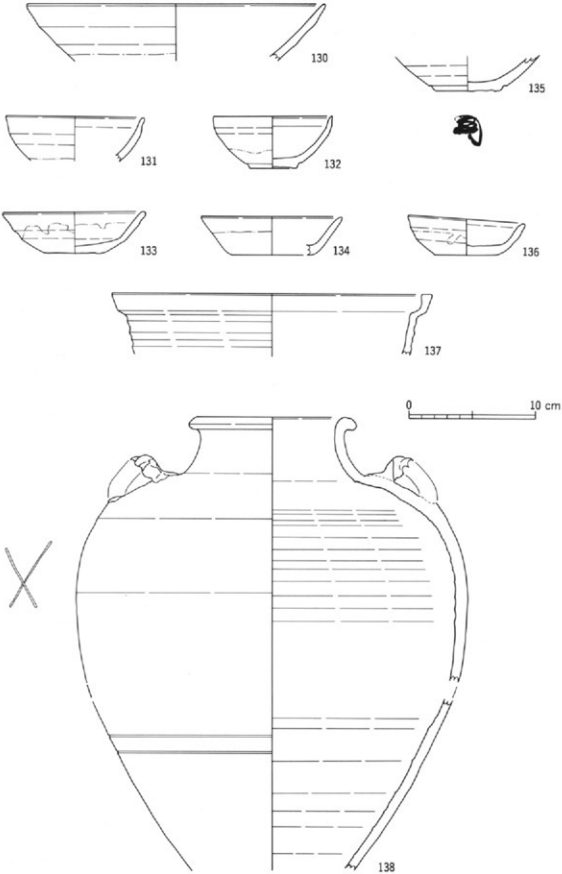


第 85 図　中世II期の遺物(9)



SD 133、その他

第 86 図　中世Ⅱ期の遺物(10)



その他

第 87 図　中世Ⅱ期の遺物(11)

第４節　城下町期の土器・陶磁器

１．概要

出土遺物の大部分を占める陶磁器は瀬戸美濃窯製品が多く、遺構に対応する形で、織田信雄が清須を普請した天正14年（1586）を境に大きく前後２小期に、分けることができる。朝日西遺跡が後期の遺物を主体としているのに対し、清洲城下町遺跡（名古屋環状２号線関連）では前期の遺物が主体である。

１）前期の遺物

前期の遺物では、椀類のうちの天目茶椀が多数を占めるが、大半は、化粧掛けを施したものである。丸椀、平椀は量的に多くない。皿類では、縁釉、全面施釉のほか、内禿のものがあるが、量的には灰釉を全面に施し「端反り」の形態となるものが多い。いずれも灰釉または鉄釉を施すもので、長石釉の製品は全くみられない。瀬戸美濃窯の編年では古瀬戸の後期から大窯Ⅲ期頃までに比定することができる。

土師器には皿類、鍋、釜がある。皿類にはロクロ成形と非ロクロ成形のものがあるが、ロクロ成形では、口径により18cmから８cm前後のものまでみられる、非ロクロ成形では手づくねの径６cm前後のものが主体で、口縁外側に横ナデを施している。煮沸具では、内耳鍋、鍋、羽釜、釜の他に、金属器を模したと考えられる「茶釜型」の羽釜がある。

中国陶磁器では「明」の青磁、白磁、染付の椀、皿があり、染付では万暦様式の椀や饅頭心の椀等がある。

２）後期の遺物

朝日西遺跡の主体を占める後期の遺物は、椀類では前期同様天目茶椀が多いが、その大半は化粧掛けを施さないものである。皿類は、鉄釉、灰釉、そして長石釉の丸皿、菊皿が多い。また黄瀬戸の製品の向付が僅かであるが出土している。瀬戸美濃窯の編年では大窯Ⅲから登窯Ⅰ期頃までに比定することができる。

土師器には前期と同様に、皿類、鍋、釜がある。皿類にはロクロ成形と非ロクロ成形のものがある。非ロクロ成形の手づくねによるものでは、口縁部の横ナデが省略され、中央部をくぼませた円盤状形態をとる。煮沸具も前期同様で、「双耳鍋」がある。

中国陶磁器には前期同様に「明」の青磁、白磁、染付があり、細い線で輪郭を描き、その中を染め込みした万暦様式の染付が多いが、赤絵の製品はない。この他、輸入陶器として、朝鮮陶器の椀、皿、徳利が僅かであるが出土している。また、地元瀬戸美濃窯以外の信楽、京都、備前、唐津の各窯の製品の搬入も認められる。

なお朝日西遺跡からも清洲城下町遺跡と同様に瓦が出土しているが、細片を含めて数点であったため『清洲城下町遺跡Ⅱ』の報告書にまとめて所収した。なお遺物の年代観等については、井上喜久男・藤澤良祐の両氏の御教示を得た。

２．主要遺構出土一括資料

ＳＫ137　（第88図１～14）天目茶椀、灰釉皿、重圏皿、土師質の皿が出土した。灰釉皿は丸皿と内禿皿（７・８）の２種類があり、大窯Ⅱａ、Ⅱｂ期に属する。天目茶椀、重圏皿もⅡａ期に位置付けられる。土師質の皿は体部が直線的に伸びるロクロ成形のものである。16世紀中頃の

遺物群である。

ＳＫ541　（第88図15～28）灰釉小丸椀、鉄釉皿、鉄釉双耳壺、土師質の皿などがある。鉄釉双耳壺（17）は二次的に火を受けた痕跡があり、時期は不明である。土師質の皿は口縁部がやや丸くなるロクロ成形のものと、体部をつまみあげず外面に指圧痕を残す手づくねのものがある。13世紀後半の常滑窯産の甕も出土した。

ＳＤ42　（第89図29～41）鉄釉皿、擂鉢、土師質の椀、内耳鍋、茶釜型羽釜が出土した。鉄釉皿にはひだ皿が２点（30・31）あり、大窯Ⅱｂ期に属する。擂鉢は大窯Ⅲ期以降である。土師質の椀（34～37）はロクロ成形で、16世紀代にはあまり見られない器形である。

ＳＥ62　（第90図42～51）天目茶椀、鉄釉皿、小椀、茶入、釜などがある。天目茶椀は化粧掛けが施され、大窯Ⅰｂ～Ⅱａ期に位置付けられる。他の器種は大窯Ⅲ期である。

ＳＥ83　（第90図52～56）15世紀後半の大皿の他に、長石釉小杯、水滴、擂鉢が出土した。時期的には大窯Ⅲ期から大窯Ⅴ期に位置付けられよう。

ＳＫ242　（第90図57～64）天目茶椀、灰釉内禿折縁皿、鉄釉折縁皿、鉄釉丸皿がセットになって出土し、大窯Ⅱａ～Ⅲ期に位置付けられる。59は鉄釉灰散らしの丸皿である。

ＳＫ96　（第91図65～82）天目茶椀、土師質皿、擂鉢の他に、灰釉向付、長石釉向付などがあり、16世紀後半から17世紀初頭の遺物群である。鉄釉平椀、灰釉丸皿は大窯Ⅰ期である。

ＳＤ63　（第92図83～96）鉄絵椀、丸椀、角向付、小杯など長石釉を使用した製品が多い。この他に天目茶椀、擂鉢などがあり大窯Ⅴ期に位置付けられる。土師質の皿は底部に糸切痕を残す。また、楽焼の椀の口縁部（96）があり、透明釉が塗られている。

ＳＫ282　（第93図97～103）鉄釉丸椀（99）、鉄釉沓茶碗（100）、鉄絵向付（101）、折縁稜花皿（103）など大窯Ⅴ期に属するものがある。

ＳＫ293　（第93図104～111）登窯Ⅱ期に位置付けられる天目茶椀（104）と大窯Ⅴ期に属する長石釉皿で占められる遺物群である。長石釉皿には、折縁皿、菊花皿、折縁稜花皿があり、長石釉鉄絵鉢（111）も見られる。

ＳＤ27　（第94～100図112～214）天目茶椀、灰釉皿、志野皿、重圏皿、大皿、徳利、擂鉢、土師質の皿、鍋などが多数出土した。天目茶椀は輪高台で化粧掛けが施されないものがあり、口縁部がくの字に折れ曲るものと口縁部が直立し端部が外反するものがある。灰釉皿は丸皿、内禿皿、折縁皿、折縁菊皿、稜皿があり、長石釉皿には端反皿、丸皿、菊皿がある。重圏皿は口縁部が直線的に伸びるかやや外反し、口縁端部はやや厚手に作られ、大窯Ⅳ期に位置付けられるものもある。大皿は鉄釉を施したものと無釉で焼き締められたものの２者があり、口縁端部は丸められる。大窯Ⅲ期に属する。徳利は鉄釉を施したものと無釉で焼き締められたもの（181）があり、後者は耳付きのかぶら徳利になるか絵擂鉢は口縁部が縁帯を成すもの（190・192・193）と内側に折り返されるもの（191・194）があり、大窯Ⅱ～Ⅴ期に位置付けられる。瀬戸美濃窯産の陶器はこの他に鉄釉片口鉢、鉄釉甕、黄瀬戸向付などの器種が認められる。

土師質の鍋は直口両耳鍋と内耳鍋がある。直口両耳鍋は鍔を持たず、耳は主頭状の粘土板に孔を穿ったものである。底部はやや平底になる。土師質の皿は口縁部が直線的にのびるロ

クロ成形のものと、体部をつまみあげず平らな円形の粘土板状になる手づくねのものがある。

ＳＫ46　（第101～102図215～242）天目茶椀、灰釉皿、鉄釉皿、長石釉皿、長石釉向付、大皿、徳利、擂鉢などが多数出土した。天目茶椀は大窯Ⅱａ期、大窯Ⅴ期、登窯Ⅱ期に属するものがある。大皿は鉄釉または鉄錆釉が施され大窯Ⅲ～Ⅴ期に位置付けられる。長石釉向付（228・229）には鉄絵が見られる。徳利は鉄釉が施された千段巻徳利（236・237）がある。擂鉢は口縁部が縁帯を成すもの（241）と内側に折り返されるものがあり、大窯Ⅴ期に属する。

ＳＫ46からは瀬戸美濃窯産の陶器の他に、備前窯産の甕と擂鉢がある。擂鉢は擂目を交差させており、16世紀後半に位置付けられる。

ＳＤ200　（第103～106図243～307）「文禄貳年（1593）」の紀年銘資料（255）、「慶長四年（1599）」の卒塔婆を持つ一括資料で、瀬戸美濃窯産の陶器、楽焼の小片、瓦器、土師質の皿などが総数3734点出土した。この他に木製品、五輪塔などもある。上層粘質土からは中世土器などの古い様相の遺物群が出土しており、この上層部分は溝廃絶時に一気に埋め立てられたものであろう。

瀬戸美濃窯産の陶器には天目茶椀、灰釉皿、鉄釉皿、長石釉皿、長石釉向付、徳利、擂鉢などが多数存在する。天目茶椀は大窯Ⅱ～Ⅴ期に位置付けられるものが大半であるが、直立する口縁部が高く、高台底部に糸切り痕が残存する登窯Ⅰ期に属するもの（257・259）もある。また天目茶椀の腰部に「内六規」と記された大窯Ⅱ期のもの（256）がある。椀類には他に、底部に墨書が存在する鉄釉筒型椀（255）がある。高台内部に「楽師」、腰部（露体部）に「文禄貳年　　二日　願主喜玉　敬　」とそれぞれ記されている。土器に供養の文言を書いて寺に奉納したものだろうか。「楽師」については、幸若舞などの能楽関係のものが推定できる。

灰釉皿は丸皿が主体を成しており、鉄釉皿は縁釉皿（264）、稜皿（265）、ひだ皿（272）などバラエティーに富んでいる。長石釉皿は端反皿、丸皿、菊皿が存在し、七五？の桐の文様を描いた鉄絵皿（275）が見られる。また、鉄絵が見られる長石釉向付（293）や長石釉鉢（294）も存在する。徳利は鉄釉が施された千段巻徳利（283・284）があり、大窯Ⅲ期に相当する。擂鉢は口縁部が縁帯を成すもの（299～301）が多く、内側に折り返されるもの（302）があり、大窯Ⅴ期に位置付けられる。

椀、皿、鉢類は大窯Ⅲ～Ⅴ期に属するものが多いものの、灰釉香炉（286）は大窯Ⅰ期、鉄釉広口甕（296）・鉄釉羽釜（297）は窖窯後期４段階に位置付けられ、かなり古い時期の一群も存在する。また、加工円盤もある。

ＳＤ177　（第107～120図308～503）この遺構からは人骨・獣骨などが出土し、位牌などの仏教的な遺物もみられる一群である。瀬戸美濃窯産の陶器、中国製磁器片、土師質の皿、鍋などが1655点出土した。1655点の内訳は、土師質皿945点、土師質釜421点、土師質鍋252点、陶磁器の皿93点、椀92点、擂鉢88点、大皿18点、向付18点、中国からの輸入陶磁器28点が主だったところである。なかでも全体の80パーセントを占める土師質の製品の多さには驚く。陶磁器類は大窯Ⅴ期から登窯Ⅰに比定できるもので16世紀後半から17世紀初頭の時期になる。

瀬戸美濃窯産の陶器には天目茶椀、灰釉皿、鉄釉皿、長石釉皿、長石釉向付、重圏皿、大皿、徳利、擂鉢などがある。丸椀は灰釉のものと長石釉丸椀の２者があり、天目茶椀と共に大窯Ⅴ期に属する。長石釉椀には平面形が正円形にならない沓茶碗（323）が見られる。灰釉皿には丸皿、内禿折縁皿、折縁皿、折縁菊皿があり、鉄釉皿には稜皿、丸皿が存在して底部は碁笥底となる。長石釉皿には端反皿、丸皿がありピンを３か所用いたものが多い。重圏皿は口縁部が直線的に伸びるかやや外反するもので、これらは大窯Ⅴ期に属する。鉄釉筒型の鉢・徳利も大窯Ⅲ～Ⅴ期に属するものと考えられる。大皿は鉄釉と黄瀬戸の２種類があり、口縁部が折縁になるものと口縁部がやや内湾するもの（376）とに分けられる。

中国製磁器には椀と皿の破片が存在し、全て青花である。皿の口縁部は端反りになるものとやや内湾するものの２種が見られる。

土師質の製品には土犬、土鈴、皿、鍋などがある。土犬（389～392）は完形品は存在せず、頭部・脚部が欠損している。土鈴（393）は、下端部が平坦面となる形状で、通常の球形とな る土鈴とは異なる。鍋は内耳鍋と茶釜型羽釜と直口両耳鍋がある。内耳鍋は法量によって口径が16cmのもの、口径が20cm～22cmのもの、口径が24cm～25cmのものの３種類に区分できる。口径が16cmのもの(394)は底部と体部の境界部に稜が見られる。口径が20cm～22cmのもの(395、396、398、400）と口径が24cm～25cmのもの（397、399）は器壁が比較的厚く、半球形となる。内面に横方向の刷毛目、外面に指の圧痕が残存している。茶釜型羽釜（401～403）は半球状の粘土を張り付けて耳を作っている。これに対し、直口両耳鍋（404～413）の耳は圭頭状の粘土板に孔を穿ったものである。数量的には煮炊具の中では直口両耳鍋が最も多い。

土師質の皿は多量に出土しており、その種類も豊富である。手づくねの皿は両端部を内側に曲げる耳皿（414～418）、焼成後に中央部に孔を開けた底部穿孔皿（419～423）、平らな円形の粘土板状になる皿（424～461）の３者が認められる。粘土板状の皿は内外面に指などの圧痕が残存しているもの（424～446）、内面に横方向のナデを施すもの（447～461）に分けられる。ロクロ成形の皿は、口縁部が直線的にのびるものとやや内湾するものの２種が見られる。法量によっても口径が９cm前後のもの（462～467）、口径が11cm前後のもの（468～499）、口径が13cm前後のもの（500～503）に分類できる。

その他（国内産）　（第121～125図504～566）その他の遺構内・遺構外出土資料で特色のある遺物群をここで紹介する。国内産の陶器類には瀬戸美濃窯産、常滑窯産、楽焼、備前窯産、丹波窯産、唐津窯産のものがある。

瀬戸美濃窯産のものとして、台付椀（507）、輪花皿（520）、片口小鉢（514、515）沓茶椀（537、538）、小型の水注（545～548）、蓋（549）、水滴、仏花瓶（526）、燭台（528）、黄瀬戸鉢（530）などがある。水滴には鉄釉を施した鳥型のもの（550）、魚型のもの（551・553）、猿型のもの（554）がある。灰釉を掛けた大黒様の製品（552）があり、水滴の可能性も考えられる。

楽焼の筒茶椀は２点あり、534は黒色の釉を掛け（黒楽）、535は赤楽である。

備前窯産のものとして、小壺、擂鉢、無頸壺などがある。小壺（560～562）は体部のみ存

在し、底径が5㎝前後を計る。擂鉢（563、564）は口縁端部が直立し、擂目は斜め方向に走るものである。小壺、擂鉢ともに16世紀後半に位置付けられる。

丹波窯産のものには蓋口小壺（566）があり、肩部に「×」の刻印が見られる。

その他（輸入陶磁器）　（第126～134図567～710）その他の遺構内・遺構外出土資料で海外からの輸入陶磁器群をここで紹介する。輸入陶磁器には、中国産の白磁、青白磁、青磁、青花、朝鮮陶器がある。なお、これらの遺物は完形で出土することは稀で、破面に漆が付着している場合があり、漆継ぎが行われていたものも確認できる。

白磁は椀、皿が出土し、12世紀後半から16世紀までの比較的年代幅を持つものである。椀は玉縁椀と口禿椀が主体となり、皿は端反皿が多く見られる。567・568・577・578は玉縁口縁の椀で、12世紀後半から13世紀に属すると考えられる。口禿椀（571～576）は口縁端部が外反するものが多く、13世紀～14世紀に考えられる。薄手で口縁部が外反する端反皿は、小野分類の白磁皿C類に属するもので、15世紀後半から16世紀代に比定できよう。この他に無高台の皿なども存在する。

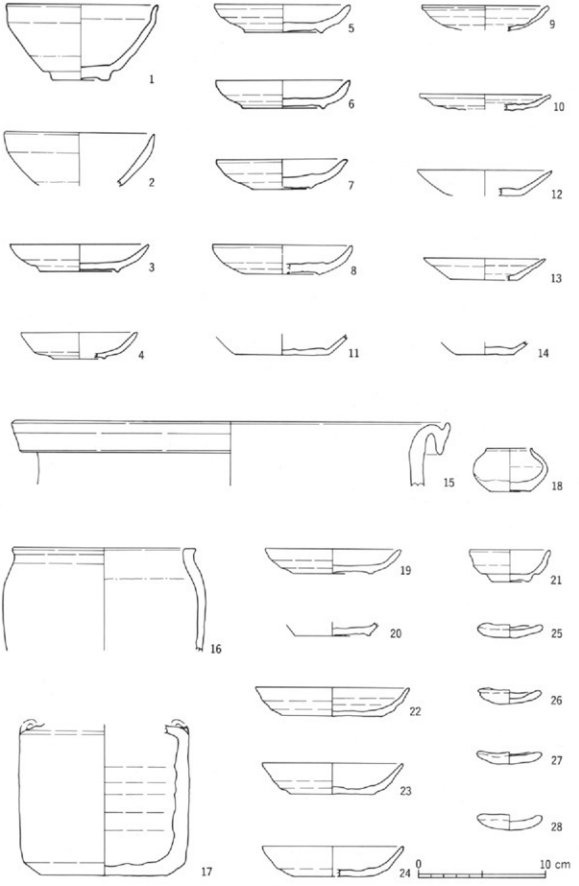
青白磁には劃花紋椀、劃花紋皿、合子の身と蓋、梅瓶の体部？などがある。599、600は合子の身、602～604は合子の蓋である。607は劃花雲気文梅瓶の体部と思われる小片である。13世紀を中心とした年代が想定される。

青磁は劃花紋椀、劃花紋皿、蓮弁文椀などが出土した。劃花紋椀は13世紀に属すると思われるが、638のような12世紀に属すると思われる椀も存在する。蓮弁文椀は浮彫状の蓮弁文と剣先状の蓮弁文が認められる。浮彫状の蓮弁文を施した椀（619～628）は口縁端部が反るものと直線的に伸びるものがあり、これも13世紀代を中心とした年代が考えられよう。剣先状の蓮弁文の椀（632、633、647）は口縁部が内湾し、15世紀後半から16世紀代に比定できる。その他に稜花皿、香炉、鉢なども出土している。

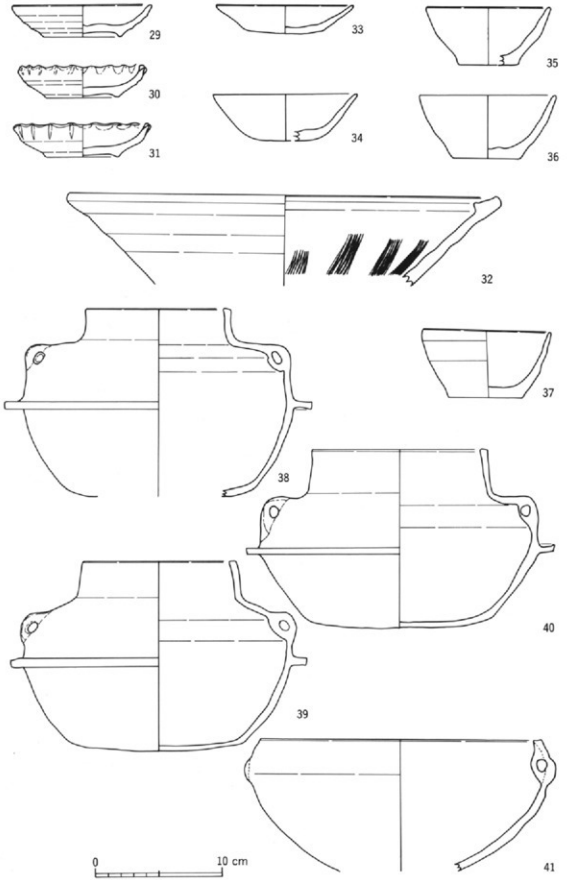
青花は椀、皿、鉢などの器種が認められる。椀は口縁部が外反するいわゆる端反椀（697など）、口縁端部が直線的に伸びる椀（693など）、小振りで見込みが丸く盛り上がる「饅頭心」の椀（696など）に分類できる。青花皿は高台を持ち口縁部が外反する端反皿（676など）、高台を持ち口縁部が内湾する皿（677など）、基箇底で口縁部が内湾する皿（665～670）に区分できる。青花鉢は口縁部が内湾するタイプと縁折れのタイプがある。また、中国製の黄釉盤（659）、緑釉盤（660）なども出土した。

朝鮮陶器は椀と徳利が存在する。椀（661、662）は逆ハの字状に開き、表面にはやや透明な釉が掛かる。徳利（663、664）は非常に薄手で船徳利形を呈し、無釉である。内面に叩きが認められる。

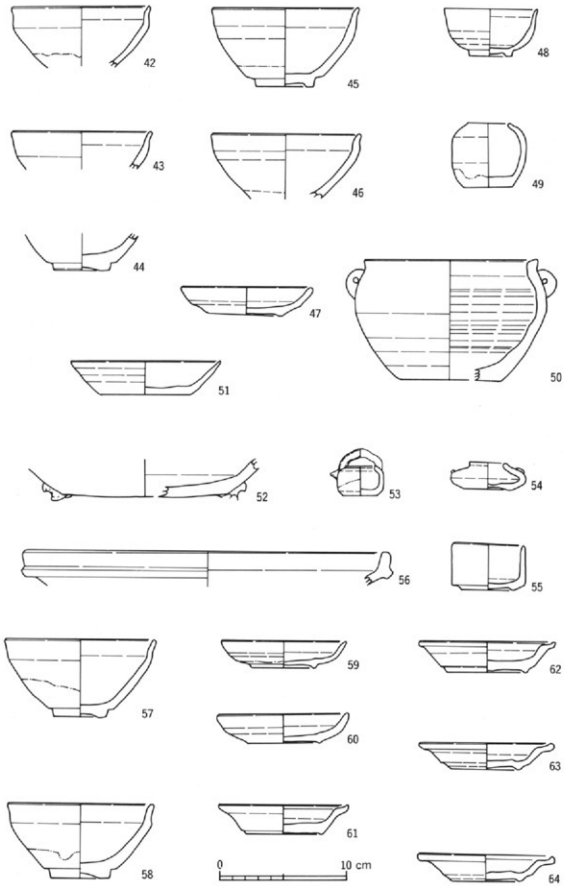
（小澤一弘・鈴木正貴）



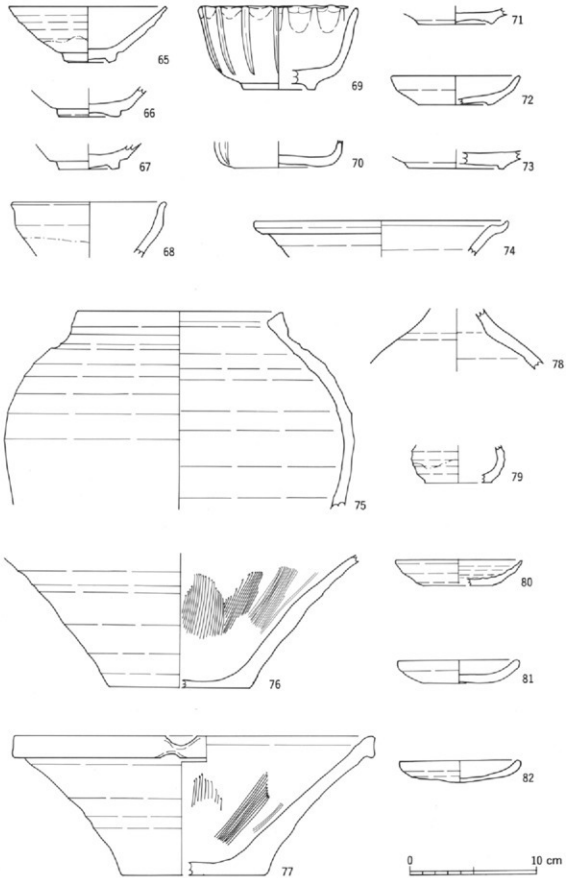
第88図　城下町期の遺物(1)　　SK 137・SK 541



第89図　城下町期の遺物(2)　SD 42

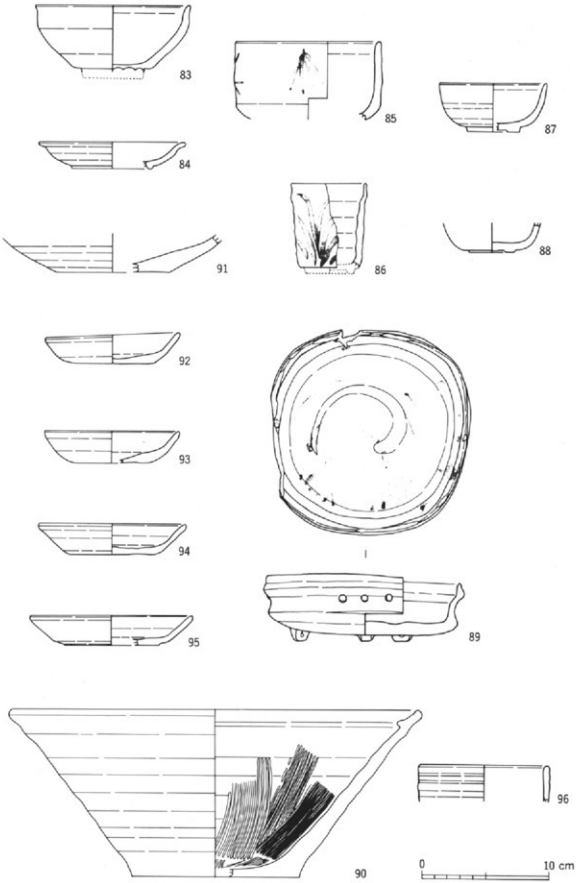


第90図　城下町期の遺物(3)　　SE 62・SE 83・SK 242



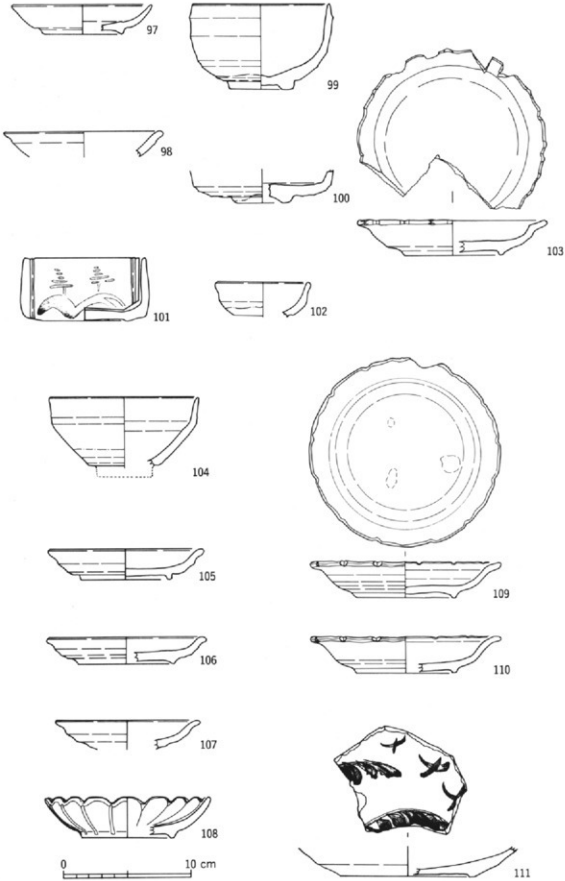
SK 96

第 91 図　城下町期の遺物(4)



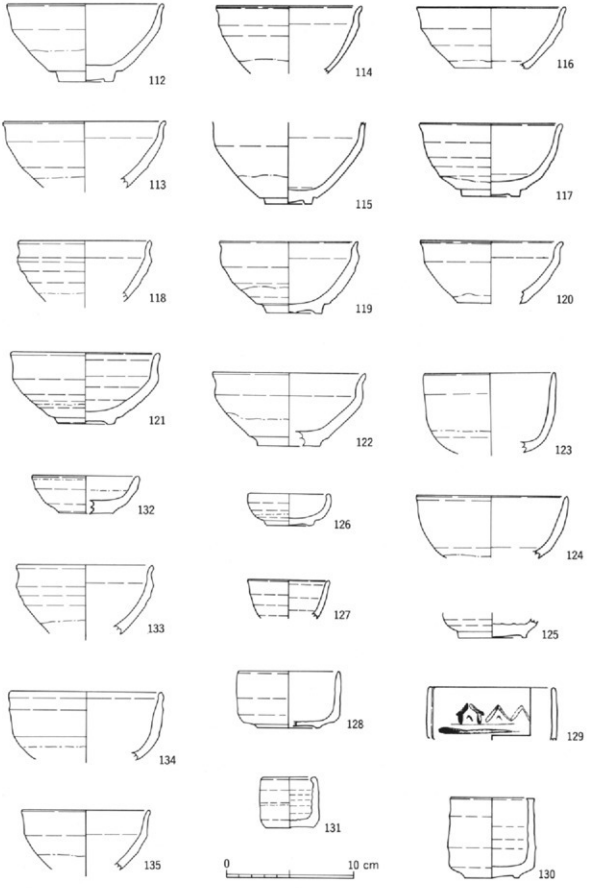
SD 63

第 92 図　城下町期の遺物(5)



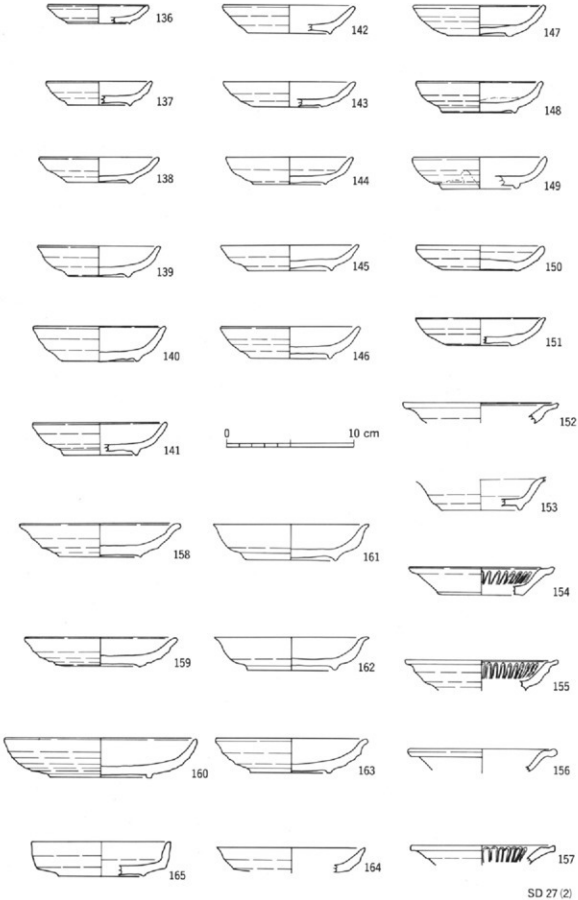
第 93 図　城下町期の遺物(6)

SK 282
SK 293

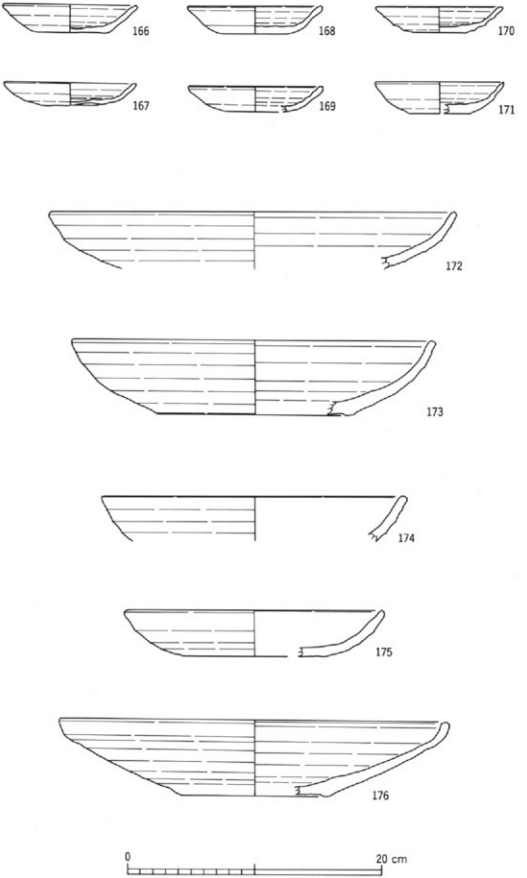


第 94 図　城下町期の遺物(7)

SD 27 (1)

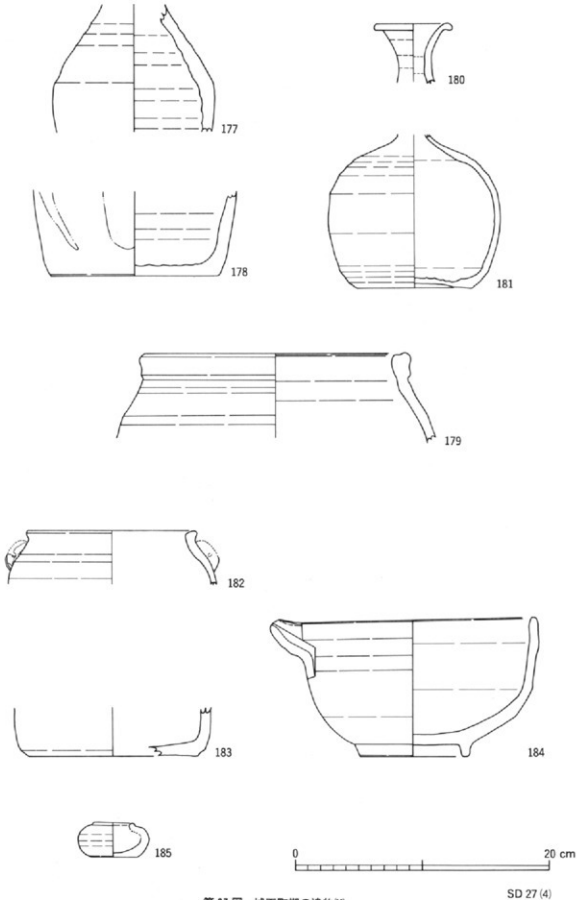


第 95 図　城下町期の遺物(8)

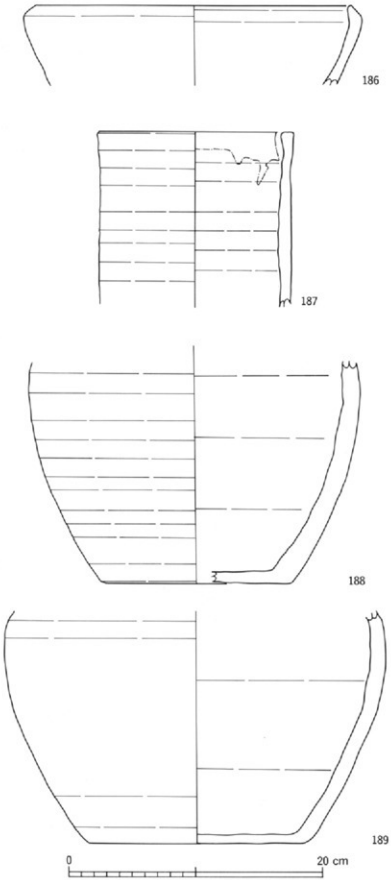


第 98 図　城下町期の遺物(9)

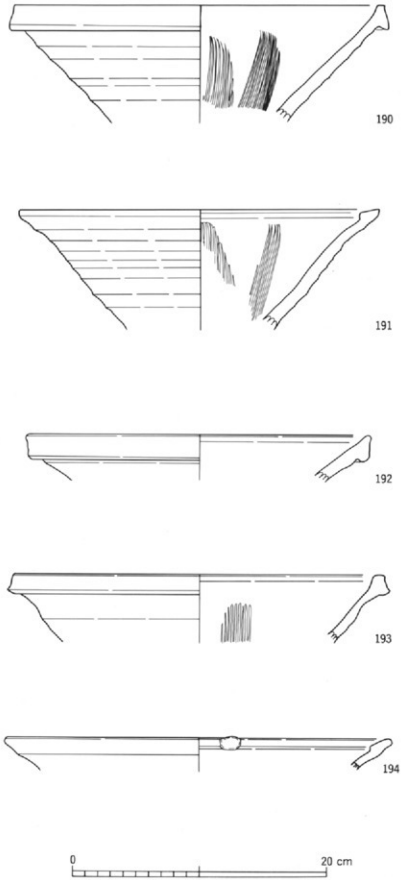
SD 27 (3)



第 97 図　城下町期の遺物(4)

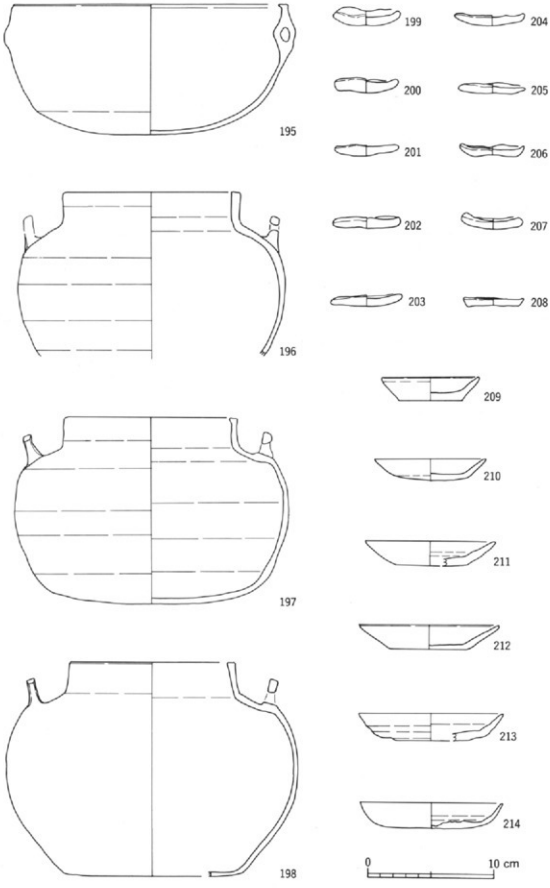


第 98 図　城下町期の遺物(1)　　SD 27 (5)

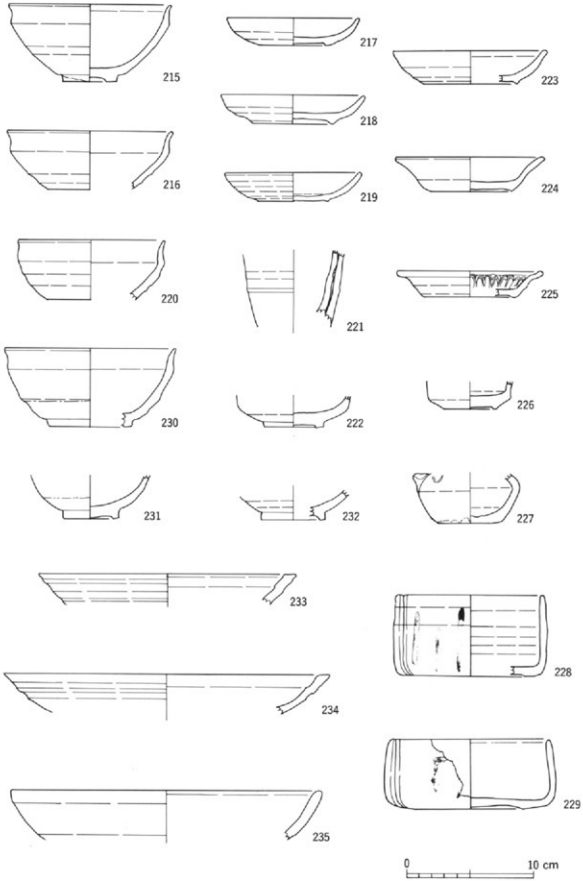


第 99 図　城下町期の遺物(12)

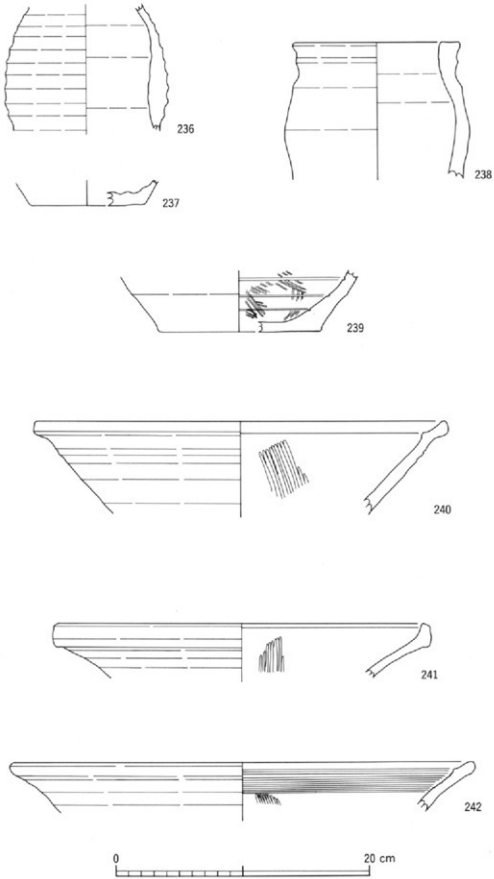
SD 27 (6)



第 100 図　城下町期の遺物(11)　　SD 27 (7)

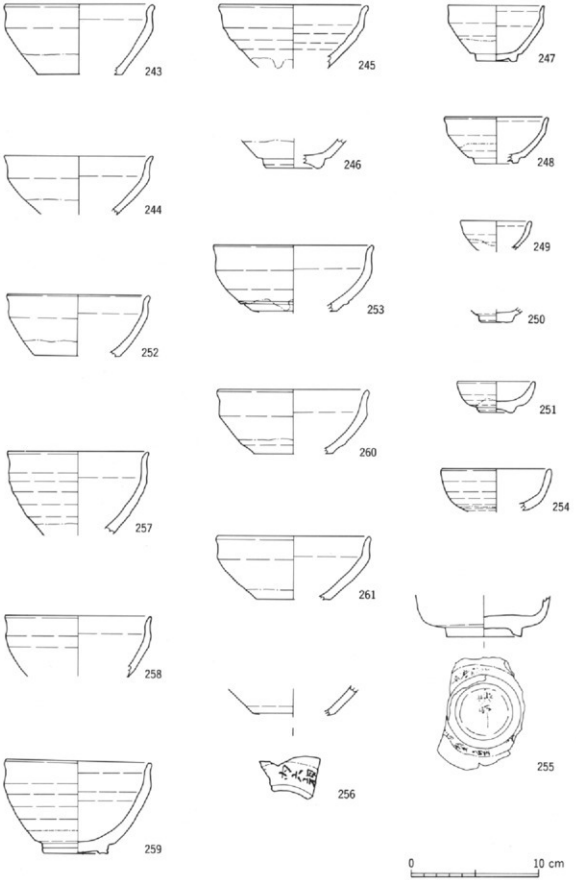


第 101 図　城下町期の遺物(14)　　SK 46 (1)



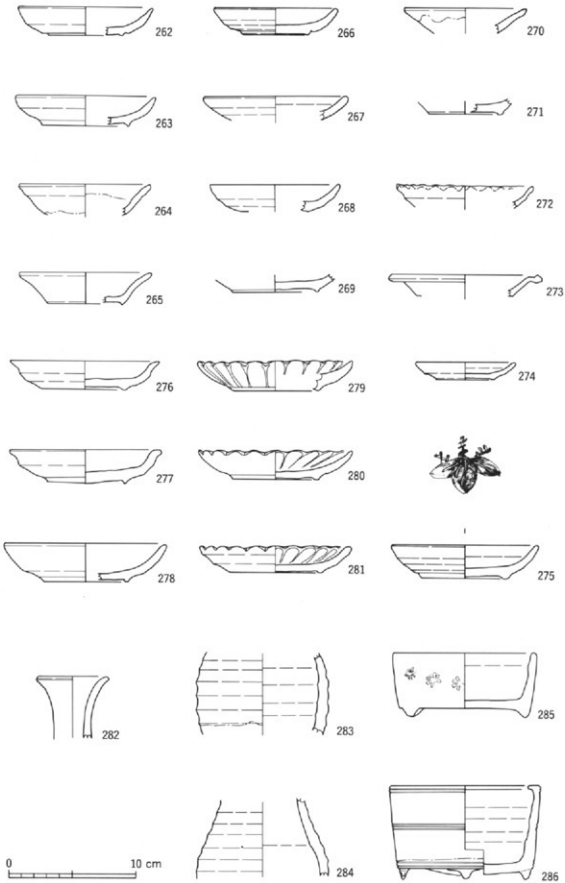
SK 46 (2)

第 102 図　城下町期の遺物(15)

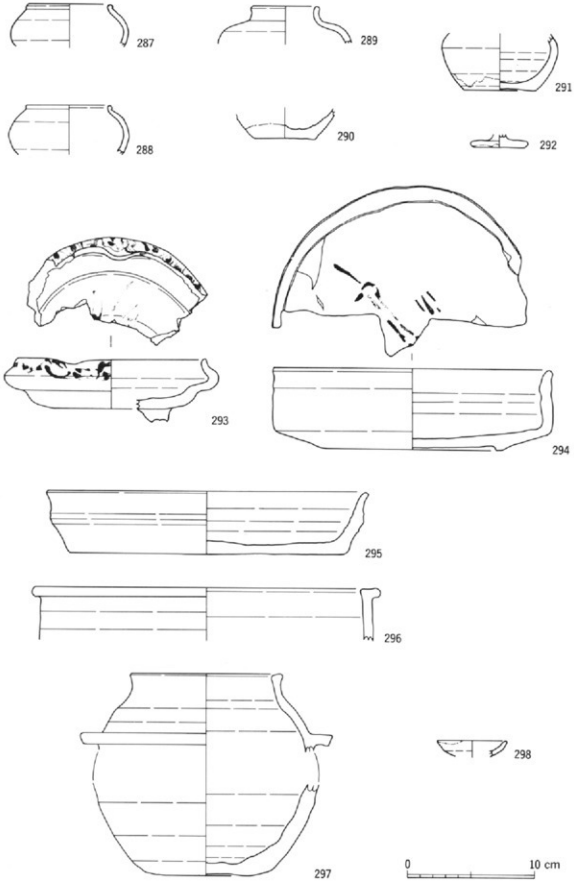


第103図　城下町期の遺物(19)

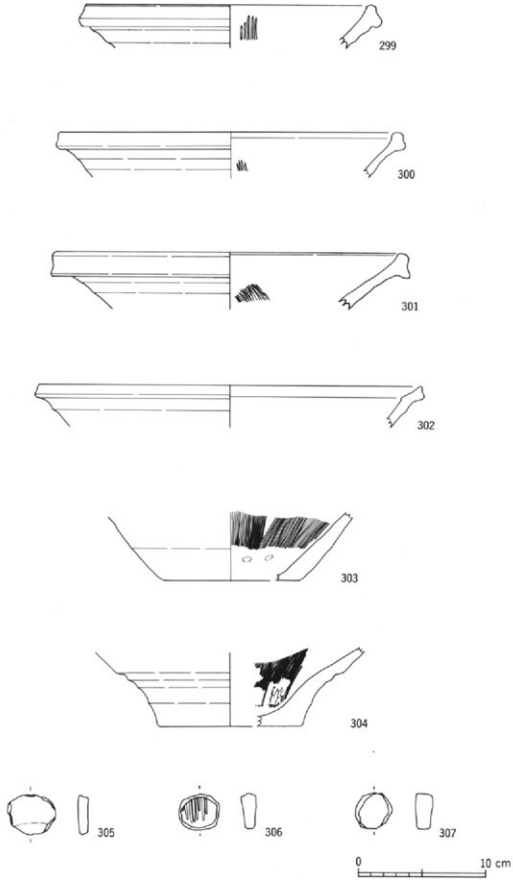
SD 200 (1)



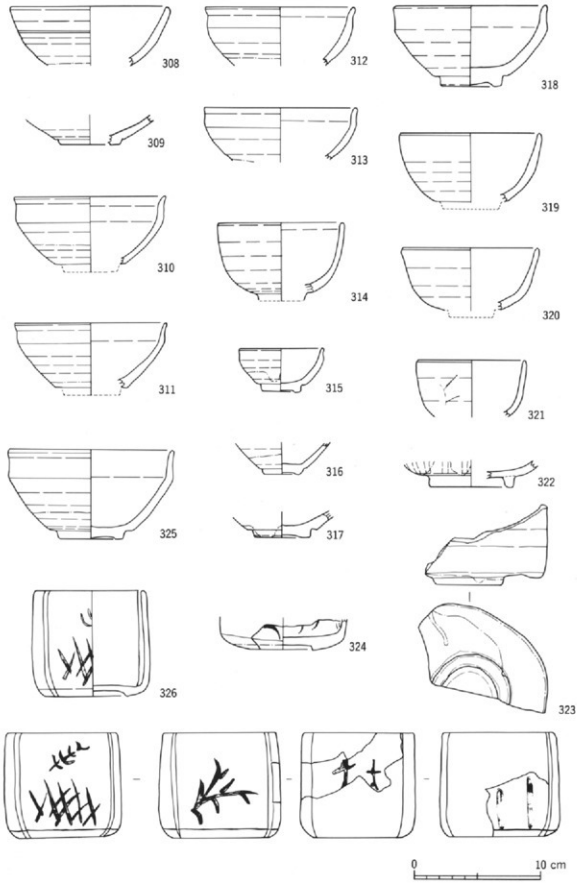
第 104 図　城下町期の遺物(7)　　SD 200 (2)



第105図　城下町期の遺物(18)　　SD 200 (3)

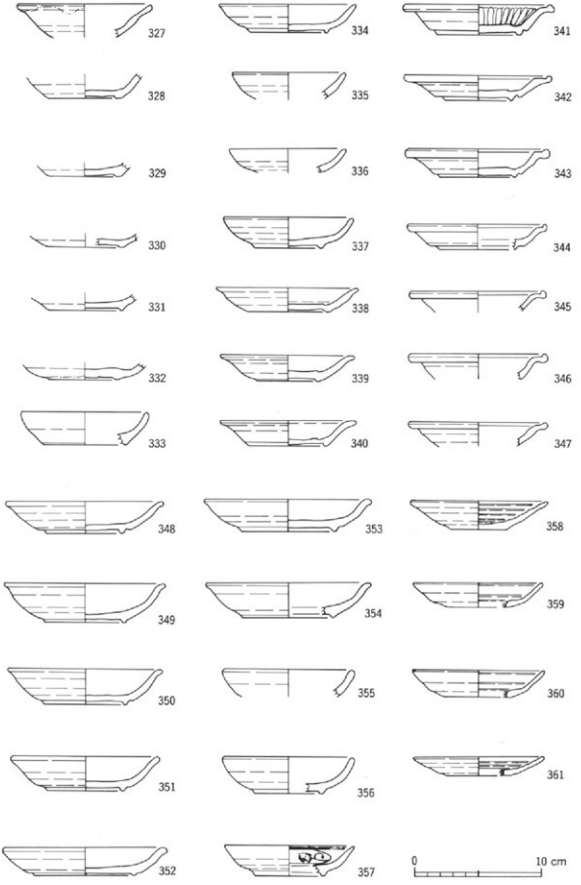


第 106 図　城下町期の遺物⑲　　SD 200 (4)

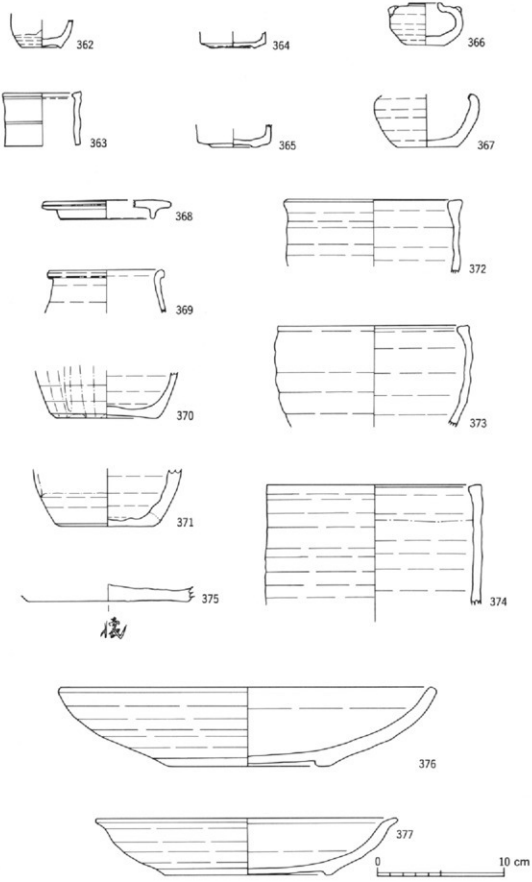


第107図　城下町期の遺物20

SD 177 (1)

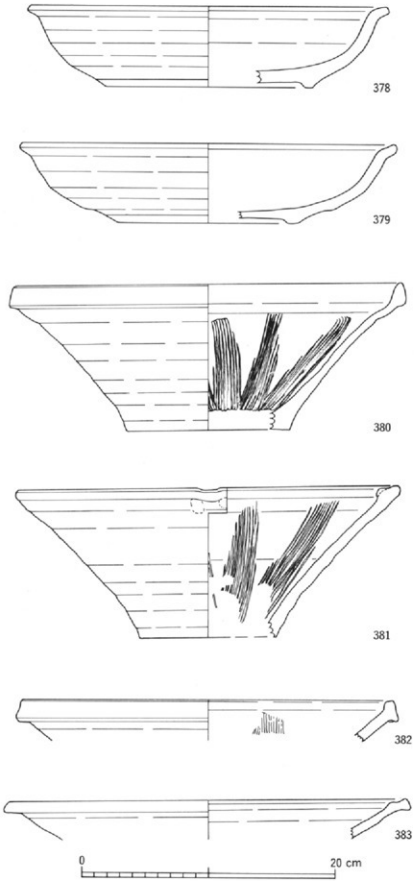


第108図　城下町期の遺物(2)　　SD 177 (2)

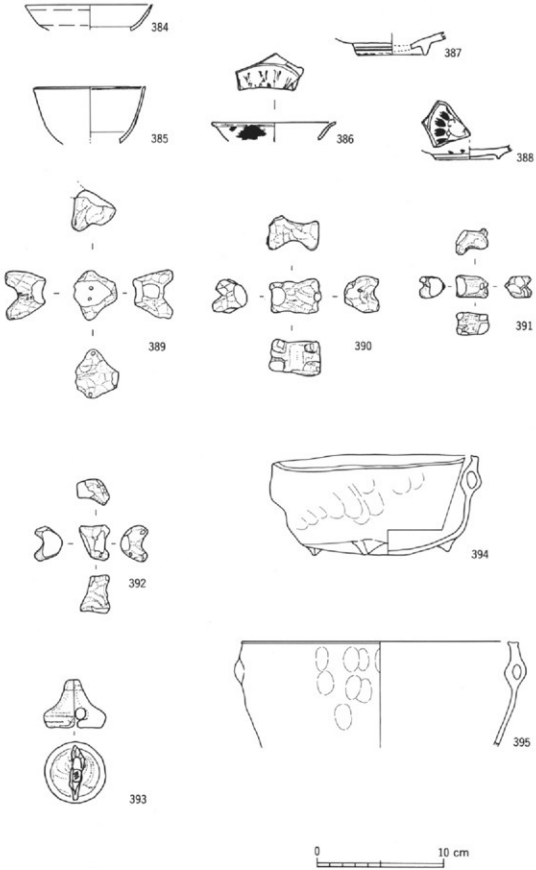


第 109 図　城下町期の遺物(2)

SD 177 (3)

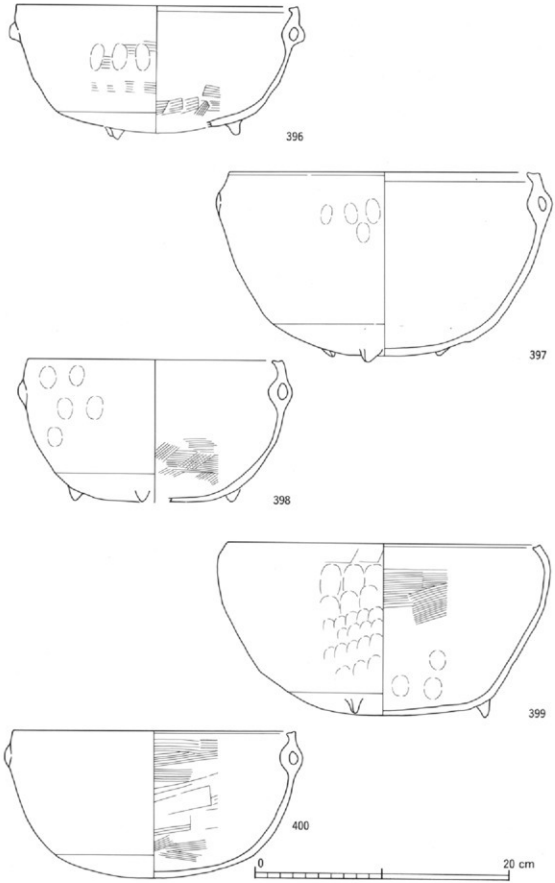


第 110 図　城下町期の遺物(3)　SD 177 (4)

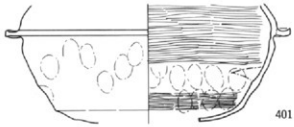


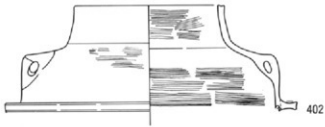
SD 177 (5)

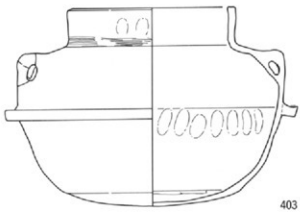
第 111 図　城下町期の遺物24



第 112 図　城下町期の遺物(9)　　SD 177 (6)

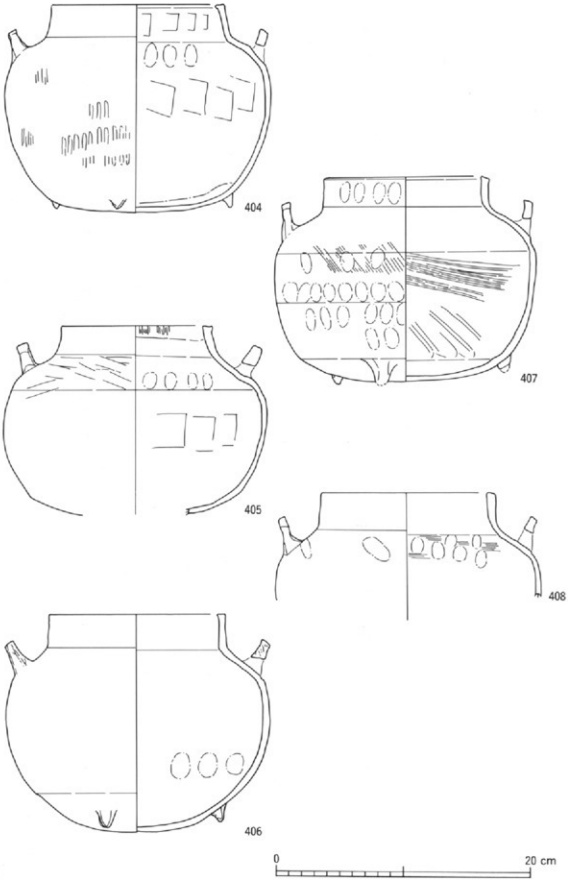




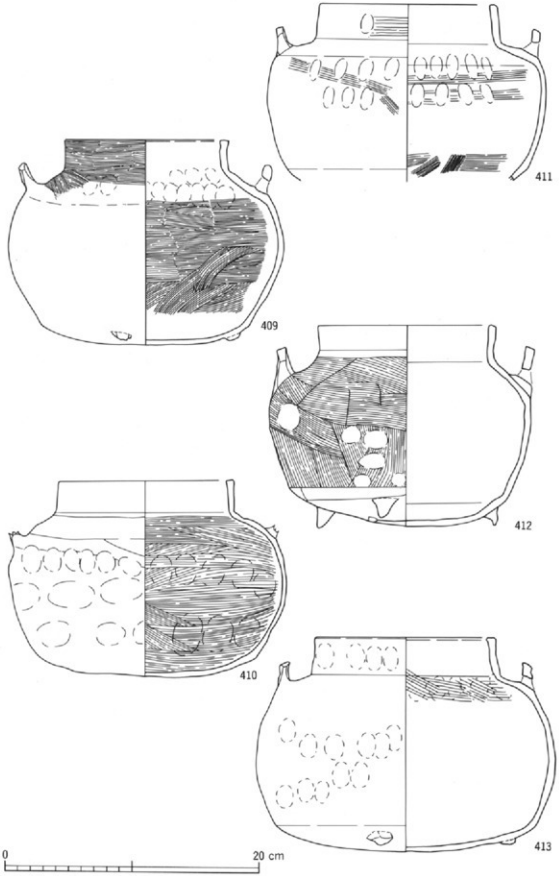


SD 177 (7)

第 113 図　城下町期の遺物(26)

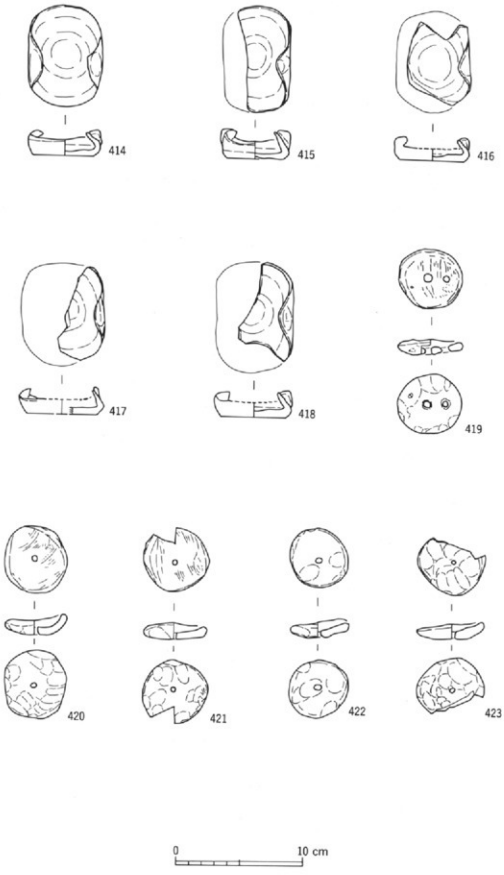


第 114 図　城下町期の遺物(27)　　SD 177 (8)

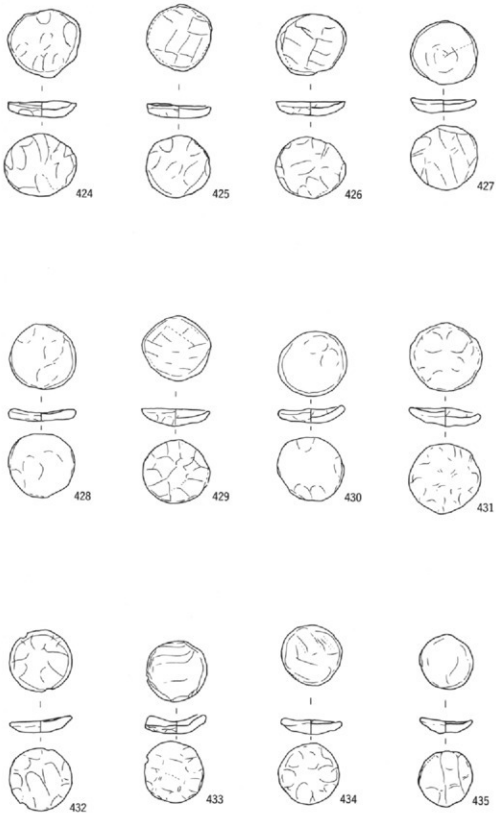


第 115 図　城下町期の遺物(7)

SD 177 (9)

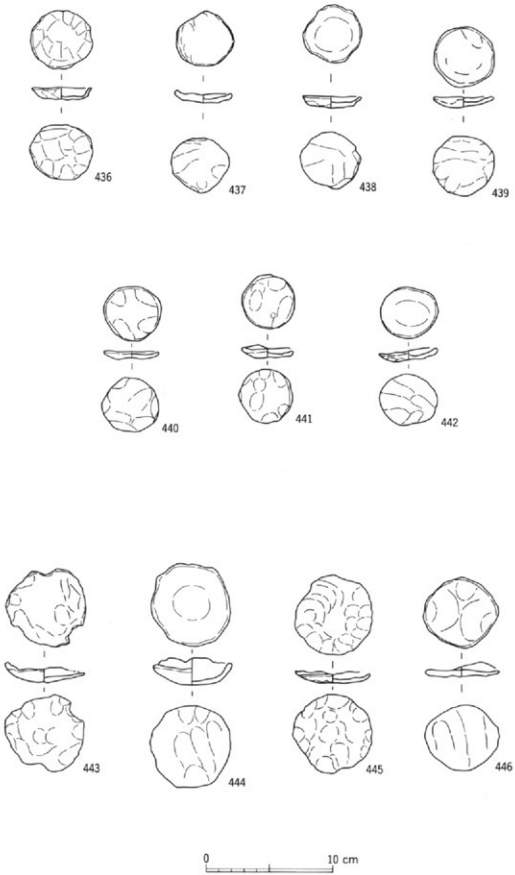


第116図　城下町期の遺物㉙　　SD 177 ⑩



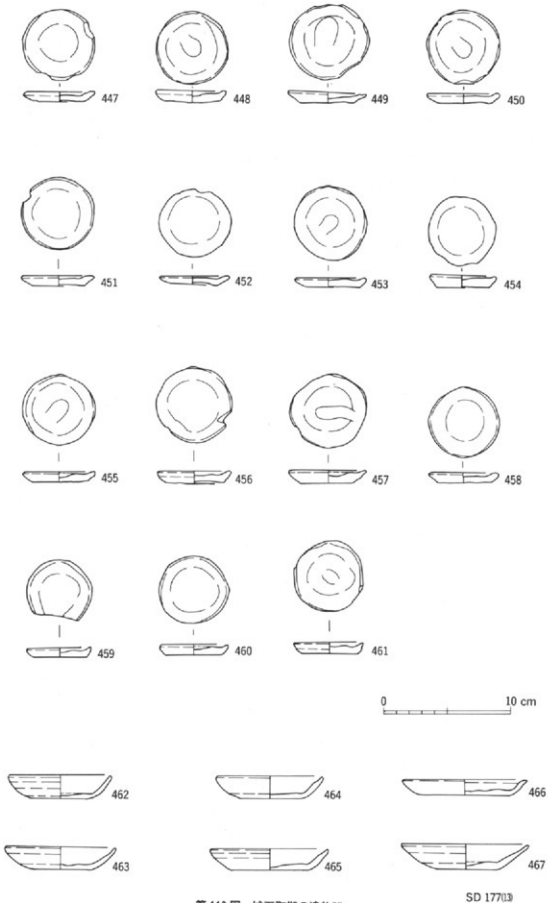
SD 177(1)

第 117 図　城下町期の遺物(3)



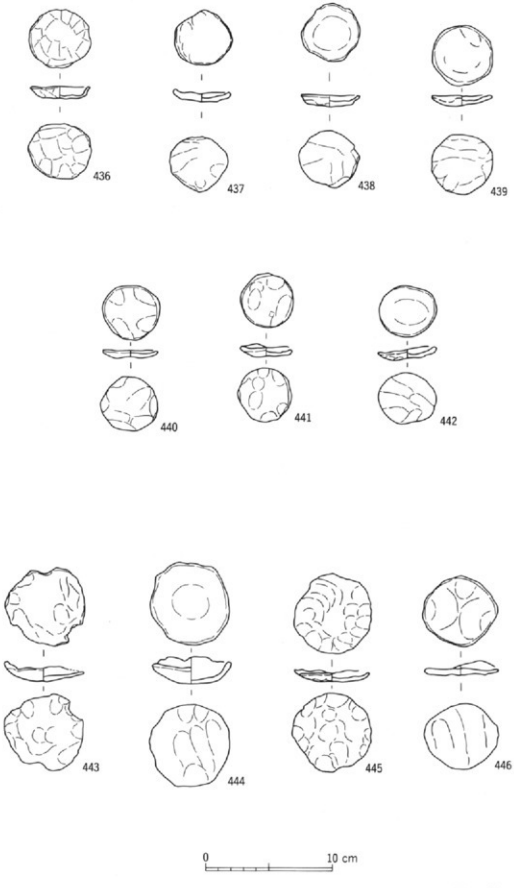
SD 17702

第 118 図　城下町期の遺物31



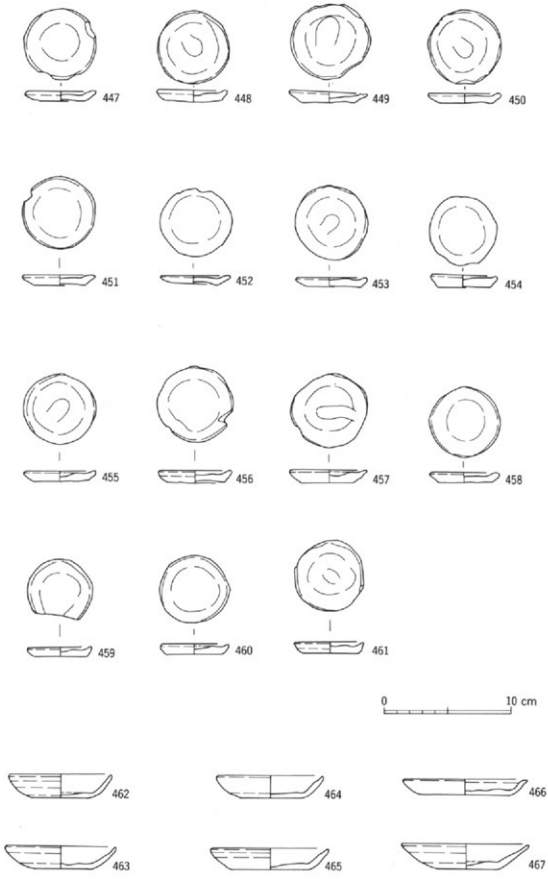
第 119 図　城下町期の遺物(32)

SD 177(13)



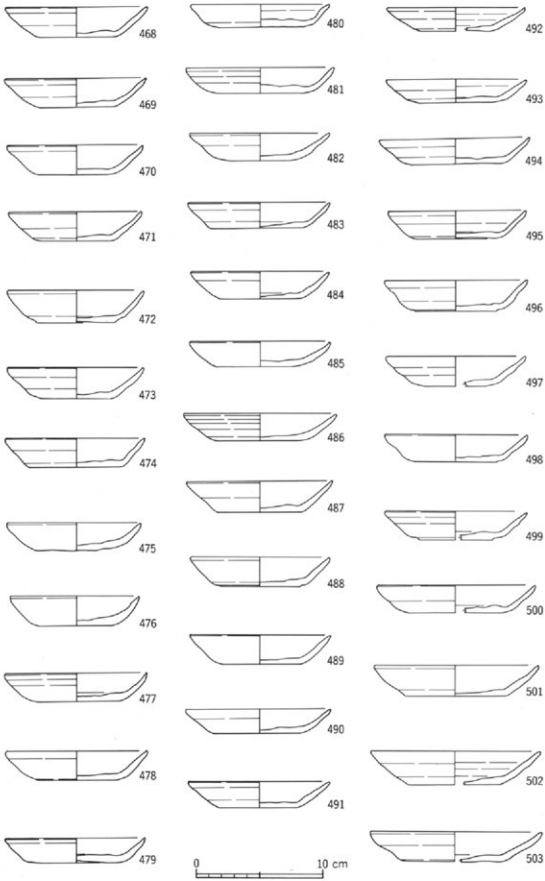
SD 177(12)

第 118 図　城下町期の遺物31

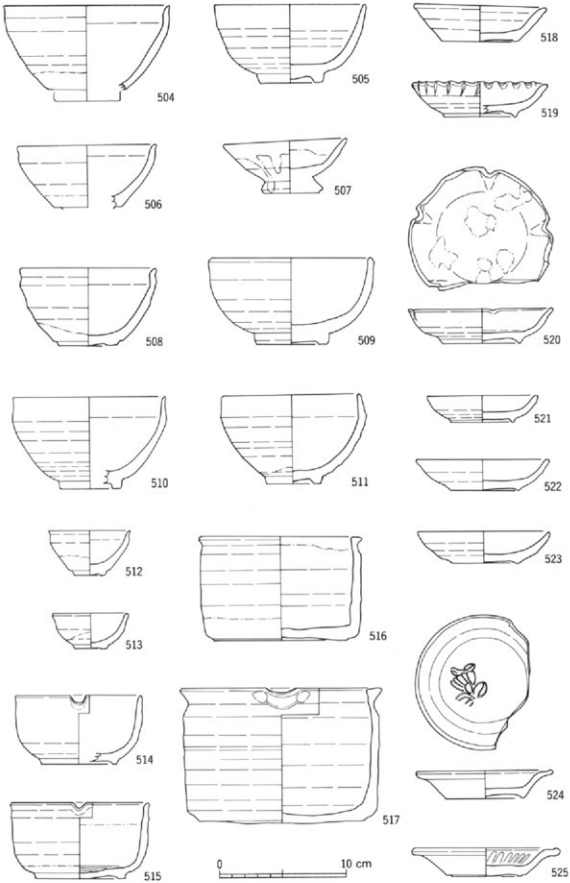


第 119 図　城下町期の遺物(37)

SD 177(13)

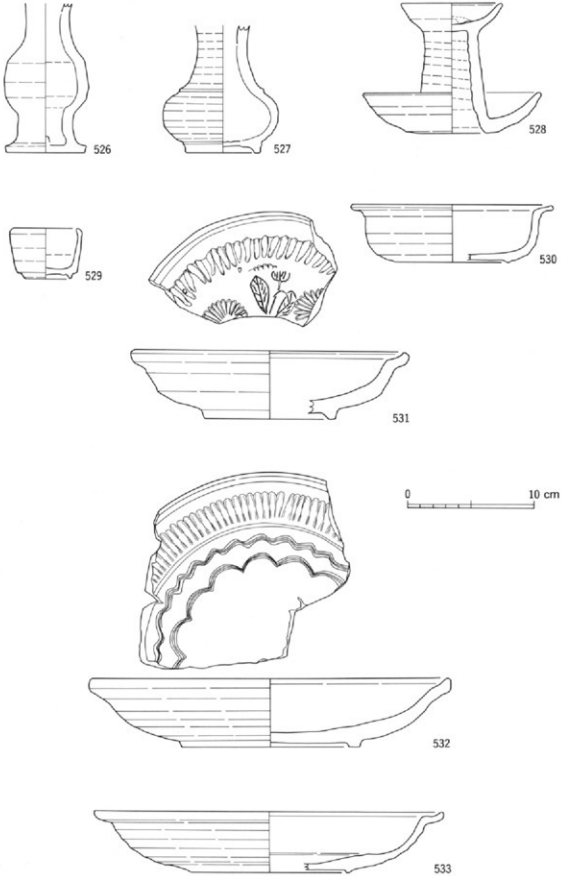


第 120 図　城下町期の遺物(33)　　SD 177(4)



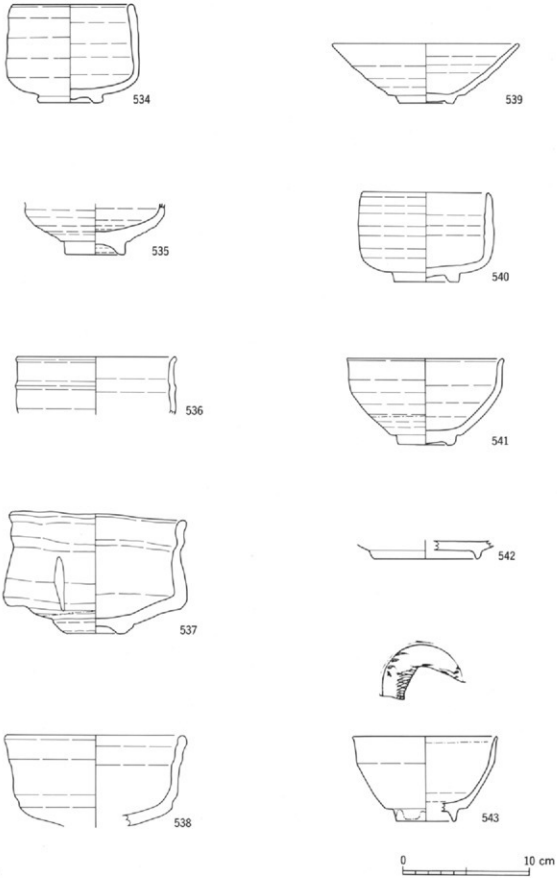
第 121 図　城下町期の遺物34

その他(1)

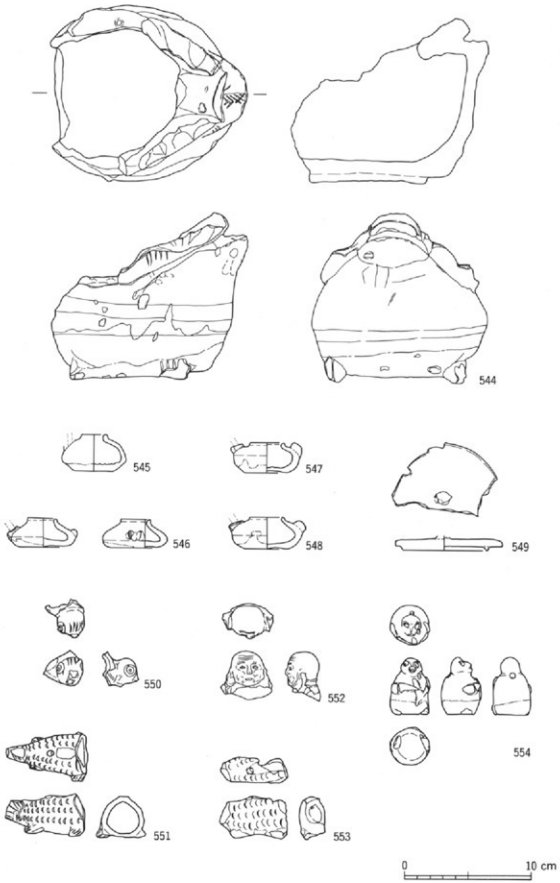


その他(2)

第 122 図　城下町期の遺物(35)

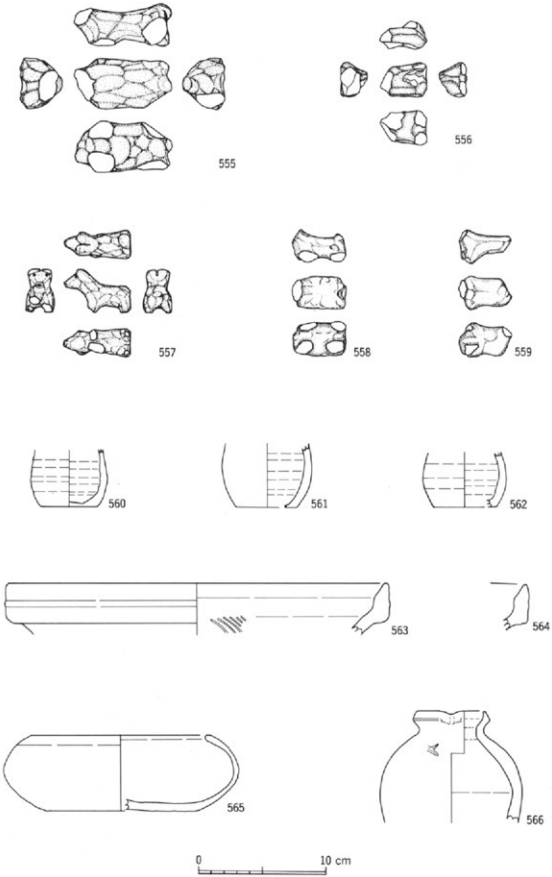


第 123 図　城下町期の遺物(39)　　その他(3)



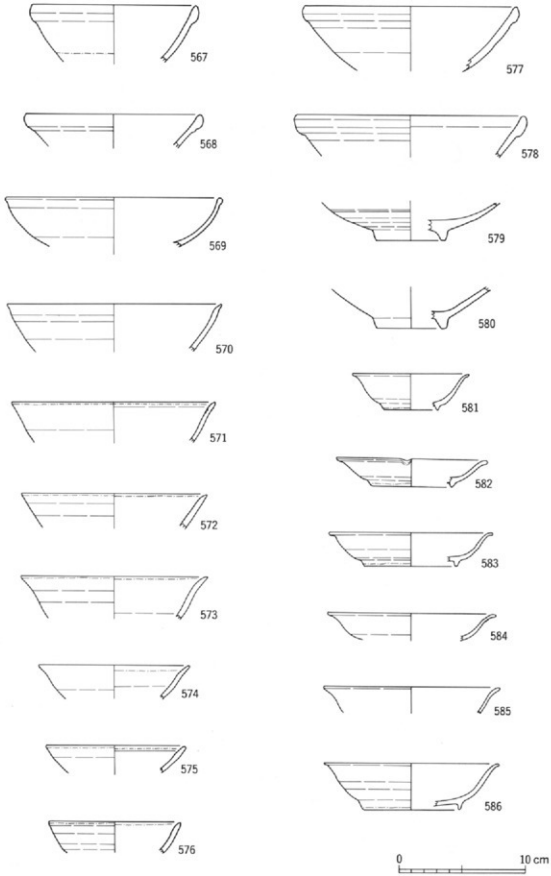
第 124 図　城下町期の遺物(37)

その他(4)

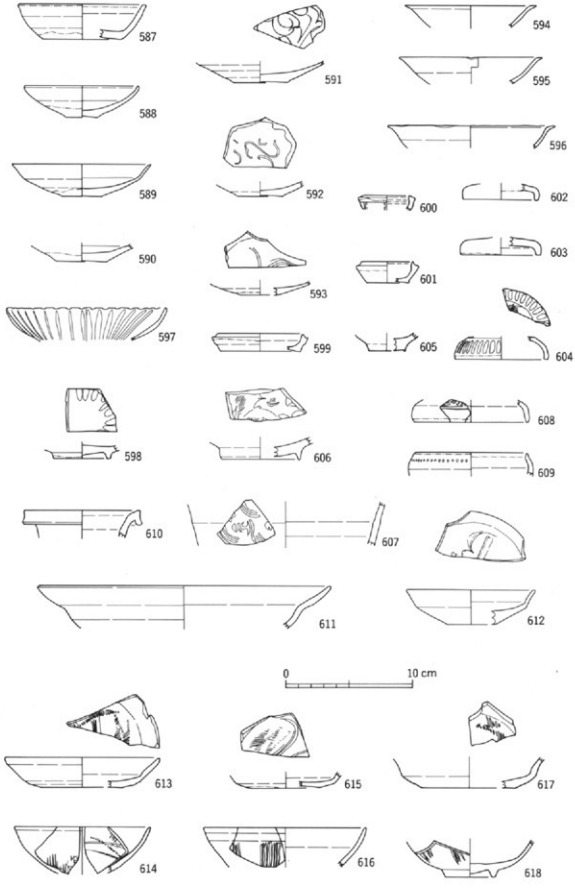


第 125 図　城下町期の遺物38

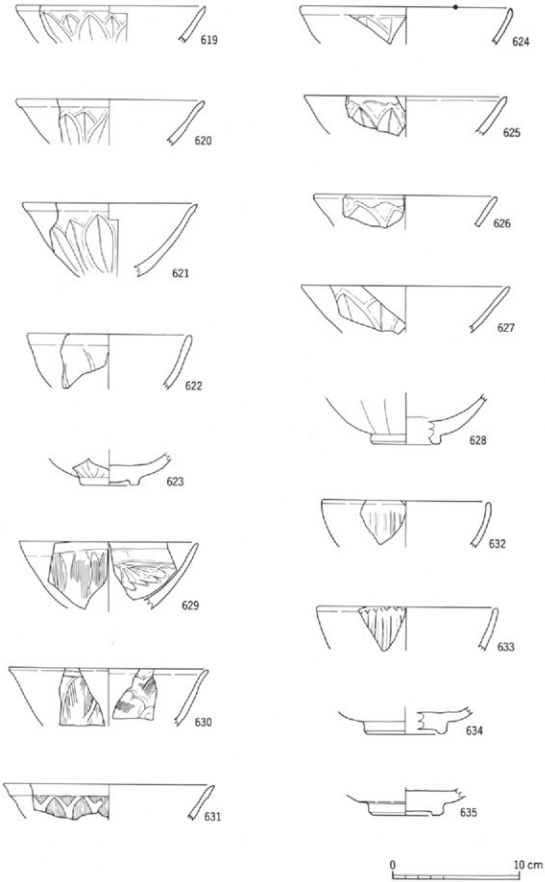
その他(5)



第 126 図　城下町期の遺物(39)　　輸入陶磁器　白磁(1)

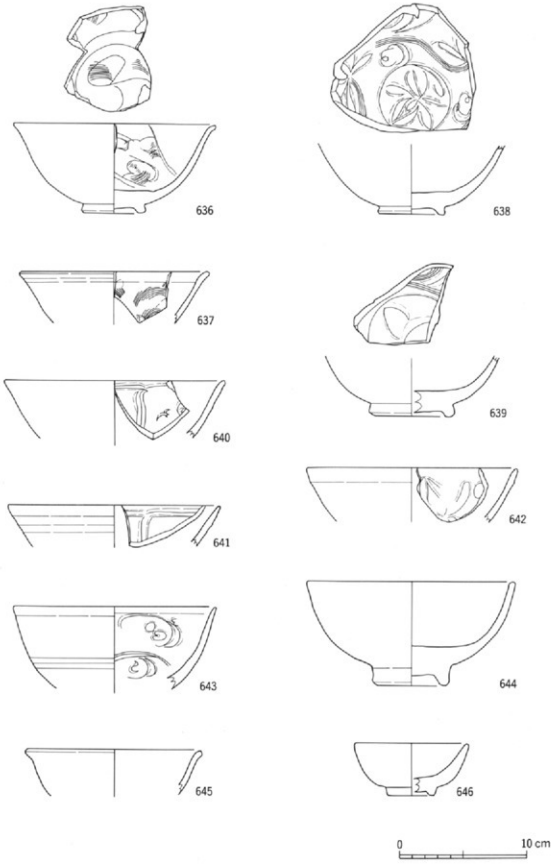


第 127 図　城下町期の遺物(4)　輸入陶磁器　白磁(2)・青白磁・青磁(1)



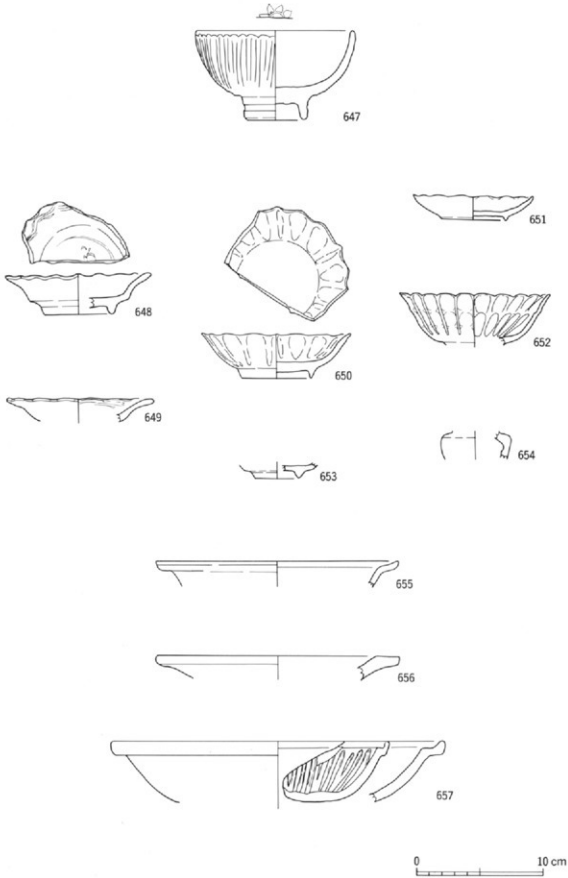
第 128 図　城下町期の遺物(41)

輸入陶磁器　青磁(2)

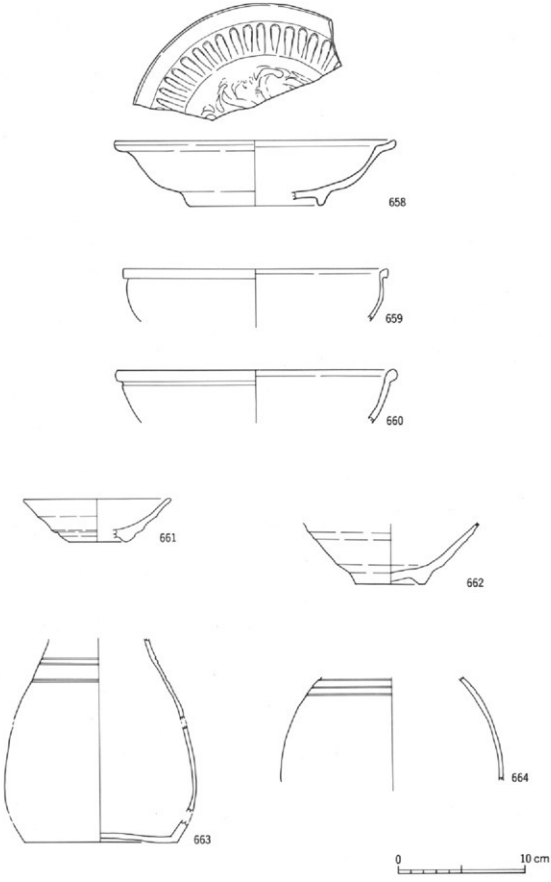


第 129 図　城下町期の遺物(42)

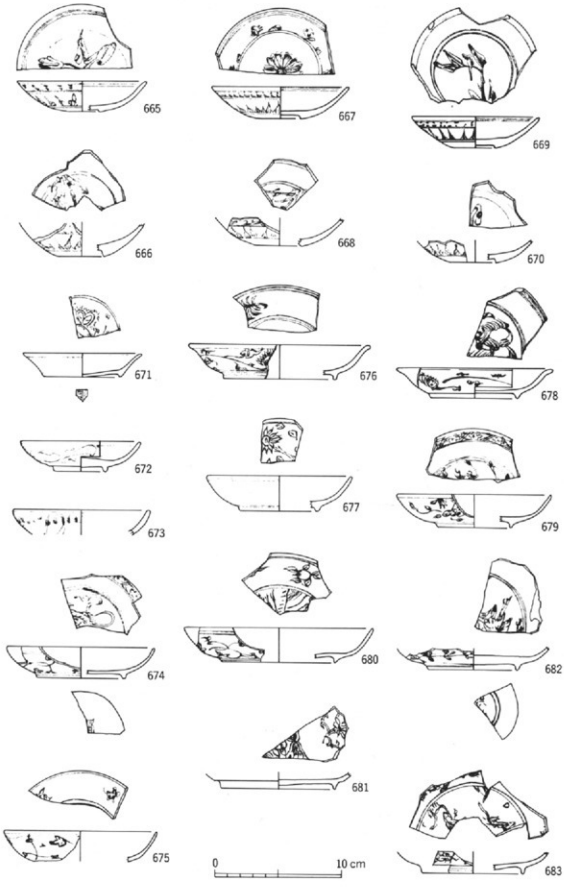
輸入陶磁器　青磁(3)



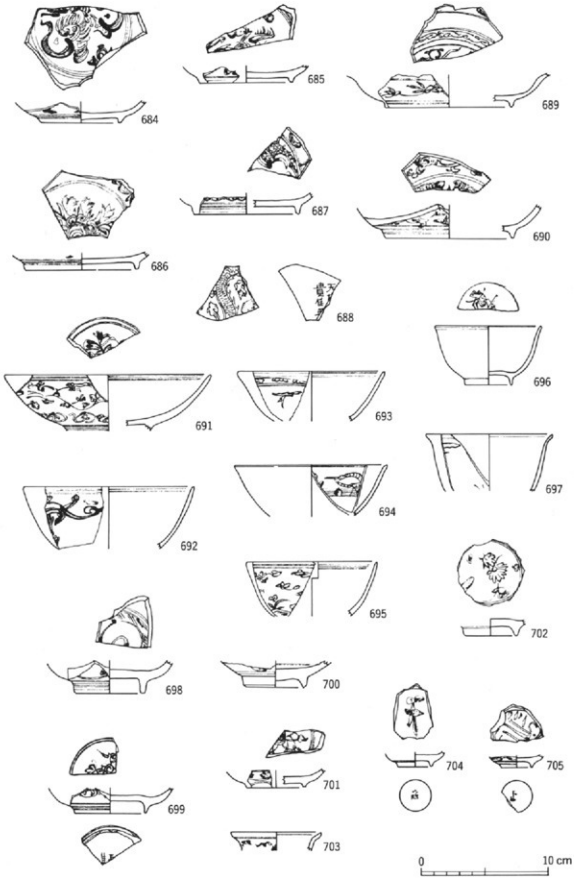
第 130 図　城下町期の遺物(43)　　輸入陶磁器　青磁(4)



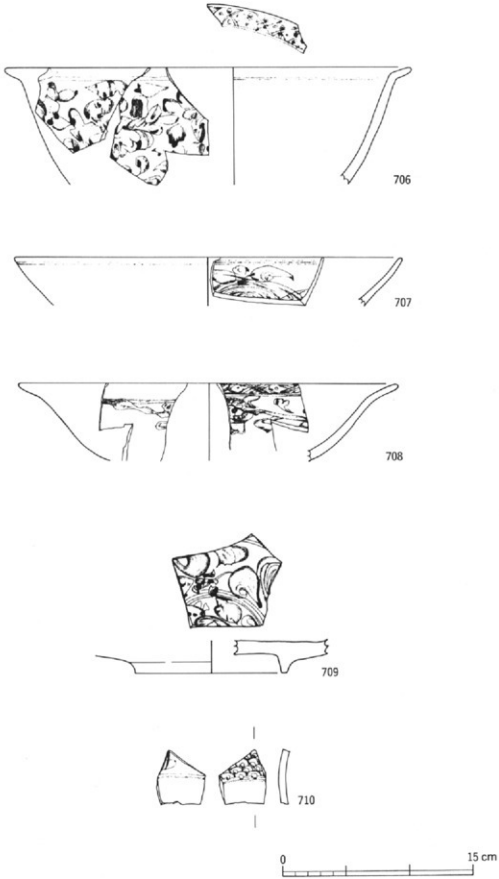
第 131 図　城下町期の遺物(4)　　輸入陶磁器　青磁(5)・朝鮮陶器



第 132 図　城下町期の遺物(45)　　輸入陶磁器　青花(1)



第 133 図　城下町期の遺物(46)　　輸入陶磁器　青花(2)



第 134 図　城下町期の遺物(47)　　輸入陶磁器　青花(3)

第5節　朝日村期の土器・陶磁器

朝日村期の出土遺物の大部分は陶磁器類であるが、大半は瀬戸美濃窯産の陶磁器であり、肥前窯産の磁器と常滑窯産の陶器、土師質の皿、鍋が一定量出土している。中国・朝鮮などから招来した輸入陶磁器はほとんど出土しなかった。陶磁器類は椀、皿、鉢などの日常雑器が中心で、名古屋城三の丸遺跡の様相とは若干異なる一括資料である。土師質の皿は城下町期に比べると少量で、鍋は焙烙鍋が主体となる。時期的には、清須城下町が名古屋に移転した直後から遺物は出土しており、17世紀から19世紀までの年代幅の広い様相を呈している。

なお、朝日村期の遺構は中世・城下町期の遺構や包含層を破壊して掘削され、埋められている。従って、このことによって混入した城下町期以前の遺物は除外して記述を進めたい。

ＳＫ375　（第135図711～734）瀬戸美濃窯産および常滑窯産の陶器、肥前窯産の磁器が出土した。瀬戸美濃窯産の陶器には、腰錆茶椀、天目茶椀、灰釉丸椀、灰釉皿、御深井皿、笠原鉢、擂鉢などがある。腰錆茶椀（713）と灰釉丸椀（714）は18世紀末に属する。常滑窯産の遺物には火鉢（726、727）がある。肥前の磁器椀は19世紀に属するものがある。17世紀から19世紀までと年代幅の広い遺物群である。

ＳＤ49　（第136～140図735～824）瀬戸美濃窯産の陶器、肥前窯産の磁器、土師質の鍋、皿が出土した。

瀬戸美濃窯産の陶器は椀、皿、鉢、擂鉢の他、香炉、煙硝擂などの器種も存在する。椀は灰釉丸椀（753、754）、腰錆茶椀（757、758）、鐵茶椀（770）、御室茶椀（756）、尾呂茶椀（766～768）と呼ばれるものがあり、18世紀に位置付けられる。18世紀代の灰釉小椀もある。皿は灰釉皿（773～777）、灯明皿（786～791）、摺絵皿（778～783）があり、椀と同様の年代が付与できる。鉢は黄瀬戸鉢、大平鉢、笠原鉢、片口鉢が存在し、椀・皿に比べると若干古い年代が与えられよう。

肥前窯産の磁器には椀（817～822）、皿（824）、仏飯具（823）が認められ、18世紀前後に位置付けられる。磁器は出土量はそれ程多くないようである。

土師質の鍋は焙烙鍋（808、809）が主体となる。口縁部がやや外に開き、口縁端部が若干凹むものである。土師質の皿（810～816）はロクロ成形のもので体部が直線的に開くものである。

ＳＤ11　（第141図825～840）瀬戸美濃窯産の尾呂茶椀（825）、御室茶椀（826）、灰釉小杯（828、829）、灰釉丸皿（832）、菊皿（831）、水注（836）、香炉（837）、笠原鉢（838）、擂鉢（839）と肥前産のくらわんか手の皿（835）、焙烙鍋（840）、土錘（841）が見られる。菊皿・水注・香炉・笠原鉢は17世紀後半、尾呂茶椀・御室茶椀は18世紀前半、くらわんか手の皿は18世紀後半に位置付けられる。

ＳＫ305　（第142～147図841～916）瀬戸美濃窯産、常滑窯産、肥前産の製品と土師質の製品が出土した。

陶器の器種としては椀、皿、鉢、擂鉢、香炉、甕、壺、徳利、蓋、土瓶など多種多様なものが存在する。椀には、天目茶碗、灰釉丸椀（京焼風も含む）、尾呂茶椀、御室茶椀、柳茶椀、

筒型椀が見られる。呉須で梅文を描いた丸椀（869）や柳茶椀は19世紀に属する。皿には志野丸皿、灰釉丸皿、輪禿皿、鉢には餌鉢、捏鉢、火鉢などがある。徳利は２方向または４方向に凹みを有する鉄釉を掛けた製品である。また、上半に灰釉・下半に鉄釉を掛け分けた腰錆の燗徳利（896）もある。

磁器には呉須絵を施した染付椀と染付皿がある。染付皿は輪禿の丸皿（905）である。

常滑窯産の製品には甕と火鉢と思われる足付の鉢（912）がある。甕の口縁部は波状口縁になるもの（911）と、ならないものがある。

土師質の製品には鍋、皿、人形が見られ、鍋は焙烙鍋と口縁部の吊手が上に盛り上がる三足？の鍋（915）がある。人形には猫（907）と人物（908）をモチーフにしたものがある。

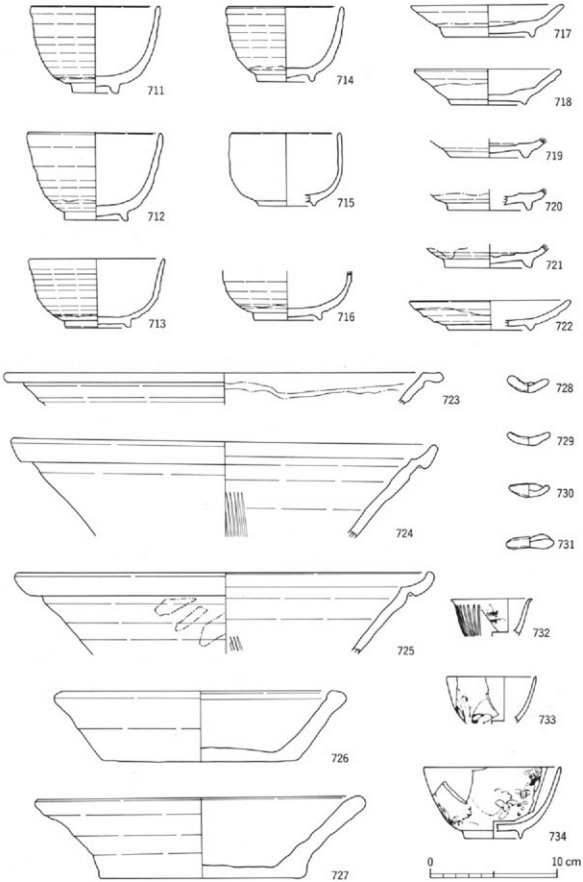
ＳＫ139　（第148～154図917～984）陶磁器類は瀬戸美濃窯産の陶器、磁器、肥前産の磁器が出土しており、器種は椀、皿、鉢、甕、壺、徳利、蓋、土瓶など多種多様である。

椀は広東茶椀、丸椀、筒型椀、端反小椀などがある。広東茶椀（925～932）は呉須を施した瀬戸美濃窯産の染付で見込みに五弁花がある。19世紀第１から第３四半期までに属するものである。丸椀は呉須絵の丸椀と上絵付の丸椀があり、瀬戸美濃窯の製品である。肥前磁器を丸椀には、文様を釘彫りの後に呉須を施したものがあり、破面にガラス継ぎの痕跡が残存している。端反小椀・小椀は肥前磁器で、幕末の時期である。

皿は瀬戸美濃の呉須絵丸皿と鉄絵輪禿皿がある。呉須絵丸皿はくらわんか写しのもので、18世紀末から19世紀第１四半期に位置付けられる。磁器の紅皿は19世紀と考えられる。

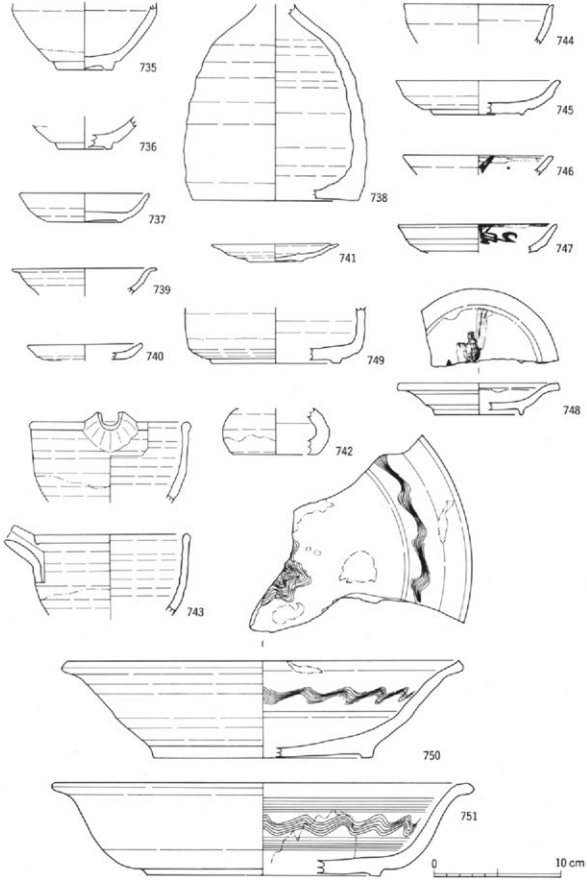
折縁鉢、片口捏鉢、徳利、瓶掛けなどは19世紀に所属する。959は半胴甕と考えられる鉄釉の甕で底部に「十一月十日　た□」と墨書で記されている。把手付餌入れ（960）の底部にも墨書が確認できる。甕類は幕末の時期と思われる。また蛟いぶしや七輪も存在する。

（鈴木正貴・小澤一弘）



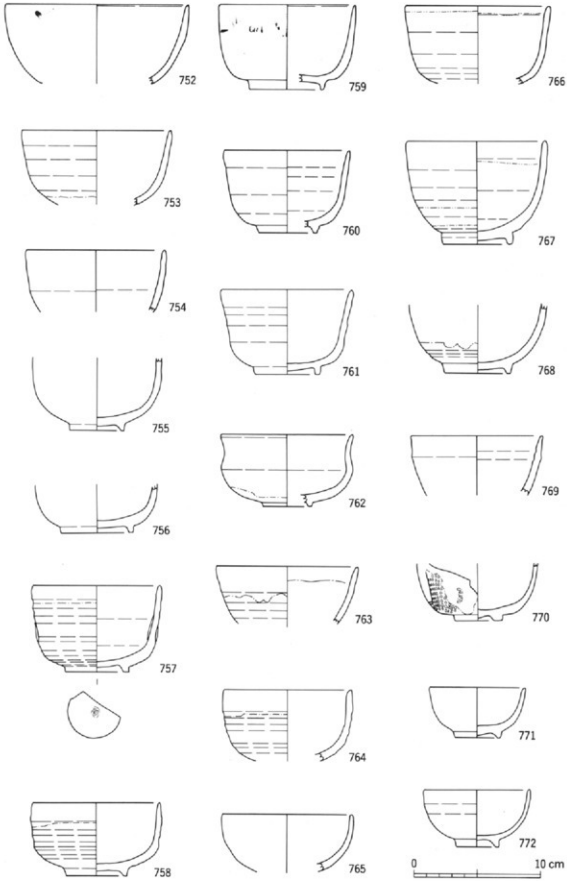
SK 375

第 135 図　朝日村期の遺物(1)



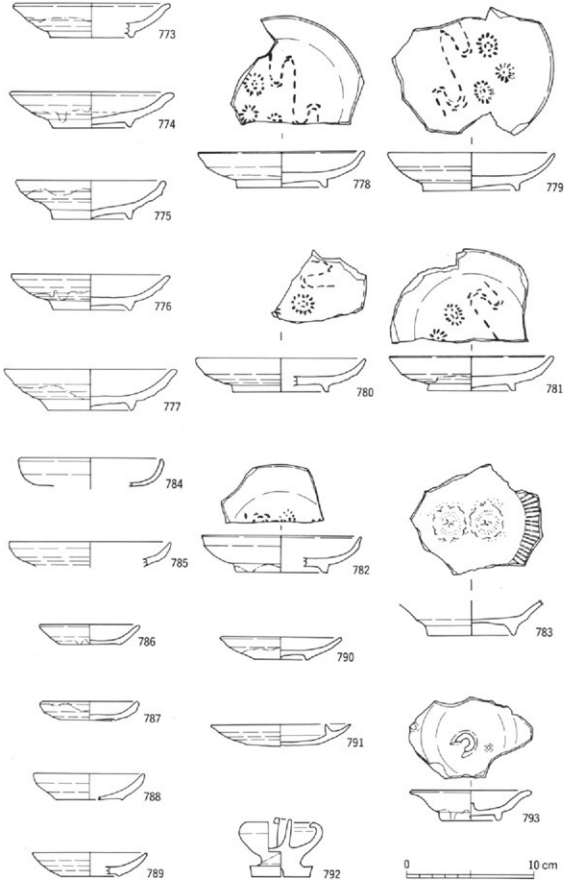
SD 49 (1)

第 136 図　朝日村期の遺物(2)



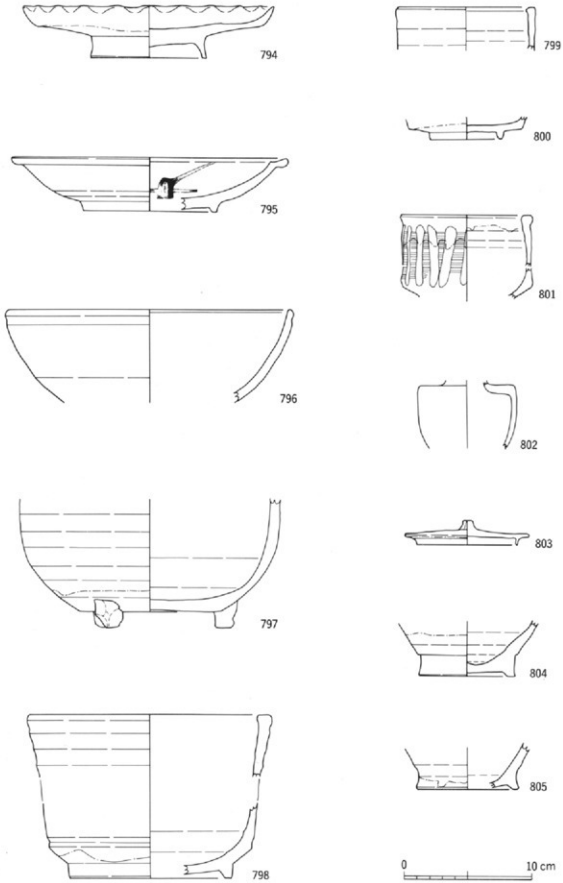
第 137 図　朝日村期の遺物(3)

SD49 (2)



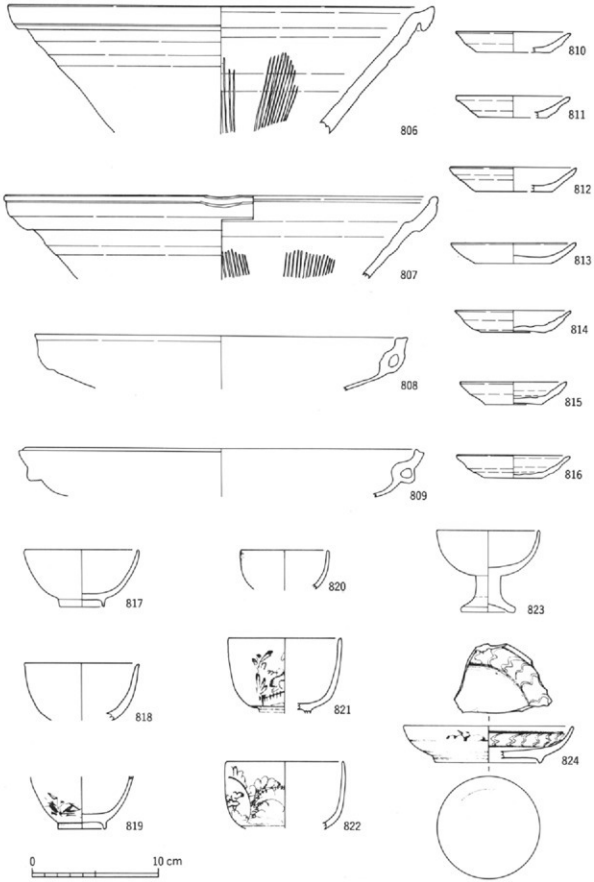
第138図　朝日村期の遺物(4)

SD49 (3)

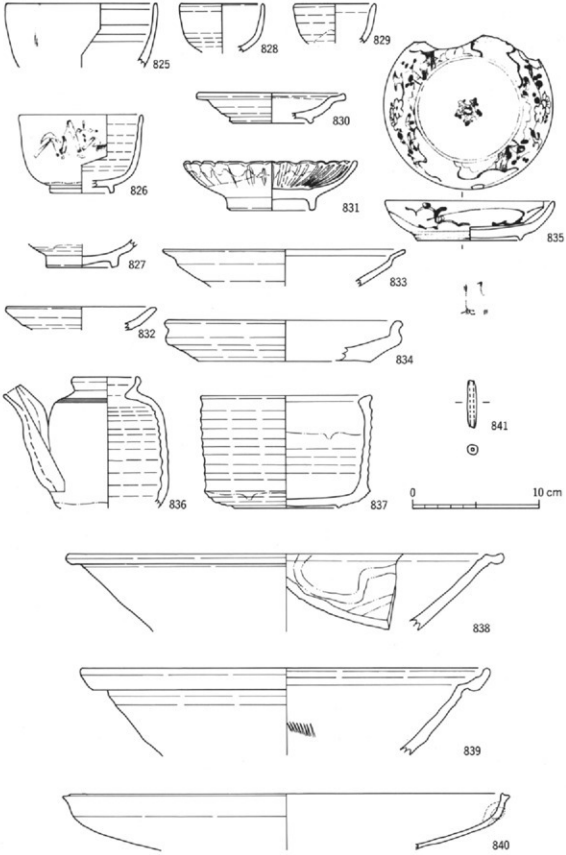


SD 49 (4)

第 139 図　朝日村期の遺物(5)

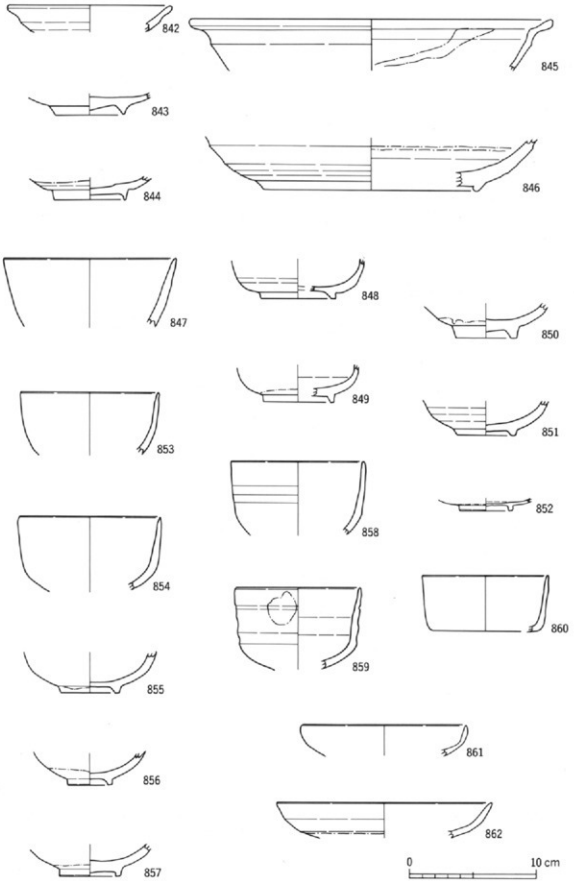


第 140 図　朝日村期の遺物(6)　　SD 49 (5)



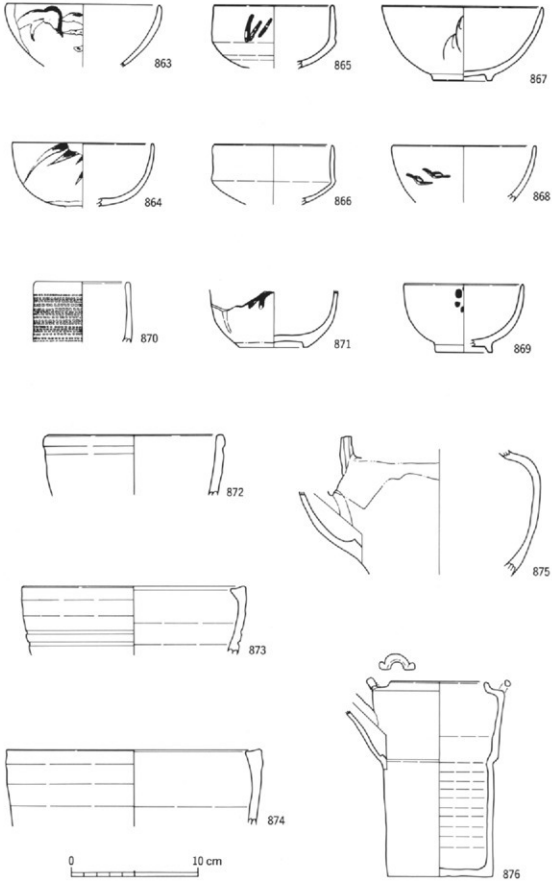
SD 11

第 141 図　朝日村期の遺物(7)



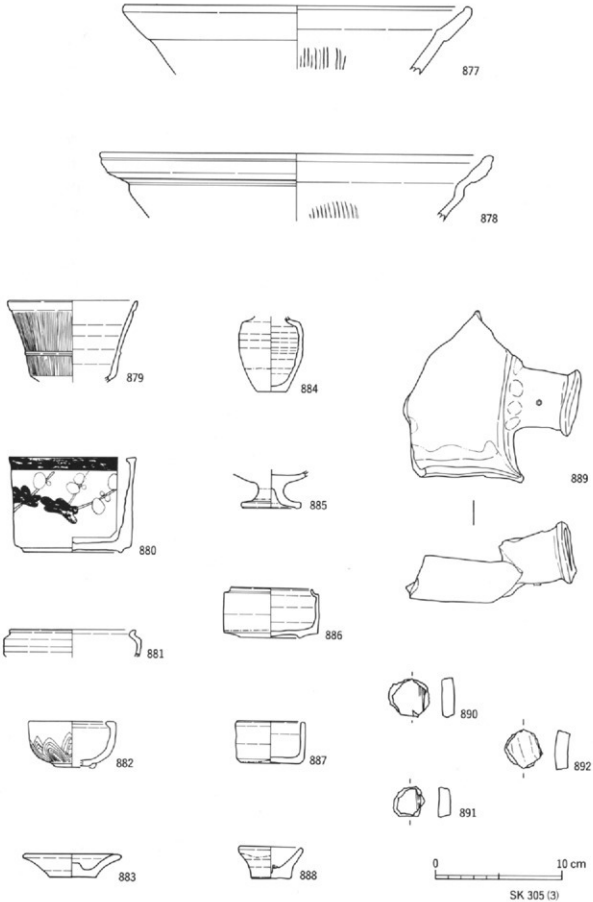
SK 305 (1)

第 142 図　朝日村期の遺物(8)

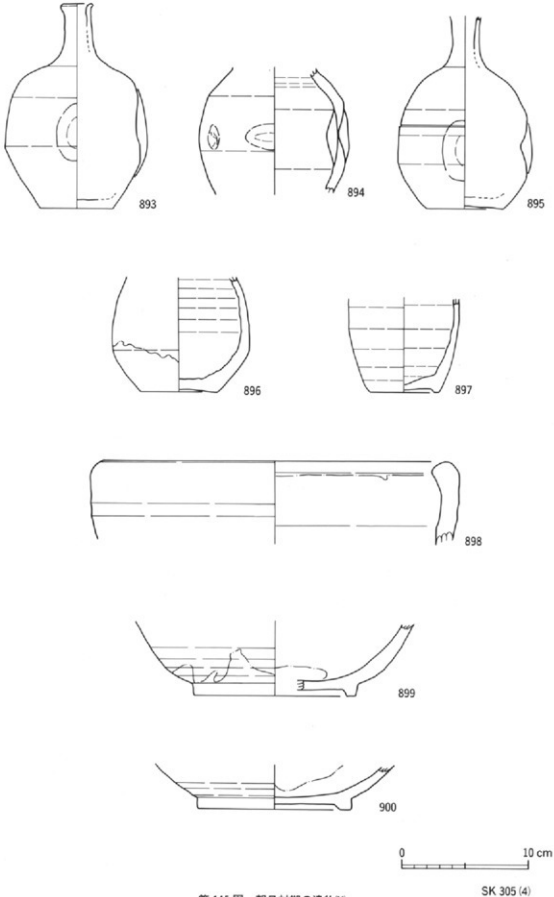


第 143 図　朝日村期の遺物(9)

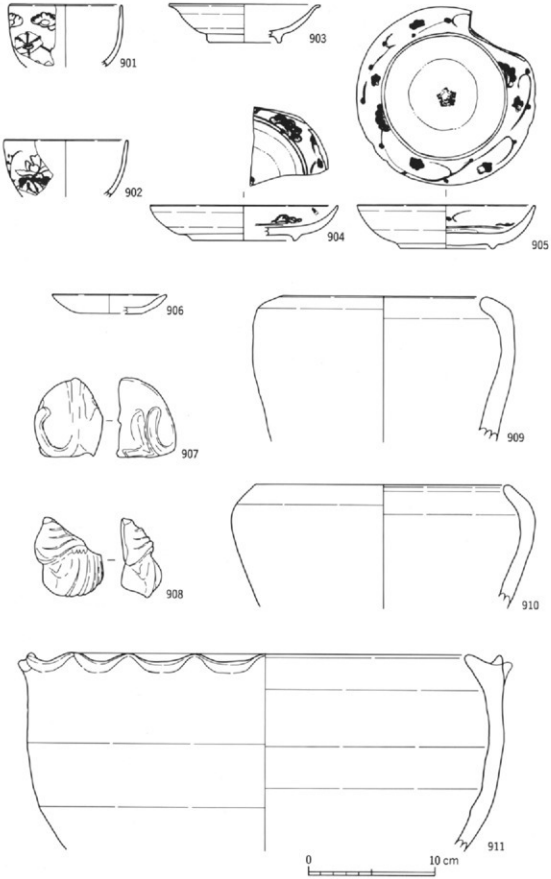
SK 305 (2)



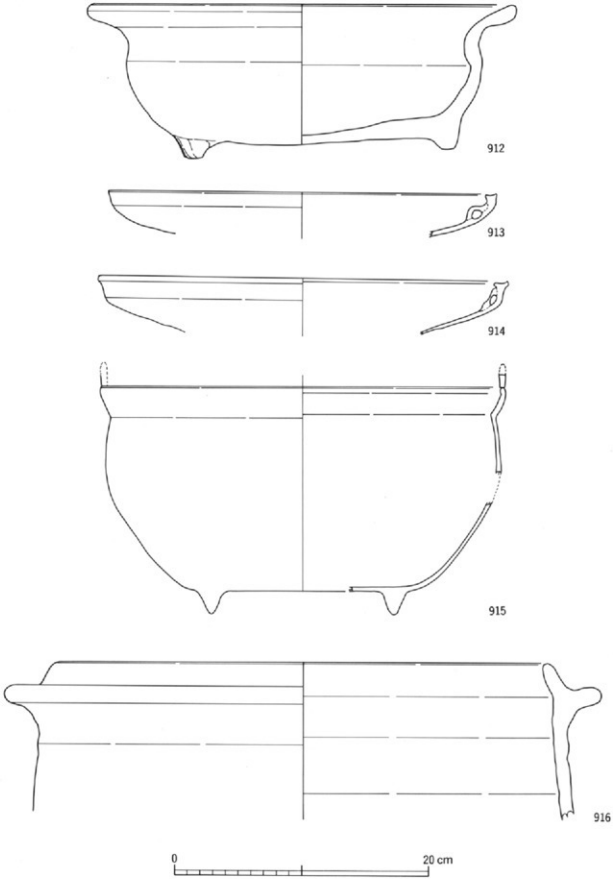
第 144 図　朝日村期の遺物(11)



第 145 図　朝日村期の遺物(11)

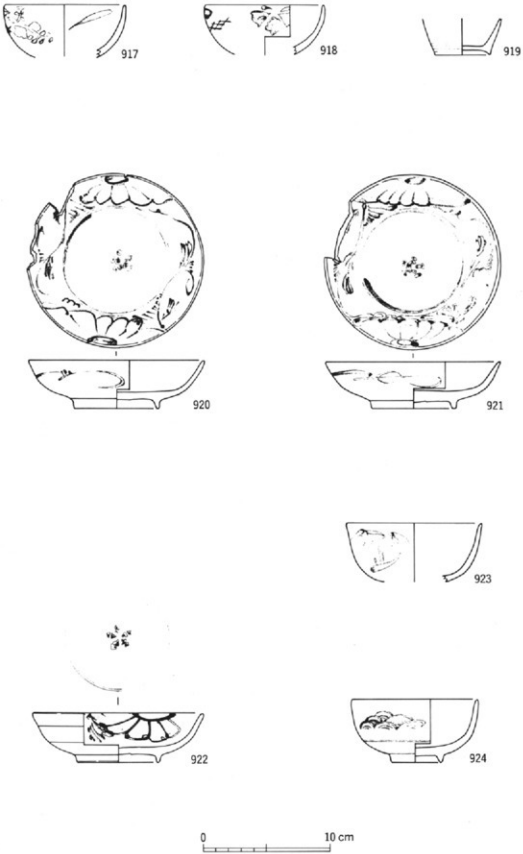


第 146 図　朝日村期の遺物(12)　　SK 305 (5)



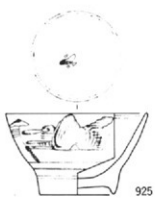
SK 305 (6)

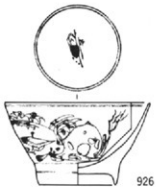
第 147 図　朝日村期の遺物(11)

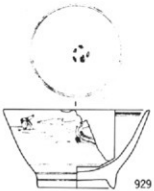


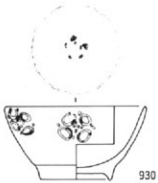
SK 139 (1)

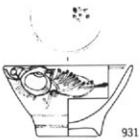
第 148 図　朝日村期の遺物(4)

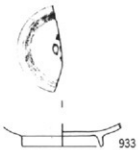






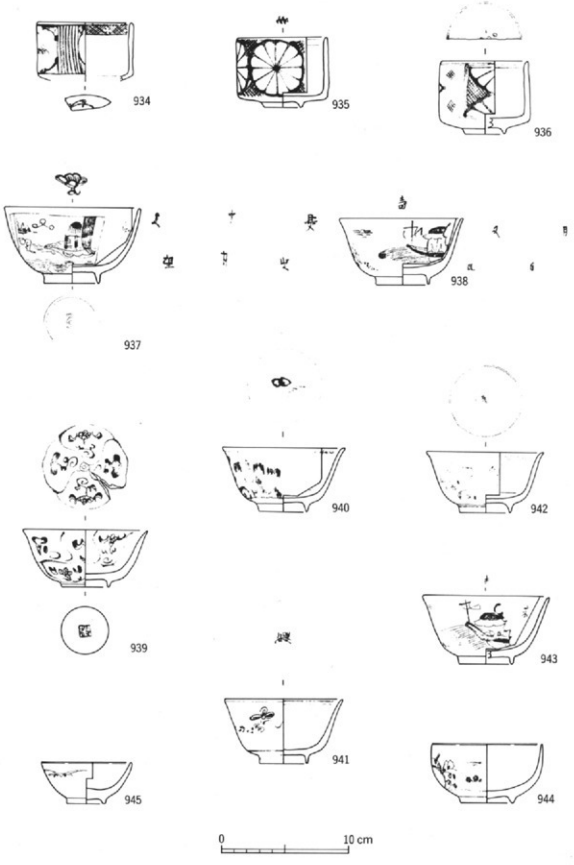






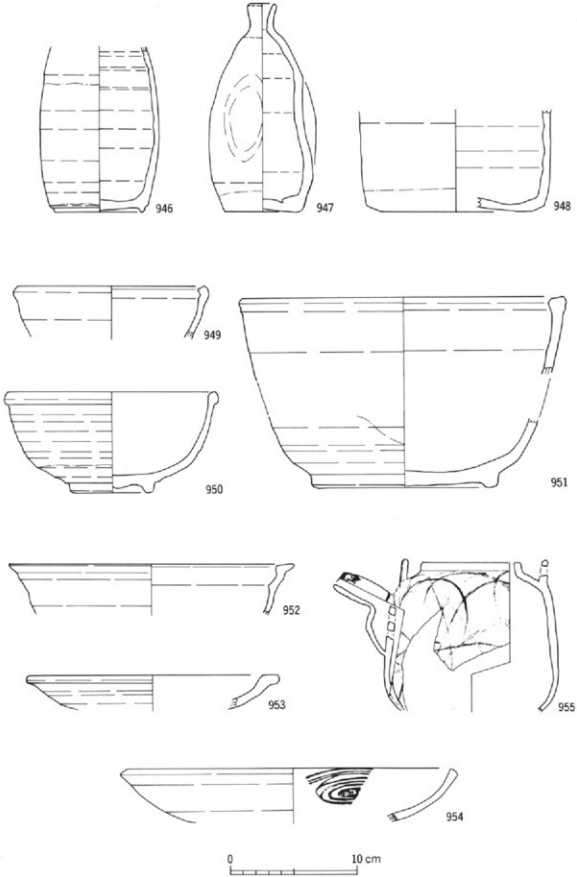
第 149 図　朝日村期の遺物(5)

SK 139 (2)



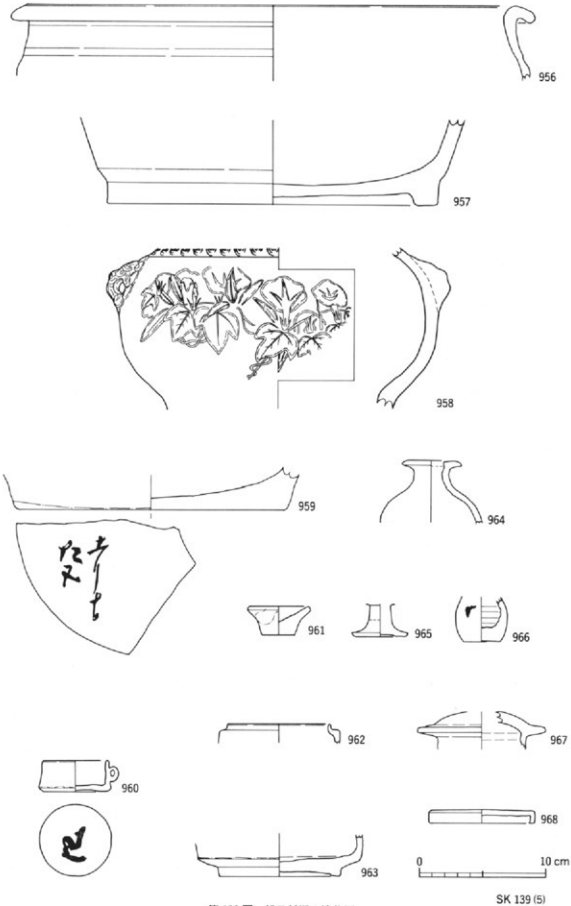
第 150 図　朝日村期の遺物(16)

SK 139 (3)

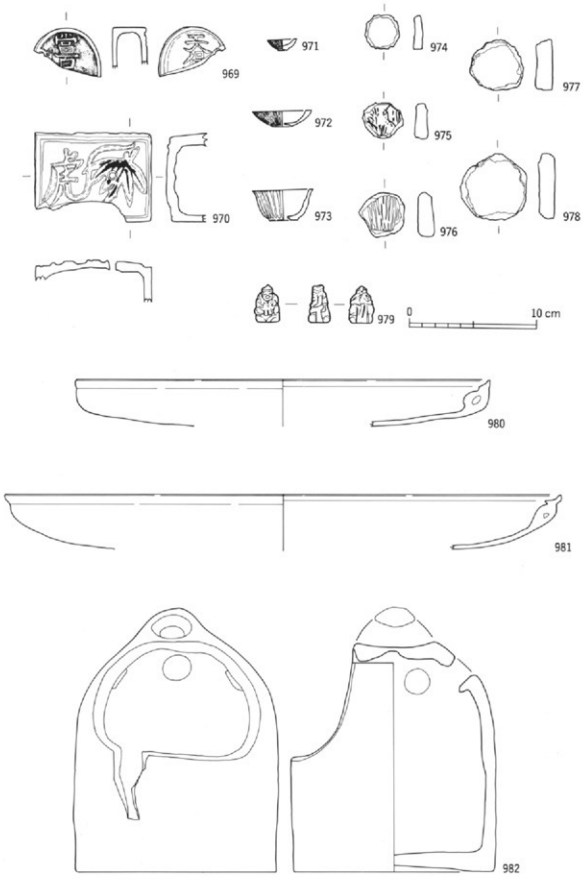


SK 139 (4)

第 151 図　朝日村期の遺物(17)

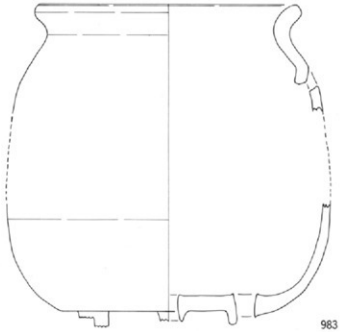


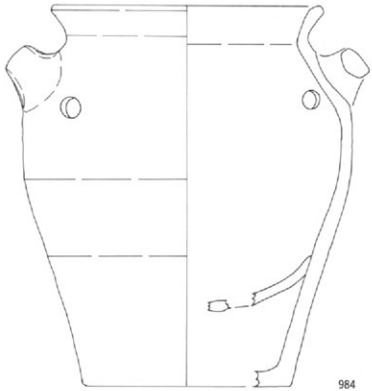
第 152 図　朝日村期の遺物⑩



第 153 図　朝日村期の遺物(19)

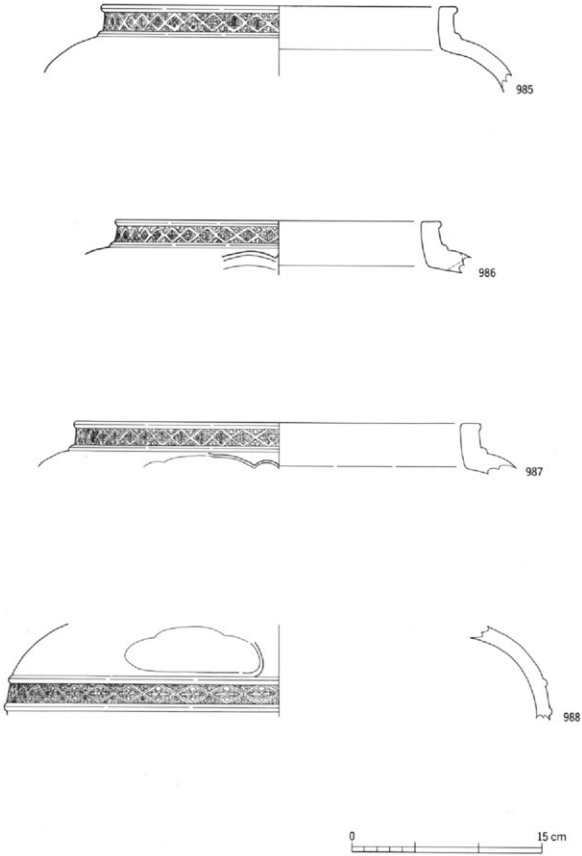
SK 139 (6)



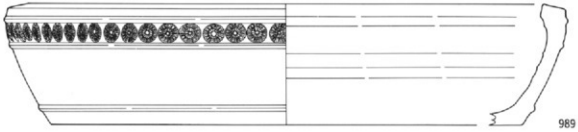


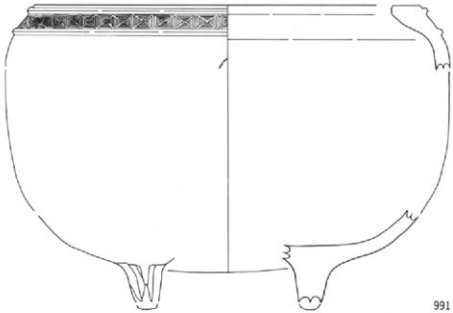
SK 139 (7)

第 154 図　朝日村期の遺物(28)



第155図　瓦質製品(1)





第 156 図　瓦質製品(2)

第６節　木製品

木製品はＳＤ177などの深く掘り込まれた遺構から出土した。漆器・曲物桶・結桶・折敷・下駄などがある。本節では、遺構毎にその資料を紹介し、記述に当たっては器種に分けて行うことにする。

ＳＤ177（第157～165図１～146）

ＳＤ177から出土した木製品には、漆器・曲物桶・結桶・折敷・下駄・木簡・建築部材などがある。生活用具類を主体とした遺物群と、位牌・柿経などの供養関連の遺物群との２者が混在する一括資料である。

漆器　漆器類はその器形から高台が高い椀Ａ類（１～６）、高台が低い椀Ｂ類（７～13）、皿類（14）、香合類（15・16）の４種類に大別できる。

椀Ａ類　椀Ａ類は高台裏の削りの深いもの（１・４）、口径がやや小さいもの（５・６）がある。１・３は外面に赤色漆で紋様が施された痕跡が残存しているが、その紋様の内容は不明である。２は鶴紋・亀紋・蓬莱紋？を組み合わせた紋様が施されている。５は外面には鶴の紋様が２ヶ所に残存しており、３ヶ所に描かれたものと想定できる。２・４の高台裏には赤色漆で「一」字が記されている。

椀Ｂ類　椀Ｂ類は、内外面共に黒色漆が塗布された椀（７・８）、外面に黒色漆・内面に赤色漆が塗布された椀（９・10・12）、内外面共に赤色漆が塗布された椀（11・13）に分けられる。７は内外面に扇紋？、内面には霰紋のような紋様が描かれている。８は内外面に「丸に一」紋、10は外面に俵紋、12は外面に鶴紋・亀紋・蓬莱紋？を組み合わせた紋様がそれぞれ施されている。10の俵紋は３個程度描かれていると推定できる。11・13は底部外面は黒色漆が塗布されており、11は「下」、13は「平」の字が記されている。13の「平」の字の下には２個の点も記されている。

皿　類　14は内外面共に赤色漆が塗布された皿類で、口縁部が欠損している。

香合類　15・16は共に筒型の容器で、15は口縁部に段差が存在する身、16は彫漆屈輪文香合蓋で赤色漆が塗布されている。

曲物桶　曲物桶は法量から、口径約20cmのもの（21・22）、口径約12cmのもの（17～20・23～26）、口径約６cmのもの（28～33）の３種類に分類できる。また、柄が取り付けられた柄杓（17・19・27）と柄が存在しない一般の曲物桶（18・20～23・28）の２者にも区分できる。ただし、一般の曲物桶の中には、側板の上端部及び下端部が欠損してその痕跡が確認できない場合も含まれていることに注意しなければならない。なお、側板・底板共に柾目板を使用して製作されている。

17は上半部が欠損した曲物桶の側板である。側板は二重巻で桜皮による縫い合わせは広い間隔で行われている。側板の一部に柄杓の柄が差し込まれた孔が穿たれており、桜皮を孔の周囲にハの字状に縫い合わせて側板を補強している。おそらく側板上半部には柄杓の柄が挿入された方形の孔があったと思われる。側板と底板の接合は３ヶ所で、桜皮で縫い合わせて行っている。18は口径13.4cm、器高約7.8cmの曲物桶で側板は一重巻である。側板の綴じ合わせは約５mmという狭い間隔で縫い合わせており、側板と底板の接合は竹釘によって７ヶ所で行われている。側板の内面

に板を曲げるための縦方向の傷が無数に施されている。19は柄の上部が欠損した柄杓である。側板は二重巻で、綴じ合わせは広い間隔で行われている。綴じ合わせ部のすぐ横に柄杓の柄が挿入された方形の孔が存在し、綴じ合わせ部の反対側の下方にも円形の孔が開けられ、ハの字状に桜皮を縫って補強している。20は口径13.6cm、器高6.5cmを測る曲物桶で側板は二重巻である。側板の綴じ合わせは8mm以上の間隔で桜皮を縫い合わせており、側板の先端（綴じ合わせ部）は幅を狭く加工している。側板と底板の接合は4ヶ所で、桜皮を用いて行われている。21は口径24.0cm、器高7.0cmの曲物桶で、側板は一重巻である。側板の綴じ合わせは5mm以下という狭い間隔で桜皮を縫い合わせており、側板と底板の接合は竹釘によって5ヶ所で行われている。底板には十字状の配置で4ヶ所に孔が穿たれており、34のような板材を十字に組み合わせた板が下部に取り付けられ曲物桶を吊り運んだものと想定できる。22は下半部を欠損した曲物桶の側板である。側板は現存で3枚の薄板を用いており、最も外側の側板は上端部のみ側を回しているものである。また、中央の薄板は長さが短く一周しないものであるが、側板全体を補強するために挿入された板と思われる。側板の綴じ合わせは8mm以上の広い間隔で桜皮を縫い合わせており、綴じ合わせ部以外にも上端部を4ヶ所で補強するために桜皮を縫い合わせている部分がみられる。23は口径13.0cm、器高7.5cmの曲物桶で側板は一重巻である。底板の周囲は段差を持ち、段差の部分に側板が接続している。側板と底板の接合は竹釘で6ヶ所行われている。28は口径7.6cm、器高4.4cmを測る曲物桶で、側板は一重巻である。側板の桜皮による綴じ合わせの間隔は広く、側板と底板の接合は竹釘によって2ヶ所で行われている。

24～26、29～33は曲物桶の底板である。24～26は直径11cm～12cmで、25は釘のための穴が12個、26は桜皮が2ヶ所で縫い込まれ、それぞれ側板を固定したものであろう。27は桜皮や釘穴の存在が確認できないことから側板の中に底板をはめ込むだけで作られたものであろう。29～33は直径5cm～6cmの円形の板材で、31～33は表面の塗布物や接続のための加工が認められないものである。30は片面に黒色漆が部分的に残存しており、曲物桶の外面に漆塗が施されていたものと推定できる。29は片面に「コ」の字状に傷が存在している薄い板材である。

27は柄杓の柄であり、断面形が方形の角材で先端は細く尖らされている。先端から約12cmの部分に孔が穿たれており、柄が曲物桶から落ちないように釘をはめ込んで支えたものと思われる。孔のやや上部には側板の圧痕が残存している。

結桶　35・36は結桶の側板、37～39は結桶の底板の一部、40・41はタガを締めるための楔である。35・36は外面にタガの圧痕が2条、内面下端部に底板の圧痕が1条残存している。高さは35が24.2cm、36が22.1cmとやや規模の大きいもので、板目板材を用いている。37～39は底板の一部を構成する板である。結桶の底板は複数の板材を継ぎ合わせて作製され、タガで側板を締めることによってより強固に密閉性を増す構造となっている。38は接合面に竹釘による「合釘接」の穴が各面に2ヶ所づつ存在している。一方、37・39は接合面に竹釘による「合釘接」の穴が存在しない。39は板の中央部に並んで孔が4個穿たれている。40・41は長方形の角材の片面を削って先端を鋭利に尖らせており、おそらく井戸桶のタガを締めるための楔であると思われる。41にはタガの圧痕が残存している。

折敷　42～61は折敷の一部である。このうち59を除く全てが底板の部分である。用いられた板材はすべて柾目板で、製材は木材に刃物を当てて打ち割る「割裂法」で行われている。表面は滑らかに加工されていることから、台鉋が使用された可能性がある。折敷類は底板の形状と規模によって類型化が可能である。

折敷底板Ａ類　折敷底板Ａ類は、底板の形態が正方形の薄板の角が落とされた不定八角形の折敷である。59は折敷のほぼ完形で、板の厚さが２㎜前後、一辺約23.5㎝である。角の辺には孔が２個づつ穿たれており、側板を固定するためのものと思われる。固定するための桜皮などは残存していない。側板は一重巻で高さは低く、屈曲部の内面に折り曲げ易くするための傷が存在している。61は板の厚さが７㎜前後、一辺約28.5㎝の折敷の底板で、大半は欠損している。角の部分に１ヶ所、一辺には２ヶ所桜皮が縫われており、これによって側板を固定していたのであろう。

折敷底板Ｂ類　底板の形態が正方形の折敷のうち、板厚が３㎜以上・一辺が20㎝以上のものを折敷底板Ｂ類と分類する。51は片面に刃物による微細な傷が無数に存在しており、まな板として用いられた可能性も考えられる。孔や釘の存在は認められない。54は表面に黒色の付着物が残存しており、黒色漆が塗布されていたと想定される。片面には微細な傷があり、その反対の面には側板の圧痕と墨書の線が一条記されている。縁辺部に孔が１個存在している。56は大部分が欠損して、全体のおよそ４分の１が残存しているにすぎない。一辺のほぼ中央に位置すると思われる場所に２個の孔が存在し、別の一辺には側板が存在した圧痕がある。52・53は一辺が23㎝の板で全形は不明である。側板が接続した痕跡が認められないことから、折敷ではない可能性も考えられる。いづれも角は丸く加工されている。60は一辺が32㎝のやや厚手の底板で端部に桜皮が縫われている。

折敷底板Ｃ類　底板の形態が正方形の折敷のうち、非常に薄い板で作られて両端部に２個づつ孔が穿たれている折敷の底板を折敷底板Ｃ類と分類する（42～50）。ほとんどの場合は遺存状態が不良であり、数枚の板片に破損している。規模は一辺が約15㎝～16㎝の範囲に収まり、規格性が認められる。側板の規模と形態は不明であるが、孔が対面に２ヶ所存在することから、方形に曲げた曲物の側板が用いられた可能性が高い。45・46は両端部に存在すべき２個づつの孔が全く遺存しないが、板の厚さと一辺の長さから同類の製品の一部と判断できる。なお、55は折敷底板Ｃ類と同様の規模を持つが、厚さがやや厚い製品で、一辺の中央にある孔が１個のみ存在する点も異なる。

折敷底板Ｄ類　底板の一辺が10㎝以下のものを一括して折敷底板Ｄ類と呼ぶ。57は一辺が約10.0㎝の底板で半分欠損しており、一辺に１個孔が穿たれている。58は一辺が約6.5㎝のもので、折敷底板Ｃ類と同様に一辺に２個孔が穿たれている。

折敷全体を通観すると、折敷底板Ｃ類が全体の半数以上を占めており、他の遺構には余り見られない傾向である。

箱物　62は箱物の部材である。横の長さは23.2㎝、高さは8.0㎝を測る柾目板材で、両端部にはほぞ加工を施し、「三枚組接」で箱を組み立てていたと推定される。接合部には木釘が２個づつ施され、板の中央部には孔が穿たれている。中央の孔の周囲には金具が付着していた痕跡があ

る。表面・上面・側面には赤色漆、裏面には黒色漆がそれぞれ塗布されており、接合面に相当する部分には塗布物は存在しない。引出し状の箱物の前面に当たる部材と推定できる。63は箱膳の脚部の一部である。中央部に大きな孔が存在し、上端部に切込みがある。

下駄　下駄は複数の材を用いて台部と歯部を別々に作る差歯下駄（76）と、一木から台部と歯部を繰り出した連歯下駄（77～81）の２種類に大別できる。

差歯下駄　76は歯が台部を貫通している「露卯下駄」であり、はぞ孔は２個存在する。歯部は現存しない。右足用である。

連歯下駄　連歯下駄は完全な形のものは存在しない。77は左半部が残存する下駄で平面形は楕円形を呈している。歯部は高く残っており、ほとんどすり減っていない。78は前半部が残存する下駄で平面形は隅丸方形である。歯の全面は若干すり減っており、足の圧痕も残っている。79は後半部が残存する下駄で平面形は隅丸方形である。歯部を繰り出したノコギリの痕跡が明瞭に残っている。80は前半部が残存する左足用の下駄である。81は長さ14.7cmの小型の下駄で、歯部の摩滅は見られず使用された痕跡が確認できない。

糸枠　82は長方形の板目板で、中央部に半径２cmの孔が穿たれており、また両端部には突起とそれに伴う小孔が存在している。糸枠（繰枠）の軸棒が中央部の孔に差し込まれたものであろう。

燈明皿受け　83は燈明皿受けの部材で、皿受け部を弧状に削り出し、上端部は若干焦げている。下半部に別材がはめ込まれたほぞ加工を確認できる。

櫛　84は上部が丸く滑らかに加工された櫛で、歯は推定で24本存在した。

栓　86は土圧で偏平に変形しているが断面形は円形で頭部が幅広くなっている。87は断面形が方形、先端がやや細くなった栓で、頭部が荒く削り取られ丸められている。

独楽　88～90は先端を尖らせた独楽で、表面には細かい削りが見られる。88・89は頂部に穴が開けられているのに対し、90の頂部は平坦である。

箸　箸は600点以上出土しているが、破損しているものが多く、完形と見られるものは18点しか存在しない。長さは最大32.8cmから最小18.1cmまで分布しており、25cm台のものが最も多い。太さは0.6cmを中心に分布し、丁寧に加工されたものはなく断面形は多角形を呈する。

杓子・匙類　95・96は皿部が凹んだ杓子である。皿部の平面形はほぼ円形で、部分的に削りの加工痕を確認できる。95は柄部の一部が折損しているが、96は完形で長さは34.3cmを測る。97は皿部がほぼ円形の平坦な形状を呈しており、柄部の断面形は隅丸方形である。98は皿部の先端を丸く削った方形を呈し、柄部も板状になっているものである。97・98は皿部と柄部の縦断面形が直線状になっていることから、篦としての使用法が考えられる。99は皿部が半円形を呈した「切匙」と呼ばれるもので、柄部の先端をやや尖らせている。板の厚さは薄く、柾目板を用いている。

擂粉木　101は長さ38.1cmの棒材で、頂部が摩滅している。柄部の先端は１ヶ所斜めに削られている。

建築部材　角材・板材のうち、組合せの加工が施された建築部材・建具類が数点出土している。73は角材の中央に長方形の孔が穿たれており、建築部材と思われる。74・75は厚さ0.6cmの板目板で、「割裂法」による製板が行われただけの板である。壁板・屋根板の可能性がある。72は

長さ43cm以上の角材で、釘孔と思われる孔が片面に４ヶ所、別の面に２ヶ所認められる。また、70は端部に削り込みによる凹みがあり、これより中央部には小孔が列を成して10数個穿たれている断面形が長方形の角材である。小孔は貫通していないものも見られ、細長いひご状の材が差し込まれたものと想定できる。69・71は建具類の部材であると思われる。

編物　115は竹の薄板を網代編で編んだ製品で、周縁部を弧状に形作っている。

木簡　木簡[1]には位牌・板塔婆・柿経などの信仰に伴うものと折敷の底板などに記された消息・札類などに想定されるものの２者がある。

位牌　葬送儀式における死者の依代、あるいは追善の祈念の対象として作製されたものを位牌と称する。上端部を圭頭状に加工し、下端部を串状にする。墓地に安置した野位牌と考えられる。124・126は同一人物の位牌と考えられる。「物故」(118・119)、「飯寂」(121・123)、「飯真」(124・128) は位牌の文頭に用いられる文言である。「久々」(120・123～126) は呪符木簡で通有に使用される「急々如律令」の「急々」と同じものと思われる。

117　「三界満霊有縁無縁」

118　「物故妙連禅尼」

119　「物故者八郎殿十月十五日」

120　「今次久々霊位」

121　「□寂玄□公霊位」

122　「物故□〔宗か〕見禅定門」
　　「梅月浄白」

123　「飯寂斤公久々霊位
　　慶公　　」

124　「飯真□□久々霊位
　　うそ　　」

125　「源八郎久々八月念三日
　　おなへ

126　「お次久々霊位
　　うそ　　」

127　□見禅定門□

128　「飯真仙天宗白禅定門霊位」
　　「□〔寂か〕六月」

板塔婆　板塔婆は死者の墓標あるいは供養塔として作製されたもので、通常頭部を五輪形に加工する。129・130は頭部が欠損したもので形状は不明である。

129　無大悲観世音

130　罪為お多美□也七月十四日」

柿経・笹塔婆　薄板（経木）に経文を記したものを柿経と呼ぶが、六字名号などを記した笹塔婆などと区別が難しいものも存在する。140は「かめ代四月二日」と人名・日付が記されていること

から笹塔婆と推定できる。134の「十一月」も日付の記載と思われ、笹塔婆と推定できよう。135・138・139は「南無阿弥陀仏」という六字名号を記載した笹塔婆の可能性がある。

131　「常長田与丘公於仏満

132　「浄終

133　「□□□□

134　十一月

135　阿弥

136　□□□□

137　為□

138　無阿弥陀仏

139　南無阿弥

140　かめ代四月二日

141　須弥山輦上

142　・□□□□

　　・□□□□

板材　木目に直交する方向に文字が記され、横長の板に記した習書・消息・札類などと想定されるものがある。143は長方形の板材に墨痕が見られ、刃物の微細な傷も存在する。札類の可能性を指摘できよう。145・146は部分的にしか判読できず、用途は不明である。

143　□

144　・あり

　　・□

145　「十八

　　三

　　文

146　□ん　お　て

　　□四□□□□也

　□

　　□も憑□竈ハ

　　□若衆□かとも

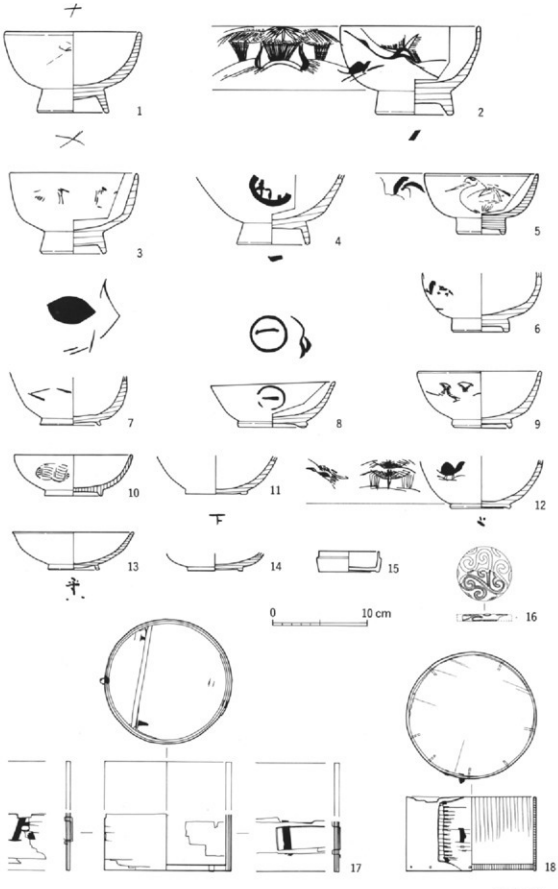
　　□

　　□けん□　□□□

　　せん□　ても

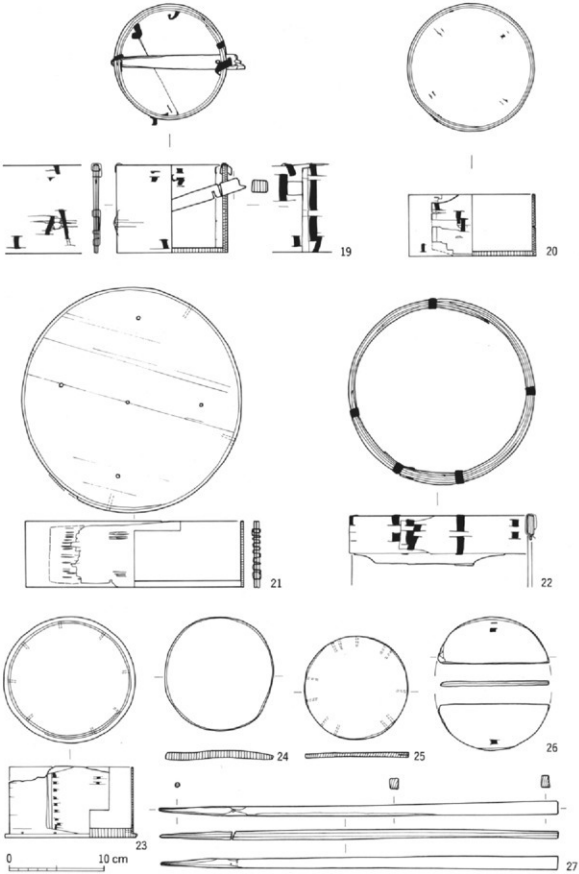
　　□□　□　□し

　　□□□　御座候



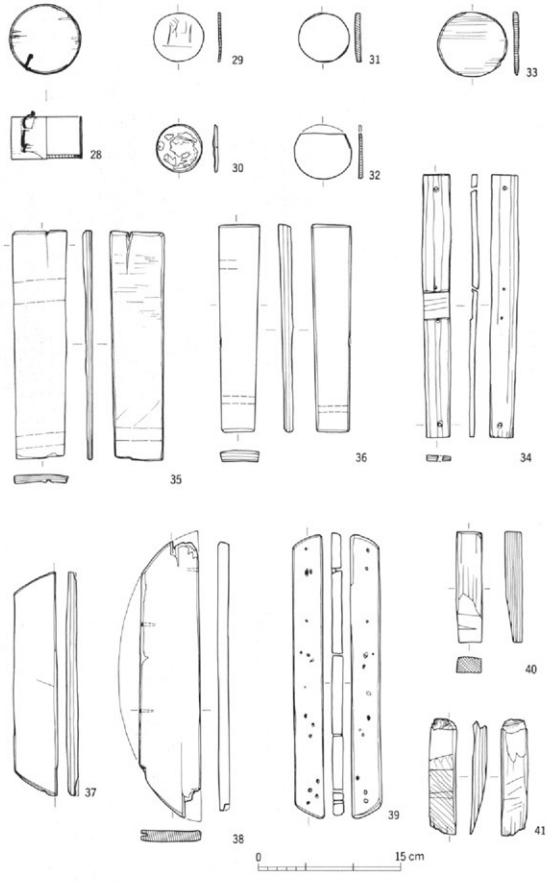
SD 177 (1)

第157図　木製品(1)



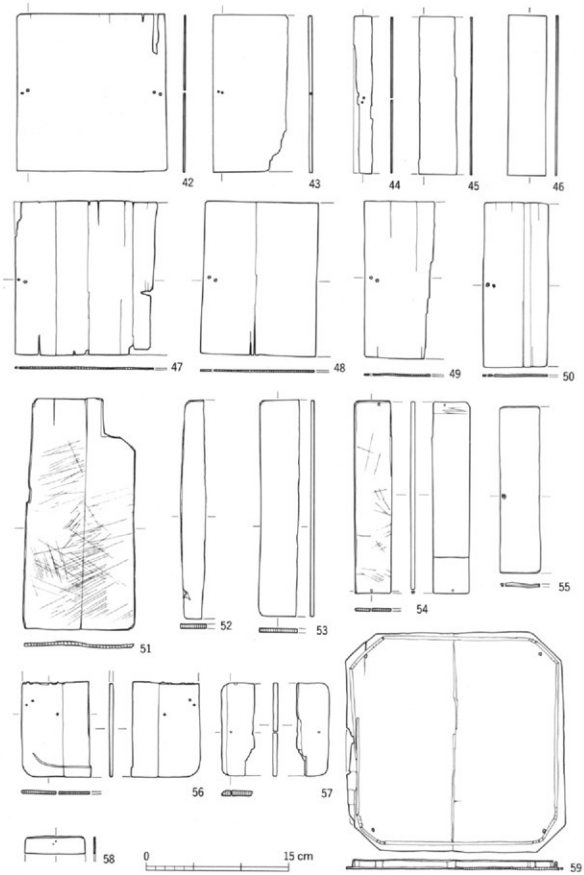
第 158 図　木製品(2)

SD 177 (2)



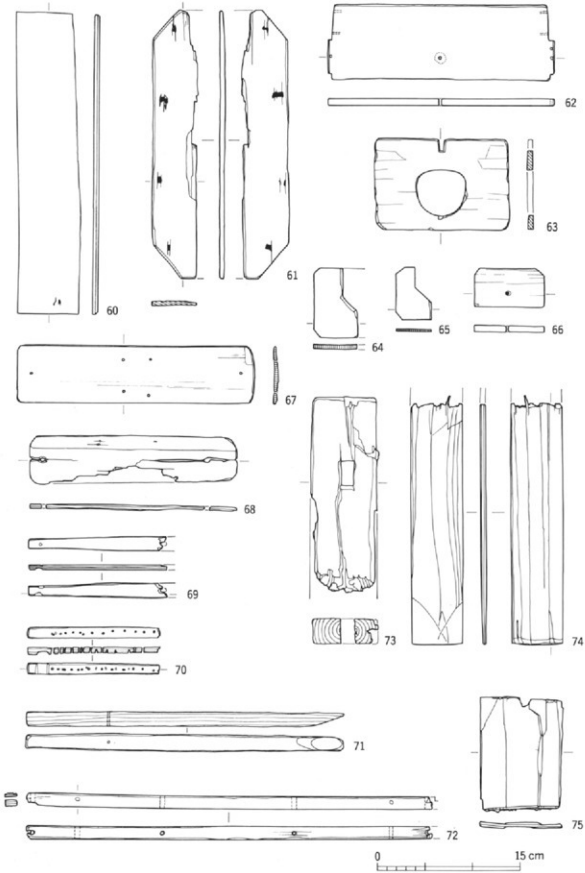
SD 177 (3)

第158図　木製品(3)



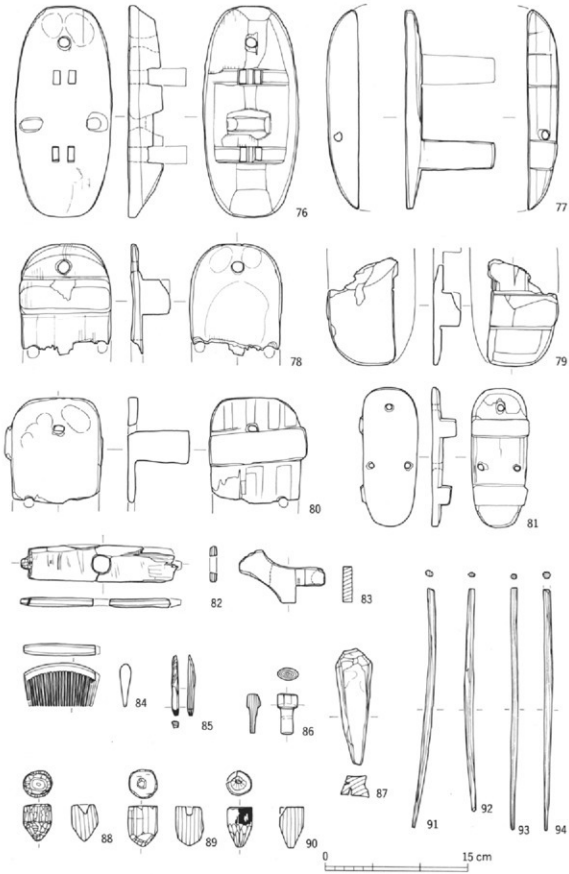
SD 177 (4)

第160図　木製品(4)

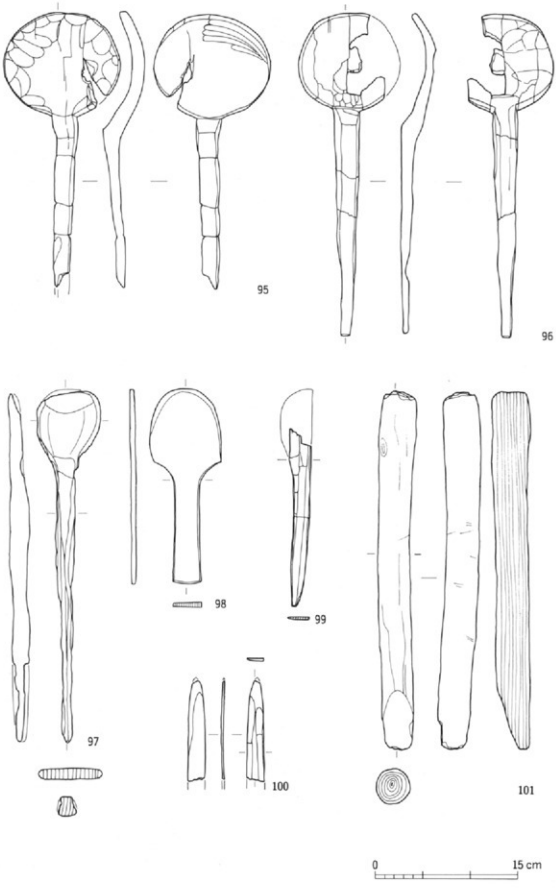


SD 177 (5)

第 161 図　木製品(5)

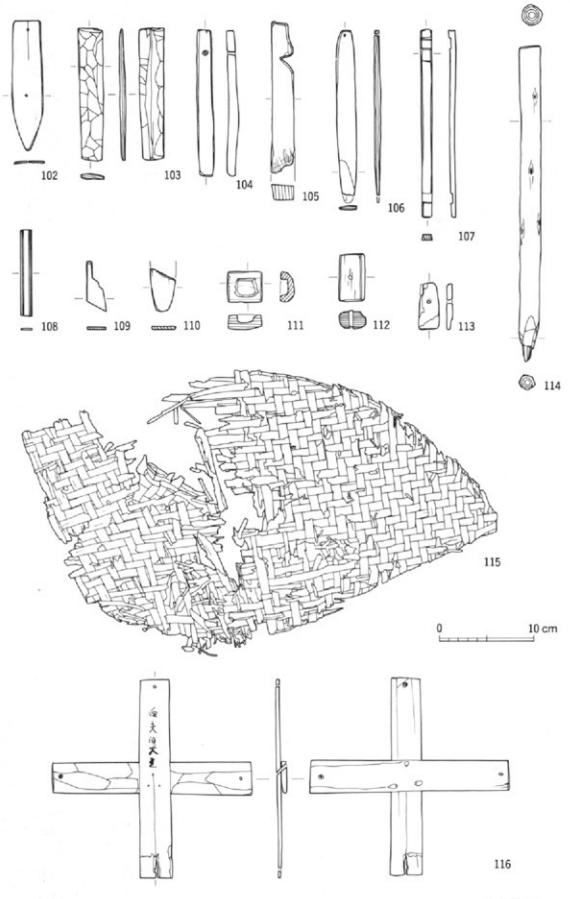


第162図　木製品(6)　　SD 177 (6)



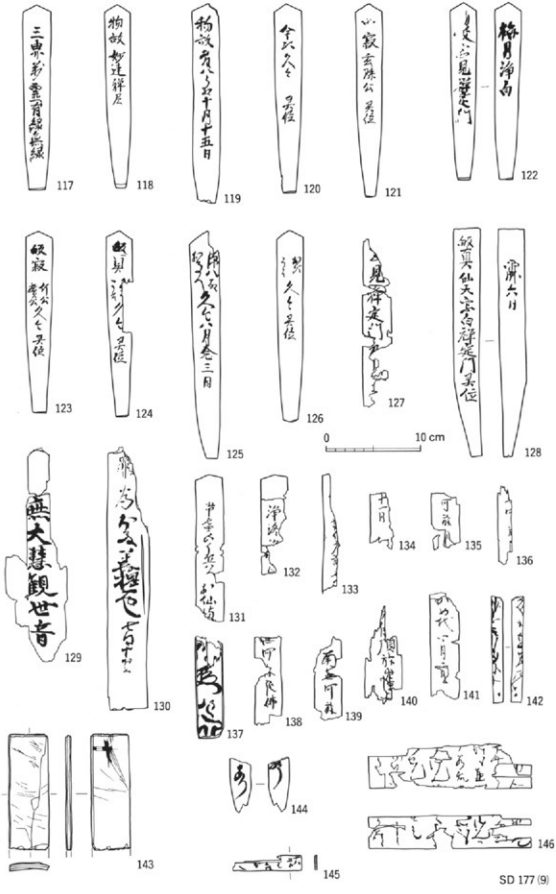
第163図　木製品(7)

SD 177 (7)



SD 177 (8)

第 164 図　木製品(8)


117
118
119
120
121
122
123
124
125
126
127
128
0
10 cm
129
130
131
132
133
134
135
136
137
138
139
140
141
142
143
144
145
146
SD 177 (9)

第165図　木製品(9)

ＳＤ200（第166～169図147～168）

ＳＤ200から出土した木製品は卒塔婆が多量に存在し、漆器なども若干見られる。

卒塔婆　卒塔婆はほとんどは重なりあった状態で出土した。墨痕が見られないものも数点存在するが、頭部を五輪状に加工しており、卒塔婆と判断できる。規格は大小様々であるが、147～155は長さは68cm前後、幅8.5cm前後と同規格で作製され、このうち147～153は書式・書体も共通している。この７枚は経文の内容・法名・日付などを分析すると、浄円禅門を供養した「七本塔婆」であることが分かる。

147・「　　是不□□

　　帰依仏法僧

　　□如□

148・「　　今地上□

　　五蘊本来空　　右志者

　　□是□□　　五月十五日白」

149・「　　文殊大□　　敬

　　五蘊本来空　　右志者為浄□□□

　　十方諸□　　五月廿□日白」

150・「　　一切衆生

　　地水火風空

　　皆菩提心

151・「　　南無六道　　慶長四年　敬

　　帰依仏法僧　　右志者為浄円禅門

　　能化無仏　　六月初七日白」

152・「　　其後当作仏　　敬

　　地水火風空　　右志者為浄円禅門

　　号名曰弥勒　　六月十四日白」

153・「　　我此□□　　□長四年

　　五蘊本来空　　右志者

　　一経其耳　　六月二十一日

154・「　　若人欲了知　三世一切仏

　　為道西□□□〔禅定門か〕七□□

　　三界唯心造　応観法界性　　慶長三□□

155・「　　一撃忘所知　造伏以道

　　五蘊本来空　　三世一切仏□観□

　　若人欲了知　□□於此□□

156・「南無大日観世音

157・「　　七□

□　水菊在月手□□□□〔美花香か〕衣

□□〔竜か〕□□

158・「　南無大□□□

162・・「南無阿弥陀仏　光明遍照十□〔方か〕

念仏衆生□

・「南無阿弥陀□〔仏か〕

木簡（差札）　卒塔婆の他に差札と思われるもの（163）が１点存在する。頭部を圭頭状に加工し、下端部は串状に尖らせている。墨書は板の上半部に限定されており、下端を地中に差し込んで使用したものと思われる。「かちや町」は文禄３年（1594）２月に実施された清洲町奉行３人による「家改」にみられる「鍛冶屋町」に比定されるものである。また、「十六間三尺六寸」は、町並みの奥行きを示すものと推定される。城下町の地割に際して「鍛冶屋町」の範囲を表示したものであろう。なお、文頭の「六」は異筆である。

163・　「かちや町

『六』十六間三尺六寸

是より北

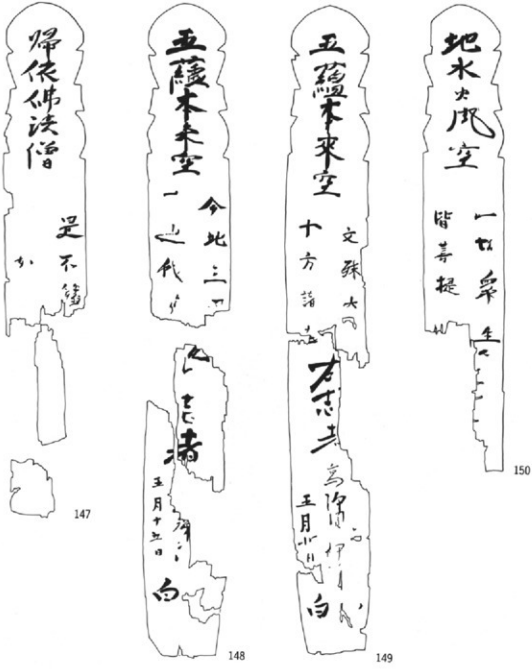
漆器　ＳＤ177の分類でいえば、164は椀Ｂ類、165は皿類に属する。164は外面に草花紋を施し、内面に赤色漆が塗布されている。165は内外面共に赤色漆が塗布されている皿で、口縁端部と高台端部に黒色漆が施され、作りは比較的精巧である。

曲物桶　166・167は曲物桶の底板である。166は半分欠損しているが正円形ではないもので、片面に２条づつ細かい傷が存在する。この傷の部分に側板が接続していたものと推定できる。167も半分欠損しているが、端部に桜皮が縫われた痕跡が残存しており、これによって側板を固定した曲物桶の底板であることが分かる。

下駄　168は一木作りの下駄であるが、遺存状況は不良である。

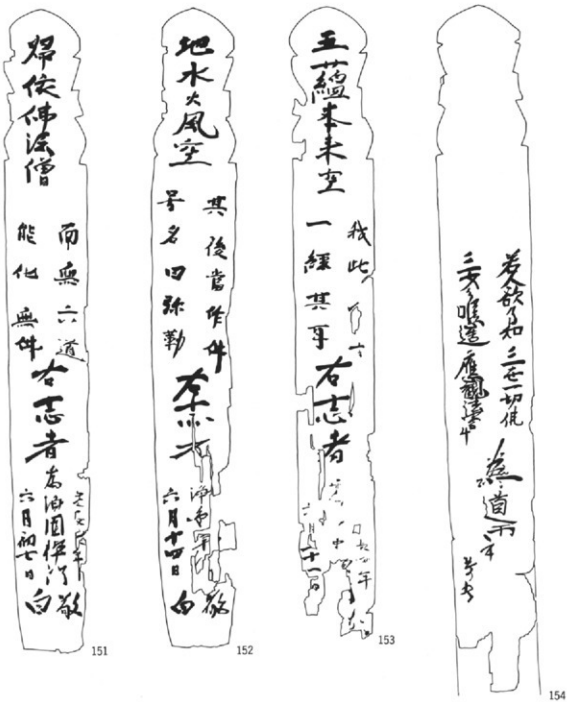
ＳＥ83

ＳＥ83から方形容器の底板が１点、釣瓶が１点、井戸桶と桶に使用された楔が多数出土している。169は方形に組み合わせた容器に取手が付いた釣瓶である。側板同志は釘で３ヶ所打ち付けられており、底板も鉄釘で留められている。取手は断面形が隅丸長方形の材を用い、中央部には圧痕が確認でき使用した痕跡が残存したものと思われる。170は方形容器の底板で、若干欠損しているが、木釘の孔が現存で１個（推定で２個）存在している。端部の厚さが滑らかに薄くなっている。井戸桶に使用された楔は形態によりいくつかに分類が可能である。Ａ類は長方形の板の先端を少し面取りしたもので、一見して楔とは思われないものである（171）。Ｂ類は細長い長方形の板材の先端を両側面から削って串状に加工したものである（172～174）。Ｃ類はＢ類と同様、先端を両側面から削って串状に加工したものであるが、板の長さが短い。楔の中でも最も多い種類のものである（175～178）。Ｄ類はＣ類と同様に長さが短く先端を串状にしたものであるが、上端部から削りを加えている（179・181）。Ｅ類は先端を片側面から削って鋭利にしたものである（180）。Ａ類を除き、削りを加えた反対側の面に桶のタガ



SD 200 (1)

第 166 図　木製品(18)



0 15 cm

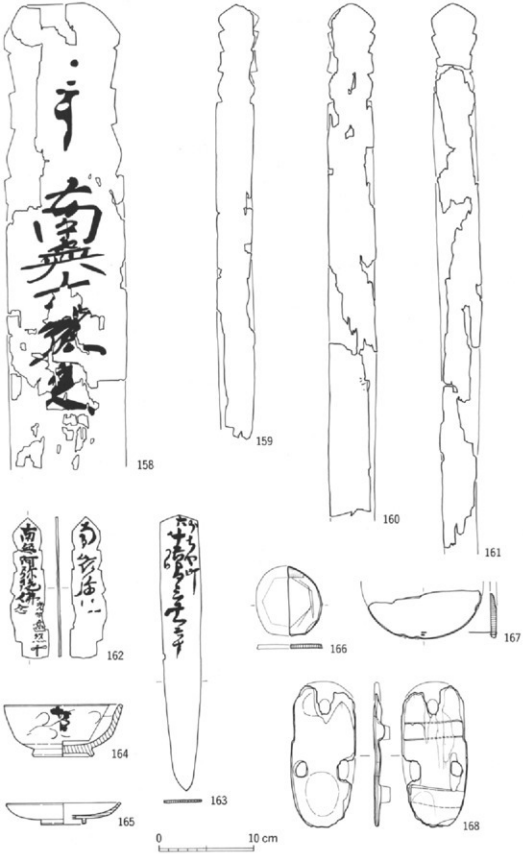
SD 200 (2)

第 167 図　木製品(11)

0 15 cm

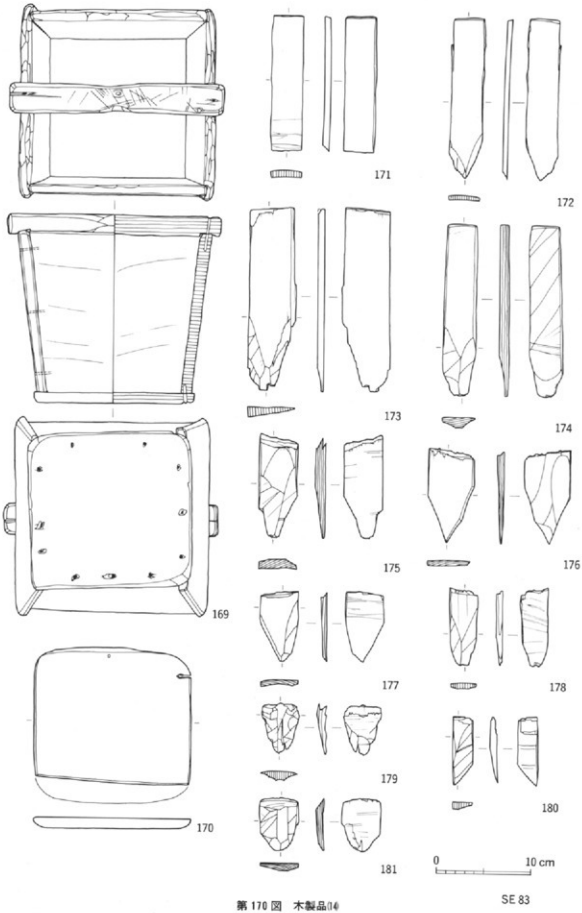
SD 200 (3)

第 168 図　木製品(12)



SD 200 (4)

第 169 図　木製品(11)



第170図　木製品⑭

の圧痕が残存している。なお、174の裏面には製板のための削りが存在する。182は井戸側として使用された結桶である。ＳＥ83から出土した井戸桶は２段存在したが、182はその最下段に所在したものである。側板は「割裂法」によって製板され、チョウナで整形している。上端部外面は縦方向に薄く削り、下端部は面取りされている。

ＳＥ35

井戸枠として設置された結桶（183）が１点出土している。側板は「割裂法」によって製板され部分的にチョウナで整形されている。下端部は面取りされている。

ＳＥ15

曲物桶の側板１点と底板１点が出土した。186は薄い柾目板を２枚重ねて曲げ合わせて３重巻に加工している。桜皮で側板の綴じ合わせを行っている非常に小型の曲物桶である。187は中型の曲物桶の底板で、表面を台カンナで丁寧に加工し、側面に側板と接続するための穴が７個存在している。

ＳＤ211

建築部材（185）が１点出土している方形の孔が穿たれており、表面は焦げて黒色に変色している。

ＳＤ189

188は曲物桶の側板である。一重巻の側板を２枚重ねて一個の曲物桶を作っている。側板の綴じ合わせは桜皮によって狭い間隔で縫われている。

ＳＤ198

結桶の側板などが出土している。189は結桶の側板で、外面にタガの圧痕・内面に底板の圧痕が残存している。190は結桶のタガを締めるための楔である。191は先端を鋭利に尖らせた板材で、用途は不明である。192は中央部から先端を尖らせた短い棒材で爪楊枝の可能性がある。194は細長い板が半分以上欠損したものと思われ、孔が現存で５個穿たれている。193は匙状の製品で柄部が欠損している。皿部は方形を呈している。

ＳＫ503

漆器皿が１点（195）出土した。口縁部が内湾する大型の皿で、内・外面ともに黒漆が塗布されている。内面には紋様が施されている。

ＳＥ58

結桶の側板（196）が１点出土している。上部に円形の孔が穿たれており、取っ手の付いたものと考えられる。

ＳＥ85

曲物桶の底板が１点（198）出土しているが、周縁部が薄くなっているものである。

ＳＥ82

木簡が１点出土している（199）。文字は判読できない。

ＳＤ215

ものさし状の細長い板材が１点出土した。200は表面に3.3cm（１寸）おきに墨線が記され、木釘がさしこまれた孔が４ヶある。

ＳＥ62

漆器の香合の蓋（201）と編物製品（202・ザルか）が出土している。199は薄い竹材を平織りに編んで周辺部を別の編み方で補強しているものである。

ＳＤ222

曲物桶（203・206）、人形（204）、独楽（205）、木簡（207）が出土している。202は小形の人形で、下部が斜めに切りとられている。206は一重巻きの曲物桶の側板で、表面に「白さたう　壱斤」と記されている。207は先端を鋭利に尖らせた木簡で、墨書は上方に限定される。一部に小脇町と読みとれる部分もあり、城下町構成を知る一資料となっている。

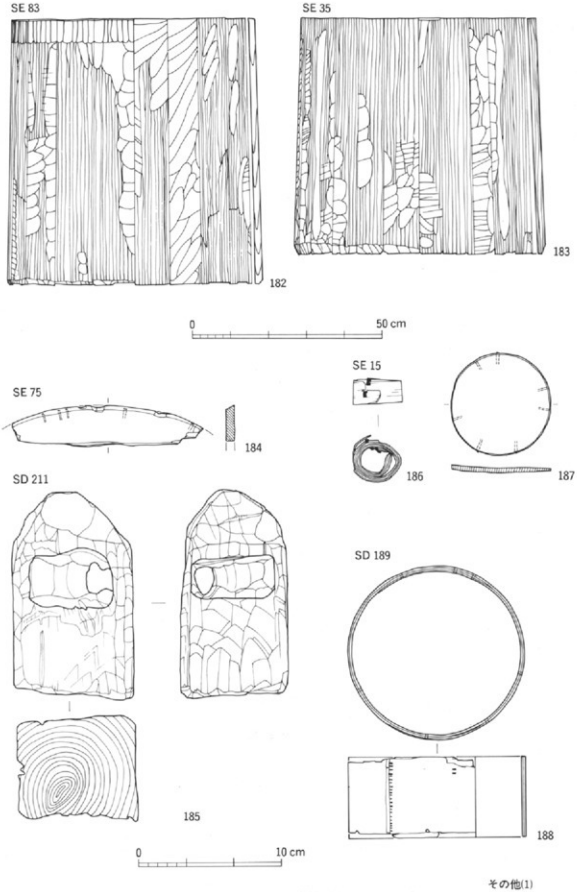
207・　□□小□□〔牧町カ〕

・　□□□□□小□□〔牧町力〕　　（鈴木正貴）

註１）木簡の釈読にあたっては、加藤優（文化庁）、下村信博（名古屋市博物館）の御教示を得た。

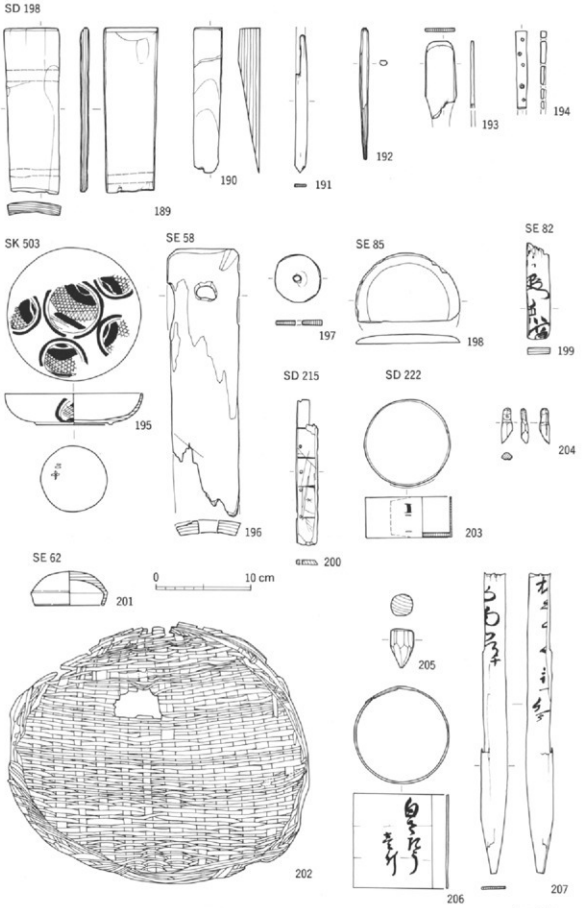
註２）出土木製品の年輪年代測定を一部で実施した。この結果は一部、本センターの『年報昭和63年度』に掲載したが、清洲城下町遺跡の資料とあわせ、以下に一覧として再載する。なお、分析は光谷拓実（奈良国立文化財研究所）による。

	ファイル名		器種	絶対年代	年輪数
1	清洲城下町遺跡Ⅱ	ＳＤ66	板材	A.D.1591	(128)
2	〃	ＳＫ226	折敷(断片)	1529	(205)
3	朝日西遺跡	ＳＤ177	曲物側板(断片)	1514	(131)
4	〃	ＳＤ177	曲物	1512	(201)
5	〃	ＳＤ177	曲物類	1503	(118)
6	〃	ＳＤ177	〃	1491	(107)
7	〃	ＳＤ222	曲物	1466	(215)
8	〃	ＳＥ83	板状木製品(折敷？)	1452	(208)
9	〃	ＳＥ93	曲物？	1443	(420)
10	〃	ＳＤ177	曲物底板	1396	(485)
11	清洲城下町遺跡Ⅱ	ＳＤ66	板材	1330	(123)
12	朝日西遺跡	ＳＤ222	曲物底板	1251	(190)
13	清洲城下町遺跡Ⅱ	ＳＤ66	不明木製品	1071	(190)
14	朝日西遺跡	ＳＥ90	曲物類	1001	(313)
15	〃	ＳＥ73	曲物底板	918	(236)



その他(1)

第 171 図　木製品(15)



第 172 図　木製品(6)　　その他(2)

第７節　石製品

朝日西遺跡から出土した石製品には、石鍋、温石、硯、砥石、叩き石、バンドコ、碁石、石臼、石塔類がある。ここでは、それぞれの器種ごとに記述を加える。

石鍋　（第172図１～11）石鍋の破片は11点出土し、４個体を数えることができる。１は推定口径22.8cm、器高9.5cm、底径17.6cmを測る。鍔付で体部を内湾させるタイプ（木戸雅寿氏の分類[1]ではⅢ－ａ類）であり、共伴する山茶椀から13世紀中頃のものと考えられる。外面には煤が付着している。２～６もこのタイプに属する。９は口縁部直下に鍔が巡るが、この鍔が丸みを帯びた台形状になるもの（木戸分類[1]ではⅢ－ｄ類、室町時代中頃に比定）である。外面には煤が付着し、推定口径は11.8cmである。10は石鍋の口縁部の小片であるが、穿孔されている。朝日西遺跡から出土した石鍋は、数量的には他の製品に比べ著しく少ないが、この理由としては①石鍋が壊れにくいこと、②高価な製品であったことなどが考えられよう。

温石　（第172図12）方形の板状の石製品である。欠損していて全形は不明である。

硯　（第173図13～25）硯は破片が十数点出土した。破片であるため全形が不明なものが多いが、長方硯が大半を占め、１点のみ長方硯にはならない形態不明のものがある。

13は墨堂がくぼんだ細長い長方硯で、覆手の面に微細な線刻がなされている。14、15はやや小型の長方硯、23、25は大型の長方硯である。17のようにやや厚手の製品もある。

砥石　（第173～175図26～48）砥石は完形、破片を含めて数十点出土した。通常、砥石の分類は石材の粒子の粗細によって行うのが一般的であるが、ここでは平面形態と断面形態によって分類を行うこととした。砥石は、平面形と横断面形が長方形を呈して薄手となるもの（26～28）、同じく平面形と横断面形が長方形を呈して厚手となるもの（29、31～39）、平面形がばち状になるもの（30）、非常に小型で直方体を呈したもの（40～43）、大型の石材で平面形や断面形が不定形になるもの（44～48）に分類できる。27、28、33、37は表面に微細な傷がある。46～48は断面形がＶ字状の溝が存在する。

叩き石　（第175図49）49は円礫の下面に敲打痕がある叩き石である。

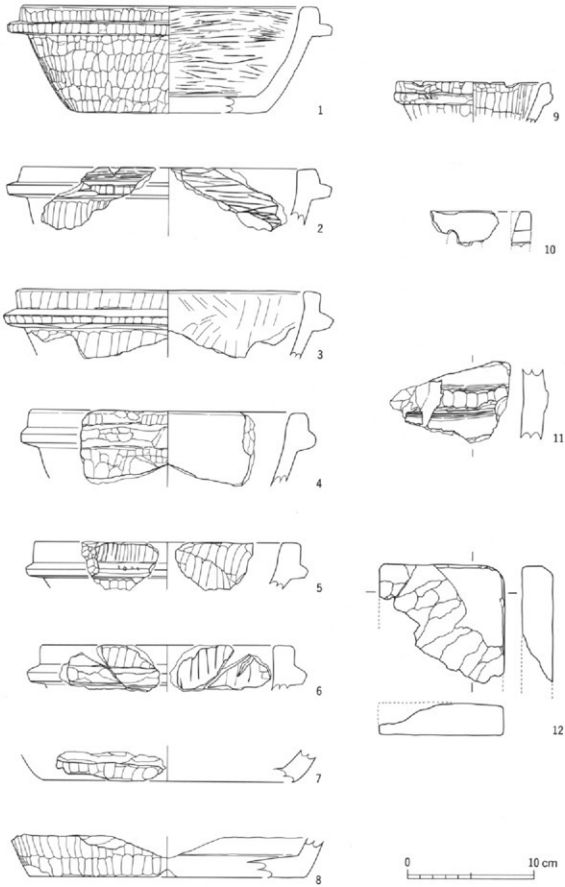
バンドコ　（第175図50）50は緑色凝灰岩（紡谷石）製のバンドコで、上半部が欠損している。正面に長方形の窓が４列あったものと考えられる。

碁石　（第175図51～56）碁石は数点出土したが、いずれも黒色の碁石である。

石臼　（第176図58～59）花崗岩製の石臼で、中央部に孔が穿たれている。

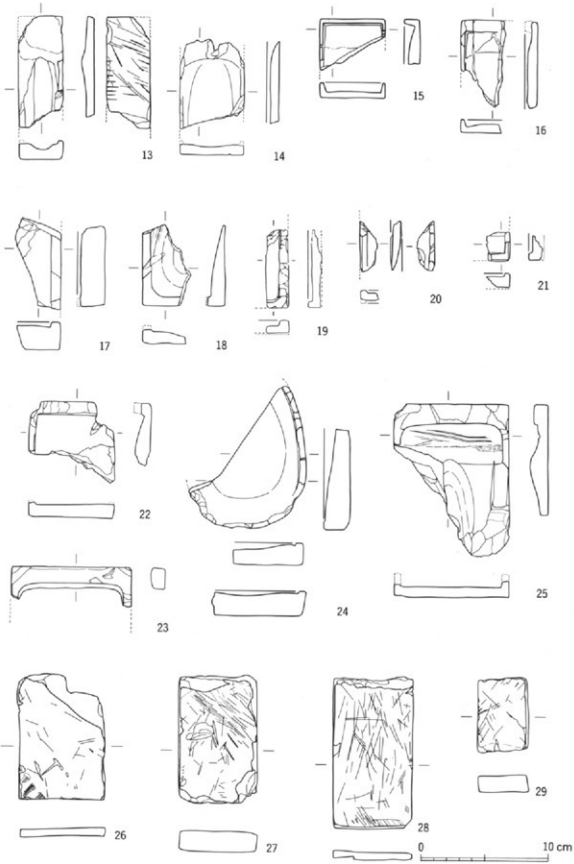
石塔類　（第177図60～62）60は宝篋印塔、61、62は五輪塔の部材である。

その他　（第175・177図57・63～64）57は上部中央に穿孔された製品である。63は平面形が三角形の薄手の石材で１条溝が存在する。64は欠損して全形は不明であるが、中央部に大きめの孔が穿たれ、表面に線刻で文様が施されている。　（鈴木正貴・小澤一弘）



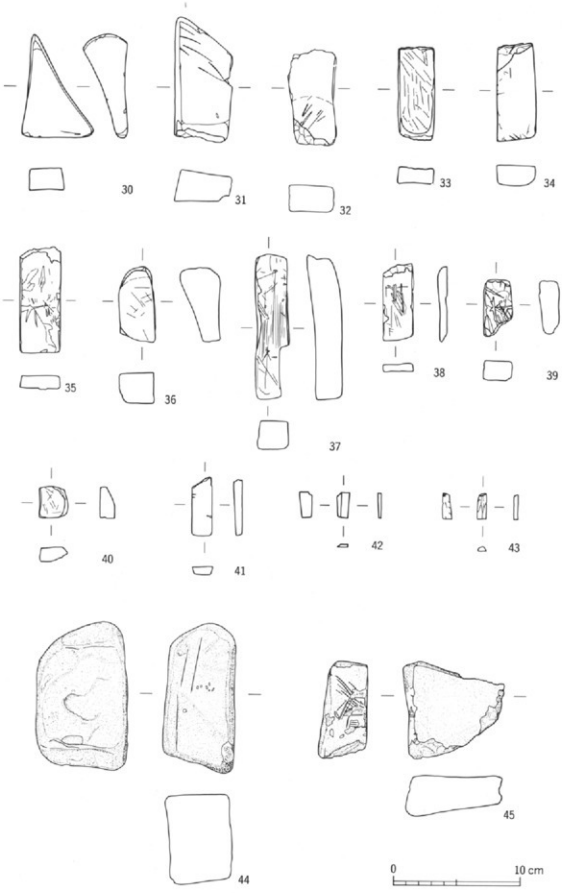
第173図　石製品(1)

石鍋・温石

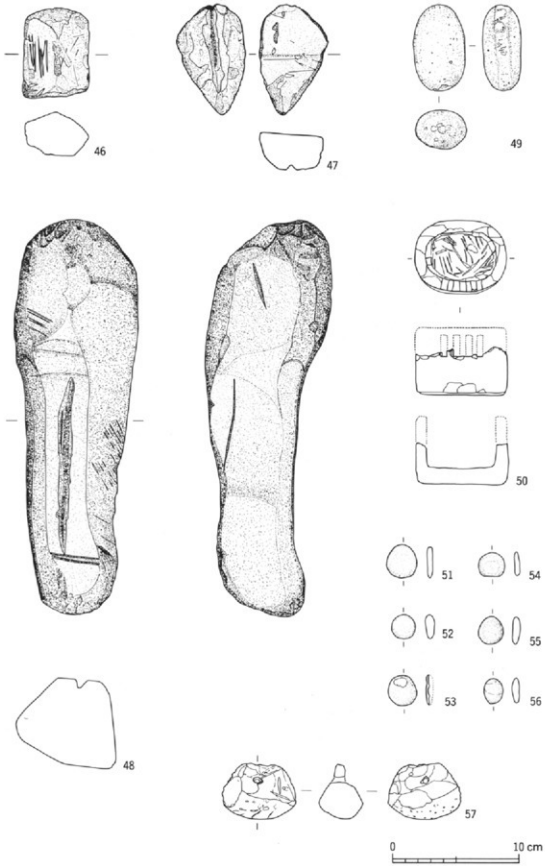


第174図　石製品(2)

硯・砥石(1)

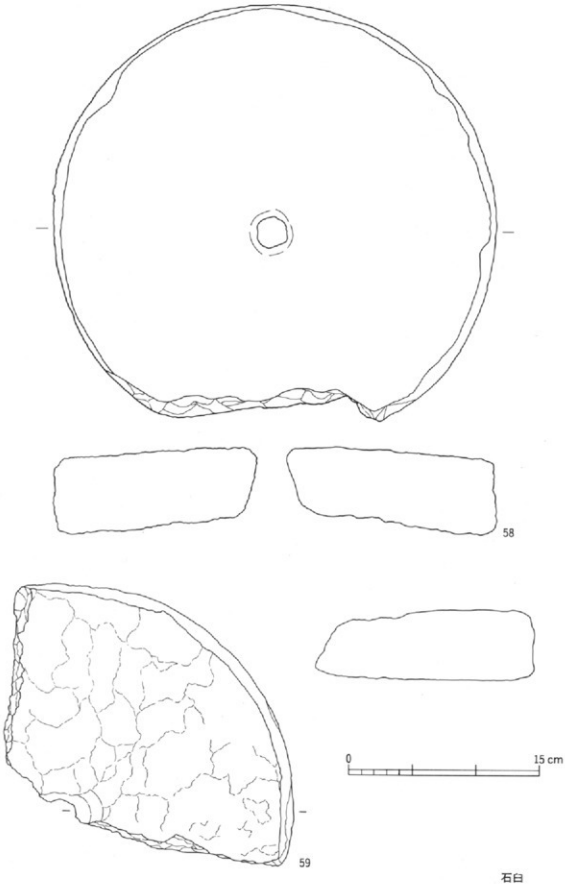


第175図　石製品(3)　　砥石(2)

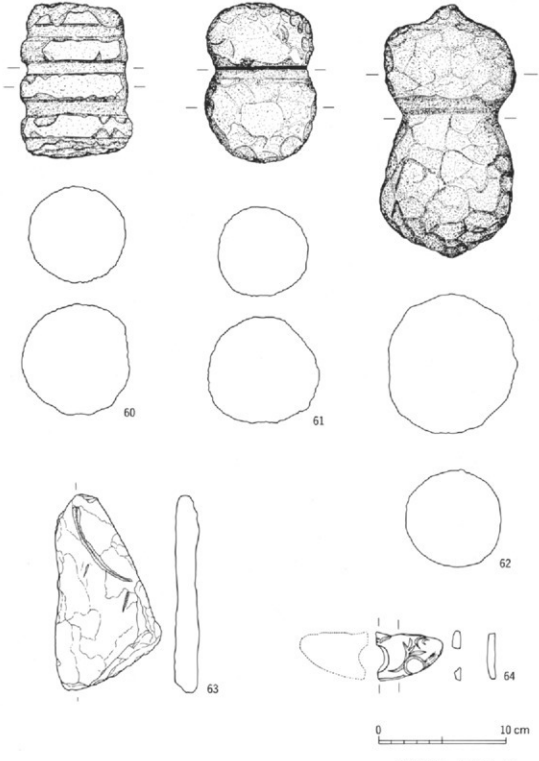


第176図　石製品(4)

礫石(3)・叩き石・バンドコ・碁石・他



第177図　石製品(5)



宝篋印塔・五輪塔・他

第178図　石製品(6)

第８節　金属製品

朝日西遺跡から出土した金属製品は、鉄製品と銅製品が大半を占めており、鉄鏃・刀子類・煙管・銅鏡・椀・火打ち鎌・包丁・錐・火箸・釘・銅銭などが存在する。ここでは主要なものについて、種別に記載する。

鉄鏃　（第179図１・２）両刃の鉄鏃が２点出土した。刃幅の広さから広根鏃（１）・細根鏃（２）に区分できる。共に関は鈍角に開き、刃の平面形は菱形状を呈す。２の下端の関部には突起が見られる。

刀子類　（第179図３～７）刀子類には鉄製の刀子（３・４）、銅製の柄部（５・６）、銅製の切羽（７）がある。鉄製の刀子は遺存状況が不良で、明確な形状は不明。

煙管　（第179図８～11）銅製の煙管は雁首部（８）と吸口部（９～11）がある。８の雁首は首部に肩が付かないもので、合わせ目が左に存在する。吸口はひとまわり大きい径の肩が付くⅠ類（10・11）と付かないⅡ類（９）とに分けられる。なお、10には羅宇が一部残存している。

銅鏡　（第179図12）12は藤棚図柄鏡で、鏡背面に「藤原光永」の文字が施されている。柄の端部は欠損しているが、面径は8.3cmを測る。紋様を比較すると八丈島から出土した柄鏡と同范の可能性があり[2]、江戸時代に属するものであろう。

銅椀　（第179図13）13は高台を持つ椀で、底部に突起を持つ。

火打ち鎌　（第180図15）15は火打ち鎌で、紐掛け部に孔を持つ。

包丁　（第180図16）16は刃部の平面形が長方形の鉄製包丁である。

錐　（第180図17）17は刃部の断面形が方形の鉄製錐である。柄部は木製で作られ、断面形は円形となる。

火箸　（第180図18～20）銅の丸棒で、長さが短く欠損していると考えられる。用途は不明だが、火箸の可能性がある。19の先端には括れが見られる。

釘　（第180図24～29）すべて、いわゆる「和釘」という鍛造の角釘である。断面は四角で、頭部を偏平に叩いた後に巻き込んでいる。長さによって２類に区分ができる。

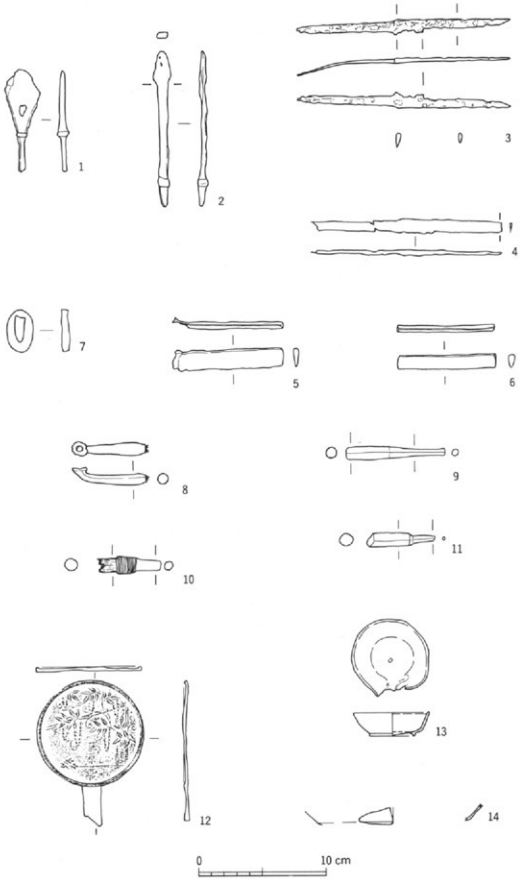
その他　（第179～180図14、21～23）14は真鍮製の容器の体部で、形状は不明。21～23は鉄製品であるが、用途は詳らかにしない。　（鈴木正貴・小澤一弘）

註

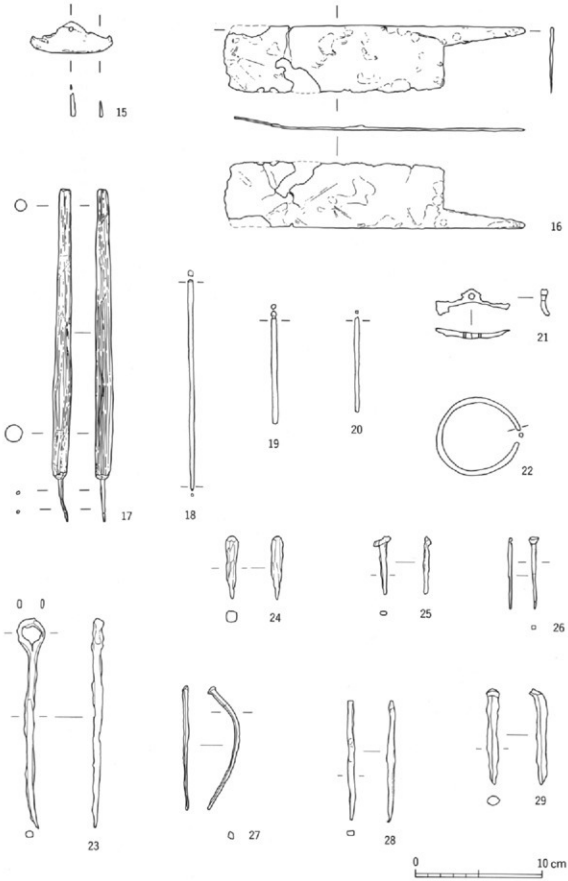
（１）木戸雅寿「草戸千軒町遺跡出土の石鍋」『草戸千軒No.112』1982

（２）永峯光一他「伊豆諸島出土伝世和鏡基礎集成」『国学院大学考古学資料館紀要第８輯』1992

※本章のうちの第３・４・５・７・８節については小澤一弘が作成した図版を基に、城ヶ谷和広・鈴木正貴が原稿執筆及び補筆をしたものである。



第 179 図　金属製品(1)



第180図　金属製品(2)

第Ⅳ章　分析・考察

第１節　人・獣骨類の出土した大溝ＳＤ177

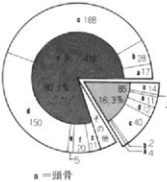
１．遺構の位置と出土状態

59Ｃ・Ｄ区において、多数の人骨と犬骨が、他の遺物群とともに大溝ＳＤ177より検出された（第186図）。これらの資料は、近世初頭の興味ある精神生活の一端を垣間見せており、人骨等の鑑定結果とともにここに紹介する。

人・獣骨類の出土した大溝ＳＤ177は、屋敷地を画する溝の一つで、清須城下町の北東端に展開した寺社地における溝群のなかでもっとも西側に位置している（第39図）。幅７m、深さ0.8m、長さ17m程の規模であるが、南北方向に外堀と併走し、なお調査区外へと南走している。

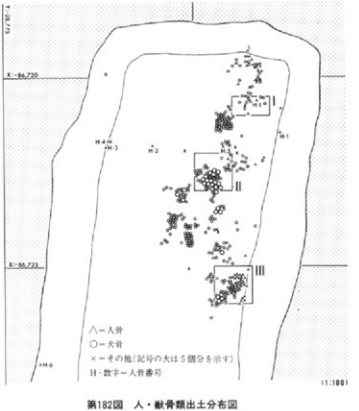
遺物群は、この溝の北東側において大小の群塊状態で検出され、いづれも溝の下層に安定的に堆積した黒褐色土～暗緑灰色粘質土層中より出土している。出土骨については、人骨も犬骨も、まったく解剖学的配列を示さず、かつ混然とした状態で出土している。しかも、第181図に見る如く特定の骨種に限定されている。このことから、出土状況は、あるまとまりをもって、溝の東肩より次々に投棄されたことを示していると考えられる。

こうした遺物群の投棄された時期は、溝が機能していた時期とは考え難く、溝の廃絶時、即ち「清須越」の始まる慶長15年（1610）前後のことと思われる。　（遠藤才文・小澤一弘）



第181図　人・獣骨類種別構成

（下顎骨は頭骨の一部だが、本論では別に扱った。）



第182図　人・獣骨類出土分布図

2．骨以外の遺物

ＳＤ177の下層粘質土中からの出土遺物は、その種類、量ともにきわめて豊富で、なかでも土師器が多く、やきものの中では全体の80％を占る。陶磁器類では瀬戸・美濃産の椀、皿、向付、茶入れ、擂鉢や中国陶磁が、土器類では土師質の皿、鍋、釜、土犬、土鈴などが、木製品類では漆器の椀、箸、折敷、杓子、柄杓、曲物桶、下駄、数珠玉、編笠、呪符木簡、柿経、堆黒屈輪文香合蓋などが出土している。

これらの遺物は16世紀後半から17世紀初頭にかけての良好な一括資料である。

（遠藤才文・小澤一弘）

3．出土した人骨および犬骨

(1) 人骨について

以下に述べる人骨の通し番号は、この報告書の記載上便宜的につけたものであり、採取された順に付されたオリジナル番号は括弧内に記してある。後日、採取リストと照合する必要を生じた際に、混乱を招かないようにとの配慮からである。

第１号人骨（No.17、No.22）

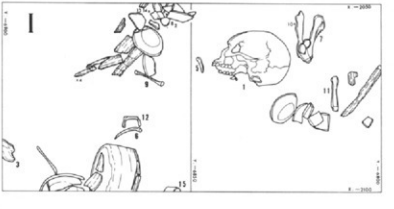
熟年女性。出土時には解剖学的配列のあとを留めておらず、東西３ｍ、南北６ｍの範囲内で散乱状態で出土したため、同一個体のものかどうか同定できなかった。しかしクリーニングした結果、これらはすべて同一個体であることが判明し、No.22の下顎骨もNo.17の頭骨の１部であることがわかった。その結果ほぼ全身骨格が揃ったことになり、骨質の保存状態も良好である。

歯式は右 $\frac{M_3\ M_2\ M_1\ P_2\ \times\ \times\ \times}{M_3\ M_2\ M_1\ \times\ \times\ \times\ \times}$ | $\frac{\times\ I_2\ P_1\ \times\ M_1\ M_2\ M_3}{\times\ \times\ \times\ \times\ M_1\ M_2\ M_3}$ 左で、×印は死後脱落し消失した歯を意味する。脱落したあとの歯槽には、泥土がぎっしり詰まっており、投棄時にすでに脱落していた可能性がある。残存している歯は、すべて軽度の磨耗が認められるが、象牙質にまで達していない。

ヒト　頭骨　1

イヌ　頭骨　2
　　下顎骨　3
　　肋骨　4～6
　　寛骨　7・8
　　上腕骨　9
　　尺骨　10
　　脛骨　11

カメ　12～15



第183図　人・獣骨類出土状態図(1)

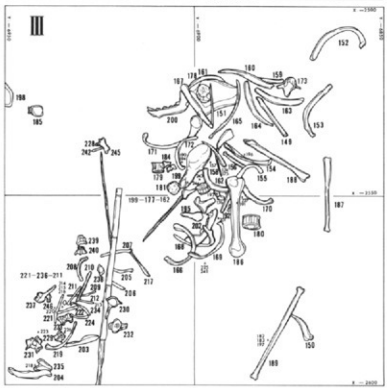
ヒト　肋　骨　17～22

イヌ　頬　骨　23～25
　　下顎骨　26～31
　　肋　骨　32～85
　　椎　骨　86～138
　　寛　骨　139～144
　　仙　骨　145
　　脛　骨　146
　　腓　骨　147
　　歯　148

カメ　16

ヒト　頬　骨　149・150
　　肩甲骨　151
　　肋　骨　152～172
　　椎　骨　173～183
　　胸　骨　184
　　上腕骨　185・186
　　橈　骨　187
　　尺　骨　188
　　腓　骨　189
　　指　骨　190～192
　　足根骨　193～195
　　趾　骨　196
　　歯　197

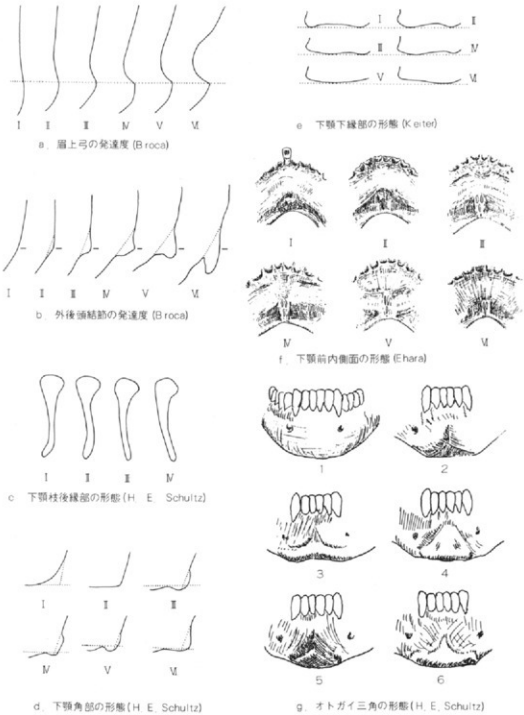
イヌ　頭　骨　198・199
　　下顎骨　200～204
　　肋　骨　205～228
　　椎　骨　229～242
　　寛　骨　243・244
　　仙　骨　245
　　歯　246



第184図　人・獣骨類出土状態図2)

頭骨上面観はSergiの分類によると「菱形」に属し、頭示数は76.57で、長頭に近い中頭。Pterionの部分には、左右ともにかなりよく発達したOs epiptericumが存在する。

前頭部は丸味があり、前頭結節の発達が強度ではないが認められる。眉上弓の発達は弱く、BrocaⅡ型（第185図ａ）。



第185図　頭骨各形質の分類規準

顔面部全体は頬骨弓の側方への張り出しもつよくはなく、華奢で小柄な印象を受けるが、眼窩下部のくぼみ (Fossa suborbitalis) はめだち、鼻背部はかなり隆起がつよく、全体として彫りの深い顔貌の持主だったらしい。古墳時代や中世に多く見られる扁平な顔つきのなかでは、かなりめだったものと思われる（第187図、１ａ）。

Kollmannの顔示数81.82、上顔示数49.27にもみられるように、低顔である。しかし低顔ではあるが顔幅が小さいために、眼窩高が大きい印象を受け、それは眼窩示数90.37にも反映しており、高眼窩hypsikonchに属する。眼窩軸は外側に向かって中程度に下がっているが、これも顔幅の発達がよわいことと関係があると思われる（第187図、１ｂ）。

鼻部は鼻示数49.19で中鼻mesorrhinに属する。鼻背部は側面観では凹から凸へとＳ状カーブを示し、RhinionはNasospinaleよりもかなりつよく前突しており、この時代の女性では稀有なほど、鼻すじが通っていて、隆起もつよかったと考えられる（第187図、１ａ）。

乳様突起は中程度の発達で、外耳孔は卵円形である。

後頭部では、とくに後頭平面Planum occipitaleの膨隆がめだつが、外後頭結節そのものは、さほどつよくはなく、BrocaⅡ型を示す（第185図ｂ）。

下顎骨は全体として小さい印象を受け、とくにThomsonの下顎示数は64.92でdolichostenomandibular。下顎枝後縁部はＳ状カーブを示し、H.E.Schultz型（第185図ｃ）。下顎角部では下顎前切痕および下顎上切痕がよく発達し、SchultzⅢ型（第185図ｄ）。下顎骨下縁部ではTorus marginalisがよく発達しており、KeiterⅢ型（第185図ｅ）。Eminentia Lateralisの発達もいちじるしい。下顎前部の側面観では切歯歯槽部の前突がつよい。オトガイ三角Mentum trigonumはSchultzⅢ型（第185図ｇ）。下顎前内側面では、切歯歯槽部が前上方に向くため、Torus transversus superiorが存在するかのようにみえる。切歯が脱落しているため、わかりにくいが歯槽突顎性がある程度発達していたと思われる、EharaⅠ型（第185図ｆ）。

大腿骨最大長（374mm）に基き、Pearson推定式で身長を計算すると145.59cmで、現代近畿人女性の平均約146cmと比較して、あまり違いが認められない。

第２表　第１号人骨（頭骨）計測値

1	g-op	175.0	40	ba-pr	96.5	61 上顎歯槽幅	60.9
2	n-ba	95.5	43	fmt-fmt	101.8	62 ol-sta	40.5
8	eu-eu	134.0	45	zy-zy	130.5	63 上口蓋幅	27.1
頭示数		76.57	46	zm-zm	98.1	65 kdl-kdl	110.9
9	ft-ft	86.9	47	n-gn	106.0	66 go-go	89.7
11	au-au	120.6	顔示数47／45		81.22	68 下顎長	72.0
12	ast-ast	106.4	48	n-pr	64.3	下顎示数68／65	59.96
17	ba-b	128.0	上顎示数48／45		49.27	69 id-gn	26.4
23	頭周囲	495.0	50	mf-mf	23.9	70 go-kond	59.3
25	n-o 弧	352.0	51	mf-ek	37.4	71 下顎枝幅	35.8
26	n-b 弧	125.0	52	眼窩高	33.8	72 下顎枝角	115.0°
27	b-l 弧	125.0	眼窩示数52／51		90.37		
28	l-b 弧	102.0	54	鼻幅	24.4		
29	n-b 弧	109.0	55	n-ns	49.6		
30	b-l 弧	110.9	60	pr-alv	52.0		
31	l-o 弧	86.3					

第２号人骨（No.１）

熟年女性。顔面頭蓋部は破損消失し、頭蓋底部をともなう脳頭蓋部（Calvaria）のみ残存。

骨質保存度はふつう。矢状縫合の閉鎖はかなり進行しており、熟年と推定。

上面観では頭蓋の輪郭はかなり歪んでいるが、これは生前からのものと思われる（第187図、２C）。頭示数74.58で長頭である。

前頭部は丸味を帯びて膨隆しており（第187図、２a）、前頭結節がある程度認められる。頭項結節はきわめて顕著である。眉上弓の発達はよわく、BrocaⅡ型（第185図a）。

乳様突起は小さく、外耳孔は卵円形である。

後頭部とくに後頭平面の膨隆がつよく、丸味があり、外後頭結節はBrocaⅢ型（第185図、b）に属する。

第３表　第２号人骨（頭骨）計測値

1 g-op	177.0	11 au-au	110.0	26 n-b 弧	121.0
2 n-ba	94.4	12 ast-ast	109.1	27 b-l 弧	133.5
8 eu-eu	132.0	17 ba-b	125.5	28 l-o 弧	105.5
頭示数	74.58	23 頭周囲	491.0	29 n-b 弧	105.1
9 ft-ft	94.9	25 n-o 弧	360.0	30 b-l 弧	129.5
				31 l-o 弧	89.2

第３号人骨（No.９）

脳頭蓋部（頭蓋底は欠如）と左顔面の１部からなるが、破損と変形がいちじるしく、骨質も脆くなっている（第187図、３）。縫合閉鎖はかなり進行しており、熟年もしくは老年女性と推定される。すぐ傍から下顎骨（第４号人骨）が出土しているが別個体。両者とも骨化したものが投棄されたものと考えると辻褄が合う。

前頭部は膨隆し、丸味がつよく、前頭結節が認められる。眉上部の発達ははとんどみられない。頭項結節の発達はあまりつよくない。乳様突起は小さく、外耳孔は卵円形を呈する。

顔面部では左眼窩の部分が残存しており、それによると眼窩軸は外側に下がっていることがわかる。左鼻部の１部が残っており、第１号人骨と同じように、鼻根部の切れ込みはつよくなく扁平に近いが、鼻背部はかなり隆起していたと思われる。

第４号人骨（No.２）

下顎骨。第３号人骨（頭骨）のすぐ傍から出土したが、いちじるしく推定年令を異にしており、別個体と見做すべきであろう。

この下顎骨では、左右の下顎枝は欠如している。下顎体の形状から、多分成人女性のものと思われる（第187図、４a、b）。

左第３大臼歯部が残存しているが、第３大臼歯は歯槽内に埋没しており、第２大臼歯にさえぎられて萌出できなかった可能性がある（第187図、４c）。附近から上顎左右中切歯および右上顎犬歯が遊離して出土しているが、摩耗があまりなく、第２号人骨と同一個体のものの可能性もある。

下顎下縁部ではTorus marginalisがよく発達しており、側面観ではKeiterⅢ型に属する（第185図e）。オトガイ三角Mentum trigonumの形態はSchultzⅥ型（第185図g）。下顎体前内面部ではPars incislva

がよく発達しており、EharaⅥ型（第185図ｆ）。

第５号人骨（No.10）

頭蓋底部の大後頭孔の左側が破損欠如しているが、顔面部はすべて残っている。乳歯列は完成しているが、永久歯は未萌出で、５～６才の幼児。性別不明（第187図、５ａ、ｂ、ｃ）。

いちじるしく長頭で、頭示数は約72.6。頭項結節はよく発達しており、後頭部は紡錘状に後方に突出。俗にいう、いちじるしい「才槌頭」である。

第６号人骨（No.100）

ＳＤ117の西側境界附近で、他の人骨や犬骨とはかなり離れて、寛骨の１部と関節した状態で、左大腿骨１本だけが出土した（第187図、６）。

その骨体部後面には、きわめて鋭利な刃物で、近位部から縁位部にかけて外側上方から内側下方へと、斜めに約５㎝の等間隔で、しかも平行に深い切り込みがつけられており、最遠位部の４ケ所目の位置で大腿骨は完全に、しかも鋭利に切断されている。

この部分は人体中でも筋肉の被覆のもっとも肥厚した部分であり、また切り込み箇所がはつり取られていることから、死体もしくは死後骨化したものを損傷したと考えられる。その意味するところは不明である。

(2)　犬骨について

犬骨は人骨と重複するかたちで、粒度の細かいシルト状土壌中から出土。

頭骨・寛骨のほかに、多数の助骨や椎骨が群塊状態で発見されたが、四肢の長管骨で見るかぎり、若令個体はきわめて少ない。肩甲骨は皆無である。しかも解剖学的配列を示さないので、人骨の場合と同じように、すでに骨化したものがまとめて投棄されたらしい。

クリーニング後、確認したところでは、頭骨と下顎骨は15体分あるが、そのうち12対を対応させることができた。寛骨は13個体分が認められている。総合して少なくとも18個体分と考えられるが、頭骨と寛骨の対応は不可能で、それら以外の個体が含まれている可能性も排除できない。

性別はオス３個体、メス６個体、オスらしきもの２個体、不明２個体。

今回出土した犬骨には、かなり大きな個体変異が認められたことは、特筆に値しよう。

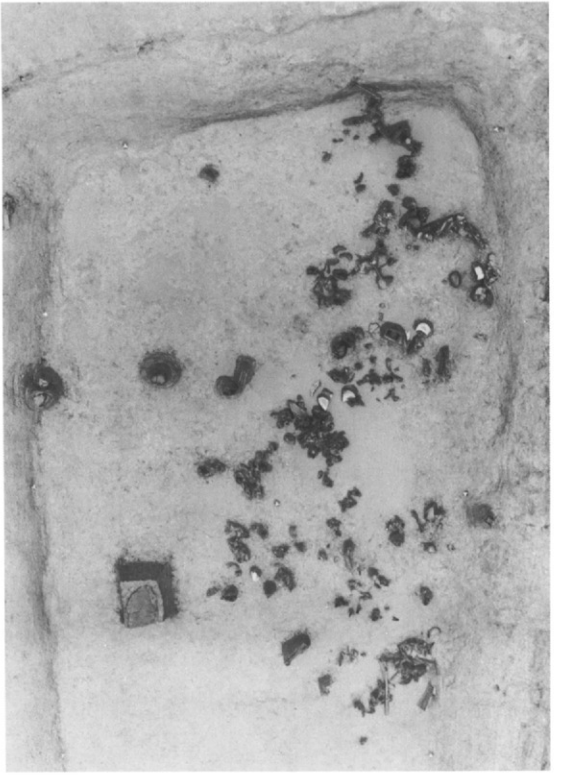
なおこれらの個々の計測データは、「朝日西遺跡出土の犬骨について」の題名のもとに、『人類学雑誌94巻３号』に掲載した。　（江原昭善・松本真・木下実）

４．結　語

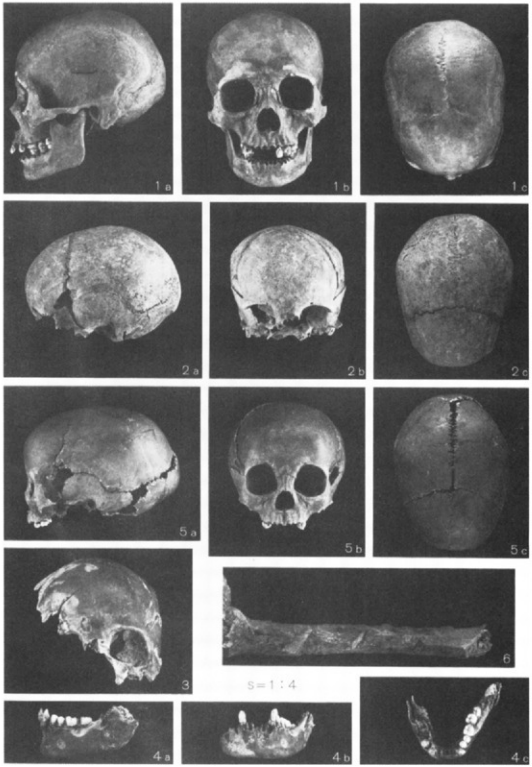
すでに述べてきた人骨や犬骨が、「清須越」に際して、まとめて投棄されたものらしいことは明らかである。

多数まとまって出土した犬骨にかなり大きな個体的変異が認められるのは、すでにこの時期に、在来犬に混じって外来犬が持ち込まれた記録もあるので、興味がある。

しかし、これらの犬骨が大量にまとめて投棄された理由は何か、人骨と混在している理由や、損傷された大腿骨が何を意味するかなど、今後多方面からのアプローチが必要になることだろう。



第186図　遺物出土状態



第187図　人骨

第２節　朝日西遺跡関連出土木製品材質同定

朝日西遺跡に関連して、出土木製品の樹種同定分析をパリノ・サーヴェイ株式会社に依頼し、実施した。ここでは上記の依頼報告書に基づいて記述したが、一部組替、削除・変更を行い、考察－２を加筆した。その責はすべて筆者にある。

１．試料

清須城とその城下町は、五条川中流域に位置する。発掘調査は、当初五条川以西を清洲城下町遺跡、五条川以東を朝日西遺跡として行われたが、ともに中世末から近世初頭の遺構・遺物が認められることなどから、これらが全体として清須城下町を形成していたことが明らかになった（梅本1989）。

試料は、清洲城下町遺跡と朝日西遺跡から出土した漆器椀、漆器皿、井戸枠などの木製品108点（No.１～No.109、No.67は欠番）で、時代は12世紀～14世紀（No.66）、15世紀末～16世紀初（No.１～No.46）、15世紀末～16世紀中（No.47～No.64、No.68）、16世紀末～17世紀初（No.65、No.69～No.109）に分かれる。

２．方法

同定対象とした木製品にはPEG（ポリエチレン・グリコール）の含浸処理を施したものもあった。このような試料はぬるま湯に浸しPEGを溶脱したものを同定材料とした。それ以外の試料は水漬けの状態であったのでそのまま同定試料とし、以下のような方法で同定した。

剃刀の刃を用いて、試料の木口・柾目・板目の３断面の徒手切片を作製、ガム・クロラールで封入し、生物顕微鏡で観察同定した。

３．結果

同定結果を第４表に示す。108点の試料の中には試料の劣化が激しく類似種としたものや同定できないものもあった。同定できた樹種の特徴や現生種の一般的な性質は次のようなものである。なお、一般的性質などについては平井（1979～1982）を参考にした。

コウヤマキ　　スギ（コウヤマキ）科

コウヤマキは、通常コウヤマキ科に独立させる（１科）１属１種の日本特産の常緑高木である。自生地は本州（福島県以南）・四国・九州に点在し、また植栽される。材はやや軽軟で割裂性は大きく、加工は容易、保存性は中程度であるが耐水性がある。各種樽桶類・土木・船材・棺材などの用途がある。

ヒノキ属の一種　　ヒノキ科

ヒノキ属には、ヒノキとサワラの２種がある。ヒノキは本州（福島県以南）・四国・九州に分布し、また各地で植栽される常緑高木で、国内ではスギに次ぐ植林面積を持つ重要樹種である。材はやや軽軟で加工は容易、割裂性は大きいが、強度・保存性は高い。建築・器具材など各種の用途が知られている。サワラは本州（岩手県以南）・九州に自生し、また植栽される高木で多くの園芸品種がある。材は軽軟で割裂性は大きく、加工も容易、強度的にはヒノキに劣るが耐水性が高いため、樽や桶にするほか各種の用途がある。

ハンノキ属の一種　　カバノキ科

ハンノキ属は国内に約10種が自生し、ハンノキの仲間（＝ハンノキ亜属）とヤシャブシやミヤマハンノキの仲間（＝ヤシャブシ亜属）に分けられる。後者についてはミヤマハンノキ属として独立させ

る見解もある。いずれも根に根瘤菌が共生しているため瘦地でもよく生育する。材はやや軽軟～やや重硬で、加工は容易、薪炭材や各種器具材などとして用いられるほか、炭が黒色火薬の原料となる種類もある。また樹皮や果実を染料とすることもある。

カバノキ属の一種　　カバノキ科

カバノキ属は、シラカンバ、ダケカンバなど11種が自生し、主として本州中北部・北海道の山地・高山・寒冷地などに生育する落葉高木～低木である。このうちミズメは日本固有種で、本州（岩手県以南）・四国・九州の山地に生育する。ミズメの材は重硬・強靱で、加工は困難ではなく、各種の道具・器具材、木地・家具材などに用いられる。梓弓に使われるアズサを本種とする見解もある。

ハシバミ属類似種　　カバノキ科

ハシバミ属には、オオハシバミとその変種ハシバミ、オオツノハシバミとその変種ツノハシバミがある。このうちハシバミに関しては、オオハシバミと同一種としてハシバミとする見解もある。広義のハシバミ・ツノハシバミとも北海道から九州の山野に見られる落葉小高木～低木であるが、西日本にはやや少ない。材は重硬・強靱で、器具材や薪炭材などに用いられる。果実は食用となり、また搾油されることもある。

ブナ属の一種　　ブナ科

ブナ属には、ブナとイヌブナの２種がある。ブナは北海道南西部（黒松内低地帯意南）・本州・四国・九州に、イヌブナは本州（岩手県以南）・四国・九州の主として太平洋側に分布する。イヌブナのほうがブナより低標高地から生育し、またブナのような大群落をつくることはない。ブナは、日本の冷温帯落葉樹林を代表する樹木で、かつては東日本の山地に広く生育していたが、近年、植林などによって生育地が激減している。材はやや重硬で、強度は大きいが加工はそれほど困難ではなく、耐朽性は低い。木地・器具・家具・薪炭材などの用途があったが、最近では各種の用途に用いられている。また種子は食用となり、搾油される。

クリ　　ブナ科

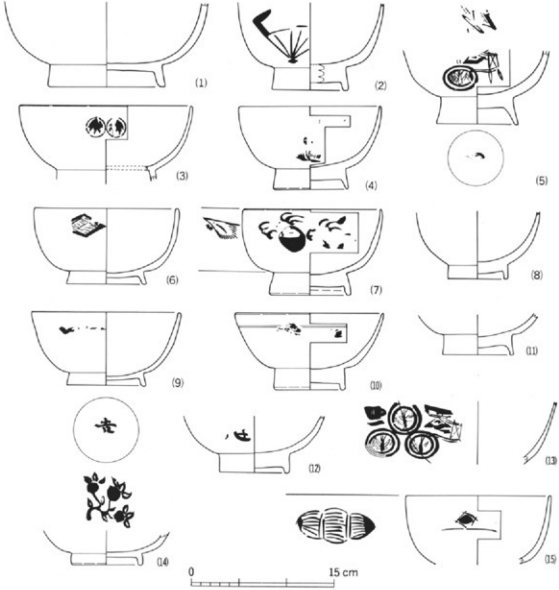
クリは北海道南西部・本州・四国・九州の山野に自生し、また植栽される落葉高木である。材はやや重硬で、強度は大きく、加工はやや困難であるが耐朽性は高い。土木・建築・器具・家具・薪炭材・椎木や海苔粗朶などの用途が知られている。樹皮からはタンニンが取られ、果実は食用となる。各地の遺跡からの出土例の多い樹種である。

ケヤキ　　ニレ科

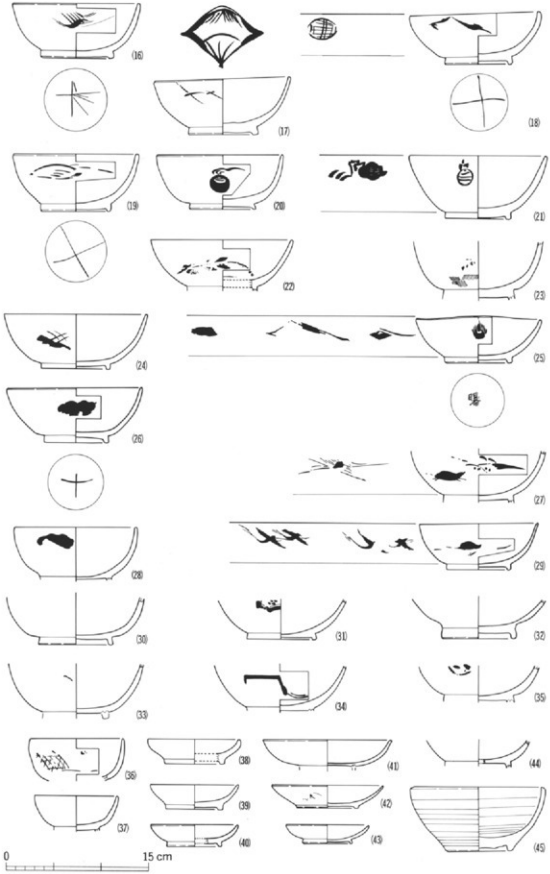
ケヤキは本州・四国・九州の谷沿いの肥沃地などに自生し、また屋敷林や並木として植栽される落葉高木で、時に樹高50mにも達する。材はやや重硬で、強度は大きいが、加工は困難ではなく、耐朽性が高く、木理が美しい。建築・造作・器具・家具・機械・彫刻・薪炭材など各種の用途が知られ、国産広葉樹材の中で最良のものの一つに上げられる。

カツラ類似種　　カツラ科

カツラは北海道から九州に自生する落葉高木である。カツラ属にはこのほか、本州北中部の亜高山帯に分布するヒロハカツラがある。カツラの材はやや軽軟で、割裂性は大きく、加工は容易、強度・保存性は低い。大径木が多く、欠点が少ないため、各種の道具・器具・木地・家具・建築・彫刻材な



第188図　樹種同定遺物実測図(1)



第 189 図　樹種同定遺物実測図(2)

第４表　清洲城下町遺跡から出土した木製品の樹種

No.	検出遺構など			用途	時　代	樹　種　名
1	清洲城下町遺跡	90D	旧五条川灰黒粘土	漆器椀	15世紀末～16世紀初	トチノキ
2	清洲城下町遺跡	90D	旧五条川灰黒粘土	漆器椀	15世紀末～16世紀初	トチノキ
3	清洲城下町遺跡	90D	旧五条川灰黒粘土	漆器皿	15世紀末～16世紀初	ブナ属類似種
4	清洲城下町遺跡	90D	旧五条川灰黒粘土	漆器椀	15世紀末～16世紀初	カツラ類似種
5	清洲城下町遺跡	90D	旧五条川灰黒粘土	漆器椀	15世紀末～16世紀初	トチノキ
6	清洲城下町遺跡	90D	旧五条川灰黒粘土	漆器椀	15世紀末～16世紀初	クリ
7	清洲城下町遺跡	90D	旧五条川灰黒粘土	漆器椀	15世紀末～16世紀初	広葉樹（散孔材）
8	清洲城下町遺跡	90D	旧五条川灰黒粘土	漆器皿	15世紀末～16世紀初	タカノツメ類似種
9	清洲城下町遺跡	90D	旧五条川灰黒粘土	漆器皿	15世紀末～16世紀初	広葉樹（散孔材）
10	清洲城下町遺跡	90D	ＳＫ101	漆塗椀	15世紀末～16世紀初	トチノキ
11	清洲城下町遺跡	90D	旧五条川灰黒粘土	漆器椀	15世紀末～16世紀初	ブナ属の一種
12	清洲城下町遺跡	90D	旧五条川灰黒粘土	漆器椀	15世紀末～16世紀初	ブナ属の一種
13	清洲城下町遺跡	90D	旧五条川灰黒粘土	漆器椀	15世紀末～16世紀初	クリ
14	清洲城下町遺跡	90D	検出	漆器椀	15世紀末～16世紀初	トチノキ
15	清洲城下町遺跡	90D	旧五条川灰黒粘土	漆器椀	15世紀末～16世紀初	ブナ属の一種
16	清洲城下町遺跡	90D	旧五条川灰黒粘土	漆器皿	15世紀末～16世紀初	広葉樹（散孔材）
17	清洲城下町遺跡	90D	旧五条川灰黒粘土	漆塗椀	15世紀末～16世紀初	トチノキ
18	清洲城下町遺跡	90D	旧五条川灰黒粘土	漆器椀	15世紀末～16世紀初	トチノキ
19	清洲城下町遺跡	90D	旧五条川灰黒粘土	漆器椀	15世紀末～16世紀初	トネリコ属の一種
20	清洲城下町遺跡	90D	旧五条川	漆器椀	15世紀末～16世紀初	ブナ属の一種
21	清洲城下町遺跡	90D	旧五条川	漆器椀	15世紀末～16世紀初	クリ
22	清洲城下町遺跡	90D	旧五条川	漆器椀	15世紀末～16世紀初	トチノキ
23	清洲城下町遺跡	90D	旧五条川灰黒粘土	漆器椀	15世紀末～16世紀初	ブナ属の一種
24	清洲城下町遺跡	90D	旧五条川灰黒粘土	漆器椀	15世紀末～16世紀初	広葉樹（散孔材）
25	清洲城下町遺跡	90D	旧五条川灰黒粘土	漆器皿	15世紀末～16世紀初	広葉樹（散孔材）
26	清洲城下町遺跡	90D	旧五条川最下層	漆器椀	15世紀末～16世紀初	ブナ属の一種
27	清洲城下町遺跡	90D	旧五条川最下層	漆器椀	15世紀末～16世紀初	広葉樹（散孔材）
28	清洲城下町遺跡	90D	旧五条川	漆器椀	15世紀末～16世紀初	ブナ属の一種
29	清洲城下町遺跡	90D	旧五条川	漆器椀	15世紀末～16世紀初	広葉樹（環孔材）
30	清洲城下町遺跡	90D	旧五条川	漆器椀	15世紀末～16世紀初	トチノキ
31	清洲城下町遺跡	90D	旧五条川	漆器椀	15世紀末～16世紀初	広葉樹（散孔材）
32	清洲城下町遺跡	90D	旧五条川	漆器椀	15世紀末～16世紀初	ブナ属の一種
33	清洲城下町遺跡	90D	旧五条川	漆器椀	15世紀末～16世紀初	ブナ属の一種
34	清洲城下町遺跡	90D	旧五条川最下層	漆塗椀	15世紀末～16世紀初	サクラ属類似種
35	清洲城下町遺跡	90D	旧五条川灰黒粘土	漆器椀	15世紀末～16世紀初	トチノキ類似種
36	清洲城下町遺跡	90D	旧五条川灰黒粘土	漆器椀	15世紀末～16世紀初	ハシバミ属類似種
37	清洲城下町遺跡	90D	旧五条川灰黒粘土	漆器椀	15世紀末～16世紀初	広葉樹（散孔材）
38	清洲城下町遺跡	90D	旧五条川灰黒粘土	漆器椀	15世紀末～16世紀初	ブナ属類似種）
39	清洲城下町遺跡	90D	旧五条川灰黒粘土	漆器椀	15世紀末～16世紀初	トチノキ類似種
40	清洲城下町遺跡	90D	旧五条川灰黒粘土	漆器椀	15世紀末～16世紀初	カバノキ属の一種
41	清洲城下町遺跡	90B	旧五条川	漆器椀	15世紀末～16世紀初	トチノキ
42	清洲城下町遺跡	90B	旧五条川	漆器椀	15世紀末～16世紀初	トチノキ
43	清洲城下町遺跡	90B	旧五条川	漆器椀	15世紀末～16世紀初	トチノキ
44	清洲城下町遺跡	90B	旧五条川	漆器椀	15世紀末～16世紀初	トチノキ
45	清洲城下町遺跡	90B	旧五条川	漆器椀	15世紀末～16世紀初	トチノキ
46	清洲城下町遺跡	90B	旧五条川	漆器椀	15世紀末～16世紀初	ブナ属の一種
47	清洲城下町遺跡	59C	ＳＤ05（ⅡＳＤ66）	漆器椀	15世紀末～16世紀中	トチノキ
48	清洲城下町遺跡	59C	ＳＤ05下層(ⅡＳＤ66)	漆器椀	15世紀末～16世紀中	トチノキ
49	清洲城下町遺跡	59C	ＳＤ05下層(ⅡＳＤ66)	漆器椀	15世紀末～16世紀中	ブナ属の一種
50	清洲城下町遺跡	59C	ＳＤ05（ⅡＳＤ66）	漆器椀	15世紀末～16世紀中	カツラ類似種
51	清洲城下町遺跡	59C	ＳＤ05下層(ⅡＳＤ66)	漆器椀	15世紀末～16世紀中	クリ類似種
52	清洲城下町遺跡	59C	ＳＤ05（ⅡＳＤ66）	漆器椀	15世紀末～16世紀中	広葉樹（散孔材）
53	清洲城下町遺跡	59C	ＳＤ05（ⅡＳＤ66）	漆器椀	15世紀末～16世紀中	カバノキ属の一種
54	清洲城下町遺跡	59C	ＳＤ05（ⅡＳＤ66）	漆器椀	15世紀末～16世紀中	トチノキ
55	清洲城下町遺跡	59C	ＳＤ05（ⅡＳＤ66）	漆器椀	15世紀末～16世紀中	ケヤキ
56	清洲城下町遺跡	59C	ＳＤ05（ⅡＳＤ66）	漆器椀	15世紀末～16世紀中	広葉樹（環孔材）
57	清洲城下町遺跡	59C	ＳＤ05（ⅡＳＤ66）	漆器椀	15世紀末～16世紀中	トチノキ
58	清洲城下町遺跡	59C	ＳＤ05（ⅡＳＤ66）	漆器椀	15世紀末～16世紀中	広葉樹（散孔材）
59	清洲城下町遺跡	59C	ＳＤ05（ⅡＳＤ66）	漆器椀	15世紀末～16世紀中	トチノキ
60	清洲城下町遺跡	59C	ＳＤ05（ⅡＳＤ66）	漆器椀	15世紀末～16世紀中	カバノキ属の一種

No.	検出遺構など	用途	時　代	機　種　名
61	清洲城下町遺跡　59C　SD05（IISD66）	漆器椀	15世紀末～16世紀中	トチノキ
62	清洲城下町遺跡　59C　SD05（IISD66）	漆器椀	15世紀末～16世紀中	トチノキ
63	清洲城下町遺跡　59C　SD05（IISD66）	漆器椀	15世紀末～16世紀中	トチノキ
64	清洲城下町遺跡　59C　SD05（IISD66）	漆器椀	15世紀末～16世紀中	トチノキ類似種
65	朝日西遺跡　（SD222）（外部）	曲物	16世紀末～17世紀初	ヒノキ属類似種
66	朝日西遺跡　（SK503）	漆器皿	12世紀～14世紀	トチノキ
68	清洲城下町遺跡　59C　SD05西（IISD66）	漆器椀	15世紀末～16世紀中	ハンノキ属の一種
69	清洲城下町遺跡　90D　旧五条川	卒塔婆	15世紀末～16世紀初	ヒノキ属の一種
70	清洲城下町遺跡　89F　SD02	人形	16世紀末～17世紀初	ヒノキ属の一種
71	朝日西遺跡　SE47上段	井戸枠	16世紀末～17世紀初	ヒノキ属の一種
72	朝日西遺跡　SE47上段	井戸枠	16世紀末～17世紀初	ヒノキ属の一種
73	朝日西遺跡　SE47上段	井戸枠	16世紀末～17世紀初	ヒノキ属の一種
74	朝日西遺跡　SE47上段	井戸枠	16世紀末～17世紀初	ヒノキ属の一種
75	朝日西遺跡　SE47上段	井戸枠	16世紀末～17世紀初	ヒノキ属の一種
76	朝日西遺跡　SE47上段	井戸枠	16世紀末～17世紀初	ヒノキ属の一種
77	朝日西遺跡　SE47上段	井戸枠	16世紀末～17世紀初	ヒノキ属の一種
78	朝日西遺跡　SE47上段	井戸枠	16世紀末～17世紀初	ヒノキ属類似種
79	朝日西遺跡　SE47上段	井戸枠	16世紀末～17世紀初	ヒノキ属の一種
80	朝日西遺跡　SE47上段	井戸枠	16世紀末～17世紀初	ヒノキ属の一種
81	朝日西遺跡　SE47上段	井戸枠	16世紀末～17世紀初	ヒノキ属の一種
82	朝日西遺跡　SE47上段	井戸枠	16世紀末～17世紀初	ヒノキ属の一種
83	朝日西遺跡　SE47上段	井戸枠	16世紀末～17世紀初	ヒノキ属の一種
84	朝日西遺跡　SE47上段	井戸枠	16世紀末～17世紀初	ヒノキ属の一種
85	朝日西遺跡　SE47上段	井戸枠	16世紀末～17世紀初	ヒノキ属の一種
86	清洲城下町遺跡　59D　SE03（IISE26）	井戸枠1	16世紀末～17世紀初	ヒノキ属の一種
87	清洲城下町遺跡　59D　SE03（IISE26）	井戸枠2	16世紀末～17世紀初	ヒノキ属の一種
88	清洲城下町遺跡　59D　SE03（IISE26）	井戸枠3	16世紀末～17世紀初	ヒノキ属の一種
89	清洲城下町遺跡　59D　SE03（IISE26）	井戸枠4	16世紀末～17世紀初	ヒノキ属の一種
90	清洲城下町遺跡　59D　SE03（IISE26）	井戸枠5	16世紀末～17世紀初	ヒノキ属の一種
91	清洲城下町遺跡　59D　SE03（IISE26）	井戸枠6	16世紀末～17世紀初	ヒノキ属の一種
92	清洲城下町遺跡　59D　SE03（IISE26）	井戸枠7	16世紀末～17世紀初	ヒノキ属の一種
93	清洲城下町遺跡　59D　SE03（IISE26）	井戸枠8	16世紀末～17世紀初	ヒノキ属の一種
94	清洲城下町遺跡　59D　SE03（IISE26）	井戸枠9	16世紀末～17世紀初	ヒノキ属類似種
95	清洲城下町遺跡　59D　SE03（IISE26）	井戸枠10	16世紀末～17世紀初	ヒノキ属の一種
96	清洲城下町遺跡　59D　SE03（IISE26）	井戸枠11	16世紀末～17世紀初	ヒノキ属の一種
97	清洲城下町遺跡　59D　SE03（IISE26）	井戸枠12	16世紀末～17世紀初	ヒノキ属の一種
98	清洲城下町遺跡　59D　SE03（IISE26）	井戸枠13	16世紀末～17世紀初	ヒノキ属の一種
99	清洲城下町遺跡　59D　SE03（IISE26）	井戸枠14	16世紀末～17世紀初	ヒノキ属の一種
100	清洲城下町遺跡　59D　SE03（IISE26）	井戸枠15	16世紀末～17世紀初	ヒノキ属の一種
101	清洲城下町遺跡　59D　SE03（IISE26）	井戸枠16	16世紀末～17世紀初	ヒノキ属の一種
102	清洲城下町遺跡　59D　SE03（IISE26）	井戸枠17	16世紀末～17世紀初	ヒノキ属の一種
103	清洲城下町遺跡　60C　SE04（IISE33）	井戸枠	16世紀末～17世紀初	コウヤマキ
104	清洲城下町遺跡　60F　SE02（IISE03）	井戸枠	16世紀末～17世紀初	ヒノキ属の一種
105	朝日西遺跡　SE09	井戸枠	16世紀末～17世紀初	ヒノキ属の一種
106	朝日西遺跡　SE39	井戸枠	16世紀末～17世紀初	ヒノキ属の一種
107	朝日西遺跡　SE43	井戸枠	16世紀末～17世紀初	ヒノキ属の一種
108	朝日西遺跡　SE51	井戸枠	16世紀末～17世紀初	ヒノキ属の一種
109	朝日西遺跡　SE35	井戸枠	16世紀末～17世紀初	ヒノキ属類似種

清洲城下町遺跡出土資料は、調査当時の旧遺構番号を中心に記載したが、既に報告書になっているものについては（　）で新番号を付した。

どに用いられる有用材の一つである。

サクラ属類似種　バラ科

サクラ属には、ヤマザクラやウワミズザクラなど15種が自生し、多くの変・品種がある。また、モモやスモモなど古い時代に伝えられ栽培されているものもある。多くは落葉性の高木～低木であるが、バクチノキ、リンボクの常緑樹も含まれる。このうちヤマザクラは、本州（宮城・新潟県以南）・四国・九州の山野に分布する落葉高木で、材は中程度～やや重硬・強靱で、加工は容易、保存性は高い。各種器具材をはじめ、機械・家具・楽器・建築・薪炭材など様々な用途が知られている。また樹皮は樺皮細工に用いられている。

トチノキ　トチノキ科

トチノキは北海道（南西部）・本州・四国・九州の主として谷沿いの肥沃地に生育する落葉高木で、東北地方に多く九州には少ない。材は軽軟で、加工・乾燥が容易で、耐朽性は小さい。器具・家具や旋作材・木地などに用いられる。種子は澱粉を多く含み食用となるほか、タンニン原料ともなる。

タカノツメ類似種　ウコギ科

タカノツメは北海道（渡島）・本州・四国・九州の山地の林内に生育する落葉高木である。材は軽軟で割裂性が高い。一般に器具材（箱・杓子・箸等）・下駄材・薪炭材に用いられる。

トネリコ属の一種　モクセイ科

トネリコ属には、シオジ、トネリコアオダモ、など約８種が自生する。このうちアマトアオダモ・マルバアオダモ・アオダモは北海道・本州・四国・九州に、ヤチダモは北海道・本州（中部地方以北）に、トネリコは本州（中部地方以北）に、シオジは本州（関東地方以西）・四国・九州に分布する。いずれも落葉高木である。材の性質は種によって異なるが、一般には中庸～やや重硬で、靱性があり、加工は容易で、建築・器具・家具・旋作・薪炭材などの用途が知られる。

４．考察－１

108点の試料の同定結果を各用途別の樹種構成にまとめたものを第５表に示す。これを見ると、最も試料数の多かった漆器椀は、トチノキ、ブナ属で61.7%を占め、残りの38.3%を８樹種と不明樹種が占める。今回の試料はいずれもⅡ－１期（15世紀末～16世紀中）に含まれるが、前回の調査（パリノ・サーヴェイ株式会社、1990）でもⅡ－１期はトチノキ、ブナ属が多く、全体の53.8%を占めていた。また、これ以外に同定された樹種もハンノキ属、ケヤキ、カツラ類似種、サクラ属類似種等前回の樹種と重なるものが多く、良く似た結果となっている。今回の漆器椀の同定結果を遺構別にまとめたものを第６表に示した。これを見ると、59Ｃ区と90Ｄ区はともに樹種構成が豊富なことで一致するが、90Ｄ区でブナ属とトチノキがほぼ同数なのに対し、59Ｃ区ではトチノキが圧倒的に多く、他の樹種はカバノキ属の２点を除きすべて１点であった。また、90Ｂ区では試料数は少ないが、トチノキとブナ属しか同定されなかった。これらの違いが地区による違いかどうかは判断できない。さらに試料数を増やし検討すべきであろう。

漆器皿は今回６点あり、そのうち３点は樹種の同定ができなかった。そのため、今回の結果から用材の傾向等は判断できないが、漆器椀で多かったトチノキ・ブナ属が１点づつ含まれており、トチノキ・ブナ属の材は椀だけでなく皿にも使用されていたことがわかる。特にトチノキの漆器皿は12世紀～

14世紀とされており、古くからトチノキが漆器の材料として使用されていたことがわかる。漆器椀と漆器皿を除く井戸枠、曲物、卒塔婆、人形は、ヒノキ属がそのほとんどを占め、ヒノキ属以外の樹種では、コウヤマキが井戸枠に１点使用されているのみである。ヒノキ属は今回４つの用途に用いられており、前回指摘したように現在と違って広い用途に使用されていたことがわかる。

井戸枠は39点中38点がヒノキ属で、１点がコウヤマキであった。今回の試料はいずれも16世紀末～17世紀初とされており、時期的には前回の調査ではⅠ期ではコウヤマキが、Ⅱ期ではヒノキが使用されていた。今回の結果はⅡ期でもコウヤマキを使用していた井戸があったことを示している。また、鈴木（1989）は、清洲城下町遺跡と朝日西遺跡から出土した井戸桶を下端部の形態から、A、B－１～B－３、C、Dの６種類に分類している。今回同定した試料では、№103、104以外の37点がC類を除く５種類に分類されている（第７表）が、今回の調査では形態による樹種の違いは見られなかった。

５．考察－２

108点の試料の同定結果から導かれた各用途別の樹種構成について、さらに若干の考察を加える。特に、漆器については次節で論じているので参照されたい。

A．漆器

今回の漆器についての樹種同定の主要な目的は次の３点に要約できる。

①時期による樹種構成

まず、第１点は、時期によって樹種構成が異なるか否かということである。前回の調査（1990）では、いわゆる「城下町期前期（Ⅱ－１期）」と「城下町期後期（Ⅱ－２期）」との樹種構成が異なる様相が予見されていた。具体的には、城下町期前期（Ⅱ－１期）にはトチノキをはじめブナ属・ケヤキ・ヒノキ属・クリ・サクラ属・カツラ・ハンノキなど樹種構成が多様であるのに対し、城下町期後期（Ⅱ－２期）ではトチノキが８割弱の割合を占めている。今回の調査では、清洲城下町遺跡59Ｃ区ＳＤ05と清洲城下町遺跡90Ｄ区旧五条川から出土した城下町期前期（Ⅱ－１期）の良好な試料が存在したので、城下町期前期（Ⅱ－１期）の樹種構成をより一層明らかにすることを目的にした。

結果として、城下町期前期（Ⅱ－１期）の樹種構成はトチノキが最も多いがその割合は約半数であり、その他にブナ属・ケヤキ・クリ・サクラ属・カツラ・ハンノキ属・カバノキ属・ハシバミ属・トネリコ属など多様な樹種が存在していることから、前回の調査結果（1990）を追認することとなった。なお、城下町期前期（Ⅱ－１期）の中でも15世紀末～16世紀初と15世紀末～16世紀中の樹種構成は、トチノキ・ブナ属の割合に相違が見られ、時間を経るにつれてトチノキの割合は増加し、ブナ属の割合が減少する傾向が存在する可能性を指摘できる。

②地点による樹種構成

第２点は、地点によって樹種構成が異なるか否か、すなわち、同時期の資料（この場合、城下町期前期）のうち、武家屋敷と町屋で樹種構成が異なるかどうかという点である。前回と今回の調査で、主に３地点の資料を揃えることができた。A群は清須城本丸北の武家屋敷推定地出土資料（清洲城下町遺跡59Ｃ区ＳＤ05）である。B群は清須城本丸対岸の幅３～５ｍの溝で囲まれた武家屋敷推定地出土資料で、前回の調査（1990）のデータがある。C群は清須城本丸対岸の90Ｄ区旧五条川出土資料で、旧五条川付近に存在したと推定される町屋から投棄されたものと思われる。

前項に記述したように時期的な差異が若干存在し、検討するには問題があるが、結果として、A群・B群・C群に明確な樹種構成の差異は存在しない。強いて言うなれば、武家屋敷推定地出土資料では、ブナ属・クリ材を用いた漆器が多い傾向が見られる。武家屋敷と町屋では漆器の材料に差がなく、共通の産地から運ばれたものであろう。

③器種による樹種構成

第3点は、器種によって樹種構成が異なるか否かという点である。具体的には、高台の高い椀A類（外面に黒色漆を塗布したもの）・高台の低い椀B類（外面に黒色漆を塗布したもの）・内外面ともに赤色漆を塗布したもの（いわゆる根来手と呼ばれるもの）にそれぞれ差異が存在するかと言うことである。特に「根来手」と呼ばれる一群については遠方から運ばれたものではないかという考えが存在しており、この点を樹種で判明できるか確認してみたい（なお、漆膜の分析では差異が存在しないという意見がある）。

分析の結果、この点についても明確な樹種構成の差異は存在しない。「根来手」と呼ばれる一群ではトチノキの割合が小さい傾向はあるが、樹種構成のバラエティーが豊富な点で高台の高い椀A類・高台の低い椀B類と共通する。

漆器については、陶磁器のように産地が特定できる研究段階に至っていない。しかし、樹種構成の分析から、武家屋敷と町屋という地点の差・器種の差は存在せず、産地が共通する可能性が伺えるのに対し、時期によって樹種構成が変化して産地に変動があった可能性を指摘できよう。

B．井戸桶

今回の井戸桶についての樹種同定の主要な目的は、①城下町期（II期）の井戸桶にヒノキ属以外が存在するかという点、②同一の井戸桶の用材に異なる樹種が使用される事例があるかという点の2点

第5表　製品別の樹種構成

用途	漆器椀		漆器皿		井戸桶	曲物	卒塔婆	人形	合計
樹種名	15c末−16c初	15c末−16c中	15c末−16c初	12c−14c					
コウヤマキ					1				1
ヒノキ属＊					38	1	1	1	41
ハンノキ属		1							1
カバノキ属	1	2							3
ハシバミ属＊	1								1
ブナ属＊	11	1	1						13
クリ＊	3	1							4
ケヤキ		1							1
カツラ＊	1	1							2
サクラ属＊	1								1
トチノキ＊	16	9		1					26
タカノツメ＊			1						1
トネリコ属	1								1
不明樹種	6	3	3						12
合計	41	19	5	1	39	1	1	1	108

＊　類似種または類似種を含む樹種

に要約できる。

第１点については、コウヤマキを使用した事例が存在したが、ヒノキ属が主となる点は変わりなかった。第２点については、井戸桶を同一の材で作製するのか否か、井戸桶が部分的に破損した際に一部分の板材を交換する事例の有無を確認できるか否かなどが問題であったが、このような事例は確認できなかった。井戸桶を作製する場合、同一の材を用いることが判明した。

第６表　漆器の調査区別樹種構成

用　途	漆器椀			漆器皿	
樹種名	59C	90B	90D	60A	90D
ハンノキ属	1				
カバノキ属	2		1		
ハシバミ属＊			1		
ブナ属＊	1	1	10		1
クリ＊	1		3		
ケヤキ	1				
カツラ＊	1		1		
サクラ属＊			1		
トチノキ＊	9	5	11	1	
タカノツメ＊					1
トネリコ属			1		
不明樹種	3		6		3

＊　類似種または類似種を含む樹種

第７表　井戸桶試料の形態分類

分類型	試料番号
A	No105
B－1	No86～No102
B－2	No106，No108，No109
B－3	No107
C	該当試料なし
D	No71～No85

（鈴木正貴）

文献

平井信二『木の事典　第１巻～第17巻』かなえ書房（1979～1982）

パリノ・サーヴェイ株式会社「材質（樹種）同定」「清洲城下町遺跡」(1990)、(財)愛知県埋蔵文化財センター調査報告書第17集、財団法人愛知県埋蔵文化財センター

鈴木正貴「清洲城下町遺跡出土の井戸桶に関する考察」『(財)愛知県埋蔵文化財センター年報　昭和63年度』(1989) p158-168

梅本博志「清須城とその城下町－発掘調査の成果を中心に－」『月刊文化財312』(1989) p38-46

第３節　清須城下町から出土した漆器について

１．本稿の課題

本稿は清洲城下町遺跡と朝日西遺跡[1]を中心とした尾張地域の漆器について若干の考察を行うものである。漆器については、四柳嘉章[2]・北野信彦[3]らの漆膜分析や、中井さやからの16世紀の漆椀についての論考[4]など、近年徐々に研究が進展しつつある。[5]尾張地域の場合も梅村清春[6]・北野信彦[7]・筆者[8]らの論考があり、編年と漆膜分析などの概要が明らかになってきた。しかし、問題点が全くないわけではない。本稿は拙稿[9]で論じた漆器の形態の変遷を、特に戦国時代について、もう少し細かく述べ、これまであまり論じられていなかった紋様について分析を加える。そのうえで、樹種同定の結果も勘案して、漆器の生産と流通の問題について若干の提言を行いたい。

なお、論を進める前に、漆の種類の用語について触れておきたい。[10]従来、「朱漆」・「黒漆」などという表記を用いてきたが、[11]ここでは「赤色漆」・「黒色漆」と記述する。「赤漆」とした場合、素地を蘇芳で染めて漆をかけた「赤漆（せきしつ）」と混同することとなり、「朱漆」・「弁柄漆」の用語も漆膜分析などを通じて朱か弁柄かの判断ができた段階で使用すべきである。同様に「黒漆」についても、その成分が未分析であり、筆者の誤認の可能性も捨てきれない現状から、使用を差し控える。数百年の時間を経た色の変色と、表面の肉眼観察の不正確さが問題として存在する点を考慮にいれた上で、「赤色漆」・「黒色漆」の用語使用を把握していただきたい。

２．漆器の変遷（第190図）

まず、清洲城下町遺跡を中心とした尾張地域の漆器の形態分類を行う。漆器は椀・皿・杯・香合などに大別できるが、椀と皿は更に法量・口縁部の形態から分類が可能である。

椀Ａ類　器壁がやや厚い高台の高い椀。通常外面に黒色漆が塗布されている。

椀Ｂ類　器壁がやや厚い高台の低い椀。通常外面に黒色漆が塗布されている。

椀Ｃ類　法量がやや小さい高台の低い椀。通常外面に黒色漆が塗布されている。

椀Ｄ類　器壁がやや薄い高台の低い椀。通常内外面に赤色漆が塗布されている。

椀Ｅ類　体部下半部に稜が入る椀。

皿Ａ類　口縁部が内湾する皿で、口径が大きい。

皿Ｂ類　口縁部が直線的に逆ハの字に開く皿。

皿Ｃ類　口縁部が内湾する皿で、口径が小さい。

尾張地域の漆器の変遷については、以前、梅村が分析を行い、[12]筆者も簡単な案を提示した。[13]筆者のこの小考の中では、Ⅰ期（皿が主体となる時期）・Ⅱ期（高台の高い椀Ａ類と高台の低い椀Ｂ類が主体となる時期）・Ⅲ期（体部下半部に稜が入る椀Ｅ類が主体となる時期）の３期区分を行い、若干の細区分も試みた。本稿もこの３期区分を踏襲し、各時期の様相を記述する。

Ⅰ期（皿が主体となる時期）

前稿を記述した段階と比較しても資料数はあまり増加していない。阿弥陀寺遺跡ＳＥ1004[14]・朝日西遺跡ＳＫ503出土資料[15]を指標とする。資料は皿のみが確認されている。他地域の様相を考慮すると

椀の存在も想定できるが、資料に恵まれておらず、その形態は不明である。皿は口縁部が内湾する皿A類で、内面・外面共に黒色漆が塗布されており、Ⅱ期以降の皿が赤色漆を主体とした漆塗になるのとは対照的である。器厚は非常に薄く作られ高台は低い。阿弥陀寺遺跡ＳＥ1004出土資料は内面に段を有し、朝日西遺跡ＳＫ503出土資料は同じ紋様単位が器の内面一杯にちりばめられている。共伴する灰釉系陶器から14～15世紀前半に位置づけられる。

Ⅱ期（高台の高い椀Ａ類と高台の低い椀Ｂ類が主体となる時期）

前稿の段階ではⅡ期を更に３区分してその様相を概述した。これは、県道新川清洲線拡幅工事に伴う発掘調査から出土した資料を中心に検討したもの[16]であり、主に共伴する土器・陶磁器の変遷案から漆器の変遷を予見したものであった。今回、朝日西遺跡・清洲城下町遺跡・名古屋城三の丸遺跡の資料を報告・分析する機会を得て、修正を加えるものである。

Ⅱ期１段階

清洲城下町遺跡ＩＳＤ136[17]・清洲城下町遺跡90Ｄ区旧五条川[18]・清洲城下町遺跡ⅡＳＤ66出土資料[19]を指標とする。椀類は椀Ａ類と椀Ｂ類があり、椀Ａ類は底部の形態から細区分ができる。椀Ａ１類は底部の器厚が厚くて体部の器厚とは著しく異なり、断面を見ると底部と体部の外側に段差があるものである。椀Ａ２類は底部の器厚が薄くて体部の器厚と変わらず、断面を見ると底部と体部が連続しているものである。椀Ａ３類は、椀Ａ１類と同様、底部と体部の器厚が異なるもののうち体部下半部の器厚が非常に厚いものである。椀Ａ３類は極少量しか認められない。椀Ａ類と椀Ｂ類の漆塗は内面に赤色漆、外面に黒色漆が塗布されているものが多い。窯窯後期末から大窯Ⅰ期の陶器[20]が共伴することから15世紀末～16世紀前半に位置づけられる。

Ⅱ期２段階

清洲城下町遺跡ＩＳＤ101[21]・清洲城下町遺跡ⅡＳＤ66[22]出土資料の一部を指標とする。Ⅱ期１段階と器種構成・各器形は大きな変化を見せない。器種構成上、椀Ａ３類を確認できない点が異なるだろう。器形については、Ⅱ期１段階の椀Ａ１類が高台脇の体部外面を強めに削ることによって薄くなり、途中から急に立ち上がるのに対し、Ⅱ期２段階では器厚が口縁部に向かって徐々に薄くなる傾向が認められる。前稿では、Ⅱ期２段階で高台内のえぐりが深くなると考えたが[23]１段階にえぐりの深いものがあり、この点は指標にはならないようである。Ⅱ期２段階の資料は１段階の遺物と共に出土する場合が多く、確実にⅡ期２段階といえる資料が希少であることからⅡ期２段階の様相は明確ではない。大窯Ⅱ期から大窯Ⅲ期の遺物が共伴することから16世紀中ごろ～16世紀後半に位置づけられる。

Ⅱ期３段階

清洲城下町遺跡ＩＳＤ137[24]・朝日西遺跡ＳＤ177[25]出土資料を指標とする。器種構成・各器形はⅡ期２段階とほぼ同様であるが、椀Ａ２類・椀Ａ３類が確認できない（減少する）点と椀Ａ１類の高台内のえぐりが深さ２㎝弱と深くなる点に変化が認められる。椀Ａ類と椀Ｂ類の漆塗は、内面に赤色漆、外面に黒色漆が塗布されているものが多いが、内外面に赤色漆が塗布されているものもある。大窯Ⅴ期の遺物が共伴することから16世紀末～17世紀初に位置づけられる。

Ⅱ期４段階

名古屋城三の丸遺跡ⅢＳＤ07[26]出土資料を指標とする。器種構成は椀Ａ１類・椀Ｂ類が相変わらず

主体を占めるが、蓋と思われるものや腰が張って口縁部が外反する特殊な器形が存在する。椀Ａ１類・椀Ｂ類の器形は高台内のえぐりが深い点などⅡ期３段階と大きな変化を見せない。紋様は家紋のような丸紋を多用し、鶴亀紋は著しく減少する。この変化は出土地点の性格の差が影響しているかもしれない。漆塗は内面に赤色漆、外面に黒色漆が塗布されているものが多いが、内外面に赤色漆が塗布されているものもある。連房式登窯Ⅰ期からⅡ期の遺物が共伴することから17世紀初～17世紀中ごろに位置づけられる。

Ⅲ期（体部下半部に稜が入る椀Ｅ類が主体となる時期）

前稿では17世紀末と19世紀の２期に細区分したものの、18世紀の様相が全く明らかでない点に限界が存在した。現在も資料数は豊富ではなく、前稿を修正する段階ではない。また、１段階・２段階の名称も間の時期が抜けていることから不適切であるが、容赦されたい。

Ⅲ期１段階

清洲城下町遺跡63Ｃ区ＳＸ05[27]出土資料を指標とする。器種構成は椀Ａ１類が残存する一方、体部下半部に稜が入る椀（椀Ｅ類）が現れる。また、蓋類も確実にみられる。漆塗は内面に赤色漆、外面に黒色漆が塗布されているものが多いが、内外面に赤色漆が塗布されているものも存在する。17世紀末～18世紀初に位置づけられる。

Ⅲ期２段階

清洲城下町遺跡61Ｂ区ＳＫ45[28]出土資料を指標とする。器種構成は体部下半部に稜が入る椀（椀Ｅ類）が主体で、椀Ａ１類が消滅する。漆塗は内面赤色漆、外面に黒色漆が塗布されているものが消滅し、内外面に赤色漆が塗布されているものも存在する。19世紀中ごろに位置づけられる。[29]

３．漆器の紋様

清洲城下町遺跡の出土漆器紋様についても梅村清春が考察している。[30]梅村は漆絵の施紋部位・施紋方法・紋様の内容について記述しており、漆塗別の漆絵施紋部位・施紋方法に関しては梅村説そのまま用いる。すなわち、漆塗別の漆絵施紋部位は、

①内面に赤色漆、外面に黒色漆が塗布されたものは、体部外面に赤色漆で施紋。

②内外面に黒色漆が塗布されたものは、体部外面と一部底部内面に赤色漆で施紋。

③内外面に赤色漆が塗布されたものは、一部底部内面に黒色漆・金泥で施紋。

④内外面に赤色漆、底部外面に黒色漆が塗布されたものは、底部外面に赤色漆で施紋。

とまとめることができ、施紋方法は、

⑤手描きによる方法

⑥かき落し技法

がある。紋様の内容についても梅村は、動物紋・植物紋・器物紋・幾何紋・紋章紋に分類して列挙している。ここでは、これらの研究成果に依拠しながら、漆器紋様について分析を深めたい。分析は資料が多いⅡ期の漆器紋様が中心となる。

Ａ・紋様の内容（第192図）

梅村は網羅的に各紋様を分類したが、ここでは紋様の組合せとモチーフを重視して分析を進めたい。漆器に用いられる紋様は「鶴亀紋」が最も多く、「扇紋」・「宝珠紋」・「松竹菊紋」・「亀甲紋」・

「草花紋」も一定量認められ、この６種の紋様の分類・分析を行う。

①鶴亀紋

鶴亀紋は各要素に分けてみると大きく鶴紋４類と亀紋とに分類できる。

鶴紋Ａ類　鶴が羽を広げた姿を丸で囲む「丸に鶴」紋を鶴紋Ａ類とする。

鶴紋Ａ類は、鶴を二重丸で囲む鶴紋Ａ１類と一重丸で囲む鶴紋Ａ２類がある。二重丸の鶴紋Ａ１類は清洲城下町遺跡90Ｄ区旧五条川出土資料にみられ、15世紀末～16世紀前半に位置づけられる。後述する松・竹・菊紋と組み合わせて用いられている。一重丸の鶴紋Ａ２類は清洲城下町遺跡ⅡＳＤ66出土資料などに認められ、鶴紋Ａ１類よりも新しい紋様と推定できる。他の紋様との組合せが認められず、１個ないし２個が紋様の１単位になっている点が鶴紋Ａ１類と大きく異なる。Ⅱ期２段階（16世紀中ごろ～16世紀後半）に位置づけられる。Ⅱ期３段階（16世紀末）には鶴紋Ａ類は見られなくなる。

鶴紋Ｂ類　鶴が舞い飛ぶ姿を横から描いた「舞鶴」紋を鶴紋Ｂ類とする。

鶴紋Ｂ類は、鶴の羽を一本の太い線で描く鶴紋Ｂ１類・鶴の羽を複数の細い線で平行に描く鶴紋Ｂ２類・鶴の羽を一本の太い線と底から後方に細い線を描く鶴紋Ｂ３類・太い線と細い線を２本づつ井桁状に組んで描いた鶴紋Ｂ４類とに分けられる。Ｂ１類とＢ２類は鶴の胴体を太い線で一筆に描き、Ｂ３類は胴体の輪郭を描いて丁寧である。Ｂ１類は清洲城下町遺跡90Ｄ区旧五条川出土資料にしか見られず、鶴紋Ｂ類の中でも古いものであろう。Ｂ２類は90Ｄ区旧五条川・ⅡＳＤ66出土資料などに認められ、15世紀末～16世紀中ごろに位置づけられる。Ｂ３類は清洲城下町遺跡ⅠＳＤ136出土資料などに認められ、15世紀末～17世紀初まで残る。なお、鶴紋Ｂ１～３類は頭を左に向けた方向にしか描かれない。Ｂ４類は弧状の線を井桁に組んでおり、鶴紋とは一見思われないが、亀紋２類とセットになっていることから「鶴紋」と判断できる。

鶴紋Ｃ類　鶴が立って羽を広げた姿を横から描いた「立鶴」紋を鶴紋Ｃ類とする。

清洲城下町遺跡61Ｄ区ＳＫ05[31]出土資料などにみられるが、量的には非常に少ない。16世紀末以降に現れるようである。羽を一本の太い線で描いている。

鶴紋Ｄ類　鶴が羽を広げた姿を正面から見たような紋様を鶴紋Ｄ類とする。

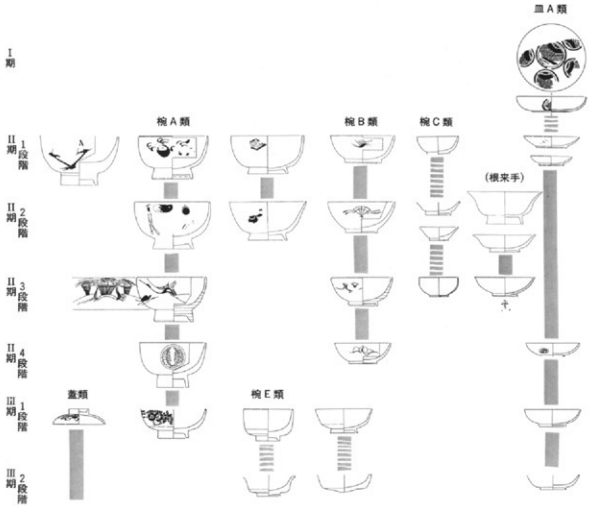
鶴紋Ｄ類は羽を広げた状態と思われる葉状の紋様の他は、鶴の各部位がはっきりせず、あるいは蓬莱紋の一部で、鶴紋ではないかもしれない。[32]鶴紋Ｂ類と亀紋がセットになって描かれる。

亀紋　亀の姿を横から描いたもので、足や尾が明瞭に描かれないものもある。

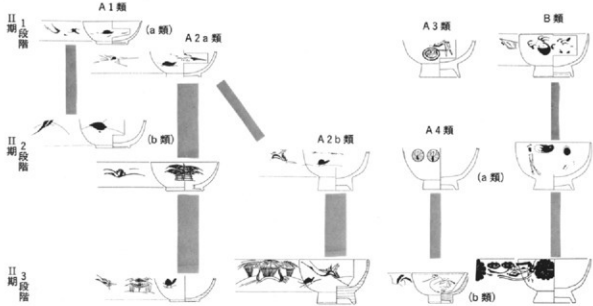
亀紋は、亀の頭・足・尾が描かれ地面の上を歩く亀紋１類と、頭・足・尾が描かれないで胴体のまん中に一筋の線が描かれる亀紋２類がある。亀紋１類の描き方は①頭から尾までを一筆で描き、②胴体部（甲羅）を一筆で丸く塗り、③足を４本の細い線で付け加える。亀の立っている地面も描かれる。

②扇紋

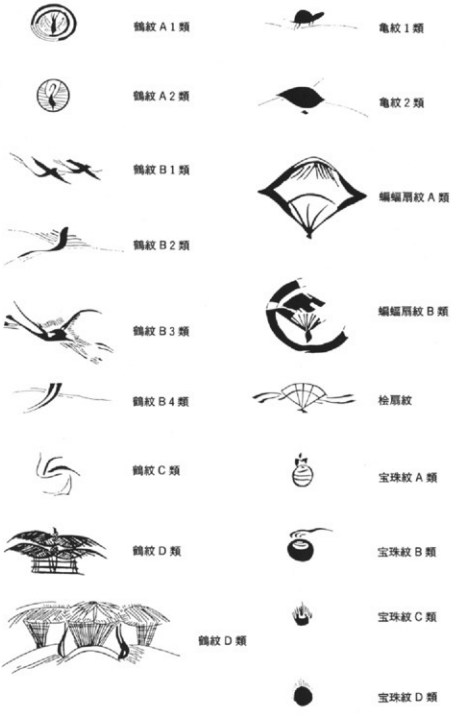
扇紋は、扇骨に紙を張った夏扇の形象を図案化した「蝙蝠扇紋」と杉の薄板を編綴じして開閉自在にした冬扇の形象を図案化した「檜扇紋」の２者がある。このうち「蝙蝠扇紋」は、扇紋を丸で囲まない蝙蝠扇紋Ａ類、扇紋を丸で囲む蝙蝠扇紋Ｂ類とに分けられる。家紋に用いられる扇紋は通常三本骨・五本骨・七本骨の開扇が多いようであるが、[33]清洲城下町遺跡から出土した資料を見ると、骨の数は５・６・９本などで規則性は認められない。「檜扇紋」は扇紋の両脇に「垂げ糸（飾糸）」が２本描



第190図　漆器変遷図（S＝1/8）



第191図　漆器紋様構成変遷図（S＝1/8）



第192図　漆器紋様分類図（S＝1/3）

かれており、丸で囲む紋様は存在しない。

扇紋はこれまでのところ、Ⅱ期１段階～２段階に見られ、Ⅱ期３段階以降は存在しない。扇紋は他の紋様と共に描かれることはないようである。

③宝珠紋

宝珠紋は珠本体部の描き方から輪郭の円形を描き中に横線を書く宝珠紋Ａ類、円形の下半部を塗り潰し上半部に横線を書く宝珠紋Ｂ類、円形の下半部を塗り潰し上半部が空白となる宝珠紋Ｃ類、円形を全部塗り潰した宝珠紋Ｄ類と４種に分類できる。宝珠の火炎部にも、弧を描いて右にたなびくａ類と細かく直立するｂ類の２者がある。

宝珠紋はⅡ期１段階に見られ、Ⅱ期２段階以降は存在しない。宝珠紋は単独で用いられることはなく、雲紋・竹紋？などとセットで描かれ、仏教的・神仙的世界を表現したものであろう。

④松・竹・菊紋

松紋は雪のような形状の紋様の中にかき割り技法で細線を入れているものである。竹紋は三角形を合わせた形の上に鍵の手状の紋様が描かれている。鍵の手の下には菱形の紋様が存在するが、これが何を意味しているのかは不明である。菊紋は菊型に塗りつぶした形状にかき割り技法で花びらの境界を描いている。全体が分かるものが少ないが、松紋・竹紋・菊紋（・菱形紋）を組み合わせた紋様帯が２～３単位で繰り返されているものが多い。体部外面全面に描かれる。

松・竹・菊紋はⅡ期１段階～Ⅱ期３段階を通じて存在した紋様帯であったと思われるが、１段階では鶴を二重丸で囲む鶴紋Ａ１類と組み合わせている。２段階は資料を欠きよく分からないが、３段階には鶴紋Ａ１類との組み合わせはなくなっている。なお、前項の宝珠紋・雲紋・竹紋？のセットもこの変形の可能性がある。

⑤亀甲紋

亀甲紋は紋様を一個単独で用いる場合と、複数組み合わせて用いる場合の２種がある。Ⅱ期１段階からⅡ期３段階を通じて存在したと思われ、１段階では亀甲紋の中央に３～４個の点が記される。他の紋様とセットで描かれることはなく、単独で使用される。

⑥草花紋

桐・桔梗・楓・蘭などの紋様を一括して「草花紋」と称する。描き方から、やや太めに描くものと繊細な線で描くものとの大きく２類に区分できる。前者は亀甲紋・松紋・竹紋・菊紋などのようにモチーフが独立して描かれ、他の紋様とセットで描かれる場合と単独で使用される場合がある。これに対し、後者は紋様が一枚の絵画のように連続して描かれており、これまでの類例とは性格が異なる。後者の事例は皿類・法量の小さい小椀類に見られ、Ⅱ期３段階以降に確認できる。

Ｂ・紋様の変遷（第191図）

個々の紋様を組み合わせて分析すると、鶴紋・亀紋を中心に展開する紋様構成（Ａ類）と松紋・竹紋を中心に展開する紋様構成（Ｂ類）と個々の紋様を単独で使用する紋様がある。それぞれの紋様構成の変容は次のように示すことができる。

Ⅱ期１段階（15世紀末～16世紀前半）

紋様構成Ａ１ａ類　　鶴紋Ｂ１類複数個と亀紋１類一個の組合せ

紋様構成Ａ２ａ類　　鵜紋Ｂ２類一個と鵜紋Ｄ類と亀紋１類一個の組合せ

紋様構成Ａ３類　　鵜紋Ａ１類と松紋・竹紋・菊紋の組合せ

紋様構成Ｂ類　　宝珠紋・雲紋・竹紋の組合せ

Ⅱ期２段階（16世紀中ごろ～16世紀後半）

紋様構成Ａ１ｂ類　　鵜紋Ｂ４類一個と亀紋２類一個の組合せ

紋様構成Ａ２ａ類　　鵜紋Ｂ２類一個と鵜紋Ｄ類と亀紋１類一個の組合せ

紋様構成Ａ２ｂ類　　鵜紋Ｂ３類と鵜紋Ｄ類と亀紋１類の組合せ

紋様構成Ａ４ａ類　　鵜紋Ａ２類単独

紋様構成Ｂ類　　松紋・竹紋・宝珠紋の組合せ

Ⅱ期３段階（16世紀末～17世紀初）

紋様構成Ａ２ａ類　　鵜紋Ｂ２類と鵜紋Ｄ類と亀紋１類の組合せ

紋様構成Ａ２ｂ類　　鵜紋Ｂ３類と鵜紋Ｄ類と亀紋１類の組合せ

紋様構成Ａ４ｂ類　　鵜紋Ｃ類単独（もしくは亀紋１類の組合せ）

紋様構成Ｂ類　　松紋・竹紋・菊紋の組合せ

Ⅱ期４段階（17世紀初～17世紀中ごろ）

紋様構成Ａ類・Ｂ類は存在しない。家紋又は家紋に類似する紋様を単独で用いるものが主体である。

なお、Ⅰ期の漆器紋様は内面全面に紋様パターンを繰り返すもので、これまで分析したⅡ期の体部外面に描く方法とは明確に異なる。また、Ⅲ期の紋様は、Ⅱ期でみられた鵜紋・亀紋・宝珠紋・雲紋・松紋・竹紋・菊紋・扇紋などはあまり存在しない。１段階では草花紋が存在するものの２段階になると紋様自体がなくなる傾向が認められる。

従って、鵜紋・亀紋・宝珠紋・雲紋・松紋・竹紋・菊紋・扇紋などの紋様群は、Ⅱ期１段階からⅡ期３段階に典型的にみられる施紋であり、Ⅱ期４段階以降Ⅲ期を通じて紋様は著しく変化する。しかも、既にⅡ期３段階で、鵜紋・亀紋の組合せのバラエティーはやや減少、宝珠紋は姿を消し、Ⅱ期前半にみられる紋様モチーフは衰退する気配が伺える。また、紋様の比率を見ると、鵜亀紋36％・扇紋12％・亀甲紋６％・宝珠紋や俵紋など16％・その他の草花紋など30％と鵜亀紋の比率が高い。しかも鵜亀紋の割合はⅡ期の早い段階の方が高く、草花紋は低い。

Ｃ・紋様の意味

Ⅱ期１段階からⅡ期３段階まで（15世紀末～17世紀初与戦国時代）に典型的にみられる鵜紋・亀紋・宝珠紋・雲紋・松紋・竹紋・菊紋・扇紋などの紋様群には、どの様な意味が込められているのであろうか。

鵜紋は、古くは正倉院御物にも見られる紋様で、一般に延命長寿の象徴として用いられている。鵜紋は松・竹・亀と組み合わされることが多く、祥瑞思想・浄土信仰・飛行界天思想を表現しているといえる。鵜紋様のバリエーションには鵜単独・松喰鵜・仙人を乗せた鵜などがあり、これらは蓬莱や須弥山などの東洋的理想郷を表現したものであった[34]と思われ、鵜紋Ｄ類と分類したものはこれを描いたのかもしれない。祥瑞紋様には他に菊花紋などがあり、これも清洲城下町遺跡から出土した漆器にみられる紋様である。また、扇紋は法華信仰と華麗な貴族の生活あるいは将来の繁栄を表現してい

る。この様に、Ⅱ期の漆器紋様群は祥瑞思想などを表現したもので延寿や繁栄を祈念したものであろう。

日常生活道具の中で、この様な祥瑞思想などを表現したものは、中国製の染付製品を除くと、下駄の表面に毛彫りされた笹の葉紋を挙げることができる程度である。[35]この様に、日常生活道具――特に椀A類・椀B類という比較的多量に出土するもの――に祥瑞紋様を描くことによってどの様な意味を込めたかその背景を明らかにする力量を持ち合わせていないが、戦国時代という不安定な時代背景から導き出された人々の心情が伺えよう。これは後述するように、尾張地域に限らず、全国的な思潮でもある。

4．漆器の生産

漆器の生産地の特定や製作の過程についてははほとんど判明していないのが現状である。特に清洲城下町遺跡の場合、漆器生産に伴う工具などの資料が全く出土しておらず、生産の様相は全く不明である。この項では、漆器の生産地について若干の指摘を行う。

A・樹種同定

前章で分析したように樹種同定から次の点を確認できた。

① 時期によって樹種構成に若干の変化が認められる。

② 地点による樹種構成に差はなく、武家屋敷と町屋敷とも共通の樹種を用いた。

③ 器種による樹種構成に差はなく、特定の形が特定の産地を示さない。

樹種同定の結果から分かることは、漆器に使用された木地の産地についての情報に過ぎない。結果としてまだ木地の産地は特定し得ないが、時期による樹種構成の変化から16世紀後半ぐらいに木地の産地が移動した可能性は指摘できる。

B・漆器の紋様

漆器の紋様から、漆器生産に関わる問題点を抽出したい。

Ⅱ期に通有の鶴紋・亀紋・宝珠紋・雲紋・松紋・竹紋・菊紋・扇紋・鋏紋などの紋様群は同時代の他の地域の遺跡から出土した漆器紋様にも認められる。ここでは、他地域の遺跡から出土した鶴紋を取り上げてみる。ただし、資料は筆者の目についた主なものを抜き出しただけに過ぎず、もとより網羅的なものではないことをあらかじめ断わっておきたい。[36]

他地域の遺跡から出土した鶴紋を、前述の分類に当てはめ、分類毎に評価を加える。

鶴紋A類　北海道から九州地方にまで認められる。しかもそれぞれの地域（遺跡）毎に紋様の形状が異なっている点が挙げられよう。清須城下町でみられる二重丸で囲む鶴紋A１類は類例が少ない。また、鶴の羽の描き方は、西日本によくみられる横線で描く方式と、東日本でよくみられる下端部から上方に向けて縦線で描く方式の２者がある。

鶴紋B類　東北地方から九州地方の間でみられる。やはり、それぞれの地域（遺跡）毎に紋様の形状が異なっている点を指摘できる。ただし、地方毎の特徴・類型化は把握できなかった。

鶴紋C類　類例が少ない。清洲城下町遺跡の出土資料は、簡略化が著しく特徴的である。

大雑把ではあるが、一つの鶴紋様を見ただけでも地域性が顕著に伺われることが判明する。もとよ

り、紋様の細かな差が個体差か地域差かは判断に曖昧な点が残るが、このことから中国製の磁器や瀬戸美濃産の陶器のように特定産地で漆塗りが行われ全国規模で流通したものとは思われない。むしろ、少なくとも漆塗に関しては土師器の煮炊具（鍋・釜）のように「在地」で製作し、「在地」で使用した様相[21]が伺われる。問題は紋様の地域性がどの程度の範囲を占めるのかという点であるが、ここでは紋様と産地の関係について検討することが有意であることを指摘しておくことにとどめたい。しかしながら漆器の紋様のモチーフや椀の形は他の地域と余り異ならない点を考えると、祖形となる漆器が存在し、時代の潮流は同一であることや、あるいはそれぞれの生産地に密接な関係があったことなどが考慮されるだろう。

5．まとめ

漆器の極表面的な観察によって、時期的な変化と生産地や紋様意匠の問題について若干の指摘を試みた。結果として、漆器に施された紋様に込められた思い・漆器の在地性について新たな問題点を指摘したに過ぎなかった。今後の一層の検討が必要であろう。

最後に、本稿の作成に当たって、四柳嘉章氏・下津間康夫氏・金子健一氏に御教示いただいた。記して感謝いたします。

（鈴木正貴）

註

(1) ここでいう「清須城下町」は戦国時代の清須城に付随する城下町を指し、清洲城下町遺跡はもちろん朝日西遺跡の戦国時代の資料もこれに当てはまる。

(2) 四柳嘉章「能登の中世漆器－編年と下地技法、樹種利用の特質について」『漆工史』第12号　漆工史学会　1989など

(3) 北野信彦「近世出土漆器に関する一調査方法」『考古学ジャーナル』322 ニューサイエンス社1990など

(4) 中井さやか「十六世紀の漆椀－特に三重椀との関連について」『考古学の世界』1989

(5) この他に南洋一郎「漆椀・皿に関する二、三の問題－一乗谷の漆製品の観察結果から」『朝倉氏遺跡資料館紀要』朝倉氏遺跡資料館1987などの研究がある。また、広島考古学研究会の『中世遺跡出土の漆器』1985などの資料集成がある。

(6) 梅村清春「清洲城下町遺跡出土の木製挽物漆器について－漆器椀を中心として－」『年報昭和61年度』㈶愛知県埋蔵文化財センター1987

(7) 北野信彦「近世尾張における生活什器としての出土漆器資料」『愛知大学綜合郷土研究所紀要第35輯』1990　愛知大学

(8) 拙稿「愛知県清洲城下町遺跡出土の漆器小考」『マージナル』No10愛知考古学談話会1990

(9) 註(8)と同じ。

(10) 四柳嘉章「Ⅱ中・近世漆器の編年」『西川島　能登における中世村落の発掘調査』石川県穴水町教育委員会1987の記述を参考にした。

(11) 『清洲城下町遺跡』㈶愛知県埋蔵文化財センター調査報告書第17集1990他

(12) 註(6)と同じ。

(13) 註(8)と同じ。

(14) 『阿弥陀寺遺跡』㈶愛知県埋蔵文化財センター調査報告書第11集1990

(15) 本書第Ⅱ章

(16) 註(10)と同じ。

(17) 註(10)と同じ。

(18) 『清洲城下町遺跡』「年報平成２年度」㈶愛知県埋蔵文化財センター1991

(19) 『清洲城下町遺跡Ⅱ』㈶愛知県埋蔵文化財センター調査報告書第27集1992

(20) 施釉陶器の編年については藤澤良祐「瀬戸大窯発掘調査報告」『瀬戸市歴史民俗資料館研究紀要Ⅴ』1986などを参照した。

(21) 註(10)と同じ。

(22) 註(9)と同じ。この遺構から出土した資料は１段階と２段階のものを混在するものと思われる。
(23) 註(8)と同じ。
(24) 註(11)と同じ。
(25) 本書第Ⅲ章第６節
(26) 『名古屋城三の丸遺跡Ⅲ』(財)愛知県埋蔵文化財センター調査報告書第39集1992
(27) 「清洲城下町遺跡」『年報昭和63年度』(財)愛知県埋蔵文化財センター1989
(28) 「清洲城下町遺跡」『年報昭和61年度』(財)愛知県埋蔵文化財センター1987
(29) 中野良法「清洲宿についての一考察」『年報昭和62年度』(財)愛知県埋蔵文化財センター1988
(30) 註(6)と同じ。
(31) 「清洲城下町遺跡」『年報昭和61年度』(財)愛知県埋蔵文化財センター1987
(32) 鵜紋ではない可能性が高いがここでは仮に鵜紋Ｄ類と称する。
(33) 上条欣之介『日本文様事典』雄山閣1981
(34) 註(33)と同じ。
(35) 註(33)と同じ。
(36) 広島考古学研究会「中世遺跡出土の漆器」1985を用いて分析した。具体的に図示しなかったが、同書を参照されたい。
(37) 足立順司「内耳鍋の研究」『研究紀要Ⅱ』静岡県埋蔵文化財研究所1985

第Ⅴ章　まとめ

朝日西遺跡は、本センターの前身である財愛知県教育サービスセンター埋蔵文化財調査部が手掛けた第一号の調査遺跡であり、またその後の、清須城とその城下町遺跡調査の出発点ともなった遺跡である。しかし、その調査は失敗から出発した。昭和56年度の第一回目の調査では、地表下約２メートルほどにある古墳時代遺構面の検出に主眼を置いたため、中世及び戦国期の遺構面と包含層をことごとく掘り飛ばすという恥べき失態を犯したのである。廃土の山の中から中世陶磁器片を発見――これが、清須城とその城下町遺跡調査の出発点であった。

本遺跡の発掘調査は、このような経緯を踏まえながらも、その後昭和60年度まで続き、調査面積は総計で13,919平方メートルに及んだ。本章ではまとめとして、遺跡の動向を古墳時代、中世、城下町期、江戸期に区分して要約しておきたい。

古墳時代

明瞭な遺構は発見されず、主として古墳時代後期の６世紀始めから７世紀始めにかけての須恵器が少量発見されたに留まった。５世紀始めまで遡る蓋杯も１点含まれているが、出土状況からして、これらの資料は当該地点に集落が営まれていたことを示すものではなく、近隣からの流入品とみられる。しかし、朝日西遺跡の東側に広く展開している朝日遺跡からは、６世紀代の円墳が検出されているから、周辺に６世紀を前後する頃のムラがあったことは違いない。なお、弥生時代の朝日遺跡とのつながりを示す資料はほとんどなく、朝日遺跡の西端の墓域である墓域Ａがここまで及んではいないことも判明した。

中世

11世紀半ばから15世紀までの遺構と遺物が調査区全域から発見されている。ここでは中世を、古瀬戸（施釉陶器）共伴を指標として、中世Ⅰ期（11世紀半ばから13世紀後半）、Ⅱ期（14・15世紀）に区分し、さらに前者を４小期に細分して取り扱った。

この時期、集落は基本的に、調査区西半の五条川に沿った自然堤防状の微高地上に主要な屋敷地を配置し、東半のやや低い部分（五条川の後背湿地）には井戸を設置する形態を取った。東半部分は水汲場のような空間であったと想像される。屋敷地を溝で区画する形態は、ようやく中世Ⅰ－３期（12世紀後半から13世紀前半）から出現し始めたようで、それ以前に遡る同類の遺構は見あたらない。おそらくは、屋敷地が散漫に分布する集落形態を取っていたのであろう。Ⅰ－３期以降の溝区画を持つ屋敷内には必ず井戸が１カ所設置されていて、個別性の高まった屋敷地が集合する集落へと変化していく様相が窺い知れる。

中世の土器・陶磁器としては、Ⅰ・Ⅱ期を通じて、山茶椀類、土師器、施釉陶器、焼き締め陶器、輸入陶磁器などがみられ、両期ともにその主体を占めているのは山茶椀類である。山茶椀類は、時代が下るにつれて東海地方南部系のものから北部系の製品へと主体を移す傾向を示し、その変化は尾張地域の他の遺跡の場合と軌を一にしている。

器種構成のわかる主要例を２・３あげてみよう。

Ⅰ－３期のＳＤ09からは、山茶椀類椀・皿・鉢、土師器皿・鍋、施釉陶器灰釉四耳壺、焼き締め陶器壺・三筋壺・甕・羽釜、白磁椀・水注、青磁椀・皿、陶錘、加工円盤が出土し、そのうちの約75パーセントを山茶椀類が占めている。常滑・猿投窯産が主体で、瀬戸・渥美・美濃窯製品も一定量みられる。同じくⅠ－３期に属すＳＤ133からは、山茶椀類椀・皿・鉢、土師器皿・鍋・釜、施釉陶器鉢・四耳壺・壺、焼き締め陶器壺・三筋壺・小壺・水注・甕・釜、白磁椀・皿・四耳壺、青磁椀・皿、青白磁椀・瓶・合子、瓦器羽釜、灰釉陶器、緑釉陶器、陶錘、陶丸などが出土している。山茶椀類の出土比は約34パーセントで、その産地区分はＳＤ09と同様である。しかし、この溝では土師器皿が約51パーセントと最多を占め、遺構の性格は一様ではない。

同じように、中世Ⅱ期に属すＳＤ164からも山茶椀類椀・皿・鉢、土師器皿・鍋、施釉陶器灰釉平椀・皿・卸皿・四耳壺・鉢、焼き締め陶器壺・甕、青磁椀、白磁椀、陶丸などが出土している。山茶椀類は全体の約50パーセント、土師器皿は30パーセント弱を占め、施釉陶器の器種が豊富になっている点に特色がみられる。

14世紀の中ごろに記述された『神鳳鈔』によれば、当時、清須の地に御厨がおかれており、おそらくは本遺跡の辺りもその範囲に含まれていたと考えられる。そうしてみると、当時、御厨内の朝日西遺跡の集落に住んでいた人々が使用していた日常容器は、Ⅰ期においては、主として常滑窯から供給された茶椀類と壺・甕類、少量ではあるが瀬戸窯産の施釉壺・鉢類、中国から輸入された高級品である青磁・白磁製品から成り立っていたといえる。そしてⅡ期になると、この組合せのうち、茶椀類のみが瀬戸・美濃窯産へと変化していくことになるわけである。このような傾向は、先述のとおり尾張地域の中世集落に共通している。

城下町期

清須城とその城下町遺跡における城下町期の時代は天正14年を境に前・後の２期に区分されており、本遺跡ではおもに後期の遺構群が検出された。しかし、遺物の上で大窯Ⅱ・Ⅲ期の瀬戸窯製品、及びそれらを伴う溝・土坑も発見されており、当該地においても既に16世紀中ごろ前後から何等かの形で町づくりが始まっていたと考えた方がいいようである。

城下町期後期の遺構の中で特記すべきは、調査区東端部で発見された大溝ＳＤ222であろう。南北方向に走り、幅15メートル、深さ2.5メートルを測るこの溝は、清須城の外堀と考えられるものであり、名古屋市蓬左文庫が所蔵する「春日井郡清須村古城絵図」の堀跡とも概ね一致している。典味深いのは堀の西肩、すなわち堀に向かって内側に設けられた一段低い幅３－11メートルのテラス状の部分である。このような堀の構造は清洲城下町遺跡の他の地点でも確認されており（本センター調査報告書第27集『清洲城下町遺跡Ⅱ』）、近世城郭における武者走りを思わせる。今後分析していくべき課題であると考える。

建物遺構は調査区西半の自然堤防の微高地上に広がっており、掘立柱建物が少なくとも７棟は確認されている。柱穴内に礎石ないし根石をおく構造で、建物規模も１間×２間と小規模なものから、４間×２間まである。３間×２間の建物が４棟みられ標準的なようである。横屋が付くＳＢ01、庇が付

いていたとみられるＳＢ04・05もある。これらの建物は、小牧街道の両側に展開していた町屋の一部あるいはその東側に続く寺社地の建物との考え方もあるが、なお検討の余地があろう。

城下町期の遺物は、実際には混在して出土する場合が多く、したがって遺物から遺構を明確に前期と後期とに区別することは容易ではない。両期を通じて瀬戸・美濃窯製品が圧倒的に多く、前期では施釉陶器天目茶椀・丸椀・平椀・各種皿類、土師器皿・鍋・釜、青磁、白磁、染付の椀・皿があり、後期ではそれらに加えて朝鮮陶器椀・皿・徳利、信楽、京都、備前、唐津などの製品が少量みられる。

主要な遺構から、この時期の遺物のあり方をみてみよう。

ＳＤ117は人骨・獣骨・位牌などが特異な状態で出土した溝であるが、伴出した陶器は大窯Ⅴ期から登窯Ⅰ期のものに限られていて、時期幅がかなりまとまっている。瀬戸・美濃窯産の天目茶椀・灰釉皿・鉄釉皿・長石釉皿・長石釉向付・重箱皿・大皿・徳利・擂鉢、土師器皿・内耳鍋・茶釜形羽釜・直口両耳鍋、土犬・土鈴などがみられるが、ただし、この遺構の場合、土師器皿が全体の57パーセントを占めていて、先の特異な資料とも絡んで、一般性を低いものにしている。もう一例、ＳＤ200は「慶長三年」(1598) と「慶長四年」(1599) 銘の卒塔婆、そして「文禄貳年」と墨書された鉄釉筒型椀が出土した重要な溝である。ここからは、天目茶椀・灰釉皿・鉄釉皿・長石釉皿・長石釉向付・徳利・擂鉢などの瀬戸・美濃窯製品、楽焼の小片、瓦器、土師器皿、木製品、五輪塔などが出土しているが、しかしここでも瀬戸・美濃窯製品は大窯Ⅱ期からⅤ期・登窯Ⅰ期のものまでみられ、一括資料として扱うことはできない。

このように、これらの興味を引く溝からの出土遺物をより厳密な意味での同時代資料として扱っていくためには、厳格な型式学に基づいたセリエーション作業を必要としている。本報文ではこの作業が欠如しており、それができるならばこれらの資料は同時代性としての鋭を取り戻すことが可能となる。むしろ今は、ＳＤ63やＳＫ282などから出土したほぼ単一な時期とみられる資料から、城下町後期の遺物のあり方を追った方がよいかも知れない。

このほかに、下駄・井戸桶・曲物・卒塔婆・人形・漆器椀・漆椀皿などの木製品が多数出土している。これらのうちには、年輪年代測定に役立てられたものがあり、その成果を今後の清洲城下町遺跡調査に生かしていくことが求められる。

江戸期

慶長15年 (1610) から始まったいわゆる清須越しによって、清須城下町は取り壊されていくが、調査区からは、小牧街道沿いの江戸期の屋敷跡が一部確認されている。溝で画された方形の屋敷で、その内部から井戸跡が検出された。17世紀から19世紀までの陶磁器類が街道沿いから出土しており、幕末までほとんど変わることなく小牧街道に沿った一本街村状の集落景観が続き、近代から現代まで至ってきたものとみられる。

生活用品は、ＳＤ49やＳＫ305、ＳＫ139にみられるように、瀬戸・美濃窯産の腰錆茶椀・天目茶椀・灰釉丸椀・灰釉皿・御深井皿・笠原鉢・擂鉢・水注・香炉・御室茶椀・尾呂茶椀・土瓶、常滑窯産の火鉢・甕、土師器焙烙鍋・皿などが主体で、これに少量の肥前窯産の磁器椀・皿・仏飯具などが加わっている。城下町期とは違って、中国、朝鮮からの輸入品がほとんどみられなかった点に庶民性が

表れている。

最後に、本遺跡を含む清須城とその城下町遺跡については、昭和63年度にシンポジウムが開かれるなど、戦国期の城下町の構造、中世都市の問題等の話題が先行してきたが、本報文が不十分ながらその前提となった基本的データであることを付記しておきたい。（加藤安信）

報告書抄録

フリガナ	アサヒニシイセキ
書名	朝日西遺跡
副書名	
巻次	
シリーズ名	愛知県埋蔵文化財センター調査報告書
シリーズ番号	第28集
編著者名	小澤一弘・遠藤才文・城ヶ谷和広・鈴木正貴・江原昭善・松本真・木下実・加藤安信
編集機関	財団法人愛知県埋蔵文化財センター
所在地	〒498 愛知県海部郡弥富町大字前ヶ須新田字野方802－24
発行年	西暦1992年3月30日

フリガナ 所収遺跡名	フリガナ 所在地	コード 市町村	コード 遺跡番号	北緯 ° ′ ″	東経 ° ′ ″	調査期間	調査面積㎡	調査原因
アサヒニシ 朝日西	ニシカスガイグンキヨスチョウ 西春日井郡清洲町大字 朝日	21	21002	35°2′58″	136°54′	19810401 19810930	1,010	道路建設
						19820501 19820831	800	
						19830601 19831031	2,000	
						19840601 19850331	6,407	
						19850401 19851131	3,702	

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
朝日西	集落跡 城館跡	古墳時代		須恵器	
		中世	掘立柱建物 4 井戸 30 他	山茶椀類、土師器 常滑窯産三筋壺・壺・甕 瀬戸美濃窯産椀・皿・壺 青磁、白磁	溝区画の屋敷跡
		室町・戦国時代	掘立柱建物 7 井戸 41 他	瀬戸美濃窯産椀・皿、土師器 朝鮮陶器、青磁、白磁、漆器 人骨・獣骨	清洲城外堀 紀年銘のある卒塔婆、墨書土器
		江戸	掘立柱建物 1 井戸 18	瀬戸美濃窯産椀・皿・壺	

付　表

凡例

1．遺構一覧表の時期については、以下のような略称を用いた。

中Ⅰ――中世Ⅰ期

中Ⅱ――中世Ⅱ期

城Ⅰ――城下町期前期

城Ⅱ――城下町期後期

村　――朝日村期

2．グリッドは、本センターで用いている5ｍグリッドの名称である。

3．遺構一覧表の登録番号とは、調査当時に付けた調査区別遺構番号である。

4．遺物観察表の数値のうち（　）内は反転復元値を示す。また－は計測不能を意味する。

遺 構 一 覧 表

建 物 (SB)

遺構番号	時 期	グリッド	調査区	登録番号
SB01	城	ⅦA10-12g-j	58	SB 01
SB02	中	ⅦA12-14f-h	58	SB 02
SB03	城	ⅦA11, 12mn	57	SB 01
SB04	城	ⅦB3jk	59E2	−
SB05	城	ⅦB9, 10lm	59E2	−
SB06	城	ⅦB8no	59E	−
SB07	城	ⅦB6, 7op	59E	−
SB08	城	ⅥB20rs, ⅦB1rs	59E	−
SB09	中	ⅥC20f, ⅦC1f	59C	SB 01
SB10	中	ⅥC19, 20t, ⅦD19, 20a	59A	SB 02
SB11	中	ⅦD1-3a-c	59B	SB 01

柵 列 (SA)

遺構番号	時 期	グリッド	調査区	登録番号
SA01	−	ⅦB3-5o	59E2	−
SA02	−	ⅦB3-5p	59E	−
SA03	−	ⅦB7-9s	60B	SA 01

池 (SP)

遺構番号	時 期	グリッド	調査区	登録番号
SP01	城Ⅱ 中Ⅰ (城Ⅱ相)	ⅦA12-14b-e ⅦA14-16c-e	58 59G	SP 01 SX 02

不明遺構 (SX)

遺構番号	時 期	グリッド	調査区	登録番号
SX01	−	ⅦA10p	57	SX 01
SX02	−	ⅦJ15, 16t, ⅦA15, 16ab	59G	SX 03
SX03	村	ⅦA13rs	59G	SX 01
SX04	村	ⅥB20t, ⅦC20a, ⅦB1, 2t, ⅦC1a	60B	SX 01

溝 (SD)

遺構番号	時 期	グリッド	調査区	登録番号
SD01	城Ⅱ	ⅦA12, 13d	58	SD 26
SD02	城Ⅱ	ⅦA12, 13d	58	SD 23
SD03	中Ⅰ	ⅦA12, 13de	58	SD 22
SD04	城Ⅱ?	ⅦA12, 13de	58	SD 25
SD05	城Ⅱ	ⅦA6, 7h	58	SD 20
SD06	城Ⅱ	ⅦA6-14gh	58	SD 18
	中Ⅰ	ⅦA14g	59G	SD 16
SD07	村	ⅦA7-9f-m	58	SD 11
SD08	中Ⅰ	ⅦA8g-i	58	SD 17
SD09	中Ⅰ	ⅦA8-13g-k	58	SD 09
	中Ⅰ	ⅦA14, 15ij	59G	SD 25
SD10	村	ⅦA8, 9h	58	SD 10C
SD11	−	ⅦA10, 11m-o	57	SD 15
	村	ⅦA9, 10g-m	58	SD 10
	村	ⅦA9g-i	58	SD 10A
	村	ⅦA9g-i	58	SD 10B
SD12	中Ⅰ	ⅦA9, 10g	58	SD 19
SD13	中Ⅰ	ⅦA10j	58	SD 21
SD14	−	ⅦA10j	58	SD 16
SD15	中Ⅰ	ⅦA10ij	58	SD 15
SD16	中Ⅰ	ⅦA10ij	58	SD 14
SD17	中Ⅰ	ⅦA9-12i-k	58	SD 13
SD18	中Ⅰ	ⅦA9K	58	SD 12
SD19	中Ⅱ	ⅦA6l-n	58	SD 04
SD20	中Ⅰ	ⅦA6-8no	58	SD 05
SD21	中Ⅰ	ⅦA7, 8no	58	SD 08
SD22	中Ⅰ	ⅦA8mn	58	SD 07
SD23	中Ⅰ	ⅦA8, 9mn	58	SD 06
SD24	城Ⅱ 城Ⅱ (村)	ⅦA6, 7p ⅦA3-5pq	58 59F	SK 25 SD 02
SD25	城Ⅱ	ⅦA7, 8op	58	SD 03
SD26	村	ⅦA9-12op	57	SD 12
	城Ⅱ	ⅦA7, 8p	58	SD 02
	村	ⅦA13, 14no	59G	SD 14
SD27	城Ⅱ (村) 城Ⅱ 城Ⅱ	ⅦA9-12pq ⅦA7, 8pq ⅦA13, 14op	57 58 59G	SD 08 SD 01 SD 12
SD28	中Ⅰ (城ⅠⅡ)	ⅦA6-8rs	58	SD 24
	−	ⅦA5, 6rs	59F	SD 11
SD29	村	ⅦA10o	57	SD 14
SD30	村	ⅦA10o	57	SD 13
SD31	−	ⅦA11no	57	SD 16
SD32	−	ⅦA11op	57	SD 09
SD33	村	ⅦA11, 12p	57	SD 11
SD34	村	ⅦA12p	57	SD 10
SD35	城Ⅱ	ⅦA9, 10r	57	SD 05
SD36	城Ⅱ	ⅦA9, 10rs	57	SD 03

遺構番号	時　期	グリッド	調査区	登録番号
SD37	－	ⅦA10qr	57	SD 06
SD38	村	ⅦA10, 11qr	57	SD 04
SD39	村	ⅦA11rs	57	SD 01
	村	ⅦA12t, ⅦB12a	59G	SD 05
SD40	－	ⅦA11r	57	SD 02
	村	ⅦA12t, ⅦB12a	59G	SD 04
SD41	村	ⅦA12pq	57	SD 07
SD42	城Ⅱ	ⅦA9-12rs?	57	SD 17
	(村)			
	中Ⅱ	ⅦA3-6r-t	59F	SD 14
	(城Ⅱ)			
	中Ⅰ	ⅦA12-14q-s	59G	SD 08
	城Ⅱ			
SD43	村	ⅦA4, 5mn	59F	SD 05
SD44	村	ⅦA4, 5n-g	59F	SD 01
SD45	中Ⅱ	ⅦA4op	59F	SD 04
SD46	中Ⅰ	ⅦA4, 5o-r	59F	SD 03
SD47	中Ⅰ	ⅦA3, 4r	59F	SD 12
SD48	村	ⅦA5r	59F	SD 13
SD49	村	ⅦB2, 3a-d	59F	SD 06
SD50	村	ⅦB3-6c	59F	SD 07
SD51	－	ⅦB3c	59F	SD 15
SD52	－	ⅦB3, 4c	59F	SD 16
SD53	－	ⅦB3, 4cd	59F	SD 17
SD54	－	ⅦB4cd	59F	SD 18
SD55	中Ⅰ	ⅦA4, 5t, Ⅴ5ⅢB	59F	SD 08
	(Ⅱ)	4, 5a-d		
	中Ⅰ	ⅦB3, 4, (5) c-g	60C	SD 06
SD56	中Ⅰ	ⅦA4, 5b	59F	SD 09
SD57	城Ⅰ	ⅦB6c	59F	SD 10
SD58	城Ⅱ	ⅦA15, 16b	59G	SD 23
SD59	中Ⅰ	ⅦA15, 16bc	59G	SD 24
SD60	村	ⅦA14, 15c	59G	SD 22
SD61	村	ⅦA15, 16cd	59G	SD 21
SD62	中Ⅰ	ⅦA14, 15e-g	59G	SD 18
SD63	城Ⅱ	ⅦA15, 16fg	59G	SD 19
SD64	中	ⅦA15h	59G	SD 17
SD65	－	ⅦA13, 14o	59G	SD 13
SD66	城	ⅦA13o	59G	SD 13
SD67	－	ⅦA13p	59G	SD 11
SD68	城Ⅱ	ⅦA13p	59G	SD 10
SD69	城Ⅱ	ⅦA12-14q	59G	SD 09
SD70	－	ⅦA13r	59G	SD 15
SD71	村	ⅦA12-14rs	59G	SD 15
SD72	村	ⅦA12, 13st, ⅦB	59G	SD 01
		12, 13a		
SD73	村	ⅦA13t	59G	SD 03
SD74	村	ⅦB12a	59G	SD 02
SD75	中Ⅱ	ⅦA4, 5c-g	60C	SD 02
SD76	中Ⅰ	ⅦB9-12bc	60C	SD 01

遺構番号	時　期	グリッド	調査区	登録番号
SD77	村	ⅦB6e	60C	SD 07
SD78	中?	ⅦB3, 4ef	60C	SD 05
SD79	村	ⅦB2-4f	60C	SD 04
SD80	城Ⅱ	ⅦB2fg	59E2	SKI 30
	城	ⅦB2-4fg	60C	SD 03
SD81	中?	ⅦB2, 3gh	59E2	SD 42
SD82	村	ⅦB2h-l	59E2	SD 40
SD83	村	ⅦB1, 2i-l	59E2	SD 41
SD84	中Ⅰ?	ⅦB2i-k	59E2	SD 44
SD85	城?	ⅦB2i	59E2	SD 43
SD86	村	ⅦB1jk	59E2	SD 45
SD87	村	ⅦB2o-s	59E	SD 33
	村	ⅦB1, 2k-o	59E2	SD 47
	村	ⅦB2st	60B	SD 12
SD88	城	ⅦB1-3kl	59E2	SD 46
SD89	－	ⅦB1-3kl	59E2	SD 86
SD90	城Ⅱ	ⅦB1, 2l	59E2	SD 48
SD91	城	ⅦB1-3l	59E2	SD 49
SD92	村	ⅦB3l	59E2	SD 60
SD93	城Ⅱ	ⅦB1-3lm	59E2	SD 56
SD94	城Ⅱ	ⅦB3lm	59E2	SD 65
SD95	村	ⅦB1-3lm	59E2	SD 58
SD96	村	ⅦB3m	59E2	SD 64
SD97	村	ⅦB3, 4o-s	59E	SD 34
	－	ⅦB2, 3l-o	59E2	SD 34
	－	ⅦB4s	60B	SD 08
SD98	中	ⅦB1, 2m	59E2	SD 63
SD99	－	ⅦB2m	59E2	SD 85
SD100	村	ⅦB2mn	59E2	SD 61
SD101	－	ⅦB1no	59E2	SD 50
SD102	－	ⅦB1no	59E2	SD 51
SD103	－	ⅦB1no	59E2	SD 53
SD104	－	ⅦB1no	59E2	SD 52
SD105	－	ⅦB2no	59E2	SD 54
SD106	－	ⅦB2m-o	59E2	SD 55
SD107	中Ⅰ	ⅦB3mn	59E2	SD 59
SD108	中Ⅰ	ⅦB6, 7t, ⅦC6,	59D	SD 01
	(Ⅱ)	7ab		
	中Ⅰ	ⅦB5, 6o-s	59E	SD 37
	中Ⅰ	ⅦB4-6m-o	59E2	SD 37
	(Ⅱ)			
	中ⅠⅡ	ⅦB6, 7st	60B	SD 09
SD109	中Ⅰ	ⅦB8no	59E	SD 20
	中	ⅦB7, 8mn	59E2	SD 72
SD110	－	ⅦB12e	59E2	SD 66
SD111	城Ⅱ	ⅦB11, 12ef	59E2	SD 67
SD112	城Ⅱ	ⅦB11, 12fg	59E2	SD 68
SD113	－	ⅦB11, 12gh	59E2	SD 69B
SD114	中Ⅰ	ⅦB11h	59E2	SD 70
SD115	中?	ⅦB11j	59E2	SD 73

遺構番号	時　期	グリッド	調査区	登録番号
SD116	城ⅠⅡ	ⅧB10, 11k	59E2	SD 74
SD117	－	ⅧB10, 11k	59E2	SD 87
SD118	中Ⅱ	ⅧB10, 11k	59E2	SD 75
SD119	中Ⅱ	ⅧB10, 11kl	59E2	SD 76
SD120	中?	ⅧB9-11l	59E2	SD 77
SD121	中Ⅰ	ⅧB9-11l	59E2	SD 78
SD122	中Ⅰ	ⅧB9-11l	59E2	SD 79
SD123	中Ⅰ	ⅧB9, 10l	59E2	SD 80
SD124	中?	ⅧB8-10m	59E2	SD 81
SD125	中Ⅰ	ⅧB8-10m	59E2	SD 82
SD126	中?	ⅧB10m	59E2	SD 84
SD127	中?	ⅧB10m	59E2	SD 83
SD128	－	ⅧB3qr	59E	SD 32
SD129	村	ⅧB3o-r	59E	SD 35
SD130	中Ⅰ	ⅧB3, 4pq	59E	SD 31
SD131	城Ⅱ	ⅧB6p	59E	SD 36
SD132	中Ⅱ	ⅧB6, 7q	59E	SD 38
SD133	中Ⅰ	ⅧB6-10p-r	59E	SD 01
SD134	村	ⅧB7qr	59E	SD 39
SD135	城Ⅱ	ⅧB8n	59E	SD 03
SD136	中Ⅰ	ⅧB8n	59E	SD 05
SD137	中Ⅱ	ⅧB8n	59E	SD 07
SD138	中	ⅧB8o	59E	SD 13
SD139	中Ⅰ (村?)	ⅧB8, 9no	59E	SD 06
SD140	中Ⅰ	ⅧB9n	59E	SD 19B
SD141	－	ⅧB9o	59E	SD 16
SD142	－	ⅧB9, 10op	59E	SD 17
SD143	中	ⅧB9, 10op	59E	SD 18
SD144	－	ⅧB9, 10op	59E	SD 21
SD145	中Ⅰ	ⅧB10op	59E	SD 02
SD146	－	ⅧB8p	59E	SD 22
SD147	中Ⅰ	ⅧB8p	59E	SD 14
SD148	中Ⅱ	ⅧB8p	59E	SD 15
SD149	中Ⅰ	ⅧB8p	59E	SD 08
SD150	－	ⅧB9p	59E	SD 12
SD151	中Ⅰ	ⅧB8qr	59E	SD 04
SD152	中Ⅰ	ⅧB3st	60B	SD 02
SD153	村	ⅦB20t, ⅧB1-3t	60B	SD 01
SD154	城	ⅧB3t	60B	SD 03
SD155	村	ⅧB3, 4t	60B	SD 04
SD156	村	ⅧB6t	60B	SD 05
SD157	村	ⅧB7-9st	60B	SD 06
SD158	－	ⅧB7, 8t	60B	SD 10
SD159	中Ⅰ	ⅧB8, 9st	60B	SD 11
SD160	中Ⅱ?	ⅧC2ab	59C	SD 04
SD161	－	ⅧC3a	59C	SD 02
SD162	中Ⅰ	ⅧC4ab	59C	SD 01
SD163	中Ⅰ	ⅧC2-4b	59C	SD 03

遺構番号	時　期	グリッド	調査区	登録番号
SD164	中ⅠⅡ	ⅦC19, 20de, ⅧC1-5c-e	59C	SD 05
	中Ⅰ (Ⅱ)	ⅧC1-5c-e	59C	SD 10
	中ⅠⅡ	ⅧC5-9bc	59D	SD 07
SD165	－	ⅦC20ef	59C	SD 06
SD166	中Ⅰ城Ⅱ	ⅧC2e-g	59C	SD 11
SD167	城Ⅱ 村	ⅦC1, 2gh ⅦC19, 20h	59C 59C	SD 15A SD 17
SD168	村	ⅦC20hi, ⅧC1-3f-h	59C	SD 13
SD169	中	ⅧC1-3g-i	59C	SD 16
SD170	中Ⅱ (城Ⅱ)	ⅧC2, 3g-j	59C	SD 14
SD171	城Ⅱ	ⅧC1～4h	59C	SD 15B
SD172	村	ⅧC2h-j	59C	SD 18
SD173	村	ⅧC3i	59C	SD 19
SD174	城	ⅧC3i	59C	SD 22
SD175	中	ⅧC4i	59C	SD 21
SD176	中	ⅧC4hi	59C	SD 20
SD177	－ 城Ⅱ	ⅧC4fg ⅧC4-8e-g	59C 59D	SD 08 SD 11
SD178	中Ⅰ?	ⅦC18, 19ij	59C	SD 09
SD179	中Ⅱ	ⅧB7-9t, ⅧC7a	59D	SD 02
SD180	－	ⅧB7-9t	59D	SD 02
SD181	中Ⅰ (Ⅱ)	ⅧB7-9t, ⅧC7, 8a	59D	SD 03
SD182	村	ⅧC6a-c	59D	SD 06
SD183	中Ⅰ	ⅧC7, 8cd	59D	SD 08
SD184	中Ⅱ	ⅧC5-8c-e	59D	SD 10
SD185	中Ⅰ	ⅧC8de	59D	SD 09
SD186	村	ⅧC7, 8g	59D	SD 13
SD187	城Ⅱ	ⅧC7, 8gh	59D	SD 12
SD188	城Ⅱ	ⅧC4, 5h	59D	SD 15
SD189	－ 城Ⅱ 城Ⅱ	ⅧC6, 7k-n ⅧC5-7hi ⅧC5-7jk	59B 59D 60A	SD 14 SD 14 SD 01
SD190	中?	ⅧC2Kl	60A	SD 04
SD191	城Ⅱ	ⅧC3Kl	60A	SD 03
SD192	村?	ⅧC3Kl	60A	SD 02
SD193	中Ⅱ	ⅦC19, 20n-p	59A	SD 16
SD194	－ －	ⅦC19, 20n-q, ⅧC1q ⅦC1-3q-s	59A 59B	SD 15 SD 15
SD195	村	ⅦC18, 19p-r	59A	SD 18
SD196	村	ⅦC19, 20p-s	59A	SD 17
SD197	中Ⅰ	ⅦC19, 20qr	59A	SD 19
SD198	中Ⅱ城Ⅱ 中Ⅱ 城Ⅱ	ⅦC19, 20qr, ⅧC1q ⅧC1-4pq	59A 59B	SD 02 SD 02

遺構番号	時　期	グリッド	調査区	登録番号
SD199	城Ⅱ	ⅦC18, 19rs	59A	SD 20
SD200	城Ⅱ (中城村) 城Ⅱ (中城村) 城Ⅰ Ⅱ村	ⅦC18-20st, ⅦD18, 19a-d, ⅦC1st ⅦC1-5r-t ⅦD19, 20d-j	59A 59B 60E	SD 13 SD 13 SD 01
SD201	— —	ⅦC20t, ⅦC1t ⅦD1t	59A 59B	— SD 08
SD202	—	ⅦD18ab	59A	SD 21
SD203	村	ⅦC1, 2lm	59B	SD 10
SD204	中Ⅰ	ⅦC1, 2m-p	59B	SD 03
SD205	中Ⅱ (城Ⅱ村)	ⅦC1, 2l-q	59B	SD 04
SD206	中Ⅱ	ⅦC2lm	59B	SD 12
SD207	村	ⅦC2-5lm	59B	SD 09
SD208	—	ⅦC4m	59B	SD 07
SD209	城Ⅱ	ⅦC5op	59B	SD 06
SD210	—	ⅦC2, 3p	59B	SD 16
SD211	城Ⅱ 中Ⅱ 城Ⅱ	ⅦC3, 4s-t, ⅦD4a-c ⅦC3qr ⅦD4cd	59B 59B 60E	SD 01 SD 05 SD 13

遺構番号	時　期	グリッド	調査区	登録番号
SD212	中Ⅰ	ⅦD3, 4de	60E	SD 09
SD213	中Ⅱ	ⅦD2, 3e	60E	SD 10
SD214	城Ⅱ	ⅦD20fg, ⅦD1-5eg	60E	SD 04
SD215	城Ⅱ	ⅦD20g, ⅦD1-5eg	60E	SD 02
SD216	城	ⅦD18fg	60E	SD 05
SD217	中Ⅱ	ⅦD1, 2fg	60E	SD 07
SD218	中Ⅱ	ⅦD2fg	60E	SD 11
SD219	中 (城村)	ⅦD20i, ⅦD1-4fi	60E	SD 08
SD220	城Ⅱ (城Ⅰ)	ⅦD18gi	60E	SD 06
SD221	城Ⅰ	ⅦD16-18i	60E	SD 12
SD222	城Ⅱ (村) 城Ⅱ (村)	ⅦD17-20k-n, ⅦD1-4K-m ⅦD16-20ij, ⅦD1-4gj	60D 60E	SD 03 SD 03

井　戸
(SE)

遺構番号	時　期	グリッド	調査区	登録番号
SE01	中Ⅱ 中Ⅱ	ⅦA10g ⅦA10g	58 58	SE 06 SE 83
SE02	中Ⅰ 中Ⅰ	ⅦA9ij ⅦA9ij	58 58	SE 05 SE 73
SE03	城Ⅱ 城Ⅱ	ⅦA10, 11Kl ⅦA10, 11Kl	58 58	SE 04 SE 67
SE04	中Ⅰ 中Ⅰ城Ⅱ	ⅦA11, 12Kl ⅦA11, 12Kl	58 58	SE 03 SE 65
SE05	城Ⅱ 城Ⅱ	ⅦA6no ⅦA6, 7no	58 58	SE 02A SK 19
SE06	城Ⅱ	ⅦA6, 7no	58	SK 02B
SE07	城Ⅱ 城Ⅱ	ⅦA7t, ⅦB7a ⅦA7t, ⅦB7a	58 58	SE 01 SE 21
SE08	城Ⅱ	ⅦA12m	57	SE 05
SE09	城Ⅱ	ⅦA12n	57	SE 04
SE10	現代	ⅦA10p	57	SE 03
SE11	現代	ⅦA10p	57	SE 01
SE12	城Ⅱ	ⅦA12p	57	SE 02
SE13	村	ⅦA5p	59F	SK 11
SE14	村	ⅦA4qr	59F	SK 49
SE15	村	ⅦA5s	59F	SK 16
SE16	村	ⅦB5, 6ab	59F	SK 39
SE17	村	ⅦB5c	59F	SK 40
SE18	村	ⅦB4, 5cd	59F	SK 35
SE19	城Ⅱ	ⅦA14i	59G	SK 34

遺構番号	時　期	グリッド	調査区	登録番号
SE20	城	ⅦA13, 14k	59G	SE 09
SE21	村	ⅦA14k	59G	SE 08
SE22	城Ⅱ	ⅦA15kl	59G	SE 07
SE23	城Ⅱ	ⅦA15l	59G	SE 06
SE24	城	ⅦA14, 15lm	59G	SE 05
SE25	城Ⅱ	ⅦA13, 14mn	59G	SE 04
SE26	—	ⅦA14m	59G	SE 03
SE27	村	ⅦA14, 15mn	59G	SE 02
SE28	城Ⅱ	ⅦA13, 14op	59G	SE 01
SE29	—	ⅦB10i	56	SE 03
SE30	—	ⅦB9j	56	SE 01
SE31	—	ⅦB9k	56	SE 02
SE32	—	ⅦB11, 12g	59E2	SE 02
SE33	中Ⅰ	ⅦB11, 12g	59E2	SK216
SE34	城Ⅱ —	ⅦB12hi ⅦB2hi	59E2 59E2	SE 08 SK133
SE35	城Ⅱ 城	ⅦB12hi ⅦB12hi	59E2 59E2	SE 09 SK156
SE36	村	ⅦB11hi	59E2	SE 06
SE37	中Ⅰ	ⅦB16, 11lm	59E2	SE 03
SE38	村 村	ⅦB5o ⅦB5no	59E 59E2	SK102 SE007
SE39	城Ⅱ	ⅦB9op	59E	SK 03
SE40	城Ⅱ	ⅦB5p	59E	SK 98
SE41	—	ⅦB5p	59E	SK 98B

遺構番号	時　期	グリッド	調査区	登録番号
SE42	村	VIIB5pq	59 E	SK106
SE43	城II	VIIB6, 7p	59 E	SK 41
SE44	城II	VIIB8p	59 E	SK 30
SE45	城II	VIIB8, 9p	59 E	SK 02
SE46	城I II	VIIB3q	59 E	SK105
SE47	城II	VIIB3qr	59 E	SK 57
SE48	村	VIIB6, 7qr	59 E	SK 36
SE49	村	VIIB7qr	59 E	SK 36B
SE50	村	VIIB7q	59 E	SK 36C
SE51	城II	VIIB2, 3r	59 E	SK 79
SE52	中 I	VIIB4, 5rs	59 E	SE 01
SE53	村	VIIB7r	59 E	SK 80
SE54	中II	VIIB4, 5st	60 B	SK 15
SE55	中 I	VIIB6, 7rs	60 B	SE 01
SE56	城II	VIIC2, 3ab	59 C	SK 09
SE57	村	VIIC2, 3bc	59 C	SK 05
SE58	城II	VIIC3, 4bc	59 C	SK 15
SE59	城II	VIIC4, 5b	59 C	SK 06
SE60	中 I	VIIC3c	59 C	SK 07
SE61	中II 城 I	VIIC3cd	59 C	SK 04
SE62	城II	VIIC2i	59 C	SK 37
SE63	城II	VIIC7, 8ab	59 D	SK 04
SE64	中 I II 城II村	VIIC7b	59 D	SK 03
SE65	城II	VIIC5c	59 D	SE 02
SE66	中 I	VIIC8d	59 D	SK 11
SE67	中 I	VIIC3k	60 A	SK 04
SE68	城II	VIIC20l	60 A	SK 02
SE69	中 I	VIIC20l, VIIC1l	60 A	SK 03

遺構番号	時　期	グリッド	調査区	登録番号
SE70	城II	VIIC1, 2l	60 A	SK 11
SE71	－	VIIC20m	59 A	SE 13
SE72	中 I	VIIC20mn	59 A	SE 14
SE73	中II	VIIC19, 20no	59 A	SE 15
SE74	－	VIIC20s	59 A	SE 16
SE75	中 I	VIID18, 19t	59 A	SE 17
SE76	中II	VIID18cd	59 A	SE 18
SE77	中 I	VIID20c	59 A	SE 19
SE78	中 I	VIIC5l	59 B	SK 09
SE79	中II	VIIC2, 3m	59 B	SE 03
SE80	－	VIIC5n	59 B	SE 05
SE81	－	VIIC6n	59 B	SE 12
SE82	城II	VIIC2o	59 B	SE 06
SE83	城II	VIIC2, 3op	59 B	SE 04
SE84	城II	VIIC3o	59 B	SE 01
SE85	中 I	VIIC6o	59 B	SE 02
SE86	中II	VIIC1, 2p	59 B	SE 07
SE87	中II	VIIC2p	59 B	SE 09
SE88	城II	VIIC2, 3p	59 B	SE 08
SE89	中 I	VIIC5p	59 B	SK 07
SE90	城II	VIIC2, 3q	59 B	SK 02
SE91	中 I	VIIC1, 2st	59 B	SE 10
SE92	中 I	VIIC3t	59 B	SE 11
SE93	中 I	VIID3, 4a	59 B	SK 03
SE94	城II?	VIID1cd	60 E	SE 03
SE95	中II	VIID3, 4c	60 E	SE 02
SE96	中 I (城 I)	VIID20e, VIID1e	60 E	SE 01
SE97	城II	VIID2, 3ef	60 E	SK 10

土　坑
(SK)

遺構番号	時　期	グリッド	調査区	登録番号
SK 01	－	VIIA13fg	58	－
SK 02	中 I	VIIA13f	58	SK 85
SK 03	中 I (村)	VIIA13, 14f	58	SK 84
SK 04	中 I	VIIA7g	58	SK 81
SK 05	城II	VIIA7gh	58	SK 80
SK 06	中II	VIIA8, 9gh	58	SK 87
SK 07	中 I	VIIA9g	58	SK 86
SK 08	城II	VIIA7hi	58	SK 78
SK 09	中 I	VIIA9, 10hi	58	SK 70
SK 10	中 I	VIIA10h	58	SK 71
SK 11	中II	VIIA11hi	58	SK 82
SK 12	－	VIIA12hi	58	－
SK 13	中II	VIIA7, 8ij	58	SK 76
SK 14	中 I	VIIA8ij	58	SK 72
SK 15	中 I	VIIA10i	58	SK 68
SK 16	－	VIIA11i	58	－
SK 17	中 I	VIIA11i	58	SK 69

遺構番号	時　期	グリッド	調査区	登録番号
SK 18	－	VIIA12i	58	－
SK 19	－	VIIA12i	58	－
SK 20	中 I	VIIA13i	58	SK 79
SK 21	中 I	VIIA6j	58	SK 88
SK 22	中 I 城II	VIIA6, 7j	58	SK 55
SK 23	城II	VIIA7jk	58	SK 49
SK 24	中II	VIIA7, 8j	58	SK 77
SK 25	－	VIIA8j	58	－
SK 26	城II	VIIA9j	58	SK 60
SK 27	村	VIIA9j	58	SK 64
SK 28	中II	VIIA6k	58	SK 48
SK 29	中 I	VIIA6, 7k	58	SK 50
SK 30	中 I	VIIA6, 7k	58	SK 51
SK 31	中 I	VIIA7k	58	SK 56
SK 32	中 I	VIIA7, 8kl	58	SK 89
SK 33	中II	VIIA8kl	58	SK 59
SK 34	中 I	VIIA9k	58	SK 62

遺構番号	時　期	グリッド	調査区	登録番号
SK 35	－	ⅧA9kl	58	－
SK 36	中Ⅰ	ⅧA9, 10k	58	SK 63
SK 37	村	ⅧA10k	58	SK 74
SK 38	中Ⅰ	ⅧA10k	58	SK 75
SK 39	中Ⅰ 城Ⅰ	ⅧA11k	58	SK 66
SK 40	－	ⅧA7l	58	－
SK 41	－	ⅧA8, 9l	58	－
SK 42	－	ⅧA8, 9l	58	－
SK 43	－	ⅧA9l	58	－
SK 44	－	ⅧA9l	58	－
SK 45	－	ⅧA9, 10l	58	－
SK 46	村	ⅧA10l	58	SK 61
SK 47	－	ⅧA7m	58	－
SK 48	城Ⅰ	ⅧA7m	58	SK 01
SK 49	村	ⅧA7m	58	SK 09
SK 50	城Ⅱ	ⅧA7, 8m	58	SK 18
SK 51	－	ⅧA8m	58	－
SK 52	－	ⅧA8m	58	－
SK 53	城Ⅱ	ⅧA9m	58	SK 54
SK 54	村	ⅧA9m	58	SK 53
SK 55	－	ⅧA6, 7n	58	－
SK 56	中Ⅰ	ⅧA8n	58	SK 57
SK 57	中Ⅰ	ⅧA8no	58	SK 47
SK 58	中Ⅱ	ⅧA8n	58	SK 58
SK 59	城Ⅱ	ⅧA8n	58	SK 02
SK 60	中Ⅰ	ⅧA6op	58	SK 17
SK 61	－	ⅧA7o	58	SK 43
SK 62	村	ⅧA7, 8o	58	SK 45
SK 63	中Ⅰ	ⅧA8o	58	SK 46
SK 64	城Ⅱ	ⅧA8op	58	SK 07
SK 65	村	ⅧA6, 7p	58	SK 06
SK 66	城Ⅱ	ⅧA6, 7p	58	SK 42
SK 67	城Ⅱ	ⅧA7p	58	SK 38
SK 68	城Ⅱ	ⅧA7p	58	SK 41
SK 69	城Ⅱ	ⅧA7, 8p	58	SK 40
SK 70	城Ⅱ	ⅧA7, 8p	58	SK 39
SK 71	－	ⅧA8pq	58	SK 10
SK 72	城Ⅱ	ⅧA8p	58	SK 35
SK 73	城Ⅱ	ⅧA8p	58	SK 36
SK 74	城Ⅱ	ⅧA8p	58	SK 26
SK 75	中Ⅰ	ⅧA8p	58	SK 08
SK 76	村	ⅧA6, 7qr	58	SK 30
SK 77	城Ⅱ	ⅧA7q	58	SK 28
SK 78	－	ⅧA7q	58	SK 34
SK 79	城Ⅱ	ⅧA7q	58	SK 29
SK 80	城Ⅱ	ⅧA7q	58	SK 44
SK 81	城Ⅱ	ⅧA7q	58	SK 11
SK 82	城Ⅰ	ⅧA7q	58	SK 12
SK 83	－	ⅧA7q	58	SK 31A

遺構番号	時　期	グリッド	調査区	登録番号
SK 84	城Ⅱ	ⅧA7q	58	SK 13
SK 85	－	ⅧA7q	58	SK 37
SK 86	城Ⅱ	ⅧA8q	58	SK 24
SK 87	－	ⅧA8qr	58	SK 32
SK 88	－	ⅧA8q	58	SK 33
SK 89	中Ⅰ	ⅧA7r	58	SK 14
SK 90	中Ⅰ	ⅧA7r	58	SK 15
SK 91	城Ⅱ	ⅧA7r	58	SK 31B
SK 92	－	ⅧA8r	58	SK 27
SK 93	城Ⅱ	ⅧA8r	58	SK 16
SK 94	村	ⅧA8r	58	SK 03
SK 95	－	ⅧA6, 7s	58	SK 05
SK 96	城Ⅱ	ⅧA7t	58	SK 20
SK 97	城Ⅱ	ⅧB7, 8ab	58	SK 22
SK 98	中Ⅰ	ⅧB8ab	58	SK 23
SK 99	－	ⅧA11l	57	SK 10
SK100	中Ⅰ	ⅧA11n	57	SK 09
SK101	－	ⅧA11n	57	SK 08
SK102	－	ⅧA11, 12o	57	SK 11
SK103	城Ⅱ	ⅧA10r	57	SK 07
SK104	城Ⅱ	ⅧA10rs	57	SK 06
SK105	村？	ⅧA10rs	57	SK 05
SK106	城Ⅱ	ⅧA10s	57	SK 03
SK107	城Ⅱ	ⅧA10s	57	SK 02
SK108	村？	ⅧA10, 11s	57	SK 04
SK109	城Ⅱ	ⅧA11t	57	SK 01
SK110	中Ⅰ	ⅧA4, 5n	59F	SK 18
SK111	中Ⅱ	ⅧA4, 5no	59F	SK 15
SK112	中Ⅰ	ⅧA5n	59F	SK 19
SK113	城	ⅧA5n	59F	SK 14
SK114	城	ⅧA4o	59F	SK 13
SK115	城Ⅱ	ⅧA3, 4qr	59F	SK 50
SK116	村	ⅧA3, 4pq	59F	SK 12
SK117	－	ⅧA4q	59F	－
SK118	－	ⅧA5qr	59F	－
SK119	城Ⅱ	ⅧA5r	59F	SK 51
SK120	城Ⅱ	ⅧA3s	59F	SK 08
SK121	城	ⅧA3st	59F	SK 09
SK122	城	ⅧA3, 4s	59F	SK 07
SK123	城	ⅧA4s	59F	SK 05
SK124	城Ⅱ	ⅧA4s	59F	SK 06
SK125	中Ⅰ	ⅧA4s	59F	SK 31
SK126	城	ⅧA4st	59F	SK 04
SK127	中城	ⅧA4, 5st	59F	SK 03
SK128	中Ⅰ	ⅧA3t	59F	SK 43
SK129	城Ⅰ	ⅧA3t	59F	SK 28
SK130	村	ⅧA3t	59F	SK 27
SK131	城Ⅱ	ⅧA3t, ⅧB3a	59F	SK 22
SK132	－	ⅧA3, 4t, ⅧB3, 4a	59F	SK 52

遺構番号	時　期	グリッド	調査区	登録番号
SK133	城II	VIIIA4t	59F	SK 26
SK134	城	VIIIA4t	59F	SK 32
SK135	村	VIIIA4t	59F	SK 25
SK136	中I	VIIIA4t, VIIIB4a	59F	SK 41
SK137	城I II	VIIIA4t, VIIIB4a	59F	SK 20
SK138	村	VIIIA5t	59F	SK 02
SK139	村	VIIIA5t, VIIIB5a	59F	SK 01
SK140	城II	VIIIA5, 6t	59F	SK 24
SK141	村	VIIIA6t	59F	SK 23
SK142	－	VIIIA6t, VIIIB6a	59F	SK 37
SK143	村	VIIIB2, 3a	59F	SK 30
SK144	中I	VIIIB3a	59F	SK 44
SK145	城	VIIIB3a	59F	SK 42
SK146	城	VIIIB3a	59F	SK 29
SK147	城	VIIIB3a	59F	SK 45
SK148	－	VIIIB3a	59F	SK 53
SK149	中I	VIIIB3, 4a	59F	SK 21
SK150	城II	VIIIB4a	59F	SK 17
SK151	村	VIIIA6ab	59F	SK 38
SK152	－	VIIIB3, 4b	59F	SK 54
SK153	中I	VIIIB3, 4ab	59F	SK 46
SK154	－	VIIIB3, 4b	59F	SK 55
SK155	中I	VIIIB4b	59F	SK 47
SK156	村	VIIIB4b	59F	SK 34
SK157	中	VIIIB4bc	59F	SK 33
SK158	－	VIIIB5b	59F	－
SK159	－	VIIIB6b	59F	－
SK160	－	VIIIB3c	59F	SK 57
SK161	－	VIIIB3cd	59F	SK 56
SK162	村	VIIIB5, 6bc	59F	SK 36
	－	VIIIB5, 6c	60C	SK 04
SK163	中I	VIIIB6c	59F	SK 48
SK164	城II	VIIIA14, 15ef	59G	SK 70
SK165	城II	VIIIA14, 15ef	59G	SK 67
SK166	中	VIIIA15e	59G	SK 68
SK167	－	VIIIA14f	59G	SK 69
SK168	中I	VIIIA14, 15fg	59G	SK 65
SK169	宿	VIIIA14, 15f	59G	SK 66
SK170	中I	VIIIA14, 15g	59G	SK 62
SK171	中	VIIIA15gh	59G	SK 61
SK172	－	VIIIA15g	59G	SK 64A
SK173	中I	VIIIA15gh	59G	SK 64B
SK174	－	VIIIA14h	59G	SK 54
SK175	城	VIIIA14h	59G	SK 50
SK176	城II	VIIIA14h	59G	SK 49
SK177	中	VIIIA14, 15h	59G	SK 55
SK178	中I	VIIIA15h	59G	SK 56
SK179	中	VIIIA15h	59G	SK 57
SK180	中I	VIIIA15h	59G	SK 58
SK181	中	VIIIA15h	59G	SK 59

遺構番号	時　期	グリッド	調査区	登録番号
SK182	－	VIIIA15h	59G	SK 60
SK183	中	VIIIA15h	59G	SK 51
SK184	中	VIIIA15hi	59G	SK 52
SK185	－	VIIIA15h	59G	SK 53
SK186	城II	VIIIA14i	59G	SK 47
SK187	村	VIIIA14ij	59G	SK 46
SK188	中I	VIIIA14, 15i	59G	SK 48
SK189	中I	VIIIA14j	59G	SK 44
SK190	城II	VIIIA14j	59G	SK 45
SK191	中I	VIIIA15k	59G	SK 43
SK192	中I	VIIIA15k	59G	SK 42
SK193	中I	VIIIA13m	59G	SK 38
SK194	城	VIIIA13m	59G	SK 39
SK195	中I	VIIIA14m	59G	SK 37
SK196	－	VIIIA14, 15m	59G	SK 40
SK197	－	VIIIA15m	59G	SK 41
SK198	城II	VIIIA13, 14o	59G	SK 35
SK199	中I	VIIIA13p	59G	SK 26
SK200	城II	VIIIA13pq	59G	SK 25
SK201	－	VIIIA13, 14p	59G	SK 27
SK202	－	VIIIA14p	59G	SK 31
SK203	城	VIIIA14p	59G	SK 32
SK204	城II	VIIIA14p	59G	SK 33
SK205	村	VIIIA14p	59G	SK 30
SK206	城	VIIIA14p	59G	SK 28
SK207	中I	VIIIA14pq	59G	SK 29
SK208	中I	VIIIA14q	59G	SK 24
SK209	城II	VIIIA12, 13rs	59G	SK 23
SK210	城II	VIIIA12s	59G	SK 21
SK211	村	VIIIA12, 13s	59G	SK 20
SK212	城II	VIIIA12, 13s	59G	SK 22
SK213	村	VIIIA12, 13s	59G	SK 17
SK214	城II	VIIIA13s	59G	SK 15
SK215	中？	VIIIA13st	59G	SK 16
SK216	－	VIIIA13s	59G	SK 19
SK217	城II	VIIIA13s	59G	SK 36
SK218	村	VIIIA13s	59G	SK 10
SK219	城II	VIIIA13s	59G	SK 11
SK220	城II	VIIIA13st	59G	SK 08
SK221	村	VIIIA13st	59G	SK 09
SK222	村	VIIIA12, 13t	59G	SK 18
SK223	村	VIIIA13t	59G	SK 14
SK224	－	VIIIA13t	59G	SK 13
SK225	城	VIIIA13t	59G	SK 06
SK226	村	VIIIA13t	59G	SK 05
SK227	中I	VIIIA13t	59G	SK 04
SK228	－	VIIIA13t	59G	SK 07
SK229	城？	VIIIB13a	59G	SK 01
SK230	中I	VIIIB10, 11bc	60C	SK 02
SK231	村	VIIIB8c	60C	SK 01

遺構番号	時　期	グリッド	調査区	登録番号
SK232	村	ⅦB4, 5f	60C	SK 03
SK233	城Ⅰ	ⅦB12ef	59E2	SK215
SK234	－	ⅦB11f	59E2	SK214
SK235	中？	ⅦB2gh	59E2	SK136
SK236	城？	ⅦB2g	59E2	SK131
SK237	村	ⅦB2gh	59E2	SK129
SK238	中Ⅰ	ⅦB3g	59E2	SK141
SK239	城Ⅱ	不明	59E2	SK132
SK240	－	ⅦB11g	59E2	SK219A
SK241	村	ⅦB2h	59E2	SK140
SK242	城Ⅱ	ⅦB2, 3h	59E2	SK139
SK243	城Ⅱ	ⅦB2, 3h	59E2	SK135
SK244	城Ⅱ	ⅦB3hi	59E2	SK143
SK245	城	ⅦB3hi	59E2	SK147
SK246	中Ⅰ	ⅦB3hi	59E2	SK149
SK247	城Ⅱ	ⅦB3h	59E2	SK148
SK248	－	ⅦB3h	59E2	SK154
SK249	城Ⅱ	ⅦB3h	59E2	SK146
SK250	城Ⅱ	ⅦB3hi	59E2	SK168
SK251	城	ⅦB11h	59E2	SK219B
SK252	城Ⅱ	ⅦB11h	59E2	SK223
SK253	中Ⅰ	ⅦB11h	59E2	SK222
SK254	中Ⅰ	ⅦB11h	59E2	SK221
SK255	村	ⅦB11, 12h	59E2	SK218
SK256	村	ⅦB2i	59E2	SK138
SK257	中Ⅰ？	ⅦB2ij	59E2	SK162
SK258	－	ⅦB2i	59E2	SK246A
SK259	－	ⅦB2i	59E2	SK247
SK260	城Ⅱ？	ⅦB3i	59E2	SK151
SK261	城	ⅦB3i	59E2	SK152
SK262	城	ⅦB3i	59E2	SK153
SK263	村	ⅦB3ij	59E2	SK172
SK264	城？	ⅦB3ij	59E2	SK186
SK265	村	ⅦB3i	59E2	SK177
SK266	城Ⅱ	ⅦB3i	59E2	SK155
SK267	城	ⅦB3i	59E2	SK171
SK268	－	ⅦB3i	59E2	－
SK269	－	ⅦB3ij	59E2	SK184
SK270	－	ⅦB10, 11i	59E2	SK237
SK271	中Ⅰ	ⅦB11ij	59E2	SK238
SK272	城Ⅱ	ⅦB1, 2j	59E2	SK144
SK273	城	ⅦB2j	59E2	SK145
SK274	城Ⅱ	ⅦB2j	59E2	SK161
SK275	城Ⅱ	ⅦB2j	59E2	SK150
SK276	城Ⅱ	ⅦB2j	59E2	SK182
SK277	－	ⅦB2jk	59E2	SK183
SK278	城Ⅱ	ⅦB2j	59E2	SK163
SK279	－	ⅦB2j	59E2	SK158
SK280	城	ⅦB2, 3j	59E2	SK157
SK281	城Ⅱ	ⅦB2, 3jk	59E2	SK169

遺構番号	時　期	グリッド	調査区	登録番号
SK282	城Ⅱ	ⅦB3j	59E2	SK159
SK283	中？	ⅦB3j	59E2	SK185
SK284	村	ⅦB3j	59E2	SK166
SK285	城Ⅱ	ⅦB3j	59E2	SK165
SK286	城Ⅱ？	ⅦB3j	59E2	SK179
SK287	中	ⅦB3j	59E2	SK176
SK288	中Ⅰ	ⅦB10, 11j	59E2	SK240
SK289	－	ⅦB2, 3k	59E2	SK170
SK290	村	ⅦB2, 3k	59E2	SK193
SK291	城Ⅱ	ⅦB3k	59E2	SK181
SK292	城Ⅱ	ⅦB3k	59E2	SK160
SK293	城Ⅱ村	ⅦB3kl	59E2	SK190
SK294	城	ⅦB2, 3kl	59E2	SK198
SK295	城Ⅱ	ⅦB3kl	59E2	SK201
SK296	城	ⅦB1l	59E2	SK188
SK297	－	ⅦB2l	59E2	SK194
SK298	－	ⅦB3lm	59E2	SK209
SK299	中Ⅰ？	ⅦB8lm	59E2	SK243
SK300	中？	ⅦB8l	59E2	SK242
SK301	中	ⅦB8l	59E2	SK232
SK302	中	ⅦB8, 9l	59E2	SK233
SK303	中Ⅰ	ⅦB9, 10l-n	59E2	SK241
SK304	－	ⅦB10lm	59E2	SK245
SK305	村	ⅦB3gh	59E2	SK134
SK306	中Ⅰ	ⅦB2m	59E2	SK206
SK307	中Ⅰ	ⅦB2, 3m	59E2	SK207
SK308	城	ⅦB3m	59E2	SK208
SK309	城	ⅦB3m	59E2	SK211
SK310	村	ⅦB3m	59E2	SK213
SK311	城Ⅰ？	ⅦB4m	59E2	SK205
SK312	中Ⅰ？	ⅦB4m	59E2	SK204
SK313	城Ⅱ	ⅦB4m	59E2	SK202
SK314	中	ⅦB7m	59E2	SK227
SK315	中Ⅰ	ⅦB7, 8m	59E2	SK246B
SK316	中Ⅰ	ⅦB8m	59E2	SK235
SK317	中Ⅰ	ⅦB8m	59E2	SK234
SK318	－	ⅦB9m	59E2	SK244
SK319	中？	ⅦB1n	59E2	SK187
SK320	－	ⅦB1no	59E2	SK191
SK321	中Ⅰ	ⅦB3no	59E2	SK199
SK322	中Ⅰ	ⅦB3, 4no	59E2	SK197
SK323	城Ⅱ？	ⅦB3, 4n	59E2	SK203
SK324	城Ⅱ	ⅦB4n	59E2	SK195
SK325	中Ⅱ	ⅦB5n	59E2	SK210
SK326	城	ⅦB6o	59E	SK 82
	－	ⅦB6no	59E2	SK 82
SK327	中Ⅱ	ⅦB7n	59E2	SK220
SK328	村	ⅦB8, 9n	59E2	SK229
SK329	城	ⅦB3o	59E2	SK196

遺構番号	時　期	グリッド	調査区	登録番号
SK330	中？	ⅧB4o	59E	SK 47
	－	ⅧB4o	59E2	SK 47
SK331	中Ⅰ	ⅧB8n	59E	SK 04
SK332	城Ⅱ	ⅧB8no	59E	SK 19
SK333	中	ⅧB9n	59E	SK127
SK334	中Ⅰ	ⅧB9no	59E	SK125
SK335	中Ⅰ	ⅧB9, 10no	59E	SK 24
SK336	中	ⅧB9, 10o	59E	SK128
SK337	中ⅠⅡ	ⅧB10n	59E	SK 07
SK338	村	ⅧB10no	59E	SK 06
SK339	城Ⅱ	ⅧB3o	59E	SK 40
SK340	－	ⅧB3op	59E	SK 45
SK341	－	ⅧB4o	59E	SK 44
SK342	－	ⅧB4op	59E	SK 68
SK343	－	ⅧB4o	59E	SK 46
SK344	城Ⅱ	ⅧB4, 5o	59E	SK 38
SK345	－	ⅧB5op	59E	－
SK346	城Ⅱ	ⅧB6o	59E	SK 83
SK347	－	ⅧB6o	59E	SK 85
SK348	中Ⅰ	ⅧB6o	59E	SK 86
SK349	村	ⅧB6op	59E	SK 84
SK350	－	ⅧB6, 7op	59E	SK 93
SK351	中？	ⅧB7o	59E	SK 89
SK352	城	ⅧB7o	59E	SK 88
SK353	中？	ⅧB7o	59E	SK 87
SK354	中Ⅰ	ⅧB7o	59E	SK 90
SK355	村	ⅧB7o	59E	SK 91
SK356	－	ⅧB7o	59E	SK 92
SK357	－	ⅧB7op	59E	SK 94
SK358	城	ⅧB7, 8o	59E	SK 09
SK359	村	ⅧB7, 8o	59E	SK 10
SK360	中Ⅰ	ⅧB8op	59E	SK 17
SK362	中Ⅰ	ⅧB8o	59E	SK 13A
	－	ⅧB8op	59E	SK120
SK363	中Ⅰ	ⅧB8o	59E	SK 08
SK364	中Ⅰ	ⅧB8o	59E	SK124
SK365	中Ⅱ	ⅧB8o	59E	SK123
SK366	－	ⅧB8, 9o	59E	SK 20
SK367	中Ⅰ	ⅧB8, 9op	59E	SK121
SK368	中	ⅧB9o	59E	SK 21
SK369	城Ⅱ	ⅧB9o	59E	SK 22
SK370	中Ⅰ	ⅧB9o	59E	SK126
SK371	中Ⅰ	ⅧB9o	59E	SK 23
SK372	中Ⅰ	ⅧB9op	59E	SK122
SK373	中Ⅰ（Ⅱ）	ⅧB9op	59E	SK 25
SK374	中Ⅰ	ⅧB1pq	59E	SK 69
SK375	村	ⅧB1, 2p	59E	SK 31
SK376	城Ⅱ	ⅧB1, 2pq	59E	SK 70
SK377	中Ⅰ	ⅧB4pq	59E	SK109

遺構番号	時　期	グリッド	調査区	登録番号
SK378	－	ⅧB4pq	59E	SK 53
SK379	－	ⅧB4p	59E	SK 50
SK380	－	ⅧB4, 5p	59E	SK 49
SK381	村	ⅧB4, 5p	59E	SK 37
SK382	－	ⅧB5p	59E	SK 48
SK383	城Ⅱ	ⅧB5pq	59E	SK 55
SK384	城Ⅱ	ⅧB6pq	59E	SK101
SK385	城Ⅱ	ⅧB6pq	59E	SK100
SK386	城Ⅱ	ⅧB6p	59E	SK 97
SK387	城Ⅱ	ⅧB7p	59E	SK 95
SK388	中Ⅰ	ⅧB8, 9pq	59E	SK 18
SK389	中Ⅰ（城）	ⅧB9p	59E	SK 26
SK390	中Ⅰ	ⅧB9p	59E	SK 27
SK391	中Ⅱ	ⅧB9, 10p	59E	SK 28
SK392	村	ⅧB10p	59E	SK 01
SK393	中Ⅰ	ⅧB20qr	59E	SK 32
SK394	村	ⅧB20q, ⅧB1q	59E	SK 42
SK395	中Ⅰ	ⅧB1q	59E	SK113
SK396	城Ⅱ	ⅧB1q	59E	SK 96
	城Ⅱ	ⅧB1qr	59E	SK112
SK397	中？	ⅧB1q	59E	SK 43
SK398	城	ⅧB1qr	59E	SK111
SK399	中Ⅰ	ⅧB1, 2q	59E	SK 61
SK400	村	ⅧB1, 2q	59E	SK 35
SK401	城Ⅱ	ⅧB2, 3q	59E	SK 60
SK402	城Ⅱ	ⅧB2, 3qr	59E	SK 71
SK403	－	ⅧB2, 3q	59E	SK 59
SK404	村	ⅧB3q	59E	SK 58
SK405	－	ⅧB3qr	59E	－
SK406	城Ⅱ	ⅧB4q	59E	SK 51
SK407	城Ⅱ	ⅧB4, 5q	59E	SK110
SK408	中	ⅧB4, 5q	59E	SK 54
SK409	村	ⅧB9, 10qr	59E	SK 14
SK410	村	ⅧB20r, ⅧB1r	59E	SK 33
SK411	－	ⅧB1r	59E	－
SK412	中？	ⅧB1, 2s	59E	SK 65
SK413	村	ⅧB1, 2r	59E	SK 34
SK414	村	ⅧB2r	59E	SK 39
SK415	－	ⅧB3r	59E	－
SK416	－	ⅧB4rs	59E	－
SK417	村	ⅧB6, 7r	59E	－
SK418	中Ⅰ	ⅧB8r	59E	SK 13B
SK419	中	ⅧB8r	59E	SK 11
SK420	城Ⅰ	ⅧB9r	59E	SK 12
SK421	－	ⅧB9r	59E	SK 15
SK422	城Ⅱ	ⅧB9r	59E	SK 16
SK423	中Ⅰ	ⅧB1s	59E	SK 67
SK424	中Ⅱ	ⅧB1s	59E	SK 66
SK425	－	ⅧB1, 2s	59E	－

遺構番号	時　期	グリッド	調査区	登録番号
SK426	中II	VIIIB2s	59E	SK 72
SK427	村	VIIIB2s	59E	SK 74
SK428	城II	VIIIB2s	59E	SK 73
SK429	－	VIIIB2s	59E	SK 77
SK430	城II	VIIIB2s	59E	SK 76
SK431	城II	VIIIB2s	59E	SK 75
SK432	村	VIIIB2, 3s	59E	SK103
SK433	村	VIIIB2, 3s	59E	SK104
SK434	城II	VIIIB2, 3s	59E	SK 64
SK435	中？	VIIIB3s	59E	SK 62
SK436	－	VIIIB3s	59E	SK 63
SK437	中I	VIIIB3s	59E	SK 52
SK438	城II	VIIIB4s	59E	SK 78
SK439	城II	VIIIB4, 5s	59E	SK108
	中II	VIIIB4, 5s	60B	SK 14
SK440	城	VIIIB7rs	60B	SK 09A
SK441	中I	VIIIB7, 8r	60B	SK 10
SK442	－	VIIIB8rs	60B	SK 09B
SK443	中I	VIIIB8rs	60B	SK 02
SK444	村	VIIIB3s	60B	SK 06
SK445	－	VIIIB3s	60B	SK 07
SK446	村	VIIIB3, 4s	60B	SK 05
SK447	中I	VIIIB4st	60B	SK 11
SK448	村	VIIIB7st	60B	SK 03
SK449	中II	VIIIB8s	60B	SK 04
SK450	－	VIIIB2, 3t, VIIIC2, 3a	60B	SK 01A
SK451	村	VIIIB5, 6t	60B	SK 12
SK452	村	VIIIC4ab	59C	SK 11
SK453	村	VIIIC5a	59C	SK 01
SK454	中I	VIIIC1bc	59C	SK 19
SK455	中I	VIIIC1, 2bc	59C	SK 20
SK456	中I	VIIIC2b	59C	SK 18
SK457	城II	VIIIC3bc	59C	SK 08
SK458	城II	VIIIC3b	59C	SK 10
SK459	城II	VIIIC4bc	59C	SK 16
SK460	中I	VIIIC5bc	59C	SK 17
SK461	城II	VIIIC4c	59C	SK 12
SK462	中I	VIIIC5d	59C	SK 39
SK463	中I	VIIIC1e	59C	SK 26
SK464	中I	VIIIC20f	59C	SK 21
SK465	中？	VIIIC2fg	59C	SK 30
SK466	村	VIIIC1gh	59C	SK 29
SK467	村	VIIIC1g	59C	SK 33
SK468	中I？	VIIIC2g	59C	SK 32
SK469	城II	VIIIC2g	59C	SK 31
SK470	中	VIIIC3gh	59C	SK 28
SK471	中I	VIIIC4g	59C	SK 22
SK472	中	VIIIC4g	59C	SK 23
SK473	中	VIIIC4g	59C	SK 24

遺構番号	時　期	グリッド	調査区	登録番号
SK474	－	VIIIC1, 2h	59C	SK 34
SK475	城II	VIIIC3hi	59C	SK 41
SK476	城II	VIIIC3hi	59C	SK 03
SK477	城II	VIIIC3, 4hi	59C	SK 38
SK478	中I	VIIIC4h	59C	SK 42
SK479	中I	VIIIC18, 19i	59C	SK 44
SK480	城II	VIIIC2i	59C	SK 35
SK481	城II	VIIIC2i	59C	SK 36
SK482	村	VIIIC4i	59C	SK 02
SK483	村	VIIIB8, 9t, VIIIC8, 9a	59D	SK 08
SK484	城II	VIIIC6a	59D	SK 06
SK485	中	VIIIC7a	59D	SK 01
SK486	－	VIIIC8a	59D	SK 02
SK487	－	VIIIC8, 9a	59D	－
SK488	中I	VIIIC9ab	59D	SK 07
SK489	－	VIIIC8b	59D	SK 05
SK490	村	VIIIC6, 7cd	59D	SK 09B
SK491	中I	VIIIC7c	59D	SK 19
SK492	中I	VIIIC8, 9c	59D	SK 13
SK493	中II 城I	VIIIC5, 6de	59D	SK 10
SK494	－	VIIIC7de	59D	－
SK495	－	VIIIC6f	59D	－
SK496	中I	VIIIC6ef	59D	SK 12
SK497	－	VIIIC4, 5hi	59D	SK 18
SK498	城II	VIIIC5h	59D	SK 15
SK499	村	VIIIC5h	59D	SK 16
SK500	城II	VIIIC5hi	59D	SK 17
SK501	中II	VIIIC2k	60A	SK 08
SK502	－	VIIIC2k	60A	SK 09
SK503	中I	VIIIC5k	60A	SK 06
SK504	中I	VIIIC5kl	60A	SK 05
SK505	城II	VIIIC19l	60A	SK 01
SK506	中II	VIIIC2l	60A	SK 10
SK507	中I	VIIIC19n	59A	SK 14
SK508	－	VIIIC20o	59A	SK 15
SK509	－	VIIIC18qr	59A	SK 29
SK510	村	VIIIC18, 19qr	59A	SK 20
SK511	城II	VIIIC19q	59A	SK 18
SK512	－	VIIIC20q	59A	SK 16
SK513	城I	VIIIC20qr	59A	SK 22
SK514	中I	VIIIC20q, VIIIC1q	59A	SK 17
SK515	－	VIIIC18r	59A	SK 23
SK516	城II	VIIIC19rs	59A	SK 21
SK517	中II	VIIIC18st	59A	SK 24
SK518	中I	VIIIC18s	59A	SK 25
SK519	中I	VIIIC18t, VIIID18a	59A	SK 27
SK520	－	VIIID18a	59A	SK 28
SK521	中I	VIIID20ab, VIIID1ab	59A	SK 26

遺構番号	時　期	グリッド	調査区	登録番号
SK522	中II (城II)	ⅧC2m	59 B	SK 05
SK523	中II	ⅧC2n	59 B	SK 08
SK524	中II	ⅧC2o	59 B	SK 10
SK525	中 I	ⅧC3q	59 B	SK 12
SK526	中 I	ⅧC2, 3s	59 B	SK 13
SK527	－	ⅧC3st	59 B	－
SK528	村	ⅧC3t, ⅧD3a	59 B	SK 11
SK529	－	ⅧD3a	59 B	－
SK530	城II －	ⅧD2c ⅧD2c	59 B 60 E	SK 01 SK 22
SK531	城	ⅧD4cd	60 E	SK 28
SK532	城	ⅧD20d, ⅧD1d	60 E	SK 27
SK533	城	ⅧD1d	60 E	SK 25
SK534	城II	ⅧD2d	60 E	SK 23
SK535	中 I	ⅧD4d	60 E	SK 18
SK536	中？	ⅧD4d	60 E	SK 24
SK537	中 I	ⅧD1, 2ef	60 E	SK 01
SK538	中	ⅧD2ef	60 E	SK 09
SK539	中II	ⅧD2e	60 E	SK 08
SK540	－	ⅧD2, 3e	60 E	SK 13A
SK541	城 I	ⅧD3e	60 E	SK 02
SK542	中II	ⅧD3ef	60 E	SK 19
SK543	城II	ⅧD3, 4e	60 E	SK 13B
SK544	城II	ⅧD4e	60 E	SK 12
SK545	中 I	ⅧD18, 19g	60 E	SK 03
SK546	城II	ⅧD18, 19g	60 E	SK 04

遺構番号	時　期	グリッド	調査区	登録番号
SK547	中	ⅧD19g	60 E	SK 07
SK548	－	ⅧD18h	60 E	SK 06
SK549	城II	ⅧD18h	60 E	SK 05
SK550	中 I	ⅧD19h	60 E	SK 14
SK551	城II	ⅧD3, 4hi	60 E	SK 17
SK552	中II	ⅧD18i	60 E	SK 15
SK553	中 I	ⅧD2, 3i	60 E	SK 21
SK554	中	ⅧD20j	60 E	SK 16
SK555	－	ⅧD1, 2j	60 E	SK 20
SK556	－	ⅧD2mn	60 D	SK 43
SK557	中II	ⅧD2, 3mn	60 D	SK 44
SK558	－	ⅧD3m	60 D	SK 47
SK559	－	ⅧD3mn	60 D	SK 45
SK560	城II	ⅦD17, 18no	60 D	SK 29
SK561	－	ⅦD17, 18n	60 D	SK 30
SK562	－	ⅦD18n	60 D	SK 31
SK563	城II	ⅦD18n	60 D	SK 32
SK564	－	ⅦD18, 19n	60 D	SK 33
SK565	城II	ⅦD18, 19n	60 D	SK 34
SK566	中	ⅦD19n	60 D	SK 35
SK567	城II	ⅦD19n	60 D	SK 36
SK568	村	ⅦD19n	60 D	SK 37
SK569	城II	ⅦD20n	60 D	SK 38
SK570	中	ⅦD20n	60 D	SK 39
SK571	城II	ⅦD1n	60 D	SK 40
SK572	城	ⅦD1n	60 D	SK 41
SK573	中	ⅦD1n	60 D	SK 42

柱　穴
(P)

遺構番号	時　期	グリッド	調査区	登録番号
P01	－	ⅦA12e	58	－
P02	－	ⅦA12e	58	－
P03	－	ⅦA12e	58	－
P04	－	ⅦA12e	58	－
P05	－	ⅦA13e	58	－
P06	－	ⅦA13e	58	－
P07	－	ⅦA13c	58	－
P08	－	ⅦA13ef	58	－
P09	－	ⅦA13ef	58	－
P10	－	ⅦA7f	58	－
P11	－	ⅦA13f	58	－
P12	－	ⅦA13f	58	－
P13	－	ⅦA13f	58	－
P14	－	ⅦA13f	58	－
P15	－	ⅦA13f	58	－
P16	－	ⅦA13, 14f	58	－
P17	－	ⅦA13f	58	－
P18	－	ⅦA13f	58	－
P19	－	ⅦA13f	58	－
P20	－	ⅦA13f	58	－
P21	－	ⅦA13fg	58	－

遺構番号	時　期	グリッド	調査区	登録番号
P22	－	ⅦA13f	58	－
P23	－	ⅦA13f	58	－
P24	－	ⅦA13f	58	－
P25	－	ⅦA13f	58	－
P26	－	ⅦA13, 14f	58	－
P27	－	ⅦA13f	58	－
P28	－	ⅦA13fg	58	－
P29	－	ⅦA13fg	58	－
P30	－	ⅦA13, 14fg	58	－
P31	－	ⅦA14f	58	－
P32	－	ⅦA7g	58	－
P33	－	ⅦA7, 8g	58	－
P34	－	ⅦA10g	58	－
P35	－	ⅦA10g	58	－
P36	－	ⅦA10g	58	－
P37	－	ⅦA10, 11g	58	－
P38	－	ⅦA11g	58	－
P39	－	ⅦA11g	58	－
P40	－	ⅦA11g	58	－
P41	－	ⅦA11g	58	－
P42	－	ⅦA11, 12g	58	－

遺構番号	時　期	グリッド	調査区	登録番号	遺構番号	時　期	グリッド	調査区	登録番号
P43	－	ⅦA11g	58	－	P93	－	ⅦA11h	58	－
P44	－	ⅦA11g	58	－	P94	－	ⅦA11h	58	－
P45	－	ⅦA11g	58	－	P95	－	ⅦA11h	58	－
P46	－	ⅦA11g	58	－	P96	－	ⅦA11h	58	－
P47	－	ⅦA12g	58	－	P97	－	ⅦA11h	58	－
P48	－	ⅦA12g	58	－	P98	－	ⅦA11h	58	－
P49	－	ⅦA12g	58	－	P99	－	ⅦA11h	58	－
P50	－	ⅦA12g	58	－	P100	－	ⅦA11h	58	－
P51	－	ⅦA12g	58	－	P101	－	ⅦA11，12h	58	－
P52	－	ⅦA12g	58	－	P102	－	ⅦA11，12h	58	－
P53	－	ⅦA12g	58	－	P103	－	ⅦA11，12h	58	－
P54	－	ⅦA12g	58	－	P104	－	ⅦA12h	58	－
P55	－	ⅦA12g	58	－	P105	－	ⅦA12h	58	－
P56	－	ⅦA12g	58	－	P106	－	ⅦA12h	58	－
P57	－	ⅦA12g	58	－	P107	－	ⅦA12h	58	－
P58	－	ⅦA12g	58	－	P108	－	ⅦA12h	58	－
P59	－	ⅦA12g	58	－	P109	－	ⅦA12h	58	－
P60	－	ⅦA12g	58	－	P110	－	ⅦA12h	58	－
P61	－	ⅦA12g	58	－	P111	－	ⅦA12h	58	－
P62	－	ⅦA12，13g	58	－	P112	－	ⅦA12h	58	－
P63	－	ⅦA12，13g	58	－	P113	－	ⅦA12h	58	－
P64	－	ⅦA13g	58	－	P114	－	ⅦA12hi	58	－
P65	－	ⅦA13g	58	－	P115	－	ⅦA13h	58	－
P66	－	ⅦA13g	58	－	P116	－	ⅦA13h	58	－
P67	－	ⅦA13g	58	－	P117	－	ⅦA13h	58	－
P68	－	ⅦA13g	58	－	P118	－	ⅦA13h	58	－
P69	－	ⅦA13g	58	－	P119	－	ⅦA13h	58	－
P70	－	ⅦA13g	58	－	P120	－	ⅦA13h	58	－
P71	－	ⅦA13g	58	－	P121	－	ⅦA13h	58	－
P72	－	ⅦA13g	58	－	P122	－	ⅦA13h	58	－
P73	－	ⅦA13g	58	－	P123	－	ⅦA13h	58	－
P74	－	ⅦA13g	58	－	P124	－	ⅦA13h	58	－
P75	－	ⅦA13gh	58	－	P125	－	ⅦA13h	58	－
P76	－	ⅦA13gh	58	－	P126	－	ⅦA13h	58	－
P77	－	ⅦA7h	58	－	P127	－	ⅦA13h	58	－
P78	－	ⅦA7h	58	－	P128	－	ⅦA13h	58	－
P79	－	ⅦA7h	58	－	P129	－	ⅦA13h	58	－
P80	－	ⅦA7h	58	－	P130	－	ⅦA13h	58	－
P81	－	ⅦA7h	58	－	P131	－	ⅦA13h	58	－
P82	－	ⅦA7h	58	－	P132	－	ⅦA13hi	58	－
P83	－	ⅦA8h	58	－	P133	－	ⅦA6i	58	－
P84	－	ⅦA8h	58	－	P134	－	ⅦA6i	58	－
P85	－	ⅦA8，9h	58	－	P135	－	ⅦA6i	58	－
P86	－	ⅦA9h	58	－	P136	－	ⅦA6i	58	－
P87	－	ⅦA10h	58	－	P137	－	ⅦA6i	58	－
P88	－	ⅦA10，11h	58	－	P138	－	ⅦA6i	58	－
P89	－	ⅦA10，11h	58	－	P139	－	ⅦA6，7i	58	－
P90	－	ⅦA10，11h	58	－	P140	－	ⅦA6，7i	58	－
P91	－	ⅦA11h	58	－	P141	－	ⅦA7i	58	－
P92	－	ⅦA11h	58	－	P142	－	ⅦA7i	58	－

遺構番号	時　期	グリッド	調査区	登録番号	遺構番号	時　期	グリッド	調査区	登録番号
P143	－	ⅦA7i	58	－	P193	－	ⅦA7j	58	－
P144	－	ⅦA7i	58	－	P194	－	ⅦA7j	58	－
P145	－	ⅦA7i	58	－	P195	－	ⅦA7j	58	－
P146	－	ⅦA7i	58	－	P196	－	ⅦA7, 8j	58	－
P147	－	ⅦA7i	58	－	P197	－	ⅦA7, 8j	58	－
P148	－	ⅦA7i	58	－	P198	－	ⅦA7, 8j	58	－
P149	－	ⅦA8, 9i	58	－	P199	－	ⅦA8j	58	－
P150	－	ⅦA9i	58	－	P200	－	ⅦA8j	58	－
P151	－	ⅦA9i	58	－	P201	－	ⅦA8j	58	－
P152	－	ⅦA9i	58	－	P202	－	ⅦA8j	58	－
P153	－	ⅦA9i	58	－	P203	－	ⅦA8j	58	－
P154	－	ⅦA10, 11i	58	－	P204	－	ⅦA8jk	58	－
P155	－	ⅦA10, 11i	58	－	P205	－	ⅦA9j	58	－
P156	－	ⅦA11i	58	－	P206	－	ⅦA10j	58	－
P157	－	ⅦA11i	58	－	P207	－	ⅦA12j	58	－
P158	－	ⅦA11i	58	－	P208	－	ⅦA7k	58	－
P159	－	ⅦA11i	58	－	P209	－	ⅦA7k	58	－
P160	－	ⅦA12i	58	－	P210	－	ⅦA7k	58	－
P161	－	ⅦA12i	58	－	P211	－	ⅦA7k	58	－
P162	－	ⅦA12i	58	－	P212	－	ⅦA7k	58	－
P163	－	ⅦA12i	58	－	P213	－	ⅦA7k	58	－
P164	－	ⅦA12i	58	－	P214	－	ⅦA7k	58	－
P165	－	ⅦA12i	58	－	P215	－	ⅦA7k	58	－
P166	－	ⅦA12i	58	－	P216	－	ⅦA7k	58	－
P167	－	ⅦA12, 13ij	58	－	P217	－	ⅦA7k	58	－
P168	－	ⅦA13i	58	－	P218	－	ⅦA7k	58	－
P169	－	ⅦA13i	58	－	P219	－	ⅦA7k1	58	－
P170	－	ⅦA13i	58	－	P220	－	ⅦA7k1	58	－
P171	－	ⅦA13i	58	－	P221	－	ⅦA7, 8k	58	－
P172	－	ⅦA13i	58	－	P222	－	ⅦA8k	58	－
P173	－	ⅦA13i	58	－	P223	－	ⅦA8k	58	－
P174	－	ⅦA13i	58	－	P224	－	ⅦA8k	58	－
P175	－	ⅦA6j	58	－	P225	－	ⅦA8k	58	－
P176	－	ⅦA6j	58	－	P226	－	ⅦA8k	58	－
P177	－	ⅦA6, 7j	58	－	P227	－	ⅦA6l	58	－
P178	－	ⅦA7j	58	－	P228	－	ⅦA6l	58	－
P179	－	ⅦA7j	58	－	P229	－	ⅦA6l	58	－
P180	－	ⅦA7j	58	－	P230	－	ⅦA6l	58	－
P181	－	ⅦA7j	58	－	P231	－	ⅦA6, 7l	58	－
P182	－	ⅦA7j	58	－	P232	－	ⅦA7l	58	－
P183	－	ⅦA7j	58	－	P233	－	ⅦA7l	58	－
P184	－	ⅦA7j	58	－	P234	－	ⅦA7l	58	－
P185	－	ⅦA7j	58	－	P235	－	ⅦA7l	58	－
P186	－	ⅦA7j	58	－	P236	－	ⅦA8l	58	－
P187	－	ⅦA7j	58	－	P237	－	ⅦA8l	58	－
P188	－	ⅦA7j	58	－	P238	－	ⅦA9l	58	－
P189	－	ⅦA7j	58	－	P239	－	ⅦA9l	58	－
P190	－	ⅦA7j	58	－	P240	－	ⅦA10l	58	－
P191	－	ⅦA7j	58	－	P241	－	ⅦA10l	58	－
P192	－	ⅦA7j	58	－	P242	－	ⅦA10lm	58	－

遺構番号	時　期	グリッド	調査区	登録番号	遺構番号	時　期	グリッド	調査区	登録番号
P243	－	VIIA11l	58	－	P293	－	VIIA11, 12o	57	－
P244	－	VIIA11l	58	－	P294	－	VIIA12o	57	－
P245	－	VIIA11l	58	－	P295	－	VIIA12p	57	－
P246	－	VIIA11l	58	－	P296	－	VIIA10q	57	－
P247	－	VIIA11l	58	－	P297	－	VIIA9r	57	－
P248	－	VIIA11l	58	－	P298	－	VIIA10r	57	－
P249	－	VIIA11lm	58	－	P299	－	VIIA4l	59 F	Pit 01
P250	－	VIIA6m	58	－	P300	－	VIIA4l	59 F	Pit 02
P251	－	VIIA6mn	58	－	P301	－	VIIA4l	59 F	Pit 03
P252	－	VIIA6, 7m	58	－	P302	－	VIIA4l	59 F	Pit 05
P253	－	VIIA7m	58	－	P303	－	VIIA4l	59 F	Pit 04
P254	－	VIIA7mn	58	－	P304	－	VIIA4l	59 F	Pit 06
P255	－	VIIA8m	58	－	P305	－	VIIA4lm	59 F	Pit 07
P256	－	VIIA8m	58	－	P306	－	VIIA4m	59 F	Pit 10
P257	－	VIIA8m	58	－	P307	－	VIIA4m	59 F	Pit 11
P258	－	VIIA8m	58	－	P308	－	VIIA4m	59 F	Pit 13
P259	－	VIIA8m	58	－	P309	－	VIIA4m	59 F	－
P260	－	VIIA10, 11m	58	－	P310	－	VIIA4m	59 F	Pit 08
P261	－	VIIA11m	58	－	P311	－	VIIA4m	59 F	Pit 09
P262	－	VIIA6n	58	－	P312	－	VIIA4m	59 F	Pit 12
P263	－	VIIA6n	58	－	P313	－	VIIA4m	59 F	Pit 14
P264	－	VIIA6n	58	－	P314	－	VIIA4m	59 F	－
P265	－	VIIA6n	58	－	P315	－	VIIA4n	59 F	Pit 16
P266	－	VIIA7n	58	－	P316	－	VIIA4n	59 F	Pit 15
P267	－	VIIA7n	58	－	P317	－	VIIA4n	59 F	Pit 17
P268	－	VIIA8n	58	－	P318	－	VIIA5n	59 F	Pit 18
P269	－	VIIA8n	58	－	P319	－	VIIA5o	59 F	－
P270	－	VIIA7o	58	－	P320	－	VIIA4p	59 F	－
P271	－	VIIA7op	58	－	P321	－	VIIA3s	59 F	Pit 20
P272	－	VIIA8o	58	－	P322	－	VIIA3s	59 F	Pit 51
P273	－	VIIA7r	58	－	P323	－	VIIA3s	59 F	Pit 19
P274	－	VIIA8r	58	－	P324	－	VIIA3s	59 F	Pit 23
P275	－	VIIA8r	58	－	P325	－	VIIA3st	59 F	Pit 52
P276	－	VIIA11m	57	Pit 18	P326	－	VIIA4s	59 F	Pit 24
P277	－	VIIA11m	57	Pit 08	P327	－	VIIA4s	59 F	Pit 55
P278	－	VIIA12m	57	Pit 20	P328	－	VIIA4s	59 F	Pit 22
P279	－	VIIA11n	57	Pit 13	P329	－	VIIA4s	59 F	Pit 21
P280	－	VIIA11n	57	Pit 12	P330	－	VIIA3t	59 F	Pit 29
P281	－	VIIA11n	57	Pit 05	P331	－	VIIA3t	59 F	Pit 30
P282	－	VIIA11n	57	Pit 15	P332	－	VIIA3t	59 F	Pit 31
P283	－	VIIA11n	57	Pit 14	P333	－	VIIA3t	59 F	Pit 57
P284	－	VIIA11n	57	Pit 17	P334	－	VIIA3t	59 F	Pit107
P285	－	VIIA11, 12n	57	Pit 10	P335	－	VIIA3t	59 F	Pit 32
P286	中 I	VIIA11, 12n	57	Pit 04	P336	－	VIIA3t	59 F	Pit 59
P287	－	VIIA12n	57	Pit 16	P337	－	VIIA3t	59 F	Pit 34
P288	－	VIIA12n	57	Pit 11	P338	－	VIIA3t	59 F	Pit 53
P289	－	VIIA12n	57	Pit 07	P339	－	VIIA3t	59 F	Pit 27
P290	－	VIIA12, no	57	－	P340	－	VIIA3t	59 F	Pit 28
P291	－	VIIA9o	57	－	P341	－	VIIA3t	59 F	Pit 60
P292	－	VIIA11o	57	－	P342	－	VIIA3t	59 F	Pit 61

遺構番号	時　期	グリッド	調査区	登録番号
P343	－	ⅦA3t	59 F	Pit117
P344	－	ⅦA3t	59 F	Pit 35
P345	－	ⅦA3t, ⅦB3a	59 F	Pit 33
P346	－	ⅦA3, 4t	59 F	Pit 54
P347	－	ⅦA3, 4t	59 F	Pit 62
P348	－	ⅦA4t	59 F	Pit 25
P349	－	ⅦA4t	59 F	Pit118
P350	－	ⅦA4t	59 F	Pit 56
P351	－	ⅦA4t	59 F	Pit 26
P352	－	ⅦA4t	59 F	Pit 63
P353	－	ⅦA6t	59 F	Pit119
P354	－	ⅦB3a	59 F	Pit 58
P355	－	ⅦB3a	59 F	Pit108
P356	－	ⅦB3a	59 F	Pit109
P357	－	ⅦB3a	59 F	Pit110
P358	－	ⅦB3a	59 F	Pit111
P359	－	ⅦB3a	59 F	Pit125
P360	－	ⅦB3a	59 F	Pit 36
P361	－	ⅦB3a	59 F	Pit 67
P362	－	ⅦB3a	59 F	Pit 37
P363	－	ⅦB3a	59 F	Pit112
P364	－	ⅦB3a	59 F	Pit 64
P365	－	ⅦB3a	59 F	Pit114
P366	－	ⅦB3a	59 F	Pit113
P367	－	ⅦB3a	59 F	Pit126
P368	－	ⅦB3a	59 F	Pit 70
P369	－	ⅦB3a	59 F	Pit 72A
P370	－	ⅦB3ab	59 F	Pit 68
P371	－	ⅦB3ab	59 F	Pit 38
P372	－	ⅦB3, 4a	59 F	Pit 65
P373	－	ⅦB3, 4a	59 F	Pit115
P374	－	ⅦB4a	59 F	Pit116
P375	－	ⅦB4a	59 F	Pit106
P376	－	ⅦB4a	59 F	Pit 66
P377	－	ⅦB4a	59 F	Pit124
P378	－	ⅦB4a	59 F	Pit105
P379	－	ⅦB3b	59 F	Pit 69
P380	－	ⅦB3b	59 F	Pit 42
P381	－	ⅦB3b	59 F	Pit 44
P382	－	ⅦB3b	59 F	Pit 39
P383	－	ⅦB3b	59 F	Pit120
P384	－	ⅦB3b	59 F	Pit 72B
P385	－	ⅦB3b	59 F	Pit 71
P386	－	ⅦB3b	59 F	Pit 41
P387	－	ⅦB3b	59 F	Pit 40
P388	－	ⅦB3b	59 F	Pit 74
P389	－	ⅦB3b	59 F	Pit 43
P390	－	ⅦB3b	59 F	Pit 45
P391	－	ⅦB3b	59 F	Pit 46
P392	－	ⅦB3b	59 F	Pit 77

遺構番号	時　期	グリッド	調査区	登録番号
P393	－	ⅦB3b	59 F	Pit121
P394	－	ⅦB3b	59 F	Pit 82
P395	－	ⅦB3b	59 F	Pit 83
P396	－	ⅦB3bc	59 F	Pit 79
P397	－	ⅦB3bc	59 F	Pit 81
P398	－	ⅦB4b	59 F	Pit 75
P399	－	ⅦB4b	59 F	Pit 76
P400	－	ⅦB4b	59 F	Pit 86
P401	－	ⅦB4b	59 F	Pit127
P402	－	ⅦB4b	59 F	Pit 87
P403	－	ⅦB4b	59 F	－
P404	－	ⅦB6bc	59 F	Pit104
P405	－	ⅦB2c	59 F	Pit 89
P406	－	ⅦB2c	59 F	Pit 90
P407	－	ⅦB2c	59 F	Pit 91
P408	－	ⅦB2cd	59 F	Pit 93
P409	－	ⅦB2cd	59 F	Pit 92
P410	－	ⅦB3c	59 F	Pit 78
P411	－	ⅦB3c	59 F	Pit 80
P412	－	ⅦB3c	59 F	Pit 47
P413	－	ⅦB3c	59 F	Pit 85
P414	－	ⅦB3c	59 F	Pit 84
P415	－	ⅦB3c	59 F	Pit 48
P416	－	ⅦB3cd	59 F	Pit 97
P417	－	ⅦB3, 4c	59 F	Pit122
P418	－	ⅦB3, 4c	59 F	Pit123
P419	－	ⅦB4c	59 F	Pit 88
P420	－	ⅦB6c	59 F	Pit 49
P421	－	ⅦB6c	59 F	Pit 50
P422	－	ⅦB6c	59 F	Pit102
P423	－	ⅦB6c	59 F	Pit103
P424	－	ⅦB2d	59 F	Pit 94
P425	－	ⅦB2d	59 F	Pit 95
P426	－	ⅦB3d	59 F	Pit 96
P427	－	ⅦB3d	59 F	Pit 98
P428	－	ⅦB4d	59 F	Pit 99
P429	－	ⅦB4d	59 F	Pit100
P430	－	ⅦB4d	59 F	Pit101
P431	－	ⅦA14f	59 G	Pit145
P432	－	ⅦA14f	59 G	Pit144
P433	－	ⅦA14f	59 G	－
P434	－	ⅦA14f	59 G	Pit140
P435	－	ⅦA14f	59 G	－
P436	－	ⅦA14f	59 G	－
P437	－	ⅦA14f	59 G	－
P438	－	ⅦA14f	59 G	Pit138
P439	－	ⅦA14f	59 G	Pit139
P440	－	ⅦA15f	59 G	Pit146
P441	－	ⅦA15f	59 G	－
P442	－	ⅦA15f	59 G	－

遺構番号	時　期	グリッド	調査区	登録番号	遺構番号	時　期	グリッド	調査区	登録番号
P443	－	ⅦA15f	59G	Pit150	P493	－	ⅦA14h	59G	Pit 91
P444	－	ⅦA15f	59G	Pit149	P494	－	ⅦA14, 15h	59G	Pit 92
P445	－	ⅦA15f	59G	Pit148	P495	－	ⅦA15h	59G	Pit 93
P446	－	ⅦA15f	59G	Pit147	P496	－	ⅦA15h	59G	Pit100
P447	－	ⅦA15, 16f	59G	Pit151	P497	－	ⅦA15h	59G	Pit101
P448	－	ⅦA15fg	59G	－	P498	－	ⅦA15h	59G	Pit112
P449	－	ⅦA14g	59G	Pit132	P499	－	ⅦA15h	59G	Pit111
P450	－	ⅦA14g	59G	Pit133	P500	－	ⅦA15h	59G	Pit110
P451	－	ⅦA14g	59G	－	P501	－	ⅦA15h	59G	Pit113
P452	－	ⅦA14g	59G	Pit129	P502	－	ⅦA15h	59G	Pit 97
P453	－	ⅦA14g	59G	Pit137	P503	－	ⅦA15h	59G	Pit 96
P454	－	ⅦA14g	59G	Pit128	P504	－	ⅦA15h	59G	Pit 95
P455	－	ⅦA14g	59G	Pit118	P505	－	ⅦA15h	59G	Pit 94
P456	－	ⅦA14g	59G	Pit117	P506	－	ⅦA15h	59G	Pit 98
P457	－	ⅦA14g	59G	Pit115	P507	－	ⅦA15h	59G	Pit114
P458	－	ⅦA14g	59G	Pit119	P508	－	ⅦA15h	59G	Pit 99
P459	－	ⅦA14g	59G	Pit120	P509	－	ⅦA15h	59G	－
P460	－	ⅦA14g	59G	Pit116	P510	－	ⅦA15h	59G	Pit102
P461	－	ⅦA14g	59G	Pit121	P511	－	ⅦA15h	59G	Pit105
P462	－	ⅦA14g	59G	－	P512	－	ⅦA15h	59G	Pit104
P463	－	ⅦA14g	59G	Pit122	P513	－	ⅦA15h	59G	Pit103
P464	－	ⅦA14gh	59G	－	P514	－	ⅦA15h	59G	Pit 86
P465	－	ⅦA14gh	59G	－	P515	－	ⅦA15h	59G	Pit 81
P466	－	ⅦA15g	59G	Pit136	P516	－	ⅦA15h	59G	－
P467	－	ⅦA15g	59G	Pit135	P517	－	ⅦA15h	59G	Pit 73
P468	－	ⅦA15g	59G	Pit134	P518	－	ⅦA14, 15hi	59G	Pit 82
P469	－	ⅦA15g	59G	Pit124	P519	－	ⅦA15hi	59G	Pit 72
P470	－	ⅦA15g	59G	Pit123	P520	－	ⅦA15h	59G	－
P471	－	ⅦA15g	59G	Pit125	P521	－	ⅦA15h	59G	Pit 78
P472	－	ⅦA15g	59G	Pit126	P522	－	ⅦA15h	59G	Pit 75
P473	－	ⅦA15g	59G	Pit127	P523	－	ⅦA15h	59G	Pit 76
P474	－	ⅦA14h	59G	Pit106	P524	－	ⅦA15h	59G	Pit 77
P475	－	ⅦA14h	59G	－	P525	－	ⅦA15hi	59G	Pit 74
P476	－	ⅦA14h	59G	Pit108	P526	－	ⅦA14i	59G	－
P477	－	ⅦA14h	59G	Pit107	P527	－	ⅦA14i	59G	Pit 71
P478	－	ⅦA14h	59G	Pit109	P528	－	ⅦA14i	59G	－
P479	－	ⅦA14h	59G	Pit 69	P529	－	ⅦA14i	59G	－
P480	－	ⅦA14h	59G	Pit 68	P530	－	ⅦA14ij	59G	－
P481	－	ⅦA14h	59G	－	P531	－	ⅦA15i	59G	－
P482	－	ⅦA14h	59G	Pit 87	P532	－	ⅦA15i	59G	Pit 56A
P483	－	ⅦA14h	59G	Pit 88	P533	－	ⅦA15i	59G	－
P484	－	ⅦA14h	59G	Pit 90	P534	－	ⅦA15i	59G	－
P485	－	ⅦA14h	59G	Pit 89	P535	－	ⅦA14j	59G	Pit 55
P486	－	ⅦA14h	59G	Pit130	P536	－	ⅦA14j	59G	Pit 56B
P487	－	ⅦA14h	59G	Pit131	P537	－	ⅦA14j	59G	－
P488	－	ⅦA14h	59G	Pit 84	P538	－	ⅦA14j	59G	Pit 57
P489	－	ⅦA14h	59G	Pit 83	P539	－	ⅦA14j	59G	－
P490	－	ⅦA14h	59G	Pit 79	P540	－	ⅦA14j	59G	Pit 58
P491	－	ⅦA14h	59G	Pit 80	P541	－	ⅦA15j	59G	－
P492	－	ⅦA14h	59G	Pit 85	P542	－	ⅦA14, 15j	59G	Pit 65

遺構番号	時　期	グリッド	調査区	登録番号
P543	－	ⅧA15j	59G	Pit 64
P544	－	ⅧA15j	59G	Pit 59
P545	－	ⅧA15j	59G	－
P546	－	ⅧA15j	59G	Pit 60
P547	－	ⅧA15j	59G	Pit 61
P548	－	ⅧA15j	59G	Pit 62
P549	－	ⅧA15j	59G	Pit 63
P550	－	ⅧA14k	59G	－
P551	－	ⅧA14k	59G	Pit 53
P552	－	ⅧA14k	59G	－
P553	－	ⅧA14k	59G	Pit 51
P554	－	ⅧA14k	59G	－
P555	－	ⅧA14k	59G	－
P556	－	ⅧA15k	59G	－
P557	－	ⅧA15k	59G	Pit 54
P558	－	ⅧA15k	59G	－
P559	－	ⅧA15k	59G	－
P560	－	ⅧA14l	59G	－
P561	－	ⅧA14l	59G	－
P562	－	ⅧA14l	59G	－
P563	－	ⅧA14l	59G	－
P564	－	ⅧA14l	59G	－
P565	－	ⅧA14l	59G	－
P566	－	ⅧA14l	59G	－
P567	－	ⅧA12st	59G	Pit 52
P568	－	ⅧA13, 14m	59G	Pit 47
P569	－	ⅧA14m	59G	Pit 50
P570	－	ⅧA14m	59G	Pit 49
P571	－	ⅧA14m	59G	Pit 48
P572	－	ⅧA14m	59G	－
P573	－	ⅧA13n	59G	Pit 43
P574	－	ⅧA13n	59G	Pit 44
P575	－	ⅧA14n	59G	Pit 45
P576	－	ⅧA14n	59G	Pit 46
P577	－	ⅧA14n	59G	Pit 41
P578	－	ⅧA14n	59G	Pit 42
P579	－	ⅧA13p	59G	Pit 16
P580	－	ⅧA13p	59G	Pit 17
P581	－	ⅧA13p	59G	Pit 18
P582	－	ⅧA13p	59G	Pit 19
P583	－	ⅧA13p	59G	Pit 20
P584	－	ⅧA13p	59G	Pit 24A
P585	－	ⅧA13p	59G	Pit 22
P586	－	ⅧA13p	59G	Pit 24B
P587	－	ⅧA13p	59G	Pit 21
P588	－	ⅧA13p	59G	Pit 27
P589	－	ⅧA13p	59G	Pit 28
P590	－	ⅧA13, 14p	59G	Pit 29
P591	－	ⅧA13, 14p	59G	Pit 25
P592	－	ⅧA13, 14p	59G	Pit 30

遺構番号	時　期	グリッド	調査区	登録番号
P593	－	ⅧA14p	59G	Pit 26
P594	－	ⅧA14p	59G	Pit 31
P595	－	ⅧA14p	59G	Pit 33
P596	－	ⅧA14p	59G	Pit 34
P597	－	ⅧA14p	59G	Pit 38
P598	－	ⅧA14p	59G	Pit 36
P599	－	ⅧA14p	59G	Pit 35
P600	－	ⅧA14p	59G	Pit 37
P601	－	ⅧA14p	59G	－
P602	－	ⅧA13q	59G	Pit 13
P603	－	ⅧA13q	59G	Pit 40
P604	－	ⅧA13, 14q	59G	Pit 14
P605	－	ⅧA14q	59G	Pit 39
P606	－	ⅧA12s	59G	Pit 07
P607	－	ⅧA12s	59G	Pit 10
P608	－	ⅧA12, 13s	59G	Pit 11
P609	－	ⅧA12st	59G	Pit152
P610	－	ⅧA13s	59G	Pit 09
P611	－	ⅧA13s	59G	－
P612	－	ⅧA13s	59G	Pit 08
P613	－	ⅧA13s	59G	Pit 06
P614	－	ⅧA13s	59G	Pit 05
P615	－	ⅧA13t	59G	－
P616	－	ⅧA13t	59G	Pit 03
P617	－	ⅧA13t	59G	－
P618	－	ⅧA13t	59G	Pit 04
P619	－	ⅧA13t	59G	Pit 02
P620	－	ⅧA13t, ⅧB13a	59G	－
P621	－	ⅧB13a	59G	－
P622	－	ⅧB11, 12b	60C	Pit 10
P623	－	ⅧB12b	60C	Pit 11
P624	－	ⅧB10c	60C	Pit 09
P625	－	ⅧB4e	60C	Pit 08
P626	－	ⅧB5e	60C	Pit 12
P627	－	ⅧB2, 3f	60C	Pit 01
P628	－	ⅧB3f	60C	Pit 05
P629	－	ⅧB3f	60C	Pit 06
P630	－	ⅧB3f	60C	Pit 07
P631	－	ⅧB3f	60C	Pit 02
P632	－	ⅧB3f	60C	Pit 03
P633	－	ⅧB3f	60C	Pit 04
P634	－	ⅧB11, 12e	59EZ	Pit685
P635	－	ⅧB11f	59EZ	Pit689
P636	－	ⅧB12f	59EZ	Pit688
P637	－	ⅧB12f	59EZ	Pit687
P638	－	ⅧB2g	59EZ	Pit606
P639	－	ⅧB2g	59EZ	Pit611
P640	－	ⅧB2g	59EZ	Pit608
P641	－	ⅧB2g	59EZ	Pit603
P642	－	ⅧB2g	59EZ	Pit607

遺構番号	時　期	グリッド	調査区	登録番号	遺構番号	時　期	グリッド	調査区	登録番号
P643	－	Ⅷ B2g	59 E 2	Pit604	P693	－	Ⅷ B9l	59 E 2	Pit752
P644	－	Ⅷ B2g	59 E 2	Pit605	P694	－	Ⅷ B9l	59 E 2	Pit751
P645	－	Ⅷ B2gh	59 E 2	Pit612	P695	－	Ⅷ B9l	59 E 2	Pit753B
P646	－	Ⅷ B3g	59 E 2	Pit600	P696	－	Ⅷ B9l	59 E 2	Pit750
P647	－	Ⅷ B3g	59 E 2	Pit601	P697	－	Ⅷ B9l	59 E 2	Pit749
P648	－	Ⅷ B3g	59 E 2	Pit609	P698	－	Ⅷ B9l	59 E 2	Pit730
P649	－	Ⅷ B3g	59 E 2	Pit610	P699	－	Ⅷ B9l	59 E 2	Pit723A
P650	－	Ⅷ B2h	59 E 2	Pit621	P700	－	Ⅷ B9l	59 E 2	Pit722
P651	－	Ⅷ B2h	59 E 2	Pit618	P701	－	Ⅷ B9l	59 E 2	Pit727
P652	－	Ⅷ B2h	59 E 2	Pit620	P702	－	Ⅷ B9l	59 E 2	Pit719
P653	－	Ⅷ B2h	59 E 2	Pit619	P703	－	Ⅷ B9l	59 E 2	Pit725
P654	－	Ⅷ B3h	59 E 2	Pit622	P704	－	Ⅷ B9l	59 E 2	Pit788
P655	－	Ⅷ B3h	59 E 2	Pit623	P705	－	Ⅷ B9l	59 E 2	Pit726
P656	－	Ⅷ B3h	59 E 2	Pit615	P706	－	Ⅷ B9l	59 E 2	Pit729
P657	－	Ⅷ B3h	59 E 2	Pit616	P707	－	Ⅷ B9, 10l	59 E 2	Pit748
P658	－	Ⅷ B3h	59 E 2	Pit617	P708	－	Ⅷ B10l	59 E 2	Pit746B
P659	－	Ⅷ B3h	59 E 2	Pit624	P709	－	Ⅷ B10l	59 E 2	Pit746A
P660	－	Ⅷ B3h	59 E 2	Pit613	P710	－	Ⅷ B10l	59 E 2	Pit745
P661	－	Ⅷ B3h	59 E 2	Pit614	P711	－	Ⅷ B10l	59 E 2	Pit743
P662	－	Ⅷ B3hi	59 E 2	－	P712	－	Ⅷ B10l	59 E 2	Pit742
P663	－	Ⅷ B2i	59 E 2	Pit629	P713	－	Ⅷ B10, 11l	59 E 2	Pit782
P664	－	Ⅷ B2, 3i	59 E 2	Pit643	P714	－	Ⅷ B10l	59 E 2	Pit786
P665	－	Ⅷ B3i	59 E 2	Pit626	P715	－	Ⅷ B10l	59 E 2	Pit787
P666	－	Ⅷ B3i	59 E 2	Pit628	P716	－	Ⅷ B10l	59 E 2	Pit740
P667	－	Ⅷ B3i	59 E 2	Pit625	P717	－	Ⅷ B10l	59 E 2	Pit728
P668	－	Ⅷ B3i	59 E 2	Pit641	P718	－	Ⅷ B10l	59 E 2	Pit760
P669	－	Ⅷ B3j	59 E 2	Pit637	P719	－	Ⅷ B10l	59 E 2	Pit759
P670	－	Ⅷ B3j	59 E 2	Pit633	P720	－	Ⅷ B10l	59 E 2	Pit758
P671	－	Ⅷ B3j	59 E 2	Pit634	P721	－	Ⅷ B10l	59 E 2	Pit757
P672	－	Ⅷ B3jk	59 E 2	Pit649	P722	－	Ⅷ B10, 11l	59 E 2	Pit781
P673	－	Ⅷ B3j	59 E 2	Pit632	P723	－	Ⅷ B11l	59 E 2	Pit741
P674	－	Ⅷ B3j	59 E 2	Pit795	P724	－	Ⅷ B11l	59 E 2	Pit744
P675	－	Ⅷ B3j	59 E 2	Pit645	P725	－	Ⅷ B3m	59 E 2	Pit667
P676	－	Ⅷ B3j	59 E 2	Pit639	P726	－	Ⅷ B3m	59 E 2	Pit653
P677	－	Ⅷ B3j	59 E 2	Pit650	P727	－	Ⅷ B3m	59 E 2	Pit654
P678	－	Ⅷ B3jk	59 E 2	Pit647	P728	－	Ⅷ B3lm	59 E 2	Pit655
P679	－	Ⅷ B3k	59 E 2	Pit636	P729	－	Ⅷ B3mn	59 E 2	Pit676
P680	－	Ⅷ B3k	59 E 2	Pit635	P730	－	Ⅷ B3mn	59 E 2	Pit663
P681	－	Ⅷ B3k	59 E 2	Pit642	P731	－	Ⅷ B4m	59 E 2	Pit672
P682	－	Ⅷ B2l	59 E 2	Pit646	P732	－	Ⅷ B4m	59 E 2	Pit671
P683	－	Ⅷ B2l	59 E 2	Pit640	P733	－	Ⅷ B4m	59 E 2	Pit666
P684	－	Ⅷ B3lm	59 E 2	Pit794	P734	－	Ⅷ B4, 5m	59 E 2	Pit679
P685	－	Ⅷ B8l	59 E 2	Pit789	P735	－	Ⅷ B7m	59 E 2	Pit691
P686	－	Ⅷ B9l	59 E 2	Pit790	P736	－	Ⅷ B8m	59 E 2	Pit771
P687	－	Ⅷ B9l	59 E 2	Pit732	P737	－	Ⅷ B8m	59 E 2	Pit763
P688	－	Ⅷ B9l	59 E 2	Pit733	P738	－	Ⅷ B8m	59 E 2	Pit764
P689	－	Ⅷ B9l	59 E 2	Pit724	P739	－	Ⅷ B8m	59 E 2	Pit765
P690	－	Ⅷ B9l	59 E 2	Pit755	P740	－	Ⅷ B8m	59 E 2	Pit791
P691	－	Ⅷ B9l	59 E 2	Pit712	P741	－	Ⅷ B8m	59 E 2	Pit770
P692	－	Ⅷ B9l	59 E 2	Pit753	P742	－	Ⅷ B8mn	59 E 2	Pit769

遺構番号	時　期	グリッド	調査区	登録番号	遺構番号	時　期	グリッド	調査区	登録番号
P743	－	ⅧB8m	59E2	Pit709A	P793	－	ⅧB9n	59E2	Pit693
P744	－	ⅧB8m	59E2	Pit705	P794	－	ⅧB9n	59E2	Pit696
P745	－	ⅧB8m	59E2	Pit736	P795	－	ⅧB9n	59E2	Pit695
P746	－	ⅧB8m	59E2	Pit735	P796	－	ⅧB9n	59E2	Pit700
P747	－	ⅧB8m	59E2	Pit738	P797	－	ⅧB9n	59E2	Pit692
P748	－	ⅧB8，9m	59E2	Pit737	P798	－	ⅧB9n	59E2	Pit704
P749	－	ⅧB9m	59E2	Pit754	P799	－	ⅧB9n	59E2	Pit694
P750	－	ⅧB9m	59E2	Pit773	P800	－	ⅧB9n	59E2	Pit775
P751	－	ⅧB9m	59E2	Pit756	P801	－	ⅧB9n	59E2	Pit715
P752	－	ⅧB9m	59E2	Pit718	P802	－	ⅧB10n	59E2	Pit777
P753	－	ⅧB9m	59E2	Pit707	P803	－	ⅧB10n	59E2	Pit776
P754	－	ⅧB9m	59E2	Pit785	P804	－	ⅧB10n	59E2	Pit762
P755	－	ⅧB9m	59E2	Pit713	P805	－	ⅧB10n	59E2	Pit711
P756	－	ⅧB9m	59E2	Pit708	P806	－	ⅧB1o	59E2	Pit648
P757	－	ⅧB9m	59E2	Pit710	P807	－	ⅧB3o	59E2	Pit669
P758	－	ⅧB9m	59E2	Pit720	P808	－	ⅧB3o	59E2	Pit670
P759	－	ⅧB9m	59E2	Pit772	P809	－	ⅧB3o	59E2	Pit678
P760	－	ⅧB9m	59E2	Pit701	P810	－	ⅧB4o	59E2	Pit660
P761	－	ⅧB9m	59E2	Pit774	P811	－	ⅧB4o	59E2	Pit659
P762	－	ⅧB9m	59E2	Pit702	P812	－	ⅧB4o	59E2	Pit661
P763	－	ⅧB9m	59E2	Pit716	P813	－	ⅧB4o	59E2	Pit662
P764	－	ⅧB9mn	59E2	Pit698	P814	－	ⅧB5o	59E2	Pit673
P765	－	ⅧB9m	59E2	Pit699	P815	－	ⅧB7n	59E	Pit 26
P766	－	ⅧB10m	59E2	Pit780	P816	－	ⅧB7n	59E	Pit 01
P767	－	ⅧB10m	59E2	Pit779	P817	－	ⅧB8n	59E	Pit 54
P768	－	ⅧB10mn	59E2	Pit714	P818	－	ⅧB8n	59E	Pit 29
P769	－	ⅧB10m	59E2	Pit778	P819	－	ⅧB8n	59E	Pit 30
P770	－	ⅧB1n	59E2	Pit793	P820	－	ⅧB8n	59E	Pit 28
P771	－	ⅧB1n	59E2	Pit792	P821	－	ⅧB8no	59E	Pit 53
P772	－	ⅧB3n	59E2	Pit656	P822	－	ⅧB8n	59E	－
P773	－	ⅧB3n	59E2	Pit657	P823	－	ⅧB9n	59E	Pit367
P774	－	ⅧB3n	59E2	Pit658	P824	－	ⅧB9n	59E	Pit306
P775	－	ⅧB3n	59E2	Pit668	P825	－	ⅧB9n	59E	Pit305A
P776	－	ⅧB3n	59E2	Pit651	P826	－	ⅧB9n	59E	Pit363
P777	－	ⅧB3n	59E2	Pit684	P827	－	ⅧB9n	59E	Pit364
P778	－	ⅧB3n	59E2	Pit665	P828	－	ⅧB9n	59E	Pit360
P779	－	ⅧB3n	59E2	Pit652	P829	－	ⅧB9n	59E	Pit361
P780	－	ⅧB3，4no	59E2	Pit677	P830	－	ⅧB9n	59E	Pit362
P781	－	ⅧB4n	59E2	Pit683	P831	－	ⅧB9n	59E	Pit342
P782	－	ⅧB4n	59E2	Pit682	P832	－	ⅧB9n	59E	Pit343
P783	－	ⅧB4，5n	59E2	Pit680	P833	－	ⅧB9n	59E	Pit344
P784	－	ⅧB5n	59E2	Pit681	P834	－	ⅧB9n	59E	Pit231A
P785	－	ⅧB7n	59E2	Pit784	P835	－	ⅧB9n	59E	Pit 23
P786	－	ⅧB7n	59E2	Pit783	P836	－	ⅧB9n	59E	Pit346
P787	－	ⅧB8n	59E2	Pit767	P837	－	ⅧB9，10n	59E	Pit 22A
P788	－	ⅧB8n	59E2	Pit709B	P838	－	ⅧB10n	59E	Pit345
P789	－	ⅧB8n	59E2	Pit766	P839	－	ⅧB10n	59E	Pit347
P790	－	ⅧB8n	59E2	Pit768	P840	－	ⅧB10n	59E	Pit 21
P791	－	ⅧB9n	59E2	Pit717	P841	－	ⅧB2o	59E	Pit296
P792	－	ⅧB9n	59E2	Pit697	P842	－	ⅧB2o	59E	Pit297

遺構番号	時　期	グリッド	調査区	登録番号	遺構番号	時　期	グリッド	調査区	登録番号
P843	－	ⅧB2o	59 E	Pit198	P893	－	ⅧB9o	59 E	Pit341
P844	－	ⅧB2o	59 E	Pit298	P894	－	ⅧB9o	59 E	Pit319
P845	－	ⅧB2o	59 E	Pit400	P895	－	ⅧB9o	59 E	Pit329
P846	－	ⅧB3, 4o	59 E	Pit166A	P896	－	ⅧB9o	59 E	Pit318
P847	－	ⅧB4o	59 E	Pit159	P897	－	ⅧB9o	59 E	Pit320
P848	－	ⅧB4o	59 E	Pit413	P898	－	ⅧB9o	59 E	Pit321
P849	－	ⅧB4o	59 E	Pit414	P899	－	ⅧB9o	59 E	Pit322
P850	－	ⅧB4o	59 E	Pit126	P900	－	ⅧB9o	59 E	Pit323
P851	－	ⅧB4op	59 E	Pit127	P901	－	ⅧB9o	59 E	Pit328
P852	－	ⅧB6o	59 E	Pit432	P902	－	ⅧB9, 10o	59 E	Pit327
P853	－	ⅧB6o	59 E	Pit431	P903	－	ⅧB10o	59 E	Pit324
P854	－	ⅧB6o	59 E	－	P904	－	ⅧB10o	59 E	Pit325
P855	－	ⅧB7o	59 E	Pit485	P905	－	ⅧB10o	59 E	Pit370
P856	－	ⅧB7o	59 E	－	P906	－	ⅧB10o	59 E	Pit326
P857	－	ⅧB7o	59 E	Pit483	P907	－	ⅧB10o	59 E	Pit 20
P858	－	ⅧB7op	59 E	Pit484	P908	－	ⅧB10o	59 E	Pit 57
P859	－	ⅧB7o	59 E	Pit350	P909	－	ⅧB1p	59 E	Pit450
P860	－	ⅧB7o	59 E	Pit 36	P910	－	ⅧB1pq	59 E	－
P861	－	ⅧB8o	59 E	Pit 31	P911	－	ⅧB1p	59 E	Pit451
P862	－	ⅧB8o	59 E	Pit 02	P912	－	ⅧB1p	59 E	Pit192
P863	－	ⅧB8o	59 E	Pit 24	P913	－	ⅧB1p	59 E	－
P864	－	ⅧB8o	59 E	Pit 52	P914	－	ⅧB1p	59 E	Pit193
P865	－	ⅧB8o	59 E	Pit357	P915	－	ⅧB1p	59 E	Pit197
P866	－	ⅧB8o	59 E	Pit358	P916	－	ⅧB1p	59 E	－
P867	－	ⅧB8o	59 E	Pit 32	P917	－	ⅧB1p	59 E	Pit194
P868	－	ⅧB8o	59 E	Pit 37	P918	－	ⅧB1p	59 E	Pit449
P869	－	ⅧB8o	59 E	Pit 33	P919	－	ⅧB1p	59 E	Pit243
P870	－	ⅧB8o	59 E	Pit 38	P920	－	ⅧB1p	59 E	Pit195
P871	－	ⅧB8o	59 E	Pit 25	P921	－	ⅧB1p	59 E	Pit196
P872	－	ⅧB8o	59 E	Pit355	P922	－	ⅧB2pq	59 E	－
P873	－	ⅧB8o	59 E	－	P923	－	ⅧB2p	59 E	Pit445
P874	－	ⅧB8o	59 E	Pit352	P924	－	ⅧB2p	59 E	Pit447
P875	－	ⅧB8o	59 E	Pit353	P925	－	ⅧB2p	59 E	Pit446
P876	－	ⅧB8o	59 E	Pit354	P926	－	ⅧB2p	59 E	Pit199
P877	－	ⅧB8o	59 E	Pit312	P927	－	ⅧB2p	59 E	Pit299
P878	－	ⅧB8o	59 E	Pit339	P928	－	ⅧB2p	59 E	Pit401
P879	－	ⅧB8o	59 E	Pit338	P929	－	ⅧB2p	59 E	Pit402
P880	－	ⅧB9o	59 E	Pit337	P930	－	ⅧB3p	59 E	Pit162
P881	－	ⅧB9o	59 E	Pit310	P931	－	ⅧB3p	59 E	Pit163A
P882	－	ⅧB9o	59 E	Pit309	P932	－	ⅧB3p	59 E	Pit444
P883	－	ⅧB9o	59 E	Pit311	P933	－	ⅧB3p	59 E	Pit161
P884	－	ⅧB9o	59 E	Pit313	P934	－	ⅧB3p	59 E	Pit139
P885	－	ⅧB9o	59 E	Pit314	P935	－	ⅧB3p	59 E	Pit120
P886	－	ⅧB9o	59 E	Pit315	P936	－	ⅧB3p	59 E	Pit138
P887	－	ⅧB9o	59 E	Pit307	P937	－	ⅧB3p	59 E	Pit140
P888	－	ⅧB9o	59 E	Pit308	P938	－	ⅧB3p	59 E	Pit145
P889	－	ⅧB9o	59 E	Pit372	P939	－	ⅧB3, 4p	59 E	－
P890	－	ⅧB9o	59 E	Pit316	P940	－	ⅧB3, 4p	59 E	Pit141
P891	－	ⅧB9o	59 E	Pit317	P941	－	ⅧB4p	59 E	Pit410
P892	－	ⅧB9o	59 E	Pit359	P942	－	ⅧB4p	59 E	Pit411

遺構番号	時　期	グリッド	調査区	登録番号
P943	－	ⅧB4p	59 E	Pit412
P944	－	ⅧB4p	59 E	Pit128
P945	－	ⅧB4p	59 E	Pit133
P946	－	ⅧB4p	59 E	Pit134
P947	－	ⅧB4p	59 E	Pit135
P948	－	ⅧB4p	59 E	Pit136
P949	－	ⅧB4p	59 E	Pit142
P950	－	ⅧB4p	59 E	Pit409
P951	－	ⅧB4p	59 E	Pit137
P952	－	ⅧB4p	59 E	Pit132
P953	－	ⅧB4p	59 E	Pit415
P954	－	ⅧB4p	59 E	Pit131
P955	－	ⅧB4p	59 E	Pit130
P956	－	ⅧB4p	59 E	Pit416
P957	－	ⅧB4p	59 E	Pit203
P958	－	ⅧB4p	59 E	Pit204
P959	－	ⅧB4p	59 E	Pit129
P960	－	ⅧB6p	59 E	－
P961	－	ⅧB6p	59 E	Pit630
P962	－	ⅧB6p	59 E	－
P963	－	ⅧB6p	59 E	－
P964	－	ⅧB7p	59 E	Pit488
P965	－	ⅧB8p	59 E	Pit 39
P966	－	ⅧB8p	59 E	Pit 41
P967	－	ⅧB8p	59 E	Pit 40
P968	－	ⅧB8p	59 E	Pit 42
P969	－	ⅧB8p	59 E	Pit 55
P970	－	ⅧB8p	59 E	－
P971	－	ⅧB8p	59 E	Pit356
P972	－	ⅧB9p	59 E	Pit331
P973	－	ⅧB9p	59 E	Pit369
P974	－	ⅧB9p	59 E	Pit368
P975	－	ⅧB9p	59 E	Pit 59
P976	中Ⅰ	ⅧB9pq	59 E	Pit 58
P977	－	ⅧB9p	59 E	Pit 60
P978	－	ⅧB9p	59 E	Pit332
P979	－	ⅧB9p	59 E	Pit333
P980	－	ⅧB9p	59 E	Pit334
P981	－	ⅧB9p	59 E	Pit335
P982	－	ⅧB9p	59 E	Pit336
P983	－	ⅧB20q	59 E	Pit472
P984	－	ⅧB20q	59 E	Pit473
P985	－	ⅧB20q	59 E	Pit474
P986	－	ⅧB20q	59 E	Pit438
P987	－	ⅧB20q, ⅧB1q	59 E	Pit439
P988	－	ⅧB1q	59 E	Pit123
P989	－	ⅧB1q	59 E	Pit121
P990	－	ⅧB1q	59 E	Pit122
P991	－	ⅧB1q	59 E	Pit476
P992	－	ⅧB1q	59 E	Pit244

遺構番号	時　期	グリッド	調査区	登録番号
P 993	－	ⅧB1q	59 E	Pit245
P 994	－	ⅧB1q	59 E	Pit477
P 995	－	ⅧB1q	59 E	Pit249
P 996	－	ⅧB1q	59 E	－
P 997	－	ⅧB1q	59 E	－
P 998	－	ⅧB1q	59 E	Pit124
P 999	－	ⅧB1q	59 E	Pit246
P1000	－	ⅧB1q	59 E	Pit164
P1001	－	ⅧB1q	59 E	Pit165
P1002	－	ⅧB1, 2q	59 E	－
P1003	－	ⅧB1, 2q	59 E	Pit279A
P1004	－	ⅧB2q	59 E	Pit248
P1005	－	ⅧB2q	59 E	Pit274
P1006	－	ⅧB2q	59 E	－
P1007	－	ⅧB2q	59 E	Pit275
P1008	－	ⅧB2qr	59 E	Pit290
P1009	－	ⅧB2q	59 E	Pit158
P1010	－	ⅧB2q	59 E	Pit154
P1011	－	ⅧB2q	59 E	Pit294
P1012	－	ⅧB2q	59 E	Pit295
P1013	－	ⅧB2q	59 E	Pit153
P1014	－	ⅧB2q	59 E	Pit152
P1015	－	ⅧB2q	59 E	Pit292
P1016	－	ⅧB2q	59 E	Pit291
P1017	－	ⅧB2q	59 E	Pit156
P1018	－	ⅧB2q	59 E	Pit157
P1019	－	ⅧB2q	59 E	Pit452
P1020	－	ⅧB2q	59 E	Pit151
P1021	－	ⅧB2q	59 E	Pit155
P1022	－	ⅧB2q	59 E	Pit293
P1023	－	ⅧB2q	59 E	－
P1024	－	ⅧB2q	59 E	－
P1025	－	ⅧB2q	59 E	－
P1026	－	ⅥB2q	59 E	Pit143A
P1027	－	ⅧB2, 3q	59 E	－
P1028	－	ⅧB2, 3q	59 E	Pit149
P1029	－	ⅧB3q	59 E	Pit147
P1030	－	ⅧB3q	59 E	Pit148
P1031	－	ⅧB3q	59 E	Pit443
P1032	－	ⅧB3q	59 E	Pit146
P1033	－	ⅧB3q	59 E	Pit403
P1034	－	ⅧB3q	59 E	Pit404
P1035	－	ⅧB3q	59 E	Pit405
P1036	－	ⅧB4q	59 E	Pit406
P1037	－	ⅧB4q	59 E	Pit408
P1038	－	ⅧB4q	59 E	Pit144
P1039	－	ⅧB4q	59 E	Pit143B
P1040	－	ⅧB5q	59 E	－
P1041	－	ⅧB5q	59 E	－
P1042	－	ⅧB6q	59 E	－

遺構番号	時　期	グリッド	調査区	登録番号
P1043	－	Ⅷ B8q	59 E	－
P1044	－	Ⅷ B8q	59 E	Pit 51
P1045	－	Ⅷ B8q	59 E	Pit 08
P1046	－	Ⅷ B8q	59 E	Pit 07
P1047	－	Ⅷ B8qr	59 E	Pit 03
P1048	－	Ⅷ B8qr	59 E	Pit 09
P1049	－	Ⅷ B9q	59 E	Pit340
P1050	－	Ⅷ B9q	59 E	Pit371
P1051	－	Ⅷ B9q	59 E	Pit 49
P1052	－	Ⅷ B9q	59 E	Pit305B
P1053	－	Ⅷ B9q	59 E	Pit304
P1054	－	Ⅷ B9q	59 E	Pit 50
P1055	－	Ⅷ B9q	59 E	Pit303
P1056	－	Ⅷ B9q	59 E	Pit302
P1057	－	Ⅷ B10q	59 E	Pit300
P1058	－	Ⅶ B20r	59 E	Pit208
P1059	－	Ⅶ B20r	59 E	Pit207
P1060	－	Ⅶ B20r	59 E	Pit206
P1061	－	Ⅶ B20r	59 E	Pit205
P1062	－	Ⅶ B20r	59 E	Pit209
P1063	－	Ⅶ B20r	59 E	Pit440
P1064	－	Ⅶ B20r	59 E	－
P1065	－	Ⅶ B20r	59 E	－
P1066	－	Ⅶ B20r	59 E	Pit 74
P1067	－	Ⅶ B20rs	59 E	Pit433
P1068	－	Ⅶ B20r	59 E	Pit 76
P1069	－	Ⅶ B20r	59 E	Pit179
P1070	－	Ⅶ B20r	59 E	Pit434
P1071	－	Ⅶ B20r	59 E	Pit435
P1072	－	Ⅶ B20r	59 E	Pit 75
P1073	－	Ⅶ B20r	59 E	Pit436
P1074	－	Ⅶ B20r, Ⅷ B1r	59 E	Pit215
P1075	－	Ⅶ B20r	59 E	－
P1076	－	Ⅶ B20r, Ⅷ B1r	59 E	Pit213
P1077	－	Ⅷ B1r	59 E	Pit216
P1078	－	Ⅶ B20r, Ⅷ B1r	59 E	－
P1079	－	Ⅷ B1r	59 E	Pit210
P1080	－	Ⅷ B1r	59 E	Pit454
P1081	－	Ⅷ B1r	59 E	Pit211
P1082	－	Ⅷ B1r	59 E	Pit470
P1083	－	Ⅷ B1r	59 E	Pit471
P1084	－	Ⅷ B1r	59 E	Pit238
P1085	－	Ⅷ B1r	59 E	Pit239
P1086	－	Ⅷ B1r	59 E	Pit212
P1087	－	Ⅷ B1r	59 E	Pit458
P1088	－	Ⅷ B1r	59 E	Pit455
P1089	－	Ⅷ B1r	59 E	Pit214
P1090	－	Ⅷ B1r	59 E	Pit457
P1091	－	Ⅷ B1r	59 E	Pit224
P1092	－	Ⅷ B1r	59 E	Pit182

遺構番号	時　期	グリッド	調査区	登録番号
P1093	－	Ⅷ B1r	59 E	Pit119
P1094	－	Ⅷ B1rs	59 E	Pit462
P1095	－	Ⅵ B20s	59 E	Pit 91
P1096	－	Ⅷ B1r	59 E	Pit223
P1097	－	Ⅷ B1r	59 E	Pit228
P1098	－	Ⅷ B1r	59 E	Pit460
P1099	－	Ⅷ B1r	59 E	Pit461
P1100	－	Ⅷ B1r	59 E	Pit226
P1101	－	Ⅷ B1r	59 E	Pit230
P1102	－	Ⅷ B1r	59 E	Pit231B
P1103	－	Ⅷ B1r	59 E	Pit453
P1104	－	Ⅷ B1r	59 E	Pit247
P1105	－	Ⅷ B1r	59 E	Pit229
P1106	－	Ⅷ B1r	59 E	Pit240
P1107	－	Ⅷ B1r	59 E	Pit237
P1108	－	Ⅷ B1r	59 E	Pit236
P1109	－	Ⅷ B1r	59 E	Pit481
P1110	－	Ⅷ B1r	59 E	Pit233
P1111	－	Ⅷ B1r	59 E	Pit235
P1112	－	Ⅷ B1r	59 E	Pit234
P1113	－	Ⅷ B1r	59 E	Pit241
P1114	－	Ⅷ B1r	59 E	Pit102
P1115	－	Ⅷ B1r	59 E	Pit103
P1116	－	Ⅷ B1r	59 E	Pit251
P1117	－	Ⅷ B1r	59 E	Pit250
P1118	－	Ⅷ B1r	59 E	Pit256
P1119	－	Ⅷ B1r	59 E	Pit257
P1120	－	Ⅷ B1r	59 E	Pit101
P1121	－	Ⅷ B1r	59 E	Pit254
P1122	－	Ⅷ B1r	59 E	Pit253
P1123	－	Ⅷ B1r	59 E	Pit181A
P1124	－	Ⅷ B1r	59 E	Pit100
P1125	－	Ⅷ B1r	59 E	Pit255
P1126	－	Ⅷ B1r	59 E	Pit258
P1127	－	Ⅷ B1, 2r	59 E	Pit 96
P1128	－	Ⅷ B2r	59 E	Pit252
P1129	－	Ⅷ B2r	59 E	Pit276
P1130	－	Ⅷ B2r	59 E	Pit104
P1131	－	Ⅷ B2r	59 E	Pit277
P1132	－	Ⅷ B2r	59 E	Pit105
P1133	－	Ⅷ B2r	59 E	Pit278
P1134	－	Ⅷ B2r	59 E	Pit106
P1135	－	Ⅷ B2r	59 E	－
P1136	－	Ⅷ B2r	59 E	Pit108
P1137	－	Ⅷ B2r	59 E	Pit109
P1138	－	Ⅵ B2r	59 E	Pit279B
P1139	－	Ⅷ B2r	59 E	Pit478
P1140	－	Ⅷ B2r	59 E	Pit107
P1141	－	Ⅷ B2r	59 E	Pit272
P1142	－	Ⅷ B2r	59 E	Pit 97

遺構番号	時　期	グリッド	調査区	登録番号	遺構番号	時　期	グリッド	調査区	登録番号
P1143	－	ⅧB2rs	59E	Pit465	P1192	－	ⅦB9r	59E	Pit 47
P1144	－	ⅧB2rs	59E	Pit 98	P1193	－	ⅦB9r	59E	－
P1145	－	ⅧB2r	59E	Pit 99	P1194	－	ⅦB20s	59E	Pit116
P1146	－	ⅧB2r	59E	－	P1195	－	ⅦB20s	59E	Pit 71
P1147	－	ⅧB2r	59E	Pit480	P1196	－	ⅦB20s	59E	Pit181B
P1148	－	ⅧB2r	59E	Pit479	P1197	中Ⅰ	ⅦB20s	59E	Pit 72A
P1149	－	ⅥB2r	59E	Pit281	P1198	中Ⅰ	ⅦB20s	59E	Pit 72B
P1150	－	ⅥB2r	59E	Pit280	P1199	－	ⅦB20s	59E	Pit201
P1151	－	ⅧB2r	59E	Pit184	P1200	－	ⅦB20s	59E	Pit200
P1152	－	ⅧB2r	59E	－	P1201	－	ⅦB20s	59E	Pit202
P1153	－	ⅧB2r	59E	Pit183	P1202	－	ⅦB20s	59E	Pit 66
P1154	－	ⅧB2, 3r	59E	Pit282	P1203	－	ⅦB20s	59E	Pit 65
P1155	－	ⅧB2r	59E	Pit110	P1204	－	ⅦB20s	59E	Pit117
P1156	－	ⅧB2, 3r	59E	Pit111	P1205	－	ⅦB20s	59E	－
P1157	－	ⅧB2rs	59E	Pit467	P1206	－	ⅦB20s	59E	Pit 62
P1158	－	ⅧB2r	59E	Pit166B	P1207	－	ⅦB20st	59E	Pit218
P1159	－	ⅧB2, 3r	59E	Pit167	P1208	－	ⅦB20s	59E	Pit 67
P1160	－	ⅧB3r	59E	Pit112	P1209	－	ⅦB20s	59E	Pit 68
P1161	－	ⅧB3r	59E	Pit113	P1210	－	ⅦB20s	59E	Pit 64
P1162	－	ⅧB3r	59E	Pit284	P1211	－	ⅦB20s	59E	Pit 69
P1163	－	ⅧB3r	59E	Pit285	P1212	－	ⅦB20s	59E	Pit 63
P1164	－	ⅧB4r	59E	Pit419	P1213	－	ⅦB20s	59E	Pit219
P1165	－	ⅧB5r	59E	Pit420	P1214	－	ⅦB1s	59E	Pit 73
P1166	－	ⅧB5r	59E	－	P1215	－	ⅦB1s	59E	Pit 22B
P1167	－	ⅧB5r	59E	Pit422	P1216	－	ⅦB1s	59E	Pit463
P1168	－	ⅧB5r	59E	Pit423	P1217	－	ⅦB1r	59E	Pit437
P1169	－	ⅧB5r	59E	Pit424	P1218	－	ⅦB1s	59E	Pit186
P1170	－	ⅧB5r	59E	Pit427	P1219	－	ⅦB1s	59E	Pit118
P1171	－	ⅧB5r	59E	Pit426	P1220	－	ⅦB1s	59E	Pit181C
P1172	－	ⅧB6r	59E	－	P1221	－	ⅦB1s	59E	Pit221
P1173	－	ⅧB7r	59E	－	P1222	－	ⅦB1s	59E	Pit199
P1174	－	ⅧB7r	59E	－	P1223	－	ⅦB1s	59E	Pit189
P1175	－	ⅧB8r	59E	Pit 27	P1224	－	ⅦB1s	59E	Pit188
P1176	－	ⅧB8r	59E	Pit 04	P1225	－	ⅦB1s	59E	－
P1177	－	ⅧB8r	59E	Pit 10	P1226	－	ⅦB1s	59E	Pit 70
P1178	－	ⅧB8r	59E	Pit 11	P1227	－	ⅦB1s	59E	Pit163B
P1179	－	ⅧB8r	59E	Pit 12	P1228	－	ⅦB1s	59E	Pit187
P1180	－	ⅧB8r	59E	Pit 13	P1229	－	ⅦB1s	59E	Pit 81
P1181	－	ⅧB8r	59E	Pit 14	P1230	－	ⅦB1s	59E	Pit 82
P1182	－	ⅧB8, 9r	59E	Pit 19	P1231	－	ⅦB1s	59E	－
	－	ⅧB8, 9r	60B	Pit 16	P1232	－	ⅦB1s	59E	Pit 90
P1183	－	ⅧB9r	59E	Pit 15	P1233	－	ⅦB1s	59E	－
P1184	－	ⅧB9r	59E	Pit 16	P1234	－	ⅦB1s	59E	Pit 87
P1185	－	ⅧB9r	59E	Pit 17	P1235	－	ⅦB1s	59E	Pit178
P1186	－	ⅧB9r	59E	Pit 18	P1236	－	ⅦB1s	59E	Pit 85
P1187	－	ⅧB9r	59E	－	P1237	－	ⅦB1s	59E	Pit 86
P1188	－	ⅧB9r	59E	Pit 44	P1238	－	ⅦB1s	59E	Pit 84
P1189	－	ⅧB9r	59E	Pit 45	P1239	－	ⅦB1s	59E	Pit 83
P1190	－	ⅧB9r	59E	Pit 46	P1240	－	ⅦB1st	59E	Pit 80
P1191	－	ⅧB9r	59E	Pit 48	P1241	－	ⅦB1st	59E	Pit 79

遺構番号	時　期	グリッド	調査区	登録番号
P1242	－	Ⅷ B1s	59 E	Pit 88
P1243	－	Ⅷ B1s	59 E	Pit177A
P1244	－	Ⅷ B1s	59 E	Pit 93
P1245	－	Ⅷ B1s	59 E	Pit 95
P1246	－	Ⅷ B1s	59 E	Pit 92
P1247	－	Ⅷ B1s	59 E	Pit464
P1248	－	Ⅷ B1s	59 E	Pit175
P1249	－	Ⅷ B1s	59 E	Pit172
P1250	－	Ⅷ B1s	59 E	Pit174
P1251	－	Ⅷ B1s	59 E	Pit260
P1252	－	Ⅷ B1s	59 E	Pit259
P1253	－	Ⅷ B1s	59 E	Pit 89
P1254	－	Ⅷ B1s	59 E	Pit176
P1255	－	Ⅷ B1, 2s	59 E	Pit171
P1256	－	Ⅷ B2s	59 E	－
P1257	－	Ⅷ B2s	59 E	Pit 94
P1258	－	Ⅷ B2s	59 E	Pit173
P1259	－	Ⅷ B2s	59 E	－
P1260	－	Ⅷ B2s	59 E	Pit261
P1261	－	Ⅷ B2s	59 E	－
P1262	－	Ⅷ B2s	59 E	Pit466
P1263	－	Ⅷ B2s	59 E	Pit270
P1264	－	Ⅷ B2s	59 E	－
P1265	－	Ⅷ B2s	59 E	－
P1266	－	Ⅷ B2s	59 E	－
P1267	－	Ⅷ B2s	59 E	－
P1268	－	Ⅷ B2s	59 E	－
P1269	－	Ⅷ B2s	59 E	－
P1270	－	Ⅷ B2s	59 E	Pit269
P1271	－	Ⅷ B2s	59 E	Pit268
P1272	－	Ⅷ B2s	59 E	Pit266
P1273	－	Ⅷ B2s	59 E	Pit267
P1274	－	Ⅷ B2s	59 E	Pit262
P1275	－	Ⅷ B2s	59 E	Pit263
P1276	－	Ⅷ B2s	59 E	Pit264
P1277	－	Ⅷ B2s	59 E	Pit265
P1278	－	Ⅷ B3s	59 E	Pit168
P1279	－	Ⅷ B3s	59 E	Pit286
P1280	－	Ⅷ B3s	59 E	Pit169
P1281	－	Ⅷ B3s	59 E	Pit170
P1282	－	Ⅷ B3s	59 E	Pit287A
P1283	－	Ⅷ B3s	59 E	Pit114
P1284	－	Ⅷ B3s	59 E	Pit288
P1285	－	Ⅷ B3s	59 E	Pit287B
P1286	－	Ⅷ B3s	59 E	Pit289
P1287	－	Ⅷ B3s	59 E	Pit115
P1288	－	Ⅷ B3s	59 E	Pit486
	－	Ⅷ B3s	60 B	Pit 84
P1289	－	Ⅷ B3s	59 E	Pit487
P1290	－	Ⅷ B4s	59 E	Pit407

遺構番号	時　期	グリッド	調査区	登録番号
P1291	－	Ⅷ B5s	59 E	Pit425
P1292	－	Ⅷ B20t	59 E	Pit217
P1293	－	Ⅷ B20t	59 E	－
P1294	－	Ⅷ B20t	59 E	Pit230
P1295	－	Ⅷ B20t	59 E	Pit 61
P1296	－	Ⅷ B1t	59 E	Pit177B
P1297	－	Ⅷ B1t	59 E	Pit 78
P1298	－	Ⅷ B7s	60 B	Pit 40
P1299	－	Ⅷ B8r	60 B	Pit 59
P1300	－	Ⅷ B8rs	60 B	Pit 38
P1301	－	Ⅷ B8r	60 B	Pit 23
P1302	－	Ⅷ B8, 9r	60 B	Pit 17
P1303	－	Ⅷ B8, 9rs	60 B	Pit 12
P1304	－	Ⅷ B9r	60 B	Pit 18
P1305	－	Ⅷ B9r	60 B	Pit 19
P1306	－	Ⅷ B9r	60 B	Pit 20
P1307	－	Ⅷ B9r	60 B	Pit 36
P1308	－	Ⅷ B9r	60 B	Pit 31
P1309	－	Ⅷ B9r	60 B	Pit 30
P1310	－	Ⅷ B9r	60 B	Pit 21
P1311	－	Ⅷ B9rs	60 B	Pit 22
P1312	－	Ⅷ B9r	60 B	Pit 24
P1313	－	Ⅷ B9r	60 B	Pit 29
P1314	－	Ⅷ B9r	60 B	Pit 28
P1315	－	Ⅷ B9r	60 B	Pit 27
P1316	－	Ⅷ B9r	60 B	Pit 08
P1317	－	Ⅷ B9r	60 B	Pit 26
P1318	－	Ⅷ B9r	60 B	Pit 25
P1319	－	Ⅷ B2s	60 B	Pit 66
P1320	－	Ⅷ B2s	60 B	Pit 67
P1321	－	Ⅷ B2st	60 B	Pit 65
P1322	－	Ⅷ B2s	60 B	Pit 68
P1323	－	Ⅷ B3s	60 B	Pit 83
P1324	－	Ⅷ B3s	60 B	Pit 85
P1325	－	Ⅷ B3s	60 B	Pit 86
P1326	－	Ⅷ B7s	60 B	Pit 52
P1327	－	Ⅷ B7s	60 B	Pit 44
P1328	－	Ⅷ B7s	60 B	Pit 45
P1329	－	Ⅷ B7s	60 B	Pit 49
P1330	－	Ⅷ B7s	60 B	Pit 50
P1331	－	Ⅷ B7s	60 B	Pit 48
P1332	－	Ⅷ B7s	60 B	Pit 58
P1333	－	Ⅷ B7s	60 B	Pit 47
P1334	－	Ⅷ B7s	60 B	Pit 51
P1335	－	Ⅷ B7s	60 B	Pit 55
P1336	－	Ⅷ B7s	60 B	Pit 54
P1337	－	Ⅷ B7s	60 B	Pit 46
P1338	－	Ⅷ B7s	60 B	Pit 42
P1339	－	Ⅷ B7s	60 B	Pit 43
P1340	－	Ⅷ B7s	60 B	Pit 57

遺構番号	時　期	グリッド	調査区	登録番号	遺構番号	時　期	グリッド	調査区	登録番号
P1341	－	ⅦB7, 8s	60 B	Pit 56	P1391	－	ⅦC2b	59 C	Pit 06
P1342	－	ⅦB8s	60 B	Pit 41	P1392	－	ⅦC3b	59 C	－
P1343	－	ⅦB8s	60 B	Pit 39	P1393	－	ⅦC4b	59 C	Pit 02
P1344	－	ⅦB8s	60 B	Pit 37	P1394	－	ⅦC4b	59 C	－
P1345	－	ⅦB8s	60 B	Pit 35	P1395	－	ⅦC5b	59 C	－
P1346	－	ⅦB8s	60 B	Pit 33	P1396	－	ⅦC5b	59 C	－
P1347	－	ⅦB8s	60 B	Pit 34	P1397	－	ⅦC2c	59 C	－
P1348	－	ⅦB8s	60 B	Pit 15	P1398	－	ⅦC3c	59 C	－
P1349	－	ⅦB8s	60 B	Pit 14	P1399	－	ⅦC20f	59 C	－
P1350	－	ⅦB8s	60 B	Pit 13	P1400	－	ⅦC20f	59 C	－
P1351	－	ⅦB8st	60 B	Pit 01	P1401	－	ⅦC20f, ⅦC1f	59 C	－
P1352	－	ⅦB8s	60 B	Pit 03	P1402	－	ⅦC20f	59 C	－
P1353	－	ⅦB8s	60 B	Pit 05	P1403	－	ⅦC20f	59 C	－
P1354	－	ⅦB8s	60 B	Pit 06	P1404	－	ⅦC20f	59 C	－
P1355	－	ⅦB8s	60 B	Pit 04	P1405	－	ⅦC1f	59 C	－
P1356	－	ⅦB8s	60 B	Pit 02	P1406	－	ⅦC3f	59 C	－
P1357	－	ⅦB9s	60 B	Pit 53	P1407	－	ⅦC3f	59 C	－
P1358	－	ⅦB9s	60 B	Pit 09	P1408	－	ⅦC1h	59 C	－
P1359	－	ⅦB9s	60 B	Pit 10	P1409	－	ⅦC3g	59 C	－
P1360	－	ⅦB9s	60 B	Pit 11	P1410	－	ⅦC3g	59 C	Pit 10
P1361	－	ⅦB9s	60 B	Pit 32	P1411	－	ⅦC3g	59 C	Pit 11
P1362	－	ⅦB9s	60 B	Pit 07	P1412	－	ⅦC4g	59 C	－
P1363	－	ⅦB9s	60 B	Pit 70	P1413	－	ⅦC2h	59 C	－
P1364	－	ⅦB1t	60 B	Pit 60	P1414	－	ⅦC3i	59 C	－
P1365	－	ⅦB1t	60 B	Pit 61	P1415	－	ⅦB9t	59 D	－
P1366	－	ⅦB1t	60 B	Pit 62	P1416	－	ⅦC6a	59 D	－
P1367	－	ⅦB1t	60 B	Pit 63	P1417	－	ⅦC7a	59 D	Pit 01
P1368	－	ⅦB2t	60 B	Pit 64	P1418	－	ⅦC7a	59 D	Pit 02
P1369	－	ⅦB2t	60 B	Pit 69	P1419	－	ⅦC7a	59 D	Pit 11
P1370	－	ⅦB2t	60 B	Pit 73	P1420	－	ⅦC8a	59 D	－
P1371	－	ⅦB2t	60 B	Pit 72	P1421	－	ⅦC8a	59 D	Pit 04
P1372	－	ⅦB2t	60 B	Pit 74	P1422	－	ⅦC8a	59 D	Pit 05
P1373	－	ⅦB3t	60 B	Pit 75	P1423	－	ⅦC8a	59 D	Pit 06
P1374	－	ⅦB3t	60 B	Pit 77	P1424	－	ⅦC6c	59 D	－
P1375	－	ⅦB3t	60 B	Pit 76	P1425	－	ⅦC8c	59 D	－
P1376	－	ⅦB3t	60 B	Pit 78	P1426	－	ⅦC8c	59 D	－
P1377	－	ⅦB3t, ⅦC3a	60 B	Pit 79	P1427	－	ⅦC7, 8d	59 D	－
P1378	－	ⅦB4t	60 B	Pit 80	P1428	－	ⅦC5g	59 D	－
P1379	－	ⅦB4t	60 B	Pit 81	P1429	－	ⅦC5g	59 D	－
P1380	－	ⅦB4t	60 B	Pit 82	P1430	－	ⅦC5g	59 D	－
P1381	－	ⅦC2a	60 B	Pit 71	P1431	－	ⅦC5, 6g	59 D	－
P1382	－	ⅦC2a|b	59 C	Pit 08	P1432	－	ⅦC5, 6g	59 D	－
P1383	－	ⅦC2a|b	59 C	Pit 08	P1433	－	ⅦC4k	60 A	Pit 01
P1384	－	ⅦC3a	59 C	Pit 03	P1434	－	ⅦC19, 20op	59 A	－
P1385	－	ⅦC3a	59 C	Pit 09	P1435	－	ⅦC19q	59 A	－
P1386	－	ⅦC4a	59 C	－	P1436	－	ⅦC19r	59 A	－
P1387	－	ⅦC4a	59 C	－	P1437	－	ⅦC20r	59 A	－
P1388	－	ⅦC4a	59 C	Pit 01	P1438	中	ⅦC19t	59 A	Pit 04
P1389	－	ⅦC5a|b	59 C	－	P1439	－	ⅦC20a	59 A	Pit 14
P1390	－	ⅦC2b	59 C	Pit 07	P1440	中	ⅦC19a	59 A	Pit 03

遺構番号	時　期	グリッド	調査区	登録番号
P1441	－	ⅦD19a	59A	Pit 12
P1442	－	ⅦD20a	59A	Pit 13
P1443	縄	ⅦD20a	59A	Pit 05
P1444	－	ⅦD20c	59A	－
P1445	－	ⅧC1n	59B	－
P1446	－	ⅧC2n	59B	－
P1447	－	ⅧC1p	59B	－
P1448	－	ⅧC1p	59B	－
P1449	－	ⅧC1p	59B	－
P1450	－	ⅧC1p	59B	－
P1451	－	ⅧC1p	59B	－
P1452	－	ⅧC3p	59B	－
P1453	－	ⅧC5p	59B	－
P1454	－	ⅧC4q	59B	－
P1455	－	ⅧC5q	59B	－
P1456	中	ⅦD1ab	59B	Pit 01
P1457	－	ⅦD2a	59B	Pit 07
P1458	中	ⅦD1b	59B	Pit 02
P1459	－	ⅦD2b	59B	Pit 06
P1460	－	ⅦD2b	59B	Pit 05
P1461	－	ⅦD2, 3bc	59B	Pit 04
P1462	－	ⅦD3b	59B	－
P1463	－	ⅦD4b	59B	－
P1464	－	ⅦD1c	59B	Pit 03
P1465	－	ⅦD4d	60E	Pit 21

遺構番号	時　期	グリッド	調査区	登録番号
P1466	－	ⅦD4d	60E	Pit 22
P1467	－	ⅦD2e	60E	Pit 02
P1468	－	ⅦD2e	60E	Pit 01
P1469	－	ⅦD3e	60E	Pit 18A
P1470	－	ⅦD3e	60E	－
P1471	－	ⅦD3e	60E	Pit 16
P1472	－	ⅦD3e	60E	Pit 18B
P1473	－	ⅦD1f	60E	Pit 03
P1474	－	ⅦD18g	60E	Pit 07
P1475	－	ⅦD18, 19g	60E	Pit 06
P1476	－	ⅦD19g	60E	Pit 05
P1477	－	ⅦD17h	60E	Pit 14
P1478	－	ⅦD17h	60E	Pit 19
P1479	－	ⅦD18h	60E	Pit 20
P1480	－	ⅦD18h	60E	Pit 11
P1481	－	ⅦD18h	60E	Pit 13
P1482	－	ⅦD18h	60E	Pit 10
P1483	－	ⅦD18h	60E	－
P1484	－	ⅦD18, 19n	60E	Pit 09
P1485	－	ⅦD18, 19h	60E	Pit 12
P1486	－	ⅦD19h	60E	Pit 15
P1487	－	ⅦD20m, ⅧD1m	60E	Pit 23
P1488	－	ⅧD2m	60E	Pit 25
P1489	－	ⅧD2m	60E	Pit 24

遺物観察表

図版番号	種類	器種	分類	遺構	器高(cm)	口径(cm)	径高指数	底径(cm)	内面	外面	備考	登録番号
44－1	須恵器	蓋杯	蓋	検出	－	14.4						E－3093
2	須恵器	蓋杯	蓋	検出	4.4	11.9						3094
3	須恵器	蓋杯	蓋	検出	3.7	10.8						3095
4	須恵器	蓋杯	身	検出	5.0	10.4		5.4				3096
5	須恵器	蓋杯	身	検出	5.4	12.0		6.4				3097
6	須恵器	蓋杯	身	検出	4.7	10.7		4.2				3098
7	須恵器	蓋杯	身	検出	－	10.2						3099
8	須恵器	蓋杯	身	検出	－	10.4						3100
9	須恵器	蓋杯	身	検出	3.2	8.3						3101
10	須恵器	高杯		検出	－	11.8		－				3102
11	須恵器	高杯		検出	－	－		8.6				3103
12	須恵器	鉢		検出	－	8.0						3104
13	須恵器	脚付壺		検出	－			－				3105
14	須恵器	甑		検出	－	－						3106
15	須恵器	壺		検出	－	－		5.4				3107
16	須恵器	長頸瓶		検出	18.7	8.1						3108
17	土師器	高杯		検出	－	－		－				3109
18	須恵器	甑		検出	－	22.6		－				3110
19	須恵器	甑		検出	－	－		12.0				3111
46－1	灰釉陶器	椀		SE52	5.4	15.4	35.1	7.4	ナデ		美濃，ツケガケ	1840
2	灰釉陶器	椀		SE52	4.7	15.1	31.1	6.7			猿投，ツケガケ	1841
3	灰釉陶器	椀		SE52	4.3	12.8	33.6	6.2	ナデ		ツケガケ	1842
4	灰釉陶器	椀		SE52	4.7	14.5	32.4	6.8			猿投，ツケガケ	1843
5	灰釉陶器	椀		SE52	4.5	14.8	30.4	6.8			猿投，ツケガケ	1844
6	灰釉陶器	椀		SE52	5.8	16.7	34.7	7.8			猿投，ツケガケ	1845
7	灰釉陶器	椀		SE52	3.6	12.6	28.6	6.4			美濃，ツケガケ	1846
8	灰釉陶器	椀		SE52	－	－	－	8.4			美濃？	1847
9	灰釉陶器	椀		SE52	－	－	－	7.4			美濃	1848
10	灰釉陶器	椀		SE52	－	－	－	7.5			美濃	1849
11	灰釉陶器	椀		SE52	－	－	－	8.6	ナデ		猿投，ツケガケ	1850
12	灰釉陶器	椀		SE52	－	－	－	8.2			美濃	1851
13	灰釉陶器	椀		SE52	－	－	－	7.0			猿投	1852
14	灰釉陶器	椀		SE52	－	－	－	7.8			猿投	1853
15	灰釉陶器	椀		SE52	－	－	－	8.6			猿投	1854
16	灰釉陶器	椀		SE52	－	－	－	7.2			猿投？	1855
17	灰釉陶器	椀		SE52	－	－	－	7.3			猿投	1856
18	灰釉陶器	椀		SE52	－	－	－	5.9			猿投	1857
19	灰釉陶器	椀		SE52	－	－	－	6.9			猿投	1858
20	灰釉陶器	椀		SE52	－	－	－	6.6			猿投	1859
21	灰釉陶器	椀		SE52	－	－	－	6.4			猿投？東濃？	1860
22	灰釉陶器	椀		SE52	－	－	－	7.6	ナデ		猿投	1861
23	灰釉陶器	椀		SE52	－	－	－	7.4			猿投？	1862
24	灰釉陶器	椀		SE52	－	－	－	7.8			猿投？	1863
25	灰釉陶器	椀		SE52	－	－	－	7.2			？	1864
26	灰釉陶器	椀		SE52	－	－	－	7.2			猿投	1865
27	灰釉陶器	椀		SE52	－	－	－	6.4			猿投	1866
28	灰釉陶器	椀		SE52	－	－	－	7.2			猿投	1867
29	灰釉陶器	皿		SE52	－	－	－	6.4			美濃	1868
30	灰釉陶器	皿		SE52	－	－	－	6.4			美濃	1869
31	灰釉陶器	椀		SE52	－	－	－	7.1			猿投	1870
32	灰釉陶器	注椀		SE52	－	19.7	－	－			？，ハケヌリ	1871
33	灰釉陶器	段皿		SE52	－	－	－	8.0			猿投？	1872
34	灰釉陶器	皿		SE52	1.6	12.3	21.1	6.6			？	1873
35	灰釉陶器	皿		SE52	2.4	13.7	17.5	7.9			猿投，ツケガケ	1874
36	灰釉陶器	皿		SE52	2.6	13.8	20.3	7.2			美濃？	1875
37	灰釉陶器	皿		SE52	2.2	11.1	19.8	6.1	ナデ		美濃，ツケガケ	1876
38	灰釉陶器	皿		SE52	2.7	12.6	21.0	5.6			猿投	1877
39	灰釉陶器	皿		SE52	2.7	13.0	20.8	6.6			猿投，ツケガケ	1878
47－40	灰釉陶器	椀		SE52	－	－	－	5.8			美濃	1879
41	灰釉陶器	皿		SE52	－	－	－	7.2			猿投？	1880
42	灰釉陶器	皿		SE52	－	－	－	5.8			美濃？	1881
43	灰釉陶器	皿		SE52	－	－	－	6.0			美濃，ツケガケ	1882
44	灰釉陶器	椀		SE52	－	－	－	7.6			猿投	1883
45	灰釉陶器	皿		SE52	－	－	－	6.2	ナデ		？	1884
46	灰釉陶器	皿		SE52	－	－	－	6.8			猿投	1885
47	灰釉陶器	椀		SE52	－	－	－	6.6	ナデオサエ		猿投	1886
48	灰釉陶器	壺		SE52	－	－		－			？，ハケヌリ	1887
49	須恵器	甕		SE52	－	34.4		－				1888
50	須恵器	甕		SE52	－	36.6		－				1889
51	須恵器	甕		SE52	－	23.9		－				1890

図版番号	種類	器種	分類	遺構	器高(cm)	口径(cm)	残高指数	底径(cm)	内面	外面	備考	登録番号
52	土師器	土鍋		SE32								E－1891
53	土師器	鍋	A	SE32	－	13.3			ヨコハケメ	ナデハケメ	伊勢型	1892
54	土師器	甕		SE32	－	20.8			ナデ	ナデ・ハケメ		1893
55	瓦	平瓦		SE32					布目	平叩		1894
56	瓦	平瓦		SE32					布目	叩目		1895
57	灰釉陶器	椀		SD65	4.3	14.6	29.5	7.4			線段、ツケガケ	1896
58	灰釉陶器	椀		SD65	4.0	13.0	30.8	6.4			?	1897
59	灰釉陶器	椀		SD65	－	－	－	7.6			?	1898
60	灰釉陶器	段皿		SD65	2.1	13.1	16.0	6.8			?	1899
61	灰釉陶器	皿		SD65	2.3	11.4	20.2	6.0			?	1900
62	灰釉陶器	壺		SD65	－	8.2		－			?	1901
63	土師器	土鍋		SD65								1902
48－64	灰釉陶器	椀		SK271	5.5	14.7	37.4	6.5			?	1903
65	灰釉陶器	椀		SK271	5.5	14.4	38.2	6.6			?	1904
66	灰釉陶器	椀		SK271	－	16.6	－	－			?	1905
67	灰釉陶器	椀		SK271	－	－	－	7.3			?	1906
68	灰釉陶器	椀		SK271	－	－	－	5.4			?	1907
69	土師器	皿	A 3	SK271	2.1	9.2	22.8	3.6			ロクロ	1908
70	土師器	皿	A 3	SK271	2.0	7.8	25.6	3.8			ロクロ、白色	1909
71	土師器	皿	A 4	SK271	－	－		6.9				1910
72	土師器	鍋	B	SK271	－	23.0						1911
73	土師器	鍋	B	SK271	－	27.4						1912
74	土師器	鍋	B	SK271	－	30.4						1913
75	土師器	鍋	B	SK271	－	26.4						1914
76	土師器	鍋	B	SK271	－	23.4						1915
77	緑釉陶器	皿		検出	－	－	－	－				1916
78	緑釉陶器	椀		SD65	－	－	－	6.0				1917
79	緑釉陶器	椀		SK39	－	－	－	5.0				1918
80	緑釉陶器	椀		検出	－	－	－	5.4				1919
81	灰釉陶器	椀		SE39	－	－	－	6.8			?、ツケガケ	1920
82	灰釉陶器	椀		SK111	5.4	15.6	34.6	7.5			線段、ツケガケ	1921
83	灰釉陶器	椀		検出	5.0	15.6	32.1	7.4			?、ハケメリ	1922
84	灰釉陶器	椀		SK111	7.4	14.9	49.7	7.4			?、ツケガケ	1923
85	灰釉陶器	椀		検出	3.9	10.8	36.1	5.4			?、ツケガケ	1924
86	灰釉陶器	椀		検出	4.1	11.6	35.3	5.8			線段、ツケガケ	1925
87	灰釉陶器	椀		検出	－	－	－	7.4			?	1926
88	灰釉陶器	皿		SE42	2.6	11.4	22.8	6.0			?	1927
89	灰釉陶器	皿		検出	1.9	12.1	15.7	6.2			?	1928
90	灰釉陶器	皿		検出	1.7	11.6	14.7	6.8	ナデ		?	1929
91	灰釉陶器	皿		検出	2.1	10.0	21.0	5.8			?	1930
92	灰釉陶器	皿		検出	1.8	13.6	13.2	7.6			?	1931
93	灰釉陶器	皿		検出	3.1	11.3	27.4	4.2			?	1932
94	灰釉陶器	皿		検出	1.6	11.8	13.6	7.2			美濃	1933
95	灰釉陶器	皿		SK339	－	－	－	6.8			?	1934
96	灰釉陶器	耳皿		検出	－	－	－	5.8			?	1935
97	灰釉陶器	耳皿		SK339	2.2	9.8	27.6	4.8			?	1936
98	灰釉陶器	脚付皿		SE51	－	13.7		－			?	1937
99	土師器	鍋	B	検出	－	29.8						1938
49－100	灰釉陶器	椀		検出	4.2	14.4	29.2	6.6			美濃、ツケガケ	1939
101	灰釉陶器	椀		検出	3.7	12.2	30.3	5.8			?	1940
102	灰釉陶器	椀		検出	－	12.8	－	－			?、ツケガケ	1941
103	灰釉陶器	椀		検出	－	13.0	－	－			美濃、ツケガケ	1942
104	灰釉陶器	椀		検出	－	－	－	6.9			美濃？	1943
105	灰釉陶器	椀		検出	－	－	－	7.5			美濃？	1944
106	灰釉陶器	椀		検出	－	－	－	6.9			美濃	1945
107	灰釉陶器	深椀		検出	－	－	－	8.0			美濃？	1946
108	灰釉陶器	椀		検出	－	－	－	5.0			美濃、ツケガケ	1947
109	灰釉陶器	皿		検出	－	－	－	5.2			?	1948
110	灰釉陶器	椀		検出	－	－	－	5.3			美濃	1949
111	灰釉陶器	椀		検出	－	－	－	4.7			?	1950
112	灰釉陶器	椀		検出	－	－	－	6.2			?、ヘラ記号あり	1951
113	灰釉陶器	皿		検出	－	－	－	6.8			?	1952
114	灰釉陶器	皿		検出	3.2	13.4	23.9	5.3			?	1953
115	灰釉陶器	皿		検出	2.9	12.0	24.2	5.6			?	1954
116	灰釉陶器	皿		検出	2.8	13.9	20.1	6.0			?	1955
117	灰釉陶器	皿		検出	2.2	13.6	16.2	6.6			?	1956
118	灰釉陶器	皿		検出	1.7	11.4	14.9	5.4			?	1957
119	灰釉陶器	耳皿		検出	－	－	－	4.0			?	1958
120	灰釉陶器	皿		検出	3.0	14.0	21.4	6.8			線段、ツケガケ	1959
121	灰釉陶器	段皿		検出	2.2	13.6	16.2	6.9			?、ツケガケ	1960

図版番号	種　類	器　種	分類	遺　構	器高(cm)	口径(cm)	体高指数	底径(cm)	内　面	外　面	備　考	登録番号
122	灰釉陶器	皿		検出	1.9	9.8	19.4	5.6			?	E－1961
123	灰釉陶器	皿		検出	2.3	9.7	23.7	4.0			美濃	1962
124	土師器	椀		検出	4.7	12.3	38.2	5.9				1963
125	灰釉陶器	壺		検出	－	15.0		－			?	1964
126	灰釉陶器	壺		検出	－	19.2		－			美濃?	1965
127	灰釉陶器	壺		検出	－	11.2		－			?	1966
128	灰釉陶器	短頸壺		検出	－	10.7		－			?	1967
129	灰釉陶器	長頸瓶		検出	－	－		7.3			?	1968
130	灰釉陶器	長頸瓶		検出	15.9	7.9		7.6			?	1969
131	土師器	鍋	B	検出	－	18.4						1970
132	土師器	鍋	B	検出	－	21.4						1971
133	土師器	鍋	B	検出	－	26.0						1972
134	土師器	鍋	B	検出	－	25.8						1973
135	土師器	鍋	B	検出	－	33.0						1974
50－136	山茶椀	椀	A 1	SK492	5.5	16.3	33.7	7.8			?	1975
137	山茶椀	椀	A 1	SK492	5.6	16.1	34.8	6.8			常滑?渥美?	1976
138	山茶椀	椀	A 1	SK492	6.5	16.3	39.9	7.1			?、墨書	1977
139	山茶椀	輪花椀	A 3	SK492	5.6	16.5	33.9	7.4			瀬段?常滑?	1978
140	山茶椀	椀	A	SK492	－	－	－	8.0			?	1979
141	山茶椀	皿		SK492	2.0	9.4	21.3	4.4			?	1980
142	土師器	椀		SK492	－	－	－	6.0			ロクロ	1981
143	土師器	皿	A 4	SK492	－	－	－	9.4			ロクロ	1982
144	山茶椀	皿	A	SK492	－	－	－	4.5			瀬戸?	1983
145	山茶椀	皿	A	SK492	－	－		5.5			?	1984
146	山茶椀	皿	A	SK492	3.7	10.5	35.2	5.2			瀬戸	1985
147	山茶椀	皿	A	SK492	3.3	9.6	34.4	5.4			瀬段	1986
148	土師器	鍋	A	SK492	－	19.6						1987
149	土師器	鍋	A	SK492	－	21.2						1988
150	土師器	鍋	A	SK492	－	19.6						1989
151	山茶椀	皿	A	SK491	3.8	11.9	34.5	5.8			?	1990
152	山茶椀	皿	A	SK491	3.5	10.8	32.4	5.8			瀬段?	1991
153	山茶椀	蓋		SK491	2.0	7.1					?	1992
154	山茶椀	小瓶		SK491	9.9	5.9		8.0			?	1993
155	山茶椀	椀	A 1	SK460	－	16.0	－	－			常滑?	1994
156	山茶椀	椀	A 1	SK460	6.2	16.9	36.7	8.2			?	1995
157	山茶椀	椀	A 2	SK460	5.0	15.7	31.8	7.5			常滑	1996
158	山茶椀	椀	A 2	SK460	5.2	16.6	31.3	8.7			常滑?	1997
159	山茶椀	椀	A 2	SK460	5.4	16.7	32.3	7.1	ナデ	圧痕アリ	常滑	1998
160	山茶椀	椀	A 2	SK460	5.3	16.1	32.9	7.6			常滑?渥美?	1999
161	山茶椀	椀	A 2	SK460	4.8	16.3	29.4	7.2			常滑	2000
162	山茶椀	椀	A 2	SK460	－	－	－	7.5			瀬段?	2001
163	白磁	椀		SK460	－	－		－	陰刻花文			2002
164	山茶椀	皿	A	SK460	2.6	8.7	29.9	4.2			常滑?瀬段?	2003
165	山茶椀	皿	A	SK460	2.7	8.8	30.7	4.4			常滑?瀬段?	2004
166	山茶椀	椀		SK460	－	－	－	4.8			?	2005
167	灰釉陶器	瓶		SK460	－	－		－			?	2006
168	灰釉陶器	壺		SK460	－	－		12.7			?	2007
51－169	山茶椀	皿	A	検出	3.3	8.8	37.5	4.6			瀬段	2008
170	山茶椀	皿	A	検出	3.0	8.8	34.1	4.0			?	2009
171	土師器	皿	A 1	検出	－	9.8	－	－			ロクロ	2010
172	土師器	皿		検出	－	－		7.6			ロクロ	2011
173	土師器	皿	A 4	検出	－	9.5	－	－			ロクロ	2012
174	土師器	皿	A 4	検出	－	－		6.0			ロクロ	2013
175	土師器	鉢		検出	－	25.0	－	－				2014
176	土師器	鍋	A	検出	－	22.8						2015
177	土師器	土錘		検出								2016
178	山茶椀	椀	A 1	検出	5.5	15.7	35.0	6.6			渥美?	2017
179	山茶椀	皿	A	検出	3.0	9.6	31.3	5.1		圧痕アリ	瀬段?、墨書	2018
180	山茶椀	皿	A	検出	3.3	10.6	31.1	6.2			瀬段?	2019
181	山茶椀	皿	A	検出	－	－	－	3.9			?	2020
182	山茶椀	皿	A	検出	－	－	－	5.8			美濃?	2021
183	土師器	皿	A 4	検出	3.5	11.4		5.9			ロクロ	2022
184	土師器	鍋	B	検出	－	17.4						2023
52－185	山茶椀	椀	A 1	SD09	5.1	15.6	32.7	6.2	ナデ		常滑?	2224
186	山茶椀	椀	A 1	SD09	4.9	15.5	31.6	6.8			瀬段?常滑?	2225
187	山茶椀	椀	A 1	SD09	5.1	15.8	32.3	7.0	ナデ		常滑	2226
188	山茶椀	椀	A 1	SD09	5.4	15.8	34.2	7.0			常滑	2227
189	山茶椀	椀	A 1	SD09	5.4	15.8	34.2	6.8	ナデオサエ		常滑	2228
190	山茶椀	椀	A 1	SD09	5.4	15.6	34.6	6.5	ナデオサエ		瀬段?常滑?	2229
191	山茶椀	椀	A 1	SD09	5.0	15.2	32.9	6.5	ナデ		常滑?	2230

図版番号	種　類	器　種	分類	遺　構	器高(cm)	口径(cm)	径高指数	底径(cm)	内　面	外　面	備　考	登録番号
192	山茶椀	椀	A 1	SD09	5.3	15.9	33.3	8.0	ナデ	圧痕アリ	焼段？素湯？	E －2231
193	山茶椀	椀	A 1	SD09	4.8	15.2	31.6	7.0	オサエ		焼段？素湯？	2232
194	山茶椀	椀	A 1	SD09	5.3	16.2	32.7	7.4			素湯	2233
195	山茶椀	椀	A 1	SD09	4.9	15.9	30.8	7.4			素湯？	2234
196	山茶椀	椀	A 2	SD09	5.0	15.8	31.6	6.4	ナデ		素湯	2235
197	山茶椀	椀	A 2	SD09	4.8	15.9	30.2	8.0	ナデ		素湯	2236
198	山茶椀	椀	A 2	SD09	4.9	15.4	31.8	7.2	ナデ		素湯？	2237
199	山茶椀	椀	A 2	SD09	5.1	15.6	32.7	6.3	ナデ		？	2238
200	山茶椀	椀	A 2	SD09	5.0	15.6	32.1	6.8			？	2239
201	山茶椀	椀	A 2	SD09	5.1	14.3	35.7	6.6			焼段？素湯？	2240
202	山茶椀	椀	A 2	SD09	5.3	15.9	33.3	7.6			焼段？素湯？	2241
203	山茶椀	椀	A 2	SD09	5.0	14.6	34.2	7.0	ナデ	圧痕アリ	焼段？	2242
204	山茶椀	椀	A 2	SD09	3.9	14.6	26.7	7.0	ナデオサエ		焼段？	2243
205	山茶椀	椀	A 2	SD09	4.9	15.0	32.7	6.0			焼段？	2244
206	山茶椀	椀	A 2	SD09	5.2	15.0	34.7	7.8	ナデオサエ		素湯？	2245
207	山茶椀	椀	A 2	SD09	5.3	15.3	34.6	7.0			焼段？	2246
208	山茶椀	椀	A 2	SD09	4.9	14.9	32.9	6.4			焼段？	2247
209	山茶椀	椀	A 2	SD09	4.7	13.8	34.1	7.0	ナデ		焼段？素湯？	2248
210	山茶椀	椀	A 2	SD09	4.9	15.0	32.7	6.6			素湯？焼段？	2249
211	山茶椀	椀	A 2	SD09	5.1	14.9	34.2	6.8			深美？素湯？	2250
212	山茶椀	椀	A 2	SD09	4.9	15.4	31.8	6.8			？	2251
213	山茶椀	椀	A 2	SD09	5.3	15.3	34.6	6.4			素湯？	2252
214	山茶椀	椀	A 2	SD09	4.9	15.1	32.5	6.4			焼段？	2253
215	山茶椀	椀	A 2	SD09	5.2	15.2	34.2	7.0	ナデ		素湯？	2254
216	山茶椀	椀	A 2	SD09	4.8	15.1	31.8	7.2			焼段？瀬戸？	2255
217	山茶椀	椀	A 2	SD09	4.8	15.6	30.8	6.6			瀬戸	2256
53－218	山茶椀	椀	A 1	SD09	5.2	15.8	32.9	6.2			焼段？	2257
219	山茶椀	椀	A 1	SD09	5.0	15.4	32.5	4.8			焼段？	2258
220	山茶椀	椀	A 1	SD09	4.9	15.2	32.2	6.0	ナデ		？	2259
221	山茶椀	椀	A 1	SD09	5.2	15.1	34.4	6.2			焼段？	2260
222	山茶椀	椀	A 1	SD09	5.6	16.8	33.1	9.6			瀬戸	2261
223	山茶椀	椀	A 1	SD09	4.8	13.9	34.5	5.6			焼段？瀬戸？	2262
224	山茶椀	椀	A 1	SD09	5.3	15.3	34.6	7.0			素湯	2263
225	山茶椀	椀	A 1	SD09	4.7	13.7	34.3	5.8	ナデ	圧痕アリ	瀬戸？	2264
226	山茶椀	椀	A 1	SD09	5.4	15.1	35.8	5.8			？	2265
227	山茶椀	椀	A 2	SD09	5.3	15.1	35.1	6.0	ナデ	圧痕アリ	？	2266
228	山茶椀	椀	A 2	SD09	5.1	14.5	35.2	8.2	ナデオサエ	圧痕アリ	素湯？焼段？	2267
229	山茶椀	椀	A 2	SD09	5.2	15.1	34.4	6.6	ナデ		瀬戸？	2268
230	山茶椀	椀	A 2	SD09	5.2	14.3	36.4	6.9			素湯	2269
231	山茶椀	椀	A 2	SD09	5.1	14.7	34.7	7.2			深美？	2270
232	山茶椀	椀	A 1	SD09	4.9	14.9	32.9	7.0			深美？	2271
233	山茶椀	椀	A 1	SD09	5.4	15.7	34.4	7.0	オサエ		深美	2272
234	山茶椀	椀	A 1	SD09	5.8	15.1	38.4	6.6			焼段？素湯？	2273
235	山茶椀	椀	A 1	SD09	5.3	15.3	34.6	6.8			瀬戸	2274
236	山茶椀	椀	A 1	SD09	5.1	14.1	36.2	6.0	ナデ	圧痕アリ	？	2275
237	山茶椀	椀	A 1	SD09	5.1	15.0	34.0	6.0			瀬戸？	2276
238	山茶椀	椀	A 1	SD09	5.7	15.8	36.1	7.4			瀬戸？焼段？	2277
239	山茶椀	椀	A 1	SD09	5.4	14.5	37.2	5.8			？	2278
240	山茶椀	椀	A 1	SD09	5.6	15.0	37.3	5.6			？	2279
241	山茶椀	椀	C 1	SD09	5.2	15.4	33.8	7.6		圧痕アリ	美濃？	2280
242	山茶椀	椀	A 1	SD09	5.5	14.9	36.9	6.4			素湯？	2281
243	山茶椀	椀	A 1	SD09	5.1	14.0	36.4	6.0		圧痕アリ	瀬戸？	2282
244	山茶椀	椀	A 1	SD09	5.4	14.8	36.5	6.0			瀬戸	2283
245	山茶椀	椀	C 1	SD09	5.1	14.2	35.9	6.2	ナデ	圧痕アリ	美濃	2284
246	山茶椀	椀	A 2	SD09	5.2	15.4	33.8	6.8	ナデ		？	2285
247	山茶椀	椀	A 2	SD09	5.5	15.7	35.0	7.4		圧痕アリ	素湯、ヘラ記号あり	2286
248	山茶椀	椀	C 1	SD09	5.9	14.8	39.9	6.8			美濃	2287
249	山茶椀	椀	C 1	SD09	5.8	14.8	39.2	5.5			？	2288
54－250	山茶椀	椀	A 1	SD09	5.2	14.2	36.6	5.6			素湯？	2289
251	山茶椀	椀	B 1	SD09	6.0	14.9	40.3	6.2			瀬戸	2290
252	山茶椀	椀	A 1	SD09	5.6	15.2	36.8	6.4			？	2291
253	山茶椀	椀	D 1	SD09	5.6	14.0	40.0	5.8			？	2292
254	山茶椀	椀	A 1	SD09	5.7	14.6	39.0	6.8	ナデオサエ		？	2293
255	山茶椀	椀	A 1	SD09	5.9	15.8	37.3	6.8			？	2294
256	山茶椀	椀	A 1	SD09	5.9	15.2	38.8	7.2		圧痕アリ	？	2295
257	山茶椀	椀	C 1	SD09	5.8	14.9	38.9	6.2			美濃？瀬戸？	2296
258	山茶椀	椀	A 1	SD09	5.3	13.8	38.4	5.2			？	2297
259	山茶椀	椀	D 1	SD09	6.0	14.9	40.3	5.6		圧痕アリ	？	2298
260	山茶椀	椀	D 1	SD09	6.1	14.3	42.7	6.2		圧痕アリ	？	2299
261	山茶椀	椀	A 1	SD09	5.9	15.1	39.1	7.4			？	2300

図版番号	種　類	器　種	分類	遺　構	器高(cm)	口径(cm)	径高指数	底径(cm)	内　面	外　面	備　考	登録番号
262	山茶椀	椀	A 2	SD09	5.4	14.0	38.6	4.6			?	E－2301
263	山茶椀	椀	A 2	SD09	5.5	14.0	39.3	7.0	ナデオサエ		瀬戸	2302
264	山茶椀	椀	A 2	SD09	5.6	15.0	37.3	5.2			東濃	2303
265	山茶椀	椀	A 2	SD09	5.1	14.1	36.2	5.2			瀬戸	2304
266	山茶椀	椀	A 2	SD09	5.4	14.2	38.0	5.5	ナデ		瀬戸	2305
267	山茶椀	椀	A 2	SD09	5.6	14.4	38.9	5.6	ナデ		瀬戸	2306
268	山茶椀	椀	C 1	SD09	4.6	12.3	37.4	5.0			美濃	2307
269	山茶椀	椀	片口	SD09	5.9	13.6	43.4	6.8			美濃	2308
270	灰釉陶器	椀		SD09	－	－	－	7.0			猿投	2309
271	山茶椀	皿	A	SD09	3.2	10.3	31.1	5.2			?	2310
272	山茶椀	皿	A	SD09	2.8	9.0	31.1	4.2	ナデ		猿投	2311
273	山茶椀	皿	A	SD09	2.9	8.9	32.6	3.8			猿投？東濃？	2312
274	山茶椀	皿	A	SD09	2.3	8.8	26.1	4.8			?	2313
275	山茶椀	皿	B 1	SD09	2.2	7.5	29.3	4.0	ナデ		東濃	2314
276	山茶椀	皿	B 1	SD09	2.2	7.7	28.6	3.5	ナデ		?	2315
277	山茶椀	皿	B 1	SD09	2.2	7.4	29.7	4.0	ナデ		東濃	2316
278	山茶椀	皿	B 2	SD09	2.3	7.4	31.1	3.8	ナデ		東濃	2317
279	山茶椀	皿	B 2	SD09	2.2	7.2	30.6	3.9			?	2318
280	山茶椀	皿	B 2	SD09	1.9	7.3	26.0	4.8			瀬戸？東濃？	2319
281	山茶椀	皿	B 2	SD09	2.2	7.8	28.2	4.0			?	2320
282	山茶椀	皿	B 2	SD09	2.3	8.2	28.0	4.4			?	2321
283	山茶椀	皿	B 2	SD09	2.4	8.1	29.6	4.4			東濃？	2322
284	山茶椀	皿	B 2	SD09	2.4	7.8	30.8	4.0		圧痕アリ	?	2323
285	山茶椀	皿	B 2	SD09	2.3	7.7	29.9	4.0			?	2324
286	山茶椀	皿	B 2	SD09	2.0	7.3	27.4	3.9			東濃	2325
287	山茶椀	皿	B 2	SD09	2.7	8.9	30.3	5.0			東濃？	2326
288	山茶椀	皿	B 3	SD09	1.8	7.9	22.8	4.4	ナデ		東濃	2327
289	山茶椀	皿	B 2	SD09	1.9	7.6	25.0	4.7			東濃	2328
290	山茶椀	皿	B 2	SD09	2.1	7.7	27.3	4.0	ナデオサエ	圧痕アリ	東濃	2329
291	山茶椀	皿	B 2	SD09	2.3	8.8	26.1	5.0			?	2330
292	山茶椀	皿	B 2	SD09	2.3	8.2	28.0	4.2	ナデオサエ	圧痕アリ	東濃	2331
293	山茶椀	皿	B 2	SD09	2.3	8.1	28.4	4.1	ナデオサエ		東濃？尾美？	2332
294	山茶椀	皿	B 2	SD09	2.0	7.9	25.3	3.9	ナデ	圧痕アリ	東濃	2333
295	山茶椀	皿	B 2	SD09	2.2	7.9	27.8	3.8	ナデ		東濃？	2334
296	山茶椀	皿	B 2	SD09	2.1	7.4	28.4	4.2	ナデオサエ		東濃	2335
297	山茶椀	皿	B 2	SD09	2.1	7.5	28.0	4.2			?	2336
55－298	山茶椀	皿	B 2	SD09	1.9	7.5	25.3	4.1	ナデ		東濃？	2337
299	山茶椀	皿	B 2	SD09	2.0	7.7	26.0	4.8		圧痕アリ	?	2338
300	山茶椀	皿	B 2	SD09	2.5	7.7	32.5	3.7			?	2339
301	山茶椀	皿	B 2	SD09	2.3	7.5	30.7	4.0			?	2340
302	山茶椀	皿	B 2	SD09	2.2	8.2	26.8	4.4	ナデ		東濃	2341
303	山茶椀	皿	B 2	SD09	2.5	8.1	30.9	4.2			東濃？尾美？	2342
304	山茶椀	皿	B 2	SD09	2.3	8.2	28.0	3.6			東濃？尾美？	2343
305	山茶椀	皿	B 2	SD09	2.2	7.7	28.6	3.2			瀬戸？	2344
306	山茶椀	皿	B 2	SD09	2.2	7.7	28.6	4.1			?	2345
307	山茶椀	皿	B 2	SD09	2.2	8.1	27.2	4.4	ナデ	圧痕アリ	猿投？	2346
308	山茶椀	皿	B 2	SD09	2.2	7.7	28.6	4.0	ナデ		瀬戸	2347
309	山茶椀	皿	B 2	SD09	2.4	8.1	29.6	4.2			猿投	2348
310	山茶椀	皿	B 2	SD09	2.2	7.8	28.2	4.0			瀬戸？	2349
311	山茶椀	皿	B 2	SD09	2.2	7.7	28.6	3.5	オサエ	ナシ	猿投？瀬戸？	2350
312	山茶椀	皿	B 2	SD09	2.0	7.3	27.4	3.8			猿投？瀬戸？	2351
313	山茶椀	皿	B 2	SD09	1.9	7.5	25.3	4.0	ナデ	圧痕アリ	?	2352
314	山茶椀	皿	B 2	SD09	1.9	7.1	26.8	3.4	ナデ		東濃？瀬戸？	2353
315	山茶椀	皿	B 2	SD09	2.1	7.9	26.6	4.4			尾美	2354
316	山茶椀	皿	B 2	SD09	2.2	7.8	28.2	4.3	ナデ		東濃	2355
317	山茶椀	皿	B 2	SD09	2.4	8.2	29.3	4.0	ナデオサエ		瀬戸？	2356
318	山茶椀	皿	B 2	SD09	2.1	6.8	30.9	4.4	ナデ		瀬戸	2357
319	山茶椀	皿	B 2	SD09	2.2	7.9	27.8	5.0	ナデ		瀬戸？猿投？	2358
320	山茶椀	皿	B 2	SD09	2.1	8.0	26.3	4.4	ナデ		猿投？	2359
321	山茶椀	皿	B 3	SD09	1.9	7.8	24.4	4.2	ナデ	圧痕アリ	猿投	2360
322	山茶椀	皿	B 2	SD09	2.2	7.8	28.2	4.2			猿投？瀬戸？	2361
323	山茶椀	皿	B 2	SD09	2.2	7.6	28.9	3.8	ナデ		?	2362
324	山茶椀	皿	B 2	SD09	2.4	7.9	30.4	4.2			美濃	2363
325	山茶椀	皿	B 2	SD09	2.4	7.8	30.8	4.0			美濃	2364
326	山茶椀	皿	D 2	SD09	2.2	8.3	26.5	4.0			美濃	2365
327	山茶椀	皿	D 2	SD09	2.2	7.1	31.0	3.7			美濃	2366
328	山茶椀	皿	D 2	SD09	1.9	7.2	26.4	4.2	ナデオサエ		美濃	2367
329	山茶椀	皿	D 2	SD09	2.1	7.5	28.0	4.0		圧痕アリ	美濃	2368
330	山茶椀	皿	D 2	SD09	2.1	8.0	26.3	4.4			美濃	2369
331	山茶椀	皿	D 2	SD09	2.3	7.7	29.9	4.4			美濃	2370

図版番号	種 類	器 種	分類	造 構	器高(cm)	口径(cm)	復元指数	底径(cm)	内 面	外 面	備 考	登録番号
332	山茶椀	皿	B 3	SD09	1.7	7.7	22.1	4.6			接段？	E－2321
333	山茶椀	皿	B 3	SD09	1.8	8.0	22.5	5.0			常滑？渥美？	2372
334	山茶椀	皿	B 3	SD09	2.0	8.1	24.7	4.6			常滑	2373
335	山茶椀	皿	B 2	SD09	1.9	7.5	25.3	4.0	ナデ		瀬戸	2374
336	山茶椀	皿	B 2	SD09	2.0	7.7	26.0	4.6			瀬戸	2375
337	山茶椀	皿	B 2	SD09	2.1	8.1	25.9	4.1			常滑？瀬戸？	2376
338	山茶椀	皿	B 2	SD09	2.0	7.4	27.0	4.2			？	2377
339	山茶椀	皿	B 2	SD09	2.1	7.8	26.9	4.6	ナデ	圧痕アリ	瀬戸	2378
340	山茶椀	皿	B 2	SD09	1.9	7.5	25.3	4.0			接段？	2379
341	山茶椀	皿	B 2	SD09	2.1	7.6	27.6	4.0			瀬戸？	2380
342	山茶椀	皿	B 2	SD09	2.1	7.9	26.6	4.4	ナデ		接段？常滑？	2381
343	山茶椀	皿	B 3	SD09	1.8	7.8	23.1	4.5			瀬戸	2382
344	山茶椀	皿	B 2	SD09	2.0	7.7	26.0	4.0		圧痕アリ	常滑	2383
345	山茶椀	皿	B 2	SD09	2.0	7.3	27.4	4.1			？	2384
346	山茶椀	皿	B 3	SD09	1.9	7.9	24.1	4.6			常滑	2385
347	山茶椀	皿	B 3	SD09	1.8	7.7	23.4	4.4			常滑？	2386
348	山茶椀	皿	B 3	SD09	1.8	8.2	22.0	4.8	ナデ		？	2387
349	山茶椀	皿	B 3	SD09	1.8	8.5	21.2	5.6			？	2388
350	山茶椀	皿	B 3	SD09	1.7	7.1	23.9	3.6			接段？瀬戸？	2389
351	山茶椀	皿	B 3	SD09	1.9	8.4	22.6	5.6	ナデ		瀬戸	2390
352	山茶椀	皿	B 3	SD09	1.9	8.0	23.8	4.2	ナデ		瀬戸？接段？	2391
353	山茶椀	皿	B 3	SD09	1.9	8.1	23.5	4.8	ナデ	圧痕アリ	瀬戸	2392
354	山茶椀	皿	B 3	SD09	2.0	8.4	23.8	5.0			瀬戸	2393
355	山茶椀	皿	B 3	SD09	1.7	8.8	19.3	5.6			瀬戸	2394
356	山茶椀	皿	B 3	SD09	1.6	8.2	19.5	5.2	ナデオサエ		瀬戸	2395
357	山茶椀	皿	B 3	SD09	1.7	7.7	22.1	5.6	ナデオサエ	圧痕アリ	瀬戸	2396
358	山茶椀	皿	B 3	SD09	1.5	8.3	18.1	4.7	ナデ	圧痕アリ	？	2397
359	山茶椀	皿	B 3	SD09	1.8	8.1	22.2	5.0	ナデ	圧痕アリ	接段？瀬戸？	2398
360	山茶椀	皿	B 3	SD09	1.8	7.8	23.1	4.8	ナデ	圧痕アリ	？	2399
361	山茶椀	皿	B 3	SD09	1.7	8.2	20.7	4.8	ナデ		瀬戸	2400
362	山茶椀	皿	B 3	SD09	1.6	8.2	19.5	6.0			瀬戸	2401
363	山茶椀	皿	B 3	SD09	1.5	7.7	19.5	4.1			？	2402
364	山茶椀	皿	B 3	SD09	1.7	8.7	19.5	5.0	ナデ	圧痕アリ	？	2403
365	山茶椀	皿	B 3	SD09	2.1	8.7	24.1	4.8	ナデ		瀬戸？	2404
366	山茶椀	皿	B 3	SD09	1.7	7.5	22.7	5.0			？	2405
367	山茶椀	皿	B 3	SD09	1.1	8.0	13.8	5.0			？	2406
368	山茶椀	皿	片口	SD09	2.8	7.9	35.4	4.0			美濃	2407
369	山茶椀	皿		SD09	－	－		4.6			？	2408
370	白磁	椀		SD09	－	16.7		－		玉縁口縁		2409
371	白磁	椀		SD09	－	16.9		－		玉縁口縁		2410
372	白磁	椀		SD09	－	－		5.8				2411
373	白磁	椀		SD09	－	17.8		－				2412
374	青磁	皿		SD09	－	－		3.6				2413
56－375	土師器	皿	A 1	SD09	2.0	7.1	28.2	3.8			ロクロ	2414
376	土師器	皿	A 2	SD09	2.2	7.6	28.9	4.2			ロクロ	2415
377	土師器	皿	A 2	SD09	1.6	7.0	22.9	3.8			ロクロ	2416
378	土師器	皿	A 2	SD09	1.5	7.1	21.1	3.7			ロクロ	2417
379	土師器	皿	B	SD09	3.6	13.5	26.7	7.0			ロクロ	2418
380	土師器	皿	B	SD09	3.4	14.1	24.1	8.0			ロクロ	2419
381	土師器	皿	B	SD09	3.9	13.9	28.1	7.0			ロクロ	2420
382	土師器	皿	C 2	SD09	1.8	8.2	22.0		ナデ			2421
383	土師器	皿	C 2	SD09	1.9	8.6	22.1					2422
384	土師器	皿	C 3	SD09	1.7	8.3	20.5					2423
385	土師器	皿	C 2	SD09	1.8	8.5	21.2					2424
386	土師器	皿	C 3	SD09	1.3	8.8	14.8	6.3			白色	2425
387	土師器	皿	C 3	SD09	1.3	8.2	15.9	6.0			白色	2426
388	土師器	皿	C 3	SD09	1.4	8.4	16.7	5.6			白色	2427
389	土師器	皿	C 3	SD09	1.5	7.8	19.2	6.0			白色	2428
390	土師器	皿	C 3	SD09	1.4	8.4	16.7	6.6			白色	2429
391	土師器	皿	C 3	SD09	1.3	8.5	15.3	6.6			白色	2430
392	土師器	皿	C 2	SD09	1.5	8.7	17.2	6.4			白色	2431
393	土師器	皿	C 2	SD09	1.3	9.5	13.7	8.0			白色	2432
394	土師器	皿	C 2	SD09	1.3	9.8	13.3	7.4			白色	2433
395	土師器	皿	C 3	SD09	2.1	11.4	18.4	9.4			白色	2434
396	土師器	椀		SD09	－	－	－	4.9			白色，ロクロ	2435
397	土師器	皿	A 4	SD09	－	9.6		－			ロクロ	2436
398	土師器	皿	A 4	SD09	－	16.6	－	－			中世？古代？	2437
399	土師器	皿	A 4	SD09	－	17.4	－	－			ロクロ，古代？	2438
400	土師器	甕		SD09	－	－		－			古代？	2439
401	山茶椀	鉢		SD09	－	29.0	－	－			？	2440

図版番号	種　類	器　種	分類	遺　構	器高(cm)	口径(cm)	径高指数	底径(cm)	内　面	外　面	備　　考	登録番号
402	山茶椀	鉢		SD09	－	28.7	－	－			素焼	E－2441
403	山茶椀	鉢		SD09	－	27.7	－	－			素焼	2442
404	山茶椀	鉢		SD09	－	－	－	10.0			?	2443
405	山茶椀	鉢		SD09	－	－	－	11.4			素焼	2444
406	焼き締め	二彩壺		SD09	－	－		－			素焼	2445
407	焼き締め	壺		SD09	－	10.4		－			素焼	2446
408	焼き締め	壺		SD09	－	－		－			素焼	2447
409	施釉陶器	壺		SD09	－	－		－		灰釉		2448
410	施釉陶器	四耳壺		SD09	－	－		12.0		灰釉		2449
411	焼き締め	壺		SD09	－	－		10.4			素焼	2450
412	施釉陶器	壺		SD09	－	－		8.6		灰釉		2451
57－413	土師器	鍋	B	SD09	－	13.2						2452
414	土師器	鍋	B	SD09	－	25.0						2453
415	土師器	鍋	B	SD09	－	－						2454
416	土師器	鍋	B	SD09	－	－						2455
417	土師器	鍋	B	SD09	－	33.4						2456
418	土師器	鍋	B	SD09	－	20.5						2457
419	土師器	鍋	A	SD09	－	28.8						2458
420	土師器	鍋	A	SD09	－	25.6						2459
421	土師器	鍋	A	SD09	－	22.2						2460
422	土師器	鍋	A	SD09	－	23.0						2461
423	焼き締め	壺		SD09	－	21.7		－			素焼	2462
424	焼き締め	甕		SD09	－	7.8		－			素焼	2463
425	焼き締め	甕		SD09	－	41.4		－			素焼	2464
426	焼き締め	甕		SD09	－	40.6		－			素焼	2465
427	焼き締め	甕		SD09	－	43.7		－			素焼	2466
428	焼き締め	甕		SD09	－	31.7		－			素焼	2467
429	焼き締め	甕		SD09	－	－		15.0			素焼	2468
430	加工円盤	梅鉢部		SD09							山茶椀,素焼	2469
431	加工円盤	梅鉢部		SD09							山茶椀,素焼	2470
432	加工円盤	梅鉢部		SD09							山茶椀,素焼	2471
433	加工円盤	梅鉢部		SD09							山茶椀,瓦質	2472
434	加工円盤	鍋側部		SD09							山茶椀,素焼	2473
435	加工円盤	梅鉢部		SD09							山茶椀,瀬戸?	2474
436	加工円盤	梅鉢部		SD09							山茶椀,素焼	2475
437	加工円盤	梅鉢部		SD09							山茶椀,素焼	2476
438	加工円盤	梅鉢部		SD09							山茶椀,瀬戸?	2477
439	加工円盤	梅鉢部		SD09							山茶椀,素焼	2478
440	土師器	土錘		SD09								2479
441	土師器	土錘		SD09								2480
58－442	山茶椀	椀	A 1	SD09	5.4	16.1	33.5	6.0			素焼	2145
443	山茶椀	椀	A 1	SD09	5.4	15.6	34.6	6.8			猿投？素焼？	2146
444	山茶椀	椀	A 1	SD09	5.4	16.0	33.8	7.8			素焼？	2147
445	山茶椀	椀	A 1	SD09	4.8	15.0	32.0	7.2	ナデ	圧痕アリ	素焼	2148
446	山茶椀	椀	A 2	SD09	5.0	15.6	32.1	7.0			素焼？	2149
447	山茶椀	椀	A 1	SD09	5.3	15.1	35.1	7.0	ナデ		猿投？素焼？	2150
448	山茶椀	椀	A 1	SD09	4.6	15.4	29.9	7.0			猿投？	2151
449	山茶椀	椀	A 2	SD09	4.9	15.8	31.0	6.4	ナデ		瀬戸？猿投？	2152
450	山茶椀	椀	C 1	SD09	6.0	15.4	39.0	7.0	ナデ	圧痕アリ	美濃	2153
451	山茶椀	皿	B 2	SD09	2.8	8.3	33.7	5.0			素焼？	2154
452	山茶椀	皿	B 2	SD09	2.8	8.6	32.6	5.0			素焼？	2155
453	山茶椀	皿	B 2	SD09	3.5	7.7	32.5	4.5			素焼？	2156
454	山茶椀	皿	B 2	SD09	3.4	7.5	32.0	3.7	ナデ		素焼？	2157
455	山茶椀	皿	B 2	SD09	2.4	8.1	29.6	4.0			?	2158
456	山茶椀	皿	B 2	SD09	2.3	8.2	28.0	4.6			?	2159
457	山茶椀	皿	B 2	SD09	3.5	7.8	32.1	4.2			素焼？猿投？	2160
458	山茶椀	皿	B 2	SD09	1.9	7.0	27.1	3.9	ナデ	圧痕アリ	素焼	2161
459	山茶椀	皿	B 2	SD09	2.0	7.4	27.0	4.3			素焼	2162
460	山茶椀	皿	B 2	SD09	2.0	7.8	25.6	4.0	ナデ		素焼	2163
461	山茶椀	皿	B 2	SD09	2.1	8.2	25.6	4.5	ナデ		?	2164
462	山茶椀	皿	B 3	SD09	1.9	7.8	24.4	5.1			猿投？素焼？	2165
463	山茶椀	皿	B 2	SD09	2.3	7.7	29.9	3.8			猿投？素焼？	2166
464	山茶椀	皿	B 2	SD09	2.3	7.5	30.7	4.8			猿投？	2167
465	山茶椀	皿	B 2	SD09	2.4	8.3	28.9	4.5			瀬戸?	2168
466	山茶椀	皿	B 2	SD09	2.2	7.7	28.6	4.3	ナデ		猿投？	2169
467	山茶椀	皿	B 2	SD09	2.2	8.0	27.5	4.6	ナデ	圧痕アリ	猿投？	2170
468	山茶椀	皿	B 2	SD09	2.1	7.2	29.2	4.0	ナデ	圧痕アリ	瀬戸？猿投？	2171
469	山茶椀	皿	B 2	SD09	2.0	7.3	27.4	4.2	ナデ		猿投？瀬戸？	2172
470	山茶椀	皿	B 2	SD09	2.2	7.4	29.7	3.9	ナデ	圧痕アリ	猿投	2173
471	山茶椀	皿	B 3	SD09	1.9	7.8	24.4	3.8			瀬戸?	2174

図版番号	種　類	器　種	分類	遺　構	器高(cm)	口径(cm)	径/高指数	底径(cm)	内　面	外　面	備　考	登録番号
473	山茶椀	皿	B 3	SD09	1.8	7.4	24.3	4.0	ナデ		瀬戸	E－2175
473	山茶椀	皿	D 2	SD09	2.2	8.2	26.8	4.1			美濃	2176
474	白磁	皿		SD09	－	10.1		－				2177
475	土師器	皿	C 3	SD09	1.7	8.3	20.5					2178
476	土師器	皿	C 3	SD09	1.5	8.8	17.0	6.8	ナデ			2179
477	土師器	皿	C 3	SD09	1.6	10.5	15.5				白色	2180
478	土師器	皿	A 2	SD09	1.4	7.8	17.9	5.0			ロクロ	2181
479	土師器	皿	A 3	SD09	－	－	－	3.5			ロクロ	2182
480	土師器	皿	A 4	SD09	－	－		6.2			白色	2183
481	土師器	皿	B	SD09	3.8	13.6	27.9	8.0			ロクロ	2184
482	土師器	皿	B	SD09	3.7	13.0	28.5	7.2	ナデ		ロクロ	2185
483	土師器	甕		SD09	－	－		－			古代？	2186
484	土師器	甕		SD09	－	－		8.4			古代？	2187
485	山茶椀	鉢		SD09	12.5	31.1	40.2	12.7			常滑	2188
486	焼き締め	甕		SD09	－	36.0		－			常滑	2189
59－487	焼き締め	甕		SD09	－	45.6		－			常滑	2190
488	焼き締め	甕		SD09	－	－		12.0			常滑	2191
489	土師器	鍋	A	SD09	－	24.2						2192
490	山茶椀	椀	A 1	SK168	5.2	14.7	35.4	6.5	ナデ		瀬戸？擬段？	2193
491	山茶椀	皿	B 2	SK168	1.9	7.5	25.3	3.8	ナデ		擬段？常滑？	2194
492	山茶椀	皿	B 2	SK168	2.2	8.0	27.5	3.8			渥美？	2195
493	山茶椀	皿	B 2	SK168	2.2	7.8	28.2	3.8	ナデ		常滑？擬段？	2196
494	山茶椀	皿	B 2	SK168	2.3	7.7	29.9	4.0	ナデ		瀬戸？擬段？	2197
495	土師器	皿	C 1	SK168	2.4	11.8	20.3		ナデ			2198
496	土師器	皿	B	SK168	－	14.0	－				ロクロ	2199
497	土師器	皿	E 1	SK168	3.3	13.6	24.3					2200
498	土師器	皿	A 3	SK168	2.6	7.3	35.6	3.4			ロクロ	2201
499	土師器	皿	D	SK168	2.5	15.2	16.4					2202
500	焼き締め	壺		SK168	－	－		14.0			常滑	2203
501	土師器	鍋	B	SK168	－	27.4						2204
502	山茶椀	椀	A 1	SE55	5.0	14.1	35.5	6.4	ナデ		常滑	2205
503	山茶椀	椀	A 1	SE55	－	－	－	7.8		圧痕アリ	常滑？	2206
504	山茶椀	皿	B 2	SE55	2.2	8.0	27.5	4.0			常滑	2207
505	山茶椀	皿	B 3	SE55	1.7	7.6	22.4	4.2			擬段？	2208
506	山茶椀	皿	B 2	SE55	2.2	7.7	28.6	4.4			常滑	2209
507	山茶椀	皿	B 3	SE55	2.1	8.5	24.7	5.4			擬段	2210
508	山茶椀	皿	D 2	SE55	2.1	8.4	25.0	5.0	ナデ	圧痕アリ	美濃	2211
509	山茶椀	皿	B 3	SE55	1.6	8.3	19.3	5.0	ナデ	圧痕アリ	瀬戸	2212
510	山茶椀	皿	B 3	SE55	1.8	7.4	24.3	4.0			？	2213
511	土師器	皿	D	SE55	1.4	8.6	16.3					2214
512	土師器	皿	C 1	SE55	1.6	9.4	17.0					2215
513	土師器	皿	D	SE55	1.0	8.5	11.8	7.2				2216
514	土師器	皿	C 1	SE55	1.7	8.6	19.8					2217
515	土師器	皿	C 1	SE55	－	13.7	－	－				2218
516	土師器	皿	E 1	SE55	2.3	11.2	20.5	7.6				2219
517	土師器	皿	C 1	SE55	2.1	11.8	17.8	7.6				2220
518	須恵器	段皿		SE55	1.6	10.8	14.8	5.2			？	2221
519	山茶椀	鉢		SE55	－	34.5	－	－				2222
520	土師器	鍋	A	SE55	－	25.2						2223
60－521	山茶椀	椀	A 1	SD76	5.4	15.5	34.8	7.5			常滑	2024
522	山茶椀	椀	A 1	SD76	5.1	15.5	32.9	7.0			常滑？擬段？	2025
523	山茶椀	椀	A 1	SD76	4.9	15.8	31.0	6.6	ナデ	圧痕アリ	常滑？	2026
524	山茶椀	椀	A 1	SD76	5.0	15.2	32.9	7.4			擬段？常滑？	2027
525	山茶椀	椀	A 2	SD76	5.2	15.9	32.7	7.6	ナデ		常滑	2028
526	山茶椀	椀	A 2	SD76	4.8	15.4	31.2	6.1			常滑	2029
527	山茶椀	椀	A 1	SD76	4.9	15.6	31.4	6.8			常滑？渥美？	2030
528	山茶椀	椀	A 1	SD76	4.9	15.9	30.8	6.8		圧痕アリ	？	2031
529	山茶椀	椀	A 1	SD76	5.0	15.3	32.7	8.2	ナデオサエ		常滑	2032
530	山茶椀	椀	A 1	SD76	4.8	15.7	30.6	7.0			？	2033
531	山茶椀	椀	A 1	SD76	5.3	15.1	35.1	7.1			常滑？渥美？	2034
532	山茶椀	椀	A 2	SD76	4.7	15.4	30.5	6.8		圧痕アリ	常滑？渥美？	2035
533	山茶椀	椀	A 2	SD76	4.8	16.1	29.8	7.0			常滑	2036
534	山茶椀	椀	A 2	SD76	5.0	15.6	32.1	7.5			常滑	2037
535	山茶椀	椀	A 2	SD76	4.9	15.1	32.5	7.8			常滑	2038
536	山茶椀	椀	A 2	SD76	5.1	15.6	32.7	7.0	ナデ		常滑	2039
537	山茶椀	椀	A 2	SD76	5.2	15.6	33.3	8.1	ナデオサエ		常滑	2040
538	山茶椀	椀	A 1	SD76	5.5	15.5	35.5	7.0			常滑	2041
539	山茶椀	椀	A 2	SD76	4.9	15.4	31.8	6.8	ナデ		常滑？渥美？	2042
540	山茶椀	椀	A 1	SD76	5.0	15.2	32.9	6.4	ナデ		擬段	2043
541	山茶椀	椀	A 1	SD76	4.8	15.1	31.8	7.6	ナデ		擬段	2044

図版番号	種　類	器　種	分類	遺　構	器高(cm)	口径(cm)	径高指数	底径(cm)	内　面	外　面	備　考	登録番号
542	山茶椀	椀	A 1	SD76	5.5	14.9	36.9	6.6	ナデ		須美？	E－2045
543	山茶椀	椀	A 1	SD76	5.5	15.7	35.0	7.6			須美？	2046
544	山茶椀	椀	A 2	SD76	5.0	15.3	32.7	6.5			須美	2047
545	山茶椀	椀	B 3	SD76	4.9	15.4	31.8	7.0	ナデ		須美？	2048
546	山茶椀	椀	D 1	SD76	6.0	14.8	40.5	6.6			美濃？瀬戸？	2049
547	山茶椀	椀	C 1	SD76	5.6	14.3	39.2	6.0	ナデ	圧痕アリ	美濃	2050
548	山茶椀	椀	C 1	SD76	6.1	15.7	38.9	7.0	ナデ		？	2051
549	山茶椀	椀	C 1	SD76	5.6	14.4	38.9	5.4	ナデ		美濃	2052
550	山茶椀	椀	C 1	SD76	6.0	15.2	39.5	6.0	ナデ		美濃	2053
551	山茶椀	椀	D 1	SD76	5.8	14.6	39.7	5.6			美濃	2054
552	山茶椀	椀	D 1	SD76	5.7	15.6	36.5	6.6	ナデ		美濃	2055
61－553	山茶椀	皿	B 2	SD76	2.4	7.7	31.2	4.3	ナデ		常滑？	2056
554	山茶椀	皿	B 2	SD76	4.0	8.1	49.4	4.8			常滑	2057
555	山茶椀	皿	B 2	SD76	2.3	7.6	30.3	4.2			瀬戸？猿投？	2058
556	山茶椀	皿	B 2	SD76	2.7	8.2	32.9	4.5			常滑？猿投？	2059
557	山茶椀	皿	B 2	SD76	2.7	8.4	32.1	5.0			？	2060
558	山茶椀	皿	B 2	SD76	2.1	7.5	28.0	4.7			常滑？	2061
559	山茶椀	皿	B 2	SD76	2.6	8.2	31.7	5.2	ナデ	圧痕アリ	猿投？常滑？	2062
560	山茶椀	皿	B 2	SD76	2.4	7.7	31.2	4.2	ナデ	圧痕アリ	常滑？猿投？	2063
561	山茶椀	皿	B 2	SD76	2.2	7.8	28.2	4.8	ナデ	圧痕アリ	猿投？常滑？	2064
562	山茶椀	皿	B 2	SD76	2.3	7.4	31.1	4.1	ナデ	圧痕アリ	常滑	2065
563	山茶椀	皿	B 2	SD76	2.2	7.9	27.8	4.6		圧痕アリ	常滑？	2066
564	山茶椀	皿	B 2	SD76	2.2	7.7	28.6	3.9	ナデ		猿投？常滑？	2067
565	山茶椀	皿	B 2	SD76	2.2	7.7	28.6	4.8	ナデ	圧痕アリ	？	2068
566	山茶椀	皿	B 2	SD76	1.9	7.5	25.3	3.6			常滑？	2069
567	山茶椀	皿	B 3	SD76	1.9	7.7	24.7	4.2		圧痕アリ	常滑？	2070
568	山茶椀	皿	B 3	SD76	1.9	7.8	24.4	4.4	ナデ		常滑	2071
569	山茶椀	皿	B 2	SD76	2.1	7.5	28.0	4.2	ナデ		猿投？常滑？	2072
570	山茶椀	皿	B 2	SD76	2.2	7.4	29.7	4.3	ナデ		須美？常滑？	2073
571	山茶椀	皿	B 3	SD76	2.0	8.6	23.3	4.6	ナデ		須美？常滑？	2074
572	山茶椀	皿	B 3	SD76	1.8	7.9	22.8	4.6	ナデオサエ		常滑	2075
573	山茶椀	皿	B 2	SD76	2.2	8.0	27.5	4.8		圧痕アリ	猿投？	2076
574	山茶椀	皿	B 2	SD76	2.1	7.6	27.6	4.8	ナデ	圧痕アリ	猿投？	2077
575	山茶椀	皿	B 2	SD76	2.4	8.3	28.9	4.1			瀬戸？猿投？	2078
576	山茶椀	皿	B 2	SD76	2.1	7.4	28.4	4.3			瀬戸？猿投？	2079
577	山茶椀	皿	B 2	SD76	2.4	7.7	31.2	4.1	ナデ		猿投？	2080
578	山茶椀	皿	B 2	SD76	2.2	7.8	28.2	4.8	ナデ		猿投	2081
579	山茶椀	皿	B 2	SD76	2.1	8.1	25.9	4.8	ナデ		猿投	2082
580	山茶椀	皿	B 2	SD76	1.9	7.2	26.4	3.6	ナデ		猿投？瀬戸？	2083
581	山茶椀	皿	B 3	SD76	2.0	8.2	24.4	5.4	ナデオサエ	圧痕アリ	猿投？瀬戸？	2084
582	山茶椀	皿	B 2	SD76	1.9	7.3	26.0	4.0			瀬戸？猿投？	2085
583	山茶椀	皿	B 2	SD76	2.1	7.7	27.3	4.3	ナデ	圧痕アリ	瀬戸	2086
584	山茶椀	皿	B 2	SD76	2.3	7.9	29.1	4.1	ナデ		瀬戸	2087
585	山茶椀	皿	B 2	SD76	2.1	7.9	26.6	4.3	ナデ	圧痕アリ	瀬戸	2088
586	山茶椀	皿	B 2	SD76	2.0	7.0	28.6	3.7		圧痕アリ	美濃	2089
587	山茶椀	皿	B 2	SD76	2.2	7.1	31.0	4.0	ナデ	圧痕アリ	美濃	2090
588	山茶椀	皿	B 2	SD76	2.4	7.8	30.8	4.3			美濃	2091
589	山茶椀	皿	B 2	SD76	2.2	7.3	30.1	3.6			美濃	2092
590	土師器	皿	A 2	SD76	2.0	8.7	23.0	5.0			ロクロ	2093
591	土師器	皿	A 2	SD76	1.9	7.2	26.4	4.8	ナデ		ロクロ	2094
592	土師器	皿	A 1	SD76	1.9	8.4	22.6	4.2			ロクロ	2095
593	白磁	椀		SD76	－	15.6		－		玉縁口縁		2096
594	白磁	椀		SD76	－	12.8		－		玉縁口縁		2097
595	白磁	椀		SD76	－	－		5.8				2098
596	青磁	椀		SD76	－	16.2		－				2099
597	青磁	椀		SD76	4.0	11.2		3.8				2100
598	青磁	椀		SD76	－	－		6.9				2101
599	施釉陶器	片口鉢		SD76	9.0	21.0				灰釉		2102
600	施釉陶器	壺		SD76	－	－		7.4		灰釉		2103
601	焼き締め	甕		SD76	－	28.0		－			常滑	2104
62－602	焼き締め	甕		SD76	－	28.0		－			常滑	2105
603	土師器	鍋	A	SD76	－	22.8						2106
604	焼き締め	釜		SD76	－	－		－			常滑	2107
605	山茶椀	椀	A 1	SK232	5.4	15.7	34.4	6.0	ナデ		常滑	2108
606	山茶椀	椀	A 1	SK232	5.0	15.7	31.8	7.4	ナデ	圧痕アリ	常滑	2109
607	山茶椀	椀	A 1	SK232	5.3	16.0	33.1	7.2	ナデ		常滑	2110
608	山茶椀	椀	A 2	SK232	4.5	15.3	29.4	6.6			常滑？	2111
609	山茶椀	椀	A 2	SK232	5.6	15.6	35.9	7.0			常滑？	2112
610	山茶椀	椀	A 2	SK232	5.4	15.0	36.0	5.8	ナデ	圧痕アリ	常滑	2113
611	山茶椀	椀	A 2	SK232	5.2	15.0	34.7	7.0	ナデ		常滑	2114

図版番号	種　類	器　種	分類	造　構	器高(cm)	口径(cm)	径高指数	底径(cm)	内　面	外　面	備　考	登録番号
612	山茶碗	椀	A 1	SK232	5.6	15.0	37.3	5.8	ナデ		?	E－2115
613	山茶碗	椀	A 2	SK232	5.3	15.5	34.2	7.0			?	2116
614	山茶碗	椀	A 1	SK232	5.1	15.3	33.3	6.4	ナデ		瀬戸？猿投？	2117
615	山茶碗	椀	A 1	SK232	5.0	14.9	33.6	6.2	ナデ	圧痕アリ	瀬戸？常滑？	2118
616	山茶碗	椀	A 1	SK232	4.8	15.9	30.2	6.2		圧痕アリ	猿投？常滑？	2119
617	山茶碗	椀	A 1	SK232	4.6	15.8	29.1	6.8			猿投？	2120
618	山茶碗	椀	C 1	SK232	5.8	15.2	38.2	5.8		圧痕アリ	美濃？	2121
619	山茶碗	椀	A 2	SK232	4.7	13.7	34.3	6.4			美濃？	2122
620	山茶碗	椀	A 2	SK232	5.8	15.2	38.2	7.4	ナデ		瀬戸？	2123
621	山茶碗	椀	A 2	SK232	－	－	－	6.6			瀬戸	2124
622	山茶碗	皿	B 2	SK232	2.4	8.1	29.6	4.4		圧痕アリ	常滑	2125
623	山茶碗	皿	B 2	SK232	2.1	7.8	26.9	4.4	ナデオサエ		常滑	2126
624	山茶碗	皿	B 2	SK232	2.2	7.5	29.3	3.6			常滑	2127
625	山茶碗	皿	B 2	SK232	2.0	8.0	25.0	4.2	ナデ		常滑？	2128
626	山茶碗	皿	B 2	SK232	2.1	7.5	28.0	4.6	ナデ	圧痕アリ	?	2129
627	山茶碗	皿	B 2	SK232	2.2	7.4	29.7	4.1	ナデ	圧痕アリ	常滑	2130
628	山茶碗	皿	B 2	SK232	1.9	7.6	25.0	4.7			常滑？瀬戸？	2131
629	山茶碗	皿	B 3	SK232	1.9	7.5	25.3	4.1	ナデオサエ		常滑？	2132
630	山茶碗	皿	B 3	SK232	1.8	8.1	22.2	4.4			常滑	2133
631	山茶碗	皿	B 2	SK232	2.1	7.3	28.8	3.7	ナデ	圧痕アリ	猿投？	2134
632	山茶碗	皿	B 2	SK232	1.9	7.3	26.0	4.1			瀬戸？	2135
633	山茶碗	皿	B 2	SK232	2.1	8.1	25.9	4.3	ナデ		瀬戸？	2136
634	山茶碗	皿	D 2	SK232	2.1	7.5	28.0	4.4			常滑	2137
635	山茶碗	皿	D 2	SK232	2.4	8.5	28.2	4.2			美濃	2138
636	土師器	皿	C 3	SK232	1.6	8.4	19.0					2139
637	土師器	皿	D	SK232	2.0	13.8	14.5					2140
638	土師器	皿	B	SK232	－	－	－	6.0			ロクロ	2141
639	石製	板		SK232	－	－		－				2142
640	土師器	鍋	A	SK232	－	19.6						2143
641	土師器	土錘		SK232								2144
63－642	山茶碗	椀	A 1	SD133	5.4	15.7	34.4	6.8			常滑	2481
643	山茶碗	椀	A 1	SD133	4.9	14.8	33.1	6.9			常滑？渥美？	2482
644	山茶碗	椀	A 1	SD133	5.3	15.4	34.4	6.8	ナデ		常滑	2483
645	山茶碗	椀	A 1	SD133	5.5	14.8	37.2	5.6			渥美？常滑？	2484
646	山茶碗	椀	A 1	SD133	5.1	15.0	34.0	6.4	ナデ		常滑	2485
647	山茶碗	椀	A 1	SD133	4.2	16.4	25.6	8.2				2486
648	山茶碗	椀	A 1	SD133	5.0	14.0	35.7	6.7	ナデ		常滑	2487
649	山茶碗	椀	A 2	SD133	5.5	15.8	34.8	6.4			常滑,瀬戸	2488
650	山茶碗	椀	A 2	SD133	5.1	15.4	33.1	7.6			常滑	2489
651	山茶碗	椀	A 2	SD133	5.4	15.2	35.5	6.8			常滑	2490
652	山茶碗	椀	A 2	SD133	5.4	15.6	34.6	6.7			?	2491
653	山茶碗	椀	A 2	SD133	5.4	15.0	36.0	6.0			猿投？常滑？	2492
654	山茶碗	椀	A 2	SD133	5.1	14.3	35.7	7.4	ナデ	圧痕アリ	常滑	2493
655	山茶碗	椀	A 2	SD133	5.2	15.1	34.4	6.4			常滑	2494
656	山茶碗	椀	A 2	SD133	5.0	15.0	33.3	7.2	ナデ		常滑	2495
657	山茶碗	椀	A 2	SD133	5.3	15.0	35.3	7.0	ナデ		常滑	2496
658	山茶碗	椀	A 2	SD133	5.2	15.4	33.8	6.8			常滑	2497
659	山茶碗	椀	A 2	SD133	5.2	14.8	35.1	7.0			常滑	2498
660	山茶碗	椀	A 2	SD133	5.2	15.5	33.5	6.8			常滑	2499
661	山茶碗	椀	A 2	SD133	5.6	15.2	36.8	7.0	ナデ	圧痕アリ	常滑	2500
662	山茶碗	椀	A 1	SD133	4.7	13.8	34.1	6.0			常滑	2501
663	山茶碗	椀	A 1	SD133	4.9	14.7	33.3	7.0	ナデ		渥美？常滑？	2502
664	山茶碗	椀	A 1	SD133	5.2	14.3	36.4	5.8	ナデ		?	2503
665	山茶碗	椀	A 1	SD133	5.5	14.7	37.4	7.0	ナデオサエ		常滑？渥美？	2504
666	山茶碗	椀	A 3	SD133	5.1	14.1	36.2	5.8	ナデ		常滑？	2505
667	山茶碗	椀	A 2	SD133	5.4	14.4	37.5	6.4			猿投？常滑？	2506
668	山茶碗	椀	A 2	SD133	5.3	14.0	37.9	6.4			常滑	2507
669	山茶碗	椀	A 2	SD133	4.9	14.1	34.8	6.4	ナデ		常滑	2508
670	山茶碗	椀	A 1	SD133	5.5	14.5	37.9	7.0			常滑	2509
671	山茶碗	椀	A 2	SD133	5.4	14.1	38.3	7.2			常滑	2510
672	山茶碗	椀	A 2	SD133	5.4	14.6	37.0	6.2	ナデ		常滑	2511
673	山茶碗	椀	A 2	SD133	5.5	15.5	35.5	6.6	ナデ	圧痕アリ	常滑	2512
674	山茶碗	椀	A 2	SD133	5.4	14.8	36.5	7.1			?	2513
64－675	山茶碗	椀	A 2	SD133	5.5	15.3	35.9	6.0			猿投,瀬戸	2514
676	山茶碗	椀	A 2	SD133	5.2	15.6	33.3	7.0			常滑,瀬戸	2515
677	山茶碗	椀	A 1	SD133	5.4	15.4	35.1	7.0			常滑,瀬戸	2516
678	山茶碗	椀	A 1	SD133	5.7	15.4	37.0	6.0		圧痕アリ	渥美？	2517
679	山茶碗	椀	A 2	SD133	5.3	14.6	36.3	7.4			渥美	2518
680	山茶碗	椀	A 1	SD133	4.5	15.1	29.8	6.6	ナデ		猿投？渥美？	2519
681	山茶碗	椀	A 1	SD133	4.8	14.6	32.9	6.5	タテナデ		猿投？瀬戸？	2520

図版番号	種　類	器　種	分類	遺　構	器高(cm)	口径(cm)	復高指数	底径(cm)	内　面	外　面	備　考	登録番号
682	山茶椀	椀	A 1	SD133	4.9	14.1	34.8	6.8	ナデ		接段？	E－2521
683	山茶椀	椀	A 1	SD133	5.5	14.5	37.9	6.0	ナデ	圧痕アリ	接段？素焼？	2522
684	山茶椀	椀	A 1	SD133	5.2	13.7	38.0	5.8	ナデ		素焼？	2523
685	山茶椀	椀	A 1	SD133	5.1	13.7	37.2	6.1	ナデ		接段？素焼？	2524
686	山茶椀	椀	A 2	SD133	5.5	14.6	37.7	6.8	ナデ	圧痕アリ	接段	2525
687	山茶椀	椀	A 2	SD133	5.2	13.9	37.4	5.8	ナデオサエ	圧痕アリ	素焼？	2526
688	山茶椀	椀	A 2	SD133	4.6	13.6	33.8	5.3	ナデ		瀬戸	2527
689	山茶椀	椀	A 2	SD133	5.0	13.9	36.0	6.3	ナデ		接段？瀬戸？	2528
690	山茶椀	椀	A 2	SD133	5.5	15.0	36.7	6.4	ナデ		接段？瀬戸？	2529
691	山茶椀	椀	A 2	SD133	5.5	14.8	37.2	7.0	ナデ		？	2530
692	山茶椀	椀	A 1	SD133	5.6	14.4	38.9	6.2	ナデ	圧痕アリ	瀬戸	2531
693	山茶椀	椀	A 2	SD133	5.6	14.7	38.1	6.4			瀬戸	2532
694	山茶椀	椀	A 2	SD133	5.2	14.1	36.9	6.0	ナデ		瀬戸	2533
695	山茶椀	椀	A 2	SD133	5.1	13.6	37.5	5.6	ナデオサエ		瀬戸	2534
696	山茶椀	椀	A 2	SD133	5.5	14.4	38.2	6.3	ナデ		瀬戸	2535
697	山茶椀	椀	A 2	SD133	5.7	14.7	38.8	6.8	ナデ		瀬戸	2536
698	山茶椀	椀	A 2	SD133	5.3	13.8	38.4	6.6	ナデ		素焼、墨書	2537
699	山茶椀	椀	A 2	SD133	5.5	14.2	38.7	7.2	ナデ	圧痕アリ	接段？瀬戸？	2538
700	山茶椀	椀	A 2	SD133	5.3	14.0	37.9	6.4	ナデ	圧痕アリ	接段？素焼？	2539
701	山茶椀	椀	B 1	SD133	5.6	13.9	40.3	5.6			瀬戸	2540
702	山茶椀	椀	B 1	SD133	5.3	13.3	39.8	5.6	ナデ		接段？	2541
65－703	山茶椀	椀	C 1	SD133	5.2	14.9	34.9	6.4			美濃	2542
704	山茶椀	椀	C 1	SD133	5.5	15.1	36.4	6.8	ナデ	圧痕アリ	美濃	2543
705	山茶椀	椀	C 1	SD133	5.2	15.1	34.4	6.4	ナデ		美濃	2544
706	山茶椀	椀	A 2	SD133	5.4	14.0	38.6	7.3	ナデ		素焼	2545
707	山茶椀	椀	A 2	SD133	5.1	13.7	37.2	6.8			素焼	2546
708	山茶椀	椀	A 2	SD133	5.2	13.5	38.5	6.8	ナデオサエ	圧痕アリ	素焼	2547
709	山茶椀	椀	A 2	SD133	－	14.1	－	－		圧痕アリ	素焼？	2548
710	山茶椀	椀	B 2	SD133	5.9	15.0	39.3	6.8	ナデ		素焼	2549
711	山茶椀	椀	B 2	SD133	5.9	13.7	43.1	5.8	ナデ		素焼？	2550
712	山茶椀	椀	A 2	SD133	5.7	14.7	38.8	6.4	ナデオサエ	圧痕アリ	瀬戸	2551
713	山茶椀	椀	A 2	SD133	－	13.7	－	－	ナデオサエ	圧痕アリ	瀬戸	2552
714	山茶椀	椀	B 2	SD133	5.6	14.2	39.4	5.0	ナデ		接段？	2553
715	山茶椀	椀	A 2	SD133	5.5	14.0	39.3	5.4	タテナデ	圧痕アリ	瀬戸	2554
716	山茶椀	椀	A 2	SD133	5.5	14.1	39.0	6.2	ナデオサエ		接段？瀬戸？	2555
717	山茶椀	椀	B 2	SD133	5.5	13.8	39.9	6.2			瀬戸？	2556
718	山茶椀	椀	B 2	SD133	5.6	13.6	41.2	5.3	ナデオサエ	圧痕アリ	接段？	2557
719	山茶椀	椀	B 2	SD133	5.4	13.3	40.6	5.8			瀬戸	2558
720	山茶椀	椀	B 2	SD133	5.3	13.2	40.2	6.0	ナデ	圧痕アリ	瀬戸	2559
721	山茶椀	椀	B 2	SD133	5.5	13.8	39.9	5.8	ナデオサエ	圧痕アリ	瀬戸？接段？	2560
722	山茶椀	椀	B 2	SD133	5.8	13.4	43.3	6.1	ナデオサエ	圧痕アリ	瀬戸？接段？	2561
723	山茶椀	椀	A 2	SD133	4.6	11.8	39.0	5.0	オサエ		瀬戸？	2562
724	山茶椀	椀	B 2	SD133	6.2	12.8	48.4	5.5			？	2563
725	山茶椀	椀	D 2	SD133	5.3	13.2	40.2	5.4	オサエ		美濃？瀬戸？	2564
726	山茶椀	椀	C 1	SD133	6.1	15.2	40.1	6.6			？	2565
727	山茶椀	椀	D 1	SD133	6.1	15.3	39.9	6.6			美濃	2566
728	山茶椀	椀	C 2	SD133	5.0	13.0	38.5	5.2	ナデ		美濃	2567
729	山茶碗	椀	C	SD133	－	－	－	3.6			美濃	2568
730	緑釉陶器	椀		SD133	－	－	－	6.6				2569
731	緑釉陶器	椀		SD133	－	－	－	6.0				2570
732	緑釉陶器	段皿	素地	SD133	－	－	－	7.2				2571
733	灰釉陶器	椀		SD133	－	－	－	7.6			？、底部ヘラ痕	2572
734	灰釉陶器	椀		SD133	－	－	－	6.6			？、底部墨書	2573
66－735	山茶碗	皿	A	SD133	2.8	9.8	28.6	6.3				2574
736	山茶碗	皿	B 2	SD133	2.4	8.2	29.3	4.2			素焼	2575
737	山茶碗	皿	B 2	SD133	2.6	7.7	33.8	4.0			素焼	2576
738	山茶碗	皿	B 2	SD133	2.2	7.3	30.1	4.4	ナデ	圧痕アリ	接段	2577
739	山茶碗	皿	B 2	SD133	2.4	8.0	30.0	4.2			素焼	2578
740	山茶碗	皿	B 2	SD133	2.3	7.8	29.5	4.5			接段？素焼？	2579
741	山茶碗	皿	B 2	SD133	2.5	8.3	30.1	5.0			素焼	2580
742	山茶碗	皿	B 2	SD133	2.1	7.4	28.4	4.0	ナデオサエ		接段？素焼？	2581
743	山茶碗	皿	B 2	SD133	2.3	8.0	28.8	4.4	ナデ		素焼	2582
744	山茶碗	皿	B 2	SD133	2.2	7.1	31.0	3.4	ナデ		接段？素焼？	2583
745	山茶碗	皿	B 2	SD133	2.3	8.0	28.8	4.2			素焼	2584
746	山茶碗	皿	B 3	SD133	2.0	7.8	25.6	5.1		圧痕アリ	素焼	2585
747	山茶碗	皿	B 3	SD133	2.0	8.1	24.7	5.2	ナデオサエ	圧痕アリ	素焼？	2586
748	山茶碗	皿	B 2	SD133	2.2	8.3	26.5	5.3	ナデ		素焼	2587
749	山茶碗	皿	B 2	SD133	2.2	8.2	26.8	5.0			素焼	2588
750	山茶碗	皿	B 2	SD133	2.2	7.7	28.6	5.1			素焼	2589
751	山茶碗	皿	B 2	SD133	2.2	8.1	27.2	5.0	ナデ		素焼	2590

図版番号	種　類	器　種	分類	遺　構	器高(cm)	口径(cm)	径高指数	底径(cm)	内　面	外　面	備　考	登録番号
752	山茶碗	鉢	B 3	SD133	2.1	8.1	25.9	4.7	ナデ	圧痕アリ	京焼？	E－2591
753	山茶碗	鉢	B 2	SD133	2.2	8.4	26.2	6.0	ナデ		京焼	2592
754	山茶碗	鉢	B 2	SD133	2.2	8.3	26.5	5.0	ナデ		京焼	2593
755	山茶碗	鉢	B 2	SD133	2.1	7.9	26.6	4.0	ナデ		京焼？	2594
756	山茶碗	鉢	B 3	SD133	2.1	8.1	25.9	4.6	ナデ		瀬戸？京焼？	2595
757	山茶碗	鉢	B 3	SD133	1.9	7.9	24.1	5.0	ナデ		瀬段？京焼？	2596
758	山茶碗	鉢	B 3	SD133	1.9	7.4	25.7	4.2	ナデ		瀬段？京焼？	2597
759	山茶碗	鉢	B 2	SD133	2.2	8.3	26.5	5.1	ナデ		京焼？	2598
760	山茶碗	鉢	B 3	SD133	1.8	7.9	22.8	4.8	ナデ	圧痕アリ	京焼	2599
761	山茶碗	鉢	B 2	SD133	2.2	8.3	26.5	4.0			京焼	2600
762	山茶碗	鉢	B 3	SD133	2.1	8.4	25.0	4.6	ナデ		京焼？	2601
763	山茶碗	鉢	B 3	SD133	1.9	8.6	22.1	5.7	ヨコナデ	圧痕アリ	京焼	2602
764	山茶碗	鉢	B 3	SD133	1.8	8.0	22.5	4.8	ナデ		京焼	2603
765	山茶碗	鉢	B 2	SD133	2.2	8.3	26.5	4.9	ナデ		京焼	2604
766	山茶碗	鉢	B 3	SD133	1.8	8.1	22.2	5.6	ナデ		京焼	2605
767	山茶碗	鉢	B 3	SD133	1.9	8.3	22.9	4.8			？	2606
768	山茶碗	鉢	B 3	SD133	2.1	8.6	24.4	5.2			京焼	2607
769	山茶碗	鉢	B 2	SD133	2.5	8.6	29.1	4.8	ナデ	圧痕アリ	瀬段？京焼？	2608
770	山茶碗	鉢	B 3	SD133	2.1	8.2	25.6	5.4			瀬戸	2609
771	山茶碗	鉢	B 2	SD133	2.2	8.1	27.2	4.4	ナデ		瀬戸	2610
772	山茶碗	鉢	B 2	SD133	2.1	7.5	28.0	4.4			瀬段	2611
773	山茶碗	鉢	B 2	SD133	2.2	8.1	27.3	4.5	ナデ		瀬戸？	2612
774	山茶碗	鉢	B 2	SD133	2.2	8.2	26.8	4.6	ナデオサエ		瀬戸？瀬段？	2613
775	山茶碗	鉢	B 3	SD133	2.0	8.0	25.0	5.1	ナデ		瀬戸	2614
776	山茶碗	鉢	B 2	SD133	2.2	8.3	26.5	5.3		圧痕アリ	瀬戸？	2615
777	山茶碗	鉢	B 3	SD133	2.0	7.9	25.3	5.0	ナデ	圧痕アリ	瀬段？瀬戸？	2616
778	山茶碗	鉢	B 2	SD133	2.5	8.8	28.4	5.3	オサエ	圧痕アリ	瀬段？	2617
779	山茶碗	鉢	B 2	SD133	2.3	8.5	27.1	5.6			瀬段？	2618
780	山茶碗	鉢	B 2	SD133	2.1	8.0	26.3	4.4			美濃？	2619
781	山茶碗	鉢	B 3	SD133	2.2	8.6	25.6	5.4			瀬戸	2620
782	山茶碗	鉢	B 3	SD133	2.1	8.1	25.9	4.4	ナデ	圧痕アリ	？	2621
783	山茶碗	鉢	B 2	SD133	2.0	7.5	26.7	4.6	ナデオサエ		瀬戸？瀬段？	2622
784	山茶碗	鉢	B 3	SD133	2.0	8.3	24.1	4.6	ナデオサエ		瀬戸？瀬段？	2623
785	山茶碗	鉢	B 3	SD133	1.9	7.7	24.7	5.0	ナデ	圧痕アリ	瀬段	2624
786	山茶碗	鉢	B 3	SD133	2.0	8.1	24.7	5.2	ナデ	圧痕アリ	瀬戸	2625
787	山茶碗	鉢	D 2	SD133	2.3	8.0	28.8	3.8			美濃	2626
788	山茶碗	鉢	D 2	SD133	2.0	8.3	24.1	4.7		圧痕アリ	美濃	2627
789	山茶碗	鉢	B 3	SD133	1.8	7.6	23.7	5.0	ナデオサエ		瀬段？京焼？	2628
790	山茶碗	鉢	B 3	SD133	1.9	7.9	24.1	4.4	ナデ		京焼	2629
791	山茶碗	鉢	B 3	SD133	2.1	8.2	25.6	5.4	ナデオサエ	圧痕アリ	京焼？瀬段？	2630
792	山茶碗	鉢	B 3	SD133	1.7	7.1	23.9	4.6			京焼？瀬段？	2631
793	山茶碗	鉢	B 2	SD133	1.9	7.3	26.0	4.7	ナデ	圧痕アリ	京焼？瀬段？	2632
794	山茶碗	鉢	B 3	SD133	1.9	8.1	23.5	5.6	ナデ		京焼	2633
795	山茶碗	鉢	B 3	SD133	1.8	7.8	23.1	4.2	ナデ		瀬段？京焼？	2634
796	山茶碗	鉢	B 3	SD133	1.7	7.6	22.4	4.0			京焼	2635
797	山茶碗	鉢	B 3	SD133	1.8	7.5	24.0	4.8	ナデ	圧痕アリ	？	2636
798	山茶碗	鉢	B 3	SD133	1.7	8.0	21.3	5.4	ナデ	圧痕アリ	瀬戸	2637
799	山茶碗	鉢	B 3	SD133	1.7	7.7	22.1	5.3	ナデ		京焼	2638
800	山茶碗	鉢	B 3	SD133	1.9	8.6	22.1	4.7	ナデ	圧痕アリ	京焼	2639
801	山茶碗	鉢	B 3	SD133	1.8	7.6	23.7	5.3	ナデ		京焼	2640
802	山茶碗	鉢	B 3	SD133	1.7	7.4	23.0	4.7	ナデ		京焼	2641
803	山茶碗	鉢	B 3	SD133	1.9	7.9	24.1	5.2	ナデ		瀬段？京焼？	2642
804	山茶碗	鉢	B 3	SD133	1.7	8.0	21.3	4.9	ナデ	圧痕アリ	京焼	2643
805	山茶碗	鉢	B 3	SD133	1.7	8.0	21.3	4.9	ナデ	圧痕アリ	瀬段？京焼？	2644
806	山茶碗	鉢	B 3	SD133	1.8	8.1	22.2	5.0	ナデ	圧痕アリ	瀬段？京焼？	2645
807	山茶碗	鉢	B 3	SD133	1.7	8.3	20.5	4.9	ナデ		京焼？	2646
808	山茶碗	鉢	B 3	SD133	1.8	8.4	21.4	5.8	ナデ		京焼	2647
809	山茶碗	鉢	B 3	SD133	1.7	7.6	22.4	4.4		圧痕アリ	瀬段？京焼？	2648
810	山茶碗	鉢	B 3	SD133	1.9	7.9	24.1	5.0	ナデ		京焼	2649
811	山茶碗	鉢	B 3	SD133	1.9	8.1	23.5	5.2	ナデ		京焼	2650
812	山茶碗	鉢	B 3	SD133	1.8	8.3	21.7	4.5	ナデ	圧痕アリ	京焼	2651
813	山茶碗	鉢	B 3	SD133	1.7	8.0	21.3	5.2	ナデ		京焼	2652
67－814	山茶碗	鉢	B 3	SD133	1.7	7.8	21.8	4.8	ナデ	圧痕アリ	京焼？瀬段？	2653
815	山茶碗	鉢	B 3	SD133	1.8	8.0	22.5	4.8	ナデ		京焼？瀬段？	2654
816	山茶碗	鉢	B 3	SD133	1.8	8.1	22.2	4.8	ナデ	圧痕アリ	京焼	2655
817	山茶碗	鉢	B 3	SD133	1.7	7.8	21.8	4.6	ナデ		京焼	2656
818	山茶碗	鉢	B 3	SD133	1.7	8.0	21.3	4.4	ナデ	圧痕アリ	京焼	2657
819	山茶碗	鉢	B 3	SD133	1.8	8.1	22.2	4.2	ナデ	圧痕アリ	瀬戸？京焼？	2658
820	山茶碗	鉢	B 3	SD133	1.7	7.8	21.8	5.8	ナデ	圧痕アリ	京焼	2659
821	山茶碗	鉢	B 3	SD133	1.4	7.5	18.7	4.8	ナデ		京焼？	2660

図版番号	種類	器種	分類	遺構	器高(cm)	口径(cm)	径高指数	底径(cm)	内面	外面	備考	登録番号
822	山茶椀	皿	B 3	SD133	1.6	8.0	20.0	5.2	ナデ		索溝	E－2661
823	山茶椀	皿	B 3	SD133	1.6	7.8	20.5	5.6	ナデ		索溝	2662
824	山茶椀	皿	B 3	SD133	1.6	7.7	20.8	4.4	ナデ	圧痕アリ	焼投？索溝？	2663
825	山茶椀	皿	B 3	SD133	1.4	7.9	17.7	5.8	ナデ	圧痕アリ	索溝	2664
826	山茶椀	皿	B 3	SD133	1.5	7.8	19.2	4.2	ナデ		索溝	2665
827	山茶椀	皿	B 3	SD133	1.6	8.0	20.0	4.4	ナデオサエ	圧痕アリ	索溝	2666
828	山茶椀	皿	B 3	SD133	1.3	7.5	17.3	5.1			焼投？索溝？	2667
829	山茶椀	皿	B 3	SD133	1.6	7.7	20.8	5.0	ナデ		索溝	2668
830	山茶椀	皿	B 3	SD133	1.8	7.9	22.8	4.6			索溝	2669
831	山茶椀	皿	B 3	SD133	1.5	8.0	18.8	4.6	ナデオサエ	圧痕アリ	索溝？	2670
832	山茶椀	皿	B 3	SD133	1.9	8.0	23.8	4.6	ナデ	圧痕アリ	焼投？	2671
833	山茶椀	皿	B 3	SD133	1.9	7.9	24.1	5.0	ナデ		焼投？	2672
834	山茶椀	皿	B 3	SD133	1.7	8.4	20.2	4.5		圧痕アリ	焼投？瀬戸？	2673
835	山茶椀	皿	B 3	SD133	1.9	8.1	23.5	5.5	ナデ	圧痕アリ	焼投？	2674
836	山茶椀	皿	B 3	SD133	1.9	7.9	24.1	4.4	ナデ	圧痕アリ	焼投	2675
837	山茶椀	皿	B 3	SD133	1.8	7.3	24.7	5.7	ナデ		焼投？	2676
838	山茶椀	皿	B 3	SD133	1.8	7.6	23.7	4.6	ナデ	圧痕アリ	焼投？	2677
839	山茶椀	皿	B 3	SD133	1.8	7.8	23.1	5.2	ナデ	圧痕アリ	焼投？	2678
840	山茶椀	皿	B 3	SD133	1.7	7.6	22.4	4.6	ナデ		焼投？	2679
841	山茶椀	皿	B 3	SD133	1.6	7.4	21.6	5.0	ナデ	圧痕アリ	焼投？瀬戸？	2680
842	山茶椀	皿	B 3	SD133	1.8	7.3	24.7	4.8	ナデ		焼投？	2681
843	山茶椀	皿	B 3	SD133	1.8	7.8	23.1	4.2			焼投	2682
844	山茶椀	皿	B 3	SD133	1.7	8.2	20.7	4.2	ナデ	圧痕アリ	焼投	2683
845	山茶椀	皿	B 3	SD133	1.4	8.1	17.3	5.0	ナデ		焼投？	2684
846	山茶椀	皿	B 3	SD133	1.4	7.4	18.9	3.9	ナデ	圧痕アリ	？	2685
847	山茶椀	皿	B 3	SD133	1.7	7.7	22.1	5.4	ナデ		焼投？瀬戸？	2686
848	山茶椀	皿	B 3	SD133	2.0	8.2	24.4	5.6			焼投？瀬戸？	2687
849	山茶椀	皿	B 3	SD133	1.8	8.4	21.4	5.4	ナデ	圧痕アリ	焼投？瀬戸？	2688
850	山茶椀	皿	B 3	SD133	1.9	7.8	24.4	5.4			焼投？瀬戸？	2689
851	山茶椀	皿	B 3	SD133	1.8	8.2	22.0	5.0		圧痕アリ	瀬戸？焼投？	2690
852	山茶椀	皿	B 3	SD133	1.7	7.3	23.3	4.2	ナデ	圧痕アリ	焼投？瀬戸？	2691
853	山茶椀	皿	B 3	SD133	1.9	8.0	23.8	4.2			瀬戸？焼投？	2692
854	山茶椀	皿	B 3	SD133	1.6	8.4	19.0	5.0		圧痕アリ	瀬戸？焼投？	2693
855	山茶椀	皿	B 3	SD133	1.7	7.7	22.1	4.6	ナデ		？	2694
856	山茶椀	皿	B 3	SD133	1.5	7.4	20.3	4.1	ナデオサエ		瀬戸？焼投？	2695
857	山茶椀	皿	B 3	SD133	2.0	8.3	24.1	5.4	ナデ	圧痕アリ	瀬戸？焼投？	2696
858	山茶椀	皿	B 3	SD133	1.9	8.1	23.5	5.0	ナデ	圧痕アリ	瀬戸？焼投？	2697
859	山茶椀	皿	B 3	SD133	1.8	7.9	22.8	5.0	ナデ	圧痕アリ	焼投？瀬戸？	2698
860	山茶椀	皿	B 3	SD133	2.2	7.8	28.2	4.0	ナデ		焼投？瀬戸？	2699
861	山茶椀	皿	B 3	SD133	1.4	7.9	17.7	5.2	ナデ		瀬戸？焼投？	2700
862	山茶椀	皿	B 3	SD133	1.8	7.2	25.0	4.2	ナデ		瀬戸？焼投？	2701
863	山茶椀	皿	B 3	SD133	1.9	7.9	24.1	4.8	ナデ		瀬戸？焼投？	2702
864	山茶椀	皿	B 3	SD133	1.7	7.6	22.4	4.6		圧痕アリ	瀬戸？焼投？	2703
865	山茶椀	皿	B 3	SD133	1.5	7.8	19.2	4.2	ナデ		瀬戸？焼投？	2704
866	山茶椀	皿	B 3	SD133	2.0	8.3	24.1	5.2	ナデオサエ	圧痕アリ	？	2705
867	山茶椀	皿	B 3	SD133	1.7	8.3	20.5	4.9	ナデ	圧痕アリ	索溝？焼投？	2706
868	山茶椀	皿	B 3	SD133	1.9	8.1	23.5	5.5	ナデ		瀬戸	2707
869	山茶椀	皿	B 3	SD133	1.9	8.3	22.9	5.0			瀬戸	2708
870	山茶椀	皿	B 3	SD133	1.7	7.3	23.6	4.8	ナデ	圧痕アリ	瀬戸	2709
871	山茶椀	皿	B 3	SD133	1.8	8.0	22.5	4.6	ナデ	圧痕アリ	瀬戸	2710
872	山茶椀	皿	B 3	SD133	1.8	7.8	23.1	4.6		圧痕アリ	瀬戸	2711
873	山茶椀	皿	B 3	SD133	1.9	7.4	25.7	4.6	ナデ	圧痕アリ	瀬戸	2712
874	山茶椀	皿	B 3	SD133	1.9	8.3	22.9	5.4	ナデ	圧痕アリ	瀬戸	2713
875	山茶椀	皿	B 3	SD133	1.3	7.2	18.1	4.1	ナデ	圧痕アリ	瀬戸	2714
876	山茶椀	皿	B 3	SD133	1.7	8.3	20.5	5.8	ナデオサエ		瀬戸	2715
877	山茶椀	皿	B 3	SD133	1.8	8.2	20.7	5.4	ナデ		瀬戸	2716
878	山茶椀	皿	B 3	SD133	1.6	7.9	20.3	5.5	ナデ	圧痕アリ	瀬戸	2717
879	山茶椀	皿	B 3	SD133	1.9	8.0	23.8	5.6	ナデ	圧痕アリ	瀬戸？	2718
880	山茶椀	皿	B 3	SD133	1.8	7.8	23.1	5.2	ナデ	圧痕アリ	瀬戸	2719
881	山茶椀	皿	B 3	SD133	1.8	8.3	21.7	5.4	ナデ		瀬戸	2720
882	山茶椀	皿	B 3	SD133	2.0	7.7	26.0	4.3	ナデ	圧痕アリ	瀬戸？	2721
883	山茶椀	皿	B 3	SD133	1.5	8.2	18.3				瀬戸	2722
884	山茶椀	皿	B 3	SD133	1.8	8.2	22.0	4.8	ナデ	圧痕アリ	瀬戸	2723
885	山茶椀	皿	B 3	SD133	1.7	7.9	21.5	5.3	ナデ		瀬戸	2724
886	山茶椀	皿	B 3	SD133	1.8	7.8	23.1	4.6		圧痕アリ	瀬戸	2725
887	山茶椀	皿	B 3	SD133	1.2	7.6	15.8	4.7			瀬戸	2726
888	山茶椀	皿	B 3	SD133	1.5	7.4	20.3	4.4	ナデ		瀬戸	2727
889	山茶椀	皿	B 3	SD133	1.6	8.5	18.8	6.1	ナデ		瀬戸	2728
890	山茶椀	皿	B 3	SD133	1.4	8.1	17.3	5.0	ナデ	圧痕アリ	瀬戸	2729
891	山茶椀	皿	D 3	SD133	1.8	8.4	21.4	5.0	ナデ	圧痕アリ	失敗	2730

図版番号	種　類	器　種	分類	遺　構	器高(cm)	口径(cm)	径高指数	底径(cm)	内　面	外　面	備　考	登録番号
892	山茶碗	底	D 3	SD133	1.8	8.1	22.2	5.0	ナデオサエ		美濃	E－2731
893	山茶碗	底	D 3	SD133	1.8	8.0	22.5	4.5	ナデ	圧痕アリ	美濃	2732
894	山茶碗	底	D 3	SD133	1.4	8.2	17.1	4.9	ナデ		美濃	2733
895	山茶碗	底	D 3	SD133	1.3	8.2	15.9	5.6	ナデ	圧痕アリ	美濃	2734
896	山茶碗	底	D 3	SD133	1.3	8.2	15.9	4.6	ナデ	圧痕アリ	美濃	2735
68－897	土師器	底	C 2	SD133	1.5	8.3	18.1					2736
898	土師器	底	D	SD133	1.4	8.7	16.1					2737
899	土師器	底	C 2	SD133	1.8	8.6	20.9					2738
900	土師器	底	C 2	SD133	1.6	8.2	19.5					2739
901	土師器	底	C 2	SD133	1.7	8.2	20.7					2740
902	土師器	底	D	SD133	1.4	8.3	16.9					2741
903	土師器	底	D	SD133	1.5	8.5	17.6					2742
904	土師器	底	D	SD133	1.4	8.3	16.9					2743
905	土師器	底	C 2	SD133	1.7	8.5	20.0					2744
906	土師器	底	C 2	SD133	1.7	8.2	20.7					2745
907	土師器	底	C 3	SD133	1.6	8.2	19.5					2746
908	土師器	底	C 3	SD133	2.0	8.1	24.7					2747
909	土師器	底	C 3	SD133	1.7	8.3	20.5					2748
910	土師器	底	C 2	SD133	1.5	8.7	17.2					2749
911	土師器	底	C 2	SD133	1.5	8.6	17.4					2750
912	土師器	底	C 2	SD133	1.6	8.4	19.0					2751
913	土師器	底	C 3	SD133	1.7	8.3	20.5					2752
914	土師器	底	C 3	SD133	1.7	8.3	20.5					2753
915	土師器	底	C 2	SD133	1.5	8.7	17.2					2754
916	土師器	底	C 3	SD133	1.8	8.1	22.2					2755
917	土師器	底	C 2	SD133	1.5	8.2	18.3					2756
918	土師器	底	C 2	SD133	1.5	8.3	18.1					2757
919	土師器	底	C 2	SD133	1.6	8.8	18.2					2758
920	土師器	底	C 2	SD133	1.5	8.4	17.9					2759
921	土師器	底	C 2	SD133	1.6	8.3	19.3					2760
922	土師器	底	D	SD133	1.4	8.0	17.5					2761
923	土師器	底	C 3	SD133	1.6	8.8	18.2					2762
924	土師器	底	C 3	SD133	1.8	8.5	21.2					2763
925	土師器	底	C 2	SD133	1.6	9.0	17.8					2764
926	土師器	底	D	SD133	1.3	8.3	15.7					2765
927	土師器	底	C 2	SD133	1.6	8.7	18.4					2766
928	土師器	底	C 2	SD133	1.5	9.2	16.3					2767
929	土師器	底	C 2	SD133	1.4	8.1	17.3					2768
930	土師器	底	C 3	SD133	1.7	8.2	20.7					2769
931	土師器	底	C 3	SD133	1.5	7.8	19.2					2770
932	土師器	底	C 2	SD133	1.3	8.2	15.9					2771
933	土師器	底	D	SD133	1.3	8.9	14.6					2772
934	土師器	底	D	SD133	1.3	8.6	15.1					2773
935	土師器	底	D	SD133	1.0	8.0	12.5					2774
936	土師器	底	C 3	SD133	1.6	8.4	19.0					2775
937	土師器	底	C 3	SD133	1.6	8.7	18.4					2776
938	土師器	底	C 2	SD133	1.5	8.6	17.4					2777
939	土師器	底	C 2	SD133	1.7	8.1	21.0					2778
940	土師器	底	C 2	SD133	1.6	9.0	17.8					2779
941	土師器	底	D	SD133	1.5	8.6	17.4					2780
942	土師器	底	C 3	SD133	1.7	8.3	20.5					2781
943	土師器	底	C 3	SD133	1.5	8.5	17.6					2782
944	土師器	底	D	SD133	1.3	8.3	15.7					2783
945	土師器	底	C 2	SD133	1.4	8.7	16.1					2784
946	土師器	底	D	SD133	1.4	7.9	17.7				白色	2785
947	土師器	底	F	SD133	1.5	6.6	22.7	6.4				2786
948	土師器	底	F	SD133	1.4	6.8	20.6	7.6				2787
949	土師器	底	F	SD133	0.9	5.8	15.5				白色	2788
950	土師器	底	F	SD133	1.0	5.8	17.2	6.2			白色	2789
951	土師器	底	F	SD133	1.0	6.5	15.4	7.2			白色	2790
952	土師器	底	E 1	SD133	2.5	11.9	21.0					2791
953	土師器	底	E 1	SD133	2.4	12.5	19.2					2792
954	土師器	底	E 1	SD133	2.5	11.6	21.6					2793
955	土師器	底	E 1	SD133	2.7	12.2	22.1					2794
956	土師器	底	C 2	SD133	2.8	12.8	21.9					2795
957	土師器	底	E 1	SD133	2.6	12.3	21.1					2796
958	土師器	底	E 1	SD133	2.7	12.8	21.1					2797
959	土師器	底	E 1	SD133	2.3	13.2	17.4					2798
960	土師器	底	E 1	SD133	2.7	13.1	20.6					2799
961	土師器	底	C 2	SD133	2.9	13.2	22.0					2800

図版番号	種　類	器　種	分類	遺　構	器高(cm)	口径(cm)	径高指数	底径(cm)	内　面	外　面	備　考	登録番号
962	土師器	皿	C 2	SD133	2.8	13.1	21.4					E－2801
963	土師器	皿	C 2	SD133	2.5	13.1	19.1				白色	2802
964	土師器	皿	C 3	SD133	2.7	12.0	22.5				白色	2803
965	土師器	皿	E 1	SD133	3.2	15.0	21.3	8.0			白色	2804
966	土師器	皿	B	SD133	3.7	13.6	27.2	7.6			ロクロ	2805
967	土師器	皿	A 3	SD133	－	－	－	3.7			穿孔アリ	2806
69－968	白磁	椀		SD133	－	15.4		－			口縁	2807
969	白磁	椀		SD133	－	17.6		－			玉縁口縁	2808
970	白磁	椀		SD133	－	10.2		－				2809
971	白磁	椀		SD133	－	－		6.2				2810
972	白磁	皿		SD133	－	－		6.6				2811
973	白磁	四耳壺		SD133	－	－		－				2812
974	青白磁	蓋		SD133	－	9.3						2813
975	青白磁	蓋		SD133	－	6.5						2814
976	青白磁	蓋		SD133	－	5.7						2815
977	青白磁	蓋		SD133	－	5.5						2816
978	青白磁	合子		SD133	－	5.0		－				2817
979	青磁	椀		SD133	－	15.8		－				2818
980	青磁	椀		SD133	－	15.4		－				2819
981	青磁	椀		SD133	－	14.6		－				2820
982	青磁	椀		SD133	－	15.8		－		蓮弁文		2821
983	青磁	椀		SD133	－	16.4		－	毛彫り			2822
984	青磁	椀		SD133	－	16.0		－		蓮弁文		2823
985	青磁	椀		SD133	－	12.8		－				2824
986	青磁	椀		SD133	－	13.2		－		梅花		2825
987	青磁	椀		SD133	－	－		5.7				2826
988	青磁	椀		SD133	－	－		－				2827
989	青磁	椀		SD133	－	－		4.4				2828
990	青磁	椀		SD133	－	－		5.2				2829
991	青磁	椀		SD133	－	－		3.4				2830
992	青磁	皿		SD133	－	13.2		－				2831
993	青磁	皿		SD133	－	10.5		－				2832
994	青磁	皿		SD133	－	9.8		－				2833
995	青磁	皿		SD133	－	－		5.0	櫛描き文			2834
996	山茶椀	鉢		SD133	9.4	22.2	42.3	10.5		圧痕アリ	接投？常滑？	2835
997	山茶椀	鉢		SD133	14.6	31.3	47.3	13.8			接投？常滑？	2836
998	山茶椀	鉢		SD133	15.7	31.0	44.2	12.2		圧痕アリ	常滑	2837
70－999	山茶椀	鉢		SD133	13.3	31.0	42.9	13.2		圧痕アリ	瀬戸	2838
1000	山茶椀	鉢		SD133	－	19.3	－	－			？	2839
1001	山茶椀	鉢		SD133	－	28.4	－	－			？	2840
1002	山茶椀	鉢		SD133	－	30.0	－	－			常滑	2841
1003	山茶椀	鉢		SD133	－	28.6	－	－			？	2842
1004	山茶椀	鉢		SD133	－	29.6	－	－			？	2843
1005	山茶椀	鉢		SD133	－	34.6	－	－			常滑	2844
1006	山茶椀	鉢		SD133	－	－	－	12.6			？	2845
1007	施釉陶器	壺		SD133	－	－		15.4		灰釉		2846
1008	施釉陶器	壺		SD133	－	－		－		灰釉		2847
1009	施釉陶器	四耳壺		SD133	－	－		－		灰釉		2848
1010	瓦器	釜		SD133	－	13.8		－				2849
1011	焼き締め	釜		SD133	－	26.0		－			？	2850
1012	焼き締め	釜		SD133	－	－		－			常滑	2851
71－1013	焼き締め	甕		SD133	－	33.0		－			常滑	2852
1014	焼き締め	甕		SD133	－	19.5		－			常滑	2853
1015	焼き締め	甕		SD133	－	－		12.0			常滑	2854
1016	焼き締め	壺		SD133	－	－		4.2		圧痕アリ	常滑	2855
1017	施釉陶器	壺		SD133	－	－		6.2				2856
1018	焼き締め	甕		SD133	－	－		10.0			常滑	2857
1019	灰釉陶器	壺		SD133	－	5.0		－			接投	2858
1020	焼き締め	三筋壺		SD133	－	－		7.2			常滑	2859
1021	焼き締め	壺		SD133	－	－		7.8		圧痕アリ	接投？常滑？	2860
1022	焼き締め	壺		SD133	－	－					？	2861
1023	土師器	鍋	A	SD133	－	29.6						2862
1024	土師器	鍋	A	SD133	－	24.0						2863
1025	土師器	鍋	A	SD133	－	26.8						2864
1026	土師器	土鍋		SD133								2865
1027	土師器	土鍋		SD133								2866
1028	土師器	土鍋		SD133								2867
1029	土師器	土鍋		SD133								2868
1030	山茶椀	陶丸		SD133	2.4						？	2869
1031	山茶椀	陶丸		SD133	2.3						？	2870

図版番号	種類	器種	分類	遺構	器高(cm)	口径(cm)	復高指数	底径(cm)	内面	外面	備考	登録番号
72－1032	山茶椀	椀	A 2	SK316	5.0	14.3	35.0	6.0	ナデ		瀬戸	E－2871
1033	土師器	皿	F	SK316	1.1	7.0	15.7	7.2			白色	2872
1034	土師器	皿	D	SK316	1.3	8.4	15.5					2873
1035	土師器	皿	F	SK316	1.4	6.9	20.3				白色	2874
1036	土師器	皿	D	SK316	1.5	8.7	17.2					2875
1037	土師器	皿	D	SK316	1.5	8.5	17.6					2876
1038	土師器	皿	D	SK316	1.3	8.1	16.0					2877
1039	土師器	皿	D	SK316	1.5	8.6	17.4					2878
1040	土師器	皿	D	SK316	1.3	8.2	15.9					2879
1041	土師器	皿	E 1	SK316	2.6	12.2	21.3	9.0				2880
1042	土師器	皿	C 2	SK316	1.6	8.4	19.0					2881
1043	土師器	皿	E 1	SK316	1.9	7.6	25.0				白色	2882
1044	土師器	皿	E 1	SK316	1.9	7.7	24.7					2883
1045	土師器	皿	C 2	SK316	1.5	8.4	17.9					2884
1046	山茶椀	椀	B 2	褐色土層	2.0	7.9	25.3	4.0	ナデ		京焼	2885
1047	山茶椀	皿	B 2	褐色土層	2.5	8.5	29.4	4.2	ナデ	圧痕アリ	京焼	2886
1048	山茶椀	皿	B 2	褐色土層	2.3	7.5	30.7	4.0	ナデ	圧痕アリ	京焼	2887
1049	山茶椀	椀	A 2	褐色土層	5.0	15.3	32.7	6.0	ナデ		京焼	2888
1050	山茶椀	椀	A 2	褐色土層	5.1	15.7	32.5	6.6	ナデ		京焼	2889
1051	焼き締め	三筋壺		褐色土層		8.4		－			?	2890
1052	焼き締め	三筋壺		褐色土層	－	－		－			?	2891
1053	山茶椀	椀	D 1	検出	6.2	15.7	39.5	6.9			美濃	2892
1054	山茶椀	椀	A 2	検出	5.3	14.6	36.3	6.0			京焼	2893
1055	山茶椀	椀		検出	－	14.9	－	－			?	2894
1056	山茶椀	椀		(SD71)	－	－	－	6.8			瀬戸	2895
1057	白磁	皿		検出	－	－		3.2		底部露胎		2896
1058	山茶椀	皿		検出	－	9.4	－				美濃	2897
1059	山茶椀	小椀		検出	3.2	10.3	31.1	6.2			?	2898
1060	施釉陶器	壺		検出	－	－		17.8		灰釉		2899
1061	山茶椀	鉢		(SD71)	10.9	27.0	40.4	11.4			京焼	2900
1062	白磁	四耳壺		(SK111)	－	－		－				2901
1063	施釉陶器	四耳壺		(SD71)	－	－		－		灰釉		2902
1064	施釉陶器	四耳壺		(SD71)	－	－		－		灰釉		2903
1065	焼き締め	甕		検出	－	33.0		－			京焼	2904
73－1066	灰釉陶器	椀		SD65			－	6.7			猿投	2905
1067	山茶椀	椀	A 1	SD65	5.0	15.1	33.1	7.5			猿投？	2906
1068	山茶椀	椀	C 1	SD65	5.5	15.0	36.7	5.8			美濃	2907
1069	山茶椀	椀	A 1	SD65	5.5	14.0	39.3	6.8	ナデオサエ	圧痕アリ	瀬戸？	2908
1070	山茶椀	椀	A 1	SD65	4.5	12.7	35.4	6.0			猿投？京焼？	2909
1071	山茶椀	椀	D 2	SD65	5.2	12.6	41.3	3.4	ナデ		美濃	2910
1072	山茶椀	椀	B 3	SD65	4.4	12.6	34.9	5.2	ナデ	圧痕アリ	瀬戸	2911
1073	山茶椀	椀	B 3	SD65	4.9	13.4	36.6	5.8	ナデ	圧痕アリ	瀬戸	2912
1074	山茶椀	椀	C 1	SD65	4.6	13.2	34.8	4.3	ナデ		美濃？瀬戸？	2913
1075	山茶椀	椀	C 1	SD65	4.3	12.9	33.3	4.2			美濃	2914
1076	山茶椀	椀	C 1	SD65	4.7	12.9	36.4	4.4	ナデ	圧痕アリ	美濃	2915
1077	山茶椀	椀	C 2	SD65	4.9	13.2	37.1	4.5			美濃	2916
1078	山茶椀	椀	C 2	SD65	5.0	13.1	38.2	4.0	ナデ		美濃	2917
1079	灰釉陶器	皿		SD65	2.7	13.6	19.9	6.3			猿投	2918
1080	山茶椀	皿	A	SD65	3.0	9.3	32.3	5.3			?	2919
1081	山茶椀	皿	B 2	SD65	2.7	8.3	32.5	4.4			京焼	2920
1082	山茶椀	皿	B 2	SD65	2.2	7.9	27.8	4.4	ナデ	圧痕アリ	猿投？京焼？	2921
1083	山茶椀	皿	B 3	SD65	2.0	7.9	25.3	5.0	ナデ		猿投？	2922
1084	山茶椀	皿	B 3	SD65	1.9	7.5	25.3	4.2			渥美	2923
1085	山茶椀	皿	B 2	SD65	2.3	8.2	25.6	4.0	ナデ	圧痕アリ	瀬戸？	2924
1086	山茶椀	皿	B 3	SD65	2.0	8.9	22.5	5.2	ナデ	圧痕アリ	猿投	2925
1087	山茶椀	皿	B 2	SD65	2.1	8.0	26.3	4.4	ナデ	圧痕アリ	瀬戸	2926
1088	山茶椀	皿	B 3	SD65	1.5	7.5	20.0	5.2	ナデ	圧痕アリ	猿投？	2927
1089	山茶椀	皿	B 3	SD65	1.5	7.5	20.0	4.3	ナデ	圧痕アリ	猿投？瀬戸？	2928
1090	山茶椀	皿	D 2	SD65	1.5	8.1	18.5	4.5	ナデ	圧痕アリ	美濃	2929
1091	山茶椀	皿	D 2	SD65	1.7	8.4	20.2	5.0	ナデ	圧痕アリ	美濃	2930
1092	山茶椀	皿	D 3	SD65	1.3	8.2	15.9	5.4	ナデ	圧痕アリ	美濃	2931
1093	山茶椀	皿	D 3	SD65	1.4	7.9	17.7	4.6	ナデ	圧痕アリ	美濃	2932
1094	山茶椀	皿	D 3	SD65	1.1	8.0	13.8	4.6	ナデ	圧痕アリ	美濃	2933
1095	山茶椀	皿	D 3	SD65	1.1	8.0	13.8	4.5	ナデ	圧痕アリ	美濃	2934
1096	山茶椀	皿	D 3	SD65	1.1	7.8	14.1	4.6	ナデ	圧痕アリ	美濃	2935
1097	山茶椀	皿	D 3	SD65	1.2	7.9	15.2	4.6	ナデ		美濃	2936
1098	山茶椀	皿	D 3	SD65	1.1	7.5	14.7	4.6	ナデ	圧痕アリ	美濃	2937
1099	山茶椀	皿	D 3	SD65	1.1	8.2	13.4	4.8	ナデ	圧痕アリ	美濃	2938
1100	山茶椀	皿	D 3	SD65	1.0	7.5	13.3	4.7	ナデ	圧痕アリ	美濃	2939
1101	山茶椀	皿	D 3	SD65	1.2	8.2	14.6	5.0	ナデ	圧痕アリ	美濃	2940

図版番号	種　類	器　種	分類	遺　構	器高(cm)	口径(cm)	底高指数	底径(cm)	内　面	外　面	備　考	登録番号
1102	山茶椀	皿	D 3	SD65	1.1	8.5	12.9	4.8	ナデ	圧痕アリ	美濃	E－2941
1103	山茶椀	皿	D 3	SD65	1.1	8.1	13.6	4.5	ナデ		美濃	2942
1104	山茶椀	皿	D 3	SD65	1.0	7.8	12.8	4.9	ナデ	圧痕アリ	美濃	2943
1105	山茶椀	皿	D 3	SD65	0.9	8.1	11.1	5.0	ナデ	圧痕アリ	美濃	2944
1106	山茶椀	皿	D 3	SD65	1.0	8.1	12.3	4.4	ナデオサエ	圧痕アリ	美濃	2945
1107	山茶椀	皿	D 3	SD65	0.8	8.1	9.9	4.4	ナデ	圧痕アリ	美濃	2946
1108	山茶椀	皿		SD65	0.6	2.1	28.6	1.4			?、ミニアチュア	2947
1109	山茶椀	入子		SD65	2.2	7.0		4.2			?	2948
1110	土師器	皿	A 1	SD65	1.9	8.2	23.2	5.2			ロクロ	2949
1111	土師器	皿	E 2	SD65	1.9	6.7						2950
1112	土師器	皿	F	SD65	2.0	7.3	27.4					2951
1113	土師器	皿	F	SD65	1.8	7.2	25.0					2952
1114	土師器	皿	F	SD65	1.4	7.8	17.9					2953
1115	土師器	皿	F	SD65	1.8	7.8	23.1					2954
1116	土師器	皿	F	SD65	1.7	7.7	22.1					2955
1117	土師器	皿	F	SD65	1.7	7.3	23.3					2956
1118	土師器	皿	F	SD65	1.7	6.9	24.6					2957
1119	土師器	皿	C 2	SD65	1.9	7.7	24.7					2958
1120	土師器	皿	C 3	SD65	2.0	7.5	26.7					2959
1121	土師器	皿	C 2	SD65	1.9	7.9	24.1					2960
1122	土師器	皿	C 2	SD65	1.8	7.7	23.4					2961
1123	土師器	皿	C 2	SD65	1.8	8.0	22.5					2962
1124	土師器	皿	C 2	SD65	1.7	8.2	20.7					2963
1125	土師器	皿	C 2	SD65	1.7	8.2	20.7					2964
74－1126	土師器	皿	C 2	SD65	1.9	8.2	23.2					2965
1127	土師器	皿	C 2	SD65	1.5	8.1	18.5					2966
1128	土師器	皿	C 2	SD65	1.7	8.4	20.2					2967
1129	土師器	皿	C 2	SD65	1.7	8.4	20.2					2968
1130	土師器	皿	C 3	SD65	1.9	7.9	24.1					2969
1131	土師器	皿	C 2	SD65	1.6	7.9	20.3					2970
1132	土師器	皿	C 2	SD65	1.8	8.0	22.5					2971
1133	土師器	皿	C 2	SD65	1.9	8.5	22.4					2972
1134	土師器	皿	C 2	SD65	1.9	8.3	22.9					2973
1135	土師器	皿	C 2	SD65	1.7	8.0	21.3					2974
1136	土師器	皿	C 2	SD65	1.5	8.5	17.6					2975
1137	土師器	皿	C 2	SD65	1.9	8.5	22.4					2976
1138	土師器	皿	C 2	SD65	1.8	8.7	20.7					2977
1139	土師器	皿	C 2	SD65	1.5	8.8	17.0					2978
1140	土師器	皿	C 2	SD65	1.6	8.4	19.0					2979
1141	土師器	皿	C 2	SD65	2.0	11.2	17.9					2980
1142	土師器	皿	E 1	SD65	3.0	11.0	27.3					2981
1143	土師器	皿	C 2	SD65	2.9	12.2	23.8		ナデオサエ			2982
1144	青磁	椀		SD65	－	－		6.4				2983
1145	青磁	皿	－	SD65	－	21.3		－				2984
1146	施釉陶器	椀		SD65	5.6	10.3	54.4	4.1	灰釉	灰釉	天目型	2985
1147	施釉陶器	皿		SD65	3.6	15.7	22.9	7.4	おろし目			2986
1148	施釉陶器	大椀		SD65	－	25.5		－			瀬戸？	2987
1149	山茶碗	鉢		SD65	－	29.4	－	－			?	2988
1150	山茶碗	鉢		SD65	－	－	－	10.2			?	2989
1151	焼き締め	甕		SD65	－	21.7		－			瀬戸	2990
1152	土師器	鍋	B	SD65	－	25.0						2991
1153	土師器	鍋	B	SD65	－	21.0						2992
1154	土師器	釜		SD65	－	21.4						2993
1155	山茶碗	陶丸		SD65	2.2						?	2995
1156	山茶碗	陶丸		SD65	2.4						?	2996
1157	山茶碗	土錘		SD65							?	2994
1158	焼き締め	甕		SD65	－	43.7		－			瀬戸	2997
75－1159	山茶碗	椀	A 1	SK400下	5.1	15.0	34.0	5.8			瀬戸	2998
1160	山茶碗	椀	A 2	SK400下	5.3	13.9	38.1	5.1	ナデ	圧痕アリ	瀬戸	2999
1161	山茶碗	皿	B 3	SK400下	4.8	13.2	36.4	5.9	ナデ	圧痕アリ	瀬戸	3000
1162	山茶碗	椀	B 3	SK400下	5.4	13.5	40.0	5.8	ナデ	圧痕アリ	瀬戸	3001
1163	山茶碗	皿	B 3	SK400下	1.7	7.5	22.7	4.0	ナデ		瀬戸？瀬戸？	3002
1164	山茶碗	皿	B 3	SK400下	1.6	8.0	20.0	5.0	ナデオサエ		瀬戸	3003
1165	山茶碗	皿	B 3	SK400下	1.6	7.6	21.1	4.6	ナデ	圧痕アリ	美濃？	3004
1166	山茶碗	皿	B 3	SK400下	1.7	7.8	21.8	4.9	ナデ		瀬戸？？	3005
1167	土師器	皿	D	SK400下	1.4	8.2	17.1					3006
1168	土師器	皿	D	SK400下	1.6	8.0	20.0					3007
1169	土師器	皿	E 1	SK400下	3.1	11.8	26.3					3008
1170	土師器	皿	E 1	SK400下	2.4	12.6	19.0					3009
1171	土師器	皿	E 1	SK400下	3.1	14.2	21.8					3010

図版番号	種 類	器 種	分類	遺 構	器高(cm)	口径(cm)	径高指数	底径(cm)	内 面	外 面	備 考	登録番号
1172	山茶椀	椀	A 2	SK388	4.9	13.7	35.8	4.8	ナデオサエ		瀬戸	E－3011
1173	山茶椀	椀	A 2	SK388	5.3	14.3	37.1	5.2	ナデ		瀬戸	3012
1174	山茶椀	椀	A 2	SK388	5.1	13.6	37.5	5.2	ナデ		瀬戸	3013
1175	緑釉陶器	椀		SK388	－	－	－	6.4				3014
1176	山茶椀	皿	B 3	SK388	1.8	8.0	22.5	4.3			?	3015
1177	山茶椀	皿	B 3	SK388	1.9	8.4	22.6	5.4	ナデ		?	3016
1178	土師器	皿	F	SK388	1.0	3.8	26.3					3017
1179	土師器	皿	C 2	SK388	1.6	7.7	20.8					3018
1180	土師器	皿	D	SK388	1.5	8.4	17.9					3019
1181	土師器	皿	C 3	SK388	1.4	8.7	16.1					3020
1182	土師器	皿	C 3	SK388	1.4	8.9	15.7					3021
1183	土師器	皿	C 2	SK388	2.2	14.5	15.2					3022
1184	土師器	皿	C 3	SK388	1.9	8.1	23.5				白色	3023
1185	土師器	皿	E 1	SK388	2.2	11.7	18.8	7.2			白色	3024
1186	土師器	鍋	A	SK388	－	18.2						3025
1187	土師器	釜		SK388	4.1	4.0					ミニアチュア	3026
1188	山茶椀	椀	D 1	SK455	5.8	13.6	42.6	5.2	ナデ		?	3027
1189	土師器	皿	F	SK455	1.5	7.8	19.2	6.8				3028
1190	土師器	皿	F	SK455	1.3	8.2	15.9	8.0				3029
1191	土師器	皿	C 3	SK455	1.2	8.3	14.5	6.8				3030
1192	土師器	皿	C 2	SK455	1.5	7.7	19.5	3.8				3031
1193	土師器	皿	D	SK455	1.2	8.5	14.1	5.0				3032
1194	土師器	皿	D	SK455	1.4	8.3	16.9	5.0				3033
1195	土師器	皿	E 1	SK455	2.4	11.6	20.7	7.0				3034
1196	土師器	皿	E 1	SK455	2.3	10.6	21.7	5.0				3035
1197	土師器	皿	E 1	SK455	2.3	11.6	19.8	7.0				3036
1198	土師器	皿	E 1	SK455	2.8	11.7	23.9	7.4				3037
1199	土師器	皿	E 1	SK455	－	10.6	－	－				3038
1200	山茶椀	陶丸		SK455	1.9						?	3039
1201	山茶椀	鉢		SK455	－	－	－	13.6			?	3040
1202	山茶椀	椀	D 1	SE91	5.9	14.2	41.5	5.2	ナデオサエ		美濃	3041
1203	山茶椀	椀	C 2	SE91	4.2	11.8	35.6	3.8	ナデオサエ		美濃	3042
1204	山茶椀	椀	C 2	SE91	4.2	12.7	33.1	4.0	ナデ	圧痕アリ	?、墨書[上]	3043
1205	山茶椀	皿	B 3	SE91	1.5	7.8	19.2	4.0			?	3044
1206	山茶椀	皿	D 3	SE91	1.1	8.4	13.1	5.0	ナデ	圧痕アリ	?	3045
1207	土師器	皿	C 3	SE91	1.5	9.1	16.5	5.0				3046
1208	土師器	皿	C 2	SE91	2.3	11.1	20.7	7.4				3047
76－1209	瓦釉陶器	椀		SK360	－	14.4	－	－			?	3048
1210	山茶椀	椀	B 1	SK360	5.8	14.6	39.7	6.8	ナデ		常滑?	3049
1211	山茶椀	椀	B 1	SK360	5.6	13.7	40.9	5.6			常滑	3050
1212	山茶椀	椀	A 1	SK360	4.7	13.9	33.8	6.4			常滑	3051
1213	山茶椀	椀	A 2	SK360	4.8	15.5	31.0	7.4			瀬戸?接投?	3052
1214	山茶椀	椀	B 2	SK360	5.3	13.6	39.0	5.6	ナデ	圧痕アリ	接投	3053
1215	山茶椀	椀	B 3	SK360	5.0	13.2	37.9	5.6	ナデ		瀬戸?接投?	3054
1216	灰釉陶器	椀		SK360	－	－	－	6.4			?	3055
1217	灰釉陶器	椀		SK360	－	－	－	6.4			?	3056
1218	山茶椀	皿	B 2	SK360	2.2	7.7	28.6	4.0	ナデ		常滑	3057
1219	山茶椀	皿	B 2	SK360	－	－	－	4.6			常滑	3058
1220	山茶椀	皿	B 2	SK360	2.3	8.3	27.7	4.7			常滑	3059
1221	山茶椀	皿	B 3	SK360	1.8	8.1	22.2	5.2			常滑?	3060
1222	山茶椀	皿	B 2	SK360	2.4	7.5	32.0	4.2			常滑	3061
1223	山茶椀	皿	B 2	SK360	2.1	8.2	25.6	4.2	ナデ		常滑	3062
1224	山茶椀	皿	B 3	SK360	1.8	8.2	22.2	5.8			常滑?	3063
1225	山茶椀	皿	B 3	SK360	1.8	7.6	23.7	5.0	ナデ		瀬戸	3064
1226	山茶椀	皿	B 3	SK360	1.6	7.9	20.3	5.2	ナデ		瀬戸	3065
1227	土師器	皿	D	SK360	1.5	7.7	19.5					3066
1228	土師器	皿	D	SK360	1.3	7.2	18.1					3067
1229	土師器	皿	D	SK360	1.0	7.8	12.8					3068
1230	土師器	皿	D	SK360	1.4	8.5	16.5					3069
1231	土師器	皿	D	SK360	1.0	8.0	12.5					3070
1232	土師器	皿	E 1	SK360	－	11.6	－					3071
1233	土師器	皿	C 1	SK360	1.9	10.7	17.8					3072
1234	土師器	皿	D	SK360	1.2	9.1	13.2					3073
1235	土師器	皿	C 2	SK360	2.1	12.4	16.9					3074
1236	土師器	皿	E 1	SK360	2.9	12.6	23.0					3075
1237	土師器	皿	C 3	SK360	2.8	13.4	20.9		オサエ		白色	3076
1238	青磁	椀		SK360	－	12.8		－		輪花		3077
1239	白磁	皿		SK335	－	－		5.2		底部露胎		3078
1240	焼き締め	壺		SK335	－	46.3		－			常滑	3079
1241	山茶椀	陶丸		SK335	4.2						?	3080

図版番号	種　類	器　種	分類	遺　構	器高(cm)	口径(cm)	径高指数	底径(cm)	内　面	外　面	備　考	登録番号
1242	山茶椀	椀		SK335	－	－	－	6.2			瀬戸	E－3081
1243	土師器	皿	F	SK335	1.2	6.2	19.4					3082
1244	土師器	皿	D	SK335	1.3	8.3	15.7					3083
1245	土師器	皿	C 2	SK335	1.6	8.3	19.3					3084
1246	土師器	皿	D	SK335	1.4	8.0	17.5					3085
1247	土師器	皿	C 2	SK335	1.6	8.5	18.8					3086
1248	土師器	皿	E 1	SK335	2.3	12.1	19.0					3087
1249	青白磁	壺		SK335	－	－		－				3088
1250	山茶椀	鉢		SE42	13.7	27.0	50.7	10.2				3089
1251	山茶椀	椀	D 2	検出	5.0	13.0	38.5	4.0	オサエ	圧痕アリ	？,墨書[L]	3090
1252	青磁	椀		検出	－	16.9		－				3091

図版番号	遺構	器種	法量(cm) 器高	口径	胴径	底径	釉薬・調整等 内面	外面	備考	登録番号
77－1	SD164	灰釉陶器椀	－	－		(6.0)				E－1702
2	SD164	灰釉陶器椀	－	－		7.3			10C末	1700
3	SD164	山茶椀	－	－		8.0			10C末	1704
4	SD164	山茶椀	－	－		(6.2)				1709
5	SD164	山茶椀	－	－		(5.2)				1701
6	SD164	山茶椀	－	－		(8.0)			11C末	1710
7	SD164	山茶椀	－	(14.6)		－				1703
8	SD164	山茶椀	5.4	(14.8)		(6.4)			12C後半	1705
9	SD164	山茶椀	5.7	15.4		7.0			12C前半	1706
10	SD164	山茶椀	5.5	(13.6)		(5.8)			13C前半	1707
11	SD164	山茶椀	5.0	(14.8)		(6.6)			13C初	1708
12	SD164	山茶椀	5.4	(13.6)		(5.4)			13C後半	1711
13	SD164	三筋壺	－	－	19.8	7.6			常滑窯　12C後半	1715
14	SD164	三筋壺	－	－	－	－			常滑窯　12C後半	1714
15	SD164	三筋壺	－	－	(19.6)	(8.4)			常滑窯　12C後半	1716
78－16	SD164	三筋壺	－	10.0	－	－			常滑窯　13C前半	1712
17	SD164	壺	－	(8.2)	－	－		灰釉	西耳壺か三耳壺　15C初	1745
18	SD164	灰釉皿	3.6	(12.6)		(5.6)	灰釉	灰釉	13C前半	1733
19	SD164	おろし皿	3.7	(14.2)		(8.0)		灰釉	13C後半	1740
20	SD164	折縁深皿	4.7	(15.6)		(9.6)	灰釉	灰釉	13C後半	1734
21	SD164	壺	－	－	11.6	－			常滑窯　13C代	1713
22	SD164	梅瓶	－	－	－	(7.8)		灰釉	14C代	1743
23	SD164	おろし皿	3.8	(13.6)		(5.0)	灰釉	灰釉	14C前半	1739
24	SD164	平椀	8.1	(15.6)		(5.4)	灰釉	灰釉	14C中頃	1723
25	SD164	小型仏花瓶	－	－	－	－		灰釉	14C中頃	1751
26	SD164	合子	－	(3.2)	6.4	－		灰釉	14C中頃　印花有	1750
27	SD164	平椀	－	(15.0)		－	灰釉	灰釉	15C前半	1721
28	SD164	灰釉天目茶椀	－	－		4.4	灰釉	灰釉	15C前半	1726
29	SD164	平椀	－	(16.2)		－	灰釉	灰釉	15C後半	1722
30	SD164	平椀	－	－		4.4	灰釉	灰釉	15C後半	1725
31	SD164	天目茶椀	－	(11.2)		－	鉄釉	鉄釉	15C後半	1717
32	SD164	天目茶椀	－	－		3.4	鉄釉	鉄釉	15C前	1719
33	SD164	天目茶椀	－	－		3.6	鉄釉	鉄釉	15C	1724
34	SD164	天目茶椀	－	－		4.0	鉄釉	鉄釉	大窯Ⅰa	1720
35	SD164	天目茶椀	－	－		4.0	鉄釉	鉄釉	15C	1718
79－36	SD164	燭台？	－	－	8.8	(5.6)	鉄釉	鉄釉	15C前半	1752
37	SD164	水滴？	－	－		(4.4)		灰釉	15C前半	1749
38	SD164	練釉小皿	－	(11.0)		－	灰釉	灰釉	15C前半	1730
39	SD164	練釉小皿	2.9	(11.0)		(4.4)	灰釉	灰釉	15C前半	1732
40	SD164	壺	－	－	－	－		灰釉	西耳壺か三耳壺　15C初	1746
41	SD164	根来型瓶子	－	－	－	－		灰釉	15C前半	1747
42	SD164	根来型瓶子	－	－	－	－		鉄釉	15C代	1744
43	SD164	陶丸			2.4				鎌倉期　13C～14C	1754
44	SD164	陶丸			2.5				鎌倉期　13C～14C	1755
45	SD164	陶丸			2.5				鎌倉期　13C～14C	1756
46	SD164	陶丸			2.0				鎌倉期　13C～14C	1757
47	SD164	陶丸			2.1				鎌倉期　13C～14C	1758
48	SD164	折縁深皿	5.0	(19.2)		(9.2)	灰釉	灰釉	15C前半	1735
49	SD164	折縁深皿	5.3	(24.4)		(12.0)	灰釉	灰釉	15C前半	1738
50	SD164	折縁深皿	－	(22.4)		－	灰釉	灰釉	15C前半	1736
51	SD164	折縁深皿	9.0	(27.2)		(14.8)	灰釉	灰釉	15C前半	1737
80－52	SD164	直縁大皿	－	(24.0)		－	灰釉	灰釉	15C前半	1729
53	SD164	直縁大皿	－	(32.0)		－	灰釉	灰釉	15C前半	1727
54	SD164	直縁大皿	－	(30.8)		－	灰釉	灰釉	15C前半	1728
55	SD164	擂鉢	－	(36.0)		－	鉄釉	鉄釉	15C後半	1748
56	SD164	小鉢	2.7	(8.0)		(3.8)	灰釉	灰釉	15C後半	1731
57	SD164	羽釜	－	(13.0)	21.8	－		鉄釉	15C後半	1742
58	SD164	燭台	－	－		15.4		鉄釉	15C後半	1741
59	SD164	瓦質風炉	－	－	－	(41.6)				1753
81－60	SD108	山茶椀	4.8	15.4		7.0				

図版番号	遺構	器種	法量(cm) 器高	口径	胴径	底径	釉薬・調整等 内面	外面	備考	登録番号
61	SD108	山茶椀	5.2	(15.2)		(7.2)				
62	SD108	山茶椀	5.2	(15.4)		(7.6)				
63	SD108	山茶椀	4.8	(14.6)		(6.3)				
64	SD108	山茶椀	4.6	(14.6)		(6.6)				
65	SD108	山茶椀	4.8	(14.6)		(7.0)				
66	SD108	山茶椀	5.2	15.4		7.0				
67	SD108	山茶椀	−	−		(6.0)				
68	SD108	山茶椀	4.4	(14.0)		(5.2)				
69	SD108	山茶椀	4.8	(14.0)		(6.0)				
70	SD108	小皿	3.3	(13.0)		(4.0)				
71	SD108	小皿	2.0	8.4		5.1				
72	SD108	小皿	2.0	9.0		2.2				
73	SD108	小皿	2.0	7.8		4.8				
74	SD108	小皿	2.0	7.8		3.8				
75	SD108	小皿	1.0	7.9		3.8				
76	SD108	小皿	1.1	8.2		5.6				
82−77	SD108	羽釜	7.0	(11.6)		(9.4)			常滑窯 12C代	E−1797
78	SD108	甕	−	(15.6)	−	−			常滑窯 12C前半	1804
79	SD108	大甕	−	(33.2)	−	−			常滑窯 12C前半	1805
80	SD108	大甕	−	(32.2)	(51.2)	−			常滑窯 12C前半	1806
83−81	SD108	釜	−	−		−			常滑窯 15C後半	1800
82	SD108	大甕	−	48.6	−	−			常滑窯 15C前半	1808
83	SD108	大甕	−	(44.6)	−	−			常滑窯 15C後半	1810
84−84	SD108	水注	−	−	−	−		灰釉	13C初	1792
85	SD108	水注	−	−	−	−		灰釉	13C後半	1791
86	SD108	おろし皿	4.0	(14.3)		(9.3)	灰釉	灰釉	13C初	1780
87	SD108	おろし皿	−	(12.7)		−	灰釉	灰釉	13C初	1779
88	SD108	瓶子	−	−	−	(8.7)		灰釉	13C後半	1743
89	SD108	燈座茶入	−	8.2	10.4	−	鉄釉	鉄釉?!	14C後半	1777
90	SD108	平底椀	4.2	(10.2)		(4.6)	灰釉	灰釉	14C後半	1776
91	SD108	青磁椀	−	(15.8)		−				
92	SD108	天目茶椀	−	(12.8)		−	鉄釉	鉄釉	大窯Ⅰa	1766
93	SD108	天目茶椀	−	(11.4)		−	鉄釉	鉄釉	15C前半	1767
94	SD108	平椀	−	(13.8)		−	灰釉	灰釉	14C後半	1773
95	SD108	平椀	−	(12.0)		−	鉄釉	鉄釉	15C前半	1769
96	SD108	平椀	−	−		(3.8)	鉄釉	鉄釉	15C前半	1772
97	SD108	平椀	−	12.0		−	鉄釉	鉄釉	15C前半	1768
98	SD108	平椀	−	−		(4.2)	鉄釉	鉄釉	15C前半	1770
99	SD108	平椀	−	−		(4.2)	灰釉	灰釉	15C前半	1774
100	SD108	平椀	−	−		(5.8)	灰釉	灰釉	15C前半	1775
101	SD108	天目茶椀	−	−		(3.4)	鉄釉	鉄釉	15C後半	1771
85−102	SD108	把手付鉢	−	(14.0)		−	灰釉	灰釉	15C前半	1786
103	SD108	把手付鉢	−	15.2		−	灰釉	灰釉	15C前半	1787
104	SD108	鉢	−	21.0		−	灰釉	灰釉	15C前半	1781
105	SD108	鉢	8.1	23.6		12.2	灰釉	灰釉	14C後半	1785
106	SD108	鉢	−	−		(16.7)	灰釉	灰釉	15C前半	1783
107	SD108	鉢	−	(25.2)		−	灰釉	灰釉	15C後半	1784
108	SD108	鉢	−	(15.4)		−	鉄釉	鉄釉	15C後半	1793
109	SD108	香炉	−	(8.9)		−		灰釉	15C後半	1778
110	SD108	擂鉢	−	8.0		−	鉄釉	鉄釉	15C後半	1796
111	SD108	擂鉢	−	(9.6)		−	鉄釉	鉄釉	15C後半	1795
86−112	SK447	山茶椀	5.6	(15.0)		(6.4)				1036
113	SK447	山茶椀	5.4	(13.6)		(5.4)				1037
114	SK447	山茶椀	−	(13.8)		−				1038
115	SK447	土師器皿	2.5	(12.8)		(8.2)				1041
116	SK447	土師器皿	2.4	(11.0)		(7.2)				1042
117	SK447	土師器皿	−	11.8		−				1043
118	SK447	土師器皿	2.4	8.0		4.0				1040
119	SK447	土師器皿	1.1	(8.2)		(4.6)				1046
120	SK447	土師器皿	1.4	(9.6)		(5.6)				1045

図版番号	遺構	器種	法量(cm) 器高	口径	胴径	底径	釉薬・調整等 内面	外面	備考	登録番号
121	SD133	椀	3.0	(8.6)		(3.0)	灰釉	灰釉	15C前半	E-1629
122	SD133	椀	3.6	(9.8)		(4.6)	灰釉	灰釉	15C前半	1630
123	SD133	平椀	—	—		(3.6)	灰釉	灰釉	15C前半	1631
124	SD133	把手付鉢	—	(10.2)		—	灰釉	灰釉	15C前半	1633
125	SD133	おろし皿	—	—		4.4				1632
126	SD133	鉢	—	(11.0)	—	—		灰釉		1634
127	SD177	灰釉折縁深皿	—	(11.4)		—	灰釉	灰釉	窯窯 13C後半	837
128	SD130	常滑洗	3.8	(13.6)		(10.6)			常滑窯 13C初	1116
129	SE95 SK19	四耳壺	—	—	13.2	—		灰釉		1832
87－130	SD170	平椀	—	23.4		—	灰釉	灰釉	15C前半	1083
131	SD170	天目茶椀	—	10.8		—	鉄釉	鉄釉	15C前半	1084
132	SD170	天目茶椀	4.2	9.2		3.6	鉄釉	鉄釉	15C前半	7
133	SD170	緑釉小皿	3.3	11.0		4.0	鉄釉	鉄釉	15C中頃	1088
134	SD170	緑釉小皿	3.0	11.0		6.2	鉄釉	鉄釉	15C後半	1087
135	検出	平椀	—	—		5.0	灰釉	灰釉		839
136	検出	緑釉皿	2.8	9.0		4.8	灰釉	灰釉	窯窯最末	17
137	SD170	鍋	—	25.0		—		鉄釉	15C末	1090
138	SD198他	壺	—	11.6	30.9	—	鉄釉	鉄釉	15C後半 堆母懐	1364
88－1	SK137	天目茶椀	6.0	11.8		4.5	鉄釉	鉄釉	大窯Ⅱa	407
2	SK137	天目茶椀	—	11.6		—	鉄釉	鉄釉	大窯Ⅱa	408
3	SK137	丸皿	2.2	11.0		10.2	灰釉	灰釉	大窯Ⅱa	409
4	SK137	丸皿	2.1	9.0		4.1	灰釉	灰釉	大窯Ⅱa	412
5	SK137	丸皿	2.2	10.4		6.2	灰釉	灰釉	大窯Ⅱb	410
6	SK137	丸皿	2.2	10.4		6.4	灰釉	灰釉	大窯Ⅱb	411
7	SK137	内禿皿	2.3	10.2		4.5	灰釉	灰釉	大窯Ⅱb(蕃筒底)	413
8	SK137	内禿皿	2.3	10.8		6.0	灰釉	灰釉	大窯Ⅱb(蕃筒底)	414
9	SK137	重圏皿	—	10.0		—	無釉	無釉	大窯	415
10	SK137	重圏皿	—	10.2		—	無釉	無釉	大窯	416
11	SK137	土師器皿	—	—		推 7.2				419
12	SK137	土師器皿	2.0	10.6						417
13	SK137	土師器皿	1.7	推 9.6		推 5.3				418
14	SK137	土師器皿	—	—		推 4.4				420
15	SK541	甕	—	14.0	—	—			常滑窯13C後半	464
16	SK541	壺	—	14.2	16.2	—		鉄釉	大窯Ⅰ	462
17	SK541	双耳壺	—	—	13.6	10.0	鉄釉	鉄釉		463
18	SK541	茶入れ	3.4	3.6	5.9	3.0	鉄釉	鉄釉	大窯Ⅰb	461
19	SK541	丸皿	1.9	10.6		6.2	灰釉	灰釉	大窯Ⅱa	459
20	SK541	稜皿	—	—		6.0	鉄釉	鉄釉	大窯Ⅱb	458
21	SK541	小丸椀	2.5	6.2		2.8	灰釉	灰釉	大窯Ⅲ	460
22	SK541	土師器皿	2.3	(12.0)		(8.0)				465
23	SK541	土師器皿	2.4	(11.0)		(6.6)				466
24	SK541	土師器皿	2.4	(11.0)		(5.0)				467
25	SK541	土師器皿	1.2	4.5						468
26	SK541	土師器皿	1.2	4.5						469
27	SK541	土師器皿	1.0	4.8						470
28	SK541	土師器皿	1.2	4.5						471
89－29	SD42	丸皿	2.6	(10.6)		(6.0)	鉄釉	鉄釉	大窯Ⅱb 見込に梅鉢合著	1196
30	SD42	ひだ皿	2.7	10.2		5.6	鉄釉	鉄釉	大窯Ⅱb 見込に梅鉢合著	1197
31	SD42	ひだ皿	2.8	10.8		5.8	鉄釉	鉄釉	大窯Ⅱb 見込に梅鉢合著	1198
32	SD42	擂鉢	—	(34.0)		—	鉄釉	鉄釉	大窯Ⅲ以降	1199
33	SD42	土師器皿	2.3	(11.2)						1204
34	SD42	土師器椀	3.8	(11.8)		(2.6)				1205
35	SD42	土師器椀	4.6	(10.0)		(4.8)				1206
36	SD42	土師器椀	5.2	(11.0)		(5.2)				1208
37	SD42	土師器椀	5.4	10.0		5.8				1207
38	SD42	茶釜型羽釜	18.1	(11.4)		(11.2)				1200
39	SD42	茶釜型羽釜	15.5	(12.0)		(7.0)				1201
40	SD42	茶釜型羽釜	15.7	(14.0)		(5.6)				1202
41	SD42	内耳鍋	—	(22.4)						1203
90－42	SE62	天目茶椀	—	(10.9)		—	鉄釉	鉄釉	大窯Ⅰb	423

図版番号	遺構	器種	法量(cm) 器高	口径	胴径	底径	釉薬・調整等 内面	外面	備考	登録番号
43	SE62	天目茶椀	−	(11.0)		−	鉄釉	鉄釉	大窯Ⅰb	E−424
44	SE62	天目茶椀	−	−		(4.4)	鉄釉	鉄釉	大窯Ⅰb	425
45	SE62	天目茶椀	6.4	(11.6)		(4.5)	鉄釉	鉄釉	大窯Ⅱa	421
46	SE62	天目茶椀	5.4	(11.8)		−	鉄釉	鉄釉	大窯Ⅱa	422
47	SE62	丸皿	2.3	10.3		5.9	鉄釉	鉄釉	大窯Ⅱb	427
48	SE62	小椀	3.9	7.4		3.9	無釉	無釉	大窯Ⅲ	426
49	SE62	茶入れ	5.2	(3.5)	5.9	(3.8)	鉄釉	鉄釉	大窯Ⅲ	429
50	SE62	双耳壺	9.7	(14.0)		(8.0)	鉄釉	鉄釉	大窯Ⅲ	428
51	SE62	土師器皿	2.6	(12.0)		(7.2)				430
52	SE83	大皿	−	−		(14.8)			15C後半	1033
53	SE83	水滴	3.7	(2.1)		(2.6)	鉄釉	鉄釉	大窯Ⅲ	1032
54	SE83	水滴	2.2	(2.8)	5.9	(3.9)	鉄釉	鉄釉	大窯Ⅲ	1031
55	SE83	小杯	3.8	(5.7)		(4.2)	長石釉	長石釉	大窯Ⅴ	1030
56	SE83	擂鉢	−	(29.0)		−	鉄釉	鉄釉	大窯Ⅴ	1034
57	SK242	天目茶椀	6.3	(11.8)		(4.2)	鉄釉	鉄釉	大窯Ⅱa	59
58	SK242	天目茶椀	6.1	(11.4)		(4.5)	鉄釉	鉄釉	大窯Ⅱa	60
59	SK242	丸皿	2.2	9.9		5.0	鬚釉し	鬚釉し	大窯Ⅱa	61
60	SK242	丸皿	2.5	10.4		5.8	鉄釉	鉄釉	大窯Ⅱb	62
61	SK242	折縁皿	2.4	10.2		6.0	鉄釉	鉄釉	大窯Ⅱb	63
62	SK242	折縁皿	2.6	10.6		6.2	鉄釉	鉄釉	大窯Ⅱb	64
63	SK242	折縁内禿皿	2.3	10.6		5.4	灰釉	灰釉	大窯Ⅲ	65
64	SK242	折縁内禿皿	2.3	10.6		5.6	灰釉	灰釉	大窯Ⅲ	66
91−65	SK96	平椀	4.4	(12.2)		(3.1)	鉄釉	鉄釉	大窯Ⅰb	1190
66	SK96	天目茶椀	−	−		(4.8)	鉄釉	鉄釉	大窯Ⅴ	1178
67	SK96	天目茶椀	−	−		(4.8)	鉄釉	鉄釉	大窯Ⅴ	1179
68	SK96	天目茶椀	−	(12.0)		−	鉄釉	鉄釉	登窯Ⅰ	1177
69	SK96	向付	6.6	(12.2)		(5.6)	灰釉	灰釉	大窯Ⅴ	1180
70	SK96	向付	−	−		(6.6)	長石釉	長石釉	大窯Ⅴ	1193
71	SK96	丸皿	−	−		(5.8)	灰釉	灰釉	大窯Ⅰ	1191
72	SK96	内禿皿	2.2	(10.0)		(5.8)	灰釉	灰釉	大窯Ⅱb	1182
73	SK96	内禿皿	−	−		(7.6)	灰釉	灰釉	大窯Ⅴ	1183
74	SK96	折縁鉢	−	(19.8)		−	鉄釉	鉄釉	大窯Ⅴ	1184
75	SK96	甕	−	(16.0)	27.5	−	鉄釉	鉄釉	大窯Ⅲ	1186
76	SK96	擂鉢	−	−		(11.0)	鉄釉	鉄釉	大窯Ⅲ口縁 縁目18本単位	1187
77	SK96	擂鉢	11.0	(30.0)		(13.0)	鉄釉	鉄釉	大窯Ⅴ	1188
78	SK96	徳利	−	−	−	−	鉄釉	鉄釉	大窯	1185
79	SK96	水注	−	−	7.5	(5.2)	鉄釉	鉄釉	大窯	1192
80	SK96	重圏皿	2.0	(10.0)		(5.0)	無釉	無釉	大窯	1194
81	SK96	土師器皿	1.8	(9.4)		(4.8)				1189
82	SK96	土師器皿	1.7	(9.4)						1195
92−83	SD63	天目茶椀	−	(12.2)		−	鉄釉	鉄釉	大窯Ⅴ	67
84	SD63	端反皿	2.1	10.8		5.8	長石釉	長石釉	大窯Ⅴ	72
85	SD63	鉄絵椀	6.1	(11.4)		−	長石釉	長石釉	大窯Ⅴ	68
86	SD63	鉄絵角向付	6.6	8.2		−	長石釉	長石釉	大窯Ⅴ	71
87	SD63	丸椀	3.8	(8.4)		(4.1)	長石釉	長石釉	大窯Ⅴ	69
88	SD63	小杯	−	−		(3.4)	長石釉	長石釉	大窯Ⅴ	70
89	SD63	鉄絵三足鉢	4.9	15.8			長石釉	長石釉	大窯Ⅴ	73
90	SD63	擂鉢	13.2	(31.9)		(13.1)	鉄釉	鉄釉	大窯Ⅴ	75
91	SD63	大皿	−	−		8.8	無釉	無釉	大窯Ⅲ	74
92	SD63	土師器皿	2.3	10.4		6.3				77
93	SD63	土師器皿	2.5	(10.5)		(5.6)				78
94	SD63	土師器皿	2.4	(11.4)		(6.6)				79
95	SD63	土師器皿	2.4	(12.6)		(7.4)				80
96	SD63	椀	−	(9.9)		−			楽系	76
93−97	SK282	丸皿	2.3	(10.8)		(6.2)	鉄釉	鉄釉	大窯Ⅱb	1124
98	SK282	端反皿	−	(12.4)		−	長石釉	長石釉	大窯Ⅴ	1123
99	SK282	丸椀	6.6	(10.8)		(5.0)	鉄釉	鉄釉	大窯Ⅴ	1120
100	SK282	沓茶椀	−	−		(4.2)	鉄釉	鉄釉	大窯Ⅴ	1121
101	SK282	鉄絵向付	4.9	(9.6)		(7.0)	長石釉	長石釉	大窯Ⅴ	1126
102	SK282	小椀	−	(7.2)		−	長石釉	長石釉	大窯Ⅴ	1122

図版番号	遺構	器種	法量(cm) 器高	口径	胴径	底径	釉薬・調整等 内面	外面	備考	登録番号
103	SK282	折縁綾花皿	2.8	(15.6)		(7.6)	長石釉	長石釉	大窯Ⅴ	E−1125
104	SK293	天目茶椀	−	(11.8)		−	鉄釉	鉄釉	登窯Ⅱ	1
105	SK293	折縁皿	2.4	(12.0)		(7.0)	長石釉	長石釉	大窯Ⅴ	31
106	SK293	折縁皿	2.1	(12.0)		(7.4)	長石釉	長石釉	大窯Ⅴ	33
107	SK293	折縁皿	−	(11.0)		−	長石釉	長石釉	高台削り失敗　大窯Ⅴ	32
108	SK293	菊花皿	3.2	(12.8)		(7.2)	長石釉	長石釉	大窯Ⅴ	38
109	SK293	折縁綾花皿	2.8	14.8		7.8	長石釉	長石釉	13弁　大窯Ⅴ	36
110	SK293	折縁綾花皿	2.8	(14.8)		(7.8)	長石釉	長石釉	53-109と出探に　大窯Ⅴ	37
111	SK293	鉄絵鉢	−	−		10.6	長石釉	長石釉	登窯Ⅰ	39
94−112	SD27	天目茶椀	6.1	(12.2)		(4.2)	鉄釉	鉄釉	大窯Ⅱa	198
113	SD27	天目茶椀	−	(12.6)		−	鉄釉	鉄釉	大窯Ⅱa	197
114	SD27	天目茶椀	−	(11.4)		−	鉄釉	鉄釉	大窯Ⅱa	84
115	SD27	天目茶椀	−	−		(3.8)	鉄釉	鉄釉	大窯Ⅱa	85
116	SD27	天目茶椀	−	(11.6)		−	鉄釉	鉄釉	大窯Ⅱa	81
117	SD27	丸椀	5.8	(11.0)		(4.6)	灰釉	灰釉	大窯Ⅱa	88
118	SD27	天目茶椀	−	(10.2)		−	鉄釉	鉄釉	大窯Ⅱb	194
119	SD27	天目茶椀	5.6	(10.7)		(4.4)	鉄釉	鉄釉	大窯Ⅲ	1048
120	SD27	天目茶椀	−	(11.2)		−	鉄釉	鉄釉	大窯Ⅲa	82
121	SD27	天目茶椀	5.7	(11.4)		4.4	長石釉	長石釉	大窯Ⅴ	90
122	SD27	天目茶椀	5.8	(12.0)		(5.0)	鉄釉	鉄釉	大窯Ⅴ	199
123	SD27	丸椀	−	(10.2)		−	鉄釉	鉄釉	大窯Ⅴ	200
124	SD27	丸椀	−	(11.8)		−	灰釉	灰釉	大窯Ⅴ	89
125	SD27	小壺	−	−		5.4	長石釉	長石釉	大窯Ⅴ	113
126	SD27	小椀	2.5	(6.2)		(3.8)	長石釉	長石釉	大窯Ⅴ	224
127	SD27	小皿	−	(6.3)		−	灰釉	灰釉	大窯Ⅱa	94
128	SD27	半箆形向付	4.5	7.8		4.8	長石釉	長石釉	大窯Ⅴ	223
129	SD27	鉄絵四方形向付	−	9.9		−	長石釉	長石釉	大窯Ⅴ	221
130	SD27	筒向付	6.3	(6.6)		(4.4)	灰釉	灰釉	大窯Ⅴ	106
131	SD27	向付	4.0	4.0		3.7	長石釉	長石釉	大窯Ⅴ	225
132	SD27	小皿	3.0	(8.3)		(4.2)	灰釉	灰釉	窯窟最未	228
133	SD27	天目茶椀	−	(10.6)		−	鉄釉	鉄釉	登窯Ⅰ	195
134	SD27	丸椀	−	(11.8)		−	鉄釉	鉄釉	登窯Ⅰ	201
135	SD27	天目茶椀	−	(10.0)		−	鉄釉	鉄釉	登窯Ⅱ	196
95−136	SD27	小皿	1.45	(7.8)		(5.0)	灰釉	灰釉	大窯Ⅱa	93
137	SD27	小皿	1.9	(8.2)		(5.0)	灰釉	灰釉	大窯Ⅱa	94
138	SD27	丸皿	2.0	(9.3)		(5.2)	灰釉	灰釉	大窯Ⅱa	95
139	SD27	丸皿	2.4	(9.6)		4.8	灰釉	灰釉	輪トチ　大窯Ⅱa	96
140	SD27	丸皿	2.8	(10.2)		5.1	灰釉	灰釉	大窯Ⅱa	97
141	SD27	丸皿	2.6	(10.4)		5.8	灰釉	灰釉	大窯Ⅱa	98
142	SD27	丸皿	2.7	(10.2)		(6.6)	灰釉	灰釉	大窯Ⅱa	206
143	SD27	丸皿	2.0	(10.2)		(5.8)	灰釉	灰釉	大窯Ⅱa	207
144	SD27	丸皿	2.1	(9.8)		(5.8)	灰釉	灰釉	大窯Ⅱa	208
145	SD27	丸皿	2.0	(10.6)		(6.6)	灰釉	灰釉	大窯Ⅱa	209
146	SD27	丸皿	2.5	(10.8)		(6.2)	灰釉	灰釉	大窯Ⅱa	210
147	SD27	丸皿	2.4	(10.2)		(5.0)	鉄釉	鉄釉	大窯Ⅱb	92
148	SD27	内壺皿	2.5	9.8		5.7	灰釉	灰釉	大窯Ⅱb	99
149	SD27	内壺皿	2.5	(10.4)		(5.8)	灰釉	灰釉	大窯Ⅱb	212
150	SD27	内壺皿	1.9	(9.8)		(6.1)	灰釉	灰釉	大窯Ⅱb	100
151	SD27	内壺皿	2.2	(10.0)		(5.0)	灰釉	灰釉	大窯Ⅱb	211
152	SD27	折縁皿	−	(12.2)		−	灰釉	灰釉	大窯Ⅱb	101
153	SD27	水注	−	−		(6.2)	鉄釉	鉄釉	大窯Ⅴ	153
154	SD27	折縁菊皿	2.2	(11.4)		(6.4)	灰釉	灰釉	大窯Ⅲ	1057
155	SD27	折縁菊皿	−	(12.0)		−	灰釉	灰釉	大窯Ⅴ	1058
156	SD27	折縁皿	−	(11.0)		−	灰釉	灰釉	大窯Ⅴ	213
157	SD27	折縁菊皿	−	11.4		−	灰釉	灰釉	大窯Ⅴ	215
158	SD27	端反皿	2.6	(12.4)		(6.4)	長石釉	長石釉	大窯Ⅴ	103
159	SD27	端反皿	2.3	(11.8)		(6.0)	長石釉	長石釉	大窯Ⅴ	104
160	SD27	内壺中皿	3.1	(15.0)		(8.0)	灰釉	灰釉	大窯Ⅴ　足台に輪トチの痕	102
161	SD27	端反皿	2.8	12.0		7.2	長石釉	長石釉	大窯Ⅴ	216
162	SD27	端反皿	2.6	11.4		7.0	長石釉	長石釉	大窯Ⅴ	217

図版番号	遺構	器種	法量(cm)				釉薬・調整等		備考	登録番号
			器高	口径	胴径	底径	内面	外面		
163	SD27	端反皿	2.7	11.6		6.4	長石釉	長石釉	大窯Ⅴ	E－218
164	SD27	丸皿	－	11.6		－	長石釉	長石釉	大窯Ⅴ	219
165	SD27	平鉢形向付	2.7	10.6		6.8	長石釉	長石釉	大窯Ⅴ	222
96－166	SD27	重圏皿	2.2	10.4		5.7	無釉	無釉		237
167	SD27	重圏皿	2.0	10.4		4.6	無釉	無釉		238
168	SD27	重圏皿	2.1	(10.8)		(4.2)	無釉	無釉	大窯Ⅳ	119
169	SD27	重圏皿	2.1	(10.6)		(4.6)	無釉	無釉	大窯Ⅳ	120
170	SD27	重圏皿	2.1	(10.2)		(4.2)	無釉	無釉	大窯	121
171	SD27	重圏皿	2.6	(10.4)		(4.9)	無釉	無釉		239
172	SD27	大皿	－	(32.0)		－	無釉	無釉	祖母懐	229
173	SD27	大皿	5.8	(28.6)		(15.0)	無釉	無釉	祖母懐	230
174	SD27	大皿	－	(24.2)		－	無釉	無釉	祖母懐？	108
175	SD27	大皿	3.6	20.4		11.0	無釉	無釉	大窯Ⅲ	109
176	SD27	大皿	6.2	(31.2)		(12.4)	無釉	無釉	大窯Ⅲ	1063
97－177	SD27	徳利	－	－	12.8	－	鉄釉	鉄釉	大窯Ⅰb	107
178	SD27	徳利	－	－		13.2	鉄釉	鉄釉	大窯Ⅰb	111
179	SD27	甕	－	20.6		－	鉄釉	鉄釉	大窯Ⅱa	112
180	SD27	徳利	－	5.6		－	鉄釉	鉄釉	大窯Ⅱb	1061
181	SD27	焼き締め徳利	－	－	13.6	(9.0)	無釉	無釉	大窯	231
182	SD27	耳付小壺	－	(13.2)		－	鉄釉	鉄釉	大窯Ⅲ	227
183	SD27	徳利	－	－		(13.3)	鉄釉	鉄釉	大窯	1065
184	SD27	片口鉢	11.0	18.0		8.6	鉄釉	鉄釉	大窯Ⅲ～Ⅳ	110
185	SD27	小壺	2.8	3.1	5.6	3.9	長石釉	長石釉	大窯Ⅴ	1060
98－186	SD27	小鉢	－	(25.2)		－			常滑窯　16C後半	118
187	SD27	建水	－	(15.6)		－		鉄釉	大窯	1064
188	SD27	甕	－	－	26.1	(15.0)	鉄釉	鉄釉	大窯Ⅲ	1066
189	SD27	甕	－	－	30.1	(17.2)	鉄釉	鉄釉	大窯	131
99－190	SD27	擂鉢	－	(29.4)		－	鉄釉	鉄釉	卸目12本単位	234
191	SD27	擂鉢	－	(28.6)		－	鉄釉	鉄釉	卸目10本単位	233
192	SD27	擂鉢	－	26.8		－	鉄釉	鉄釉	大窯Ⅱb	115
193	SD27	擂鉢	－	(29.0)		－	鉄釉	鉄釉	大窯Ⅴ	116
194	SD27	擂鉢	－	(30.0)		－	鉄釉	鉄釉	登窯ⅠかⅡ	117
100－195	SD27	内耳鍋	10.3	(21.6)		(5.2)				245
196	SD27	直口両耳釜	－	(13.0)		－				129
197	SD27	直口両耳釜	14.8	12.7		6.0				130
198	SD27	直口両耳釜	17.1	(13.0)		(10.0)				246
199	SD27	土師器皿	1.1	4.8						122
200	SD27	土師器皿	1.1	4.7						123
201	SD27	土師器皿	0.8	4.7						124
202	SD27	土師器皿	1.0	5.0						240
203	SD27	土師器皿	1.0	4.8						241
204	SD27	土師器皿	1.0	5.1						1074
205	SD27	土師器皿	0.9	4.8						1076
206	SD27	土師器皿	1.0	4.8						1077
207	SD27	土師器皿	1.3	5.2						1078
208	SD27	土師器皿	0.7	4.6						1080
209	SD27	土師器皿	1.9	(7.4)		(5.0)				242
210	SD27	土師器皿	1.6	(8.8)		(2.4)			煤	125
211	SD27	土師器皿	1.9	(10.2)		(5.4)				127
212	SD27	土師器皿	1.9	(11.0)		(6.0)				244
213	SD27	土師器皿	2.1	(11.4)		(6.0)				126
214	SD27	土師器皿	2.0	(11.2)		(6.0)				128
101－215	SK46	天目茶椀	6.1	12.4		4.2	鉄釉	鉄釉	大窯Ⅱa	132
216	SK46	天目茶椀	－	12.8		－	鉄釉	鉄釉	大窯Ⅱa	135
217	SK46	丸皿	2.1	(10.4)		(5.2)	鉄釉	鉄釉	大窯Ⅱb	141
218	SK46	丸皿	2.3	(11.2)		(6.4)	灰釉	灰釉	大窯Ⅱb	142
219	SK46	重圏皿	2.3	(10.5)		(5.4)	鉄釉	鉄釉	火を受けている　大窯Ⅱ	164
220	SK46	天目茶椀	－	11.4		－	鉄釉	鉄釉	大窯Ⅴ	137
221	SK46	筒向付	－	－		－	長石釉	長石釉	大窯Ⅴ　最大径部分　胴	149
222	SK46	丸椀	－	－		4.6	長石釉	長石釉	大窯Ⅴ	139

図版番号	遺構	器種	法量(cm) 器高	口径	胴径	底径	釉薬・調整等 内面	外面	備考	登録番号
223	SK46	丸皿	2.5	(12.2)		(7.6)	長石釉	長石釉	大窯Ⅴ	E-145
224	SK46	稜皿	2.7	(11.2)		(6.4)	長石釉	長石釉	大窯Ⅴ	147
225	SK46	折縁菊皿	2.0	(11.4)		(7.2)	灰釉	灰釉	大窯Ⅴ	144
226	SK46	隅向付	－	－		(4.1)	灰釉	灰釉	大窯Ⅴ	152
227	SK46	水注	－	－		(4.5)	鉄釉	鉄釉	大窯Ⅴ	153
228	SK46	鉄絵角向付	6.3	(11.4)		(10.0)	長石釉	長石釉	大窯Ⅴ	150
229	SK46	鉄絵角向付	(6.5)	(12.4)		(8.4)	長石釉	長石釉	大窯Ⅴ	151
230	SK46	天目茶椀	6.2	13.0		6.2	鉄釉	鉄釉	登窯Ⅱ	133
231	SK46	丸椀	－	－		4.4	鉄釉	鉄釉	登窯Ⅱ	138
232	SK46	椀	－	－		5.0	灰釉	灰釉	唐津窯	140
233	SK46	大皿	－	(20.2)		－	無釉	無釉	大窯Ⅲ	157
234	SK46	大皿	－	(25.6)		－	無釉	無釉	大窯Ⅲ	158
235	SK46	大皿	－	(24.2)		－	鉄釉	鉄釉	大窯	156
102－236	SK46	徳利	－	－	13.1	－	鉄釉	鉄釉	大窯Ⅲまで	154
237	SK46	徳利	－	－		(8.6)	鉄釉	鉄釉	大窯	155
238	SK46	甕	－	(13.0)	14.6	－			備前窯　16C後半	159
239	SK46	擂鉢	－	－		(12.6)			備前窯　16C後半	160
240	SK46	擂鉢	－	(32.2)		－	鉄釉	鉄釉	登窯Ⅰ	161
241	SK46	擂鉢	－	(28.6)		－	鉄釉	鉄釉	大窯Ⅱb	162
242	SK46	擂鉢	－	(36.2)		－	鉄釉	鉄釉	大窯Ⅱb	163
103－243	SD200	天目茶椀	－	(11.6)		－	鉄釉	鉄釉	大窯Ⅱa	841
244	SD200	天目茶椀	－	(11.6)		－	鉄釉	鉄釉	大窯Ⅱa	842
245	SD200	天目茶椀	－	(11.6)		－	鉄釉	鉄釉	大窯Ⅱa	847
246	SD200	天目茶椀	－	－		(4.2)	鉄釉	鉄釉	大窯Ⅱa	843
247	SD200	小型天目茶椀	4.4	(7.5)		3.2	鉄釉	鉄釉	大窯Ⅱa	871
248	SD200	小型天目茶椀	3.7	(8.1)		(3.4)	鉄釉	鉄釉	大窯Ⅱa	872
249	SD200	小椀	－	(5.5)		－	鉄釉	鉄釉	大窯Ⅲ	873
250	SD200	小椀	－	－		2.5	鉄釉	鉄釉	大窯Ⅱ	869
251	SD200	小椀	2.4	(6.0)		(2.7)	鉄釉	鉄釉	大窯Ⅱ	870
252	SD200	天目茶椀	－	(11.2)		－	鉄釉	鉄釉	大窯Ⅲ	846
253	SD200	天目茶椀	－	(12.4)		－	鉄釉	鉄釉	大窯Ⅴ	850
254	SD200	丸椀	－	(8.4)		－	長石釉	長石釉	大窯Ⅴ	874
255	SD200	筒形椀	－	－		(5.9)	灰釉	灰釉	文禄元年（1593）銘	853
256	SD200	天目茶椀	－	－		－	鉄釉	鉄釉	大窯Ⅱ	852
257	SD200	天目茶椀	－	(11.0)		－	鉄釉	鉄釉	登窯Ⅰ	849
258	SD200	天目茶椀	－	(11.4)		－	鉄釉	鉄釉	登窯Ⅰ	844
259	SD200	天目茶椀	7.4	11.3		5.0	鉄釉	鉄釉	登窯Ⅱ	851
260	SD200	天目茶椀	－	(11.6)		－	鉄釉	鉄釉	登窯Ⅲ	848
261	SD200	天目茶椀	－	(12.0)		－	鉄釉	鉄釉	登窯Ⅳ	845
104－262	SD200	丸皿	2.2	(10.4)		(5.8)	鉄釉	鉄釉	大窯Ⅱa	862
263	SD200	丸皿	2.3	(10.8)		(6.8)	鉄釉	鉄釉	大窯Ⅱb	863
264	SD200	稜皿	－	(10.2)		－	鉄釉	鉄釉	大窯Ⅱb	864
265	SD200	稜皿	2.5	(10.4)		(5.8)	鉄釉	鉄釉	大窯Ⅱb	865
266	SD200	丸皿	2.1	(9.6)		(5.2)	灰釉	灰釉	大窯Ⅱb	854
267	SD200	丸皿	－	(11.0)		－	灰釉	灰釉	大窯Ⅱb	855
268	SD200	内充皿	－	(10.2)		－	灰釉	灰釉	大窯Ⅱb	859
269	SD200	皿	－	－		(6.8)	灰釉	灰釉	大窯Ⅰ・Ⅱ	857
270	SD200	小皿	－	(9.4)		－	鉄釉	鉄釉	大窯Ⅲ（下地鉄釉）	861
271	SD200	稜皿	－	－		(5.8)	鉄釉	鉄釉	大窯Ⅲ	866
272	SD200	ひだ皿	－	(10.6)		－	鉄釉	鉄釉	大窯Ⅲ	867
273	SD200	折縁皿	－	(11.4)		－	灰釉	灰釉	大窯Ⅴ	860
274	SD200	小皿	1.3	(7.6)		(4.5)	灰釉	灰釉	大窯Ⅴ	856
275	SD200	鉄絵丸皿	2.6	11.4		6.7	長石釉	長石釉	登窯Ⅰ	877
276	SD200	端反皿	2.2	11.8		6.7	長石釉	長石釉	大窯Ⅴ	878
277	SD200	端反皿	2.7	(11.8)		(6.1)	長石釉	長石釉	大窯Ⅴ	879
278	SD200	丸皿	3.0	(12.6)		(6.6)	長石釉	長石釉	大窯Ⅴ	880
279	SD200	菊皿	2.3	(12.0)		(6.6)	長石釉	長石釉	大窯Ⅴ	884
280	SD200	菊皿	2.3	(12.0)		(6.8)	長石釉	長石釉	大窯Ⅴ	882
281	SD200	菊皿	2.1	(11.8)		(7.2)	長石釉	長石釉	大窯Ⅴ	883
282	SD200	徳利	－	(5.4)	－	－	鉄釉	鉄釉	大窯Ⅲ	891

図版番号	遺構	器種	法量(cm) 器高	口径	胴径	底径	釉薬・調整等 内面	外面	備考	登録番号
283	SD200	徳利	－	－	10.4	－		鉄釉	大窯Ⅲ	E－892
284	SD200	徳利	－	－	10.4	－		鉄釉	大窯Ⅲ	893
285	SD200	瓦質香炉	5.6	10.6		10.4				890
286	SD200	香炉	7.5	(11.6)		(10.6)	灰釉	灰釉	大窯Ⅱb	889
105－287	SD200	茶入れ	－	(6.4)	9.2	－	鉄釉	鉄釉	大窯Ⅲ	894
288	SD200	茶入れ	－	(6.2)	9.4	－	鉄釉	鉄釉	大窯Ⅲ	895
289	SD200	水注	－	(4.8)	－	－	鉄釉	鉄釉	大窯Ⅲ以降	896
290	SD200	水注	－	－	－	4.8	鉄釉	鉄釉	大窯？	897
291	SD200	水注	－	－	9.2	(5.6)	鉄釉	鉄釉	大窯Ⅲまで	898
292	SD200	蓋	－	4.0			鉄釉	鉄釉	登窯Ⅱ？	899
293	SD200	鉄絵鉢	－	(14.8)		－	長石釉	長石釉	大窯Ⅴ	885
294	SD200	鉢	6.4	(21.8)		(14.0)	長石釉	長石釉	大窯Ⅴ	888
295	SD200	鉢	4.9	(25.0)		(21.6)	長石釉	長石釉	大窯Ⅴ	886
296	SD200	広口壺	－	(26.8)		－	鉄釉	鉄釉	15C後半	900
297	SD200	羽釜	－	(11.8)		(6.8)	鉄釉	鉄釉	15C末	901
298	SD200	小杯	－	(5.4)		－	鉄釉	鉄釉	窯室15C前半	868
106－299	SD200	擂鉢	－	(22.6)		－	鉄釉	鉄釉	大窯Ⅴ	903
300	SD200	擂鉢	－	(26.6)		－	鉄釉	鉄釉	大窯Ⅴ	905
301	SD200	擂鉢	－	(27.2)		－	鉄釉	鉄釉	大窯Ⅴ	902
302	SD200	擂鉢	－	(30.0)		－	鉄釉	鉄釉	登窯Ⅰ	904
303	SD200	擂鉢	－	－		(10.4)	鉄釉	鉄釉	卸目14本単位　大窯	907
304	SD200	擂鉢	－	－		(11.4)	鉄釉	鉄釉	卸目16本単位　大窯	906
305	SD200	円板天目片					鉄釉	鉄釉		911
306	SD200	円板擂鉢片					鉄釉	鉄釉		912
307	SD200	円板擂鉢片					鉄釉	鉄釉		913
107－308	SD177	椀	－	(12.6)		－	灰釉	灰釉	？	487
309	SD177	平椀	－	－	－	(4.7)	灰釉	灰釉	？	488
310	SD177	天目茶椀	－	(12.0)		－	鉄釉	鉄釉	大窯Ⅱa	477
311	SD177	天目茶椀	－	(12.0)		－	鉄釉	鉄釉	大窯Ⅱa	478
312	SD177	天目茶椀	－	(11.8)		－	鉄釉	鉄釉	大窯Ⅲ	479
313	SD177	天目茶椀	－	(12.0)		－	鉄釉	鉄釉	大窯Ⅲ	480
314	SD177	丸椀	－	(10.0)		－	鉄釉	鉄釉	大窯Ⅲ	533
315	SD177	小型天目茶椀	3.5	(6.7)		(3.2)	灰釉	灰釉	大窯Ⅲ	484
316	SD177	小型天目茶椀	－	－		(3.2)	鉄釉	鉄釉	大窯Ⅰ	485
317	SD177	天目茶椀	－	－		(4.4)	鉄釉	鉄釉	？	481
318	SD177	天目茶椀	6.4	12.2		4.8	長石釉	長石釉	大窯Ⅴ	
319	SD177	丸椀	－	(10.8)		－	長石釉	長石釉	大窯Ⅴ	531
320	SD177	丸椀	－	(11.2)		－	長石釉	長石釉	大窯Ⅴ	530
321	SD177	丸椀	－	(8.6)		－	長石釉	長石釉	大窯Ⅴ	532
322	SD177	ひび皿	－	－		(6.6)	灰釉	灰釉	大窯Ⅴ	486
323	SD177	筒茶椀	－	－		(5.4)	長石釉	長石釉	大窯Ⅴ	552
324	SD177	鉄絵向付	－	－		(4.6)	長石釉	長石釉	大窯Ⅴ	550
325	SD177	天目茶椀	7.0	(13.0)		(5.0)	鉄釉	鉄釉	登窯Ⅱ	476
326	SD177	鉄絵角向付	8.3	8.8		(5.0)	長石釉	長石釉	大窯Ⅴ	
108－327	SD177	丸皿	－	(10.6)		－	鉄釉	鉄釉	大窯Ⅱb	514
328	SD177	硬皿	－	－		(5.8)	鉄釉	鉄釉	大窯Ⅱb	509
329	SD177	硬皿	－	－		(5.6)	鉄釉	鉄釉	大窯Ⅱb	510
330	SD177	硬皿	－	－		(5.8)	鉄釉	鉄釉	大窯Ⅱb	511
331	SD177	皿	－	－		(5.8)	鉄釉	鉄釉	大窯Ⅱb	512
332	SD177	皿	－	－		(5.2)	鉄釉	鉄釉	大窯Ⅱb	513
333	SD177	丸皿	2.6	(10.0)		6.6	鉄釉	鉄釉	大窯Ⅱb	514
334	SD177	丸皿	2.2	(10.8)		(6.0)	灰釉	灰釉	大窯Ⅱb	497
335	SD177	丸皿	－	(8.9)		－	灰釉	灰釉	大窯Ⅱb	498
336	SD177	丸皿	－	(9.2)		－	灰釉	灰釉	大窯Ⅱb	499
337	SD177	丸皿	2.4	(10.2)		(5.2)	灰釉	灰釉	大窯Ⅱb	500
338	SD177	端反皿	1.9	(11.2)		(6.4)	灰釉	灰釉	大窯Ⅱb	494
339	SD177	端反皿	2.0	(10.6)		(4.8)	灰釉	灰釉	大窯Ⅱb	495
340	SD177	端反皿	2.0	(10.8)		(6.2)	灰釉	灰釉	大窯Ⅱb	496
341	SD177	折縁皿	2.4	(12.0)		(6.6)	灰釉	灰釉	大窯Ⅲ	508
342	SD177	内禿折縁皿	2.0	(11.6)		(5.2)	灰釉	灰釉	大窯Ⅲ	501

図版番号	遺構	器種	法量(cm) 器高	口径	胴径	底径	釉薬・調整等 内面	外面	備考	登録番号
343	SD177	内禿折縁皿	2.2	11.4		6.0	灰釉	灰釉	大窯Ⅲ	E-502
344	SD177	折縁皿	2.0	(11.0)		(6.0)	灰釉	灰釉	大窯Ⅲ	503
345	SD177	折縁皿	－	(10.8)		－	灰釉	灰釉	大窯Ⅲ	504
346	SD177	折縁皿	－	(9.6)		－	灰釉	灰釉	大窯Ⅲ	505
347	SD177	折縁皿	－	(10.6)		－	灰釉	灰釉	大窯Ⅲ	507
348	SD177	端反皿	2.5	12.4		6.0	長石釉	長石釉	大窯Ⅴ	516
349	SD177	端反皿	3.1	12.7		6.4	長石釉	長石釉	大窯Ⅴ	517
350	SD177	端反皿	2.8	(12.2)		(6.4)	長石釉	長石釉	大窯Ⅴ	518
351	SD177	端反皿	2.7	(11.8)		(6.0)	長石釉	長石釉	大窯Ⅴ	519
352	SD177	丸皿	2.2	(13.0)		(8.0)	長石釉	長石釉	大窯Ⅴ	520
353	SD177	端反皿	2.5	(13.2)		(7.4)	長石釉	長石釉	大窯Ⅴ	521
354	SD177	端反皿	2.8	(13.0)		(7.1)	長石釉	長石釉	大窯Ⅴ	522
355	SD177	丸皿	－	(10.4)		－	長石釉	長石釉	大窯Ⅴ	523
356	SD177	丸皿	2.9	(10.4)		(5.2)	長石釉	長石釉	大窯Ⅴ	524
357	SD177	鉄絵皿	2.4	(10.2)		(5.4)	長石釉	長石釉	登窯Ⅰ	525
358	SD177	重圏皿	2.3	11.0		4.4	鉄釉	鉄釉	大窯	526
359	SD177	重圏皿	2.0	(10.4)		(5.0)	無釉	無釉	大窯	527
360	SD177	重圏皿	2.2	(10.6)		(5.4)	無釉	無釉	大窯	528
361	SD177	重圏皿	1.5	(10.4)		(5.0)	無釉	無釉	大窯	529
109－362	SD177	茶入れ	－	－		(3.1)	鉄釉	鉄釉	大窯	489
363	SD177	香炉[1]	－	(6.4)		－	鉄釉	鉄釉	大窯	490
364	SD177	筒向付	－	－	－	(3.6)	長石釉	長石釉	大窯Ⅴ	554
365	SD177	筒向付	－	－	－	(3.6)	灰釉	灰釉	大窯	553
366	SD177	水滴	3.4	(2.8)	5.9	(3.2)	灰釉	灰釉	大窯Ⅴ	493
367	SD177	水注	－	－	8.3	(4.8)	鉄釉	鉄釉	大窯	491
368	SD177	盞	－	10.2	(10.4)			鉄釉		492
369	SD177	壺	－	(9.4)	－	－	鉄釉	鉄釉	大窯の古い方	538
370	SD177	徳利	－	－	－	(8.0)	鉄釉	鉄釉		543
371	SD177	徳利	－	－	－	(7.1)	鉄釉	鉄釉		544
372	SD177	水指	－	(14.3)		－	鉄釉	鉄釉		546
373	SD177	鉢	－	(15.3)		－	鉄釉	鉄釉		547
374	SD177	水指？	－	(17.2)		－	鉄釉	鉄釉		545
375	SD177	茶壺	－	－	－	12.4			底部に「懐」	
376	SD177	大皿	6.3	(29.6)		(13.0)	鉄釉	鉄釉	大窯Ⅴ	537
377	SD177	大皿	4.5	(23.6)		(13.0)	灰釉	灰釉	大窯Ⅴ	534
110－378	SD177	大皿	6.4	(28.4)		(16.3)	鉄釉	鉄釉	大窯Ⅴ	535
379	SD177	大皿	6.3	(29.6)		(14.0)	鉄釉	鉄釉	大窯Ⅴ	536
380	SD177	擂鉢	11.7	(31.4)		(13.0)	鉄釉	鉄釉	卸目10本単位	539
381	SD177	擂鉢	12.0	(30.4)		(10.8)	鉄釉	鉄釉	卸目13本単位	540
382	SD177	擂鉢	－	(29.4)		－	鉄釉	鉄釉	卸目10本単位	548
383	SD177	擂鉢	－	(32.0)		－	鉄釉	鉄釉		542
111－384	SD177	青花皿	－	(10.2)		－				558
385	SD177	青花椀	－	(9.0)		－				559
386	SD177	青花皿	－	(10.0)		－				561
387	SD177	青花皿	－	－		(5.6)				560
388	SD177	青花皿	－	－		(5.2)				562
389	SD177	土師器犬	－							557
390	SD177	土師器犬	－							556
391	SD177	土師器犬	－							564
392	SD177	土師器犬	－							565
393	SD177	土鈴	3.9		4.9	(4.0)				566
394	SD177	陶製内耳鍋	7.9	(8.3)			無釉	無釉	煤が付着せず未使用か	584
395	SD177	内耳鍋	－	(21.8)						574
112－396	SD177	内耳鍋	10.8	(22.2)						575
397	SD177	内耳鍋	14.5	(24.4)						576
398	SD177	内耳鍋	11.2	(20.0)						577
399	SD177	内耳鍋	13.7	(24.6)						587
400	SD177	内耳鍋	11.6	(22.2)						582
113－401	SD177	羽釜	－	－						568
402	SD177	茶釜型羽釜	－	(12.1)						580

図版番号	遺構	器種	法量(cm) 器高	口径	胴径	底径	釉薬・調整等 内面	外面	備考	登録番号
403	SD177	茶釜型羽釜	15.7	(13.4)						E-589
114－404	SD177	直口双耳鍋	16.6	(13.8)	21.2					571
405	SD177	直口双耳鍋	－	(12.0)	20.8					579
406	SD177	直口双耳鍋	17.3	(14.0)	21.0					567
407	SD177	直口双耳鍋	16.2	(13.2)	20.7					573
408	SD177	直口双耳鍋	－	(13.8)	－					581
115－409	SD177	直口双耳鍋	16.6	(10.1)						586
410	SD177	直口双耳鍋	15.5	(14.0)						578
411	SD177	直口双耳鍋	－	(14.2)						583
412	SD177	直口双耳鍋	16.1	(14.2)	21.0					569
413	SD177	直口双耳鍋	17.0	(14.5)	24.0					570
116－414	SD177	土師器耳皿	2.0	8.2					底部糸切り痕	809
415	SD177	土師器耳皿	2.4	(8.4)					底部糸切り痕	810
416	SD177	土師器耳皿	2.0	－					底部糸切り痕	811
417	SD177	土師器耳皿	2.2	－					底部糸切り痕	812
418	SD177	土師器耳皿	2.2	－					底部糸切り痕	813
419	SD177	土師器底部穿孔皿	1.2	5.2					3ヶ所の穿孔 手捏ね	814
420	SD177	土師器底部穿孔皿	1.6	5.4					1ヶ所の穿孔 手捏ね	815
421	SD177	土師器底部穿孔皿	2.2	(5.3)					1ヶ所の穿孔 手捏ね	816
422	SD177	土師器底部穿孔皿	1.4	4.6					1ヶ所の穿孔 手捏ね	817
423	SD177	土師器底部穿孔皿	1.4	(5.5)					1ヶ所の穿孔 手捏ね	818
117－424	SD177	土師器皿	1.1	5.5					手捏ね	705
425	SD177	土師器皿	1.0	5.0					手捏ね	706
426	SD177	土師器皿	1.1	5.5					手捏ね	707
427	SD177	土師器皿	0.9	5.1					手捏ね	800
428	SD177	土師器皿	0.7	4.8					手捏ね	732
429	SD177	土師器皿	1.3	5.4					手捏ね	712
430	SD177	土師器皿	1.2	4.9					手捏ね	734
431	SD177	土師器皿	1.5	5.3					手捏ね	772
432	SD177	土師器皿	0.9	4.7					手捏ね	777
433	SD177	土師器皿	1.0	4.3					手捏ね	730
434	SD177	土師器皿	1.8	4.5					手捏ね	770
435	SD177	土師器皿	0.9	4.6					手捏ね	774
118－436	SD177	土師器皿	0.9	4.8					手捏ね	709
437	SD177	土師器皿	0.7	4.5					手捏ね	758
438	SD177	土師器皿	0.9	4.8					手捏ね	749
439	SD177	土師器皿	0.7	4.7					手捏ね	798
440	SD177	土師器皿	0.5	4.3					手捏ね	787
441	SD177	土師器皿	0.7	4.0					手捏ね	757
442	SD177	土師器皿	0.6	4.7					手捏ね	797
443	SD177	土師器皿	1.1	6.3					手捏ね	731
444	SD177	土師器皿	2.1	6.1					手捏ね	752
445	SD177	土師器皿	0.6	6.0					手捏ね	722
446	SD177	土師器皿	0.8	5.7					手捏ね	753
119－447	SD177	土師器皿	0.8	(5.7)		(3.5)			底部糸切り痕	687
448	SD177	土師器皿	0.9	(5.6)		(4.7)			底部糸切り痕	689
449	SD177	土師器皿	1.0	(6.4)		(4.5)			底部糸切り痕	690
450	SD177	土師器皿	0.8	(5.8)		(4.5)			底部糸切り痕	691
451	SD177	土師器皿	0.9	(5.8)		(4.1)			底部糸切り痕	692
452	SD177	土師器皿	0.8	(5.6)		(4.0)			底部糸切り痕	693
453	SD177	土師器皿	0.7	(5.9)		(4.0)			底部糸切り痕	694
454	SD177	土師器皿	1.0	(5.3)		(4.2)			底部糸切り痕	695
455	SD177	土師器皿	0.8	(10.7)		(4.5)			底部糸切り痕	686
456	SD177	土師器皿	1.0	(5.8)		(5.5)			底部糸切り痕	688
457	SD177	土師器皿	1.0	(6.0)		(4.2)			底部糸切り痕	702
458	SD177	土師器皿	0.8	(5.3)		(4.1)			底部糸切り痕	756
459	SD177	土師器皿	0.7	(5.0)		(4.2)			底部糸切り痕	728
460	SD177	土師器皿	0.8	(5.2)		(4.4)			底部糸切り痕	729
461	SD177	土師器皿	0.9	(5.6)		(4.6)			底部糸切り痕	700
462	SD177	土師器皿	1.9	(8.3)		(4.7)			底部糸切り痕	637

図版番号	遺構	器種	法量(cm) 器高	口径	胴径	底径	釉薬・調整等 内面	外面	備考	登録番号
463	SD177	土師器皿	1.8	(8.9)		(4.6)			底部糸切り痕	E-636
464	SD177	土師器皿	1.8	(8.6)		(5.0)			底部糸切り痕	638
465	SD177	土師器皿	1.7	(9.4)		(6.2)			底部糸切り痕	659
466	SD177	土師器皿	1.3	(10.0)		(2.3)			底部糸切り痕	682
467	SD177	土師器皿	2.0	(10.2)		(4.8)			底部糸切り痕	660
120-468	SD177	土師器皿	2.4	(11.4)		(6.5)			底部糸切り痕	601
469	SD177	土師器皿	2.3	(11.2)		(6.1)			底部糸切り痕	603
470	SD177	土師器皿	2.3	(11.0)		(6.4)			底部糸切り痕	605
471	SD177	土師器皿	2.3	(10.8)		(6.0)			底部糸切り痕	606
472	SD177	土師器皿	2.5	(11.0)		(6.4)			底部糸切り痕	678
473	SD177	土師器皿	2.3	(11.4)		(7.5)			底部糸切り痕	599
474	SD177	土師器皿	2.5	(11.0)		(5.8)			底部糸切り痕	597
475	SD177	土師器皿	2.2	(10.8)		(6.6)			底部糸切り痕	595
476	SD177	土師器皿	2.4	(10.5)		(5.3)			底部糸切り痕	598
477	SD177	土師器皿	2.3	(11.4)		(6.5)			底部糸切り痕	600
478	SD177	土師器皿	2.3	(11.4)		(6.4)			底部糸切り痕	634
479	SD177	土師器皿	1.9	(11.2)		(6.0)			底部糸切り痕	610
480	SD177	土師器皿	1.8	(11.0)		(6.4)			底部糸切り痕	683
481	SD177	土師器皿	2.0	(11.8)		(6.8)			底部糸切り痕	635
482	SD177	土師器皿	2.2	(6.1)		(4.4)			底部糸切り痕	626
483	SD177	土師器皿	2.0	(11.4)		(7.4)			底部糸切り痕	604
484	SD177	土師器皿	2.2	(10.9)		(6.2)			底部糸切り痕	591
485	SD177	土師器皿	2.0	(11.2)		(6.5)			底部糸切り痕	592
486	SD177	土師器皿	2.2	(12.2)		(6.6)			底部糸切り痕	593
487	SD177	土師器皿	2.3	(11.4)		(7.0)			底部糸切り痕	607
488	SD177	土師器皿	2.3	(11.2)		(6.4)			底部糸切り痕	627
489	SD177	土師器皿	2.4	(11.2)		(6.3)			底部糸切り痕	594
490	SD177	土師器皿	2.0	(11.6)		(7.0)			底部糸切り痕	596
491	SD177	土師器皿	2.1	(11.4)		(6.2)			底部糸切り痕	602
492	SD177	土師器皿	1.9	(11.2)		(5.6)			底部糸切り痕	677
493	SD177	土師器皿	2.3	(11.2)		(6.0)			底部糸切り痕	675
494	SD177	土師器皿	2.0	(11.2)		(7.0)			底部糸切り痕	676
495	SD177	土師器皿	2.2	(11.2)		(6.4)			底部糸切り痕	685
496	SD177	土師器皿	2.5	(11.4)		(6.4)			底部糸切り痕	684
497	SD177	土師器皿	2.4	(11.2)		(5.0)			底部糸切り痕	622
498	SD177	土師器皿	2.2	(11.6)		(6.4)			底部糸切り痕	613
499	SD177	土師器皿	2.3	(11.4)		(5.8)			底部糸切り痕	623
500	SD177	土師器皿	2.3	(12.8)		(7.4)			底部糸切り痕	612
501	SD177	土師器皿	2.5	(13.2)		(8.2)			底部糸切り痕	618
502	SD177	土師器皿	2.7	(13.4)		(3.7)			底部糸切り痕	674
503	SD177	土師器皿	1.9	(13.8)		(7.4)			底部糸切り痕	609
121-504	検出	天目茶椀	—	(12.8)		—	鉄釉	鉄釉	大窯Ⅰb	6
505	SD214	丸椀	6.2	(11.8)		(5.0)	灰釉	灰釉	大窯Ⅰb	9
506	検出	天目茶椀	—	(10.8)		—	鉄釉	鉄釉	大窯Ⅱa	433
507	SD170	台付椀	4.2	9.6		4.4	鉄釉	鉄釉	大窯Ⅰa	1089
508	SK164	天目茶椀	6.3	(10.6)		(4.6)	鉄釉	鉄釉	登窯Ⅰ	5
509	検出	丸椀	6.9	12.4		5.6	長石釉	長石釉	大窯Ⅴ	11
510	SD170	天目茶椀	7.0	10.6		4.2	黄瀬戸釉	鉄釉	大窯Ⅴ	1086
511	検出	天目茶椀	7.2	(11.8)		(4.6)	鉄釉	鉄釉	登窯Ⅱ	432
512	SK571	小型天目茶椀	3.5	6.3		2.4	鉄釉	鉄釉	登窯Ⅰ	8
513	検出	小杯	2.8	5.7		2.5	灰釉	灰釉	登窯Ⅲ	10
514	SD70	片口小鉢	5.5	(9.8)		(5.8)	鉄釉	鉄釉	大窯Ⅰb 見込円の輪目	46
515	検出	片口小鉢	6.1	10.8		7.0	鉄釉	鉄釉	大窯Ⅰb 見込円の輪目	47
516	SD214	鉢	8.2	12.6		10.5	鉄釉	鉄釉	大窯	49
518	検出	片口鉢	10.6	(15.6)		(13.0)	鉄釉	鉄釉	大窯Ⅰ	48
519	検出	梅鉢	2.9	10.4		6.0	鉄釉	鉄釉	大窯Ⅱa	25
519	検出	ひだ皿	2.8	(10.6)		(5.7)	鉄釉	鉄釉	大窯Ⅱa	26
520	SK286	輪花皿	2.7	11.2		6.0	鉄釉	鉄釉	大窯Ⅱa 灰釉散らし	27
521	SD0 SX9	丸皿	2.1	8.6		5.0	灰釉	灰釉	大窯Ⅱa	18
522	SD214	丸皿	2.5	10.3		5.4	灰釉	灰釉	大窯Ⅱa	21

図版番号	遺構	器種	法量(cm) 器高	口径	胴径	底径	釉薬・調整等 内面	外面	備考	登録番号
523	検出	丸皿	2.6	10.3		5.2	鉄釉	鉄釉		E－436
524	検出	折縁皿	2.2	10.6		6.0	灰釉	灰釉	大窯Ⅲ　印花有	443
525	検出	折縁菊皿	2.3	(11.2)		(5.4)	灰釉	灰釉	大窯Ⅴ　内禿	442
122－526	SK392	仏花瓶	－	－	6.6	6.1		鉄釉	大窯Ⅰ	52
527	検出	仏花瓶	－	－	9.0	5.8		鉄釉	大窯Ⅰb	51
528	検出	燭台	10.2	(7.8)	(13.8)	(5.2)	鉄釉	鉄釉	不明	50
529	検出	小杯	4.0	5.0		3.6	黄瀬戸釉	黄瀬戸釉	大窯Ⅴ	13
530	検出	鉢	4.6	(15.6)		(9.0)	黄瀬戸釉	黄瀬戸釉	大窯Ⅴ	1280
531	検出	大皿	5.4	(21.2)		(10.2)	黄瀬戸釉	黄瀬戸釉	大窯Ⅴ	45
532	SK133	大皿	5.5	(27.8)		(14.0)	黄瀬戸釉	黄瀬戸釉	大窯Ⅴ	1302
533	検出	大皿	4.8	(27.4)		(12.4)	無釉	無釉	大窯Ⅴ	43
123－534	検出	筒茶椀	7.8	9.4	10.6	5.0			黒楽	
535	検出	筒茶椀	－	－		(4.6)			赤楽	
536	検出	筒向付	－	(12.4)		－	灰釉	灰釉	灰志野　大窯Ⅳ	1217
537	SK065	香茶椀	9.5	13.6	14.5	4.6	鉄釉	鉄釉	登窯Ⅰ　織部黒	
538	検出	香茶椀	－	(13.8)		－	鉄釉	鉄釉	登窯Ⅰ　織部黒	1219
539	検出	平椀	4.7	(14.6)		(4.2)	無釉	無釉	大窯Ⅲ　焼締	1216
540	検出	筒型椀	7.0	(9.8)		(5.0)	鉄釉	鉄釉	大窯Ⅲ	1218
541	SE35	天目茶椀	6.8	12.2		4.2	銅緑釉	銅緑釉		
542	SD198	皿	－	－		(8.0)	銅緑釉	銅緑釉	大窯Ⅱb	1363
543	検出	磁器椀	6.7	11.2		4.5		青磁	肥前窯　見込に染付文有	1831
124－544	SK124	鳥形水注	13.4	13.8	15.4			鉄釉	大窯	475
545	SE97	水注	3.0	2.0	5.1	3.0	鉄釉	鉄釉	大窯Ⅲ	474
546	SP1	水滴	2.4	2.2	5.1	4.0	鉄釉	鉄釉	大窯Ⅲ	58
547	SD049	水滴	2.4	2.6	5.2	3.4	鉄釉	鉄釉	大窯Ⅲ	56
548	SD214	水滴	2.5	2.6	5.6	3.4	鉄釉	鉄釉	大窯Ⅲ	57
549	検出	蓋	－	6.6				長石釉	大窯Ⅴ	42
550	検出	鳥形水滴	－					鉄釉	大窯Ⅴ	1247
551	検出	魚形水滴	－					灰釉	登窯Ⅰ	1252
552	検出	大黒形水滴	－					灰釉	登窯Ⅰ	1249
553	検出	魚形水滴	－					灰釉	登窯Ⅰ	1248
554	SK396	羅形水滴	4.5					鉄釉	大窯Ⅴ	55
125－555	SK274	土師質犬	－							455
556	検出	土師質犬	－							448
557	SK250	土師質犬	3.5							457
558	検出	土師質犬	－							1257
559	検出	土師質犬	－							1258
560	検出	備前壺	－	－	6.1	(4.2)			備前窯、16C後半	1365
561	検出	備前壺	－	－	7.1	(4.8)			備前窯、16C後半	1366
562	検出	備前壺	－	－	6.6	(5.0)			備前窯、16C後半	1367
563	SK008	瓶鉢	－	29.6		－			備前窯	1370
564	検出	瓶鉢	－	－		－			備前窯	1369
565	SD161	鉢	6.0	(14.2)	(18.6)	(11.8)			備前窯	1371
566	検出	煮口壺	－	5.4	11.2	－			丹波窯	53
126－567	検出	白磁玉縁椀	－	(13.0)		－				1380
568	検出	白磁玉縁椀	－	(13.6)		－				1382
569	検出	白磁玉縁椀	－	(16.6)		－				1383
570	検出	白磁玉縁椀	－	(17.8)		－				1385
571	検出	白磁玉縁椀	－	(16.8)		－				1384
572	検出	白磁	－	(16.8)		－				1387
573	検出	白磁	－	－		(5.4)				1388
574	SD164	白磁	－	－		(5.4)				1390
575	検出	白磁口ハゲ椀	－	(16.0)		－				1550
576	SD164	白磁口ハゲ椀	－	(14.6)		－				1412
577	SD108	白磁口ハゲ椀	－	(14.6)		－				1417
578	検出	白磁口ハゲ椀	－	(11.8)		－				1416
579	検出	白磁口ハゲ椀	－	(11.0)		－				1433
580	SD133	白磁口ハゲ椀	－	(10.4)		－				1414
581	検出	白磁端反皿	2.8	(9.2)		(4.2)				1418
582	SD200	白磁端反皿	2.2	(11.4)		(6.4)				1433

図版番号	遺構	器種	法量(cm) 器高	口径	胴径	底径	釉薬・調整等 内面	外面	備考	登録番号
583	検出	白磁端反皿	2.7	(12.2)		(7.2)				E-1422
584	検出	白磁端反皿	−	(13.0)		−				1426
585	検出	白磁端反皿	−	(13.4)		−				1424
586	検出	白磁端反皿	3.7	(13.2)		(7.6)				1421
127−587	検出	白磁口ハゲ皿	2.8	(9.6)		(6.0)				1552
588	検出	白磁	2.5	(9.0)		(2.6)				1547
589	SD09	白磁皿	2.6	(11.0)		(3.2)				1546
590	検出	白磁	−	−		4.0				1549
591	検出	白磁	−	−		4.2				1400
592	検出	白磁	−	−		3.6				1401
593	SD133	青白磁劃花文梅	−	−		(3.0)				1431
594	SE40	白磁	−	(10.4)		−				1410
595	SE40	白磁	−	11.0		−				1411
596	SD09	青白磁	−	(13.2)		−				1435
597	検出	青白磁菊花皿	−	(12.6)		−				1438
598	検出	青白磁菊花皿	−	−		4.4				1429
599	検出	青白磁合子身	1.4	(6.8)		(6.3)				1441
600	検出	青白磁合子身	−	(3.6)		−				1440
601	検出	白磁	1.7	(4.0)		(3.2)				1408
602	検出	青白磁合子蓋	−	(5.9)						1436
603	検出	白磁合子蓋	−	(6.2)						1409
604	検出	青白磁合子蓋	−	(7.3)						1437
605	検出	白磁端反皿	−	−		2.9				1448
606	SD09	青白磁	−	−		(6.1)				1447
607	検出	青磁刻花瓶	−	−		−				1444
608	検出	青白磁合子蓋	−	(9.0)						1439
609	検出	青白磁合子蓋	−	(8.8)						1438
610	SK169	白磁	−	(9.0)		−				1402
611	SD09	青白磁鉢	−	(23.2)		−				1432
612	SD164	青磁皿	2.7	(10.3)		(3.8)				1571
613	SD133	青磁	2.4	(12.1)		(6.5)				1404
614	検出	青磁	−	(10.6)		−				1392
615	SD133	青磁	−	−		(5.2)				1405
616	SD09	青磁	−	(12.8)		−				1393
617	検出	青磁	−	−		(7.2)				1403
618	SD09	青磁	−	−		(4.0)				1394
128−619	SD133	青磁蓮弁文	−	(14.8)		−				1453
620	SE44	青磁蓮弁文	−	(14.8)		−				1454
621	SD133	青磁蓮弁文	−	(13.6)		−				1452
622	SD161	青磁	−	(13.0)		−				1461
623	検出	青磁蓮弁文梅	−	−		(4.4)				1462
624	SD133	青磁蓮弁文梅	−	(16.6)		−				1450
625	SD76	青磁蓮弁文	−	(16.2)		−				1455
626	検出	青磁蓮弁文	−	(14.6)		−				1456
627	SD133	青磁蓮弁文梅	−	(12.6)		−				1449
628	SD133	青磁	−	−		(5.4)				1451
629	SD133	青磁	−	(14.4)		−				1457
630	SD133	青磁劃花文梅	−	(15.8)		−				1458
631	検出	青磁蓮弁文梅	−	(16.4)		−				1557
632	検出	青磁	−	(13.2)		−				1459
633	検出	青磁蓮弁文梅	−	(14.2)		−				1460
634	検出	青磁	−	−		(6.0)				1465
635	検出	青磁	−	−		(5.1)				1464
129−636	SD108	青磁劃花文梅	7.0	(16.0)		(4.8)				1466
637	SD108	白磁	−	(14.6)		−				1399
638	SK360	青磁劃花文梅	−	−		(5.2)				1467
639	SD133	青磁劃花文梅	−	−		(6.0)				1468
640	SD133	青磁椀	−	(17.4)		−				1469
641	SD97	青磁椀	−	(16.8)		−				1471
642	SE45	青磁椀	−	(16.6)		−				1472

図版番号	遺構	器種	法量(cm) 器高	口径	胴径	底径	釉薬・調整等 内面	外面	備考	登録番号
643	SD205	青磁劃花文梅	−	(15.6)		−				E−1561
644	検出	青磁梅	8.2	16.2		5.4				1476
645	検出	青磁梅	−	(13.6)		−				1475
646	検出	青磁杯	3.1	(8.8)		(3.6)				1490
130−647	SD28	青磁蓮弁文梅	7.0	(12.2)		(4.6)				1477
648	SK39	青磁稜花皿	3.2	(11.2)		(5.4)				1481
649	SD161	青磁稜花皿	−	(11.6)		−				1482
650	検出	青磁稜花皿	3.5	(11.8)		(5.4)				1480
651	検出	青磁皿	1.9	(9.4)		(5.0)				1479
652	検出	青磁	−	(12.0)		−				1483
653	SD133	青磁	−	−		(3.6)				1485
654	SK139	青磁	−	−		−				1484
655	検出	青磁盤	−	(18.9)		−				1488
656	検出	青磁盤	−	(19.0)		−				1486
657	検出	青磁盤	−	(26.0)		−				1487
131−658	検出	青磁盤	5.2	(21.9)		(10.2)				1489
659	検出	黄釉盤	−	20.6		−			中国	1493
660	SD133	緑釉盤	−	(22.0)		−			中国	1495
661	検出	雑釉皿	−	(11.4)		(4.4)			朝鮮	1492
662	検出	雑釉茶梅	−	−		(5.5)			朝鮮	1491
663	SK530	雑釉徳利	−	−	(15.1)	(12.0)			朝鮮	1494
664	SK530	雑釉徳利	−	−	(17.5)	−			朝鮮	1496
132−665	SD27	青花皿	2.4	(10.2)		(2.6)				1501
666	SK96	青花皿	−	−		(3.4)				1531
667	SD200	青花皿	2.5	(10.8)		(3.0)				1506
668	SD27	青花	−	−		(3.4)				1532
669	SD162	青花	2.5	(10.0)		(3.0)				1502
670	SK461	青花	−	−		(3.2)				1533
671	検出	青花皿	1.9	(9.2)		(6.0)				1535
672	検出	青花皿	2.4	(9.2)		(4.0)				1511
673	検出	青花皿	−	(10.6)		−				1534
674	検出	青花皿	3.5	(11.8)		(6.8)				1543
675	検出	青花皿	−	(12.0)		−				1538
676	SD43	青花皿	2.7	(14.2)		(8.8)				1539
677	検出	青花皿	2.8	(11.4)		(6.2)				1536
678	SD214	青花皿	2.4	(12.4)		(6.8)				1497
679	検出	青花皿	2.6	(12.0)		(5.8)				1537
680	検出	青花皿	2.7	(14.8)		(8.8)				1549
681	検出	青花皿	−	−		(8.8)				1541
682	検出	青花皿	−	−		(6.8)				1542
683	検出	青花皿	−	−		(7.8)				1544
133−684	SK200	青花皿	−	−		(6.2)				1503
685	検出	青花	−	−		(8.8)				1509
686	SD49	青花皿	−	−		(8.8)				1504
687	検出	青花皿	−	−		(8.2)				1514
688	SD24	青花皿	−	−		−				1505
689	検出	青花皿	−	−		(9.8)				1545
690	SK139	青花	−	−		(10.0)				1508
691	SD27	青花梅	−	(16.2)		−				1498
692	SD170	青花梅	−	(13.4)		−				1499
693	SE44	青花梅	−	(11.4)		−				1525
694	検出	青花梅	−	(12.0)		−				1526
695	検出	青花梅	−	(10.2)		−				1529
696	検出	青花杯	4.7	(8.4)		(3.6)				1528
697	SD76	青花梅	−	(10.0)		−				1500
698	SE82	青花梅	−	−		(5.4)				1515
699	検出	青花梅	−	−		(5.4)				1529
700	検出	青花	−	−		(4.4)				1516
701	検出	青花皿	−	−		(4.6)				1517
702	検出	青花	−	−		(4.0)				1513

図版番号	遺構	器種	法量(cm) 器高	口径	胴径	底径	釉薬・調整等 内面	外面	備考	登録番号
703	SD200	青花	−	(7.0)		−				E−1518
704	SD200	青花杯	−	−		(2.6)				1519
705	検出	青花小杯	−	−		(2.4)				1530
134−706	SE17	青花鉢	−	(27.6)		−				1522
707	検出	青花大皿	−	(30.4)		−				1523
708	SK26	青花鉢	−	(29.6)		−				1520
709	検出	青花鉢	−	−		(12.0)				1521
710	SK139	青花	−	−		−				1524
135−711	SK375	鉄釉茶椀	6.9	(10.2)		(3.6)	鉄釉	鉄釉	登窯Ⅳ	1135
712	SK375	鉄釉茶椀	6.9	(10.6)		(5.0)	鉄釉	鉄釉	登窯Ⅳ	1136
713	SK375	鐵錆茶椀	5.6	(10.8)		(5.2)	鉄釉	鉄釉	登窯Ⅶ	1134
714	SK375	椀	6.0	(9.2)		(4.6)	灰釉	灰釉	登窯Ⅶ	1138
715	SK375	椀	6.0	(8.6)		(4.6)	灰釉	灰釉		1139
716	SK375	椀	−	−		(4.8)	灰釉	灰釉		1137
717	SK375	御深井輪禿皿	2.1	(12.4)		(7.2)	灰釉	灰釉	登窯Ⅱ,電の内熱面に付着	1142
718	SK375	御深井輪禿皿	2.8	(11.6)		(6.2)	灰釉	灰釉	登窯Ⅱ,電の内熱面に付着	1143
719	SK375	御深井輪禿皿	−	−		(6.2)	灰釉	灰釉	登窯Ⅱ,電の内熱面に付着	1144
720	SK375	御深井輪禿皿	−	−		(6.8)	灰釉	灰釉	登窯Ⅱ,電の内熱面に付着	1145
721	SK375	御深井輪禿皿	−	−		(6.8)	灰釉	灰釉	登窯Ⅱ,電の内熱面に付着	1146
722	SK375	皿	2.4	(13.0)		(6.8)	灰釉	灰釉	登窯Ⅲ	1140
723	SK375	笠原鉢	−	(35.0)		−	灰釉	灰釉	登窯Ⅱ	1147
724	SK375	擂鉢	−	(34.0)		−	鉄釉	鉄釉	登窯Ⅳ	1148
725	SK375	擂鉢	−	(32.4)		−	鉄釉	鉄釉	登窯Ⅵ	1149
726	SK375	火鉢	5.9	(21.0)		(15.0)			素滑窯　江戸	1151
727	SK375	火鉢	6.6	(25.0)		(15.6)			素滑窯　江戸	1150
728	SK375	土師器皿	1.4	3.4						1152
729	SK375	土師器皿	1.1	3.4						1153
730	SK375	土師器皿	1.1	3.2						1154
731	SK375	土師器皿	1.1	3.8		2.9				1155
732	SK375	瓦器椀	−	(6.2)		−			肥前窯	1158
733	SK375	瓦器椀	−	(7.0)		−			肥前窯	1157
734	SK375	瓦器椀	5.6	(10.6)		(4.4)			肥前窯	1156
136−735	SD49	天目茶椀	−	−		(4.4)	鉄釉	鉄釉	大窯Ⅱa	999
736	SD49	天目茶椀	−	−		(4.2)	鉄釉	鉄釉	登窯Ⅰ	1001
737	SD49	内禿皿	2.3	(10.0)		(5.8)	灰釉	灰釉	大窯Ⅱb	1002
738	SD49	徳利	−	−	12.4	(13.0)	鉄釉	鉄釉	大窯Ⅲ	1017
739	SD49	瓦灯皿	−	(10.6)		−	長石釉	長石釉	大窯Ⅴ	1005
740	SD49	丸皿	−	(8.6)		−	長石釉	長石釉	大窯Ⅴ	1011
741	SD49	重箱皿	1.4	(10.0)		(4.2)	無釉	無釉	大窯	1019
742	SD49	水注	−	−	8.4	(6.6)	鉄釉	鉄釉	大窯	1013
743	SD49	片口鉢	−	(12.0)	11.9	−	長石釉	長石釉	大窯Ⅴ	1023
744	SD49	天目茶椀	−	(11.8)		−	鉄釉	鉄釉	登窯Ⅰ	1000
745	SD49	丸皿	2.7	(12.4)		(7.1)	長石釉	長石釉	登窯Ⅰ	1006
746	SD49	鉄絵丸皿	−	(11.4)		−	長石釉	長石釉	登窯Ⅰ	1008
747	SD49	鉄絵丸皿	−	(12.2)		−	長石釉	長石釉	登窯Ⅰ	1007
748	SD49	鉄絵折縁皿	2.5	(12.2)		(7.0)	灰釉	灰釉	登窯Ⅰ	1010
749	SD49	壺	−	−		(10.0)	鉄釉	鉄釉	登窯	1018
750	SD49	鉢	7.7	(30.8)		(17.2)	灰釉	灰釉	登窯	956
751	SD49	鉢	7.3	(16.3)		(9.2)	灰釉	灰釉	登窯	958
137−752	SD49	丸椀	−	(14.4)		−	灰釉	灰釉	呉須絵有	928
753	SD49	丸椀	−	(11.6)		−	灰釉	灰釉		931
754	SD49	丸椀	−	(10.8)		−	灰釉	灰釉		927
755	SD49	丸椀	−	−		(4.3)	灰釉	灰釉		926
756	SD49	御室茶椀	−	−		(5.6)	灰釉	灰釉		925
757	SD49	鐵錆椀	6.8	(9.8)		(5.0)	灰釉	鉄釉		919
758	SD49	鐵錆椀	5.8	(10.0)		(4.8)	灰釉	鉄釉		921
759	SD49	御室茶椀	6.7	(10.6)		(5.8)	灰釉	灰釉		930
760	SD49	御室茶椀	6.5	(9.8)		(4.6)	灰釉	灰釉		929
761	SD49	椀	6.7	(10.2)		(5.2)	灰釉	灰釉		923
762	SD49	椀	5.7	(10.2)		(3.8)	灰釉	鉄釉		922

図版番号	遺構	器種	法量(cm) 器高	口径	胴径	底径	釉薬・調整等 内面	外面	備考	登録番号
763	SD49	椀	−	(11.0)		−	灰釉	灰釉		E−932
764	SD49	腰錆椀	−	(10.0)		−	灰釉	灰釉		920
765	SD49	椀	−	(10.2)		−	灰釉	灰釉		915
766	SD49	尾呂茶椀	−	(11.2)		−	鉄釉	鉄釉		935
767	SD49	尾呂茶椀	8.2	(10.8)		5.2	鉄釉	鉄釉		936
768	SD49	尾呂茶椀	−	−		5.3	鉄釉	鉄釉		934
769	SD49	天目茶椀	−	(10.2)		−	鉄釉	鉄釉		933
770	SD49	よろい茶椀	−	−		3.9				918
771	SD49	小椀	4.0	(7.6)		(3.6)	灰釉	灰釉		914
772	SD49	小椀	4.5	(8.2)		(3.4)	灰釉	灰釉		916
138−773	SD49	丸皿	2.6	(12.0)		(6.4)	灰釉	灰釉		944
774	SD49	輪禿皿	2.9	12.7		6.1	灰釉	灰釉		945
775	SD49	丸皿	3.0	(11.8)		(6.3)	灰釉	灰釉		946
776	SD49	丸皿	2.8	12.5		6.1	灰釉	灰釉		947
777	SD49	丸皿	3.2	(13.6)		(6.7)	灰釉	灰釉		948
778	SD49	摺絵皿	2.8	(13.0)		(7.2)	灰釉	灰釉		949
779	SD49	摺絵皿	3.0	(13.2)		(7.6)	灰釉	灰釉		952
780	SD49	摺絵皿	2.6	(13.4)		(7.6)	灰釉	灰釉		953
781	SD49	摺絵皿	2.7	(13.0)		(7.0)	灰釉	灰釉		951
782	SD49	摺絵皿	2.9	(12.4)		(7.2)	灰釉	灰釉		950
783	SD49	摺絵皿	−	−		(6.8)	灰釉	灰釉		954
784	SD49	摺絵皿	−	(11.1)		−	灰釉	灰釉		943
785	SD49	丸皿	−	(12.6)		−	灰釉	灰釉		955
786	SD49	灯明皿	1.6	7.8		4.7	灰釉	灰釉		942
787	SD49	灯明皿	1.6	7.4		4.4	灰釉	灰釉		937
788	SD49	灯明皿	2.1	(8.6)		(5.3)	灰釉	灰釉		938
789	SD49	灯明皿	1.9	9.0		4.4	灰釉	灰釉		940
790	SD49	灯明皿	1.8	9.3		4.2	灰釉	灰釉		941
791	SD49	乗燭	1.7	(11.0)		(5.4)	鉄釉	鉄釉	登窯Ⅷ	975
792	SD49	乗燭	4.6	5.3	6.6	4.6	鉄釉	鉄釉		973
793	SD49	乗燭	2.4	(9.0)		(4.6)	灰釉	灰釉		974
139−794	SD49	鉢	4.1	(19.8)		(9.0)	灰釉	灰釉		957
795	SD49	笠原鉢	4.3	(21.8)		(10.6)	灰釉	灰釉		960
796	SD49	鉢	−	(22.0)		−	鉄釉	鉄釉		963
797	SD49	大鉢	−	−		10.8	鉄釉	鉄釉		965
798	SD49	半胴甕	−	(18.8)		(12.6)	鉄釉	鉄釉		972
799	SD49	香炉[1]	−	(10.6)		−	灰釉	灰釉		969
800	SD49	香炉[2]	−	−		(5.6)	灰釉	灰釉		968
801	SD49	火入れ	−	(10.1)		−	鉄釉 鉄釉	鉄釉 鉄釉		970
802	SD49	茶入れ	−	−	7.9	−	鉄釉	鉄釉	登窯Ⅲ	1012
803	SD49	釜	2.0	7.8	9.9			鉄釉		971
804	SD49	俵諸徳	−	−	−	7.4	鉄釉	鉄釉		966
805	SD49	甕	−	−	−	(7.7)	鉄釉	鉄釉		967
140−806	SD49	擂鉢	−	(33.0)		−	鉄釉	鉄釉	登窯Ⅳ	979
807	SD49	擂鉢	−	(33.2)		−	鉄釉	鉄釉	登窯Ⅵ	978
808	SD49	砧巻	−	(29.0)						997
809	SD49	砧巻	−	(30.6)						998
810	SD49	土師器皿	1.6	(9.0)		(5.8)			底部切糸痕有	981
811	SD49	土師器皿	1.7	(9.0)		(5.4)			底部切糸痕有	982
812	SD49	土師器皿	1.9	(9.8)		(6.0)			底部切糸痕有	983
813	SD49	土師器皿	1.6	(9.8)		(5.8)			底部切糸痕有	984
814	SD49	土師器皿	1.8	(8.2)		(4.6)			底部切糸痕有	985
815	SD49	土師器皿	1.7	(9.0)		(5.0)			底部切糸痕有	986
816	SD49	土師器皿	1.8	(8.8)		(4.6)			底部切糸痕有	987
817	SD49	須恵椀	4.5	(8.9)		(3.5)			肥前窯	995
818	SD49	須恵椀	−	(9.0)		−			肥前窯	988
819	SD49	須恵椀	−	−		3.7			肥前窯	989
820	SD49	須恵小椀	−	(6.8)		−			肥前窯	992
821	SD49	須恵椀	−	(8.8)		−			肥前窯	990
822	SD49	須恵椀	−	(9.2)		−			肥前窯	991

図版番号	遺構	器種	法量(cm) 器高	口径	胴径	底径	釉薬・調整等 内面	外面	備考	登録番号
823	SD49	磁器仏飯具	6.5	(8.0)		4.1			肥前窯	E−994
824	SD49	磁器皿	2.9	(13.3)		(8.3)			肥前窯	993
141−825	SD11	御室茶椀	−	(11.8)		−	灰釉	灰釉	登窯Ⅴ、18C前半	1160
826	SD11	御室茶椀	6.2	(9.5)		(4.4)	灰釉	灰釉	登窯Ⅴ、18C前半	1161
827	SD11	尾呂茶椀	−	−		5.2	鉄釉	鉄釉	登窯Ⅳ、18C初	1159
828	SD11	小杯	−	(6.7)		−	灰釉	灰釉	登窯Ⅴ、18C前半	1162
829	SD11	小杯	−	(6.6)		−	灰釉	灰釉	登窯Ⅴ、18C前半	1163
830	SD11	鉄絵皿	2.5	(11.6)		6.0	長石釉	長石釉	登窯Ⅰ	1165
831	SD11	菊皿	4.0	(13.6)		6.6	鉄釉 鉄釉	鉄釉 鉄釉	登窯Ⅲ	1167
832	SD11	丸皿	−	(11.7)		−	灰釉	灰釉	登窯Ⅱ・Ⅲ	1164
833	SD11	折縁鉢	−	(19.4)		−	灰釉	灰釉		1166
834	SD11	足付鉢	3.3	(18.6)		(14.0)	灰釉	灰釉	登窯Ⅱ	1173
835	SD11	磁器皿	3.2	13.2		8.2			18C後半　肥前窯	1175
836	SD11	水注	−	(5.0)		−		鉄釉	登窯Ⅲ	1168
837	SD11	香炉[3]	9.0	(13.6)		(8.4)	灰釉	灰釉	登窯Ⅲ	1169
838	SD11	笠原鉢	−	(34.8)		−	灰釉	灰釉	登窯Ⅱ	1170
839	SD11	擂鉢	−	(33.8)		−	鉄釉	鉄釉	登窯Ⅴ	1171
840	SD11	内耳鍋	−	(34.8)						1174
841	SD11	土鉢								1176
142−842	SK305	丸皿	−	−		(12.6)	灰釉	灰釉	登窯Ⅱ・Ⅲ	336
843	SK305	皿	−	−		(5.4)	灰釉	灰釉	登窯Ⅲ	337
844	SK305	輪禿皿	−	−		(5.8)	灰釉	灰釉	登窯Ⅱ	338
845	SK305	折縁鉢	−	(28.6)		−	灰釉	灰釉	登窯Ⅱ	339
846	SK305	鉢	−	−		(17.0)	灰釉	灰釉	登窯Ⅱ	340
847	SK305	丸椀	−	13.6		−	鉄釉	鉄釉	登窯Ⅳ　18C初	319
848	SK305	丸椀	−	−		(6.0)	灰釉	灰釉	17C末−18C初	325
849	SK305	椀	−	−		(5.6)	灰釉	灰釉	17C末−18C初	358
850	SK305	椀	−	−		(4.8)	鉄釉	鉄釉	17C末−18C初	359
851	SK305	丸椀	−	−		(4.4)	灰釉	灰釉	登窯Ⅶ、18C末	324
852	SK305	椀	−	−		4.1	灰釉	灰釉	18C代？	369
853	SK305	丸椀	−	(11.0)		−	灰釉	灰釉	登窯Ⅵ、18C中	326
854	SK305	丸椀	−	11.1		−	灰釉	灰釉	登窯Ⅶ、18C末	320
855	SK305	椀	−	−		(4.6)	灰釉	灰釉	18C末	361
856	SK305	椀	−	−		(3.5)	灰釉	灰釉	18C末	362
857	SK305	椀	−	−		(4.8)	灰釉	灰釉	18C末	360
858	SK305	丸椀	−	10.4		−	灰釉	灰釉	18C末	321
859	SK305	筒形椀	−	9.8	−	−	灰釉	灰釉	18C末	323
860	SK305	筒形椀	−	(10.0)		−	灰釉	灰釉	18C末	329
861	SK305	丸皿	−	(13.0)		−	灰釉	灰釉	18C末	334
862	SK305	丸皿	−	(17.0)		−	灰釉	灰釉	18C末	335
143−863	SK305	丸椀	−	(12.0)		−	灰釉	灰釉	18C末　鳥獣の笹文	363
864	SK305	丸椀	−	(11.0)		−	灰釉	灰釉	18C末　上絵付	365
865	SK305	筒形椀	−	(9.4)		−	灰釉	灰釉	18C末　上絵付	338
866	SK305	筒形椀	−	(9.4)		−	灰釉	灰釉	18C末　上絵付	366
867	SK305	柳茶椀	6.0	12.4		4.6	灰釉	灰釉	19Cはいる	322
868	SK305	丸椀	−	(11.2)		−	灰釉	灰釉	19C	364
869	SK305	丸椀	(5.5)	(9.4)		(4.4)	灰釉	灰釉	19C	327
870	SK305	筒形よろい茶椀	−	(7.4)		−	鉄釉	鉄釉	18C末	368
871	SK305	壺	−	−		(5.4)		灰釉	18C代	349
872	SK305	浮鉢	−	(13.8)		−	灰釉	灰釉	18C後半	351
873	SK305	鉢	−	(17.4)		−	鉄釉	鉄釉	18C後半	347
874	SK305	半胴甕	−	(10.0)		−	鉄釉	鉄釉	18C後半	348
875	SK305	土瓶	−	−		−	鉄釉	鉄釉	登窯Ⅱ	356
876	SK305	瓶徳利	15.7	7.2		8.4	鉄釉	鉄釉	18C前半	379
144−877	SK305	擂鉢	−	(27.0)		−	鉄釉	鉄釉	18C第4四半期	380
878	SK305	擂鉢	−	(30.6)		−	鉄釉	鉄釉	18C第4四半期	381
879	SK305	椀	−	(10.2)		−	鉄釉	鉄釉	19C	367
880	SK305	火入れ	7.5	9.6		7.8		鉄釉	19C　上絵付	355
881	SK305	小壺	−	(9.8)		−	灰釉	灰釉		373
882	SK305	香炉[3]	3.6	(6.6)		2.5		長石釉		372

図版番号	遺構	器種	法量(cm) 器高	口径	胴径	底径	釉薬・調整等 内面	外面	備考	登録番号
883	SK305	落し蓋	1.8	7.4		3.7	無釉	無釉		E-370
884	SK305	茶入れ	−	−	5.1	(2.4)		鉄釉	登窯 江戸	341
885	SK305	仏飯具	−	−	−	(4.4)	灰釉	灰釉	19C	342
886	SK305	香合	4.0	6.4		4.7	灰釉	灰釉	19C	346
887	SK305	把手付鉢	3.3	(5.3)		(4.5)	灰釉	灰釉	江戸	345
888	SK305	燭台	2.6	5.8		3.1	灰釉	灰釉	19C	344
889	SK305	十能					鉄釉	鉄釉	19C	357
890	SK305	円板					鉄釉	鉄釉		404
891	SK305	円板					鉄釉	鉄釉		405
892	SK305	円板					鉄釉	鉄釉		406
145−893	SK305	徳利	16.2	(2.4)		(5.8)		鉄釉	19C	378
894	SK305	徳利	−	−		−		鉄釉	19C	376
895	SK305	徳利	−	−		(6.0)		鉄釉	19C	377
896	SK305	徳利	−	−	10.8	(6.0)		鉄釉	19C	375
897	SK305	徳利	−	−	8.8	5.4	灰釉	灰釉	19C	374
898	SK305	火鉢	−	(27.0)		−		鉄釉	19C	354
899	SK305	捏鉢	−	−		(12.8)	灰釉	灰釉	19C	353
900	SK305	捏鉢	−	−		(12.2)	灰釉	灰釉	19C	352
146−901	SK305	丸瓶	−	(9.0)		−	染付	染付	19C初	383
902	SK305	丸瓶	−	(9.8)		−	染付	染付	19C初	384
903	SK305	白磁端反皿	3.0	11.8		5.6			明末	388
904	SK305	輪禿丸皿	2.8	14.6		8.2	染付	染付	19C初	385
905	SK305	輪禿丸皿	3.5	14.0		7.4	染付	染付	18C後半	386
906	SK305	土師器皿	1.5	(9.0)		(5.0)				403
907	SK305	人形	−							401
908	SK305	人形	−							402
909	SK305	火鉢	−	(16.2)	20.6	−				390
910	SK305	火鉢	−	(32.2)	23.9	−				391
911	SK305	甕	−	(19.4)		−			18C後半	392
147−912	SK305	火鉢	12.1	(33.2)		(20.2)				389
913	SK305	内耳鍋	−	18.8						398
914	SK305	内耳鍋	−	30.2						400
915	SK305	鍋	19.0	(31.8)		(14.4)				396
916	SK305	甕	−	(38.6)		−				393
148−917	SK139	丸瓶	−	9.4		−			18C末 上絵付	274
918	SK139	丸瓶	−	9.2		−			18C末 上絵付	275
919	SK139	筒形小瓶	−			4.4		染付	18C末	276
920	SK139	丸皿	3.8	(13.8)		(6.6)	染付	染付	18C末	270
921	SK139	丸皿	3.7	(13.8)		(6.6)	染付	染付	18C末	271
922	SK139	丸皿	3.9	13.2		6.4	染付	染付	18C末	272
923	SK139	丸瓶	−	(10.5)		−	染付	染付		257
924	SK139	丸瓶	5.0	(9.8)		(3.8)	染付	染付	19C (50年代)	255
149−925	SK139	広東茶椀	6.5	(11.2)		(6.0)	染付	染付	見込 五弁花? 19C初	249
926	SK139	広東茶椀	6.5	(11.4)		(6.0)	染付	染付	輪ハケ目 見込角 19C初	247
927	SK139	広東茶椀	6.9	(11.6)		(6.0)	染付	染付	見込 舟 19C初	248
928	SK139	広東茶椀	6.5	(11.6)		(6.2)	染付	染付	蝋抜輪? 見込 花 19C初	250
929	SK139	広東茶椀	6.2	(11.4)		(6.0)	染付	染付	見込 五弁花	251
930	SK139	広東茶椀	5.8	(10.8)		(5.4)	染付	染付	見込 五弁花 19C初	252
931	SK139	広東茶椀	5.6	(9.8)		(5.0)	染付	染付	見込 五弁花 19C	254
932	SK139	広東茶椀	5.8	(10.2)		(5.2)	染付	染付	見込 五弁花 19C後半	253
933	SK139	鉄絵輪禿皿	−	−		6.2	染付	染付	18C終	273
150−934	SK139	筒形椀	−	(7.4)		−	染付	染付	19C	258
935	SK139	筒形椀	5.6	(7.0)		(3.0)	染付	染付	19C	259
936	SK139	筒形椀	5.8	(6.8)		(3.0)	染付	染付	19C	260
937	SK139	丸瓶	6.0	10.5		4.3	染付	染付	19C末	261
938	SK139	端反小椀	5.3	9.6		4.1	染付	染付	19C末	262
939	SK139	端反小椀	4.6	9.8		3.8	染付	染付		267
940	SK139	端反小椀	5.1	9.5		3.7	染付	染付	19C末	264
941	SK139	小椀	5.1	9.2		3.8	染付	染付		266
942	SK139	端反小椀	4.8	9.0		4.0	染付	染付	19C末	265

図版番号	遺構	器種	法量(cm) 器高	口径	胴径	底径	釉薬・調整等 内面	外面	備考	登録番号
943	SK139	小椀	5.4	(9.8)		(4.1)	染付	染付		E-263
944	SK139	小丸椀	4.7	8.6		4.2	染付	染付		268
945	SK139	小丸椀	3.3	(9.2)		(5.0)	染付	染付	墓末	269
151-946	SK139	徳利	−	−	9.4	6.8		鉄釉	19C	282
947	SK139	徳利	16.5	(1.8)		5.8		灰釉	19C	283
948	SK139	壺	−	−		(11.8)		鉄釉		287
949	SK139	鉢	−	(14.6)		−	灰釉	灰釉	19C	279
950	SK139	片口擂鉢	8.0	(16.4)		(6.0)	灰釉	灰釉	19C	280
951	SK139	擂鉢	−	(25.6)		(13.8)	灰釉	灰釉	19C	281
952	SK139	鍋	−	(22.0)		−	鉄釉	鉄釉	墓末	292
953	SK139	折縁鉢	−	(19.6)		−	灰釉	灰釉	19C	278
954	SK139	馬目皿	−	25.4		−			19C	277
955	SK139	土瓶	−	(7.6)		−				286
152-956	SK139	甕	−	(19.2)	−	−	鉄釉	鉄釉	墓末	290
957	SK139	甕	−	−	−	(26.0)	鉄釉	鉄釉	墓末	291
958	SK139	瓶掛け	−	−		−	ルス釉	ルス釉	19C	284
959	SK139	甕	−	−	−	(21.0)	鉄釉	鉄釉	墓末 墨書有	289
960	SK139	把手付鉢入れ	2.4	5.1		4.8	灰釉	灰釉	墨書有	298
961	SK139	象嵌	2.2	(4.6)		(2.4)	灰釉	灰釉	墓末	301
962	SK139	蓋物の身	−	4.0		−		灰釉		296
963	SK139	甕	−	−		9.4	灰釉	灰釉	墓末	288
964	SK139	徳利	−	(3.8)	−	−	鉄釉	鉄釉	19C	285
965	SK139	仏板具	−	−		4.0	灰釉	灰釉	墓末	293
966	SK139	小壺	−	−	4.1	2.9		灰釉		297
967	SK139	蓋	−	−	10.2			鉄釉	墓末	294
968	SK139	蓋	1.1	(8.2)				灰釉	墓末	295
153-969	SK139	磁器水滴	2.7							299
970	SK139	磁器水滴	−							300
971	SK139	磁器紅皿	0.9	(2.3)		(0.6)			19C	304
972	SK139	磁器紅皿	1.2	(4.6)		(1.6)			19C	303
973	SK139	磁器紅皿	2.4	(4.8)		(2.2)			19C	302
974	SK139	円板					灰釉	灰釉	梅片	306
975	SK139	磁器円板							壺片	307
976	SK139	円板					鉄釉	鉄釉	すりばち片	308
977	SK139	円板					鉄釉	鉄釉	甕片	309
978	SK139	円板					鉄釉	鉄釉	甕片	310
979	SK139	人形	3.0						恵比須	311
980	SK139	内耳鍋	−	32.6						313
981	SK139	内耳鍋	−	43.8						312
982	SK139	蚊いぶし	20.7			15.9				314
154-983	SK139	七輪	−	(20.6)		(17.2)				315
984	SK139	蚊いぶし	30.0	(21.0)		(16.0)				316
155-985	検出	瓦質風呂	−	(27.6)	−	−				1374
986	SD133	瓦質風呂	−	(25.4)	−	−				1373
987	SD108	瓦質風呂	−	(31.8)	−	−				1814
988	SD108	瓦質風呂	−	−	(43.2)	−				1815
156-989	SD133	瓦質鉢	9.6	(40.4)		(37.0)				1372
990	SD108	瓦質鉢	11.8	35.2		27.6				1801
991	検出	瓦質風呂	(24.0)	30.2	34.8	18.0				
992	SD108	瓦質風呂	−	−		−				1378
993	SD108	瓦質風呂	−	−		−				1377

図版番号	登録番号	器　種	法　量			備　考		遺構番号
157－1	59D－W－1	椀A類	口径14.0cm	底径7.2cm	器高8.6cm	外面黒色塗，内面赤色塗	横木取	SD177
2	59D－W－2	椀A類	口径14.4cm	底径6.0cm	器高9.4cm	外面黒色塗，内面赤色塗	横木取	SD177
3	59D－W－3	椀A類	口径13.2cm	底径6.6cm	器高8.6cm	外面黒色塗，内面赤色塗	横木取	SD177
4	59D－W－4	椀A類	口径15.6cm	底径7.4cm	器高7.4cm	外面黒色塗，内面赤色塗	横木取	SD177
5	59D－W－5	椀A類	口径11.8cm	底径4.8cm	器高6.4cm	外面黒色塗，内面赤色塗	横木取	SD177
6	59D－W－6	椀A類	口径12.4cm	底径6.0cm	器高6.2cm	外面黒色塗，内面赤色塗	横木取	SD177
7	59D－W－7	椀B類	口径12.2cm	底径6.4cm	器高5.0cm	外面，内面黒色塗	横木取	SD177
8	59D－W－8	椀B類	口径13.2cm	底径4.6cm	器高7.0cm	外面，内面黒色塗	横木取	SD177
9	59D－W－9	椀B類	口径12.8cm	底径6.0cm	器高6.0cm	外面黒色塗，内面赤色塗	横木取	SD177
10	59D－W－10	椀B類	口径12.4cm	底径6.0cm	器高4.2cm	外面黒色塗，内面赤色塗	横木取	SD177
11	59D－W－11	椀B類	口径12.6cm	底径6.4cm	器高4.0cm	外面黒色塗，内面赤色塗	横木取	SD177
12	59D－W－12	椀B類	口径13.0cm	底径6.3cm	器高5.1cm	外面黒色塗，内面赤色塗	横木取	SD177
13	59D－W－13	椀B類	口径12.8cm	底径5.4cm	器高4.0cm	外面，内面赤色塗，外面底部黒色塗	横木取	SD177
14	59D－W－14	椀B類	口径10.2cm	底径5.8cm	器高1.8cm	外面，内面赤色塗，外面底部黒色塗	横木取	SD177
15	59D－W－15	香合身	口径6.4cm	底径6.4cm	器高2.3cm	外面，内面黒色塗	――	SD177
16	59D－W－16	香合蓋	直径5.8cm	厚5.0.7cm		外面，内面黒色塗	――	SD177
17	59D－W－17	曲物蓋(桶?)	口径13.4cm	底径13.4cm	器高6.6cm	底板に程皮が3ヶ所あり	柾目板	SD177
18	59D－W－18	曲物蓋	口径13.8cm	底径13.8cm	器高8.0cm	底板側面に穴が7ヶあり	柾目板	SD177
158－19	59D－W－19	曲物蓋(桶?)	口径11.8cm	器高6.3cm	長9.14.6cm	底板に程皮が3ヶ所あり	柾目板	SD177
20	59D－W－20	曲物蓋	口径13.4cm	底径13.4cm	器高6.5cm	底板に程皮が4ヶ所あり	柾目板	SD177
21	59D－W－21	曲物蓋	口径23.1cm	底径23.1cm	器高7.0cm	底板に孔が5ヶあり	柾目板	SD177
22	59D－W－22	曲物蓋側板	口径19.8cm	器高5.3cm			柾目板	SD177
23	59D－W－23	曲物蓋	口径13.1cm	底径14.0cm	器高7.5cm	底板に穴が8ヶあり	柾目板	SD177
24	59D－W－24	曲物蓋底板	直径11.4cm	厚5.0.8cm			柾目板	SD177
25	59D－W－25	曲物蓋底板	直径11.0cm	厚5.0.6cm		穴が12ヶあり	柾目板	SD177
26	59D－W－26	曲物蓋底板	長さ11.7cm	幅5.0cm	厚さ0.6cm	桜皮が1ヶ所あり	柾目板	SD177
27	59D－W－27	折敷脚部	長さ42.0cm	幅1.4cm	厚5.0.8cm	孔が1ヶあり	板目材	SD177
159－28	59D－W－28	曲物輪	口径7.4cm	底径7.4cm	器高4.5cm	底板に穴が2ヶ所あり	柾目板	SD177
29	59D－W－29	曲物輪底板	直径5.2cm	厚5.0.3cm		表面に傷が「コ」の字状にあり	柾目板	SD177
30	59D－W－30	曲物輪底板	直径5.2cm	厚5.0.6cm		表面に黒色漆が残存する	柾目板	SD177
31	59D－W－31	曲物輪底板	直径5.3cm	厚5.0.6cm			柾目板	SD177
32	59D－W－32	曲物輪底板	直径6.0cm	厚5.0.4cm			柾目板	SD177
33	59D－W－33	曲物輪底板	直径7.4cm	厚5.0.6cm			柾目板	SD177
34	59D－W－34	曲物樽受け台	長さ23.0cm	幅2.6cm	厚さ0.7cm	孔が全部で4ヶ所あり	板目板	SD177
35	59D－W－35	結桶側板	長さ24.6cm	幅5.8cm	厚5.0.8cm	内面に鼓板の，外面にタガの圧痕あり	板目板	SD177
36	59D－W－36	結桶側板	長さ22.1cm	幅4.4cm	厚5.1.4cm	内面に鼓板の，外面にタガの圧痕あり	板目板	SD177
37	59D－W－37	結桶底板	長さ23.0cm	幅4.6cm	厚5.1.2cm		板目板	SD177
38	59D－W－38	結桶底板	長さ29.3cm	幅6.5cm	厚5.1.2cm	接合面に竹釘が3ヶ残存	柾目板	SD177
39	59D－W－39	結桶底板	長さ30.2cm	幅3.1cm	厚5.1.2cm	孔が多数あり	柾目板	SD177
40	59D－W－40	くさび	長さ11.8cm	幅2.7cm	厚5.1.7cm		柾目板	SD177
41	59D－W－41	くさび	長さ12.4cm	幅2.9cm	厚5.1.6cm		板目板	SD177
160－42	59D－W－42	折敷底板C類	長さ16.7cm	幅15.9cm	厚5.0.2cm	孔が2ヶ所に2ヶづつあり	柾目板	SD177
43	59D－W－43	折敷底板C類	長さ16.7cm	幅8.0cm	厚5.0.4cm	孔が2ヶあり	柾目板	SD177
44	59D－W－44	折敷底板C類	長さ16.7cm	幅5.0cm	厚5.0.2cm	孔が2ヶあり	柾目板	SD177
45	59D－W－45	折敷底板C類	長さ16.7cm	幅4.0cm	厚5.0.2cm		柾目板	SD177
46	59D－W－46	折敷底板C類	長さ17.0cm	幅4.0cm	厚5.0.2cm		柾目板	SD177
47	59D－W－47	折敷底板C類	長さ16.4cm	幅14.8cm	厚5.0.2cm	孔が2ヶあり	柾目板	SD177
48	59D－W－48	折敷底板C類	長さ16.4cm	幅12.1cm	厚5.0.2cm	孔が2ヶあり	柾目板	SD177
49	59D－W－49	折敷底板C類	長さ16.7cm	幅7.4cm	厚5.0.2cm	孔が2ヶあり	柾目板	SD177
50	59D－W－50	折敷底板B類	長さ17.5cm	幅6.9cm	厚5.0.2cm	孔が2ヶあり	柾目板	SD177
51	59D－W－51	折敷底板B類	長さ24.6cm	幅11.8cm	厚5.0.4cm	表面に微細な傷が多数あり	柾目板	SD177
52	59D－W－52	折敷底板B類	長さ23.2cm	幅2.7cm	厚5.0.5cm		柾目板	SD177
53	59D－W－53	折敷底板B類	長さ23.6cm	幅4.2cm	厚5.0.4cm		柾目板	SD177
54	59D－W－54	折敷底板B類	長さ20.4cm	幅4.0cm	厚5.0.3cm	孔が2ヶあり，表面に微細な傷あり	柾目板	SD177
55	59D－W－55	折敷底板C類	長さ17.8cm	幅4.3cm	厚5.0.4cm	孔が1ヶあり	板目板	SD177
56	59D－W－56	折敷底板B類	長さ10.2cm	幅7.2cm	厚5.0.4cm	孔が3ヶあり，側板の圧痕あり	柾目板	SD177
57	59D－W－57	折敷底板D類	長さ9.9cm	幅3.5cm	厚5.0.6cm	孔が1ヶあり	柾目板	SD177
58	59D－W－58	折敷底板D類	長さ1.8cm	幅6.4cm	厚5.0.2cm	孔が2ヶあり	柾目板	SD177
59	59D－W－59	折敷底板A類	長さ21.4cm	幅23.0cm	厚5.1.0cm	孔が合計8ヶあり，側板あり	柾目板	SD177
161－60	59D－W－60	折敷底板B類	長さ32.0cm	幅6.5cm	厚5.0.6cm	桜皮が1ヶ所にあり	板目板	SD177
61	59D－W－61	折敷底板A類	長さ28.5cm	幅4.8cm	厚5.0.5cm	桜皮が合計4ヶ所にあり	板目板	SD177
62	59D－W－62	箱物	長さ8.0cm	幅24.0cm	厚5.0.8cm	孔が1ヶあり，穴が合計6ヶあり	柾目板	SD177
63	59D－W－63	箱物	長さ9.8cm	幅14.2cm	厚5.0.6cm	巨大な孔が1ヶあり	柾目板	SD177
64	59D－W－64	不明	長さ7.5cm	幅4.7cm	厚5.0.4cm		柾目板	SD177
65	59D－W－65	不明	長さ5.6cm	幅3.8cm	厚5.0.3cm		柾目板	SD177
66	59D－W－66	不明	長さ4.2cm	幅7.4cm	厚5.0.7cm	孔が1ヶあり	柾目板	SD177
67	59D－W－67	不明	長さ25.0cm	幅6.1cm	厚5.0.5cm	孔が全部で6ヶあり	柾目板	SD177
68	59D－W－68	不明	長さ21.6cm	幅5.1cm	厚5.0.6cm	孔が全部で4ヶあり	板目板	SD177
69	59D－W－69	建具類?	長さ14.6cm	幅1.6cm	厚5.0.6cm	孔が1ヶ？穴が1ヶあり	板目板	SD177
70	59D－W－70	建具類?	長さ9.0cm	幅1.2cm	厚5.0.8cm	孔が多数あり	板目板	SD177

図版番号	登録番号	器種	法量			備考		遺構番号
71	59D－W－71	建具類？	長き33.5cm	幅1.4cm	厚き1.6cm	孔が１ヶあり	――	ＳＤ177
72	59D－W－72	建具類？	長き42.8cm	幅1.4cm	厚き1.6cm	孔が５ヶあり	――	ＳＤ177
73	59D－W－73	建築部材	長き20.7cm	幅7.0cm	厚き2.6cm	方形の孔があり	――	ＳＤ177
74	59D－W－74	建築部材	長き26.4cm	幅5.5cm	厚き0.7cm		板目板	ＳＤ177
75	59D－W－75	建築部材	長き12.3cm	幅8.8cm	厚き0.7cm		板目板	ＳＤ177
162－76	59D－W－76	差歯下駄	長き22.5cm	幅10.3cm	厚き3.8cm		板目板	ＳＤ177
77	59D－W－77	連歯下駄	長き21.2cm	幅3.4cm	厚き9.4cm		板目板	ＳＤ177
78	59D－W－78	連歯下駄	長き11.8cm	幅9.7cm	厚き3.9cm		板目板	ＳＤ177
79	59D－W－79	連歯下駄	長き11.3cm	幅7.2cm	厚き2.9cm		板目板	ＳＤ177
80	59D－W－80	連歯下駄	長き11.2cm	幅10.3cm	厚き6.5cm		板目板	ＳＤ177
81	59D－W－81	連歯下駄	長き14.8cm	幅8.3cm	厚き2.5cm		板目板	ＳＤ177
82	59D－W－82	糸枠	長き16.6cm	幅3.9cm	厚き1.0cm	中央に巨大な孔と小孔が２ヶあり	板目板	ＳＤ177
83	59D－W－83	灯明皿受け	長き9.0cm	幅3.8cm	厚き1.0cm	穴が１ヶあり	柾目板	ＳＤ177
84	59D－W－84	櫛	長き7.5cm	幅4.7cm	厚き1.2cm	歯数25本	――	ＳＤ177
85	59D－W－85	不明(丸材木？)	長き6.6cm	幅0.8cm	厚き0.8cm		――	ＳＤ177
86	59D－W－86	杙	長き4.3cm	太き1.9cm			――	ＳＤ177
87	59D－W－87	杙	長き12.4cm	幅3.9cm			板目板	ＳＤ177
88	59D－W－88	独楽	直径3.6cm	高き4.0cm			――	ＳＤ177
89	59D－W－89	独楽	直径3.1cm	高き4.4cm			――	ＳＤ177
90	59D－W－90	独楽	直径2.7cm	高き4.3cm			――	ＳＤ177
91	59D－W－91	箸	長き25.3cm	幅0.9cm	厚き0.6cm		――	ＳＤ177
92	59D－W－92	箸	長き23.6cm	幅1.0cm	厚き0.5cm		――	ＳＤ177
93	59D－W－93	箸	長き25.6cm	幅0.7cm	厚き0.5cm		――	ＳＤ177
94	59D－W－94	箸	長き25.6cm	幅0.8cm	厚き0.8cm		――	ＳＤ177
163－95	59D－W－95	杓子	長き29.2cm	幅12.3cm	厚き3.3cm		柾目板	ＳＤ177
96	59D－W－96	杓子	長き34.3cm	幅9.0cm	厚き2.1cm		柾目板	ＳＤ177
97	59D－W－97	杓子	長き36.3cm	幅6.7cm	厚き2.0cm		柾目板	ＳＤ177
98	59D－W－98	匙	長き21.7cm	幅7.5cm	厚き0.6cm		柾目板	ＳＤ177
99	59D－W－99	切匙	長き18.9cm	幅2.3cm	厚き0.3cm		板目板	ＳＤ177
100	59D－W－100	不明	長き10.5cm	幅1.8cm	厚き0.3cm		板目板	ＳＤ177
101	59D－W－101	楊枝木	長き38.1cm	幅4.0cm			――	ＳＤ177
164－102	59D－W－102	不明	長き13.8cm	幅3.3cm	厚き0.3cm	孔が２ヶあり	柾目板	ＳＤ177
103	59D－W－103	不明	長き14.1cm	幅2.7cm	厚き0.7cm		板目板	ＳＤ177
104	59D－W－104	不明	長き15.6cm	幅1.8cm	厚き1.1cm	孔が１ヶあり	柾目板	ＳＤ177
105	59D－W－105	不明	長き16.2cm	幅2.5cm	厚き1.6cm		柾目板	ＳＤ177
106	59D－W－106	不明	長き17.6cm	幅2.0cm	厚き0.7cm	孔が１ヶあり	板目板	ＳＤ177
107	59D－W－107	不明	長き20.0cm	幅1.2cm	厚き0.6cm		――	ＳＤ177
108	59D－W－108	不明	長き9.2cm	幅1.2cm	厚き0.2cm		板目板	ＳＤ177
109	59D－W－109	不明	長き5.4cm	幅2.0cm	厚き0.3cm		柾目板	ＳＤ177
110	59D－W－110	不明	長き4.6cm	幅2.6cm	厚き0.4cm		柾目板	ＳＤ177
111	59D－W－111	不明	長き3.4cm	幅3.6cm	厚き1.6cm		板目板	ＳＤ177
112	59D－W－112	不明	長き5.1cm	幅2.8cm	厚き1.3cm	孔が１ヶあり	板目板	ＳＤ177
113	59D－W－113	不明	長き5.8cm	幅2.3cm	厚き0.6cm	孔が１ヶあり	柾目板	ＳＤ177
114	59D－W－114	杭材	長き33.6cm	太き2.3cm			――	ＳＤ177
115	59D－W－115	竹編物	長き47.4cm	幅29.5cm		網代編	――	ＳＤ177
116	59D－W－116	曲物補受け台	長き21.0cm	幅21.6cm	厚き1.1cm	孔が合計７ヶあり	板目板	ＳＤ177
165－117	59D－W－117	木製(役物)	長き19.5cm	幅2.9cm	厚き0.2cm		柾目板	ＳＤ177
118	59D－W－118	木製(役物)	長き19.5cm	幅3.7cm	厚き0.2cm		柾目板	ＳＤ177
119	59D－W－119	木製(役物)	長き21.6cm	幅3.0cm	厚き0.15cm		柾目板	ＳＤ177
120	59D－W－120	木製(役物)	長き20.6cm	幅2.9cm	厚き0.25cm		柾目板	ＳＤ177
121	59D－W－121	木製(役物)	長き20.5cm	幅2.8cm	厚き0.2cm		柾目板	ＳＤ177
122	59D－W－122	木製(役物)	長き18.7cm	幅2.7cm	厚き0.2cm		柾目板	ＳＤ177
123	59D－W－123	木製(役物)	長き19.1cm	幅2.7cm	厚き0.2cm		柾目板	ＳＤ177
124	59D－W－124	木製(役物)	長き19.6cm	幅2.6cm	厚き0.2cm		柾目板	ＳＤ177
125	59D－W－125	木製(役物)	長き24.0cm	幅3.0cm	厚き0.1cm		柾目板	ＳＤ177
126	59D－W－126	木製(役物)	長き20.3cm	幅2.7cm	厚き0.2cm		柾目板	ＳＤ177
127	59D－W－127	木製(裏格子？)	長き17.8cm	幅3.1cm	厚き0.1cm以下		柾目板	ＳＤ177
128	59D－W－128	木製(役物)	長き24.0cm	幅2.6cm	厚き0.15cm		柾目板	ＳＤ177
129	59D－W－129	木製(板塀壁)	長き22.7cm	幅5.5cm	厚き0.3cm		板目板	ＳＤ177
130	59D－W－130	木製(板塀壁)	長き27.7cm	幅4.5cm			柾目板	ＳＤ177
131	59D－W－131	木製(柿経)	長き15.6cm	幅2.9cm	厚き0.1cm以下		柾目板	ＳＤ177
132	59D－W－132	木製(柿経)	長き10.6cm	幅2.9cm	厚き0.1cm以下		柾目板	ＳＤ177
133	59D－W－133	木製(柿経)	長き12.5cm	幅1.7cm			柾目板	ＳＤ177
134	59D－W－134	木製(柿経)	長き5.6cm	幅2.3cm	厚き0.1cm以下		柾目板	ＳＤ177
135	59D－W－135	木製(柿経)	長き6.0cm	幅2.9cm	厚き0.1cm以下		柾目板	ＳＤ177
136	59D－W－136	木製(柿経)	長き8.3cm	幅1.5cm	厚き0.1cm以下		柾目板	ＳＤ177
137	59D－W－137	木製(柿経)	長き10.3cm	幅2.9cm	厚き0.1cm以下		柾目板	ＳＤ177
138	59D－W－138	木製(柿経)	長き9.3cm	幅2.9cm	厚き0.1cm以下		柾目板	ＳＤ177
139	59D－W－139	木製(柿経)	長き9.0cm	幅3.0cm	厚き0.1cm以下		柾目板	ＳＤ177
140	59D－W－140	木製(柿経)	長き10.4cm	幅4.0cm	厚き0.1cm以下		柾目板	ＳＤ177

図版番号	登録番号	器　種	法　量			備　考	遺構番号
141	59D－W－141	木製(棒組)	長さ10.9cm	幅3.6cm	厚0.1mほど	柾目板	ＳＤ177
142	59D－W－142	木製(棒組)	長さ11.3cm	幅1.3cm	厚0.1mほど	板目板	ＳＤ177
143	59D－W－143	木製(丸棒)	長さ12.3cm	幅4.2cm	厚3.8cm	柾目板	ＳＤ177
144	59D－W－144	木製	長さ5.5cm	幅2.3cm		柾目板	ＳＤ177
145	59D－W－145	木製	長さ1.5cm	幅7.2cm	厚0.2cm	柾目板	ＳＤ177
146	59D－W－146	木製	長さ(4.6+1.4)cm	幅16.9cm	厚0.2cm	柾目板	ＳＤ177
166－147	59A－W－13	木製(半搭載)	長さ(6.8+4.8)cm	幅8.5cm	厚0.25cm	柾目板	ＳＤ200
148	59A－W－14	木製(半搭載)	長さ(8.0+8.8)cm	幅8.5cm	厚0.15cm	柾目板	ＳＤ200
149	59A－W－15	木製(半搭載)	長さ68.5cm	幅6.5cm	厚3.19cm	柾目板	ＳＤ200
150	59A－W－16	木製(半搭載)	長さ49.6cm	幅5.5cm	厚0.2cm	柾目板	ＳＤ200
167－151	59A－W－17	木製(半搭載)	長さ68.2cm	幅6.5cm	厚0.16cm	柾目板	ＳＤ200
152	59A－W－18	木製(半搭載)	長さ68cm	幅8.8cm	厚0.18cm	柾目板	ＳＤ200
153	59A－W－19	木製(半搭載)	長さ66.8cm	幅8.6cm	厚0.12cm	柾目板	ＳＤ200
154	59A－W－10	木製(半搭載)	長さ72.8cm	幅9.6cm	厚0.5cm	柾目板	ＳＤ200
168－155	59A－W－12	木製(半搭載)	長さ63.4cm	幅10.2cm	厚0.2cm	柾目板	ＳＤ200
156	59A－W－5	木製(半搭載)	長さ53.6cm	幅9.8cm	厚0.2cm	柾目板	ＳＤ200
157	59A－W－11	木製(半搭載)	長さ62.8cm	幅11.4cm	厚0.18cm	柾目板	ＳＤ200
169－158	59A－W－2	木製(半搭載)	長さ49.6cm	幅12.5cm	厚0.2cm	柾目板	ＳＤ200
159	59A－W－8	木製(半搭載)	長さ46.2cm	幅4.0cm	厚3－－	柾目板	ＳＤ200
160	59A－W－7	木製(半搭載)	長さ54.5cm	幅4.9cm	厚3－－	柾目板	ＳＤ200
161	59A－W－9	木製(半搭載)	長さ57.8cm	幅4.6cm	厚3－－	柾目板	ＳＤ200
162	60Ｅ－W－1	木製(半搭載)	長さ(15.0cm)	幅3.9cm	厚0.3cm	柾目板	ＳＤ200
163	60Ｅ－W－2	木製(差札)	長さ29.1cm	幅4.0cm	厚3.0cm	柾目板	ＳＤ200
164	59A－W－31	梅Ｂ類	口径12.3cm	底径6.0cm	器高5.5cm	横木取	ＳＤ200
165	59A－W－32	皿	口径12.0cm	底径4.7cm	器高2.3cm	横木取	ＳＤ200
166	59A－W－33	曲物補修板	長さ7.4cm	幅5.5cm	厚7.6cm	表面に微細な傷あり	柾目板	ＳＤ200
167	59A－W－34	曲物補修板	長さ12.0cm	幅4.9cm	厚3.6cm		柾目板	ＳＤ200
168	59Ｂ－W－1	連歯下駄	長さ15.0cm	幅6.8cm	厚さ1.2cm		板目板	ＳＤ200
170－169	59Ｂ－W－2	釣瓶	長さ22.6cm	幅20.4cm	高さ19.8cm	取手あり，鉄釘で13ヶ所とめる　板目板＋柾目板	ＳＥ83
170	59Ｂ－W－3	釣瓶底板	長さ16.6cm	幅14.4cm	厚さ1.5cm	孔が２ヶあり	柾目板	ＳＥ83
171	59Ｂ－W－4	くさび	長さ14.4cm	幅3.8cm	厚さ0.7cm		柾目板	ＳＥ83
172	59Ｂ－W－5	くさび	長さ17.2cm	幅3.4cm	厚さ0.5cm		柾目板	ＳＥ83
173	59Ｂ－W－6	くさび	長さ19.2cm	幅5.0cm	厚さ0.7cm		柾目板	ＳＥ83
174	59Ｂ－W－7	くさび	長さ16.2cm	幅5.4cm	厚さ1.0cm		板目板	ＳＥ83
175	59Ｂ－W－8	くさび	長さ10.6cm	幅4.1cm	厚さ1.1cm		板目板	ＳＥ83
176	59Ｂ－W－9	くさび	長さ9.8cm	幅4.8cm	厚さ0.8cm		板目板	ＳＥ83
177	59Ｂ－W－10	くさび	長さ7.4cm	幅4.1cm	厚さ0.6cm		板目板	ＳＥ83
178	59Ｂ－W－11	くさび	長さ8.1cm	幅3.0cm	厚さ0.8cm		柾目板	ＳＥ83
179	59Ｂ－W－12	くさび	長さ5.4cm	幅4.0cm	厚さ1.0cm		柾目板	ＳＥ83
180	59Ｂ－W－13	くさび	長さ7.3cm	幅2.2cm	厚さ0.8cm		柾目板	ＳＥ83
181	59Ｂ－W－14	くさび	長さ5.6cm	幅4.1cm	厚さ0.8cm		板目板	ＳＥ83
171－182	59Ｂ－W－15	井戸桶	口径64.0cm	底径67.0cm	高さ70.5cm		板目板	ＳＥ83
183	59Ｂ－W－1	井戸桶	口径61.5cm	底径66.0cm	高さ62.3cm		板目板	ＳＥ35
184	59A－W－35	結桶底板	長さ20.0cm	幅4.4cm	厚さ0.5cm		柾目板	ＳＥ75
185	60Ｅ－W－1	建築部材	長さ21.9cm	幅12.6cm	厚さ11.2cm		角材	ＳＤ211
186	59Ｆ－W－1	曲物胴側板	口径5.1cm	高さ2.7cm			柾目板	ＳＥ15
187	59Ｆ－W－2	曲物胴底板	底径10.9cm	厚さ0.6cm			柾目板	ＳＥ15
188	59Ｂ－W－16	曲物胴側板	口径18.5cm	高さ8.6cm			柾目板	ＳＤ189
172－189	59Ｂ－W－17	結桶側板	長さ17.6cm	幅5.8cm	厚さ0.9cm		板目板	ＳＤ198
190	59Ｂ－W－18	くさび	長さ15.3cm	幅3.0cm	厚さ2.2cm		柾目板	ＳＤ198
191	59Ｂ－W－19	不明	長さ14.6cm	幅1.3cm	厚さ0.3cm		柾目板	ＳＤ198
192	59Ｂ－W－20	不明	長さ13.9cm	幅0.9cm	厚さ0.7cm		角材	ＳＤ198
193	59Ｂ－W－21	へら？	長さ8.3cm	幅3.3cm	厚さ0.3cm		柾目板	ＳＤ198
194	59Ｂ－W－22	建具類	長さ8.2cm	幅1.1cm	厚さ0.6cm		板目板	ＳＤ198
195	60Ａ－W－1	漆器皿	口径14.5cm	底径7.8cm	器高3.4cm	横木取	ＳＫ503
196	59Ｃ－W－1	結桶側板	長さ28.4cm	幅7.6cm	厚さ1.3cm		柾目板	ＳＥ58
197	59Ｃ－W－2	曲物補底板	底径3.1cm	厚さ0.5cm			柾目板	ＳＥ58
198	59Ｂ－W－23	曲物補底板	底径11.6cm	厚さ1.0cm			柾目板	ＳＥ85
199	59Ｂ－W－24	木製	長さ10.3cm	幅2.4cm	厚さ0.7cm		柾目板	ＳＥ62
200	60Ｅ－W－2	ものさし	長さ15.5cm	幅2.3cm	厚さ0.5cm		柾目板	ＳＤ215
201	59Ｃ－W－3	漆器香合蓋	底径7.3cm	器高3.7cm			横木取	ＳＥ62
202	59Ｃ－W－4	ざる	長さ31.6cm	幅27.9cm			——	ＳＥ62
203	60Ｅ－W－3	曲物補側板	底径9.0cm	高さ4.3cm			柾目板	ＳＤ222
204	60Ｅ－W－4	人形	長さ3.7cm				——	ＳＤ222
205	60Ｅ－W－5	櫛歯	底径2.3cm	高さ4.1cm			——	ＳＤ222
206	60Ｅ－W－6	曲物補側板	底径10.4cm	高さ10.0cm			柾目板	ＳＤ222
207	60Ｅ－W－7	木製	長さ31.7cm	幅2.8cm	厚さ0.3cm		柾目板	ＳＤ222

図版番号	遺構番号	口径(cm)	底径 (cm)	高さ(cm)	岩石名	備　　考	登録番号
173－1	SK447	23.0	12.4	8.4	ロウ石	外面スス付着	S－1
2	SK388	推定23.0	－	－	ロウ石		61
3	検出	推定24.0	－	－	ロウ石	外面つばより下スス付着	5
4	検出	推定22.0	－	－	ロウ石	外面スス付着	4
5	検出	推定21.0	－	－	ロウ石		6
6	SK504	推定20.0	－	－	ロウ石	外面スス付着	7
7	検出	－	推定20.0	－	ロウ石	〃	3
8	SD133	－	推定21.6	－	ロウ石	〃	2
9	SD211	推定12	－	－	ロウ石	〃	8
10	SD108	－	－	－	ロウ石		9
11	SD108	－	－	－	ロウ石		10
12	SD164	－	－	－	－		62
174－13	SD164	8.8	3.5	1.4	凝灰質泥岩		23
14	検出	6.6	5.0	0.8	凝灰質泥岩		25
15	SD170	3.5	5.1	1.2	泥岩		24
16	SE82	6.8	現存3.2	1.0	頁岩		28
17	SD200	7.0	現存3.6	2.2	泥岩		27
18	検出	6.4	現存3.4	1.0	－		64
19	SE15	6.1	現存1.8	1.0	頁岩		30
20	SD198	4.0	現存1.3	0.8	泥岩		29
21	検出	2.2	現存1.9	1.1	泥岩		26
22	SD164	6.2	6.6	1.1	－		63
23	SD164	3.2	9.4	1.6	頁岩		32
24	検出	11.2	9.2	1.7	泥岩		31
25	検出	12.0	9.0	1.3	－		65
26	SD55	9.8	6.7	0.7	頁岩		43
27	SK305	10.0	6.2	1.6	頁岩		44
28	SK139	11.9	6.2	0.6	頁岩		42
29	検出	5.8	3.8	1.3	凝灰岩		47
175－30	SD49	8.2	5.6	1.8	ホルンフェルス		40
31	SK135	9.8	4.6	2.5	砂岩		39
32	検出	7.6	3.8	2.2	凝灰岩		38
33	検出	7.4	2.9	1.4	砂岩		41
34	検出	7.8	3.0	1.6	頁岩		45
35	検出	8.4	3.2	1.0	頁岩		46
36	SD205	6.1	2.8	2.4	凝灰岩		49
37	SD207	11.4	2.6	2.3	泥岩		48
38	検出	6.2	2.4	0.6	凝灰質頁岩		50
39	検出	4.6	2.3	1.6	凝灰岩		51
40	SK141	2.5	2.3	1.2	凝灰岩		52
41	SK48	4.6	1.6	0.7	凝灰岩		53
42	SK48	2.0	1.0	0.2	凝灰岩		54
43	SK48	2.0	0.6	0.4	凝灰岩		55
44	検出	11.8	7.2	7.1	砂岩		34
45	検出	7.8	3.8	3.2	凝灰岩		35
176－46	SE44	7.2	5.0	3.4	凝灰岩		36
47	SD200	8.8	5.4	3.2	流紋岩		37
48	検出	31.4	9.6	6.9	砂岩		33
49	SD55	6.8	4.0	3.2	花崗岩		20
50	検出	7.3	5.8	3.2	凝灰岩		11
51	SD49	(径) 2.6		(厚) 0.4	砂岩		14
52	SK143	(径) 1.8		(厚) 0.6	泥岩		13
53	SK284	(径) 2.2		(厚) 0.2	－		66
54	SD198	(径) 2.2		(厚) 0.4	頁岩		16
55	SD222	(径) 2.2		(厚) 0.6	泥岩		18
56	SD198	(径) 2.0		(厚) 0.6	頁岩		15
57	SD200	5.8	3.4	4.2	軽石		12
177－58	検出	(径) 35.2		(厚) 6.9	－		67
59	検出	(推定径)17.2		(厚) 5.4	花崗岩		59
178－60	SD200	12.4	(最大径) 8.8		花崗岩		56
61	SD200	12.8	(最大径) 8.8		花崗岩		57
62	SK530	20.0	(最大径)11.0		緑色岩		58
63	検出	15.4		(厚) 1.8	結晶片岩		22
64	SK263	5.2		(厚) 0.6	頁岩		21

図版番号	遺構番号	種　類	法　量 (cm)			備　考	登録番号
179－1	SE07	鉄族	長さ8.2	幅2.8	厚さ1.0		M－1
2	SD133	鉄族	長さ12.5	幅1.3	厚さ0.8		2
3	SD63	鉄製刀子	長さ16.9	幅1.3	厚さ0.4		3
4	検出	鉄製刀子	長さ15.0	幅1.1	厚さ0.4		4
5	検出	鋼製柄	長さ8.7	幅1.6	厚さ0.6		5
6	SD79	鋼製柄	長さ6.6	幅1.0	厚さ0.6		6
7	SD182	鋼製容器	高さ3.4	幅2.0	厚さ0.6		7
8	検出	鋼製煙管	長さ5.9	最大径1.0			8
9	検出	鋼製煙管	長さ7.8	最大径1.1			9
10	SD170	鋼製煙管	長さ4.9	最大径1.4		羅宇が一部残存	10
11	SK233	鋼製煙管	長さ5.3	最大径1.1			11
12	検出	鋼鏡	長さ11.6	面径8.3	厚さ0.4	藤樹紋	12
13	検出	鋼鳴	口径5.8	器高2.0			13
14	SD164	鋼製品	――				14
180－15	SD133	鉄製大釘ち鍵	幅6.6	高さ2.5	厚さ0.4		15
16	SK531	鉄製台丁	長さ23.8	幅5.2	厚さ0.2		16
17	SE86	鉄製鋸	長さ26.4	最大径1.5		木製柄部あり	17
18	SK72	鋼製大箸	長さ16.5	最大径0.4			18
19	検出	鋼製大箸	長さ8.9	最大径0.4			19
20	SK72	鋼製大箸	長さ7.5	最大径0.3			20
21	SD133	鋼製品	長さ5.8	幅2.2	厚さ0.5		21
22	検出	鋼製品	径6.3	最大径0.3			22
23	SK143	鉄製品	長さ16.6	幅2.3	厚さ0.8		23
24	検出	鉄釘	長さ5.0	最大径1.0			24
25	検出	鉄釘	長さ4.6	最大径1.3			25
26	SD63	鉄釘	長さ5.7	最大径0.8			26
27	検出	鉄釘	長さ10.0	最大径0.5			27
28	SD27	鉄釘	長さ9.5	最大径0.5			28
29	SD07	鉄釘	長さ7.6	最大径1.0			29